

## **第2部 地震動・津波浸水等の予測**



### Ⅲ 地震動・液状化・急傾斜地等及び津波浸水等の予測

#### Ⅲ－１ 対象地震

##### 1 対象地震の設定

---

平成 23 年（2011 年）3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震（M9.0）による東日本大震災の教訓を踏まえ、中央防災会議の「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」では、発生頻度が低い場合でも、過去に発生した地震で、一たび発生すると大きな被害を及ぼすおそれがあるものについては、検討を行っておく必要がある、としている。

東海・東南海・南海連動地震など、南海トラフに震源を有する海溝型地震に関し、内閣府では「南海トラフの巨大地震モデル検討会」を設置し、平成 24 年 8 月の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」において、最大クラスの南海トラフ巨大地震（地震動では M9.0、津波では M9.1）の震源モデル（地震動は 4 種及び経験的手法、津波は 11 種）や震度・津波高が公表された。また、「南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ」からは、「南海トラフ巨大地震の被害想定について（第一次報告）」が公表された。内閣府では、この「最大クラスの地震・津波」は、東北地方太平洋沖地震で得られたデータも含め、現時点の最新の科学的知見に基づき、発生し得る最大クラスの地震・津波を推計したものであり、その発生時期を予測することはできないが、その発生頻度は極めて低い、としている。

この検討結果を踏まえ、南海トラフ巨大地震について、国の被害想定では明らかでない事項について、詳細に検討する。

国が設定した同地震の震源モデルのうち、原則として、地震動では経験的手法を考慮した東京都にとって最大となるケース、津波では島しょ部の各町村等にとって最大となるケースを採用する。

一方で、島しょ部においては、東京都（2012）「首都直下地震等による東京の被害想定」の中で海溝型地震として検討した元禄型関東地震（M8.2）による津波浸水も想定されている。この元禄型関東地震は、相模トラフ沿いを震源として、過去に都内に最も大きな津波をもたらしたとされている 1703 年に発生した元禄関東地震をモデルにしたマグニチュード 8 クラスの海溝型地震である。地震調査研究推進本部によると、海岸地形の調査研究から平均発生間隔は 2300 年程度と推定され、今後 30 年以内に同様の地震が発生する確率はほぼ 0 %とされている（地震調査研究推進本部地震調査委員会, 2013）。

## 【参考】海溝型地震と都市直下の地震

### 1 海溝型地震

地球を覆っている 10 数枚の板状の岩盤（プレート）のうち、日本列島には太平洋プレートが年間約 9 cm、フィリピン海プレートが年間約 3 cm で沈み込んでいる。この海のプレートが沈み込むときに陸のプレートの端が巻き込まれる。やがて、陸のプレートの端は反発して跳ね上がり、巨大な地震を引き起こす。この地震を海溝型地震と呼ぶ。

伊豆半島から西側にある南海トラフ（フィリピン海プレートが沈み込む海底部）を震源とした東南海地震や南海地震は典型的な海溝型の地震であり、「南海トラフの地震」は、時に複数の地震が連動したり、単独で発生したりしながら、おおむね 90 から 150 年の周期で発生している。関東大震災を引き起こした地震は、伊豆半島の東側にある相模トラフを震源とした海溝型地震であり、「相模トラフの地震」はおおむね 200 年の周期をもち、次の発生は 100 年から 150 年先といわれている。

図 日本周辺のプレート（地震調査研究推進本部地震調査委員会, 2010）

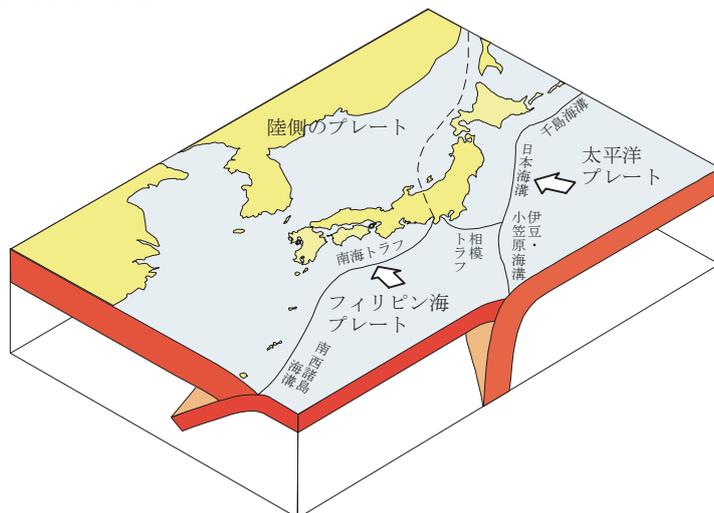
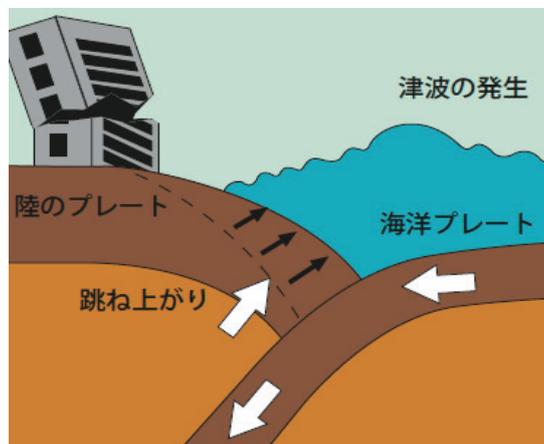


図 海溝型地震発生の仕組み（文部科学省, 2004）



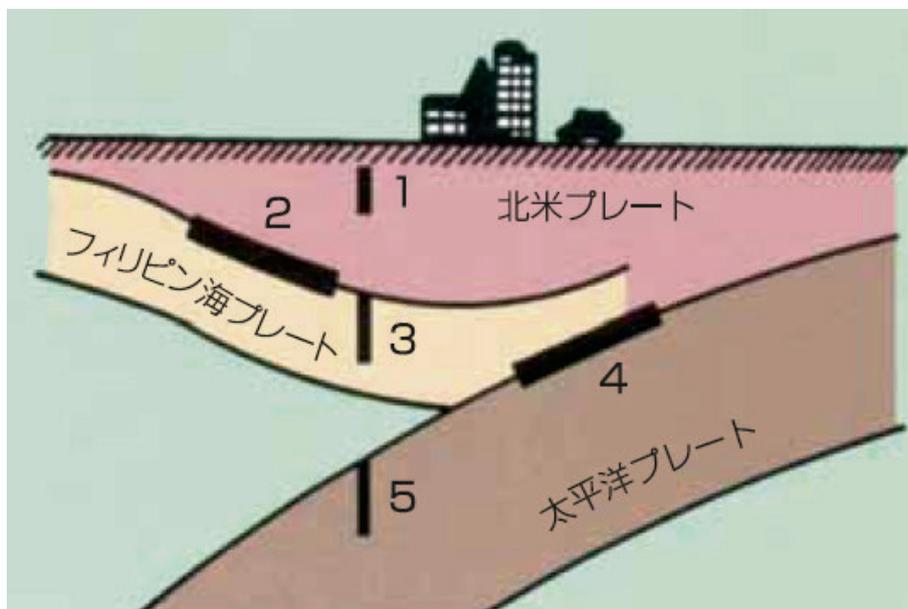
## 2 都市直下の地震（内陸の地震）

海のプレートの動きは、海溝型地震の原因となるだけでなく陸のプレートを圧迫し、内陸部の岩盤にも歪みを生じさせる。歪みが大きくなると、内陸部の地中にあるプレート内部の弱い部分で破壊が起こる。こうして起こる地震は、海溝型の巨大地震に比べると規模は小さいが、局地的に激震を起こす。都市直下の浅い所を震源とする場合には、大きな被害をもたらす。

都市直下の地震は、大きく次の2つのタイプの地震に分けて考えることができる。

- (1) 地表面近くの岩盤が破壊される、いわゆる活断層による地震（図の1）。  
平成7年に阪神・淡路地域を襲った兵庫県南部地震は、この型の地震である。
- (2) 陸のプレートと海のプレートが接し、せめぎ合う境界付近で岩盤が破壊されて起こる地震（図の2～5）。

図 首都圏直下の地震の震源模式図（東京都, 2010）



- 1 地表近くの活断層による地震
- 2 フィリピン海プレート上面に沿うプレート境界型地震
- 3 フィリピン海プレートの中の内部破壊による地震
- 4 太平洋プレート上面に沿うプレート境界型地震
- 5 太平洋プレートの中の内部破壊による地震

## 【参考】気象庁震度階級関連解説表（震度5弱以上）

計測震度					
	4. 5	5. 0	5. 5	6. 0	6. 5
震度階級	5弱	5強	6弱	6強	7
人間	多くの人が、身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。	非常な恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。	立っていることが困難になる。	立っていることができず、はわないと動くことができない。	揺れに翻弄され、自分の意志で行動できない。
屋内の状況	つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなどの重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。一部の戸が外れる。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。
屋外の状況	窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れているのが分かる。補強されていないブロック塀が崩れることがある。道路に被害が生じることがある。	補強されていないブロック塀の多くが崩れる。据え付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。多くの墓石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損・落下する。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。
木造建物	耐震性の低い住宅では、壁や柱が破損するものがある。	耐震性の低い住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱がかなり破損するものがある。	耐震性の高い住宅でも、傾いたり、大きく破損するものがある。
鉄筋コンクリート建造物	耐震性の低い建物では、壁などに亀裂が生じるものがある。	耐震性の低い建物では、壁、梁（はり）、柱などに大きな亀裂が生じるものがある。耐震性の高い建物でも、壁などに亀裂が生じるものがある。	耐震性の低い建物では、壁や柱が破壊するものがある。耐震性の高い建物でも、壁、梁（はり）、柱などに大きな亀裂が生じるものがある。	耐震性の低い建物では、倒壊するものがある。耐震性の高い建物でも、壁、柱が破壊するものがある。	耐震性の高い建物でも、傾いたり、大きく破壊するものがある。

## Ⅲ－２ 想定した震源モデル及び波源モデル

### 1 南海トラフ巨大地震の震源モデルの設定

---

内閣府（2012）「南海トラフの巨大地震モデル検討会」においては、南海トラフ巨大地震の震源モデル（地震動用：M9.0）として「基本ケース」、及びそこから強震動生成域を動かした「東側ケース」、「西側ケース」、「陸側ケース」の計4種類を検討している。同検討会によれば、このように震源モデルを設定して行う強震波形計算は、断層の破壊過程や地殻構造等を踏まえたシミュレーションにより震度分布を算出することになるが、強震動生成域の位置や地盤構造等が必ずしも明確ではないために、経験的手法により算出した震度分布も補完的に活用することが適切であるとしている。

この経験的手法とは、震源からの距離に従い地震の揺れの強さがどの程度減衰するかを過去の地震から導いた式を用いて震度を簡便に推定する方法である。

同検討会でこれらを計算した結果によると、東京都においては4つの震源モデルのうち、東側ケースで最大の震度分布を示した。さらに、経験的手法によれば、地域によっては東側ケース単独で計算した場合よりも大きな震度分布を示す箇所があった。

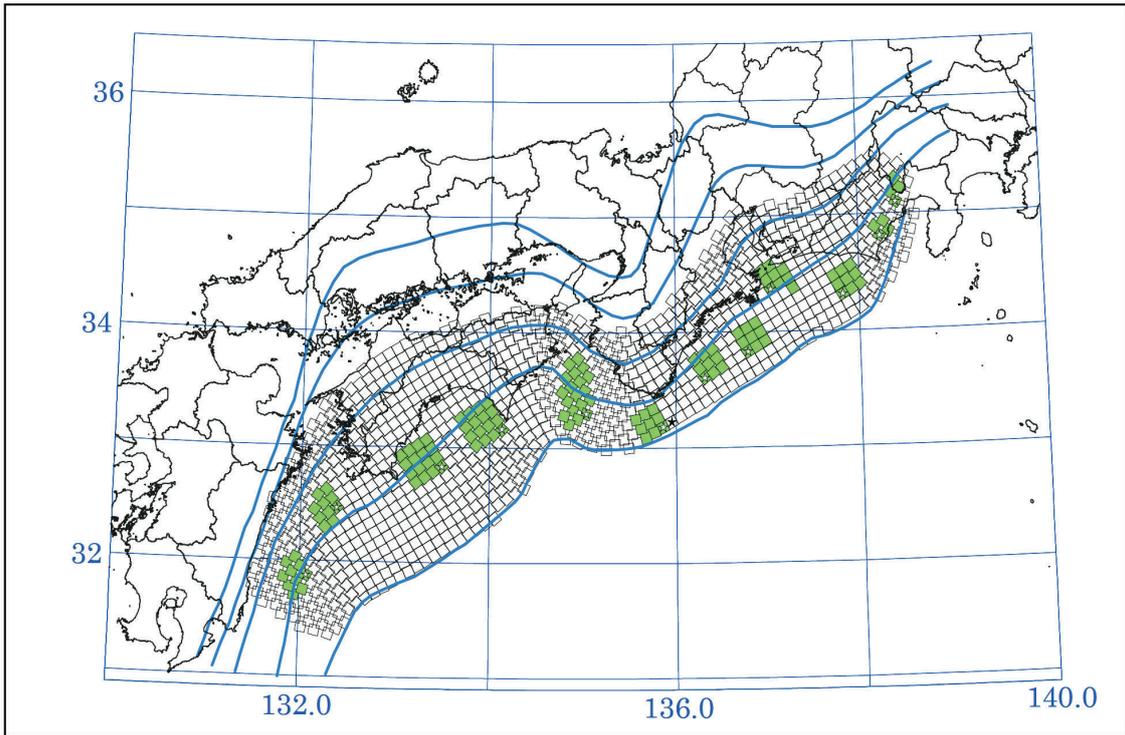
そのため、今回の東京都の被害想定の見直しにおいては、

①東側ケース

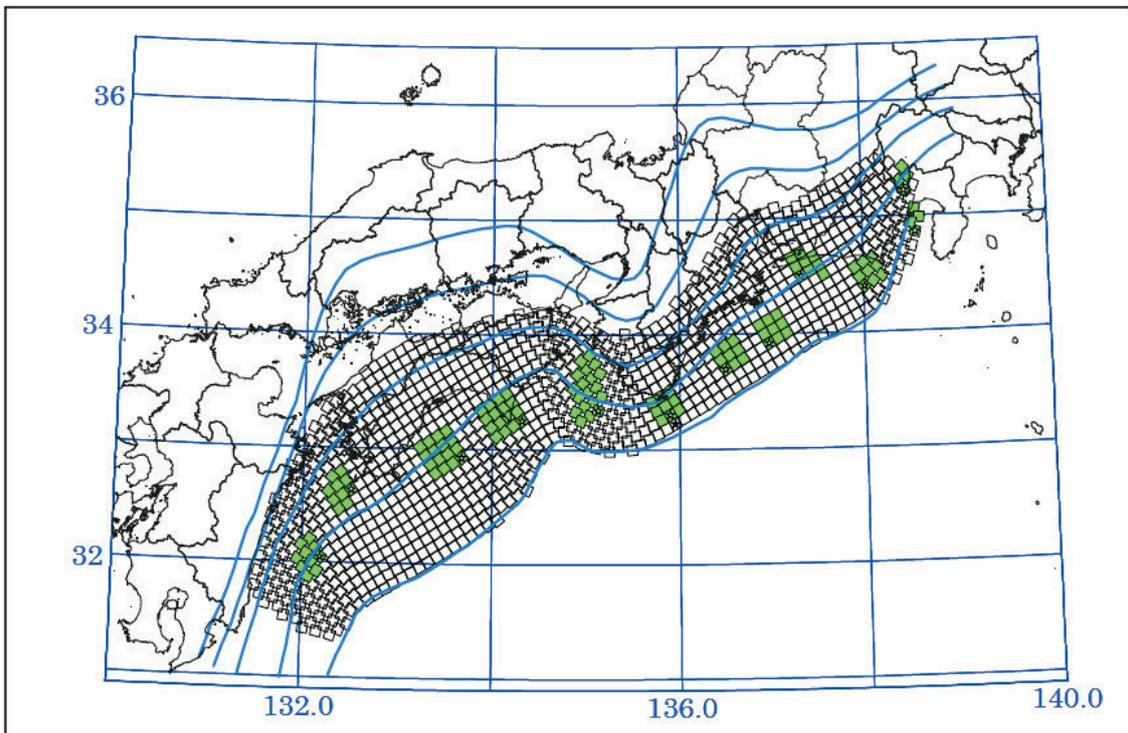
②東側ケースと経験的手法との震度分布を重ね合わせて各地点ごとに大きな震度を採用した場合（東側ケース＋経験的手法）

の2つのパターンについて地震動予測を実施することとした。

次ページに、内閣府（2012）の「基本ケース」と「東側ケース」の震源モデルを示す。「東側ケース」は、基本ケースにおける強震動生成域（Strong Motion Generation Areas：SMGA）（図の黄緑色の領域）の位置を、南海トラフの軸に沿って東側に移動させたケースとなる。



強震動生成域の設定の検討ケース（基本ケース）



強震動生成域の設定の検討ケース（東側ケース）

図 南海トラフ巨大地震の震源モデル(M9.0) (内閣府, 2012)

「東側ケース」の数値シミュレーションに当たり、設定した震源モデルのパラメーター一覧を以下に示す。

**表 南海トラフ巨大地震の震源断層モデルのパラメーター一覧**  
(内閣府, 2012)

全体	面積(km <sup>2</sup> )	110,150			
	応力パラメータ (MPa)	2.3			
	平均すべり量(m)	7.6			
	地震モーメント(Nm)	3.4E+22			
	Mw	9.0			
各セグメント	セグメント名	日向灘域	南海域	東海域	駿河湾域
	面積(km <sup>2</sup> )	19,053	53,790	29,419	7,888
	平均応力降下量(MPa)	4	4	4	4
	平均すべり量(m)	5.5	9.3	6.9	3.6
	地震モーメント(Nm)	4.3E+21	2.0E+22	8.3E+21	1.2E+21
	Mw	8.4	8.8	8.5	8.0
強震動生成域 SMGA	面積(km <sup>2</sup> )	2,047	6,109	3,661	853
	面積比	11%	11%	12%	11%
	平均すべり量(m)	11.1	18.6	13.7	7.1
	地震モーメント(Nm)	9.3E+20	4.7E+21	2.1E+21	2.5E+20
	Mw	7.9	8.4	8.1	7.5
強震動生成域 SMGA①	面積(km <sup>2</sup> )	1,018	1,953	910	438
	応力パラメータ (MPa)	34.5	46.4	45.4	34.4
	平均すべり量(m)	11.0	20.5	13.7	7.2
	地震モーメント(Nm)	4.6E+20	1.6E+21	5.1E+20	1.3E+20
	Mw	7.7	8.1	7.7	7.3
強震動生成域 SMGA②	面積(km <sup>2</sup> )	1,029	1,615	914	415
	応力パラメータ(MPa)	34.5	46.4	45.4	34.4
	平均すべり量(m)	11.1	18.7	13.7	7.0
	地震モーメント(Nm)	4.7E+20	1.2E+21	5.1E+20	1.2E+20
	Mw	7.7	8.0	7.7	7.3
強震動生成域 SMGA③	面積(km <sup>2</sup> )		1,612	913	
	応力パラメータ (MPa)		46.4	45.4	
	平均すべり量(m)		18.7	13.7	
	地震モーメント(Nm)		1.2E+21	5.1E+20	
	Mw		8.0	7.7	
強震動生成域 SMGA④	面積(km <sup>2</sup> )		929	924	
	応力パラメータ (MPa)		46.4	45.4	
	平均すべり量(m)		14.2	13.8	
	地震モーメント(Nm)		5.4E+20	5.2E+20	
	Mw		7.8	7.7	
背景領域	面積(km <sup>2</sup> )	17,006	47,681	25,758	7,035
	応力パラメータ (MPa)	3.7	3.7	3.7	3.7
	平均すべり量(m)	4.9	8.1	5.9	3.1
	地震モーメント(Nm)	3.4E+21	1.6E+22	6.2E+21	9.0E+20
	Mw	8.3	8.7	8.5	7.9
その他	破壊伝播速度(km/s)	2.7	2.7	2.7	2.7
	fmax(Hz)	6Hz	6Hz	6Hz	6Hz
	剛性率(Nm <sup>2</sup> )	4.1E+10	4.1E+10	4.1E+10	4.1E+10

## 2 南海トラフ巨大地震の波源モデルの設定

内閣府（2012）「南海トラフの巨大地震モデル検討会」においては、南海トラフ巨大地震の津波断層モデル（津波用：M9.1）として「基本的な検討ケース」計5ケース（ケース①から⑤まで：大すべり域、超大すべり域が1か所のパターン）と、「その他派生的な検討ケース」計6ケース（ケース⑥から⑩まで：大すべり域、超大すべり域に分岐断層も考えるパターンが2ケース、大すべり域、超大すべり域が2か所のパターンが4ケース）の計11種類を検討している。

同検討会でこれらを計算した結果、東京湾沿岸や島しょ部の各町村においては、5ケース（ケース①、②、⑤、⑥及び⑧）で最大津波高を示した（下表参照）。

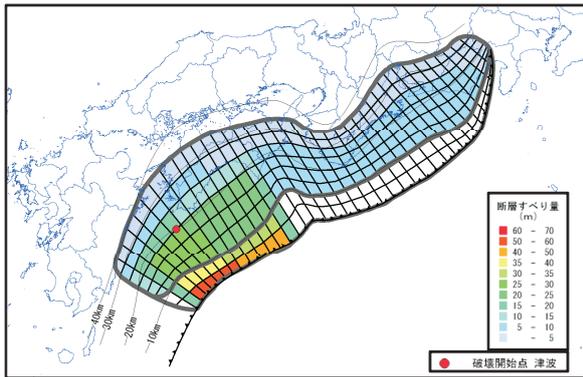
そのため、今回の東京都の被害想定では、当該5ケースについて津波浸水シミュレーションを実施することとした。

**表 内閣府(2012)において、対象地域とその範囲で最大津波高をもたらした南海トラフ巨大地震(M9.1)の津波断層モデル**

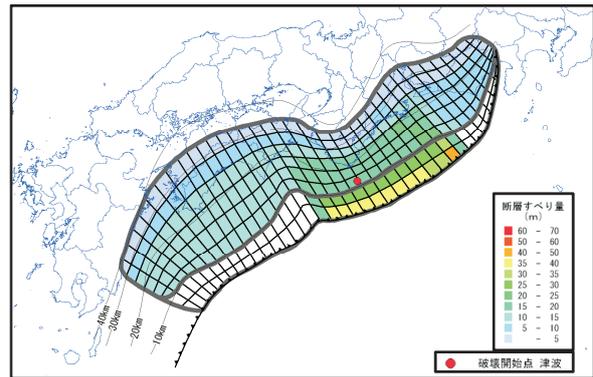
対象地域 (10m メッシュ)	津波断層モデル
東京湾	ケース① 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域、超大すべり域を設定
	ケース② 紀伊半島沖に大すべり域、超大すべり域を設定
伊豆諸島 大島～神津島、 御蔵島	ケース⑧ 駿河湾～愛知県東部沖、三重県南部沖～徳島県沖の2か所に大すべり域、超大すべり域を設定
伊豆諸島 三宅島	ケース① 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域、超大すべり域を設定
	ケース⑥ 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域+（超大すべり域、分岐断層）
伊豆諸島 八丈島、青ヶ島	ケース⑥ 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域+（超大すべり域、分岐断層）
小笠原諸島	ケース⑤ 四国沖～九州沖に大すべり域、超大すべり域を設定

これら5ケースの津波断層モデルの図を次に示す。

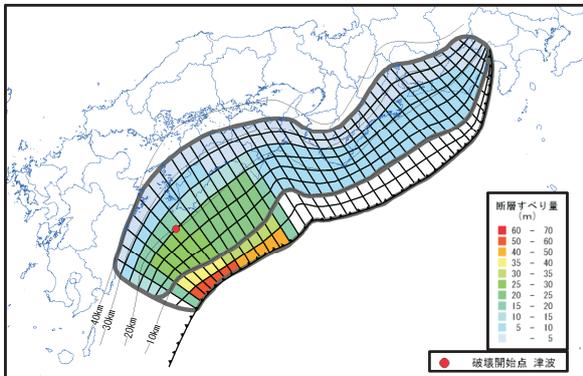
【基本的な検討ケース】大すべり域、超大すべり域が1か所の計5ケースの内の3ケース



【ケース①「駿河湾～紀伊半島沖」に  
「大すべり域+超大すべり域」を設定】  
区部、三宅島



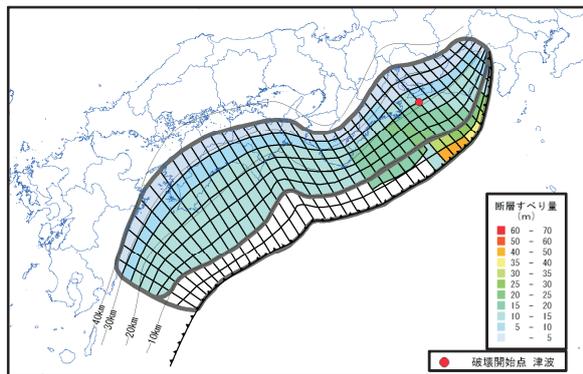
【ケース②「紀伊半島沖」に  
「大すべり域+超大すべり域」を設定】  
区部



【ケース⑤「四国沖～九州沖」に  
「大すべり域+超大すべり域」を設定】  
小笠原諸島

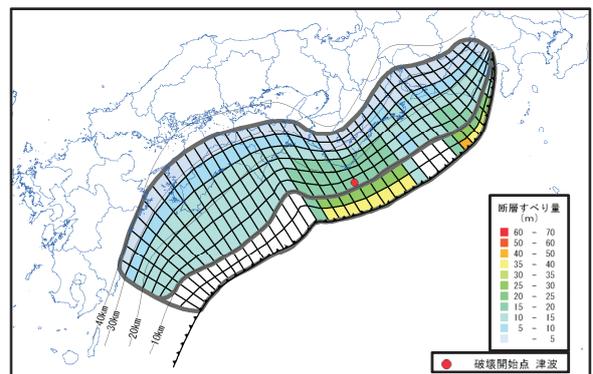
【その他派生的な検討ケース】

大すべり域、超大すべり域に分岐断層も  
考えるパターン



【ケース⑥「駿河湾～紀伊半島沖」に  
「大すべり域+(超大すべり域、分岐断層)」を設定】  
三宅島、八丈島、青ヶ島

大すべり域、超大すべり域が2か所の  
パターン



【ケース⑧「駿河湾～愛知県東部沖」と「三重県南部沖～  
徳島県沖」に「大すべり域+超大すべり域」を2か所設定】  
大島～神津島、御蔵島

図 内閣府(2012)による南海トラフ巨大地震の津波断層モデル(抜粋)

### 3 元禄型関東地震の震源モデル・波源モデルの設定

東京都（2012）「首都直下地震等による東京の被害想定」の中で海溝型地震として検討した元禄型関東地震の震源モデル・波源モデルを用いて、島しょ部の地震動予測や津波浸水シミュレーションを実施した。

東京都（2012）の元禄型関東地震の強震動シミュレーション用震源モデル（M8.2）については、Sato et al.（2005）による大正関東地震のアスペリティの位置と、行谷ほか（2011）のすべり量及び房総沖の小断層 11 を参考にして作成している（下図参照）。

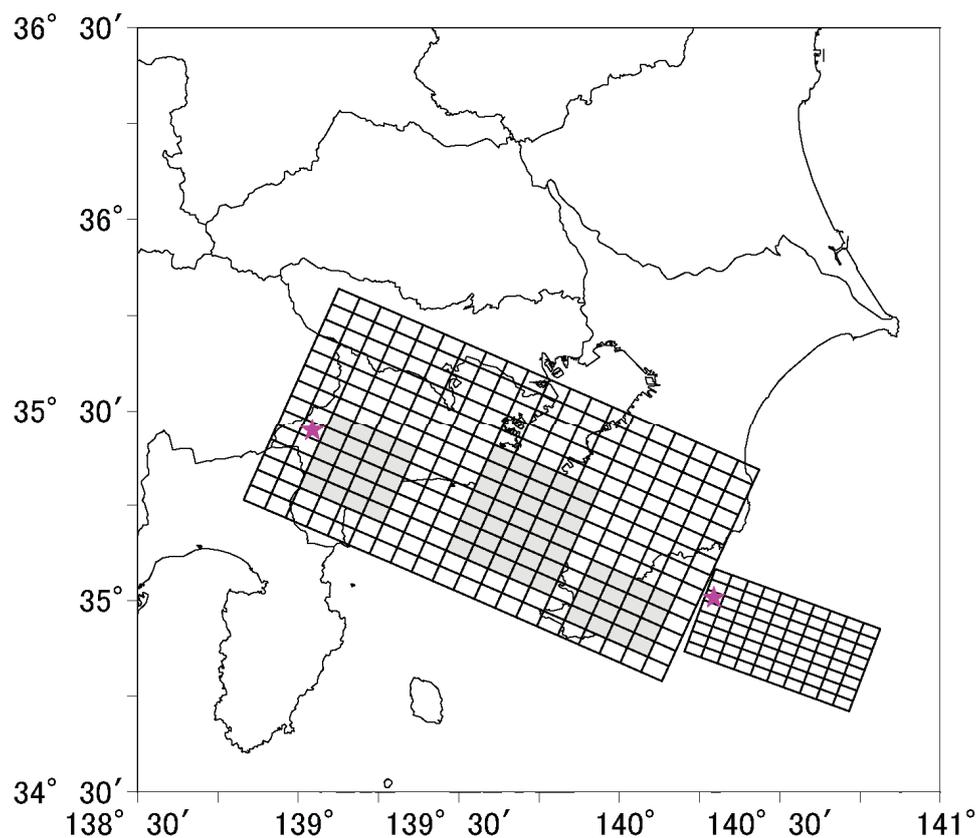
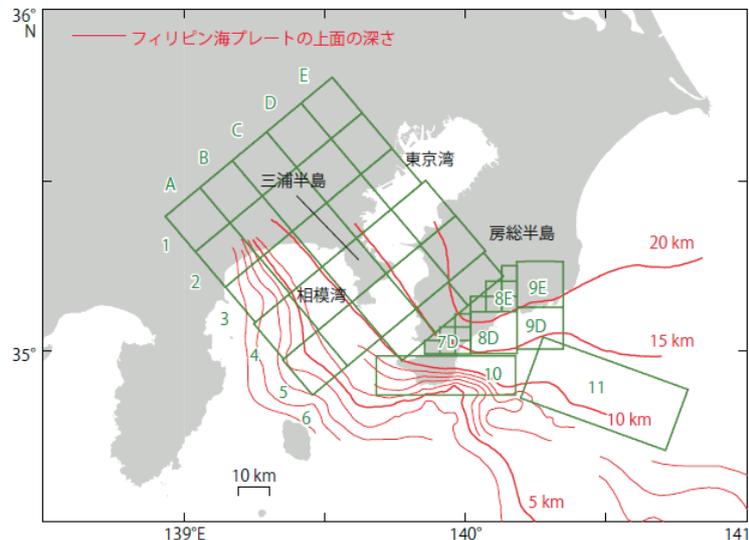


図 東京都(2012)で作成された元禄型関東地震(M8.2)の震源モデル  
(灰色はアスペリティの位置、★は各断層の破壊開始点を示す。)

表 元禄型関東地震(M8.2)の強震動計算用の震源断層パラメータ設定

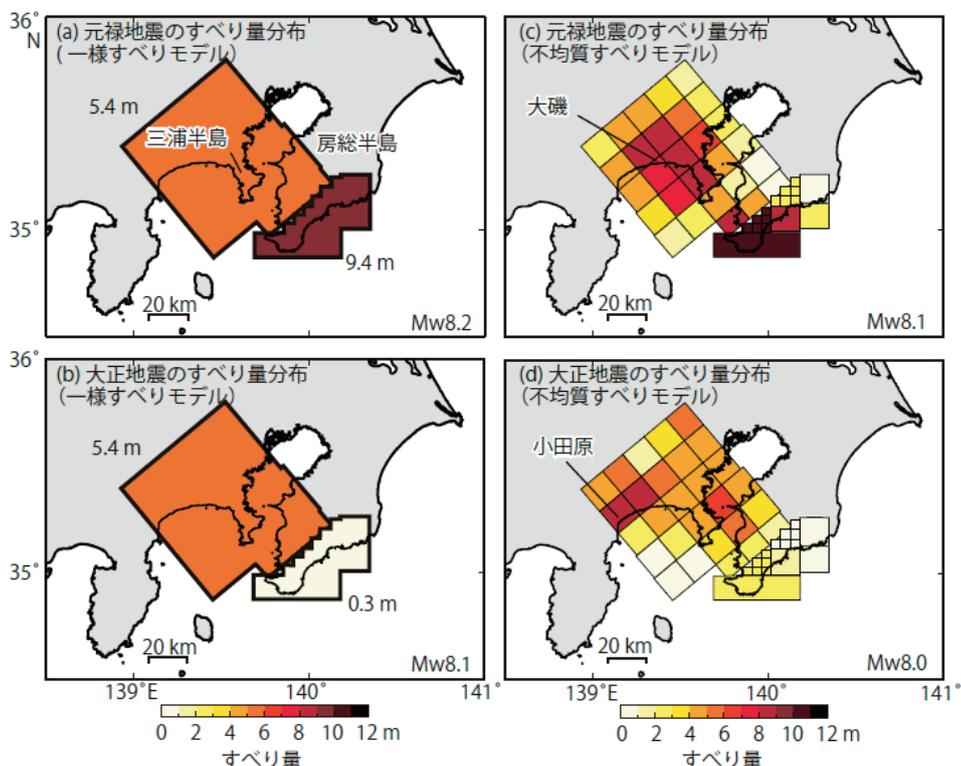
項目	数値	備考	
緯度(°)	34.7861	Sato et al.(2005)、行谷ほか(2011)	
経度(°)	140.1360		
上端深さ(km)	3.76、1.3		
走向θ(°)	294、290		
傾斜角δ(°)	16、45		
すべり角λ(°)	143、125	Sato et al.(2005)のすべり分布から平均して求めた値 行谷ほか(2011)	
長さL(km)	130、50	Kanamori(1971)、行谷ほか(2011)	
幅W(km)	70、30		
面積S(km <sup>2</sup> )	10900	S=LW	
平均すべり量D(m)	6.48	D=M <sub>0</sub> /μ/S	
地震モーメントM <sub>0</sub> (Nm)	2.12E+21		
モーメントマグニチュードM <sub>w</sub>	8.2	logM <sub>0</sub> =1.5M <sub>w</sub> +9.1 [Kanamori(1977)]	
高周波遮断周波数f <sub>max</sub> (Hz)	6.0	鶴来ほか(1997)、兵庫県南部地震の解析値	
S波速度V <sub>s</sub> (km/s)	3.7	笠原(1985)	
平均密度ρ(g/cm <sup>3</sup> )	2.9	Ludwig et al.(1970)	
剛性率μ(N/m <sup>2</sup> )	3.00E+10	Sato et al.(2005)	
平均応力降下量Δσ(MPa)	4.2	Δσ=7π <sup>1.5</sup> /16×M <sub>0</sub> /S <sup>1.5</sup>	
破壊伝播速度V <sub>r</sub> (km/s)	2.6	Sato et al.(2005)	
テ ス ベ リ ア	地震モーメントM <sub>0a</sub> (Nm)	7.65E+20	M <sub>0a</sub> =μD <sub>a</sub> S <sub>a</sub>
	総面積S <sub>a</sub> (km <sup>2</sup> )	2307.5	Sato et al.(2005)のすべり分布より求めた値
	平均すべり量D <sub>a</sub> (m)	11.04	D <sub>a</sub> =2.01D [Somerville et al.(1999)]
ア ス ベ 第 1 テ イ	地震モーメントM <sub>0a1</sub> (Nm)	4.39E+20	M <sub>0a1</sub> =M <sub>0a</sub> S <sub>a1</sub> <sup>1.5</sup> /ΣS <sub>ai</sub> <sup>1.5</sup>
	総面積S <sub>a1</sub> (km <sup>2</sup> )	1137.5	Sato et al.(2005)のすべり分布より求めた値
	すべり量D <sub>a1</sub> (m)	12.87	D <sub>a1</sub> =M <sub>0a1</sub> /μ/S <sub>a1</sub>
	応力降下量Δσ <sub>a1</sub> (MPa)	27.9	Δσ <sub>a1</sub> =7π <sup>1.5</sup> /16×M <sub>0a1</sub> /S <sub>a1</sub> <sup>1.5</sup>
	ライズタイムT <sub>ra1</sub> (s)	6.73	Tra1=aWa1/Vr a=0.25~0.6[地震本部(2009)]よりa=0.5とした
ア ス ベ 第 2 テ イ	地震モーメントM <sub>0a2</sub> (Nm)	1.90E+20	M <sub>0a2</sub> =M <sub>0a</sub> S <sub>a2</sub> <sup>1.5</sup> /ΣS <sub>ai</sub> <sup>1.5</sup>
	総面積S <sub>a2</sub> (km <sup>2</sup> )	650	Sato et al.(2005)のすべり分布より求めた値
	すべり量D <sub>a2</sub> (m)	9.73	D <sub>a2</sub> =M <sub>0a2</sub> /μ/S <sub>a2</sub>
	応力降下量Δσ <sub>a2</sub> (MPa)	27.9	Δσ <sub>a2</sub> =7π <sup>1.5</sup> /16×M <sub>0a2</sub> /S <sub>a2</sub> <sup>1.5</sup>
	ライズタイムT <sub>ra2</sub> (s)	4.81	Tra2=aWa2/Vr a=0.25~0.6[地震本部(2009)]よりa=0.5とした
ア ス ベ 第 3 テ イ	地震モーメントM <sub>0a3</sub> (Nm)	1.36E+20	M <sub>0a3</sub> =M <sub>0a</sub> S <sub>a3</sub> <sup>1.5</sup> /ΣS <sub>ai</sub> <sup>1.5</sup>
	総面積S <sub>a3</sub> (km <sup>2</sup> )	520	Sato et al.(2005)のすべり分布より求めた値
	すべり量D <sub>a3</sub> (m)	8.70	D <sub>a3</sub> =M <sub>0a3</sub> /μ/S <sub>a3</sub>
	応力降下量Δσ <sub>a3</sub> (MPa)	27.9	Δσ <sub>a3</sub> =7π <sup>1.5</sup> /16×M <sub>0a3</sub> /S <sub>a3</sub> <sup>1.5</sup>
	ライズタイムT <sub>ra3</sub> (s)	3.85	Tra3=aWa3/Vr a=0.25~0.6[地震本部(2009)]よりa=0.5とした
背 景 領 域	地震モーメントM <sub>0b</sub> (Nm)	7.35E+20	M <sub>0b</sub> =M <sub>0</sub> -M <sub>0a</sub>
	総面積S <sub>b</sub> (km <sup>2</sup> )	6792.5	S <sub>b</sub> =S-S <sub>a</sub>
	すべり量D <sub>b</sub> (m)	3.61	D <sub>b</sub> =M <sub>0b</sub> /μ/S <sub>b</sub>
	応力降下量Δσ <sub>b</sub> (MPa)	3.2	Δσ <sub>b</sub> =7π <sup>1.5</sup> /16×M <sub>0b</sub> /S <sub>b</sub> <sup>1.5</sup>
	ライズタイムT <sub>rb</sub> (s)	13.46	Trb=aWb/Vr a=0.25~0.6[地震本部(2009)]よりa=0.5とした
房 総 沖 小 断 層 11	地震モーメントM <sub>0a4</sub> (Nm)	6.20E+20	
	総面積S <sub>a4</sub> (km <sup>2</sup> )	1800	行谷ほか(2011)
	すべり量D <sub>a4</sub> (m)	10.0	D <sub>a4</sub> =M <sub>0a4</sub> /μ/S <sub>a4</sub>
	応力降下量Δσ <sub>a4</sub> (MPa)	19.8	Δσ <sub>a4</sub> =7π <sup>1.5</sup> /16×M <sub>0a4</sub> /S <sub>a4</sub> <sup>1.5</sup>
	ライズタイムT <sub>ra4</sub> (s)	6.92	Tra4=aWa4/Vr a=0.25~0.6[地震本部(2009)]よりa=0.5とした

一方、元禄型関東地震（M8.2）の波源モデル（津波断層モデル）としては、関東直下に沈み込むフィリピン海プレートの上面深度が浅くなったことを加味し、1703年の元禄関東地震における地殻変動量から推定された、最新の行谷ほか（2011）の一樣すべりモデルに房総沖の小断層 11 を加えたモデルを用いている。



**図 行谷ほか(2011)における元禄・大正関東地震の津波断層モデル  
(元禄型関東地震の場合は、房総沖の小断層 11 を含む場合がある。)**

(フィリピン海プレート上面深さ分布(赤線)と設置した断層面(緑線)、  
緑字で書かれた番号は小断層の番号を表す。)



**図 地殻上下変動量分布からインバージョン解析により推定したすべり量分布  
(行谷ほか, 2011)**

### Ⅲ－３ 地震動の分布

#### 1 地震動予測手法とこれまでの予測との比較

内閣府（2012）「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」を踏まえ、地震動については、東京都の区部・多摩や島しょ部において最大震度を示す①東側ケース＋経験的手法、②東側ケース単独の2パターンについて、地震動予測を実施する。

地震動予測手法の概略について、以下の図に示す。強震波形計算手法としては、内閣府（2012）と同様の統計的グリーン関数法を用いた。

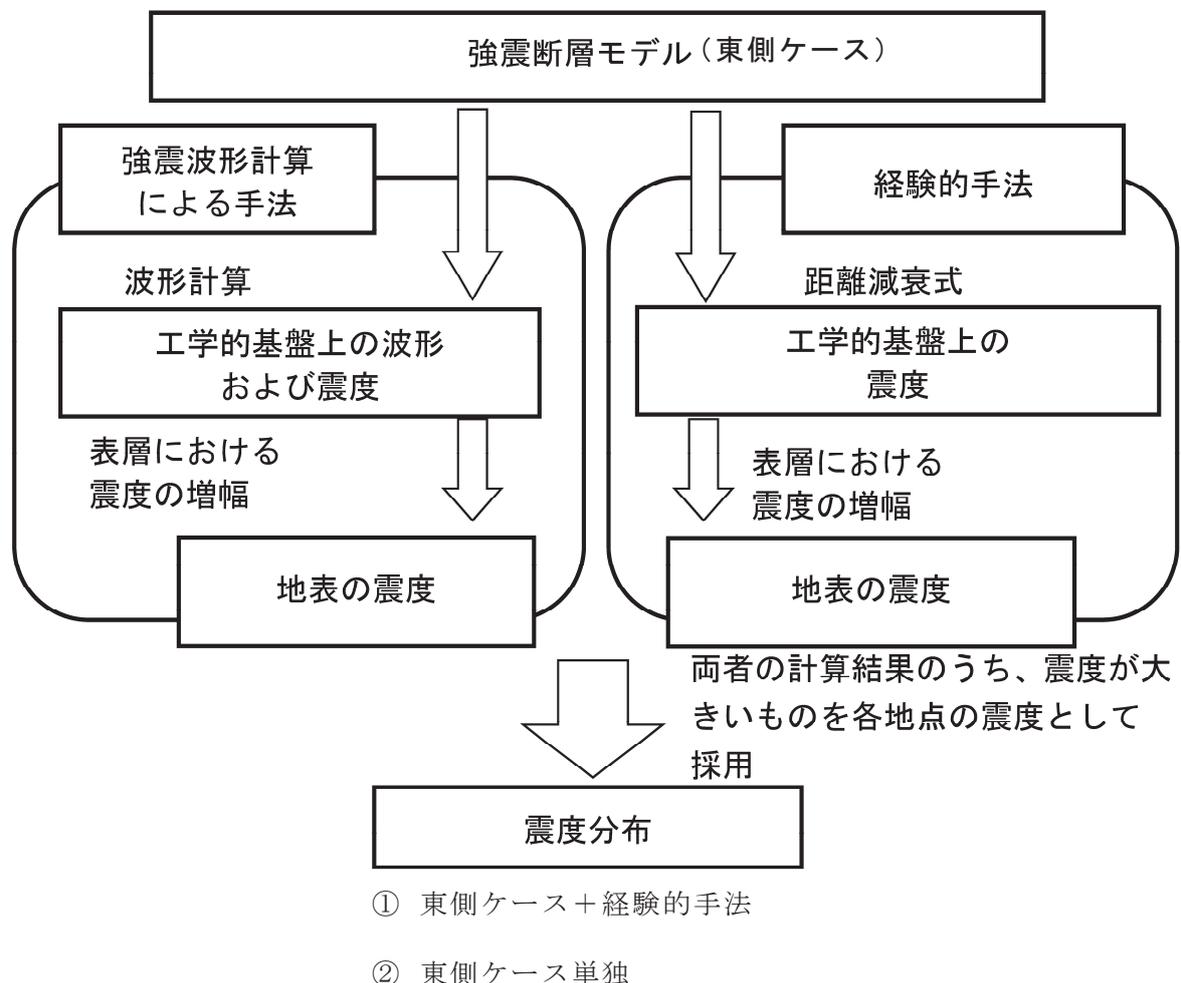


図 地震動予測手法の概観(内閣府(2012)に加筆)

また、経験的手法としては、内閣府（2012）と同様の司・翠川（1999）の距離減衰式を用いた。司・翠川（1999）の距離減衰式は、断層最短距離  $X(\text{km})$  を用いた場合、

$$\log A = b - \log(X + c) - kX$$

$$b = aM_w + hD + \sum d_i S_i + e + \varepsilon$$

となる。ただし、 $A$  は地震動（工学的基盤加速度、工学的基盤速度等）の最大振幅値、 $c$  は幾何減衰の補正係数、 $k$  は  $A$  が最大速度の場合 0.002 だが、中央防災会議（2003）や内閣府（2012）では 0.0027 を用いており、今回も  $k = 0.0027$  を用いる。 $M_w$  はモーメントマグニチュード、 $D$  は震源深さ、 $S$  は断層タイプ、 $e$  は定数項、 $\varepsilon$  は標準偏差で、 $a, h, d$  は回帰係数を表し、 $A$  が最大速度の場合  $a = 0.58$ 、 $h = 0.0038$ 、 $d$  はプレート間地震の場合  $-0.02$ 、 $e = -1.29$  である。

内閣府（2012）では、経験的手法のパラメータについて評価を行っている。それによると、次の3点により、南海トラフ巨大地震  $M9.0$  の検討に用いる経験的手法のパラメータ  $M_w$  を 8.3 と設定している。

- ・ 中央防災会議（2003）より、司・翠川（1999）の距離減衰式は  $M_w 8$  より大きな地震に対して適用できるように作成されたものではないが、過去の  $M_w 8$  を超える地震の震度分布と比較すると、全体的には距離減衰の関係は成立していると考えられた。
- ・ 中央防災会議（2003）が検討した東海・東南海・南海地震は  $M_w 8.7$  の地震であったが、経験的手法のパラメータ  $M_w 8.0$  を仮定するとその震度分布をよく説明した。
- ・ 内閣府（2012）より、 $M_w 9.0$  の平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の震度分布に適用されている経験式（司・翠川（1999）の距離減衰式）のパラメータ  $M_w$  は 8.2～8.3 であった。

以上を踏まえ、今回、南海トラフ巨大地震  $M9.0$  の震度分布を経験的手法（司・翠川（1999）の距離減衰式）で計算する際には、内閣府（2012）で設定したパラメータ  $M_w 8.3$  を用いた。

以下の表に内閣府（2012）と今回の地震動予測手法の比較表を示す。

**表 南海トラフ巨大地震の地震動予測に関する比較**

項目	内閣府（2012）	東京都（2012）	今回
想定マグニチュード M	9.0	7.3～8.2	9.0
対象地震	南海トラフ巨大地震 基本ケース、東側ケース 西側ケース、陸側ケース ＋経験的手法	東京湾北部地震 多摩直下地震 元禄型関東地震 立川断層帯地震	南海トラフ巨大地震 ① 東側ケース＋経験的手法 ② 東側ケース単独
工学的基盤波形予測手法	統計的グリーン関数法	統計的グリーン関数法＋差分法	統計的グリーン関数法
幾何減衰の補正係数 C の値	18km	2.8km	18km
深部地盤モデル	全国 1 次地下構造モデル（暫定版）（地震本部, 2012）を改良（主に中京地域）	長周期地震動予測地図 2009 年試作版（地震本部, 2009）＋首都直下地震防災・減災プロジェクト（2012）のフィリピン海プレート上面深度	全国 1 次地下構造モデル（暫定版）（地震本部, 2012）（震源域・島しょ部）＋東京都（2012）の深部地盤モデル（区部・多摩を中心とした南関東）
表層地盤のメッシュサイズ	250m メッシュ	50m メッシュ 250m メッシュ	50m メッシュ 250m メッシュ
50m メッシュのデータ	—	東京ガス株（2004）SI 増幅度データ	東京ガス株（2004）SI 増幅度データを活用して内閣府（2012）を改良
250m メッシュ微地形区分（若松・松岡, 2011）の AVS30・増幅度・震度増分	内閣府（2012）で新たに評価＋横田ほか（2005）	松岡ほか（2005）、Midorikawa et al.（1994）、童・山崎（1996）（中央防災会議（2004）、東京都（2006）と同様）	内閣府（2012）で新たに評価＋横田ほか（2005）
250m メッシュの PS 検層データ・ボーリングデータ	微地形から求める AVS30 とは別に PS 検層結果から AVS30 を求め 250m メッシュデータとして使用	—	（内閣府（2012）の AVS30・震度増分を使用）

## 2 表層地盤の揺れやすさについて

地震動が工学的基盤から地表に伝わる際の、表層地盤による地震動の増幅効果を、震度については震度増分で表現する。一種の表層地盤の揺れやすさの指標となる。

今回の表層地盤の震度増分については、東京都（2012）とは異なり、「南海トラフの巨大地震モデル検討会」で検討し採用された内閣府（2012）の震度増分を採用する。しかし、内閣府（2012）では全て 250m メッシュであるため、下図に示す 50m メッシュの範囲については、東京ガス株式会社の SI 増幅度データから求めた 50m メッシュ震度増分の 250m メッシュごとのばらつきを、内閣府（2012）の震度増分に加えることで、50m メッシュに対応した震度増分を作成した。

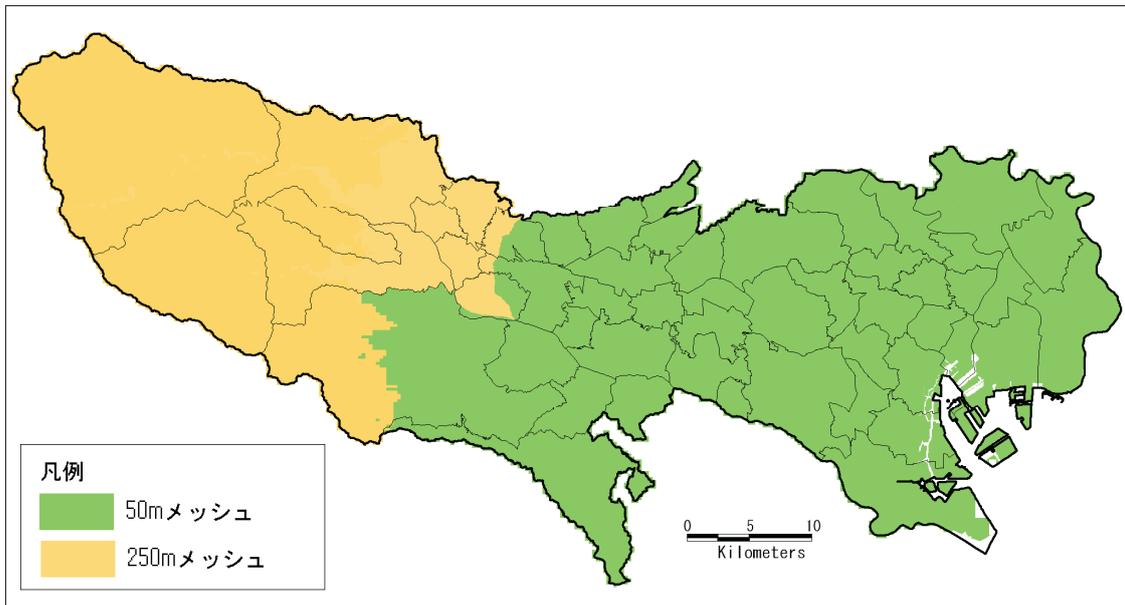


図 50m メッシュと 250m メッシュの範囲

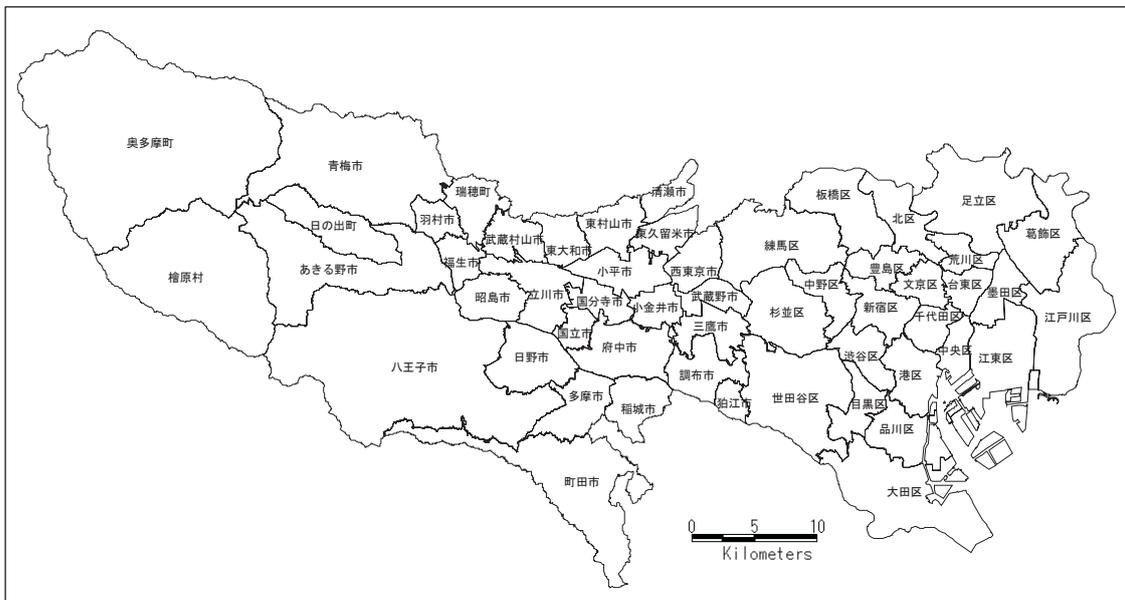


図 都内の区市町村図（島しょ部を除く。）

作成した震度増分の分布図（区部・多摩）を示す。

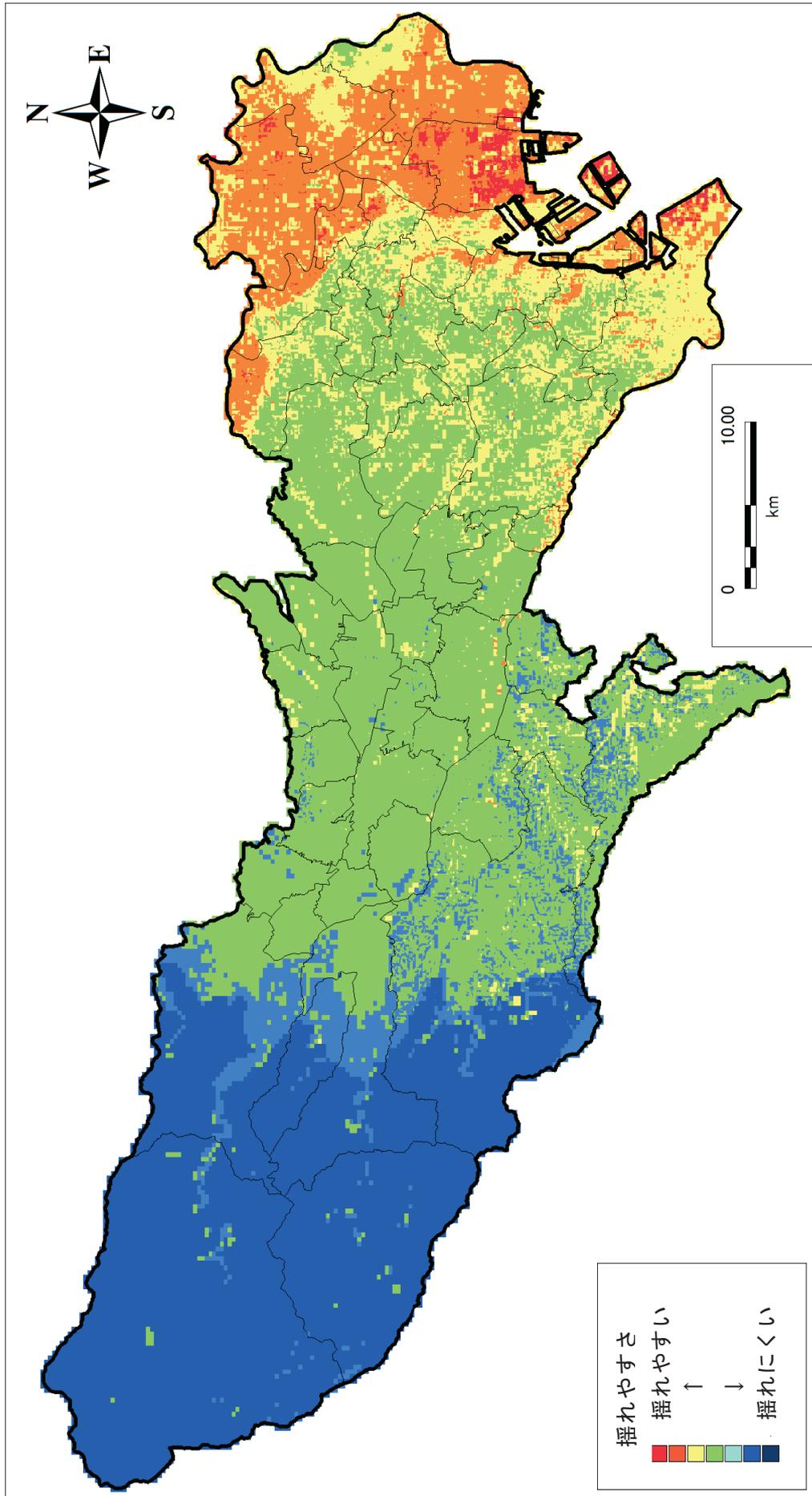


図 今回作成した表層地盤の揺れやすさ(震度増分)の分布図

### 3 南海トラフ巨大地震の震度分布

---

南海トラフ巨大地震（M9.0）の「東側ケース」について、統計的グリーン関数法による波形計算を実施して、工学的基盤波形を計算し、作成した表層地盤の震度増分を加えて地表の震度分布を求めた。計算した範囲は、深部地盤モデルが存在する区部・多摩～鳥島までとなる。

これに経験的手法（距離減衰式）によって工学的基盤における震度を計算し、同じ震度増分で地表震度を求め、東側ケースの地表震度と比較して大きな方を採用した結果を、「東側ケース＋経験的手法」の地表の震度分布として求めた。

区部・多摩から鳥島までの震度分布を、以下の順で示す。

- (1) 東側ケース（単独）
- (2) 東側ケース＋経験的手法

一方、小笠原諸島については、深部地盤モデルが整っていないため、統計的グリーン関数法による東側ケースの計算はできない。そこで、経験的手法（距離減衰式）による震度分布を求め、(2)に追記した。

(1) 東側ケース（単独）の地表震度分布図

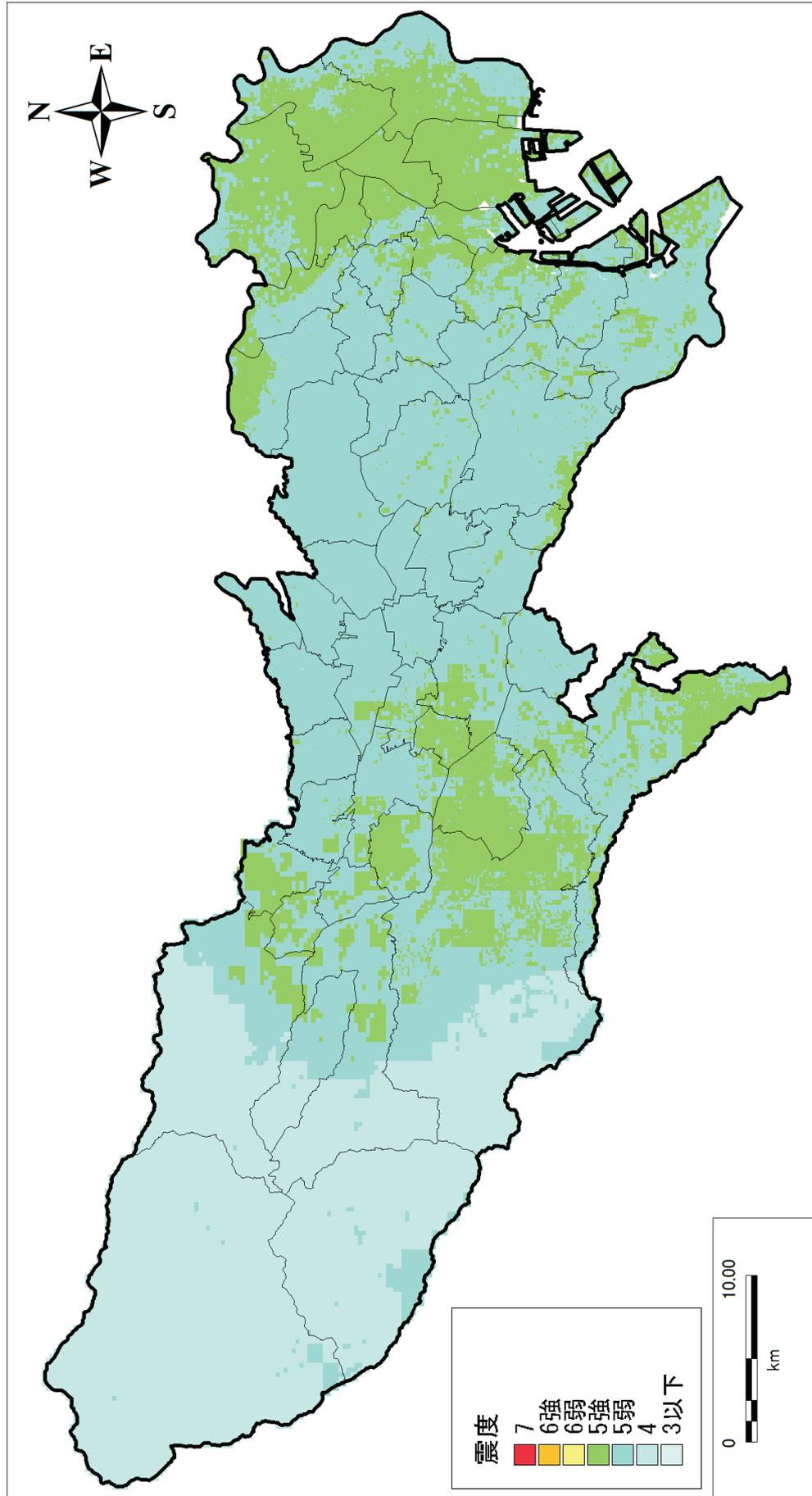


図 南海トラフ巨大地震 (M9.0) 東側ケースの地表震度分布図(区部・多摩)

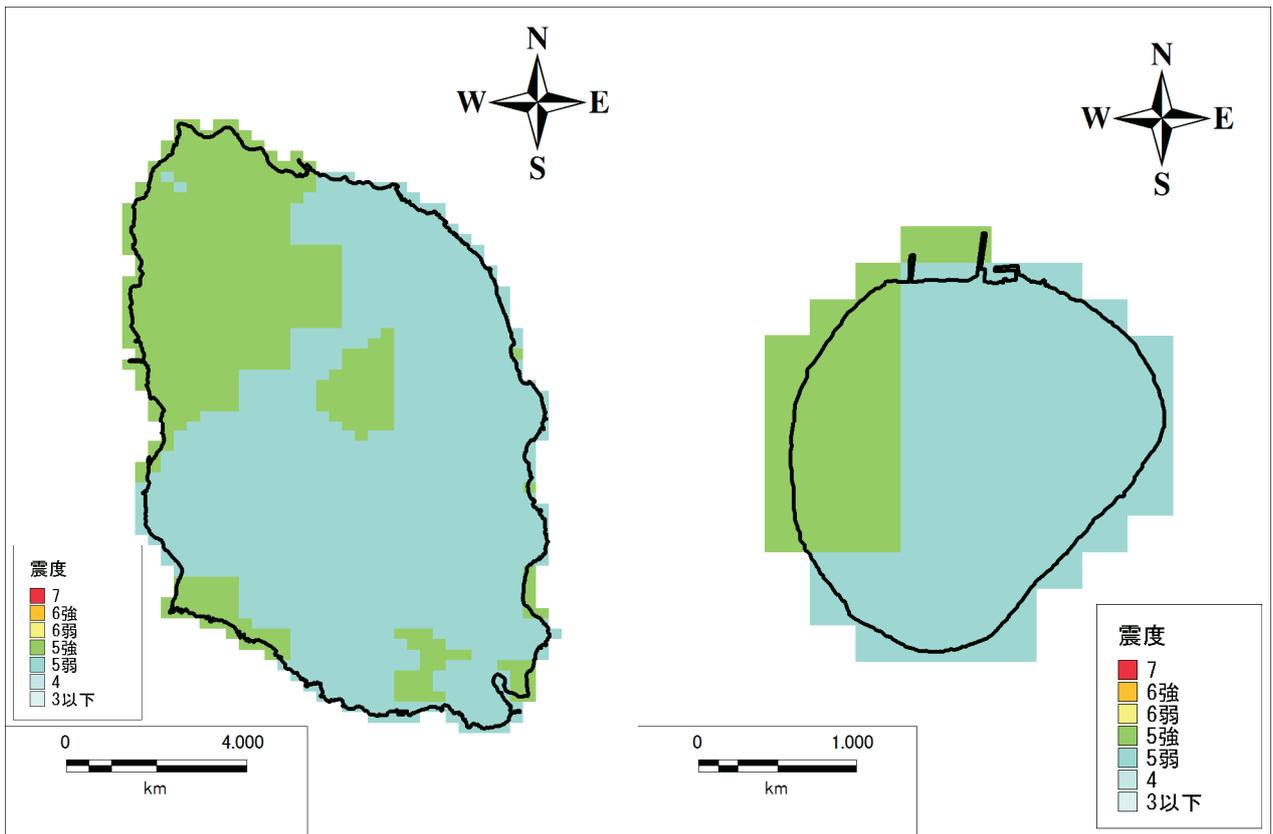


図 大島の地表震度分布                      図 利島の地表震度分布  
 (南海トラフ巨大地震 (M9.0)・東側ケース)

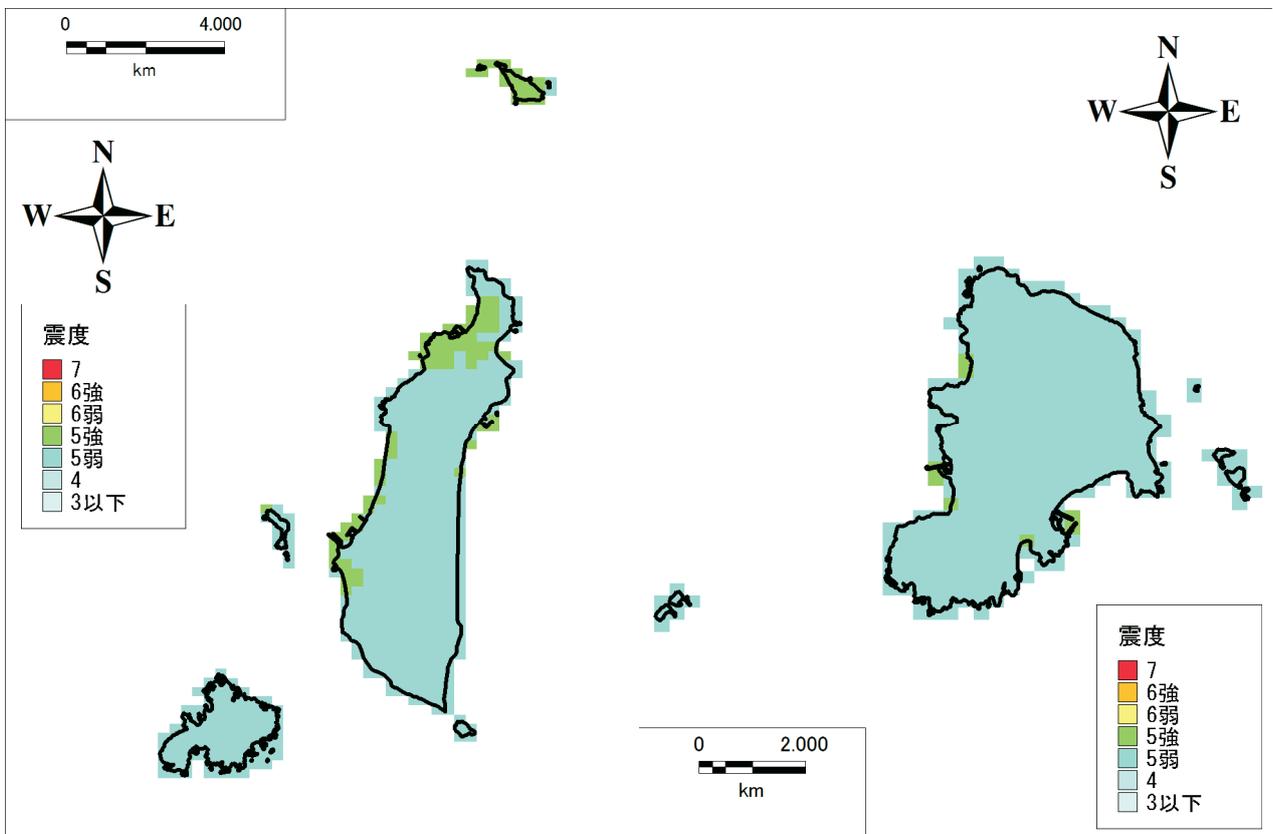


図 新島・式根島の地表震度分布                      図 神津島の地表震度分布  
 (南海トラフ巨大地震 (M9.0)・東側ケース)

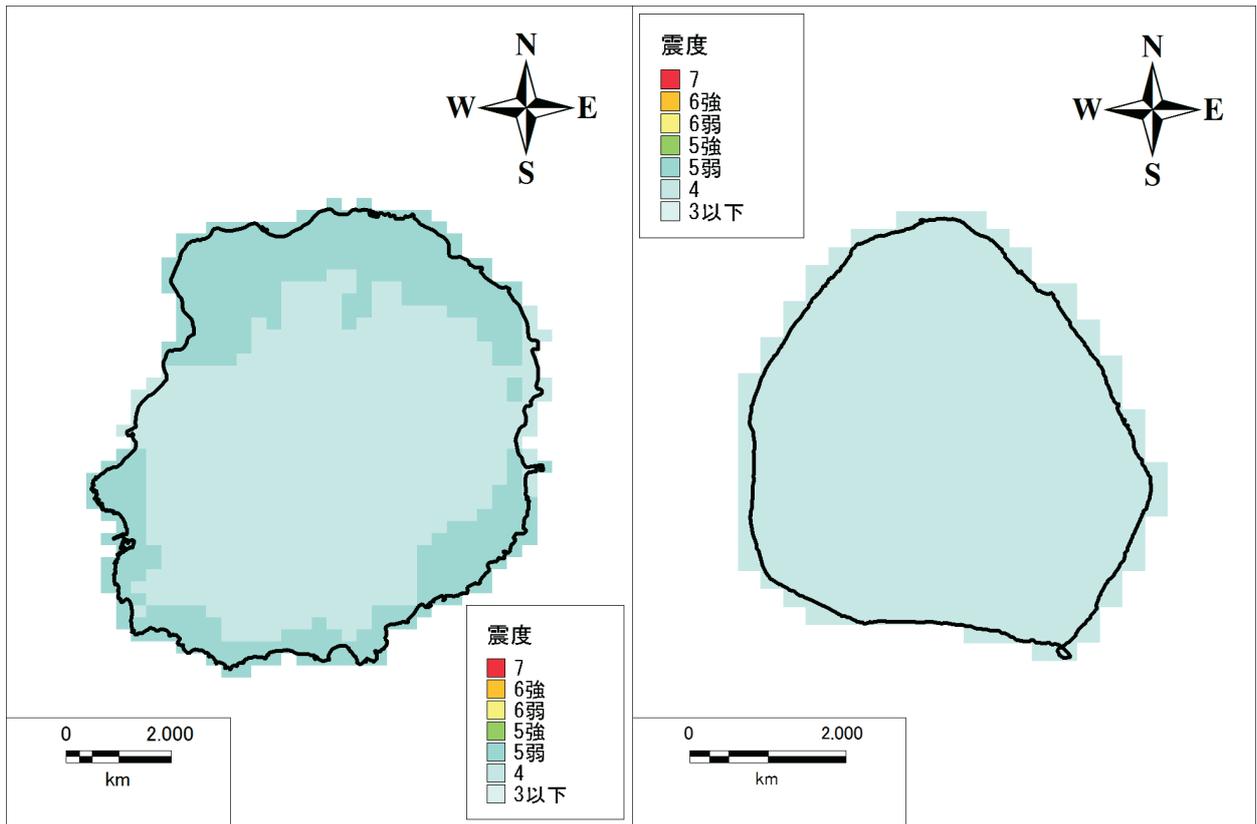


図 三宅島の地表震度分布

図 御蔵島の地表震度分布

(南海トラフ巨大地震 (M9.0)・東側ケース)

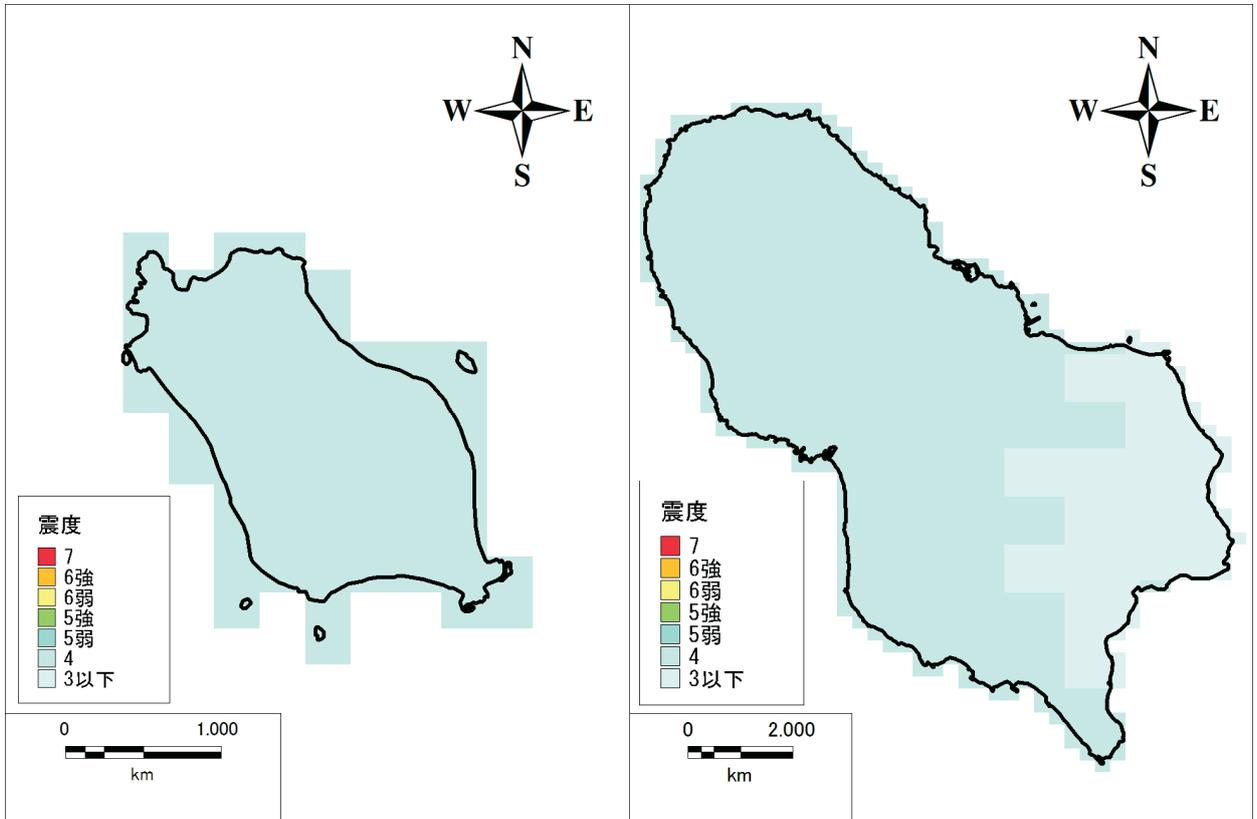


図 八丈小島の地表震度分布

図 八丈島の地表震度分布

(南海トラフ巨大地震 (M9.0)・東側ケース)

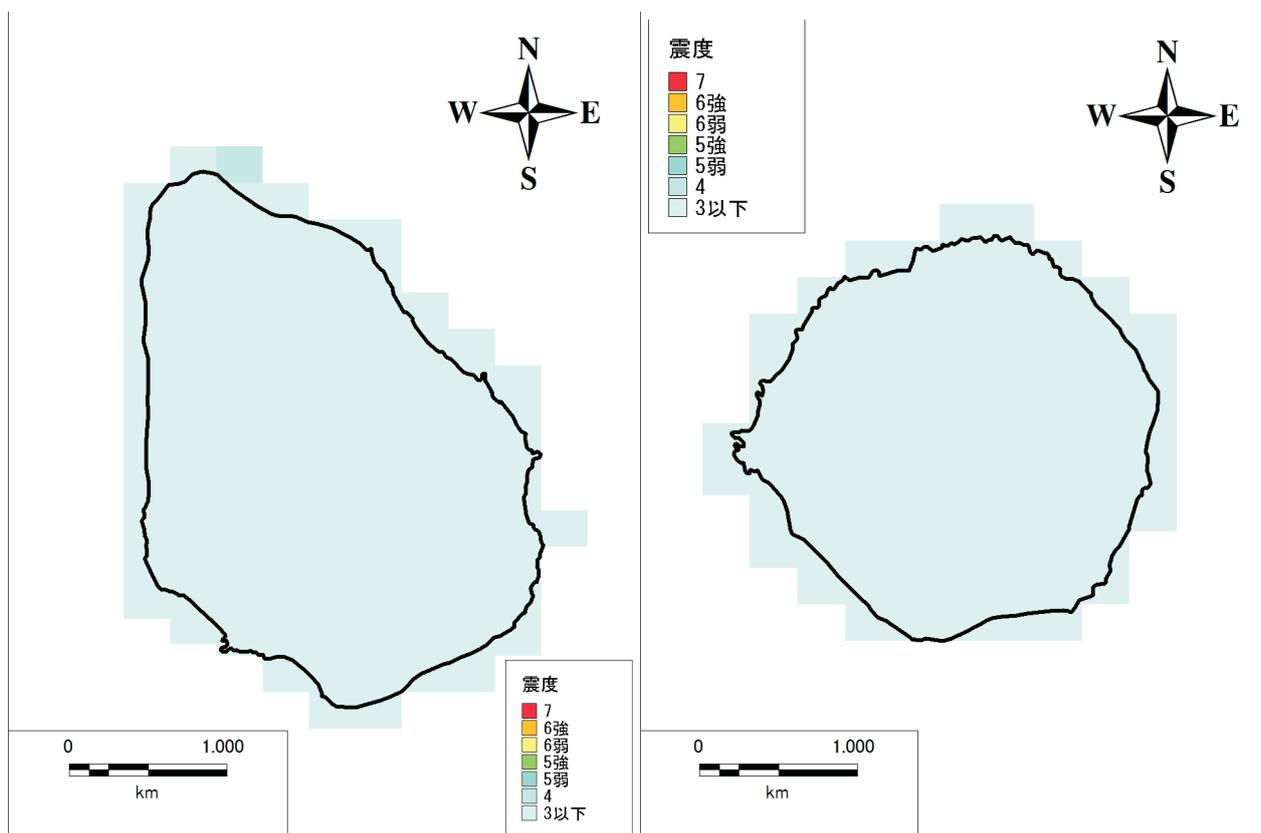


図 青ヶ島の地表震度分布

図 鳥島の地表震度分布

(南海トラフ巨大地震 (M9.0)・東側ケース)

(2) 東側ケース+経験的手法の地表震度分布図

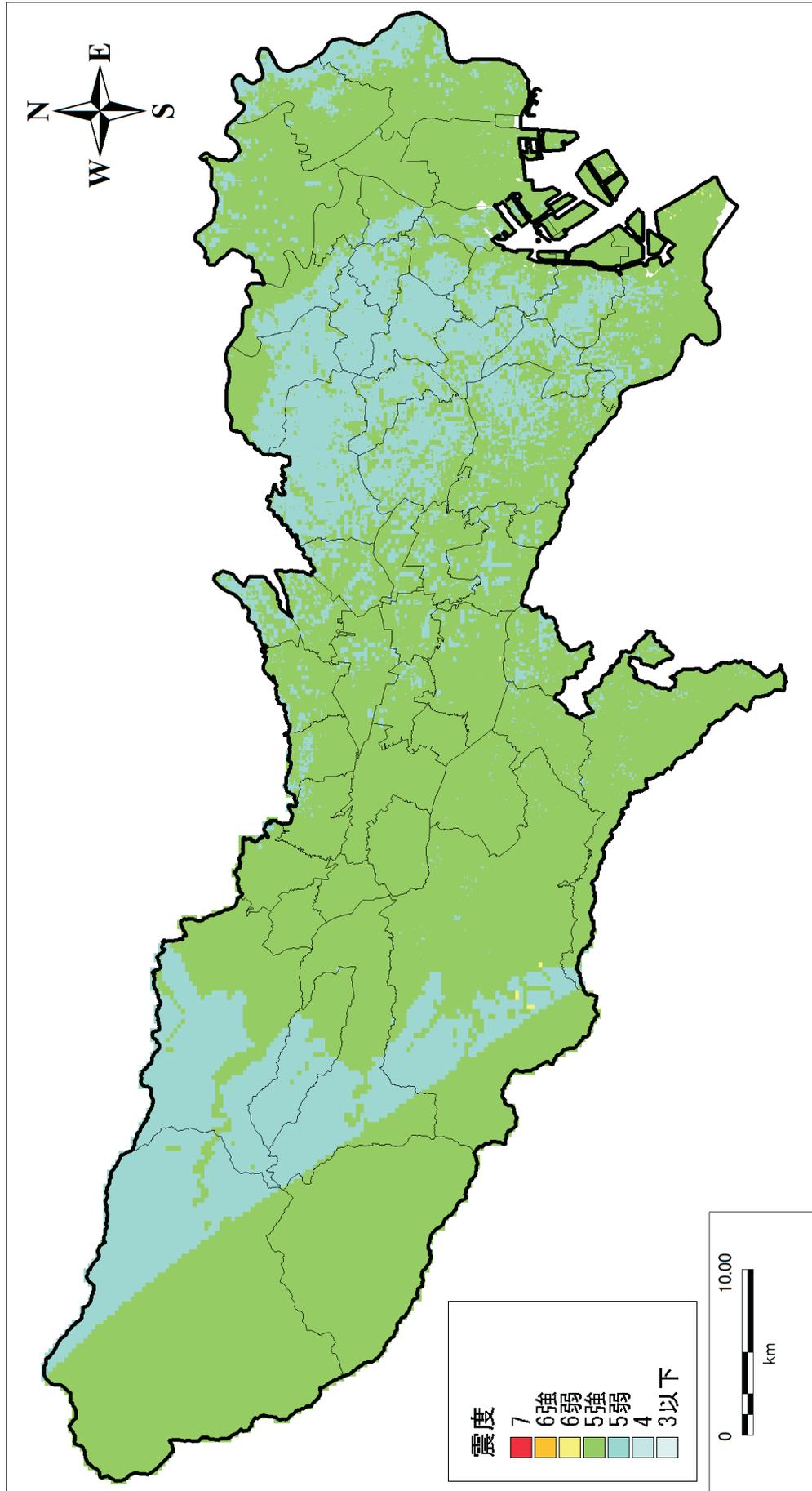


図 南海トラフ巨大地震 (M9.0) 東側ケース+経験的手法の地表震度分布図(区部・多摩)

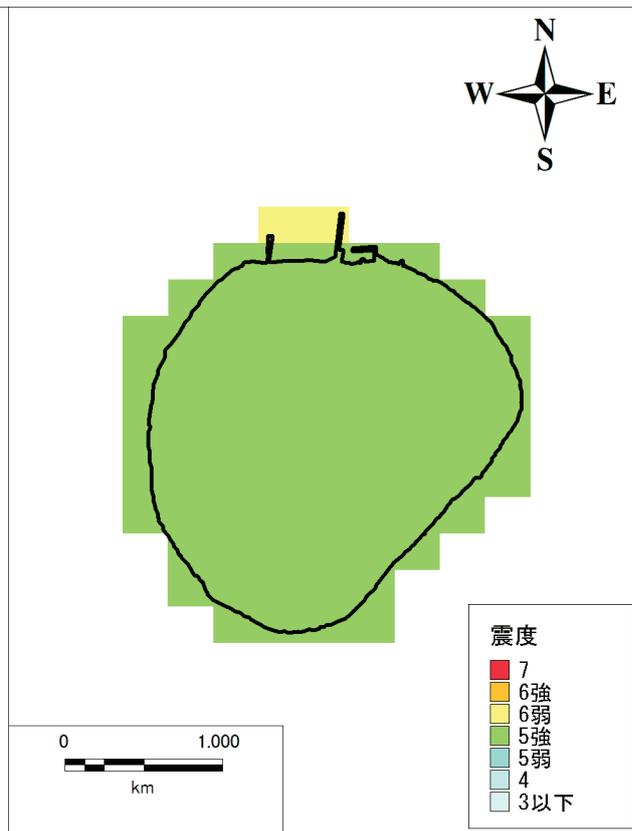
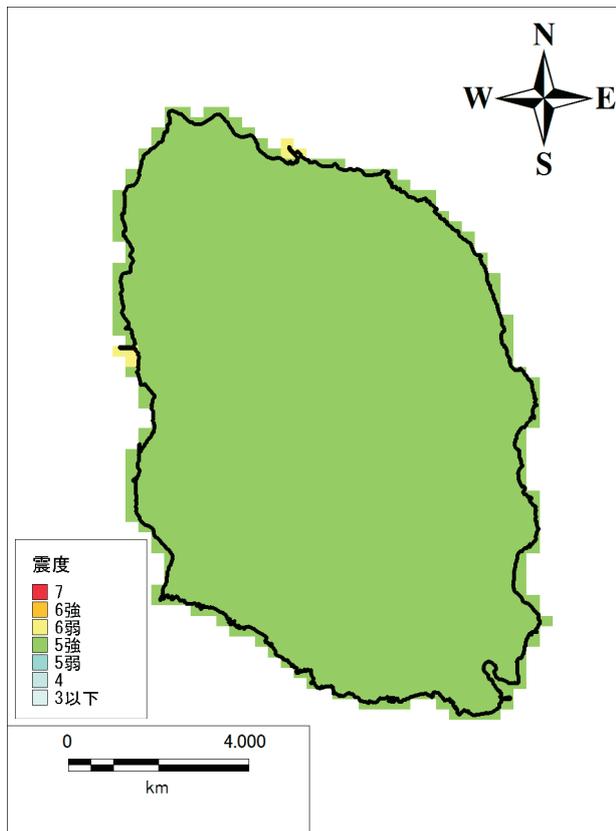


図 大島の地表震度分布

図 利島の地表震度分布

(南海トラフ巨大地震 (M9.0)・東側ケース+経験的手法)

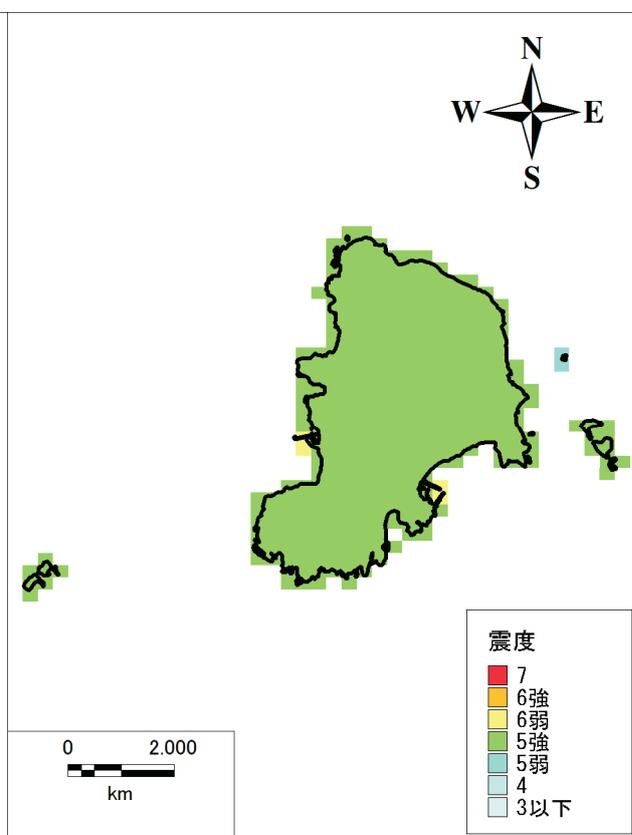
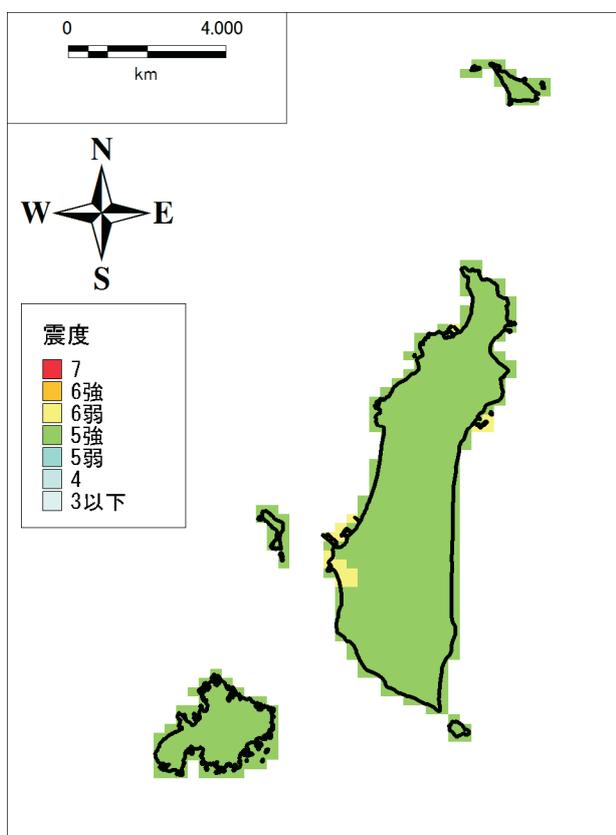


図 新島・式根島の地表震度分布

図 神津島の地表震度分布

(南海トラフ巨大地震 (M9.0)・東側ケース+経験的手法)

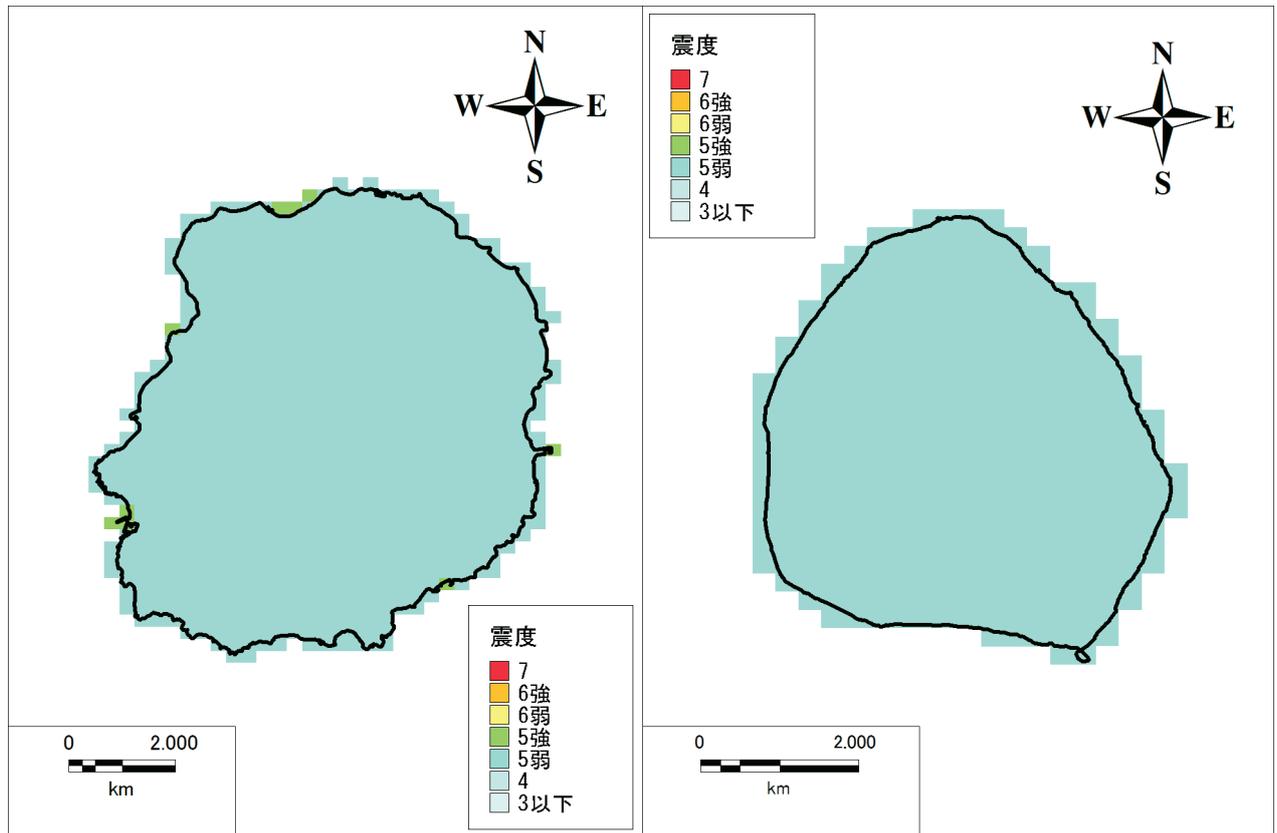


図 三宅島の地表震度分布

図 御蔵島の地表震度分布

(南海トラフ巨大地震 (M9.0)・東側ケース+経験的手法)

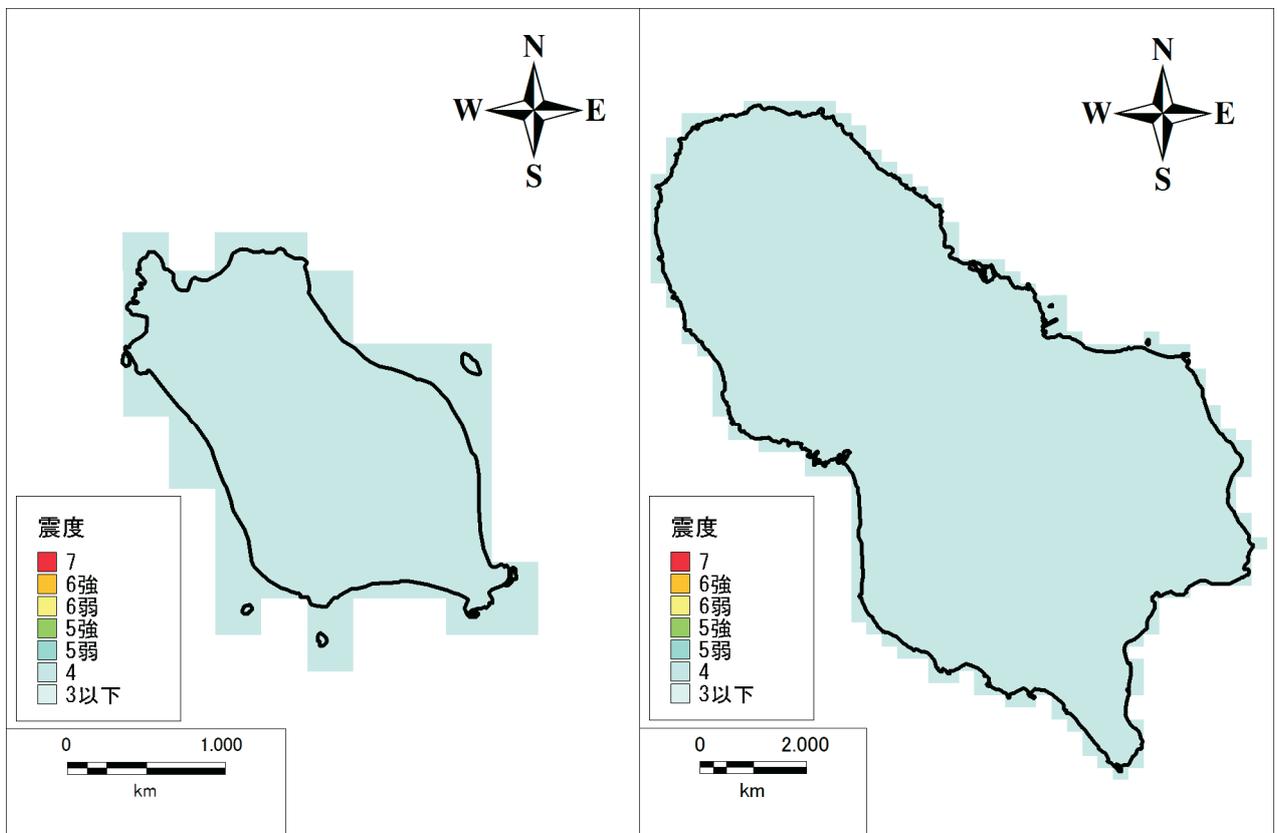


図 八丈小島の地表震度分布

図 八丈島の地表震度分布

(南海トラフ巨大地震 (M9.0)・東側ケース+経験的手法)

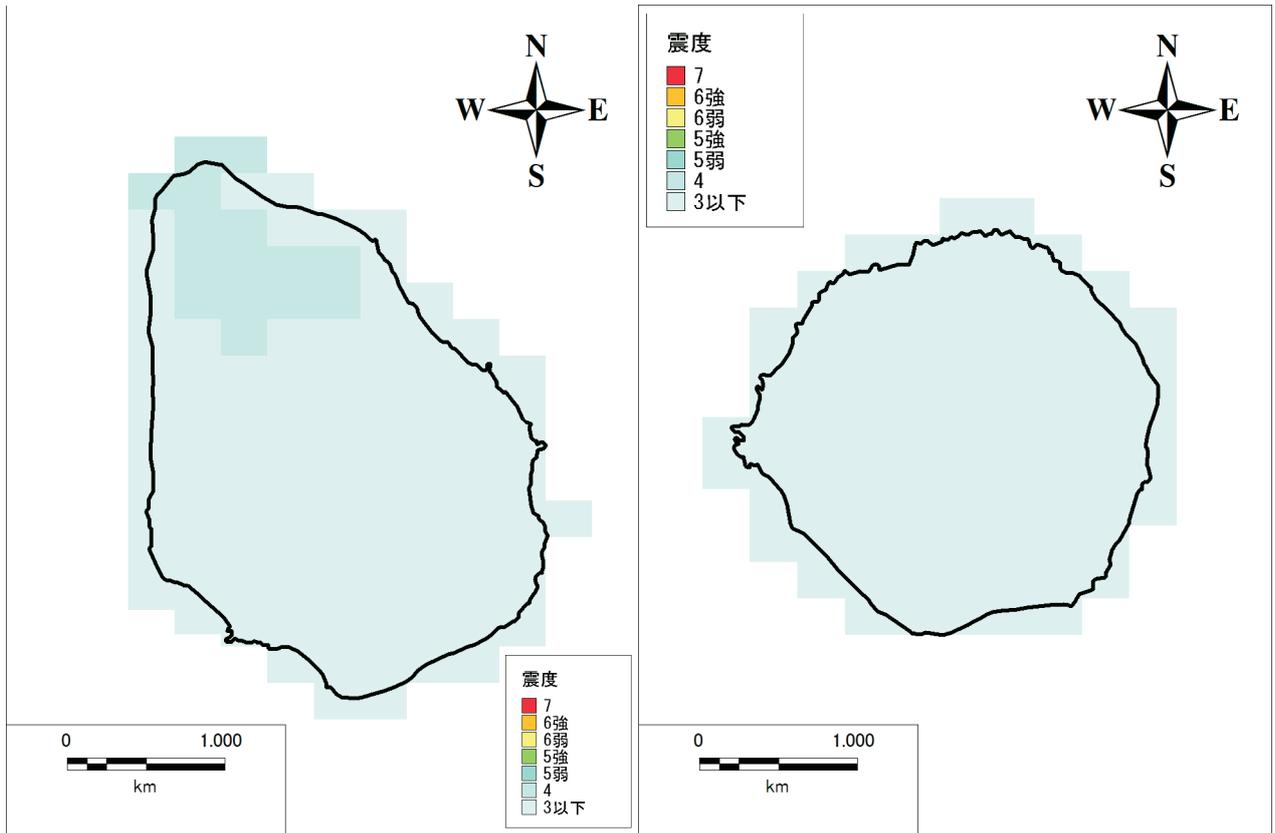


図 青ヶ島の地表震度分布

図 鳥島の地表震度分布

(南海トラフ巨大地震 (M9.0)・東側ケース+経験的手法)

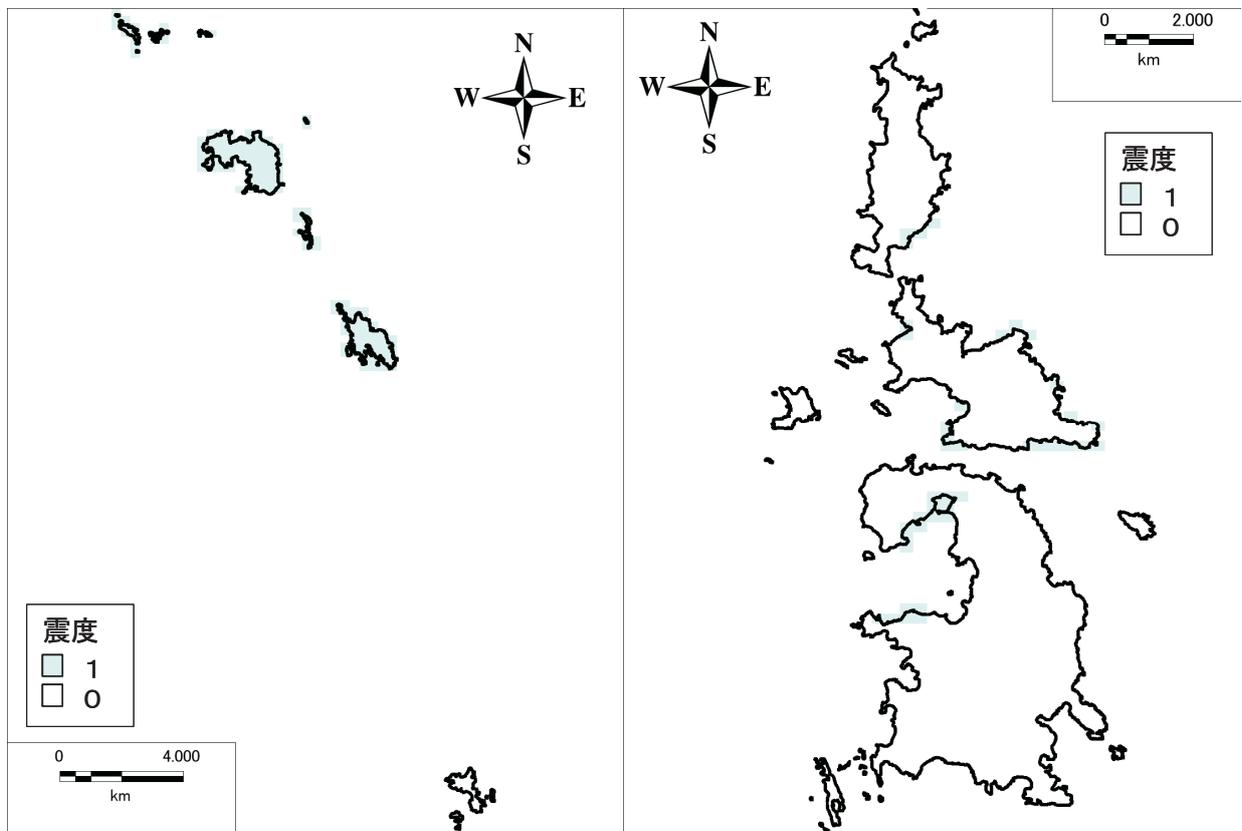


図 伊豆列島の地表震度分布

図 父島と周辺の地表震度分布

(南海トラフ巨大地震 (M9.0)・経験的手法)

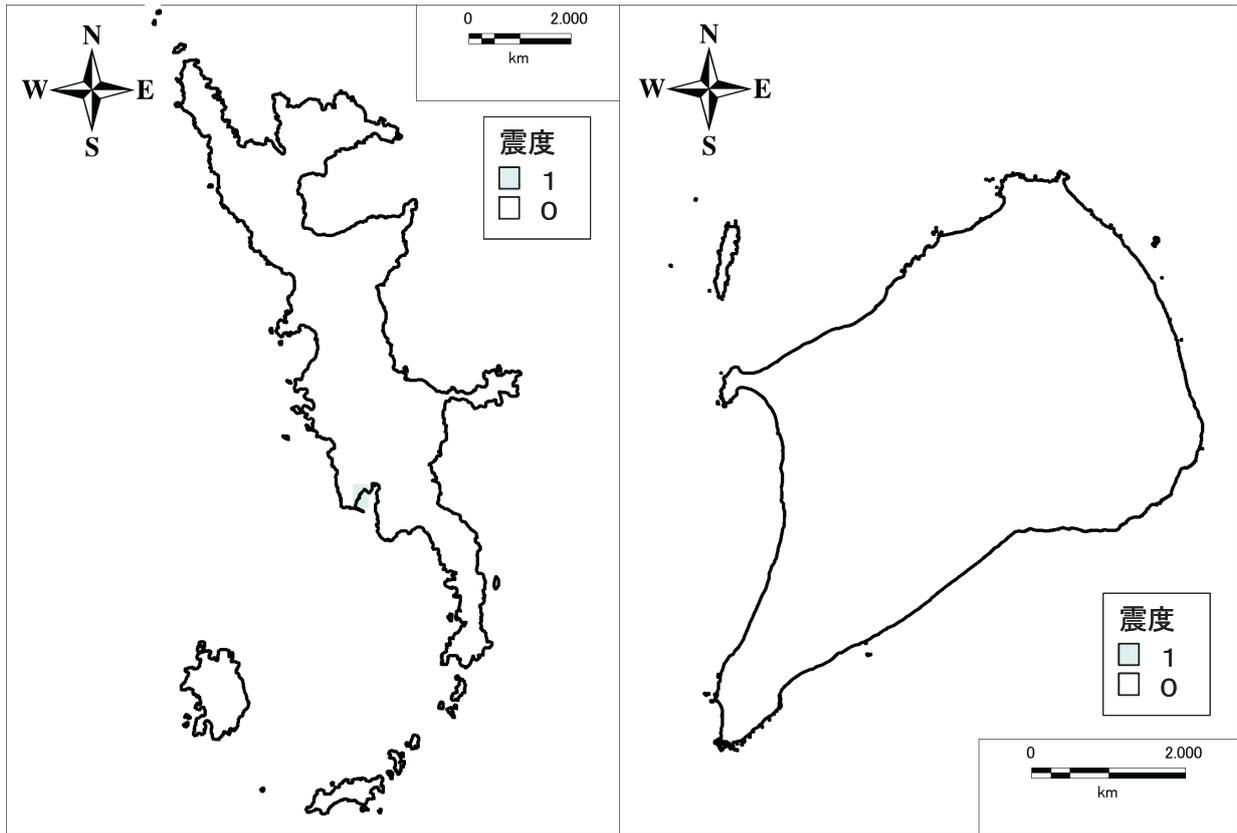


図 母島と周辺の地表震度分布

図 硫黄島の地表震度分布

(南海トラフ巨大地震 (M9.0) ・経験的手法)

## 4 元禄型関東地震の震度分布(島しょ部)

比較のため、島しょ部における、元禄型関東地震（M8.2）の地表震度分布について、東京都（2012）と同じ手法で計算した結果を示す。

東京都（2012）の元禄型関東地震（M8.2）では、工学的基盤波形には、統計的グリーン関数法（短周期側）による地震波形と差分法（長周期側）による地震波形を周期2秒で結合したハイブリッド波形を用いている。深部地盤モデルが存在した区部・多摩から新島北部までが計算されている。

今回、新島南部以南から鳥島まで深部地盤モデルが存在する地下構造モデルを使用していることから、同領域において元禄型関東地震（M8.2）について工学的基盤におけるハイブリッド波形を算出し、地表震度を計算した。表層地盤の震度増分は、東京都（2012）における震度増分を使用した。

小笠原諸島については、深部地盤モデルが整備されていないため、元禄型関東地震で波形計算を行っていない。司・翠川（1999）の距離減衰式により、小笠原諸島の工学的基盤における計測震度を求めたところ0であったため、地表計測震度も0と考えられる。

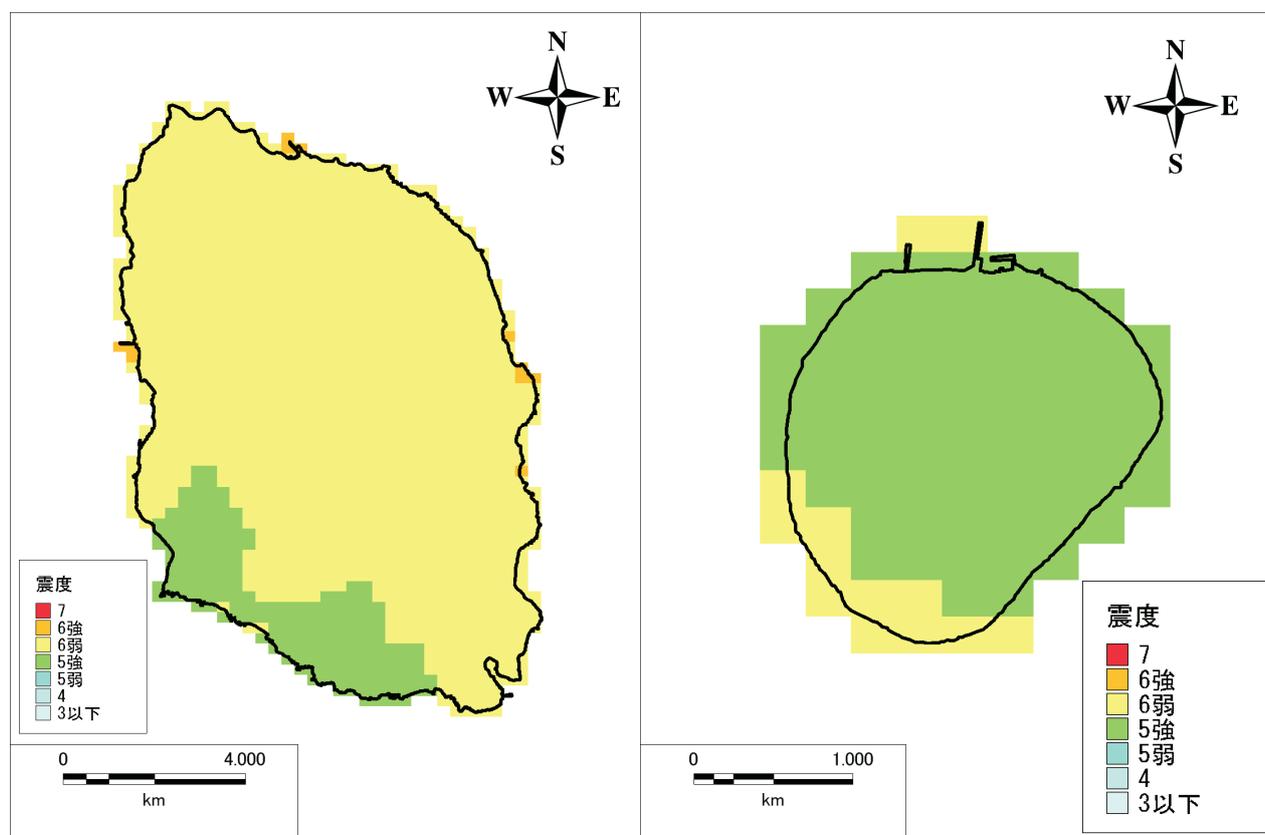


図 大島の地表震度分布

図 利島の地表震度分布

(元禄型関東地震(東京都,2012))

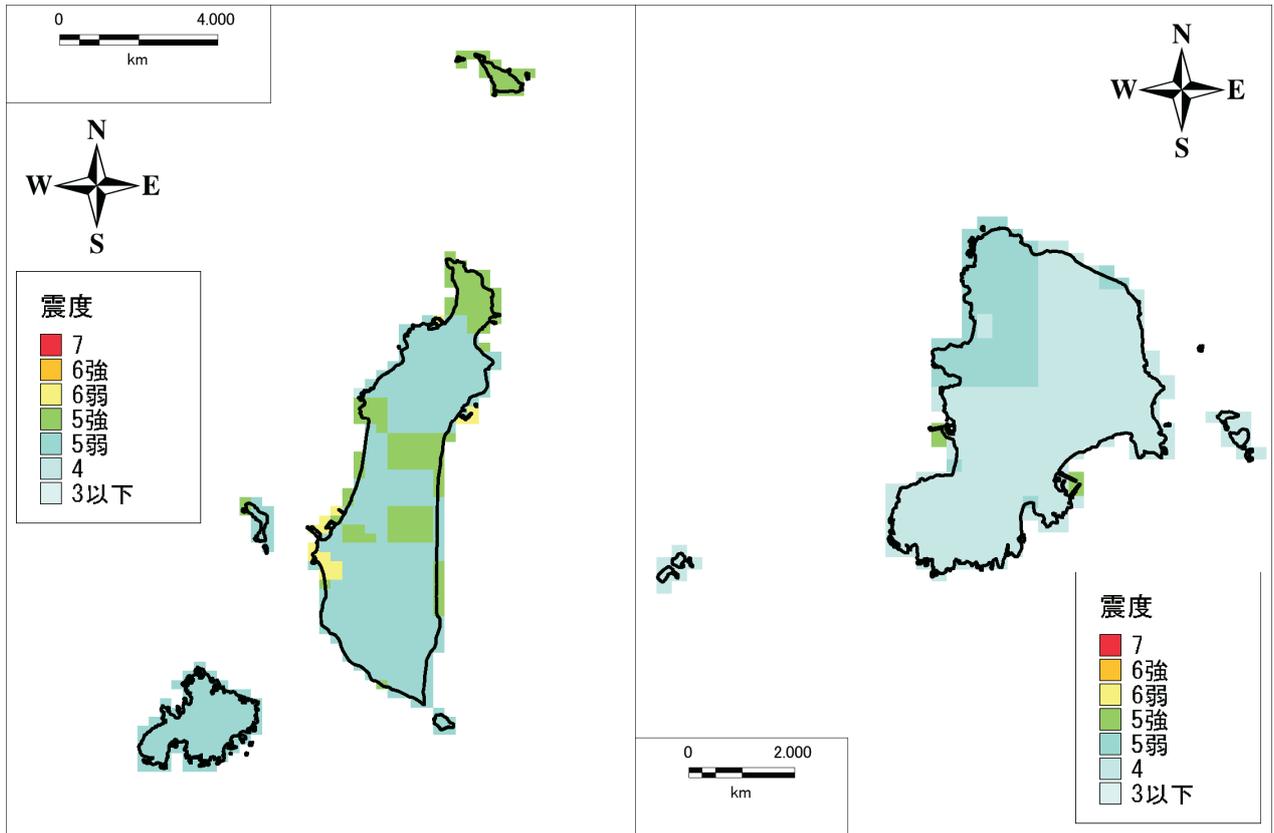


図 新島・式根島の地表震度分布  
(元禄型関東地震)

図 神津島の地表震度分布

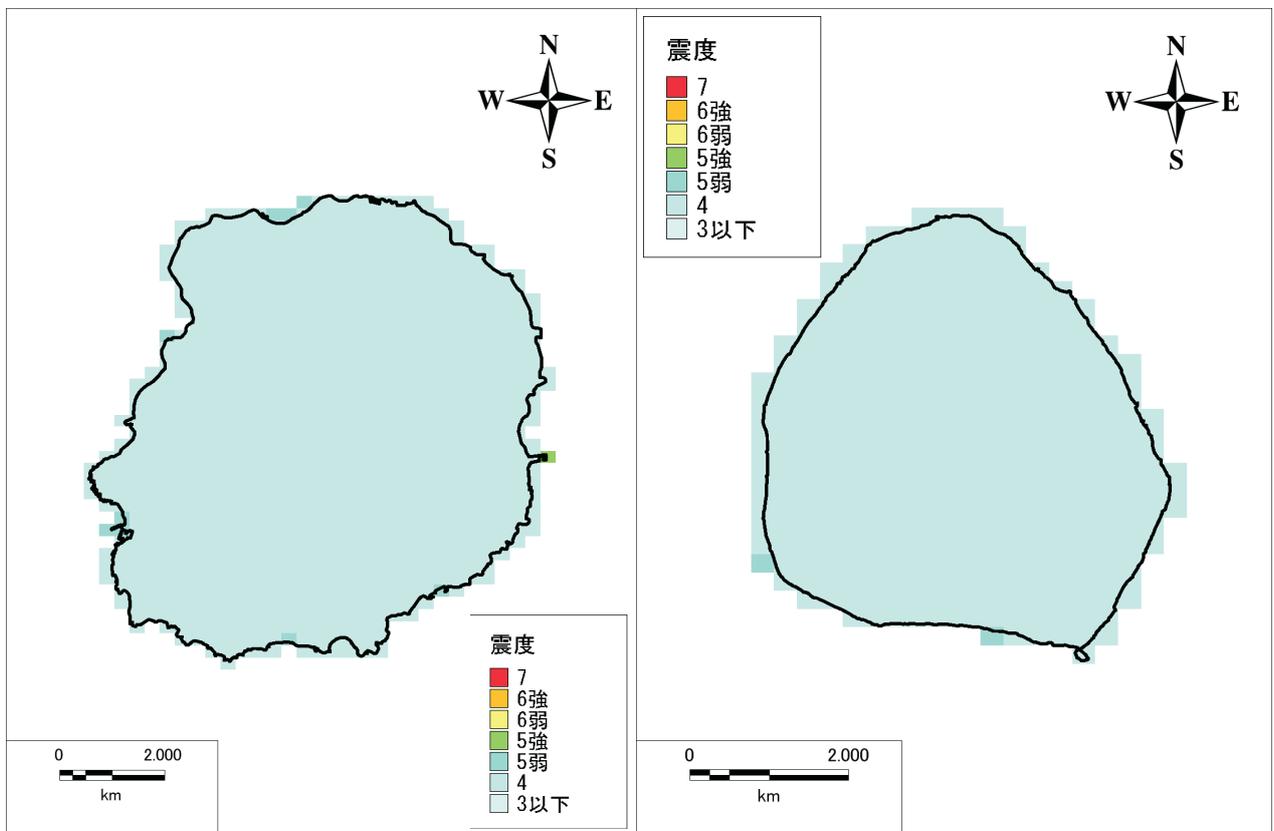


図 三宅島の地表震度  
(元禄型関東地震)

図 御蔵島の地表震度

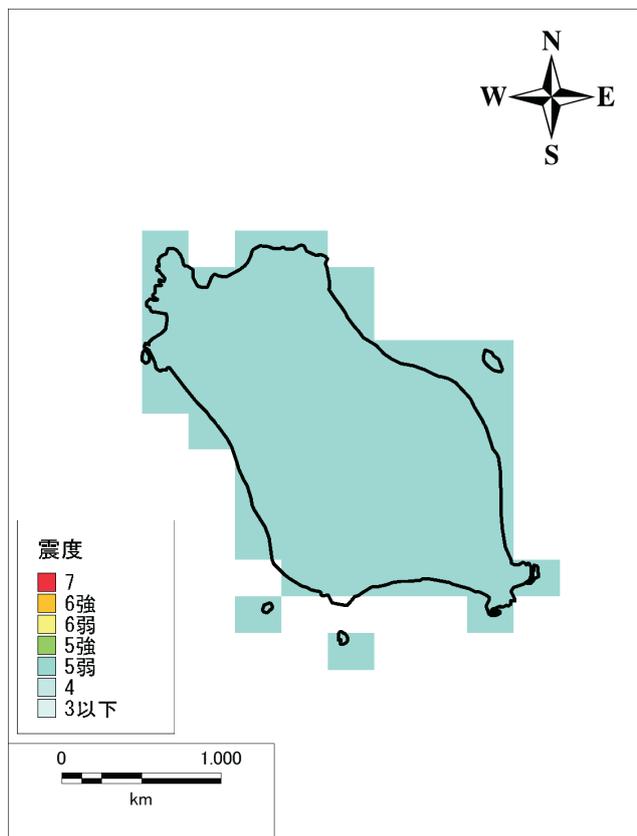


図 八丈小島の震度分布

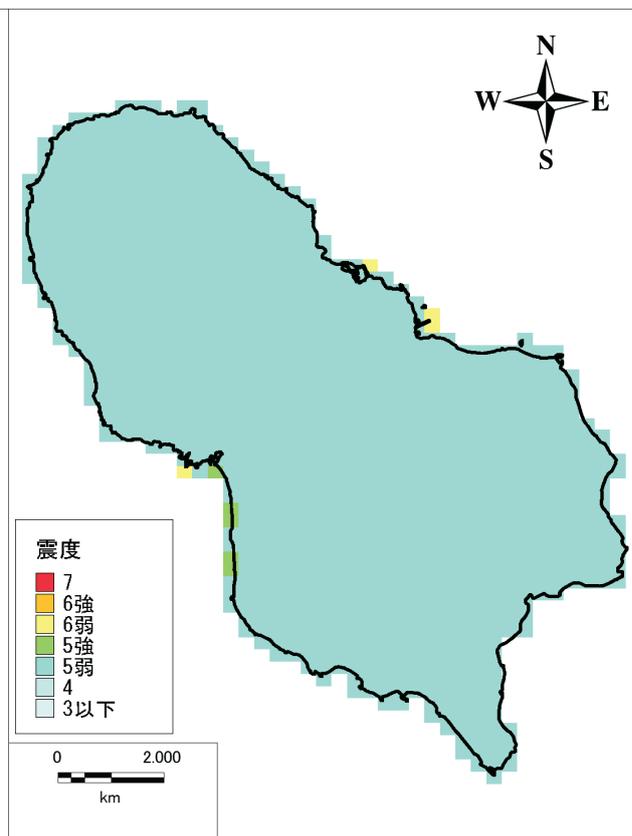


図 八丈島の震度分布

(元禄型関東地震)



図 青ヶ島の震度分布

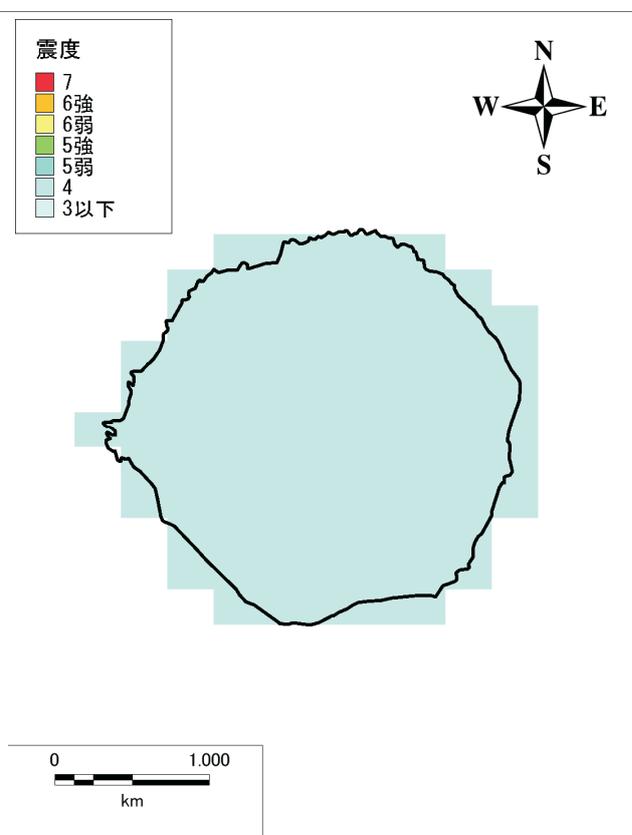


図 鳥島の震度分布

(元禄型関東地震)

## Ⅲ－４ 液状化危険度の予測

### 1 液状化危険度の予測手法

地震動の算出結果を用いて、道路橋示方書（2002）を基本とし、安田ほか（2009）による細粒分含有率の補正を加えた  $F_L$  法、 $P_L$  法により 250m メッシュごとの液状化危険度を求めた。検討の流れを以下に示す。

まず、若松・松岡（2011）の世界測地系 250m メッシュ微地形区分図より液状化対象となるメッシュを抽出し、GL-20m 以浅の盛土層（砂質土）及び砂質土層を対象とした。

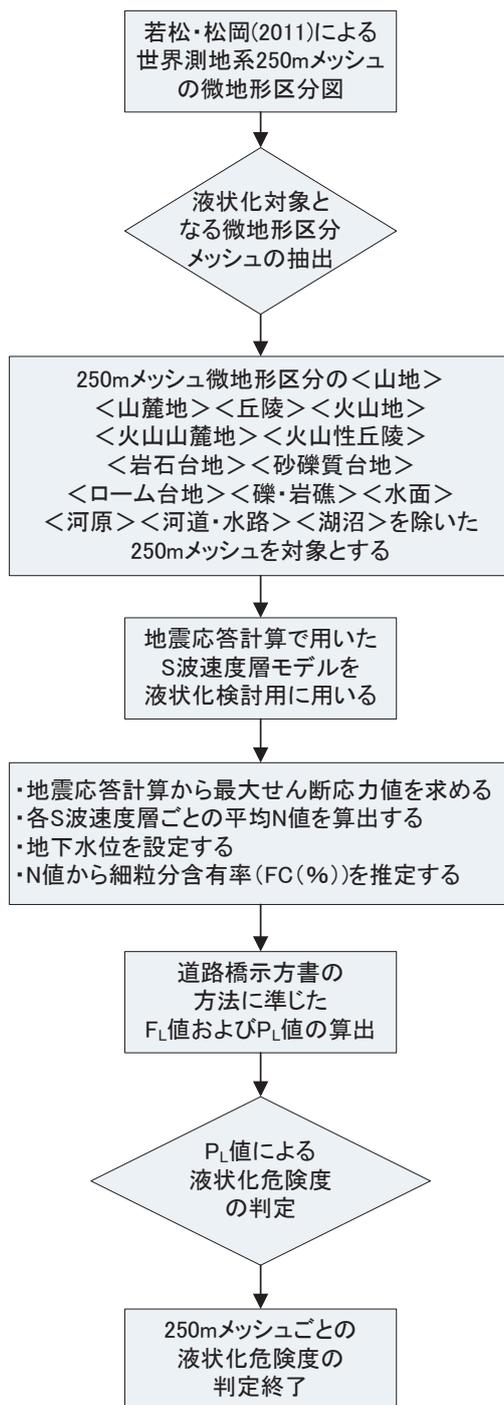


図 液状化危険度の判定フロー

液状化危険度の予測は、道路橋示方書（2002）を基本とし、安田ほか（2009）による細粒分含有率の補正を加えた  $F_L$  法、 $P_L$  法によって行う。 $P_L$  法では、地震時に作用する地震動の強さ（最大せん断応力）と地盤のもっている液状化に対する抵抗力（液状化強度）を各深度で比較して判定し、その判定値（液状化に対する抵抗率： $F_L$  値）を深さ方向に重みをつけて（地表で 10、深さ 2m で 9、…深さ 20m で 0 となる係数を掛けて）足し合わせ、地点での液状化危険度の指標となる  $P_L$  値を算定する。具体的な  $P_L$  値の算定式は以下のとおりである。

$$P_L = \int_0^{20} (1 - F_L)(10 - 0.5x)dx$$

$F_L$  : 液状化に対する抵抗率 ( $F_L \geq 1$  の場合には  $F_L=1$  とする。)

$x$  : 地表面からの深さ(m)

ある地震に対して地盤が液状化する可能性が高いかどうかは、通常、 $P_L$  値により判定される。

液状化判定の対象とする地層は、過去の液状化事例に基づいて、緩い砂を主体とする地層が深度 20m 以浅に現れる地下水位以深の地層とする。

液状化危険度は、岩崎ほか（1980）による新潟地震等の液状化事例の評価に基づいた、 $P_L$  値と液状化危険度の関係から求める。以下に  $P_L$  値による液状化危険度判定区分を示した。

$P_L$  値の計算結果については、250m メッシュ地盤モデルでの評価を行った。

表  $P_L$  値による液状化危険度判定区分（岩崎ほか（1980）に加筆）

	$PL=0$	$0 < PL \leq 5$	$5 < PL \leq 15$	$PL > 15$
PL値による液状化危険度判定	液状化危険度は極めて低い。液状化に関する詳細な調査は不要	液状化危険度は低い。特に重要な構造物に対して、より詳細な調査が必要	液状化危険度がやや高い。重要な構造物に対してはより詳細な調査が必要。液状化対策が一般には必要	液状化危険度が高い。液状化に関する詳細な調査と液状化対策は不可避

$F_L$  値の算出については、安田ほか（2009）の式に従った。

$$Na = N_1 + \Delta N$$

$$\Delta N = 0 \quad (F_c < 8\%)$$

$$= 20.769 \cdot \log_{10}(F_c) - 18 \quad (8\% \leq F_c < 40\%)$$

$$= 15.27 \quad (F_c \geq 40\%)$$

ただし、

$Na$  : 道路橋示方書の液状化強度比を推定する式における粒度の影響を考慮した補正  $N$  値

$N_1$  : 有効土載圧  $100\text{kN/m}^2$  相当に換算した  $N$  値

$\Delta N$  : 東京低地における細粒分の影響を補正する  $N$  値

$F_c$  : 細粒分含有率 (%) (粒径  $75 \mu\text{m}$  以下の土粒子の通過質量百分率)

道路橋示方書の波形の継続時間による補正係数（地震動特性による補正係数： $C_w$ ）は、以下のような定義となっている。

$$R = C_w \cdot R_L$$

ここで  $R$ ：動的せん断強度比

$R_L$ ：繰返し三軸強度比（ $N$  値と  $F_c$  から算出する。）

（タイプ I 地震動：プレート境界型地震動）

$$C_w = 1.0$$

（タイプ II 地震動：内陸直下型地震動）

$$\begin{aligned} C_w &= 1.0 && (R_L \leq 0.1) \\ &= 3.3R_L + 0.67 && (0.1 < R_L \leq 0.4) \\ &= 2.0 && (0.4 < R_L) \end{aligned}$$

平成 23 年東北地方太平洋沖地震ではタイプ II 地震動とは逆に継続時間が非常に長く波数が非常に多いことから  $C_w$  を 1.0 より小さな値に設定するのが妥当だと考えられる。

安田（2011）では、繰返しねじりせん断試験で東北地方太平洋沖地震の実波形及び余震の波形も加えて検討している。以下にねじりせん断試験に用いたせん断応力波形を示す。

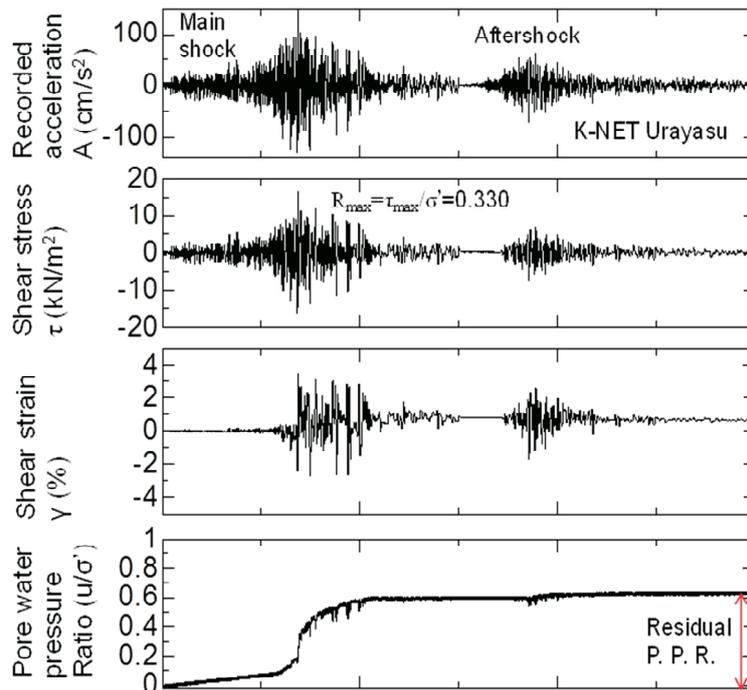


図 試験に用いたせん断応力波形(上から2つ目の図)

室内実験の結果、間隙水圧比 1.0 の正弦波と上記の地震波の比から  $C_w = 0.82$  となり、今回の地震の地震動特性による補正係数  $C_w$  は  $C_w = 0.8$  程度の値を使用しても差し支えないと考えられる。南海トラフ巨大地震（東側ケース）（M9.0）の液状化危険度の計算においては、 $C_w = 0.8$  を採用した。

## 2 南海トラフ巨大地震の液状化危険度の分布

---

南海トラフ巨大地震（東側ケース）（M9.0）発生時の液状化危険度分布図を区部・多摩と島しょ部に分けて示した。ここでは元々の4ランクの $P_L$ 値の区分を、 $P_L=5.0$ 以下とそれを越えるものとして2ランクで示している。

区部・多摩では、液状化評価に用いた地表震度は5弱と小さいため、液状化が大規模に発生する地域はない。また、島しょ部においては、元々の地形・地質が火山地となっていることから、液状化評価対象とする地盤がほとんどないため、港湾など人工的に埋め立て等を行ったところのみが液状化評価対象となる。さらに、震度は5弱が主体であることから液状化の危険度は全島しょ部で低いと考えられる。

小笠原諸島については、深部地盤モデルが整備されていないため、東側ケースで波形計算を行っていない。司・翠川（1999）の距離減衰式により、小笠原諸島の計測震度を求めたところ、工学的基盤において0～0.58、小笠原諸島の微地形区分から内閣府（2012）の方法により震度増分を求めて算出した地表計測震度は0～1.32（震度は最大で1）であることから、小笠原諸島では液状化の可能性はないと考えられる。

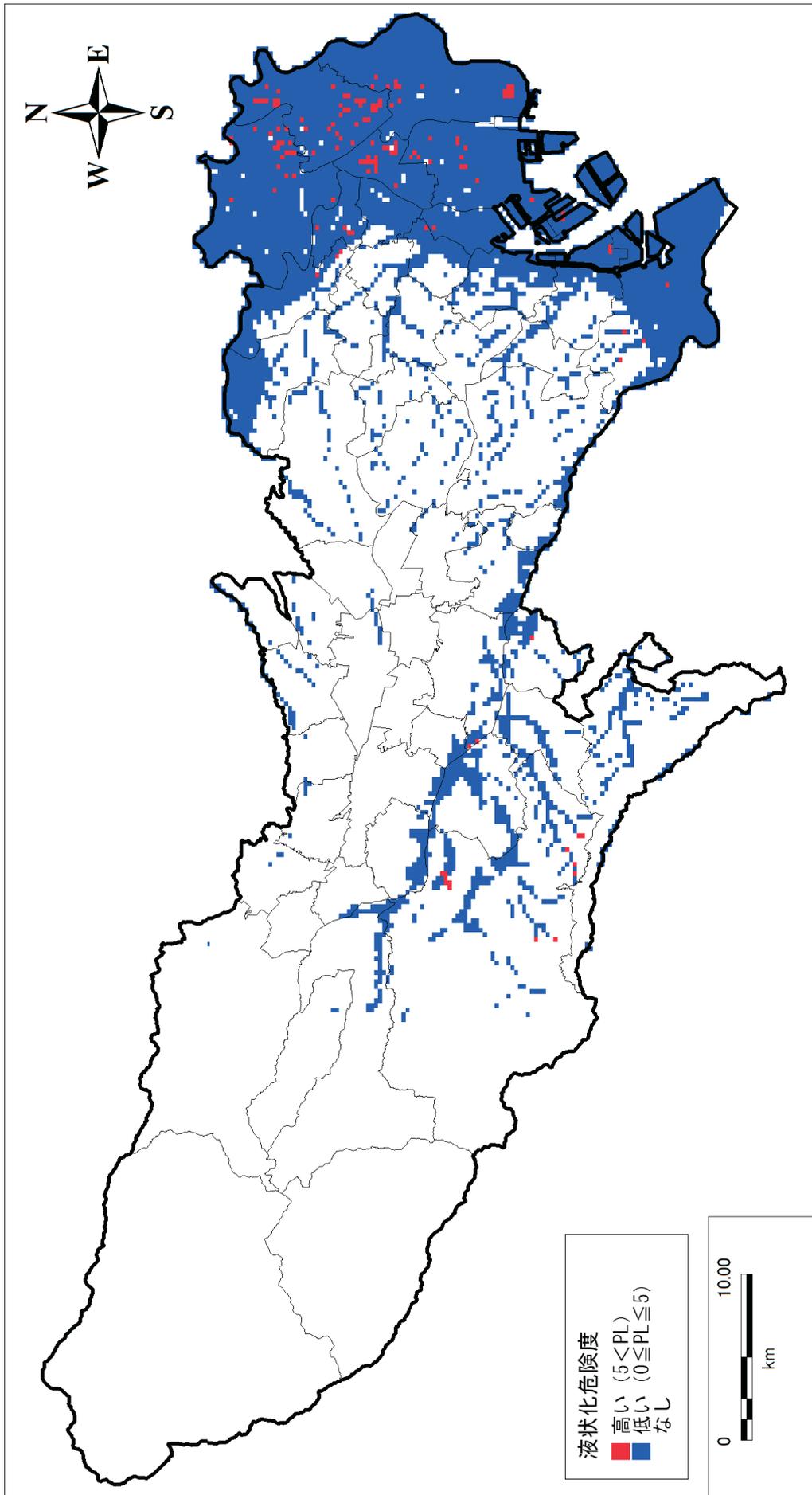


図 南海トラフ巨大地震(東側ケース)M9.0 発生時の液状化危険度分布図(Cw=0.8)

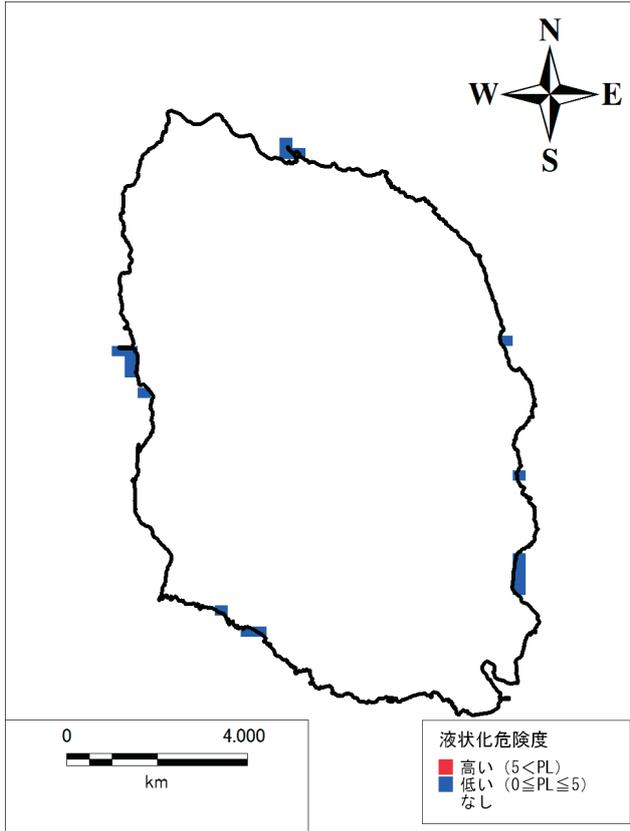


図 大島の液状化危険度

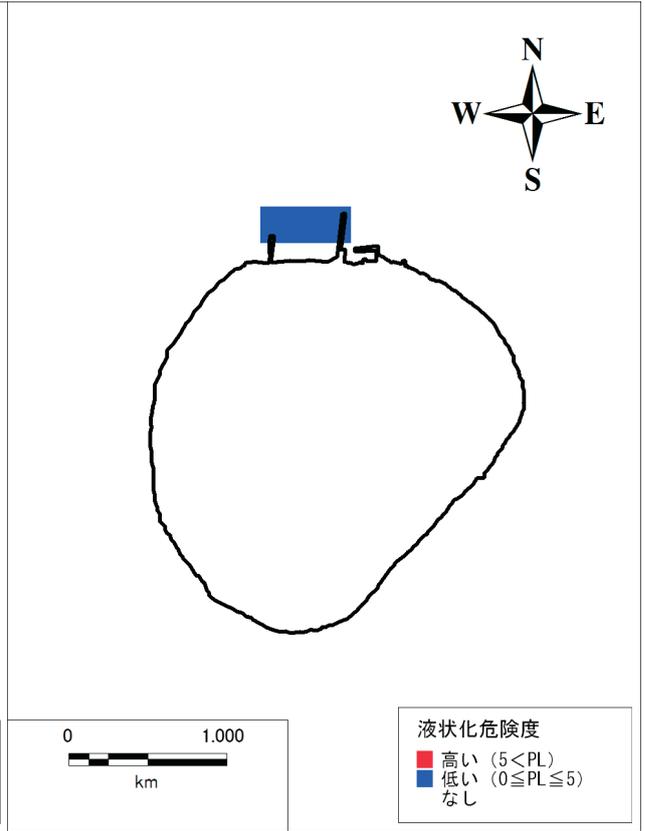


図 利島の液状化危険度

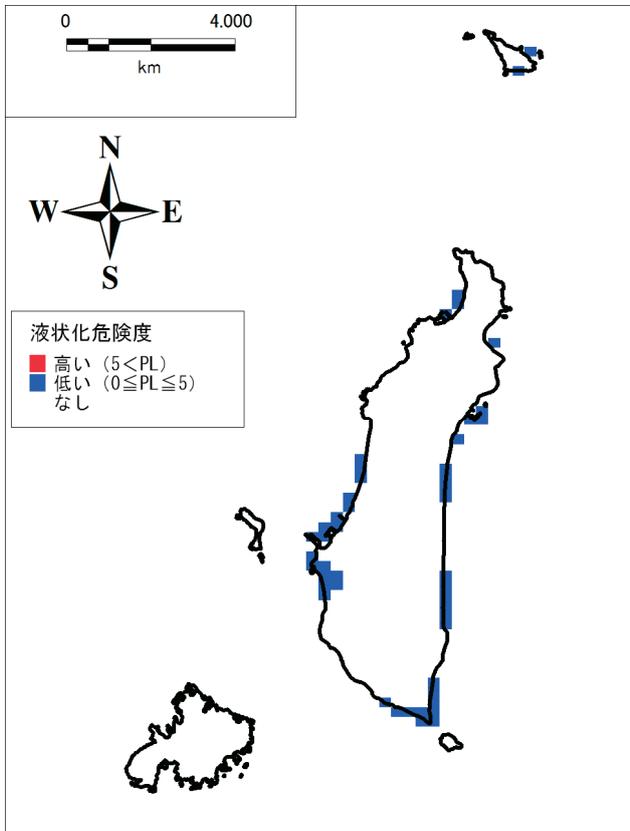


図 新島・式根島の液状化危険度

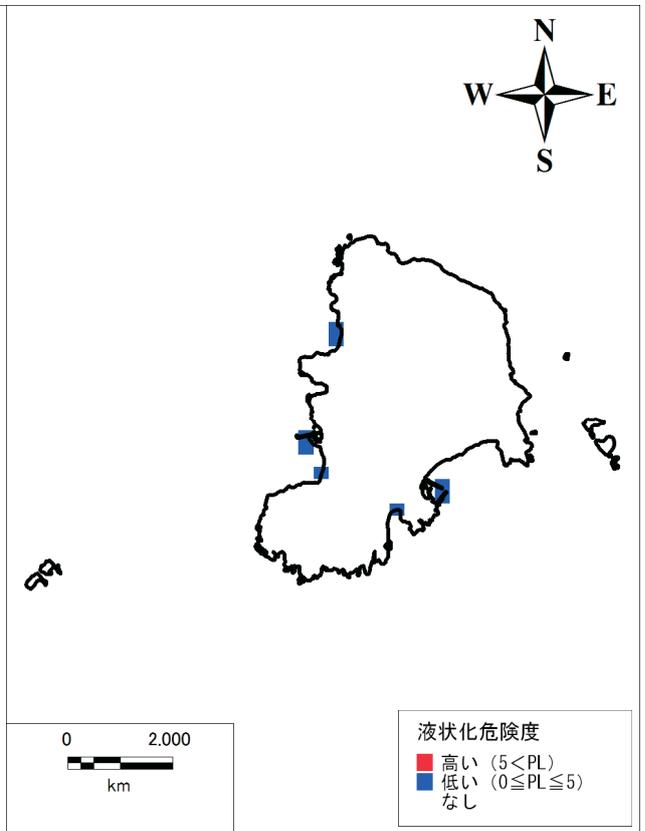


図 神津島の液状化危険度

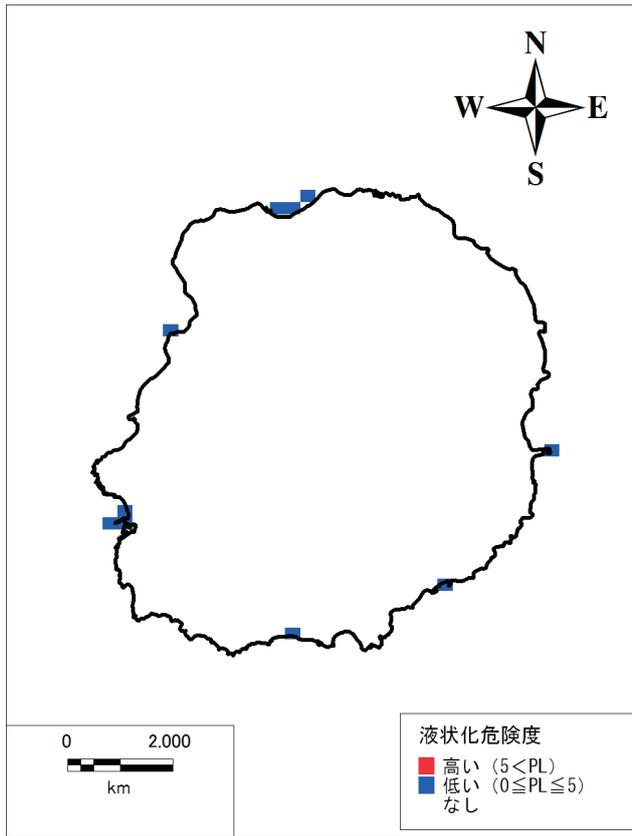


図 三宅島の液状化危険度

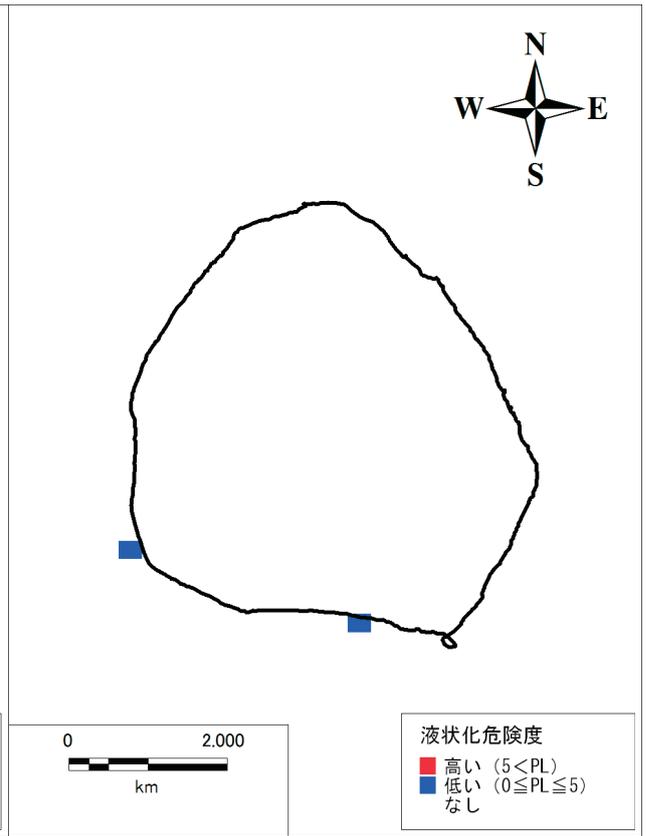


図 御蔵島の液状化危険度

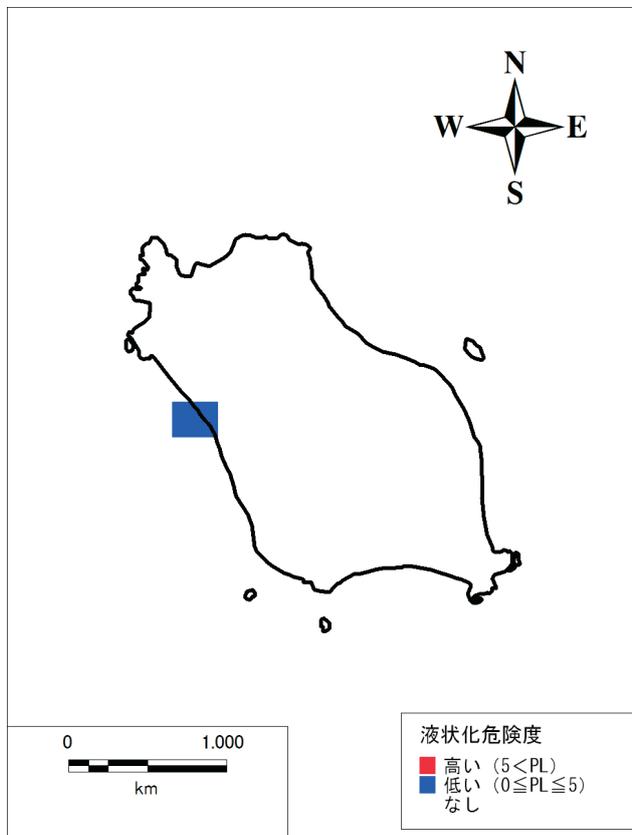


図 八丈小島の液状化危険度

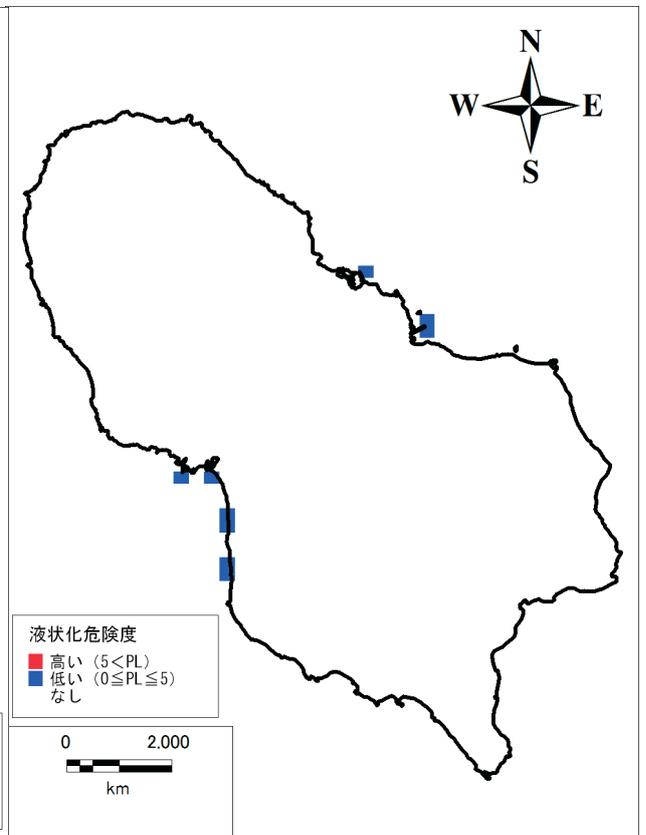


図 八丈島の液状化危険度

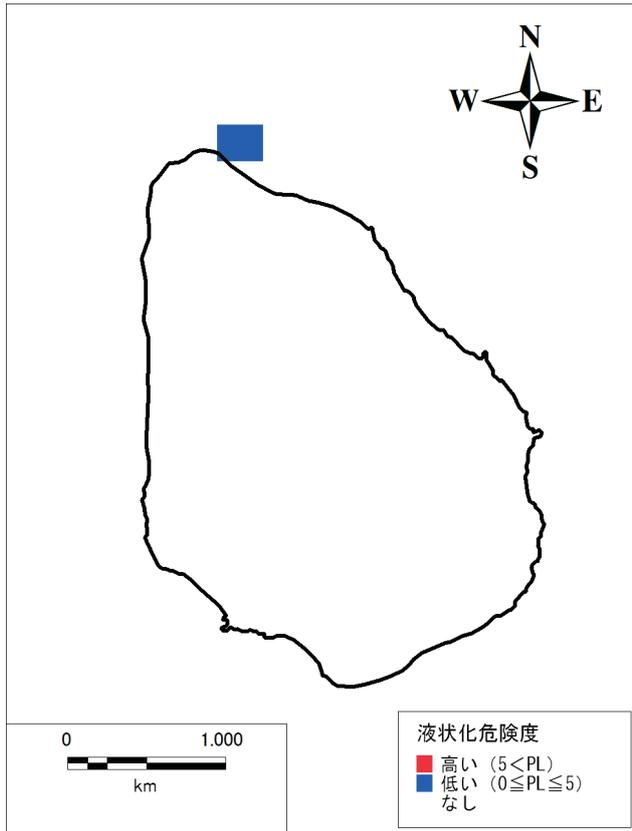


図 青ヶ島の液状化危険度

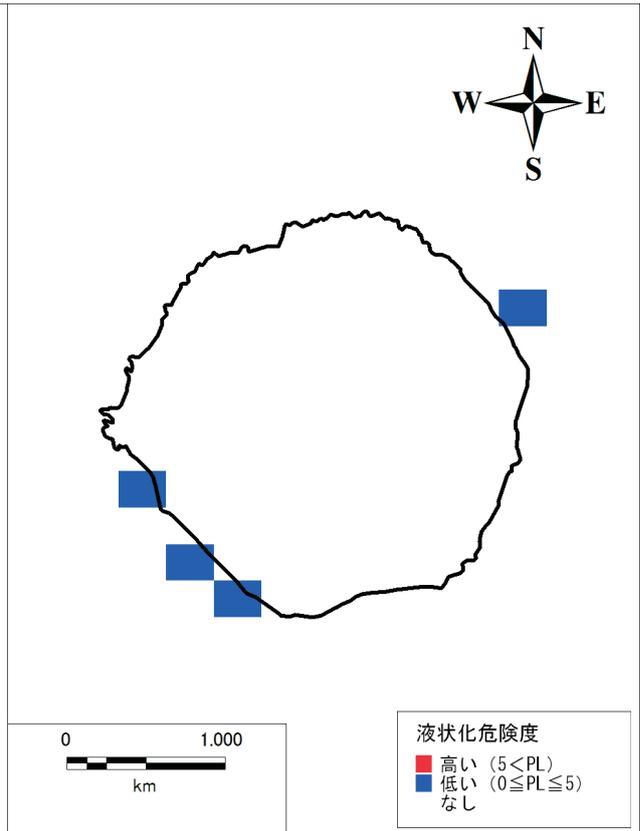


図 鳥島の液状化危険度

### 3 元禄型関東地震の液状化危険度の分布

東京都（2012）「首都直下地震等による東京の被害想定」の報告書で元禄型関東地震の発生時における区部・多摩の液状化危険度の分布が発表されている。この報告書の時点では、島しょ部において深い地盤構造モデルとして公表されているものがなかったため、島しょ部においては液状化危険度の分布を作成することができなかった。そのため、今回島しょ部について、元禄型関東地震（M8.2）発生時の液状化危険度分布について検討した結果を示す。検討においては、東京都（2012）の手法と同様に、元禄型関東地震（M8.2）がタイプ I 地震動（プレート境界型地震動）であることから  $C_w=1.0$  を用い、工学的基盤波形には、統計的グリーン関数法と差分法とによる地震波形を周期 2 秒で結合したハイブリッド波形を算出して用いた。

元禄型関東地震（M8.2）による島しょ部の液状化危険度の分布を以下に示す。液状化の検討対象となる地点は、港湾施設など人工的に埋め立て等を行った地点に限られるが、南海トラフ巨大地震より地表震度が 1 ランク程度高いため、液状化危険度が高い地点も発生している。

小笠原諸島については、深部地盤モデルが整備されていないため、元禄型関東地震で波形計算を行っていない。司・翠川（1999）の距離減衰式により、小笠原諸島の計測震度を求めたところ、工学的基盤において 0 であり、地表計測震度も 0 であることから、小笠原諸島では液状化の可能性はないと考えられる。

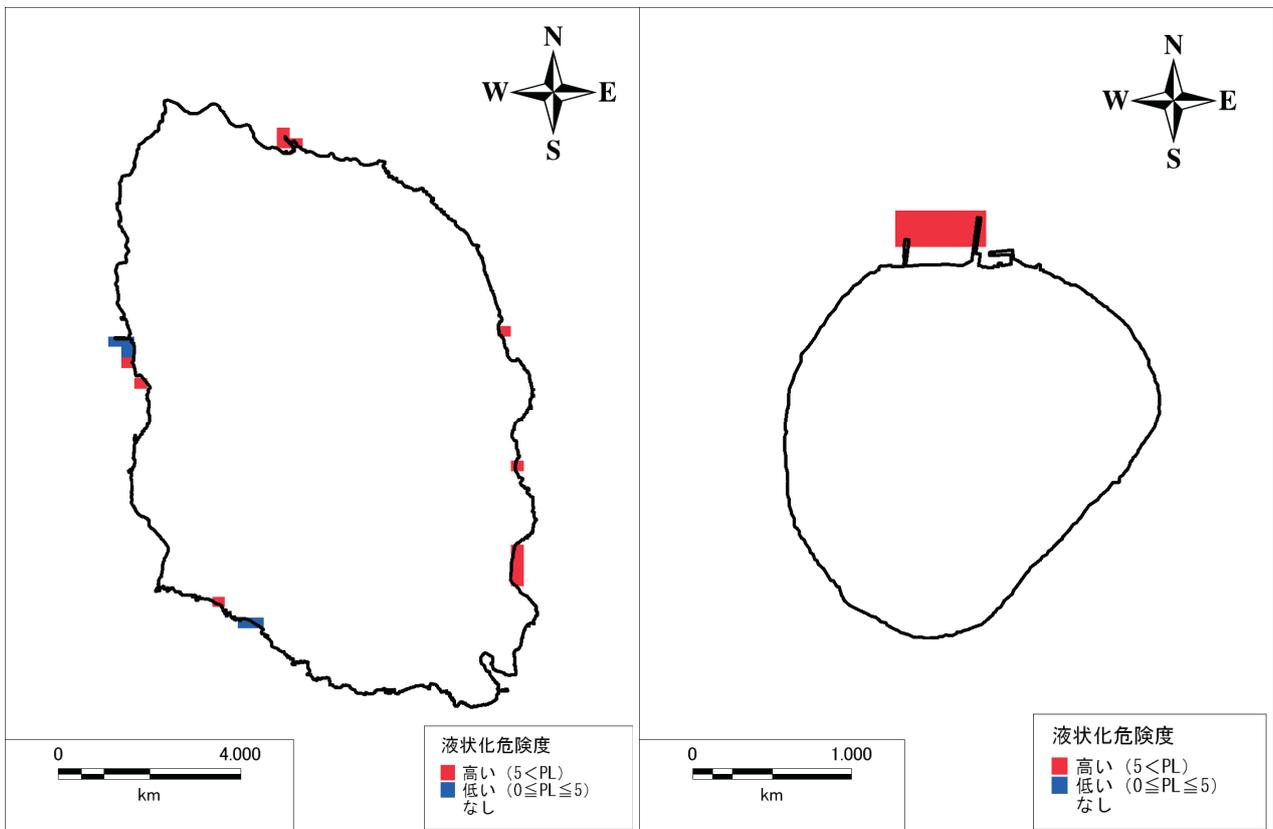


図 大島の液状化危険度

図 利島の液状化危険度

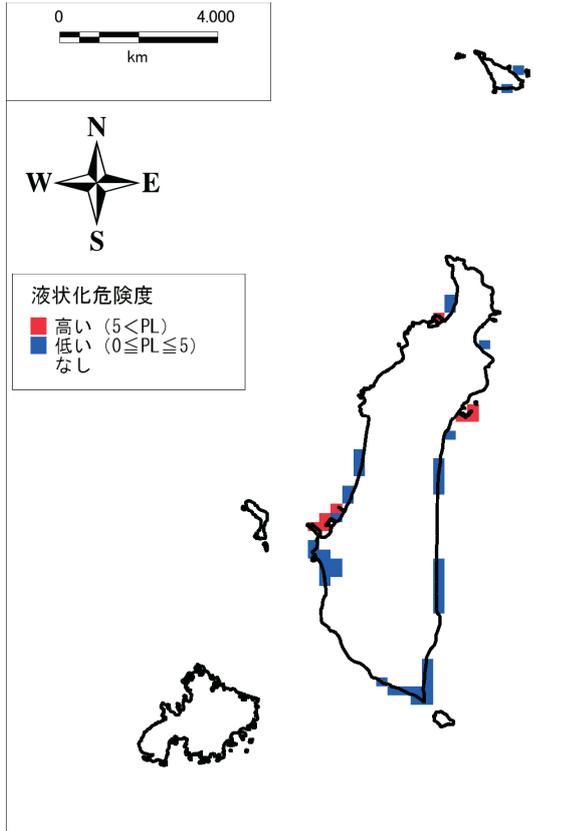


図 新島・式根島の液状化危険度

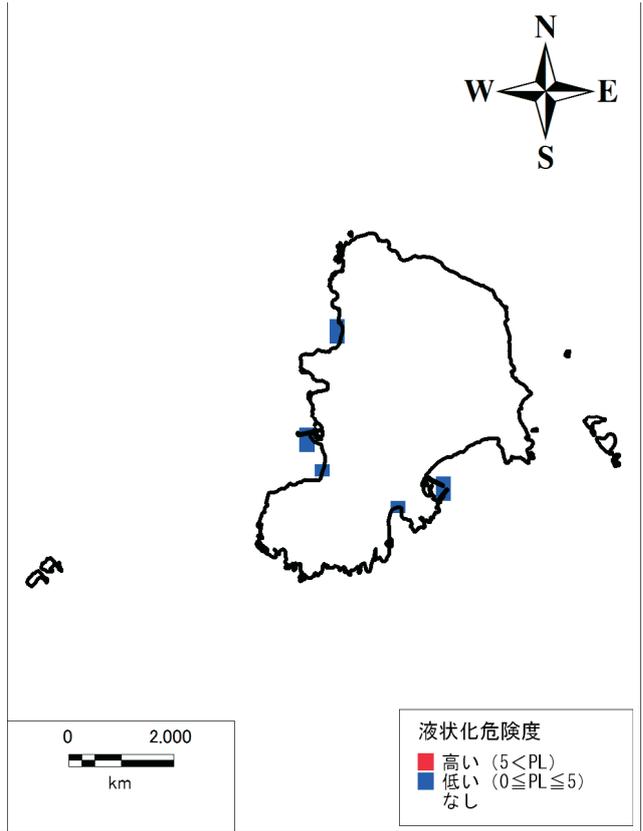


図 神津島の液状化危険度

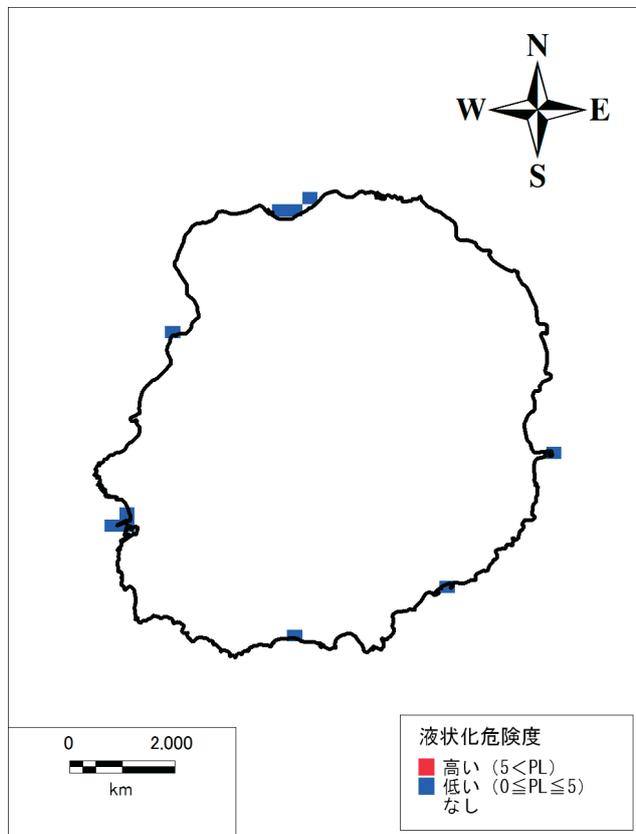


図 三宅島の液状化危険度

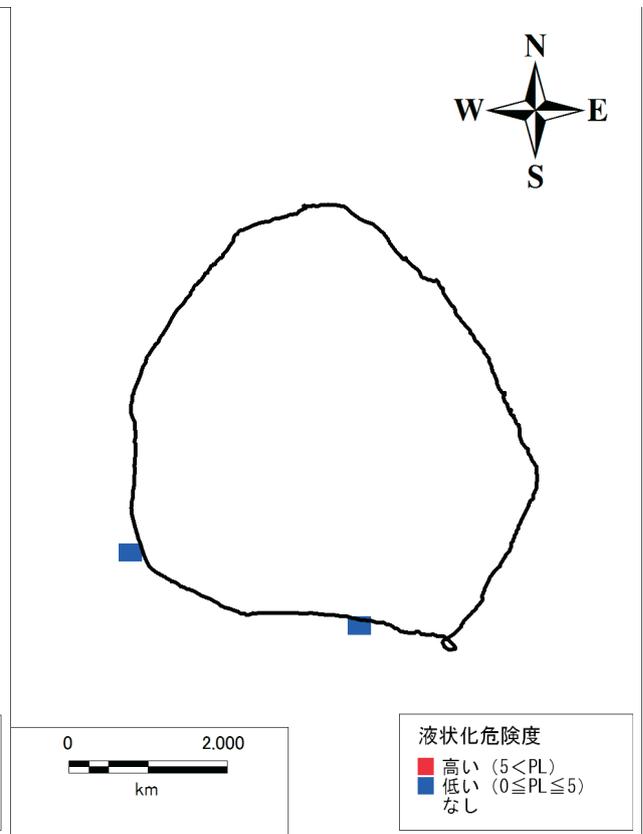


図 御蔵島の液状化危険度

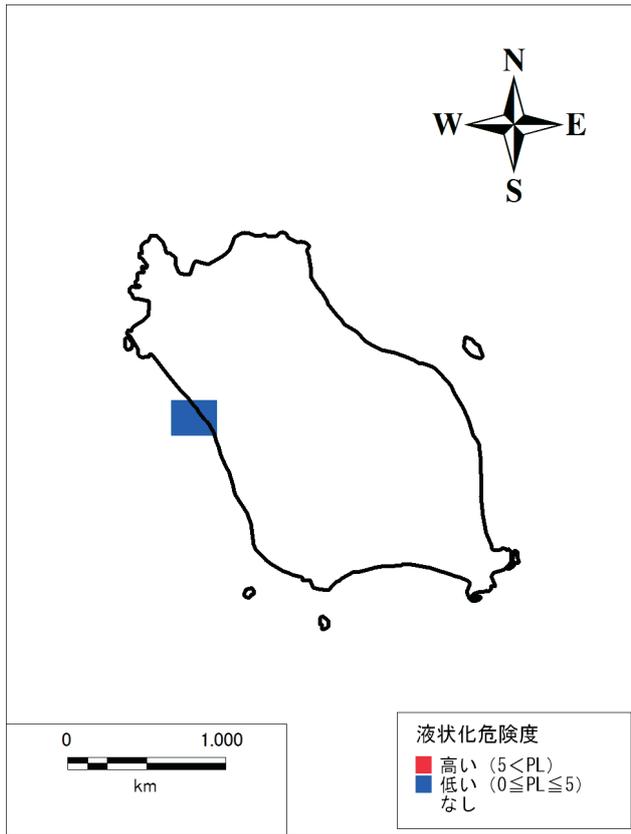


図 八丈小島の液状化危険度

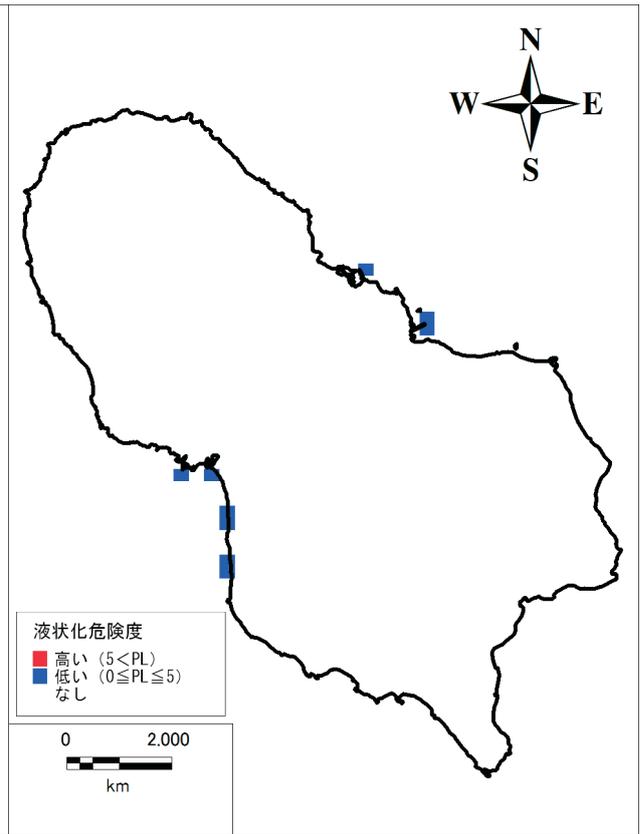


図 八丈島の液状化危険度

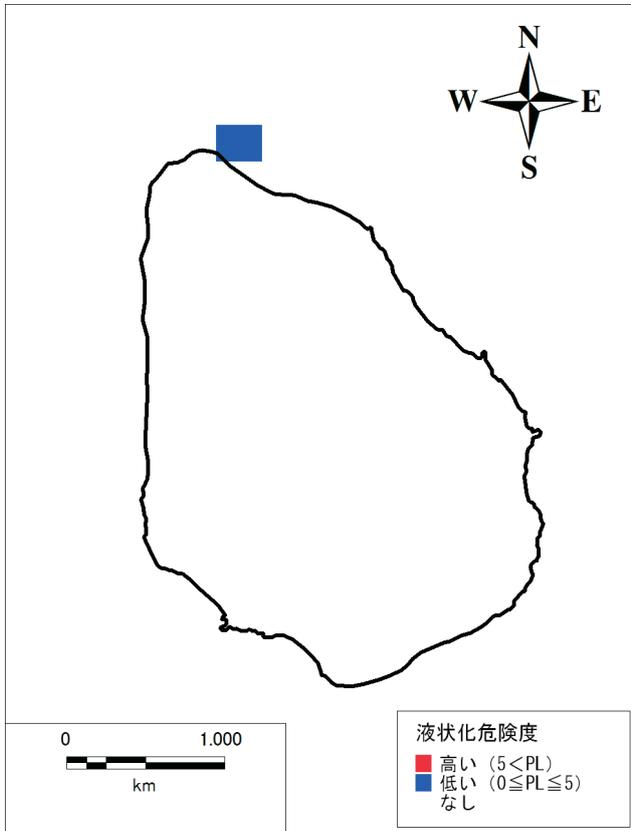


図 青ヶ島の液状化危険度

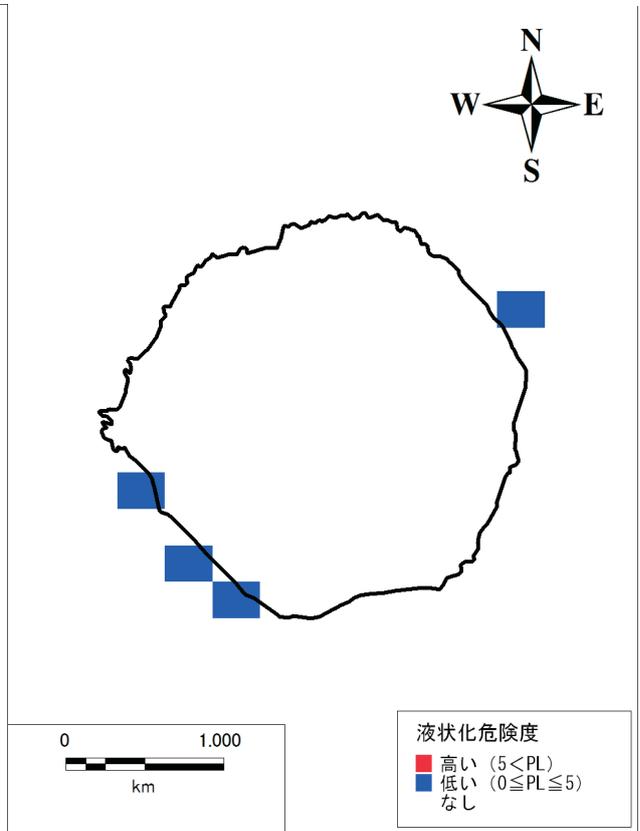
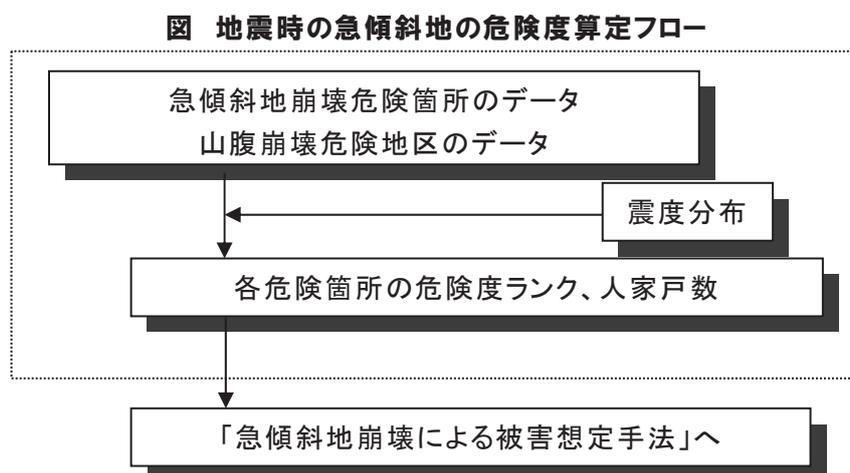


図 鳥島の液状化危険度

## Ⅲ－５ 急傾斜地等の斜面崩壊危険度

### 1 地震時の急傾斜地等の危険度算定手法

東京都が指定している急傾斜地崩壊危険箇所、山腹崩壊危険地区のうち、降雨に対する斜面の危険度評価結果のある点検箇所について、地震時の相対的な危険度を算定した（詳細は第3部「急傾斜地崩壊による被害想定手法」参照）。



島しょ部における急傾斜地崩壊危険箇所の数は226か所、平面に投影した面積の合計は205ha、山腹崩壊危険地区の数は72か所、平面に投影した面積の合計は990haとなり、後者の方が1か所の範囲は広い場合が多い。

**表 島しょ部における急傾斜地等の対象数**

対象	斜面の危険度ランク（降雨危険度）			計	備考
	3 = (C)	2 = (B)	1 = (A)		
急傾斜地崩壊危険箇所	21	155	50	226	施工箇所はAが2か所、Bが6か所
山腹崩壊危険地区	18	21	33	72	概成はAが4か所、Bが3か所
計	39	176	83	298	

注)

- ・ 施工箇所：ここでは、急傾斜地崩壊危険箇所において崩壊防止施設施工済みの箇所を指す。
- ・ 概成：山腹崩壊危険地区において、治山事業として一連の工事が完了したことを指す。

島しょ部における急傾斜地崩壊危険箇所と山腹崩壊危険地区との分布を以下に示す。

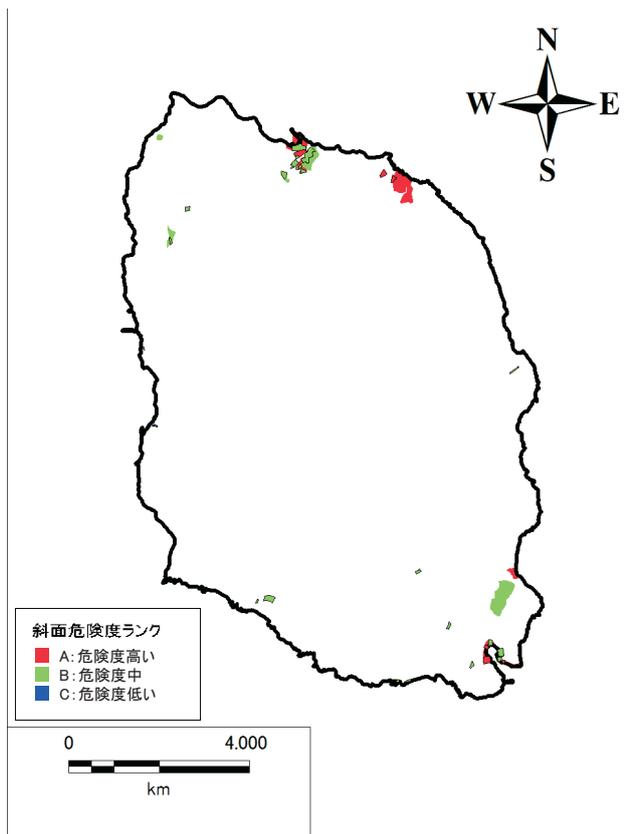


図 大島の斜面崩壊危険度

(輪郭有: 急傾斜地崩壊危険箇所 無: 山腹崩壊危険地区)

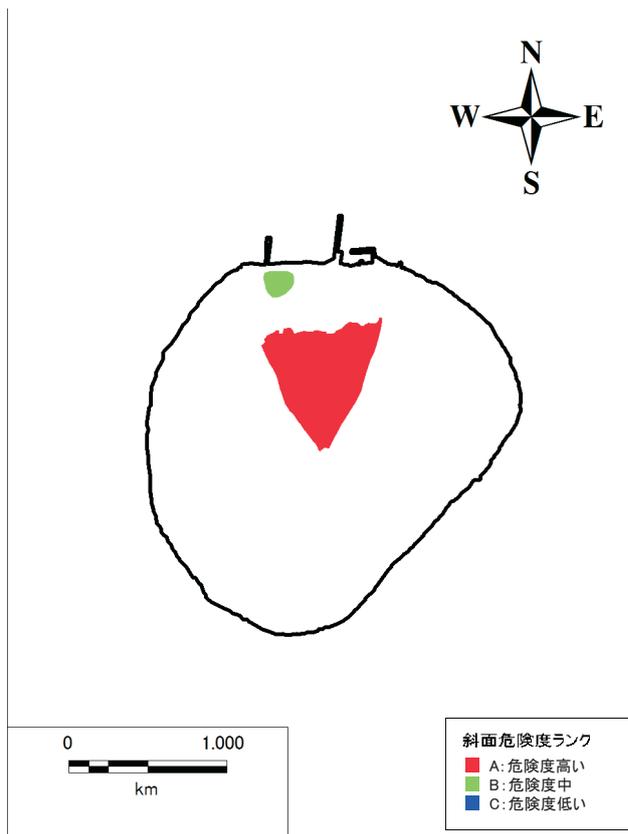


図 利島の斜面崩壊危険度

(山腹崩壊危険地区のみ)

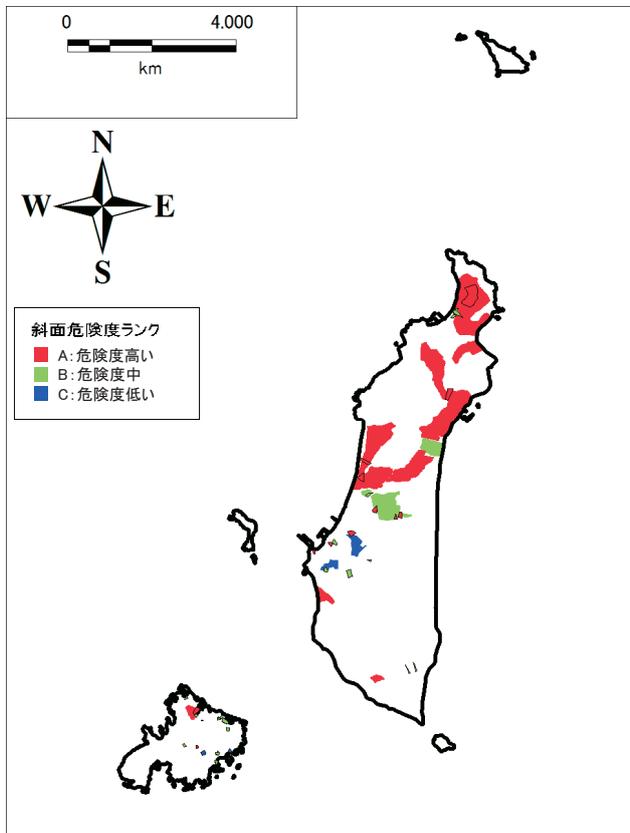


図 新島の斜面崩壊危険度

(輪郭有: 急傾斜地崩壊危険箇所 無: 山腹崩壊危険地区)

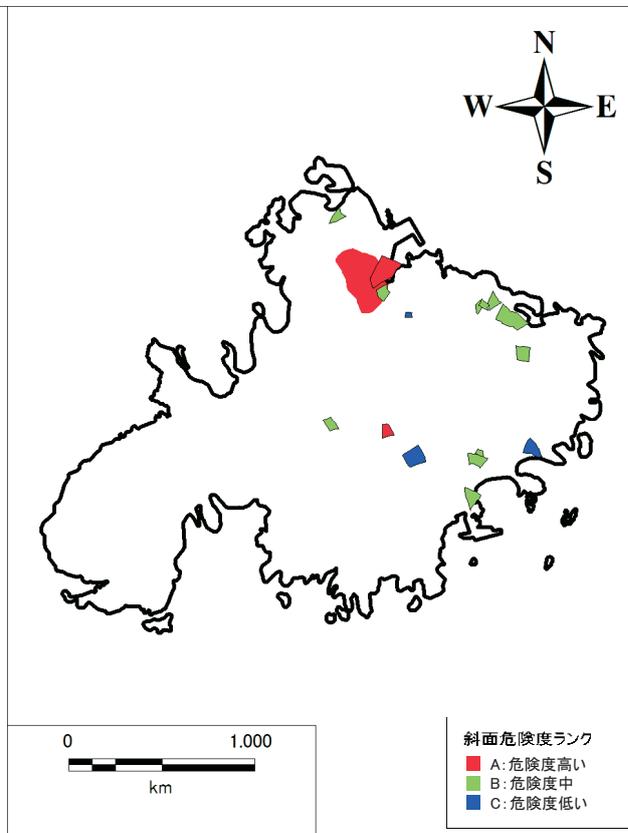
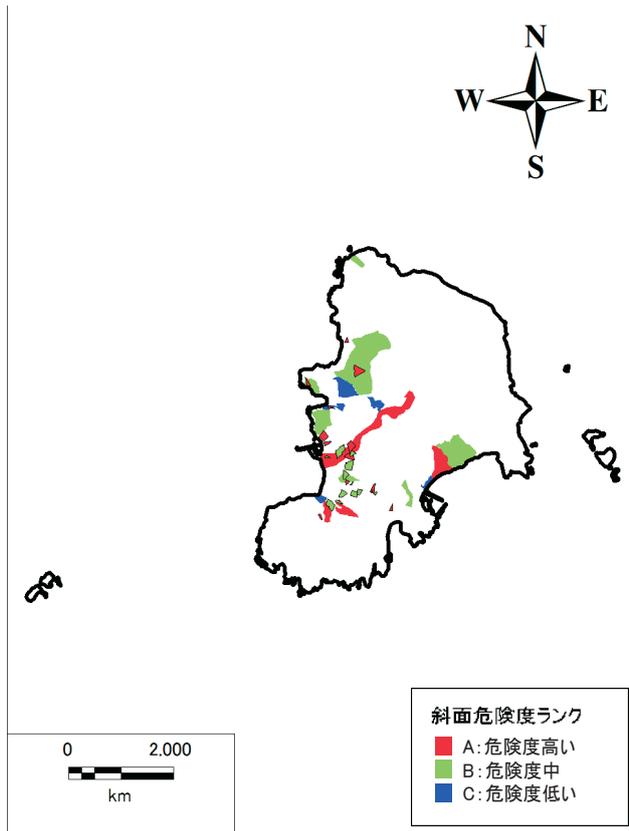


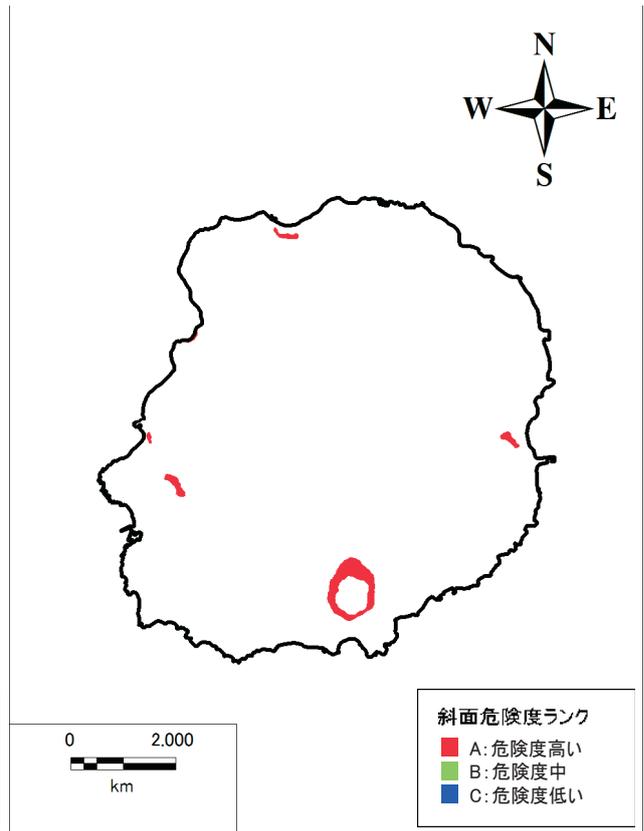
図 式根島の斜面崩壊危険度

(輪郭有: 急傾斜地崩壊危険箇所 無: 山腹崩壊危険地区)



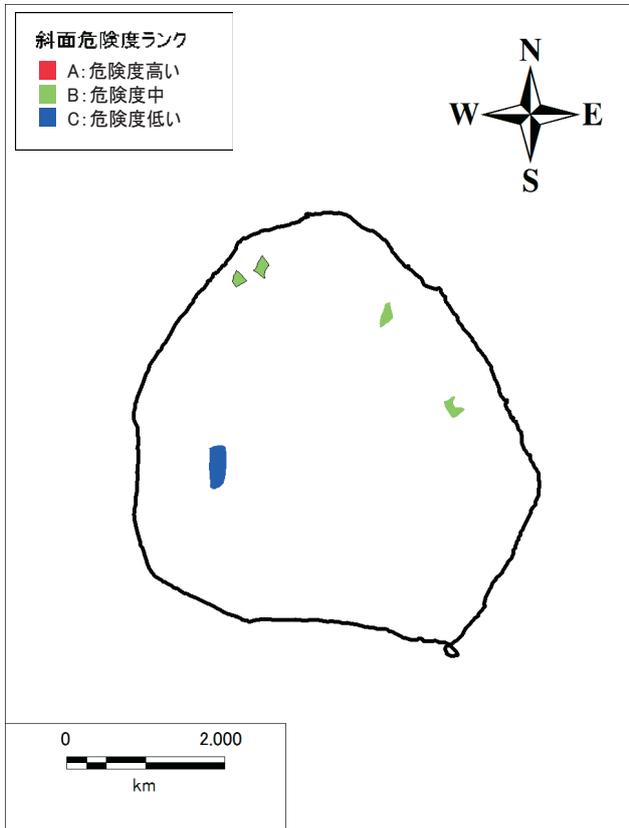
**図 神津島の斜面崩壊危険度**

(輪郭有:急傾斜地崩壊危険箇所 無:山腹崩壊危険地区)



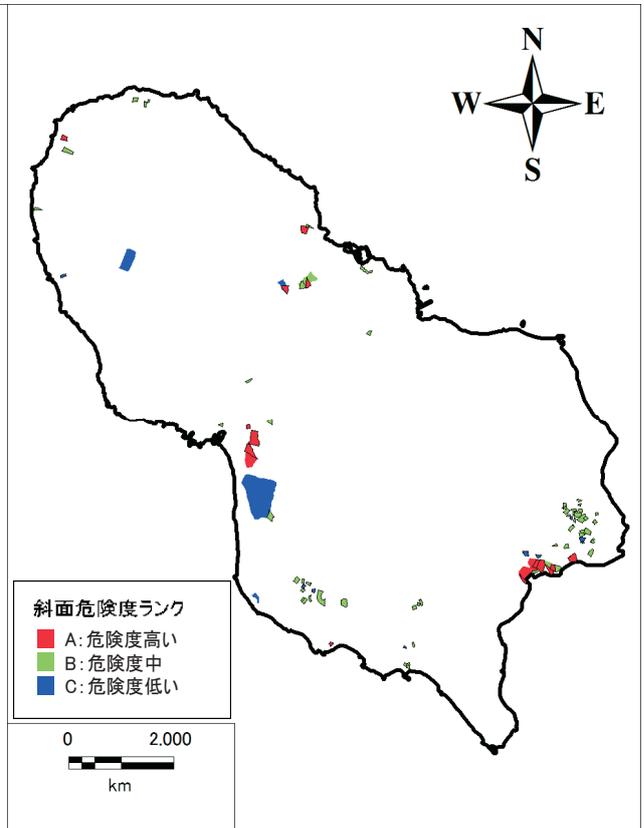
**図 三宅島の斜面崩壊危険度**

(山腹崩壊危険地区のみ)



**図 御蔵島の斜面崩壊危険度**

(輪郭有:急傾斜地崩壊危険箇所 無:山腹崩壊危険地区)



**図 八丈島の斜面崩壊危険度**

(輪郭有:急傾斜地崩壊危険箇所 無:山腹崩壊危険地区)

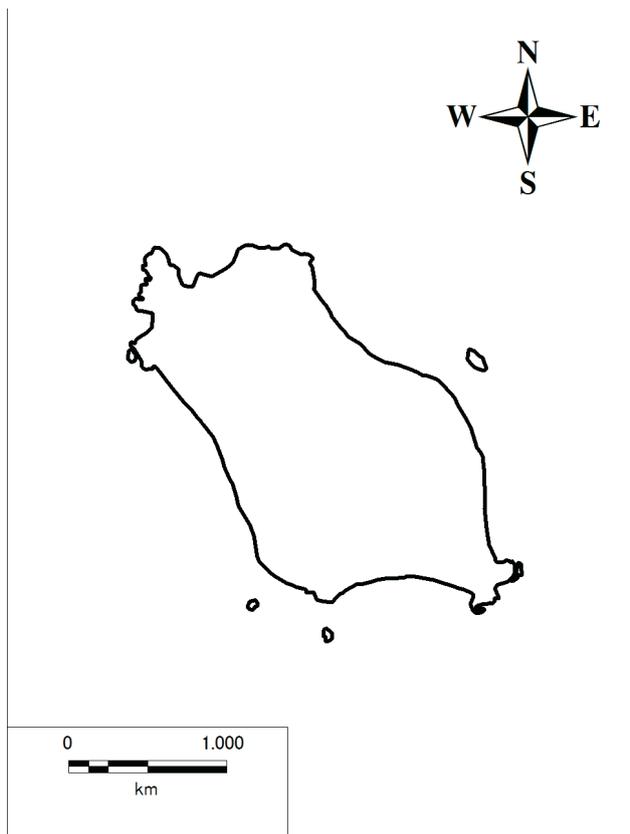


図 八丈小島(該当無し)

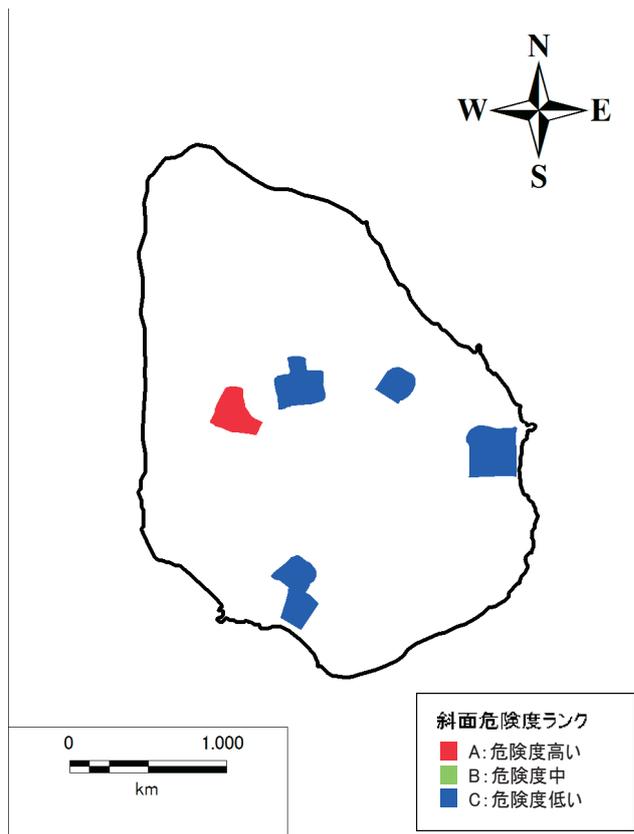


図 青ヶ島の斜面崩壊危険度  
(山腹崩壊危険地区のみ)

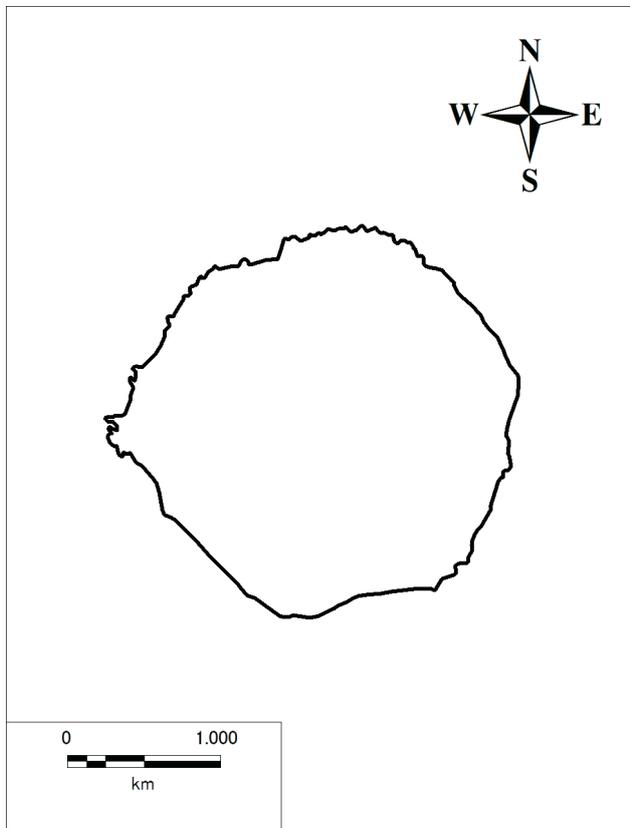


図 鳥島(該当無し)

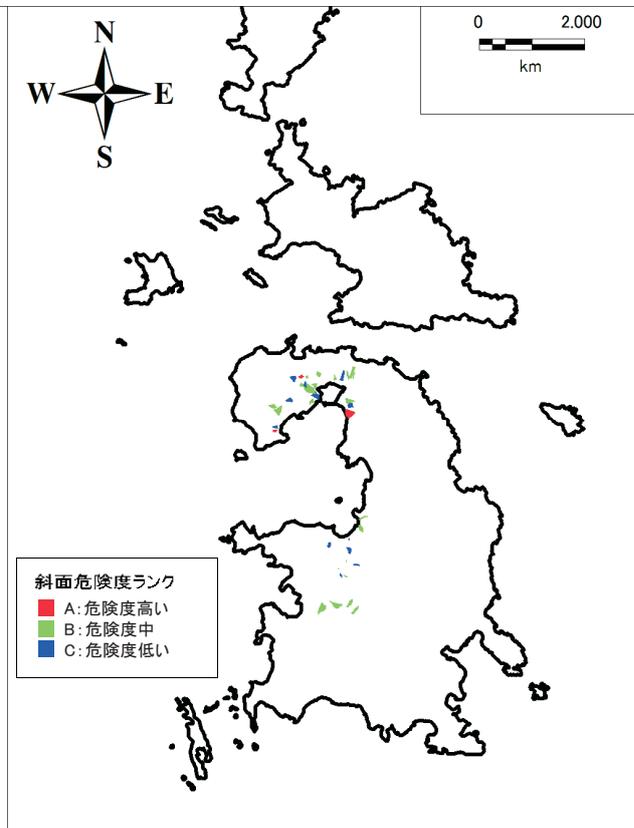


図 父島の斜面崩壊危険度  
(急傾斜地崩壊危険箇所のみ)

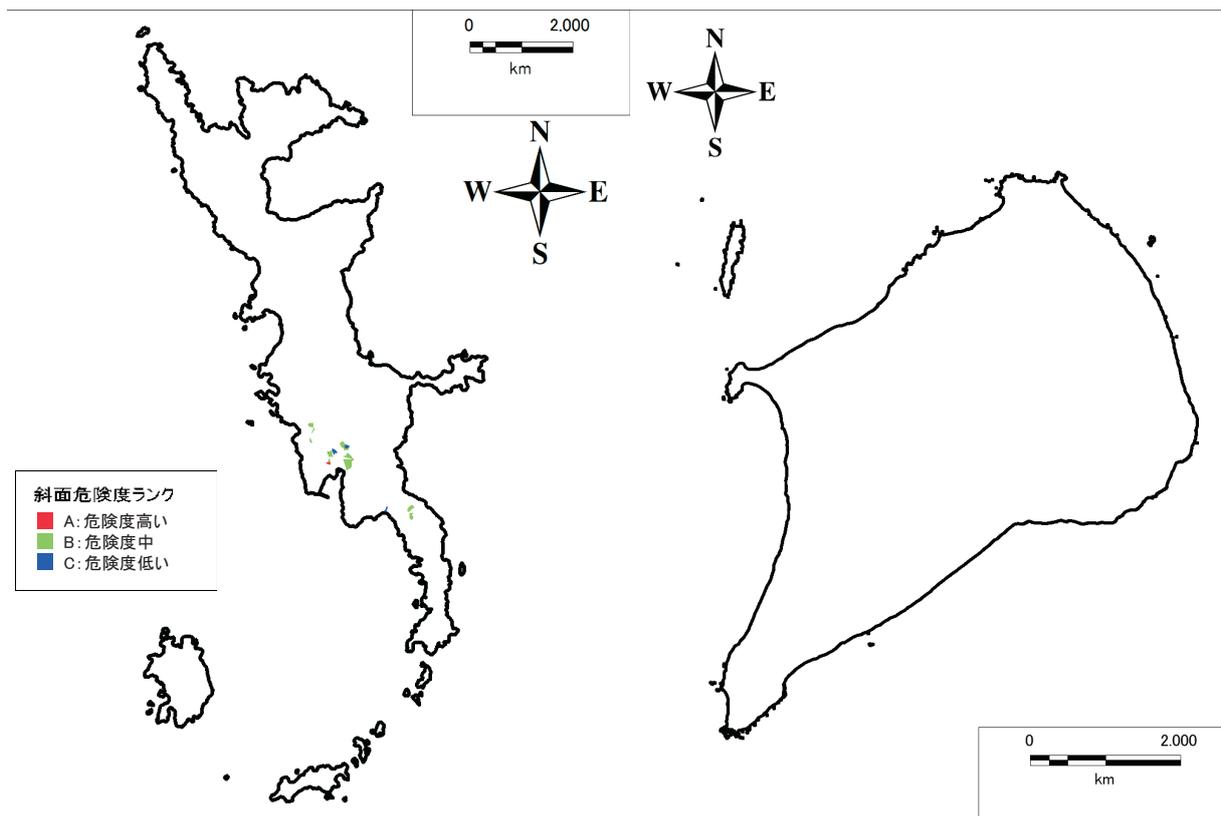


図 母島の斜面崩壊危険度

(急傾斜地崩壊危険箇所のみ)

図 硫黄島(該当無し)

島しょ部における各急傾斜地崩壊危険箇所・山腹崩壊危険地区の位置に各地震の震度分布を当てはめて、地表の計測震度を入力値として、地表の震度に応じた急傾斜地等の危険度点検表（下表）に基づき、地震時の相対的な危険度ランクを求めた。複数の 250m メッシュにまたがる場合は、各メッシュごとに急傾斜地等の範囲が重なる面積で重み付けした平均の計測震度を算出して使用した。

表 急傾斜地等地震時危険度判定ランク

震度	斜面の危険度ランク	斜面の危険度ランク（降雨危険度）		
		3 = (C)	2 = (B)	1 = (A)
6 強以上		A	A	A
6 弱		B	A	A
5 強		C	B	A
5 弱		C	C	B
4		C	C	C

<地震時ランク A, B, C>の説明

- ・ ランク A：危険性が高い
- ・ ランク B：危険性がある
- ・ ランク C：危険性が低い

<その他>

- ・ 急傾斜地崩壊危険箇所において、崩壊防止施設施工済みの地区は、地震時ランク C とする。
- ・ 山腹崩壊危険地区において、治山事業として概成（一連の工事が完了）した地区は、地震時ランク C とする。一部概成は、地震時危険度判定を行う。

## 2 南海トラフ巨大地震の急傾斜地等の斜面崩壊危険度の分布

南海トラフ巨大地震（M9.0：東側ケース、東側ケース＋経験的手法）の2パターンで算定した地震時の斜面崩壊危険度ランクを下表にまとめるとともに、両者における地震時の斜面崩壊危険度の分布を示す（八丈小島、鳥島、硫黄島については、該当無しのため割愛）。

島しょ部の地盤は、火山地、火山山麓地であり、元々降雨などによる斜面災害に弱い特性を持っている。地震による災害についても、同じ火山性地盤である伊豆半島において、1974年伊豆半島沖地震、1978年伊豆大島近海地震で多くの斜面災害が発生している。今回の検討では、予測震度が震度5強とやや大きくなる利島及び新島において、特に注意を要すると考えられる。

表 地震時の斜面崩壊危険度ランク

地震時の斜面の危険度ランク		地震時の斜面崩壊危険度ランク			計
		C	B	A	
南海トラフ巨大地震（M9.0） 東側ケース	急傾斜地崩壊危険箇所	184	40	2	226
	山腹崩壊危険地区	48	22	2	72
	計	232	62	4	298
南海トラフ巨大地震（M9.0） 東側＋経験的	急傾斜地崩壊危険箇所	145	52	29	226
	山腹崩壊危険地区	34	19	19	72
	計	179	71	48	298

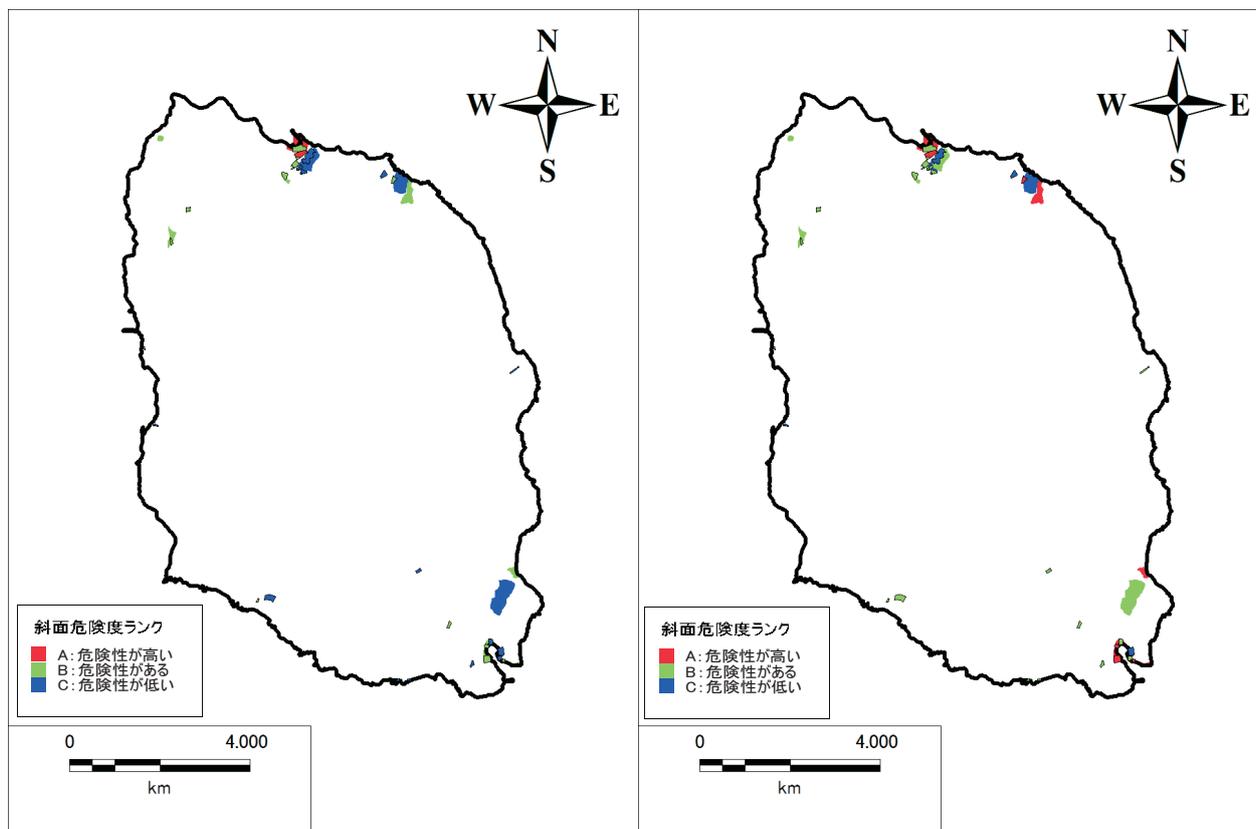


図 南海トラフ巨大地震における大島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
（左図：東側ケース 右図：東側ケース＋経験的手法）

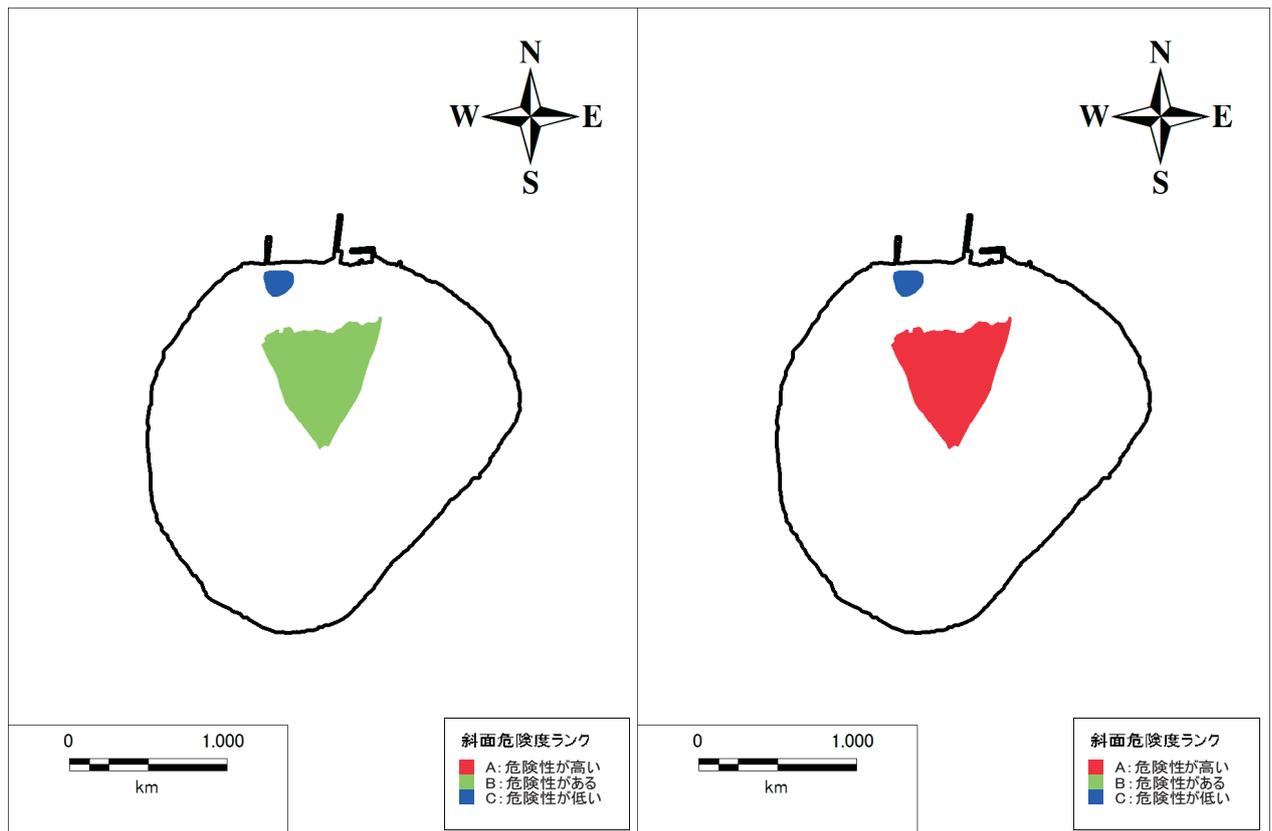


図 南海トラフ巨大地震における利島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
 (左図:東側ケース 右図:東側ケース+経験的手法)

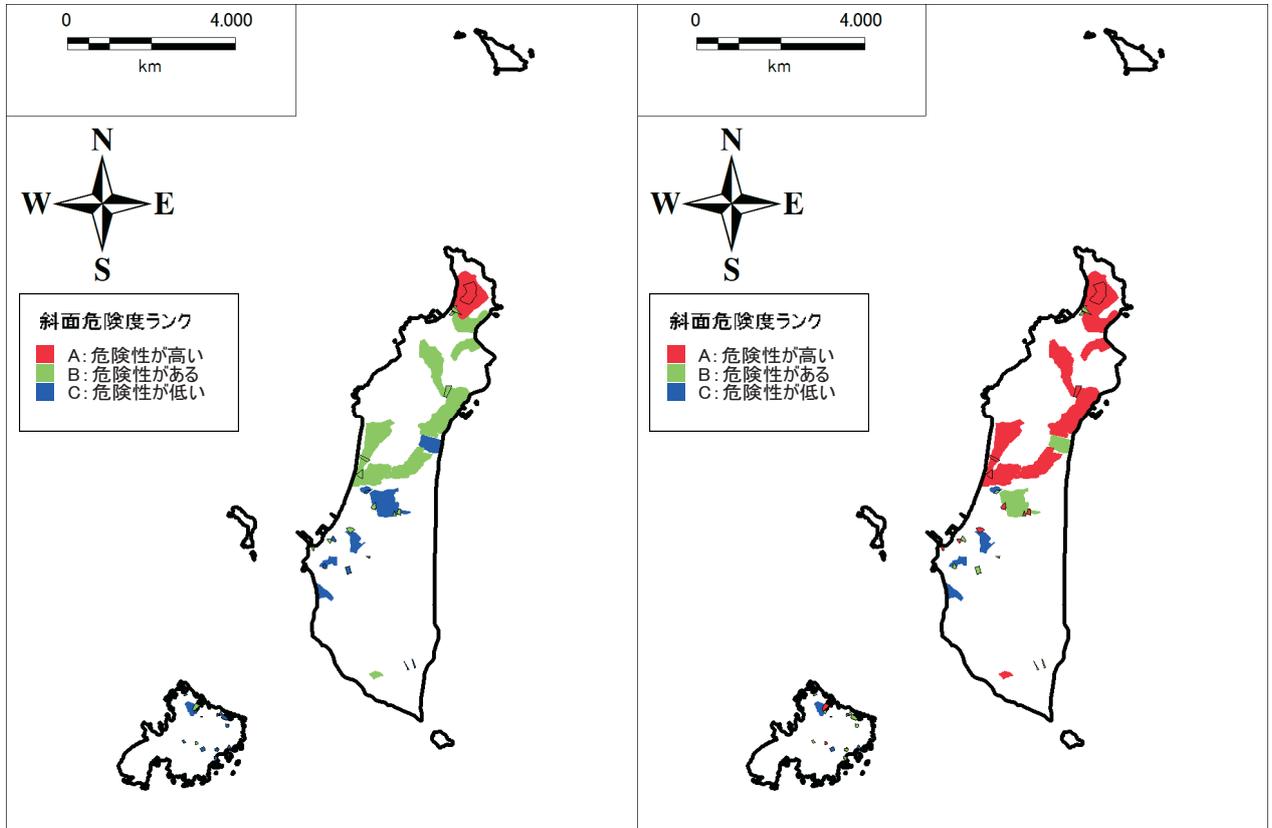


図 南海トラフ巨大地震における新島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
 (左図:東側ケース 右図:東側ケース+経験的手法)

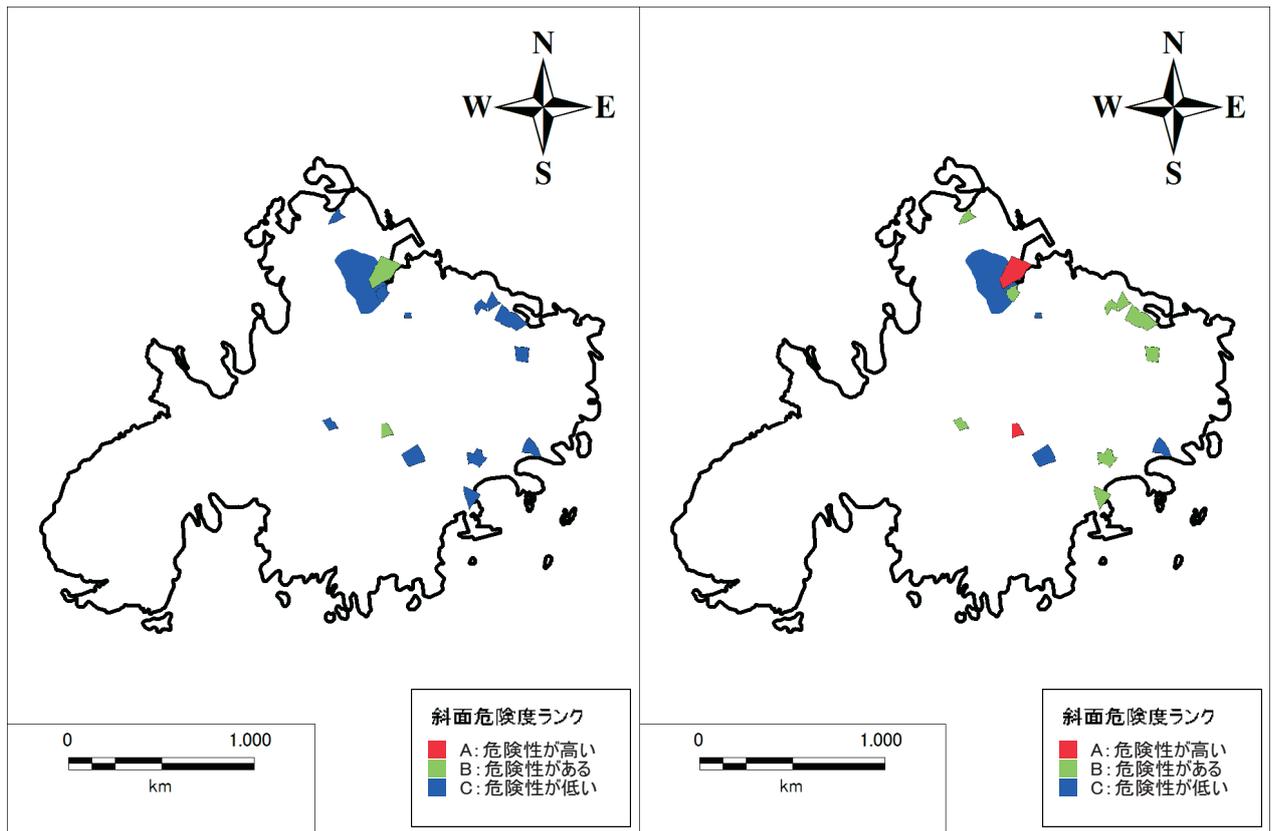


図 南海トラフ巨大地震における式根島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
 (左図:東側ケース 右図:東側ケース+経験的手法)

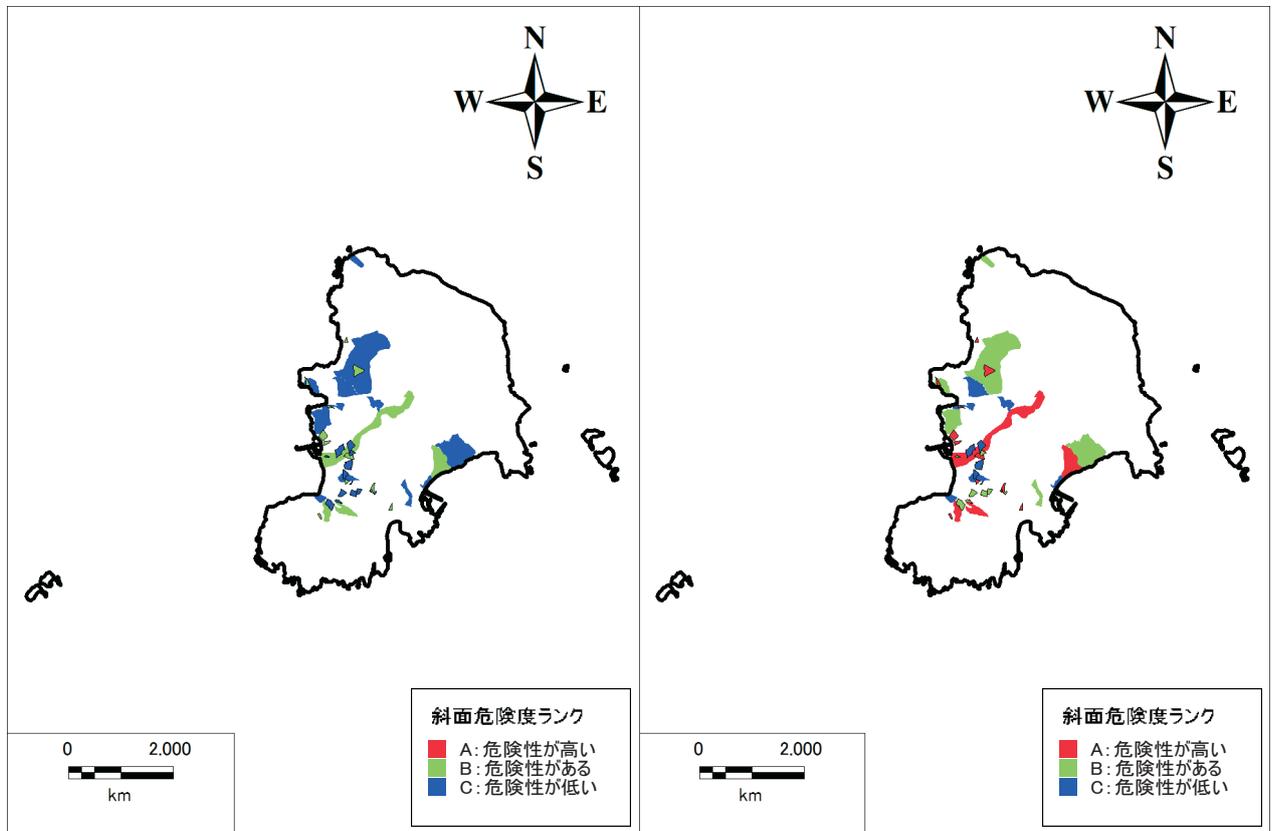


図 南海トラフ巨大地震における神津島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
 (左図:東側ケース 右図:東側ケース+経験的手法)

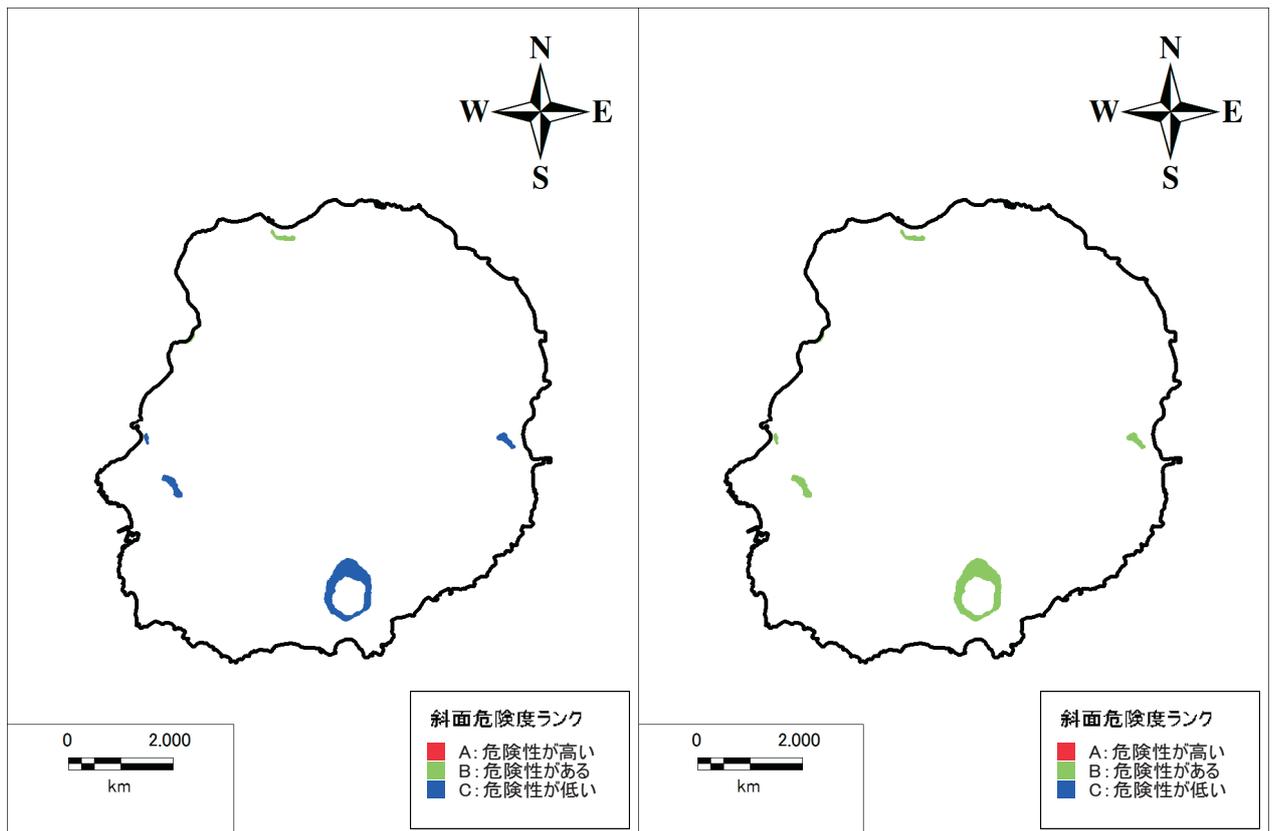


図 南海トラフ巨大地震における三宅島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
 (左図:東側ケース 右図:東側ケース+経験的手法)

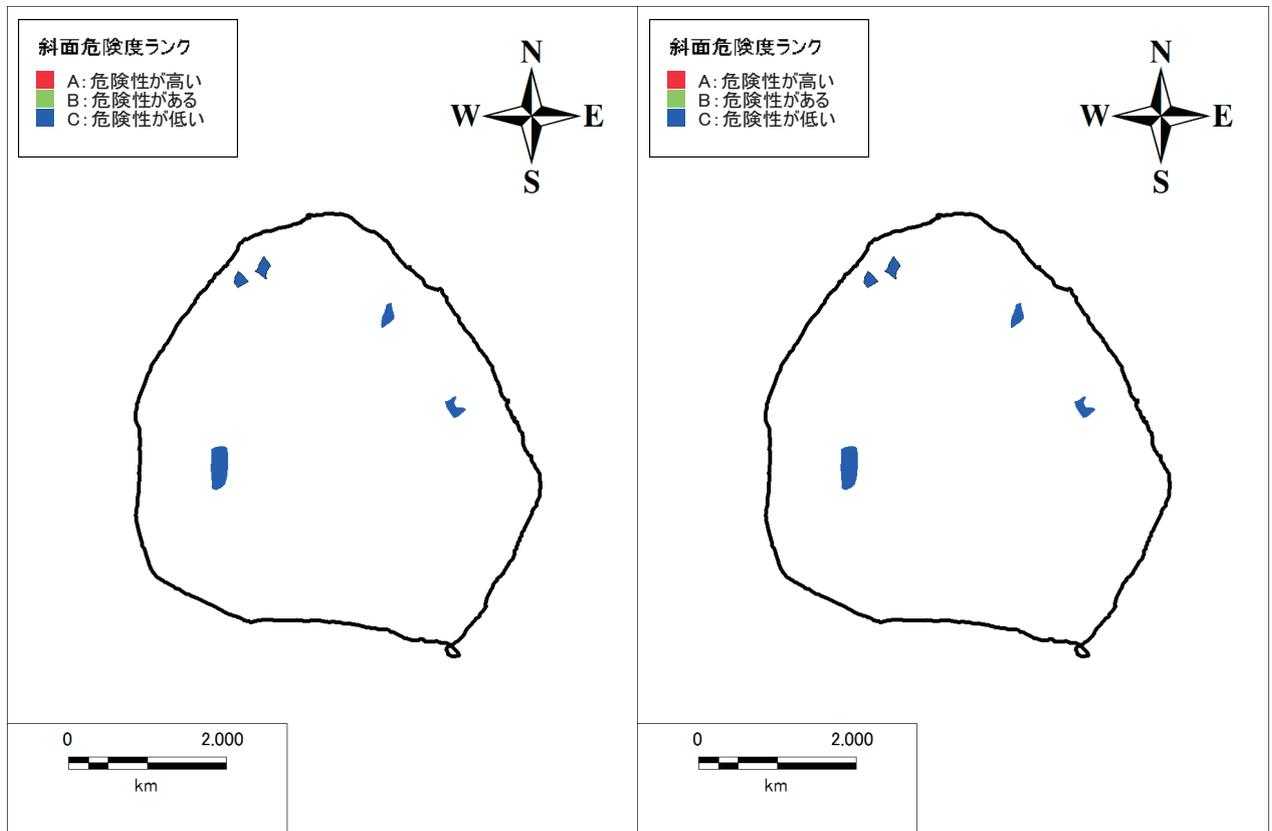


図 南海トラフ巨大地震における御蔵島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
 (左図:東側ケース 右図:東側ケース+経験的手法)

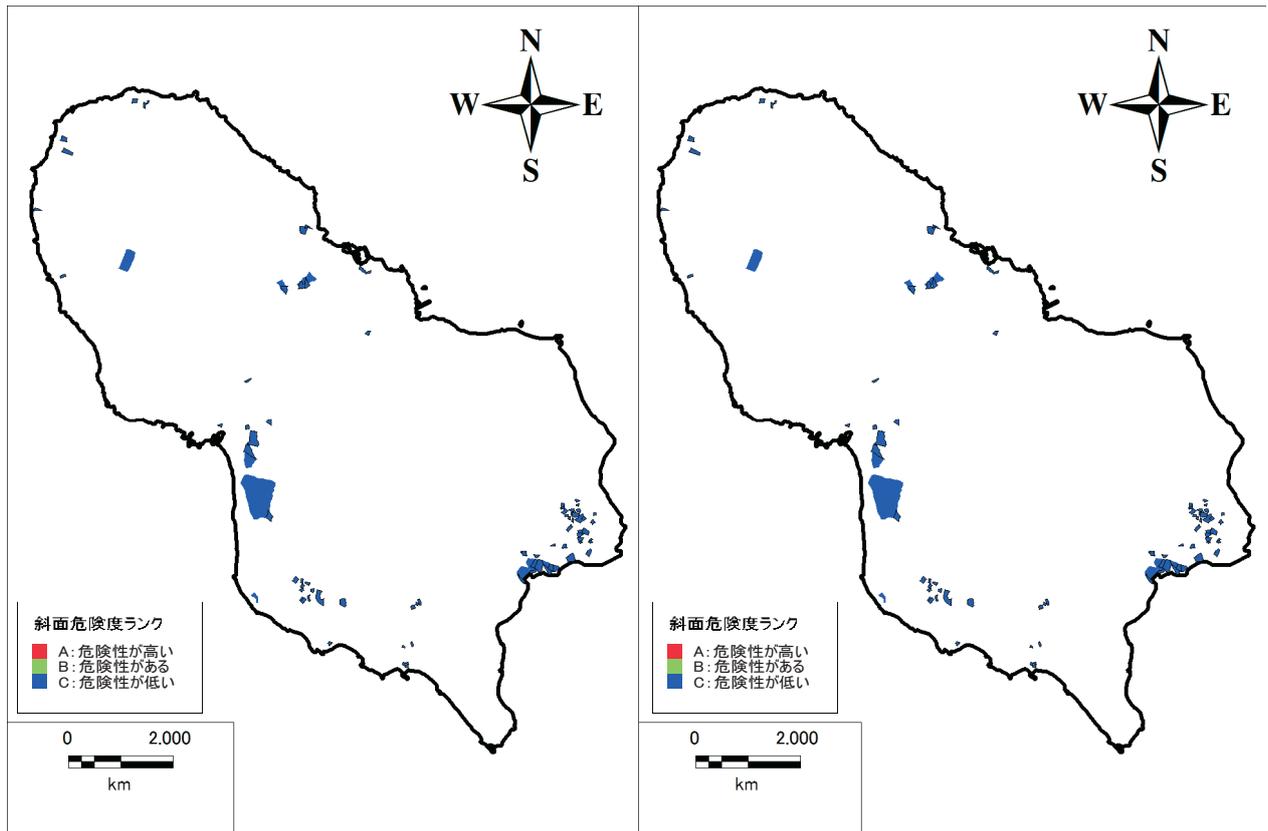


図 南海トラフ巨大地震における八丈島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
 (左図:東側ケース 右図:東側ケース+経験的手法)

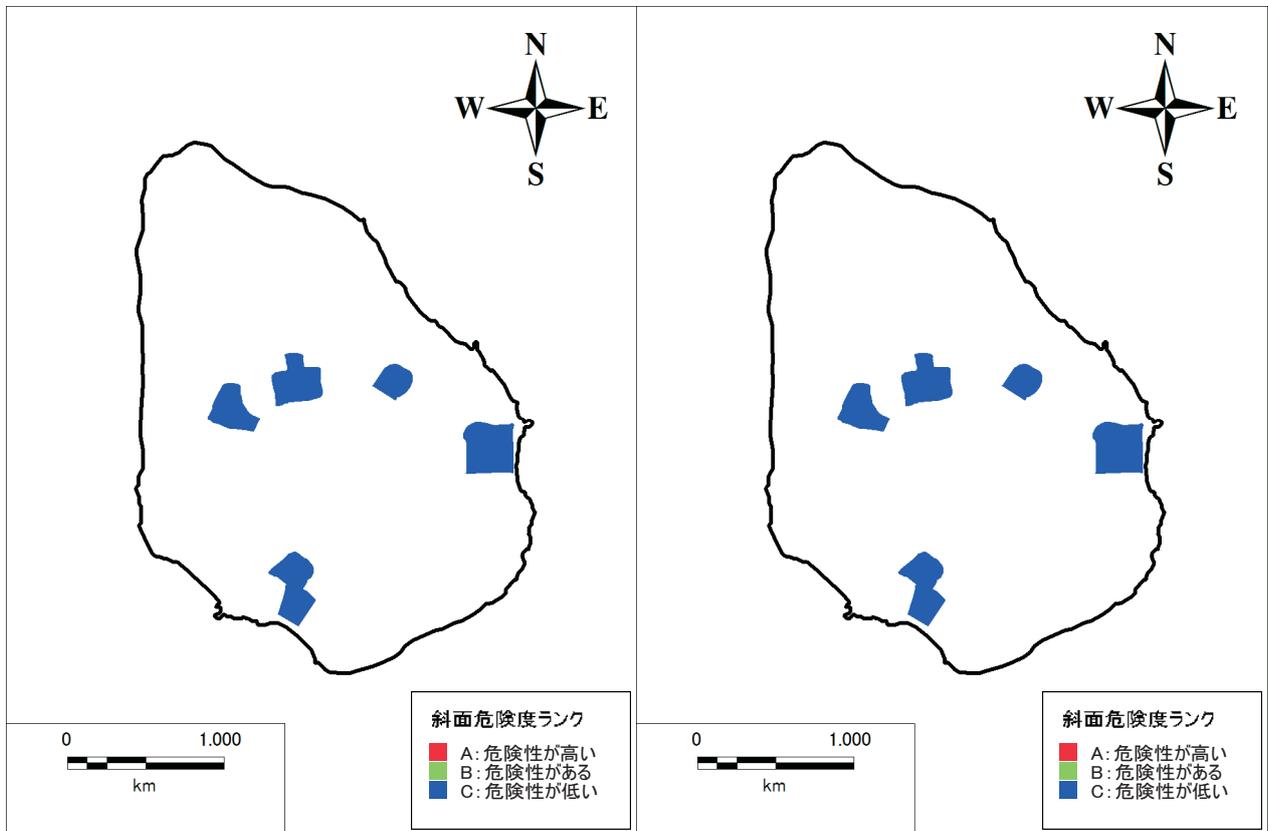


図 南海トラフ巨大地震における青ヶ島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
 (左図:東側ケース 右図:東側ケース+経験的手法)

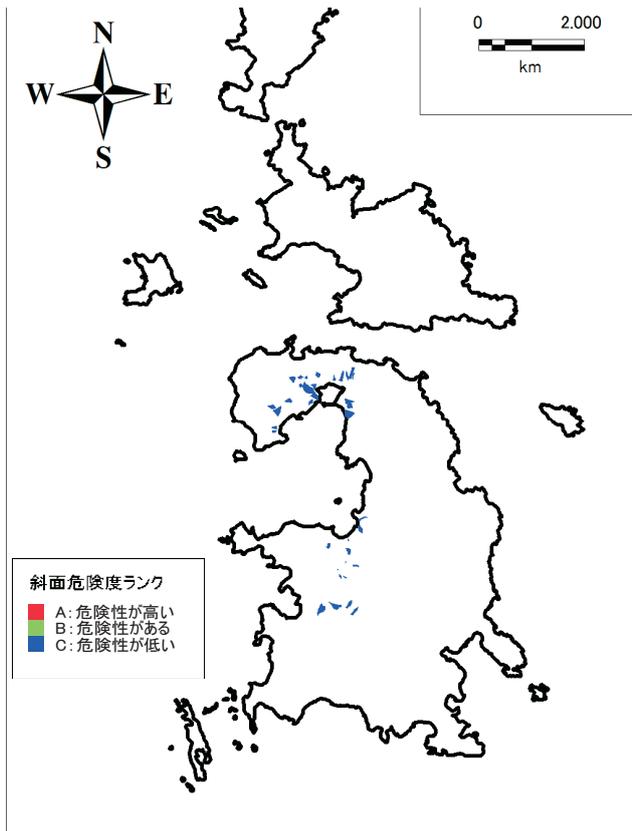


図 父島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
(南海トラフ巨大地震:経験的手法)

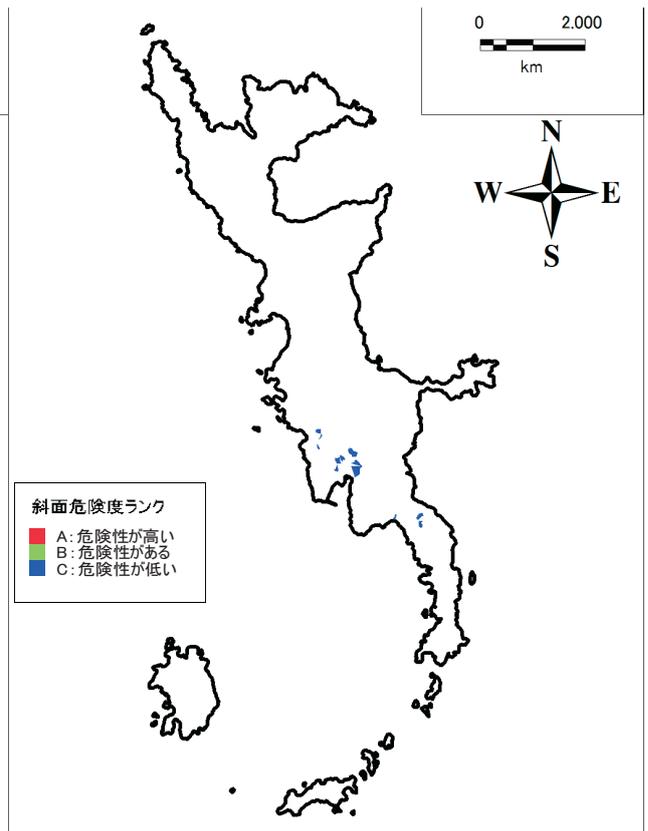


図 母島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
(南海トラフ巨大地震:経験的手法)

### 3 元禄型関東地震の急傾斜地等の斜面崩壊危険度の分布

元禄型関東地震（M8.2）で算定した地震時の斜面崩壊危険度ランクを下表にまとめるとともに、地震時の斜面崩壊危険度の分布を示す（八丈小島、鳥島、硫黄島については、該当無しのため割愛）。

表 地震時の斜面崩壊危険度ランク

地震	地震時の斜面の危険度ランク	地震時の斜面崩壊危険度ランク			計
		C	B	A	
元禄型関東地震 (M8.2)	急傾斜地崩壊危険箇所	169	29	28	226
	山腹崩壊危険地区	47	11	14	72
	計	216	40	42	298

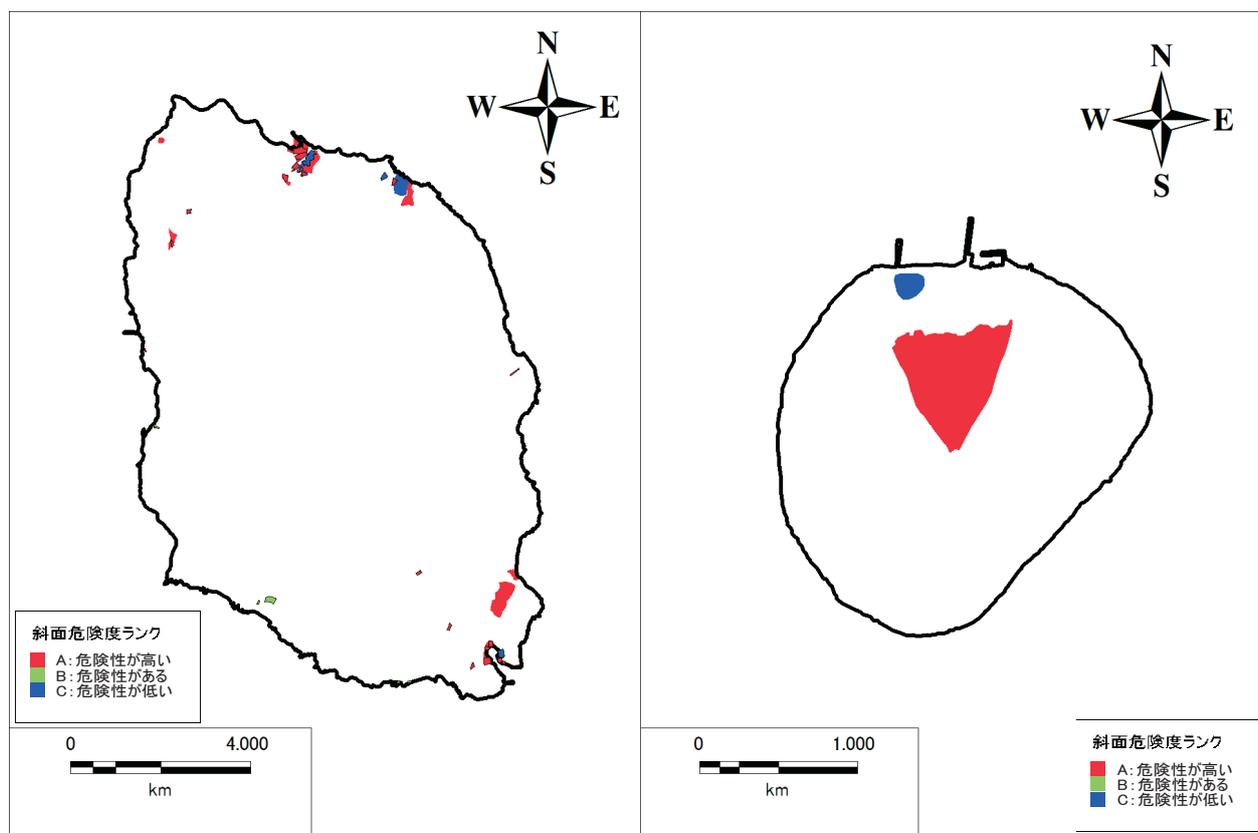


図 大島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
(元禄型関東地震)

図 利島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
(元禄型関東地震)

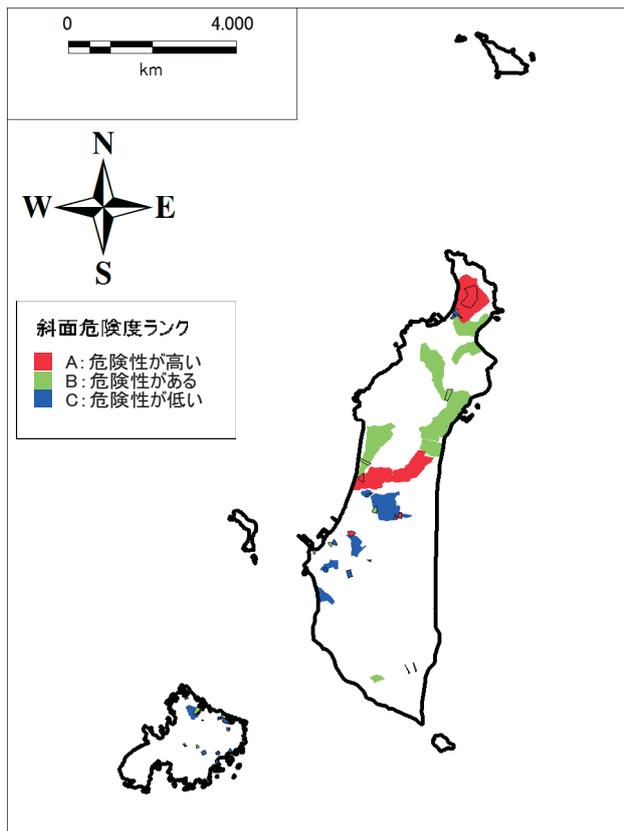


図 新島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
(元禄型関東地震)

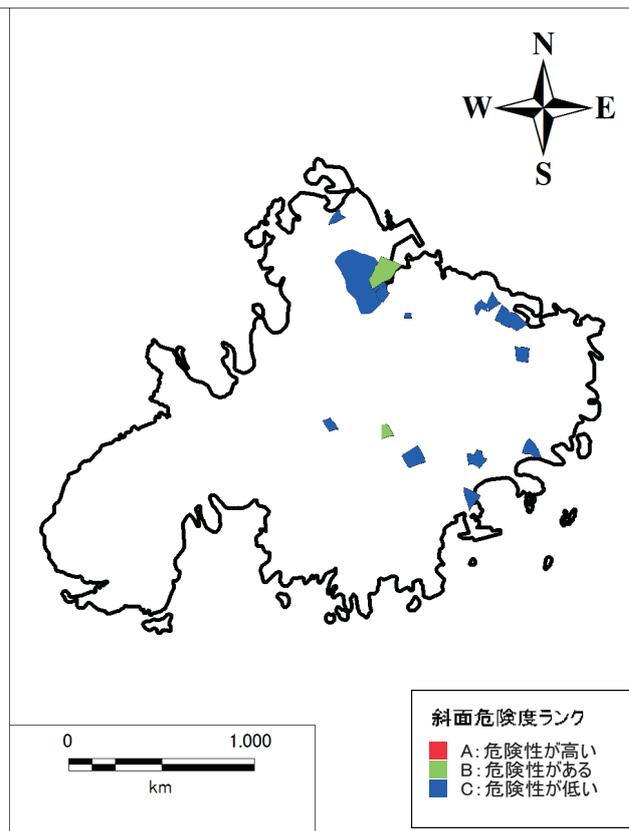


図 式根島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
(元禄型関東地震)

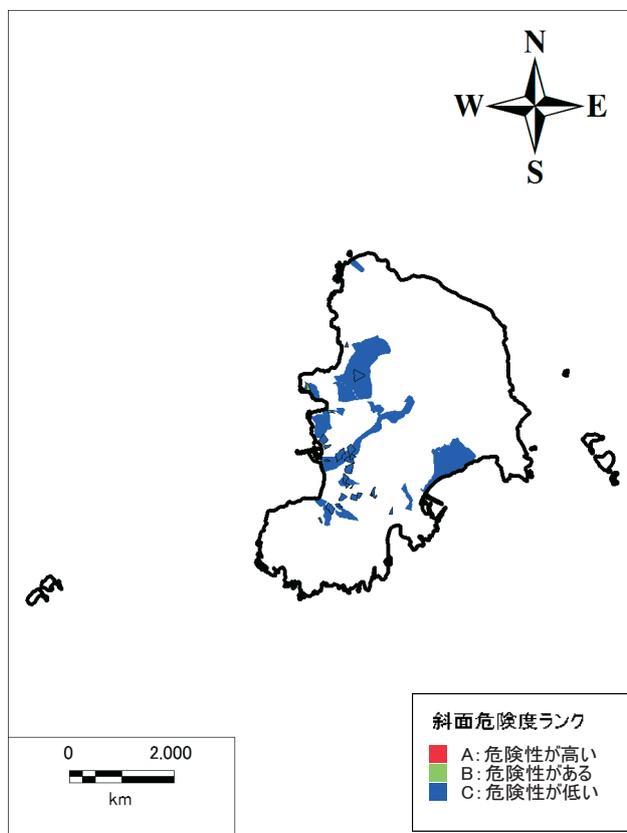


図 神津島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
(元禄型関東地震)

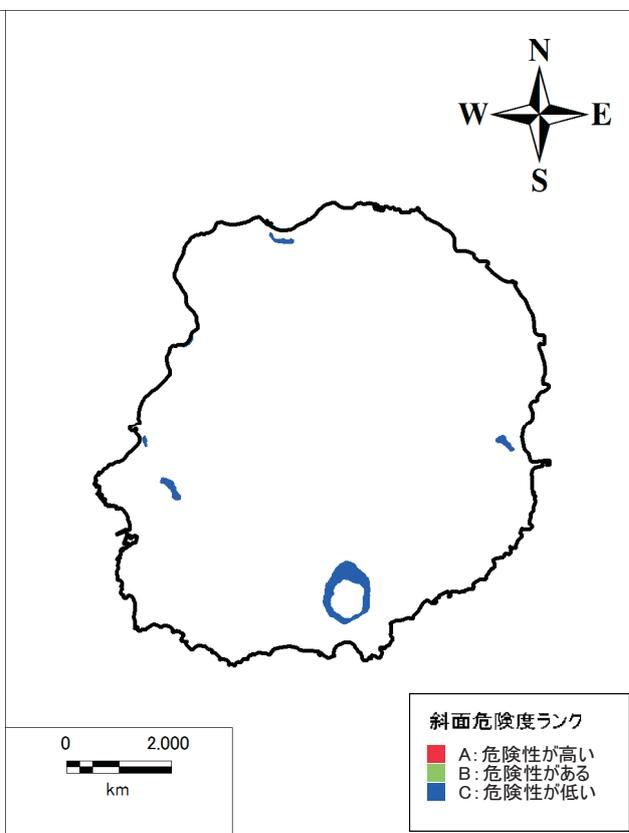


図 三宅島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
(元禄型関東地震)

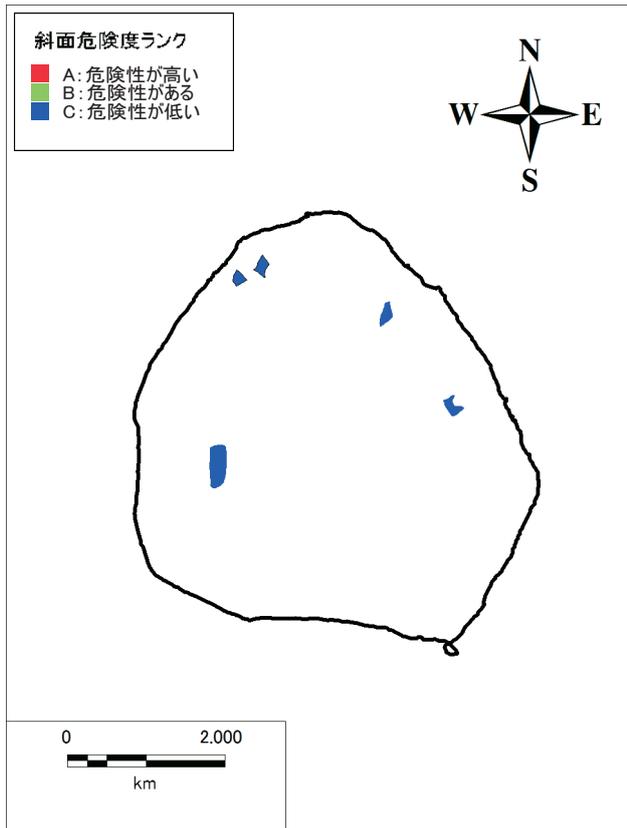


図 御蔵島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
(元禄型関東地震)

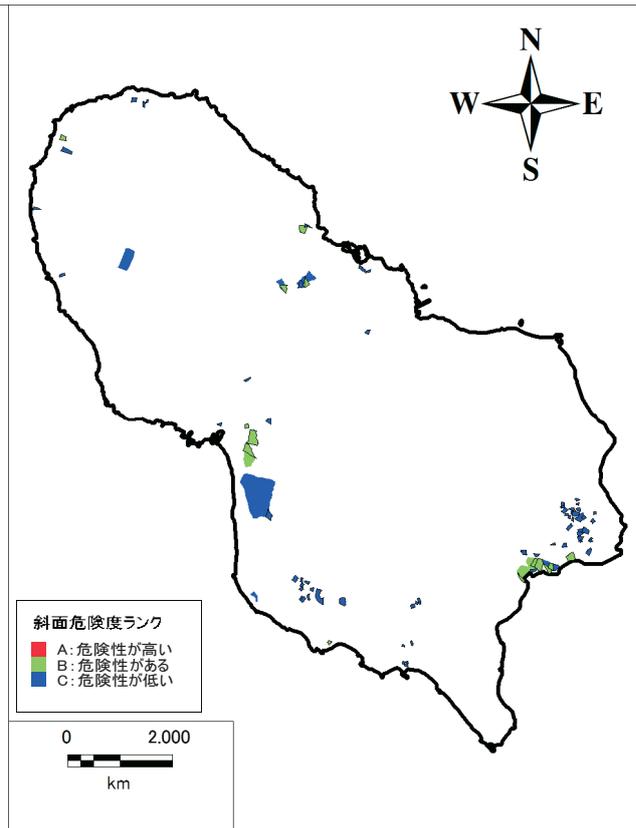


図 八丈島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
(元禄型関東地震)

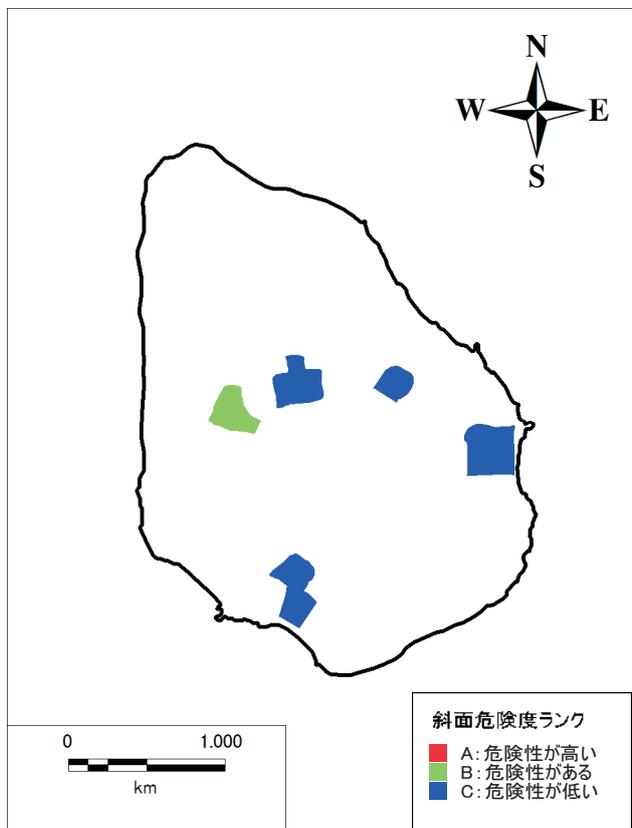


図 青ヶ島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
(元禄型関東地震)

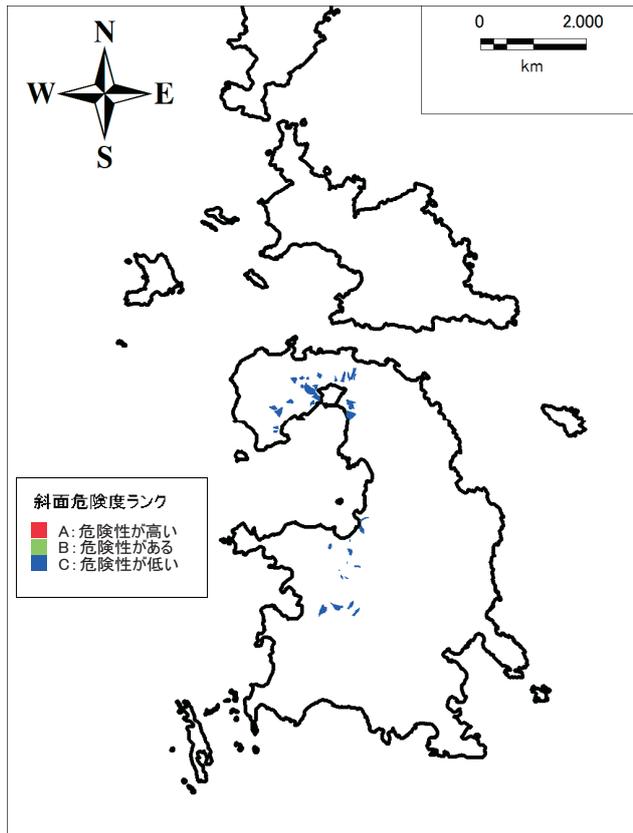


図 父島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
(元禄型関東地震:経験的手法)

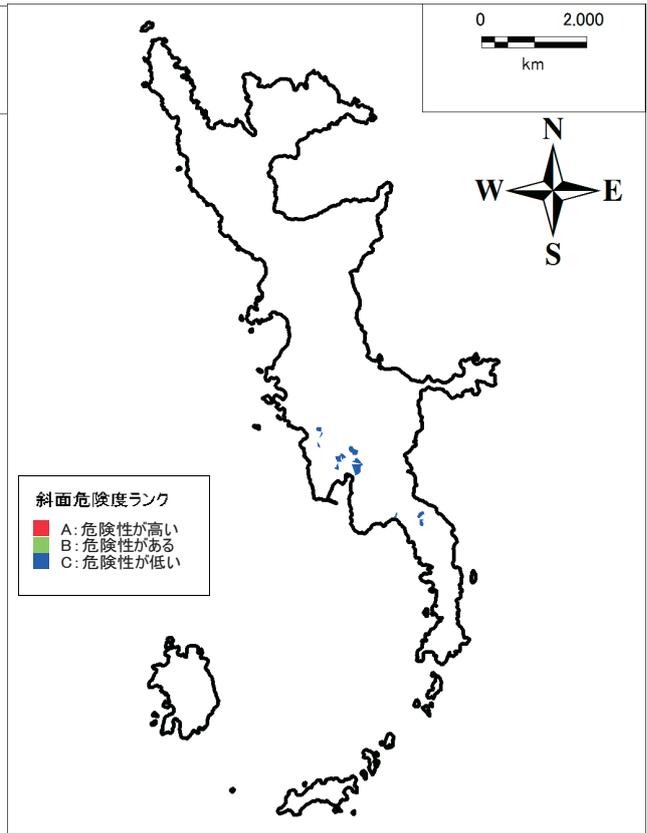


図 母島の地震時斜面崩壊危険度の分布  
(元禄型関東地震:経験的手法)

## Ⅲ－６ 津波高及び津波浸水の分布

### 1 南海トラフ巨大地震及び元禄型関東地震の津波数値シミュレーション(総括表)

南海トラフ巨大地震（M9.1（津波用）：5つのケース）及び元禄型関東地震（M8.2）について実施した津波数値シミュレーションの結果得られた、各島の港ごとの最大津波高（その中で最も高い値を色付きで示す。）を以下の総括表に示す。港によっては、同じ島でも異なるケースや元禄型関東地震の最大津波高の方が大きい場合もある。

表 港ごとの最大津波高(総括表)その1

大島町 (単位:T.P. m)

港名称	南海トラフ巨大地震					元禄型関東地震
	ケース①	ケース②	ケース⑤	ケース⑥	ケース⑧	
元町港・元町漁港	10.43	3.95	3.36	10.43	9.71	3.50
岡田港・岡田漁港	8.28	3.67	3.30	8.23	8.59	5.31
泉津漁港	3.72	2.12	1.96	3.68	3.72	3.32
波浮港	6.61	3.35	3.68	6.62	7.21	5.79
差木地漁港	8.40	3.42	2.65	8.39	9.03	3.70
野増漁港	13.96	3.65	3.09	13.94	13.42	2.92

利島村 (単位:T.P. m)

港名称	南海トラフ巨大地震					元禄型関東地震
	ケース①	ケース②	ケース⑤	ケース⑥	ケース⑧	
利島港	12.07	3.07	2.89	12.05	12.55	3.73

新島村(新島) (単位:T.P. m)

港名称	南海トラフ巨大地震					元禄型関東地震
	ケース①	ケース②	ケース⑤	ケース⑥	ケース⑧	
新島港	22.54	5.52	4.02	22.56	22.71	5.62
若郷漁港	23.08	5.29	3.99	23.09	24.04	6.06
羽伏漁港	8.73	4.74	3.81	9.37	9.85	7.87

新島村(式根島) (単位:T.P. m)

港名称	南海トラフ巨大地震					元禄型関東地震
	ケース①	ケース②	ケース⑤	ケース⑥	ケース⑧	
式根島港	10.05	3.91	3.40	10.06	9.57	6.96
野伏漁港	22.16	4.76	4.71	22.17	22.12	4.82
小浜漁港	22.44	4.44	4.06	22.44	22.45	4.36

神津島村 (単位:T.P. m)

港名称	南海トラフ巨大地震					元禄型関東地震
	ケース①	ケース②	ケース⑤	ケース⑥	ケース⑧	
神津島港	24.46	9.03	4.45	24.46	24.33	5.45
三浦漁港(多幸湾)	13.11	4.97	4.32	13.10	13.69	8.98
三浦湾	23.65	5.49	4.37	23.67	23.68	6.34

注) 最大津波高の値は地殻変動量を考慮した場合の値を示す。

表 港ごとの最大津波高(総括表)その2

三宅村 (単位:T.P. m)

港名称	南海トラフ巨大地震					元禄型関東地震
	ケース①	ケース②	ケース⑤	ケース⑥	ケース⑧	
三池港	9.79	5.99	6.61	10.21	10.79	18.20
坪田漁港	8.58	5.59	4.58	8.24	9.89	14.90
阿古漁港	10.85	4.29	3.68	10.83	10.05	8.58
伊ヶ谷漁港	16.11	7.69	5.35	16.10	16.98	10.68
大久保港・大久保漁港	12.55	5.00	3.69	12.55	12.94	14.16
湯の浜漁港	12.16	5.04	3.81	12.17	11.29	14.68

御蔵島村 (単位:T.P. m)

港名称	南海トラフ巨大地震					元禄型関東地震
	ケース①	ケース②	ケース⑤	ケース⑥	ケース⑧	
御蔵島港	5.80	4.01	2.87	5.64	5.45	14.81

八丈町 (単位:T.P. m)

港名称	南海トラフ巨大地震					元禄型関東地震
	ケース①	ケース②	ケース⑤	ケース⑥	ケース⑧	
神湊漁港	10.90	6.34	4.81	9.16	7.70	7.51
神湊港	10.08	6.31	5.16	9.70	9.69	10.75
洞輪沢漁港	9.56	8.74	6.74	9.28	8.89	6.13
中之郷漁港	10.88	6.33	5.65	10.67	7.20	4.61
八重根港・八重根漁港	16.13	8.44	4.87	18.07	12.04	5.58
ナズマド漁港	5.09	4.35	2.47	5.31	4.41	5.34
出鼻漁港	5.11	4.69	2.82	5.34	4.25	7.87

青ヶ島村 (単位:T.P. m)

港名称	南海トラフ巨大地震					元禄型関東地震
	ケース①	ケース②	ケース⑤	ケース⑥	ケース⑧	
青ヶ島港	7.88	5.64	5.05	7.39	5.95	3.90
大千代港	8.74	5.77	4.35	8.12	4.63	3.18

小笠原村(父島) (単位:T.P. m)

港名称	南海トラフ巨大地震					元禄型関東地震
	ケース①	ケース②	ケース⑤	ケース⑥	ケース⑧	
二見港・二見漁港	6.00	7.47	9.76	9.12	5.25	2.99

小笠原村(母島) (単位:T.P. m)

港名称	南海トラフ巨大地震					元禄型関東地震
	ケース①	ケース②	ケース⑤	ケース⑥	ケース⑧	
沖港	6.78	5.70	10.35	6.35	5.74	1.77
母島漁港(東港)	8.83	9.23	9.40	11.20	6.89	2.26
母島漁港(北港)	8.72	6.46	8.76	8.60	7.17	2.76

注) 最大津波高の値は地殻変動量を考慮した場合の値を示す。

## 2 南海トラフ巨大地震の津波数値シミュレーション(島しょ部及び東京湾)

### 2. 1 津波シミュレーションの計算条件について

南海トラフ巨大地震 (M9.1) について、以下の計算条件で津波数値シミュレーションを実施した。なお、津波高の計算結果は T.P.表示とする。

使用した津波断層モデル (波源モデル)

- ・南海トラフ巨大地震 内閣府 (2012) モデル ケース①、②、⑤、⑥及び⑧

計算条件

- ・メッシュサイズ : 10m (主要な島の沿岸) ~30m~90m~270m~810m (外洋)
- ・運動方程式 : 非線形長波式 (浅水理論式)
- ・再現時間 : 12 時間
- ・初期水位分布 : 断層モデルから鉛直地殻変動量分布を計算し、時間差無しで全メッシュに鉛直地殻変動量を初期水位として付与。
- ・破堤条件 : 越流した際に破堤する。
- ・潮位 : 各島の朔望平均満潮位 (High Water Level : H.W.L.) を初期潮位とする。各島の初期潮位 (DL 基準) を T.P.に換算した値は以下のとおり。

大島	DL+1.5m (T.P.+0.6m)
利島	DL+1.6m (T.P.+0.63m)
新島、式根島	DL+1.7m (T.P.+0.73m)
神津島	DL+1.96m (T.P.+0.99m)
三宅島	DL+1.7m (T.P.+0.62m)
御蔵島	DL+1.5m (T.P.+0.58m)
八丈島	DL+1.7m (T.P.+0.75m)
青ヶ島	DL+1.7m (T.P.+0.83m)
父島、母島	DL+1.1m (T.P.+0.4m)
(東京湾	T.P.+0.966m (A.P.+2.10m))

注)・T.P.(Tokyo Peil) : 東京湾平均海面

- ・A.P.(Arakawa Peil) : 霊岸島量水標零位。明治6年6月~明治12年12月の隅田川河口の霊岸島の量水標の観測結果より旧日本軍陸地測量部が決めた基本水準面の高さ。ほぼ大潮干潮位にあたり、荒川工事基準面として利用される。T.P.+0m=A.P.+1.134m。
- ・D.L.(Datum Line) : 港湾、海岸毎に決められた水深の工事用基準面(DL)、若しくは気象庁ホームページに記載されている観測基準面(ODL)のこと。

浸水深の表示

- ・国土交通省ほか (2012) 「津波浸水想定の設定の手引き Ver.2.00」に準拠する。

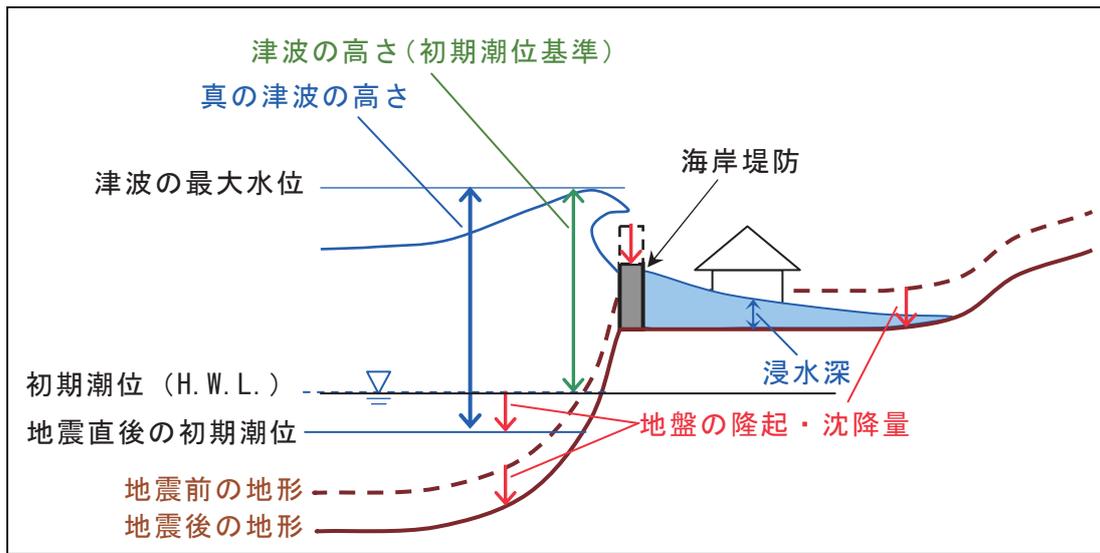


図 津波の高さの説明図

## 2. 2 島ごとの総括表の見方

津波数値シミュレーションの結果を、島ごとの総括表にまとめて示す（2. 3節の各島別）。島ごとの総括表の表示内容について、以下に解説を示す。

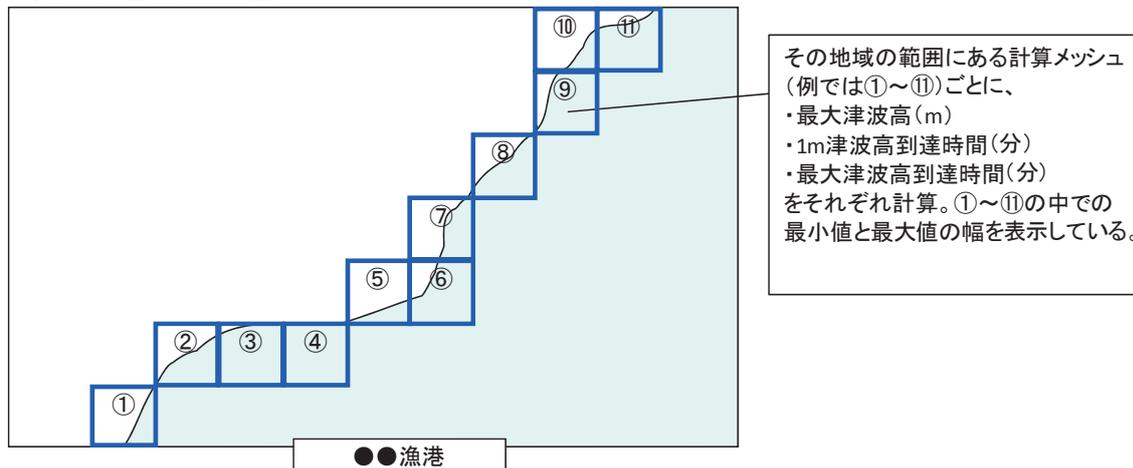
**表 島ごとの総括表の表示内容**

ケース	対象範囲	各地点の最大津波高(m) (地殻変動を考慮しない場合の値)	各地点の最大津波高の平均値(m) (地殻変動を考慮しない場合の値)	各地点の1m津波高の到達時間(分) 【当該範囲で最大津波高が来る地点での時間】	各地点の最大津波高の到達時間(分) 【当該範囲で最大津波高が来る地点での時間】
ケース〇	●●漁港	A~B (a~b)	C (c)	D~E 【H】	F~G 【I】

上記のA~Iについては、当該対象範囲に含まれる海岸線の各地点での、次の値を示す。

- A：最大津波高のうち、一番小さい値（a：地殻変動量を考慮しない場合の値）
- B：最大津波高のうち、一番大きい値（b：地殻変動量を考慮しない場合の値）
- C：最大津波高（A~B）の平均値（c：地殻変動量を考慮しない場合のa~bの平均値）
- D：津波高がいずれかの地点で最初に1mに達する時間  
（この時の1mとは、初期潮位に地殻変動量が加算されたものからの1mを表す。例えば、初期潮位がT.P.+0.99m、地殻変動量が-0.02mの場合、1m津波高はT.P.+1.97mの津波高となる。）
- E：最大津波高が1m以上のすべての地点で津波高が1mに達する時間
- F：最大津波高が到来する一番早い時間
- G：最大津波高が到来する一番遅い時間
- H：最大津波高のうち一番大きい値（B）の地点で津波高が1mに達する時間
- I：最大津波高のうち一番大きい値（B）の地点で最大津波高が到来する時間

（計算対象範囲のイメージ図）



総括表の内容を視覚的に図で表現する場合、図の表示内容と総括表における表示内容との対応は、以下のとおりとなる。

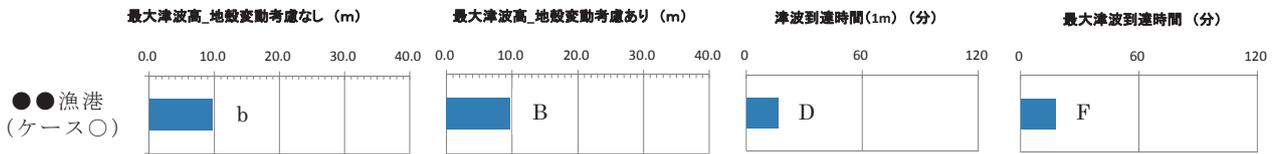


図 最大津波高と津波到達時間(1m 及び最大波)

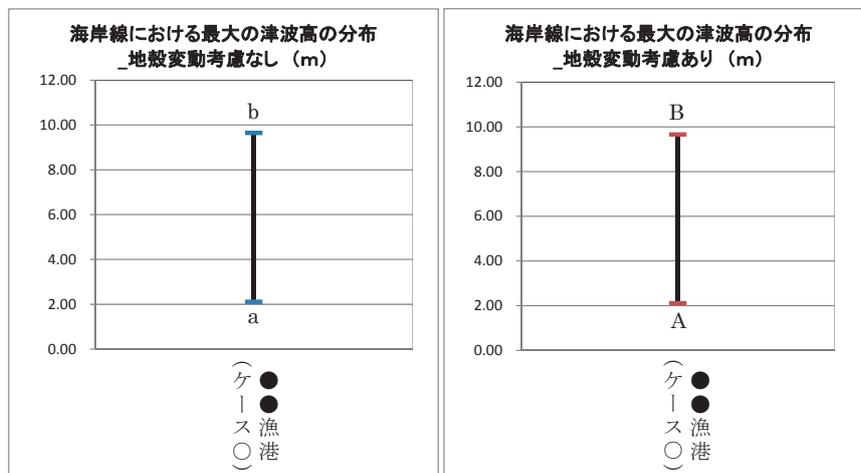


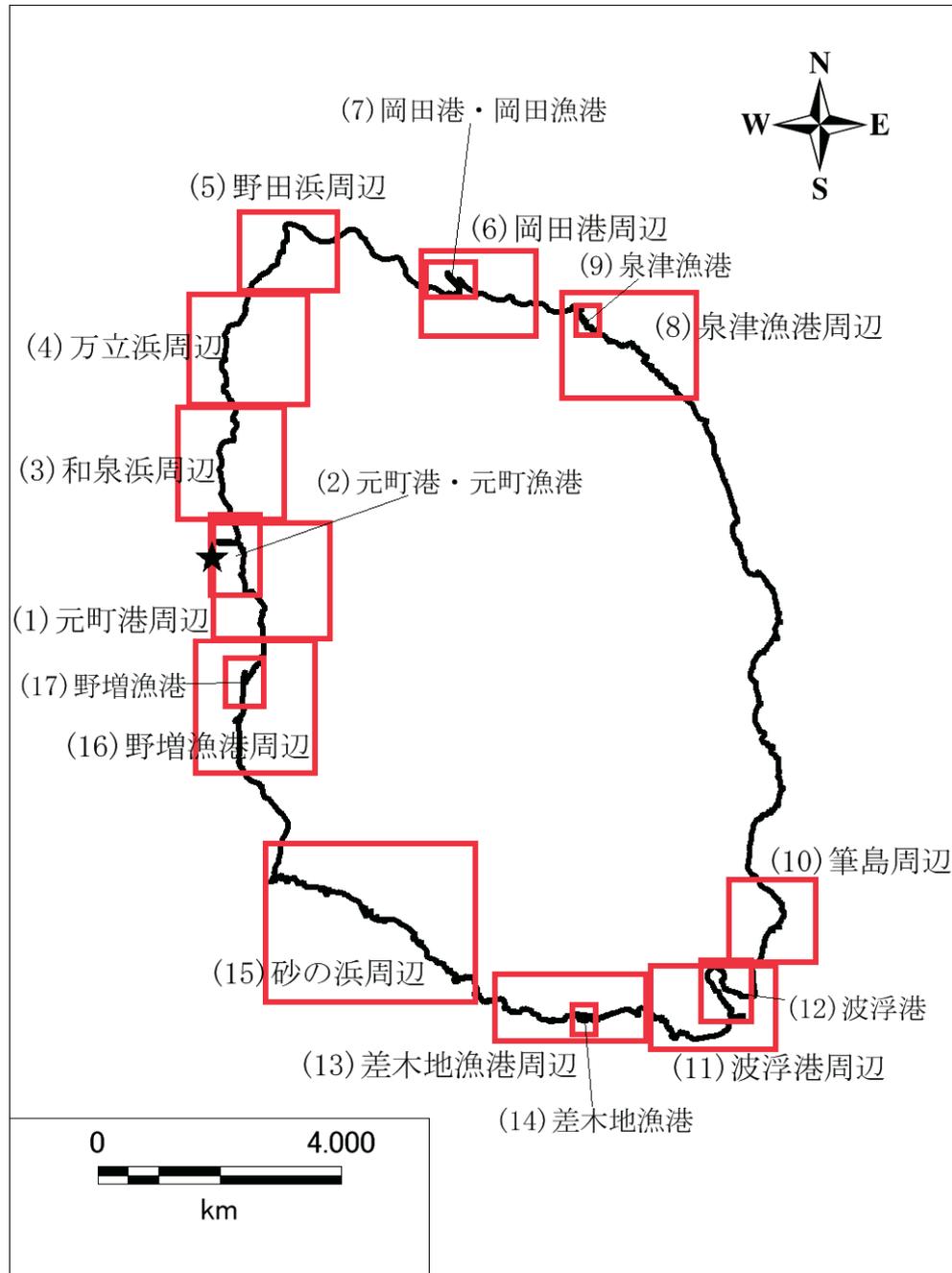
図 最大津波高の範囲

- ※ D、F の値は、総括表では小数点以下第 2 位で、上図では小数点以下第 1 位で四捨五入している。
- ※ F は、1 m 未満の最大津波高到達時間を示すことがあるため、D よりも早い場合がある。(対象範囲における最大津波高の一部が 1 m 未満の場合。)

## 2. 3 津波シミュレーションの結果について（島別）

### （1）大島

#### 1-1）全体及び拡大範囲図



大島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

1-2) 大島の総括表

大島の総括表 (その1)

ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース①	(1)元町港周辺	5.76~13.20 (5.74~13.18)	8.53 (8.51)	20.2~21.5 【21.5】	21.5~28.8 【28.2】
	(2)元町港・元町漁港	5.76~10.43 (5.74~10.41)	7.75 (7.73)	20.2~21.2 【21.1】	21.4~28.8 【28.2】
	(3)和泉浜周辺	5.75~8.94 (5.73~8.92)	7.19 (7.17)	20.2~20.8 【20.8】	21.0~21.7 【21.5】
	(4)万立浜周辺	5.03~7.01 (5.01~6.99)	6.14 (6.11)	20.2~20.7 【20.5】	21.1~26.4 【21.3】
	(5)野田浜周辺	3.96~8.15 (3.95~8.13)	6.27 (6.25)	20.7~22.4 【21.5】	21.8~43.5 【22.3】
	(6)岡田港周辺	2.60~8.28 (2.55~8.25)	4.93 (4.89)	22.9~24.1 【24.0】	23.8~50.3 【29.1】
	(7)岡田港・岡田漁港	3.39~8.28 (3.36~8.25)	5.88 (5.85)	22.9~24.1 【24.0】	23.8~50.3 【29.1】
	(8)泉津漁港周辺	1.99~3.72 (1.94~3.66)	2.56 (2.50)	23.0~25.3 【23.3】	28.5~50.1 【33.3】
	(9)泉津漁港	2.31~3.72 (2.25~3.66)	2.72 (2.67)	23.2~23.3 【23.3】	32.8~50.1 【33.3】
	(10)筆島周辺	4.10~8.34 (4.02~8.26)	6.27 (6.20)	22.9~24.2 【24.0】	23.4~61.3 【37.8】
	(11)波浮港周辺	2.82~9.24 (2.75~9.19)	5.33 (5.27)	21.0~23.7 【21.2】	21.8~51.0 【22.3】
	(12)波浮港	2.82~6.61 (2.75~6.54)	4.74 (4.68)	21.7~23.7 【22.9】	22.2~51.0 【23.4】
	(13)差木地漁港周辺	5.95~10.17 (5.91~10.12)	7.52 (7.48)	20.2~21.5 【21.4】	21.1~26.8 【22.2】
	(14)差木地漁港	5.97~8.40 (5.92~8.36)	7.03 (6.98)	20.6~21.2 【20.8】	21.5~22.0 【21.5】
	(15)砂の浜周辺	6.59~11.98 (6.56~11.96)	9.17 (9.14)	19.7~20.8 【20.7】	20.9~41.7 【21.4】
	(16)野増漁港周辺	7.86~13.96 (7.84~13.94)	10.47 (10.45)	20.3~21.5 【21.1】	21.0~28.8 【27.8】
	(17)野増漁港	7.86~13.96 (7.84~13.94)	10.05 (10.03)	20.5~21.5 【21.1】	21.4~28.8 【27.8】
	島全体	1.99~14.57 (1.94~14.55)	6.37 (6.33)	19.7~25.4 【20.7】	20.9~64.5 【21.4】

大島の総括表（その2）

ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース②	(1)元町港周辺	2.51～4.30 (2.43～4.22)	3.12 (3.04)	26.6～47.4 【28.0】	47.9～131.0 【63.2】
	(2)元町港・元町漁港	2.51～3.95 (2.43～3.87)	2.97 (2.89)	26.6～47.4 【28.6】	47.9～131.0 【48.3】
	(3)和泉浜周辺	2.20～3.83 (2.12～3.75)	2.90 (2.83)	26.4～47.0 【26.4】	47.3～137.8 【47.9】
	(4)万立浜周辺	2.13～3.00 (2.05～2.92)	2.47 (2.40)	33.6～47.4 【33.6】	47.3～137.5 【130.3】
	(5)野田浜周辺	1.85～3.05 (1.78～2.98)	2.49 (2.43)	33.2～48.9 【33.3】	47.9～138.8 【48.5】
	(6)岡田港周辺	1.62～3.67 (1.56～3.60)	2.46 (2.40)	31.2～131.0 【35.5】	46.8～137.7 【52.0】
	(7)岡田港・岡田漁港	1.68～3.67 (1.61～3.60)	2.77 (2.71)	31.2～126.3 【35.5】	46.8～137.7 【52.0】
	(8)泉津漁港周辺	1.42～2.12 (1.37～2.06)	1.56 (1.51)	45.2～131.4 【45.2】	122.3～138.4 【122.8】
	(9)泉津漁港	1.42～2.12 (1.37～2.06)	1.57 (1.51)	45.2～131.2 【45.2】	122.7～138 【122.8】
	(10)筆島周辺	2.37～3.49 (2.29～3.41)	2.82 (2.75)	39.3～44.4 【40.7】	48.6～144.8 【84.9】
	(11)波浮港周辺	1.99～3.74 (1.92～3.66)	2.57 (2.50)	27.1～43.0 【39.5】	41.8～145.7 【56.9】
	(12)波浮港	1.99～3.35 (1.92～3.27)	2.45 (2.37)	39.7～42.6 【40.7】	41.8～145.7 【85.0】
	(13)差木地漁港周辺	2.43～4.42 (2.35～4.34)	2.93 (2.85)	26.5～42.4 【26.8】	52.1～143.4 【116.1】
	(14)差木地漁港	2.43～3.42 (2.35～3.34)	2.88 (2.80)	26.5～42.4 【26.5】	56.2～142.9 【56.5】
	(15)砂の浜周辺	2.54～5.28 (2.45～5.20)	3.57 (3.49)	25.6～28.3 【26.3】	56.5～119.8 【59.8】
	(16)野増漁港周辺	2.63～3.78 (2.55～3.70)	3.08 (3.01)	26.1～28.4 【27.3】	48.7～128.4 【127.5】
	(17)野増漁港	2.80～3.65 (2.73～3.57)	3.17 (3.09)	26.2～28.4 【27.2】	48.7～128.4 【127.7】
	島全体	1.42～5.28 (1.37～5.20)	2.65 (2.58)	25.6～144.8 【26.3】	39.8～161.7 【59.8】

大島の総括表（その3）

ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース⑤	(1)元町港周辺	2.00～3.77 (1.96～3.73)	2.67 (2.63)	42.8～155.5 【42.9】	136.4～164.5 【136.7】
	(2)元町港・元町漁港	2.00～3.36 (1.96～3.33)	2.56 (2.53)	49.5～155.5 【49.5】	136.7～164.5 【163.7】
	(3)和泉浜周辺	1.74～3.54 (1.70～3.50)	2.39 (2.36)	28.8～155.9 【127.4】	146.7～163.6 【162.4】
	(4)万立浜周辺	1.72～2.52 (1.68～2.48)	1.96 (1.92)	127.4～155.3 【133.3】	144.3～169.9 【169.7】
	(5)野田浜周辺	1.66～2.97 (1.62～2.93)	2.12 (2.09)	128.9～156.0 【129.8】	141.6～165.2 【141.6】
	(6)岡田港周辺	1.43～3.30 (1.40～3.27)	2.25 (2.22)	69.9～164.7 【69.9】	140.8～164.8 【140.8】
	(7)岡田港・岡田漁港	1.68～3.30 (1.65～3.27)	2.51 (2.48)	69.9～152.4 【69.9】	140.8～158.8 【140.8】
	(8)泉津漁港周辺	1.23～1.96 (1.20～1.93)	1.39 (1.36)	147.7～162.5 【147.7】	147.4～165.0 【162.5】
	(9)泉津漁港	1.26～1.96 (1.23～1.93)	1.44 (1.41)	147.7～162.5 【147.7】	147.4～164.5 【162.5】
	(10)筆島周辺	2.15～3.61 (2.11～3.57)	2.69 (2.65)	70.8～124.5 【74.5】	115.4～171.6 【158.5】
	(11)波浮港周辺	1.66～3.61 (1.62～3.58)	2.12 (2.08)	59.0～165.6 【110.9】	72.3～166.0 【158.4】
	(12)波浮港	1.66～3.68 (1.62～3.64)	2.15 (2.11)	72.1～165.6 【74.6】	72.3～166.0 【158.4】
	(13)差木地漁港周辺	1.71～4.28 (1.67～4.24)	2.44 (2.40)	29.0～149.5 【29.0】	130.5～162.1 【138.6】
	(14)差木地漁港	1.71～2.65 (1.67～2.61)	2.13 (2.09)	59.2～142.2 【59.6】	142.0～162.1 【150.5】
	(15)砂の浜周辺	1.93～4.18 (1.89～4.14)	2.96 (2.92)	27.9～150.5 【48.3】	121.5～174.1 【163.9】
	(16)野増漁港周辺	1.79～3.09 (1.75～3.05)	2.31 (2.27)	29.9～155.5 【50.1】	154.5～164.2 【163.5】
	(17)野増漁港	1.79～3.09 (1.75～3.05)	2.27 (2.23)	29.9～155.5 【50.1】	154.5～164.2 【163.5】
	島全体	1.22～4.28 (1.19～4.24)	2.26 (2.22)	27.9～165.6 【29.0】	72.3～174.1 【138.6】

大島の総括表（その4）

ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース⑥	(1)元町港周辺	5.76～13.22 (5.74～13.20)	8.54 (8.52)	20.2～21.5 【21.5】	21.5～45.9 【28.2】
	(2)元町港・元町漁港	5.76～10.43 (5.74～10.41)	7.76 (7.74)	20.2～21.2 【21.1】	21.4～45.9 【28.2】
	(3)和泉浜周辺	5.75～8.94 (5.73～8.92)	7.19 (7.17)	20.2～20.8 【20.8】	21.0～21.7 【21.5】
	(4)万立浜周辺	5.03～7.01 (5.01～6.99)	6.14 (6.12)	20.2～20.7 【20.5】	21.1～26.4 【21.3】
	(5)野田浜周辺	3.96～8.16 (3.94～8.14)	6.27 (6.25)	20.7～22.4 【21.5】	21.8～43.5 【22.3】
	(6)岡田港周辺	2.59～8.23 (2.55～8.21)	4.94 (4.91)	22.9～24.2 【24.1】	23.8～49.5 【29.1】
	(7)岡田港・岡田漁港	3.37～8.23 (3.34～8.21)	5.86 (5.84)	22.9～24.2 【24.1】	23.8～39.7 【29.1】
	(8)泉津漁港周辺	2.02～3.68 (1.97～3.63)	2.53 (2.47)	23.0～25.3 【23.3】	28.5～50.1 【33.3】
	(9)泉津漁港	2.27～3.68 (2.22～3.63)	2.68 (2.63)	23.2～23.3 【23.3】	32.9～50.1 【33.3】
	(10)筆島周辺	4.20～8.35 (4.12～8.28)	6.23 (6.16)	22.9～24.2 【24.0】	23.4～61.4 【37.8】
	(11)波浮港周辺	2.81～9.23 (2.75～9.19)	5.33 (5.27)	21.0～23.7 【21.2】	21.8～36.6 【22.3】
	(12)波浮港	2.81～6.62 (2.75～6.55)	4.74 (4.68)	21.7～23.7 【22.9】	22.2～36.6 【23.4】
	(13)差木地漁港周辺	5.95～10.16 (5.91～10.12)	7.51 (7.48)	20.2～21.5 【21.4】	21.1～26.8 【22.2】
	(14)差木地漁港	5.96～8.39 (5.92～8.35)	7.02 (6.98)	20.6～21.2 【20.8】	21.5～22.0 【21.5】
	(15)砂の浜周辺	6.58～11.98 (6.56～11.96)	9.17 (9.15)	19.7～20.8 【20.7】	20.9～41.7 【21.4】
	(16)野増漁港周辺	7.87～13.94 (7.85～13.92)	10.47 (10.45)	20.3～21.5 【21.1】	21.0～28.8 【27.8】
	(17)野増漁港	7.87～13.94 (7.85～13.92)	10.05 (10.03)	20.5～21.5 【21.1】	21.4～28.8 【27.8】
	島全体	2.02～14.57 (1.97～14.55)	6.38 (6.33)	19.7～25.4 【20.7】	20.9～67.0 【21.4】

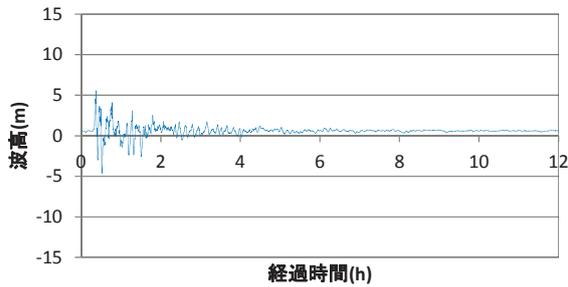
大島の総括表（その5）

ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース⑧	(1)元町港周辺	6.10～12.87 (6.04～12.81)	8.85 (8.79)	21.3～22.6 【22.5】	22.5～46.7 【23.2】
	(2)元町港・元町漁港	6.10～9.71 (6.04～9.64)	8.27 (8.20)	21.3～22.3 【22.1】	22.4～46.7 【29.2】
	(3)和泉浜周辺	6.19～9.42 (6.13～9.36)	7.70 (7.63)	21.2～21.9 【21.8】	22.1～22.7 【22.5】
	(4)万立浜周辺	5.38～7.67 (5.31～7.61)	6.68 (6.61)	21.3～21.8 【21.6】	22.1～27.4 【22.4】
	(5)野田浜周辺	4.47～8.97 (4.41～8.91)	6.95 (6.89)	21.8～23.5 【22.6】	22.9～45.2 【23.3】
	(6)岡田港周辺	2.55～8.59 (2.50～8.53)	5.14 (5.09)	23.9～25.2 【25.1】	24.8～50.3 【30.0】
	(7)岡田港・岡田漁港	3.67～8.59 (3.62～8.53)	6.12 (6.07)	23.9～25.2 【25.1】	24.9～40.6 【30.0】
	(8)泉津漁港周辺	2.19～3.72 (2.14～3.67)	2.64 (2.58)	24.1～24.7 【24.4】	32.2～51.2 【34.4】
	(9)泉津漁港	2.30～3.72 (2.25～3.67)	2.73 (2.68)	24.2～24.4 【24.4】	33.9～50.6 【34.4】
	(10)筆島周辺	4.17～8.56 (4.10～8.49)	6.29 (6.22)	23.9～25.2 【24.5】	24.4～62.1 【25.0】
	(11)波浮港周辺	2.93～9.90 (2.87～9.84)	5.70 (5.64)	22.1～24.6 【22.3】	22.8～51.7 【23.3】
	(12)波浮港	2.93～7.21 (2.87～7.14)	5.04 (4.98)	22.7～24.6 【24.0】	23.2～51.7 【24.4】
	(13)差木地漁港周辺	6.32～10.94 (6.25～10.88)	8.08 (8.01)	21.2～22.5 【22.5】	22.1～27.8 【23.3】
	(14)差木地漁港	6.37～9.03 (6.30～8.97)	7.49 (7.42)	21.6～22.2 【21.8】	22.5～23.0 【22.5】
	(15)砂の浜周辺	6.94～12.74 (6.88～12.67)	9.70 (9.64)	20.8～21.9 【21.7】	21.9～27.8 【22.5】
	(16)野増漁港周辺	7.87～13.42 (7.80～13.36)	10.94 (10.88)	21.4～22.6 【22.2】	22.1～29.8 【28.8】
	(17)野増漁港	7.87～13.42 (7.80～13.36)	10.33 (10.26)	21.6～22.6 【22.2】	22.4～29.8 【28.8】
島全体	2.19～15.76 (2.14～15.69)	6.73 (6.66)	20.8～25.9 【21.7】	21.9～62.8 【22.4】	

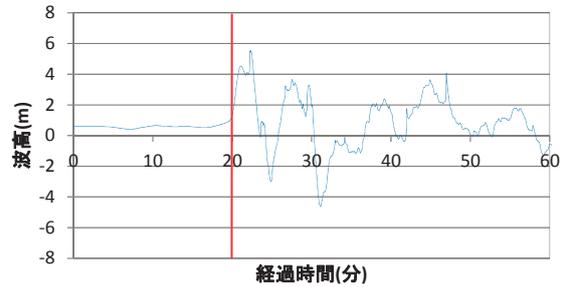
1-3) 大島の代表点の津波波形 (12時間波形及び最初の1時間の波形)

(赤線: 1m津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))

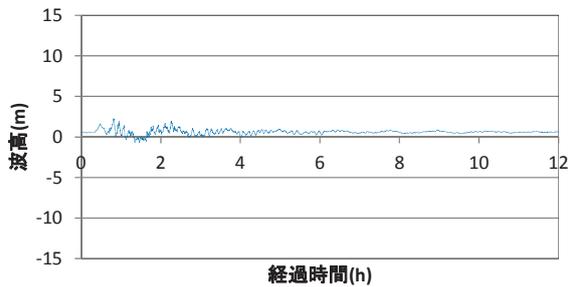
大島 西側海上 ケース1



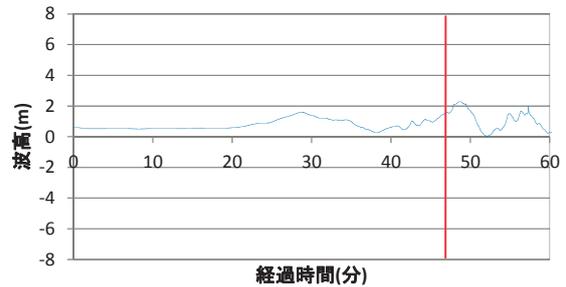
大島 西側海上 ケース1



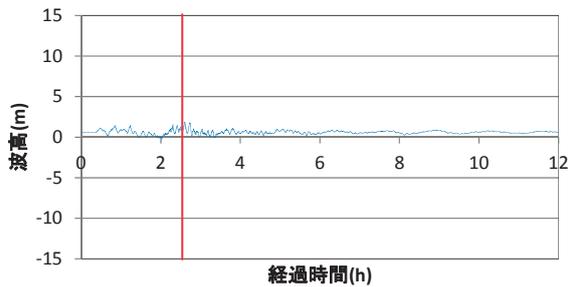
大島 西側海上 ケース2



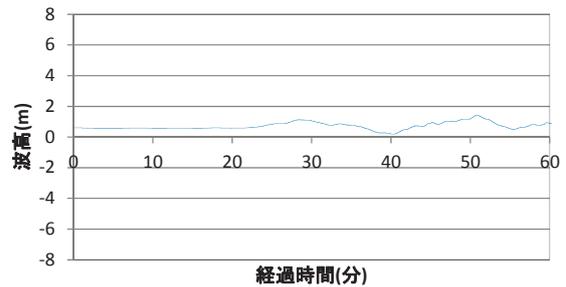
大島 西側海上 ケース2



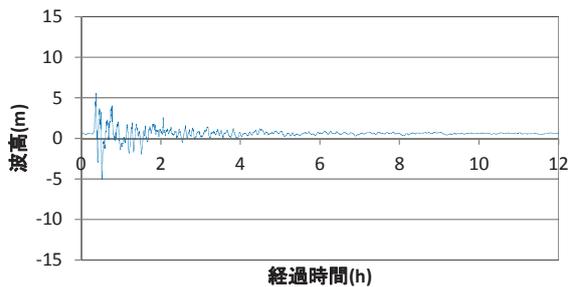
大島 西側海上 ケース5



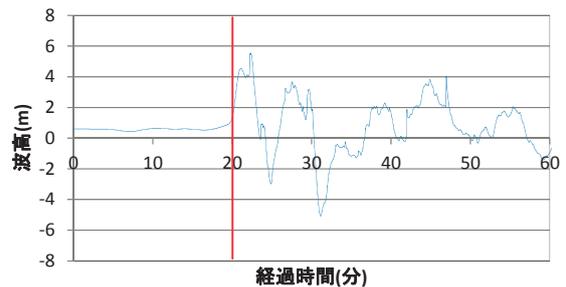
大島 西側海上 ケース5



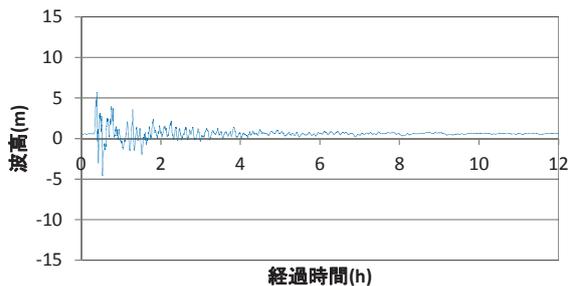
大島 西側海上 ケース6



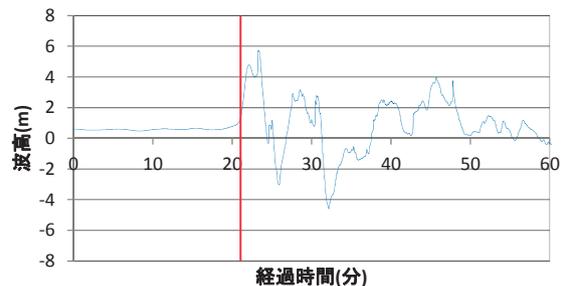
大島 西側海上 ケース6



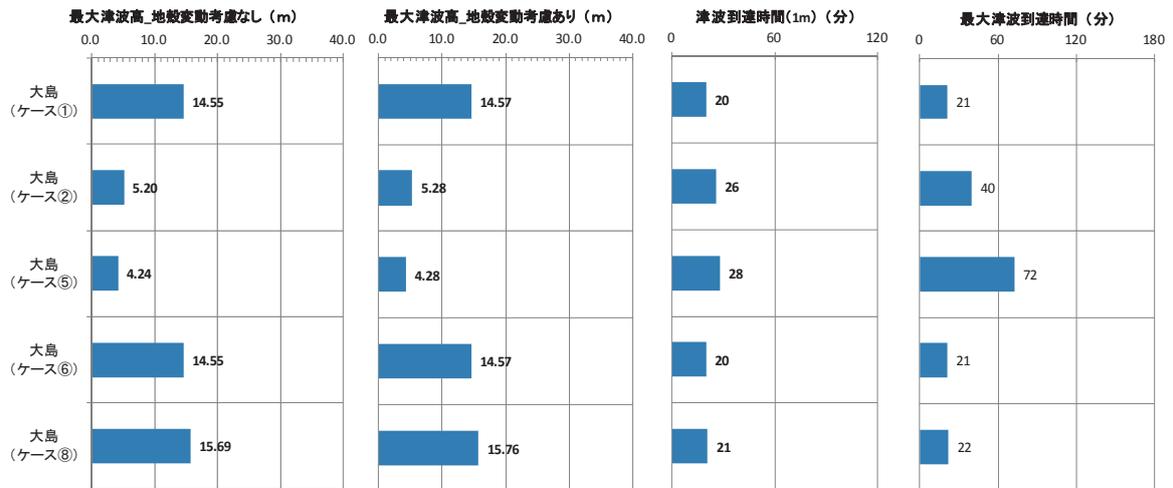
大島 西側海上 ケース8



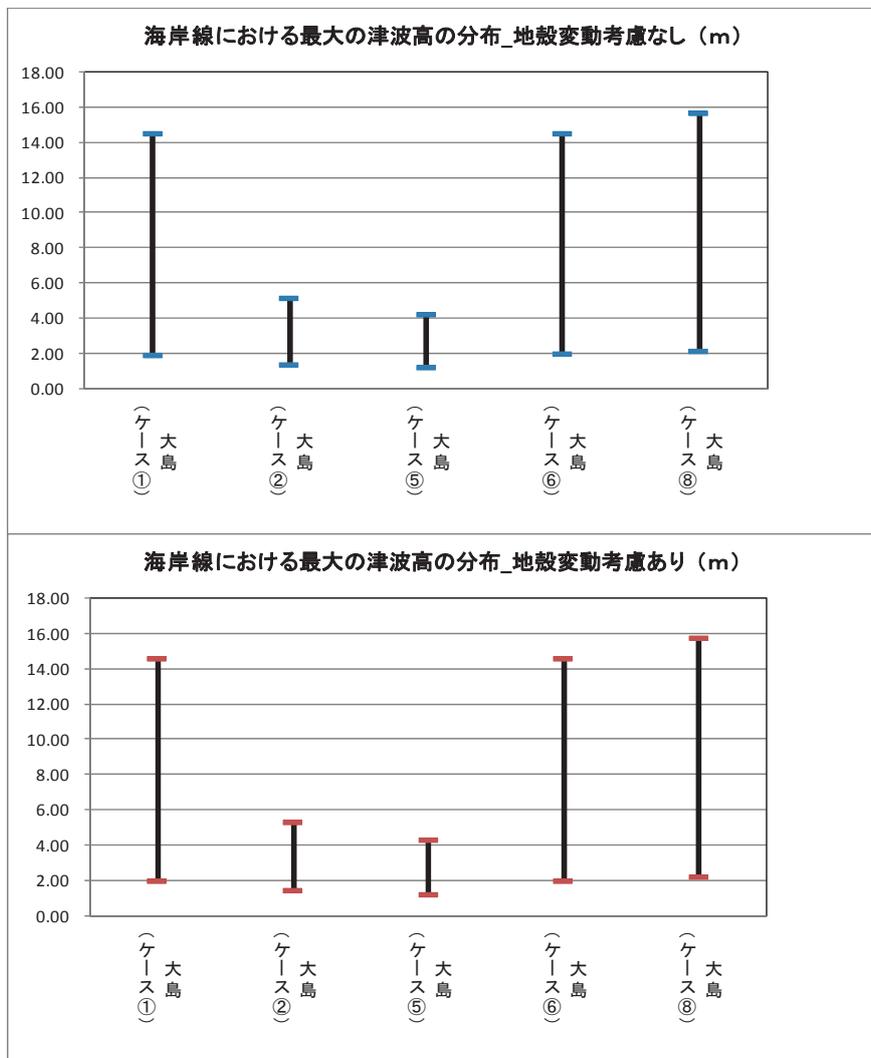
大島 西側海上 ケース8



1-4) 大島(全体)の海岸線における最大津波高(及びその範囲)・到達時間



ケース別最大津波高と津波到達時間 (1 m 及び最大波)



ケース別最大津波高の範囲

1-5) 大島全体の最大津波高・最大浸水深分布図 (ケース別)



大島ケース①

最大浸水深 (m)

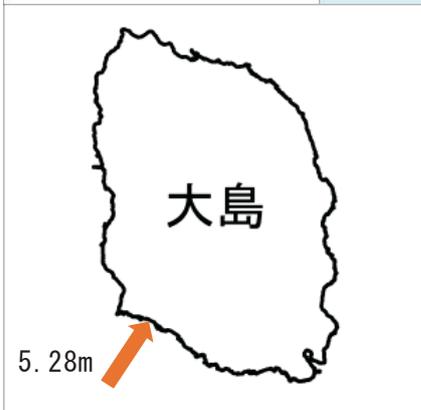
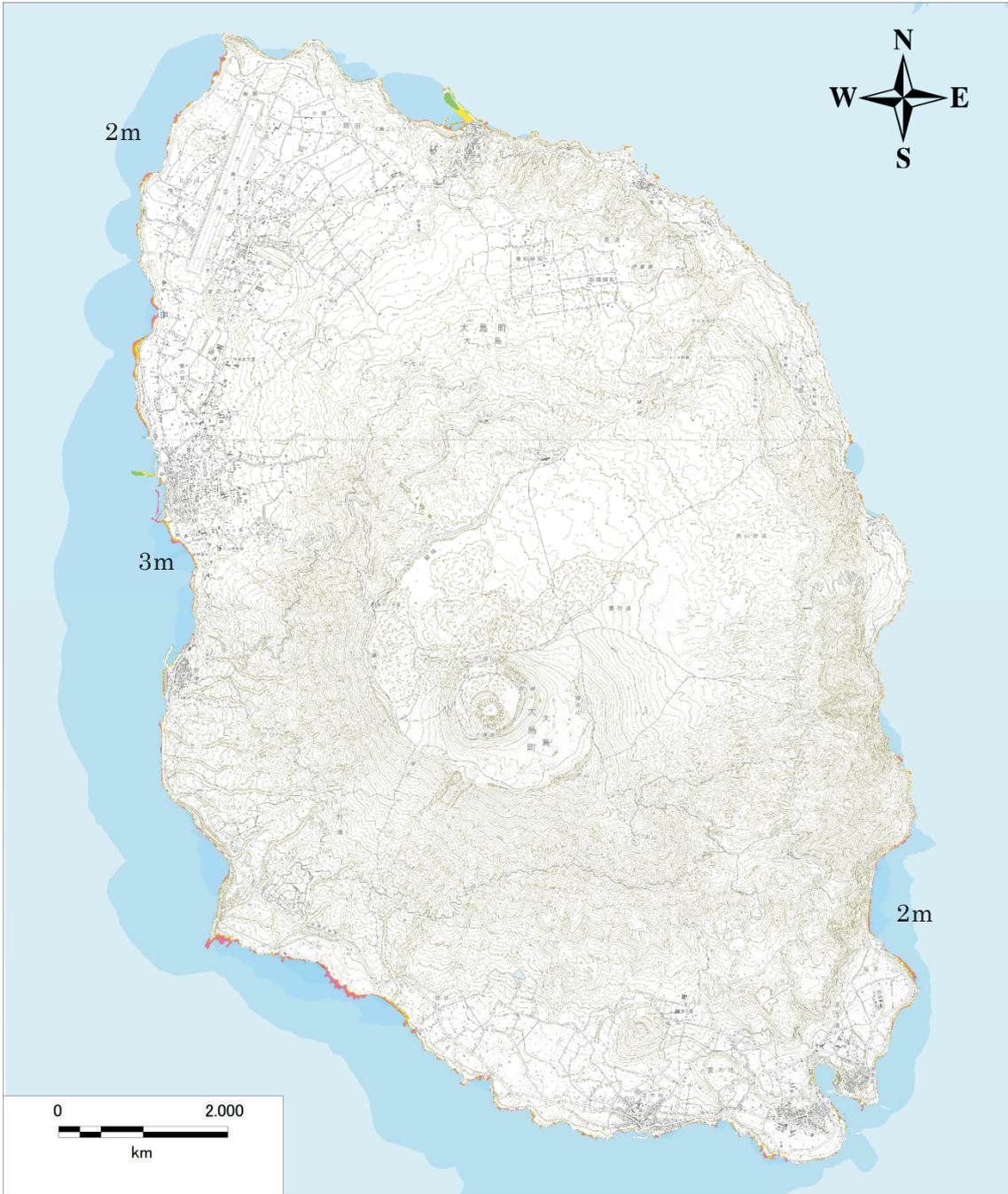
20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

最大津波高 (m)

30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

大島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



5.28m

大島全体での最大津波高地点

大島ケース②

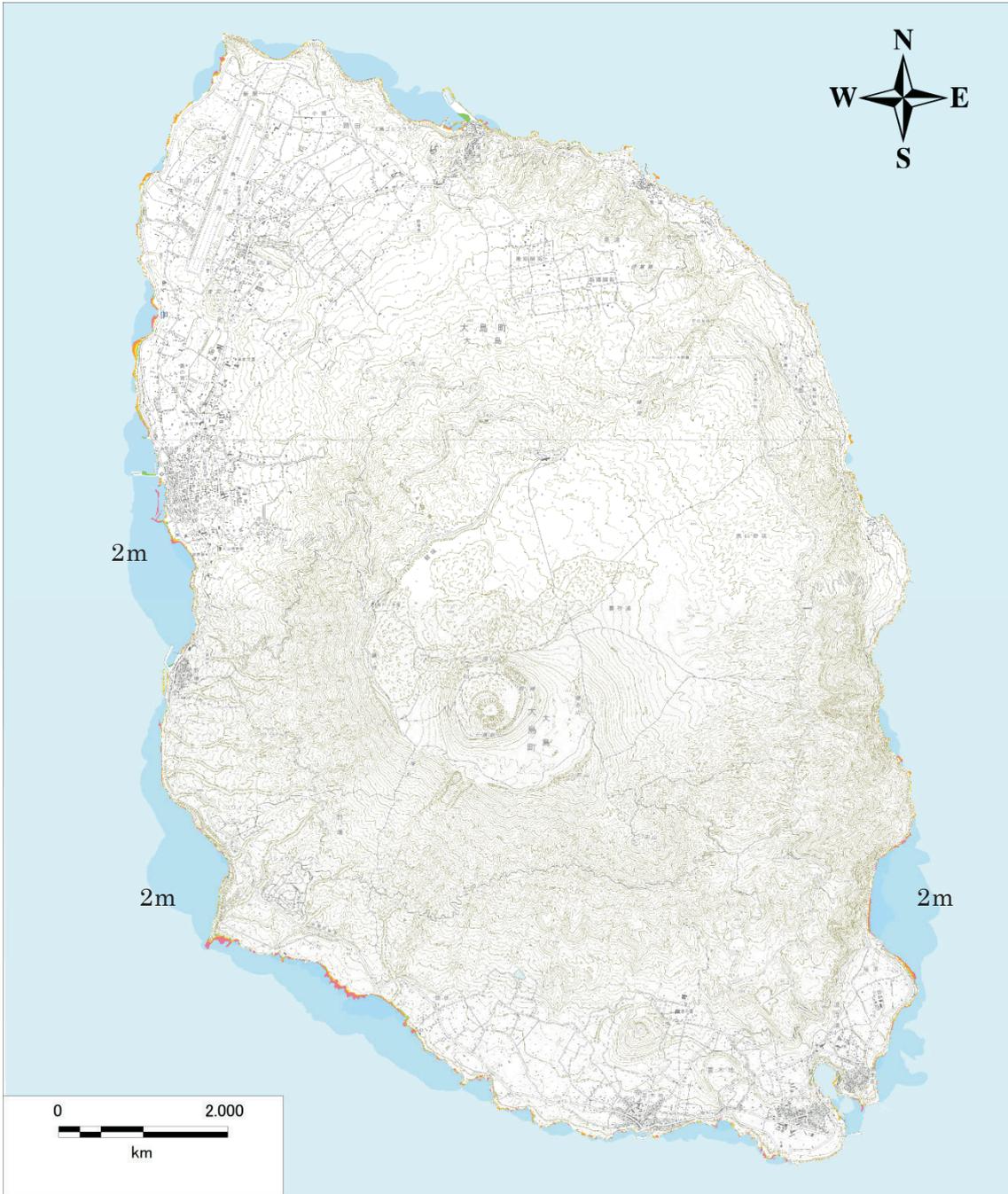
最大浸水深 (m)

20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

最大津波高 (m)

30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情複、第 27 号)



大島ケース⑤

最大浸水深 (m)

20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

最大津波高 (m)

30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

大島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



大島ケース⑥



大島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



大島ケース⑧

最大浸水深 (m)

20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

最大津波高 (m)

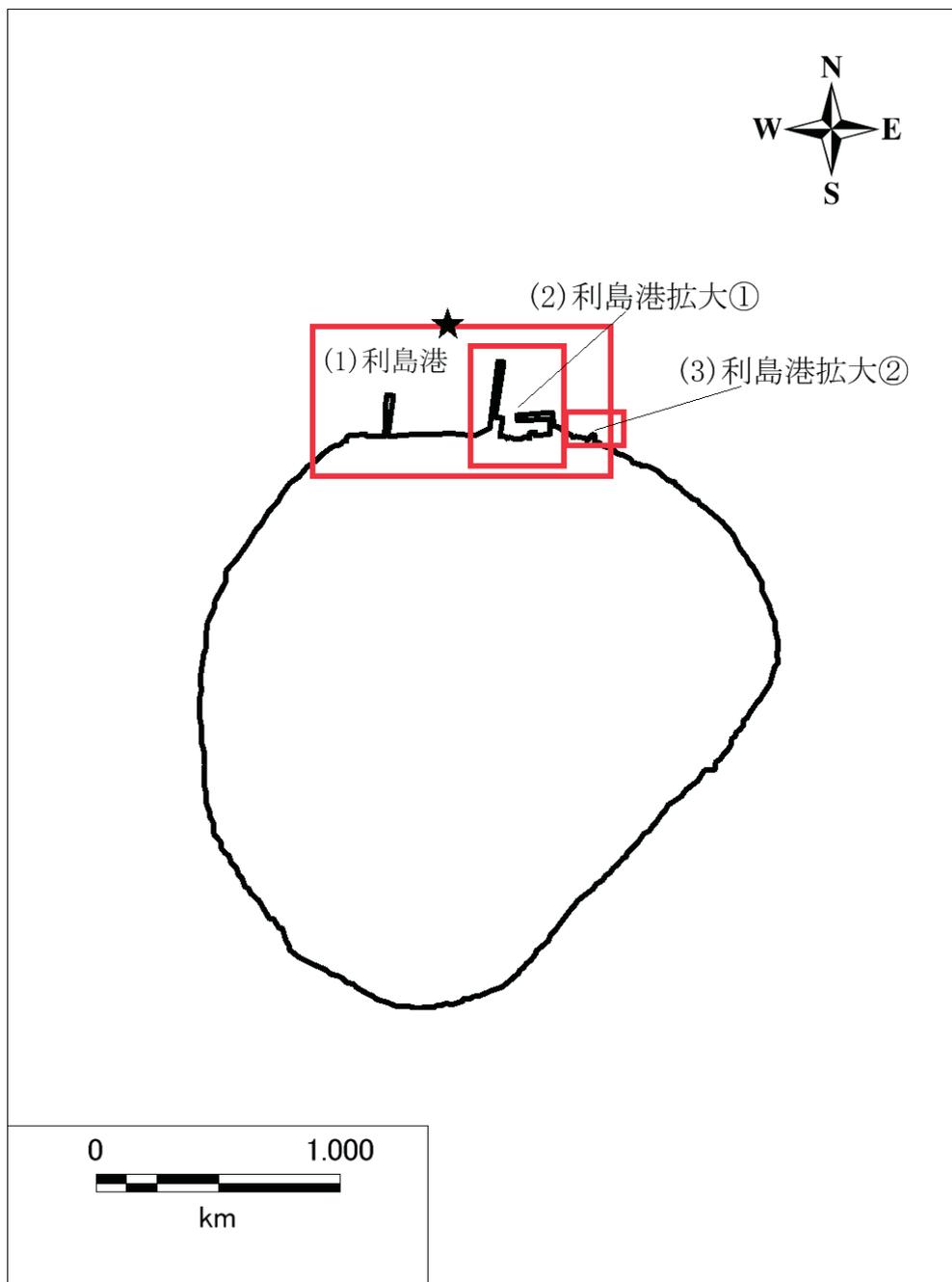
30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

大島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情複、第 27 号)

(2) 利島

2-1) 全体及び拡大範囲図



利島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

## 2-2) 利島の総括表

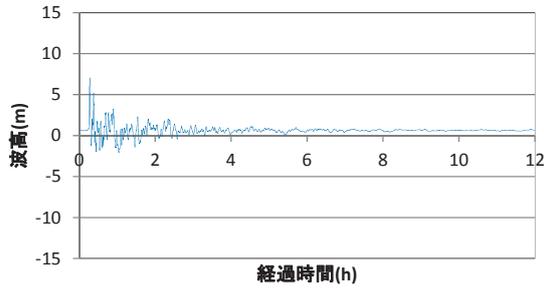
利島の総括表

ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース①	(1) 利島港	4.30~12.07 (4.28~12.05)	9.11 (9.09)	15.5~17.0 【16.4】	16.2~23.3 【16.8】
	(2) 利島港拡大①	6.45~12.07 (6.43~12.05)	9.19 (9.17)	16.1~17.0 【16.4】	16.7~17.4 【16.8】
	(3) 利島港拡大②	9.68~10.51 (9.66~10.49)	10.01 (9.99)	16.7~16.8 【16.7】	17.2~17.3 【17.3】
	島全体	4.30~15.00 (4.28~14.98)	8.79 (8.77)	14.5~17.7 【17.7】	15.3~24.2 【18.1】
ケース②	(1) 利島港	1.85~3.07 (1.78~3.00)	2.34 (2.27)	21.7~57.7 【21.7】	43.0~143.6 【122.7】
	(2) 利島港拡大①	1.92~2.92 (1.85~2.85)	2.36 (2.29)	21.8~24.3 【22.4】	54.9~143.5 【55.7】
	(3) 利島港拡大②	2.42~2.46 (2.35~2.39)	2.44 (2.37)	23.9~23.9 【23.9】	54.9~143.5 【54.9】
	島全体	1.85~3.57 (1.78~3.50)	2.39 (2.32)	20.7~57.7 【23.6】	22.6~145.1 【143.2】
ケース⑤	(1) 利島港	1.56~2.89 (1.52~2.85)	2.06 (2.02)	23.9~141.2 【96.6】	134.8~147.3 【135.1】
	(2) 利島港拡大①	1.69~2.72 (1.66~2.68)	2.06 (2.02)	24.7~140.3 【24.7】	135.7~147.3 【147.2】
	(3) 利島港拡大②	2.05~2.12 (2.02~2.09)	2.09 (2.05)	129.9~130.0 【130.0】	135.2~146.8 【135.3】
	島全体	1.49~2.89 (1.45~2.85)	2.00 (1.97)	23.9~146.7 【96.6】	129.4~163.7 【135.1】
ケース⑥	(1) 利島港	4.30~12.05 (4.29~12.03)	9.11 (9.09)	15.5~17.0 【16.4】	16.2~23.3 【16.8】
	(2) 利島港拡大①	6.44~12.05 (6.42~12.03)	9.18 (9.16)	16.1~17.0 【16.4】	16.7~17.5 【16.8】
	(3) 利島港拡大②	9.67~10.50 (9.65~10.48)	10.00 (9.98)	16.7~16.8 【16.7】	17.2~17.3 【17.3】
	島全体	4.30~15.00 (4.29~14.98)	8.79 (8.77)	14.5~17.7 【17.7】	15.3~24.2 【18.1】
ケース⑧	(1) 利島港	5.16~12.55 (5.10~12.49)	9.51 (9.46)	16.5~18.0 【17.4】	17.3~42.6 【17.8】
	(2) 利島港拡大①	6.79~12.55 (6.73~12.49)	9.70 (9.64)	17.1~18.0 【17.4】	17.7~18.4 【17.8】
	(3) 利島港拡大②	10.25~11.42 (10.19~11.37)	10.80 (10.74)	17.7~17.8 【17.7】	18.2~18.4 【18.3】
	島全体	5.16~16.18 (5.10~16.12)	9.20 (9.14)	15.5~18.8 【18.8】	16.3~42.6 【19.1】

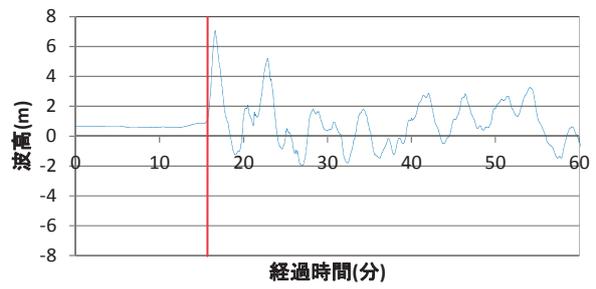
2-3) 利島の代表点の津波波形 (12時間波形及び最初の1時間の波形)

(赤線: 1m津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))

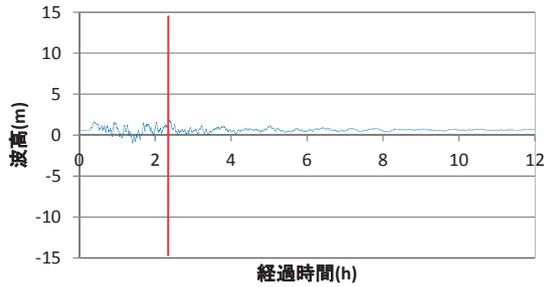
利島北側海上 ケース1



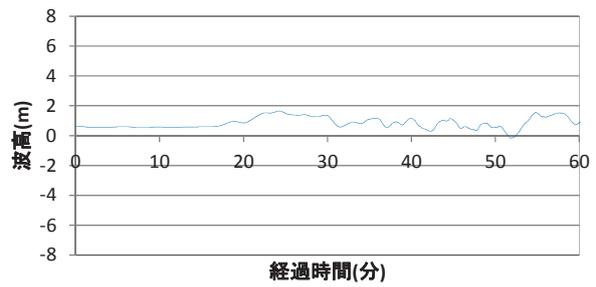
利島北側海上 ケース1



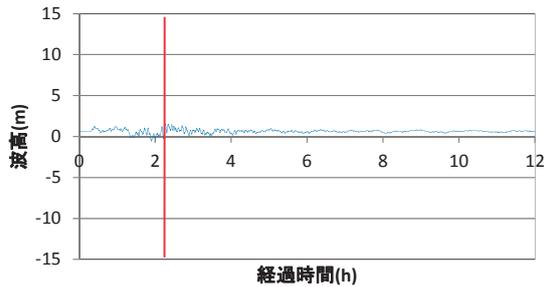
利島北側海上 ケース2



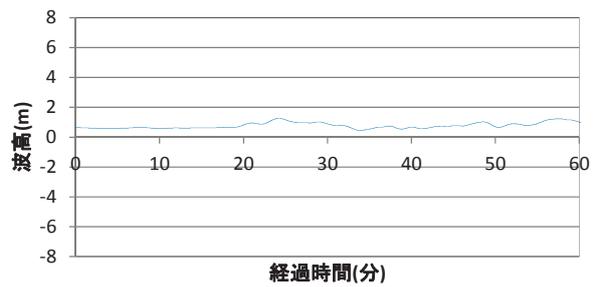
利島北側海上 ケース2



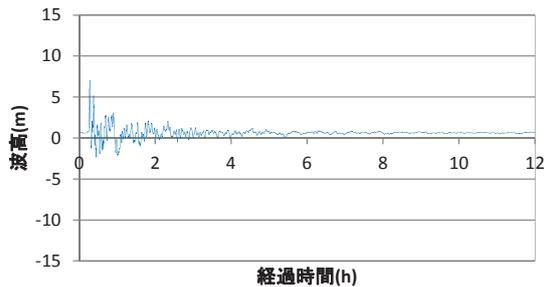
利島北側海上 ケース5



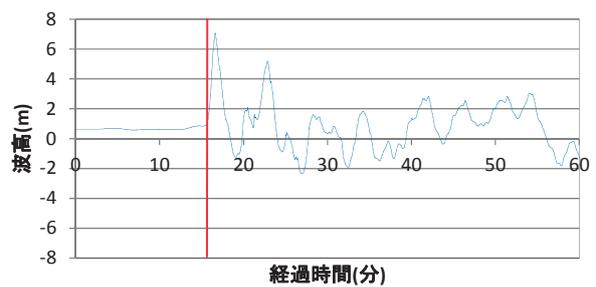
利島北側海上 ケース5



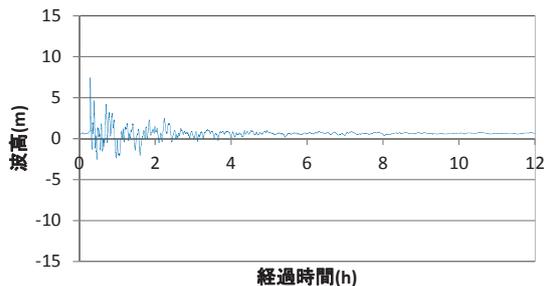
利島北側海上 ケース6



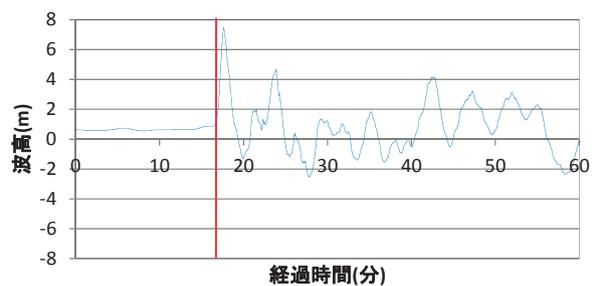
利島北側海上 ケース6



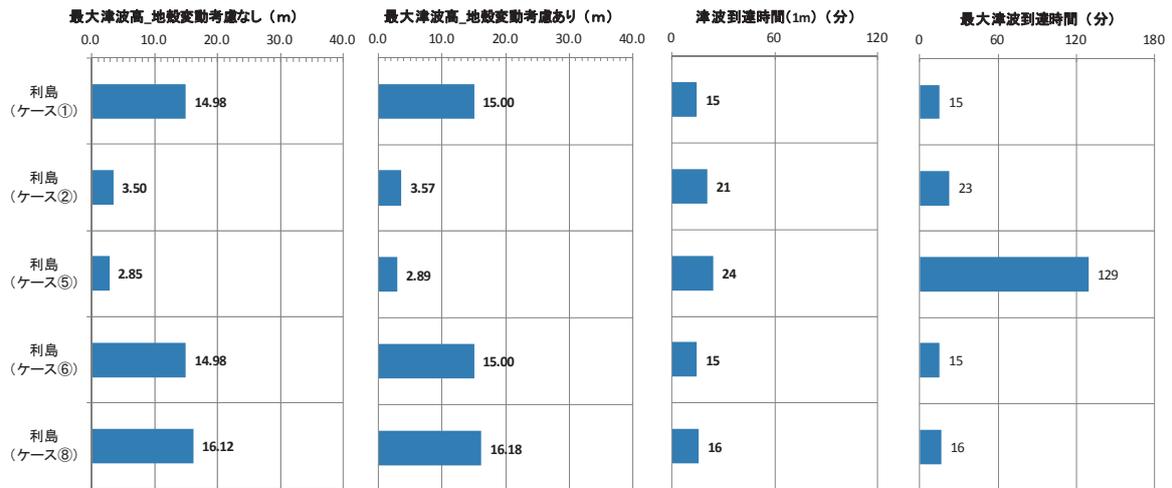
利島北側海上 ケース8



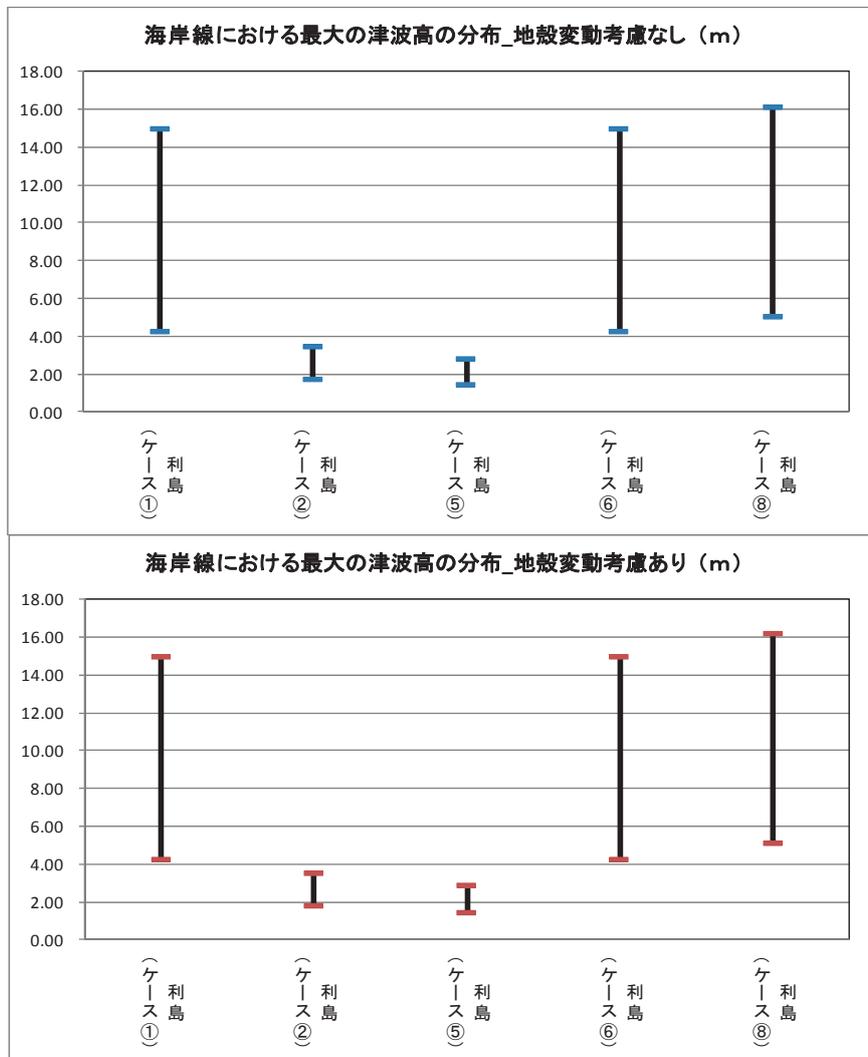
利島北側海上 ケース8



## 2-4) 利島（全体）の海岸線における最大津波高（及びその範囲）・到達時間

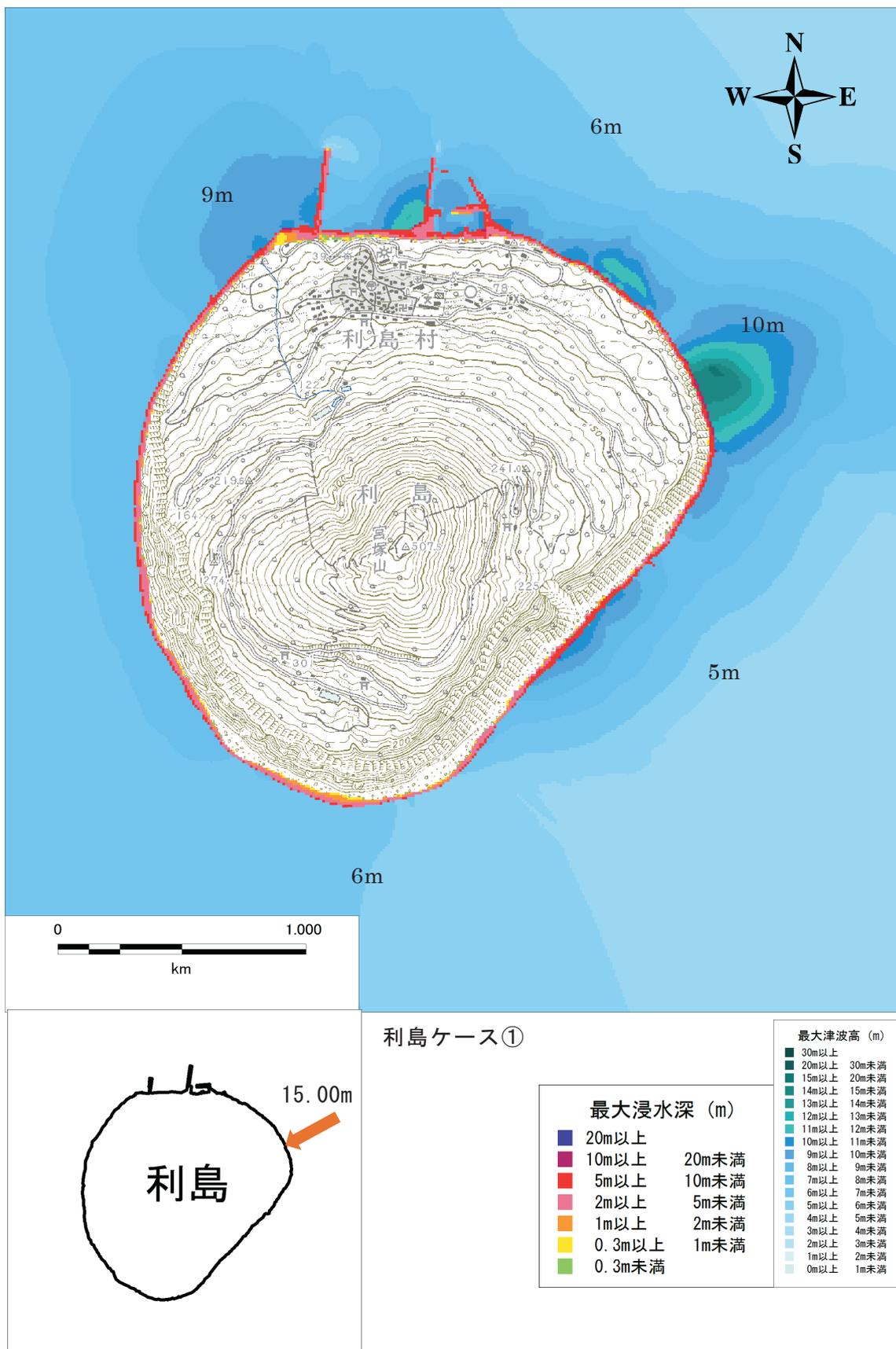


ケース別最大津波高と津波到達時間（1 m 及び最大波）



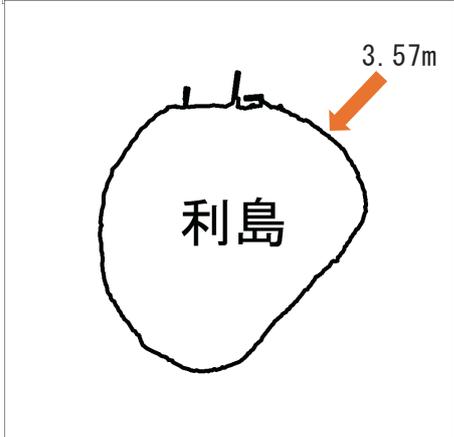
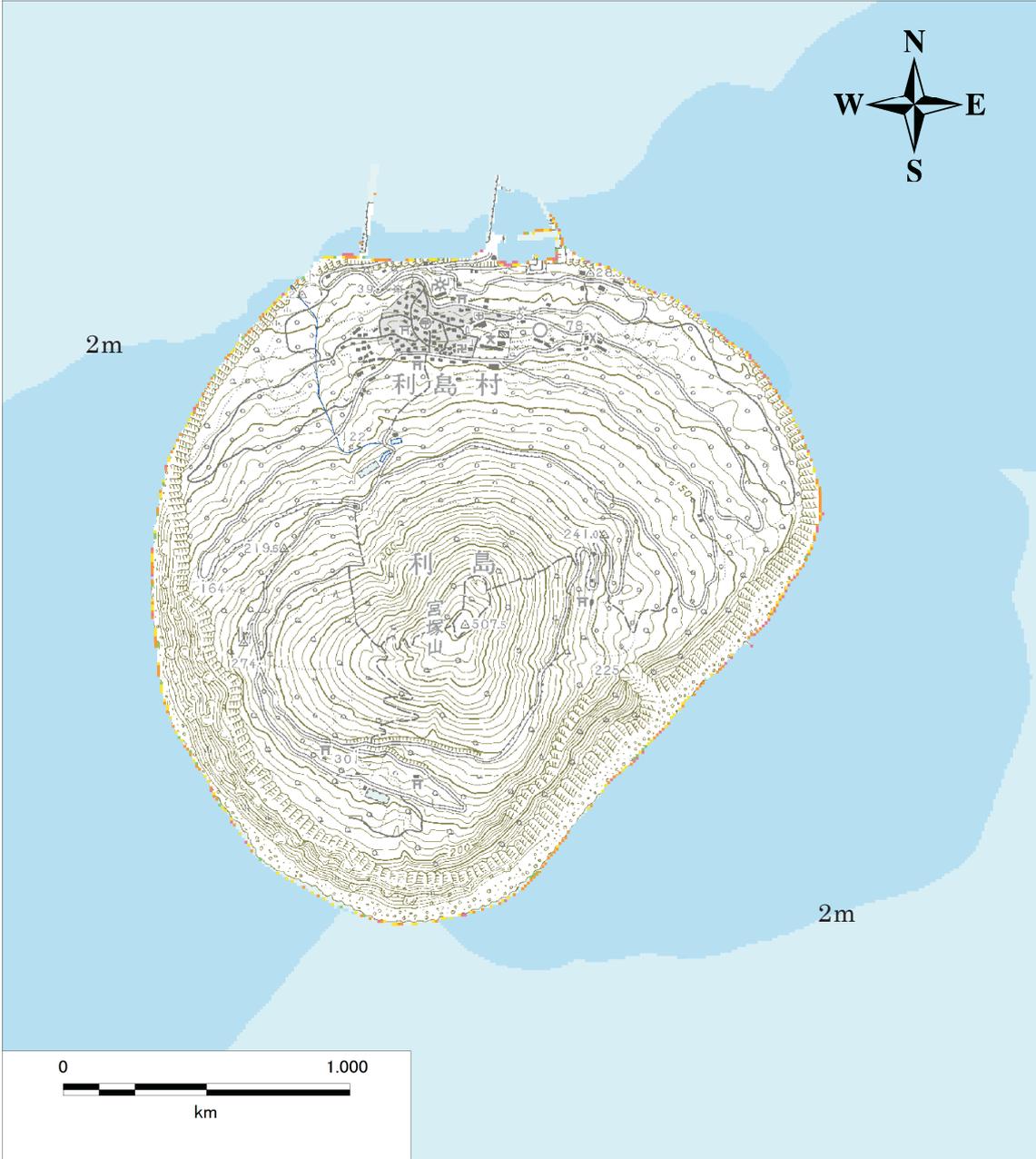
ケース別最大津波高の範囲

2-5) 利島全体の最大津波高・最大浸水深分布図（ケース別）



利島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平 25 借複、第 27 号）

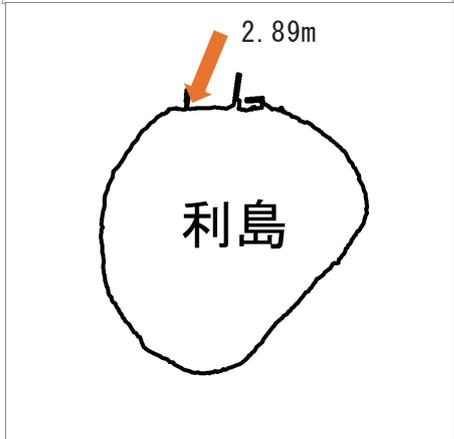
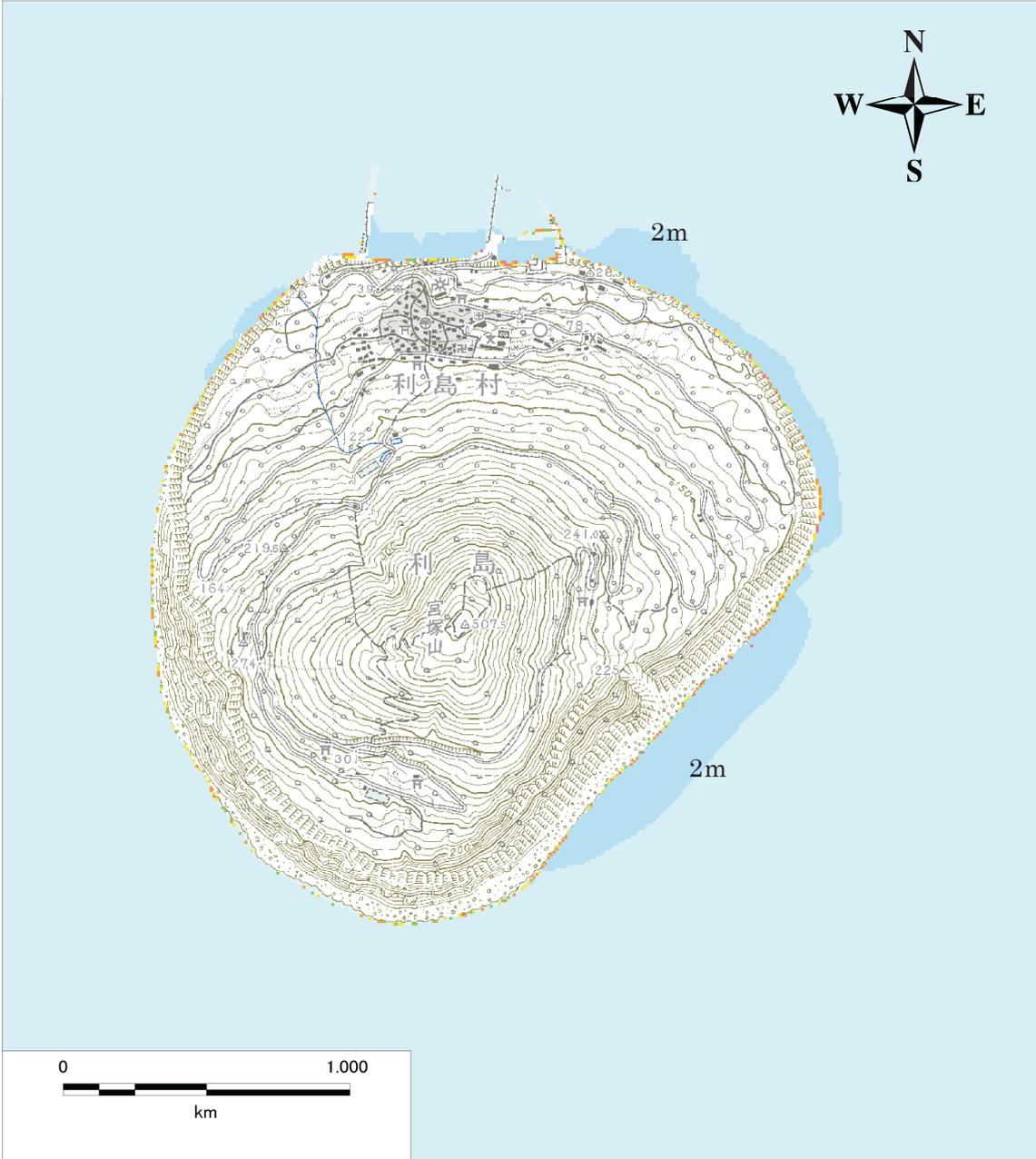


利島全体での最大津波高地点

利島ケース②

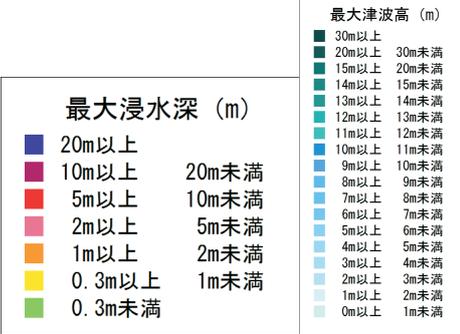
最大浸水深 (m)		最大津波高 (m)	
■ 20m以上	20m未満	■ 30m以上	30m未満
■ 10m以上	10m未満	■ 15m以上	20m未満
■ 5m以上	5m未満	■ 14m以上	15m未満
■ 2m以上	2m未満	■ 13m以上	14m未満
■ 1m以上	1m未満	■ 12m以上	13m未満
■ 0.3m以上	0.3m未満	■ 11m以上	12m未満
		■ 10m以上	11m未満
		■ 9m以上	10m未満
		■ 8m以上	9m未満
		■ 7m以上	8m未満
		■ 6m以上	7m未満
		■ 5m以上	6m未満
		■ 4m以上	5m未満
		■ 3m以上	4m未満
		■ 2m以上	3m未満
		■ 1m以上	2m未満
		■ 0m以上	1m未満

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)

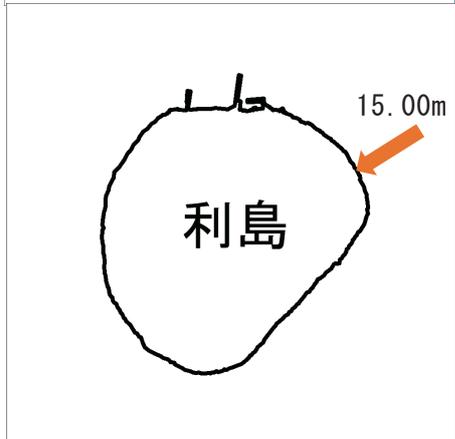
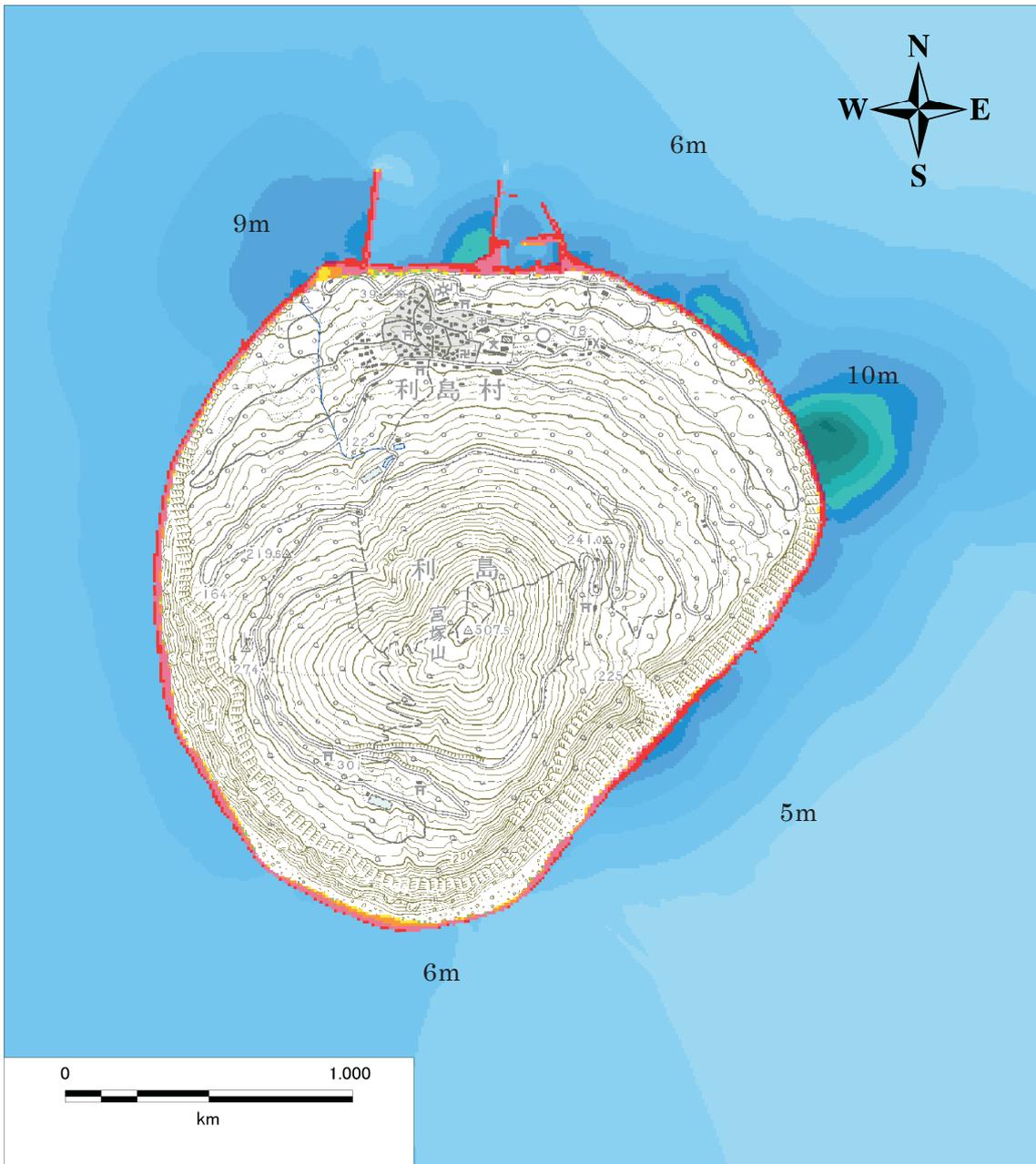


利島全体での最大津波高地点

利島ケース⑤



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平25情復、第27号)

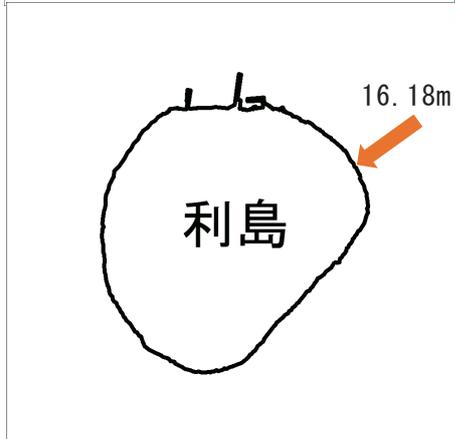
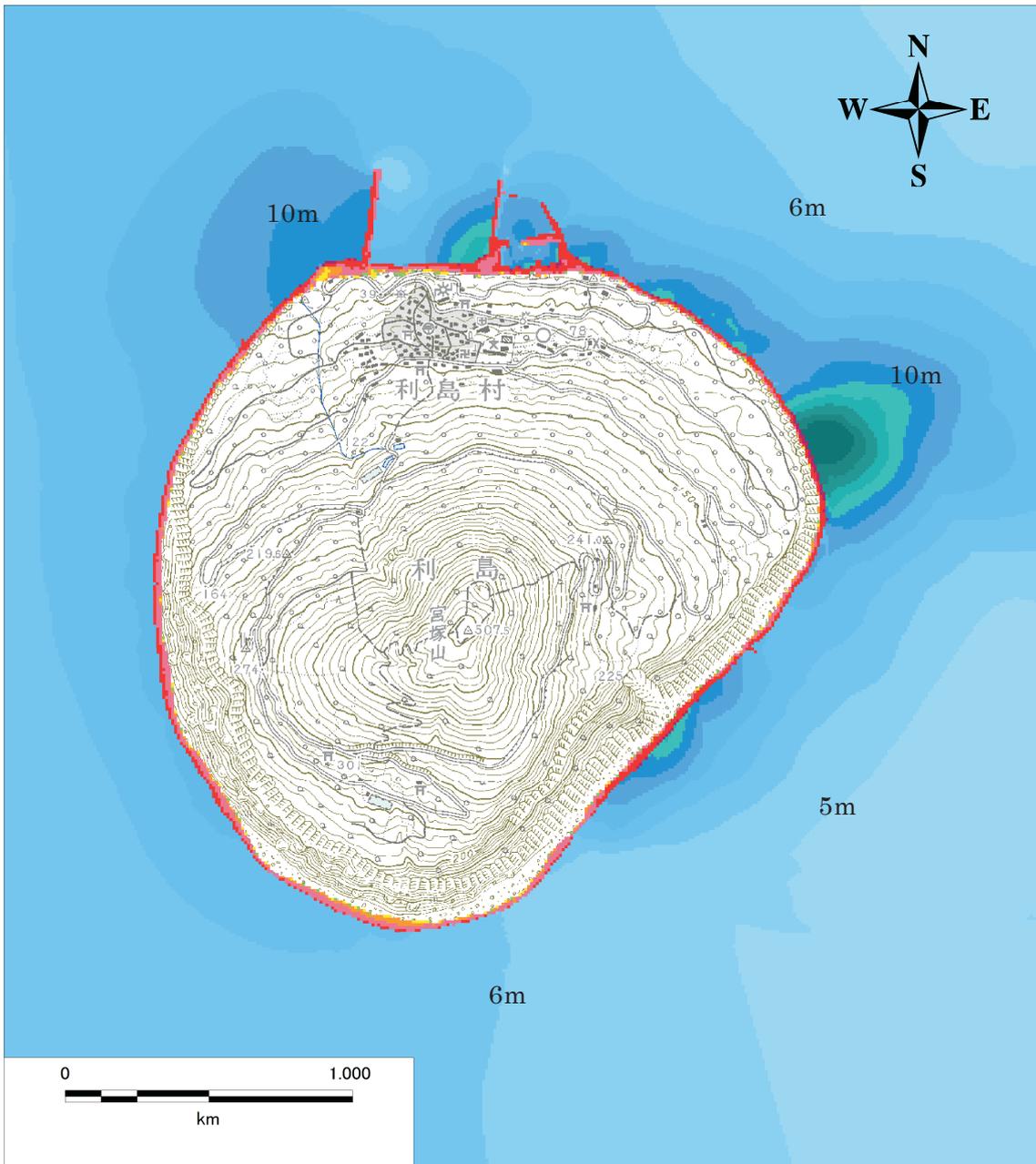


利島ケース⑥

最大浸水深 (m)		最大津波高 (m)	
■ 20m以上	■ 20m未満	■ 30m以上	■ 30m未満
■ 10m以上	■ 10m未満	■ 25m以上	■ 25m未満
■ 5m以上	■ 5m未満	■ 20m以上	■ 20m未満
■ 1m以上	■ 1m未満	■ 15m以上	■ 15m未満
■ 0.3m以上	■ 0.3m未満	■ 14m以上	■ 14m未満
		■ 13m以上	■ 13m未満
		■ 12m以上	■ 12m未満
		■ 11m以上	■ 11m未満
		■ 10m以上	■ 10m未満
		■ 9m以上	■ 9m未満
		■ 8m以上	■ 8m未満
		■ 7m以上	■ 7m未満
		■ 6m以上	■ 6m未満
		■ 5m以上	■ 5m未満
		■ 4m以上	■ 4m未満
		■ 3m以上	■ 3m未満
		■ 2m以上	■ 2m未満
		■ 1m以上	■ 1m未満
		■ 0m以上	■ 0m未満

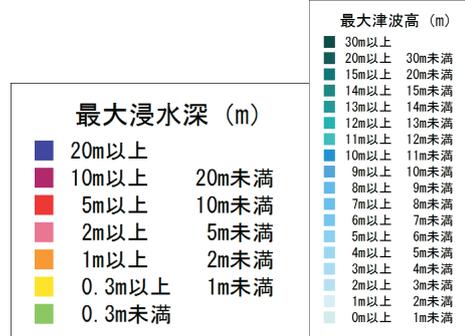
利島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 措複、第 27 号)



利島全体での最大津波高地点

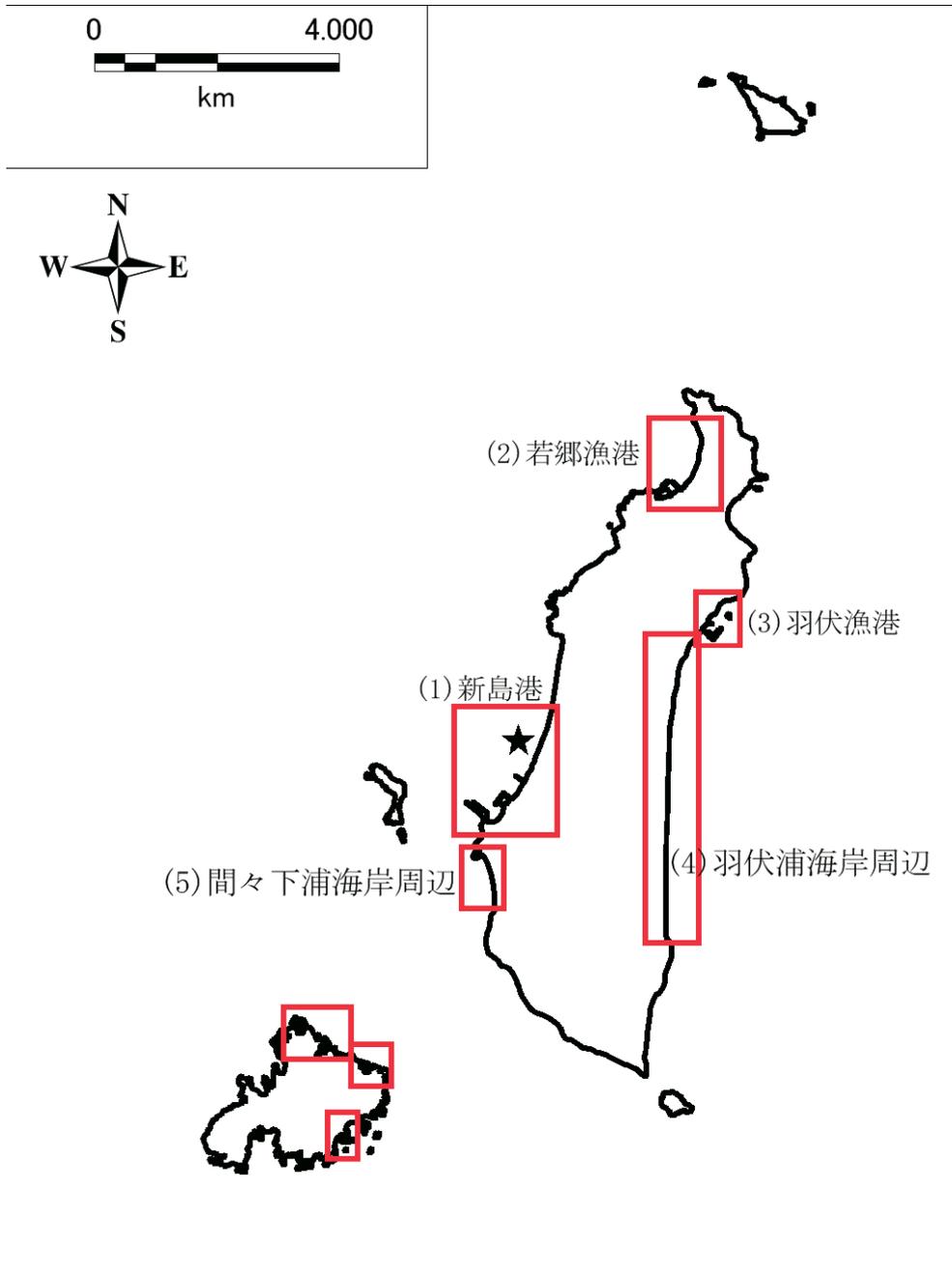
利島ケース⑧



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)

(3) 新島

3-1) 全体及び拡大範囲図



新島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

3-2) 新島の総括表

新島の総括表（その1）

ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース①	(1)新島港	12.99~22.54 (12.97~22.52)	16.85 (16.83)	14.4~15.7 【15.7】	16.0~17.5 【16.5】
	(2)若郷漁港	6.66~23.08 (6.64~23.06)	17.34 (17.32)	15.4~17.0 【16.6】	16.7~18.7 【18.0】
	(3)羽伏漁港	4.90~8.73 (4.88~8.71)	6.66 (6.64)	19.9~22.7 【20.3】	20.6~84.0 【83.6】
	(4)羽伏浦海岸周辺	6.52~14.89 (6.5~14.87)	9.53 (9.52)	21.8~23.5 【23.3】	21.9~60.0 【23.9】
	(5)間々下浦海岸周辺	15.65~29.68 (15.63~29.66)	19.31 (19.29)	15.3~15.8 【15.8】	15.9~16.7 【16.1】
	島全体	4.30~29.68 (4.28~29.66)	13.65 (13.63)	13.1~23.5 【15.8】	14.1~84.4 【16.1】
ケース②	(1)新島港	3.73~5.52 (3.67~5.46)	4.11 (4.05)	17.7~19.5 【18.5】	20.9~78.0 【24.1】
	(2)若郷漁港	2.39~5.29 (2.33~5.23)	3.81 (3.75)	18.5~25.8 【23.2】	23.5~109.0 【38.4】
	(3)羽伏漁港	3.24~4.74 (3.18~4.68)	3.90 (3.84)	26.7~35.1 【28.4】	96.3~140.6 【99.3】
	(4)羽伏浦海岸周辺	4.21~6.47 (4.14~6.41)	4.73 (4.67)	27.3~28.8 【27.4】	65.7~143.8 【100.3】
	(5)間々下浦海岸周辺	4.06~5.35 (4.00~5.29)	4.79 (4.73)	18.7~18.9 【18.7】	23.4~36.6 【36.1】
	島全体	2.17~6.47 (2.11~6.41)	4.04 (3.98)	16.4~35.1 【27.4】	20.9~169.9 【100.3】
ケース⑤	(1)新島港	2.18~4.02 (2.15~3.99)	2.76 (2.73)	20.1~21.7 【20.7】	22.8~186.9 【154.0】
	(2)若郷漁港	1.69~3.99 (1.66~3.96)	2.66 (2.62)	21.2~152.1 【22.4】	23.6~185.0 【137.2】
	(3)羽伏漁港	1.80~3.81 (1.77~3.77)	2.95 (2.91)	51.9~152.7 【52.2】	102.8~181.0 【131.7】
	(4)羽伏浦海岸周辺	2.87~4.47 (2.84~4.44)	3.54 (3.51)	33.0~66.2 【64.9】	103.2~173.3 【138.3】
	(5)間々下浦海岸周辺	3.45~4.01 (3.42~3.98)	3.71 (3.68)	20.9~21.3 【21.0】	142.2~155.0 【153.3】
	島全体	1.69~5.60 (1.66~5.57)	3.05 (3.02)	18.9~152.7 【53.4】	22.1~186.9 【127.7】

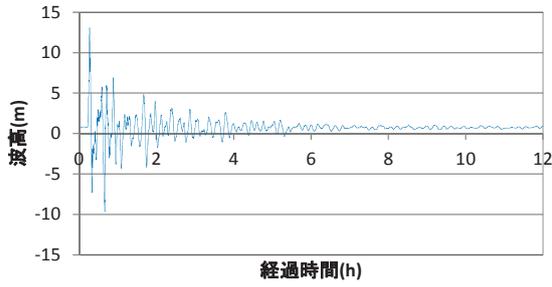
新島の総括表（その2）

ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース⑥	(1)新島港	13.00～22.56 (12.98～22.54)	16.86 (16.84)	14.4～15.7 【15.7】	16.0～17.5 【16.5】
	(2)若郷漁港	6.66～23.09 (6.64～23.07)	17.35 (17.33)	15.4～17.0 【16.6】	16.7～18.7 【18.0】
	(3)羽伏漁港	5.19～9.37 (5.17～9.35)	7.18 (7.16)	19.9～22.7 【21.0】	20.6～137.1 【43.9】
	(4)羽伏浦海岸周辺	6.52～14.90 (6.5～14.88)	9.54 (9.53)	21.8～23.5 【23.3】	21.9～83.1 【23.9】
	(5)間々下浦海岸周辺	15.67～29.65 (15.65～29.64)	19.32 (19.30)	15.3～15.8 【15.8】	15.9～16.7 【16.1】
	島全体	5.14～29.65 (5.12～29.64)	13.75 (13.73)	13.1～23.5 【15.8】	14.1～137.1 【16.1】
ケース⑧	(1)新島港	12.99～22.71 (12.95～22.66)	17.08 (17.03)	15.4～16.7 【16.7】	16.8～18.5 【17.5】
	(2)若郷漁港	6.86～24.04 (6.81～23.99)	17.74 (17.7)	16.4～17.9 【17.5】	17.7～19.7 【19.0】
	(3)羽伏漁港	5.30～9.85 (5.26～9.80)	7.00 (6.95)	20.9～23.6 【22.5】	21.5～107.4 【45.1】
	(4)羽伏浦海岸周辺	6.49～15.38 (6.45～15.34)	9.59 (9.55)	22.7～24.5 【24.3】	22.9～107.3 【25.0】
	(5)間々下浦海岸周辺	15.87～30.16 (15.82～30.12)	19.53 (19.48)	16.2～16.8 【16.8】	16.9～17.7 【17.1】
	島全体	4.97～30.16 (4.92～30.12)	13.94 (13.89)	14.1～24.5 【16.8】	15.1～121.2 【17.1】

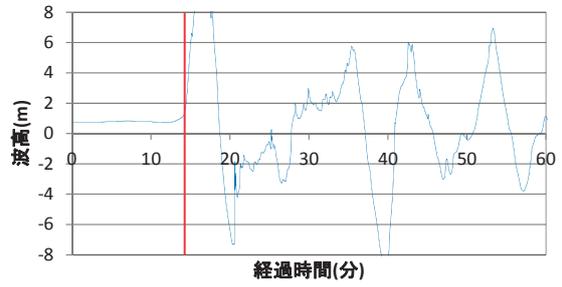
3-3) 新島の代表点の津波波形 (12時間波形及び最初の1時間の波形)

(赤線: 1m津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))

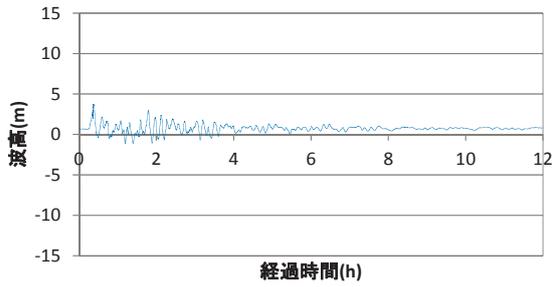
新島 西側海上 ケース1



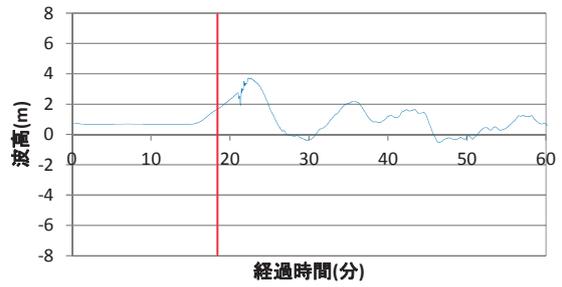
新島 西側海上 ケース1



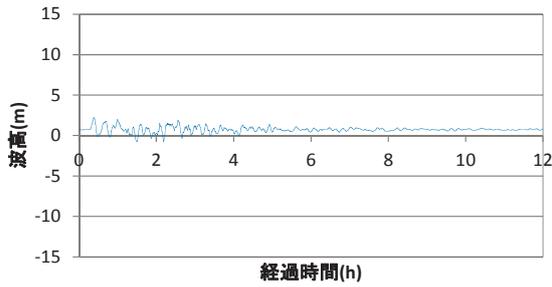
新島 西側海上 ケース2



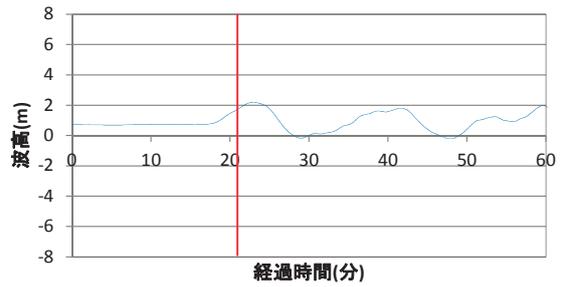
新島 西側海上 ケース2



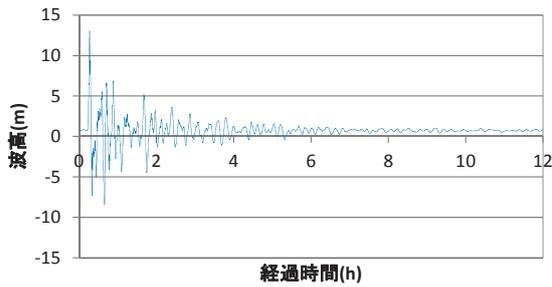
新島 西側海上 ケース5



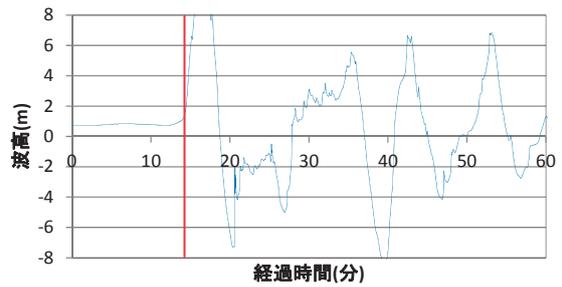
新島 西側海上 ケース5



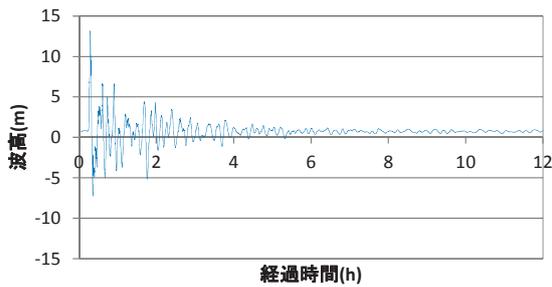
新島 西側海上 ケース6



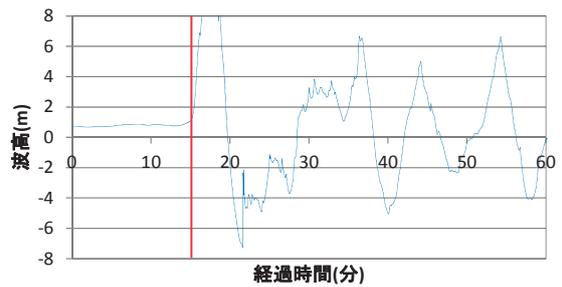
新島 西側海上 ケース6



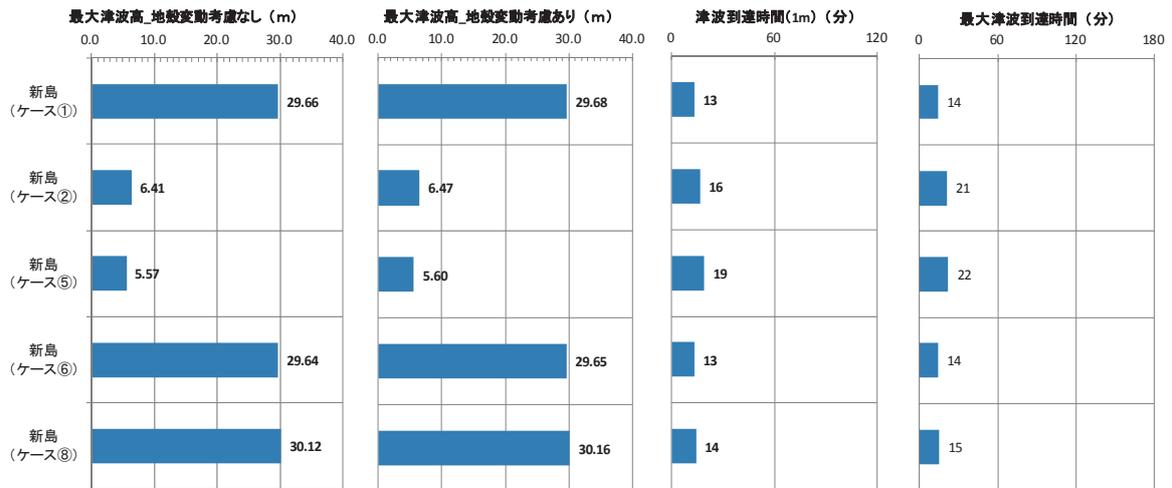
新島 西側海上 ケース8



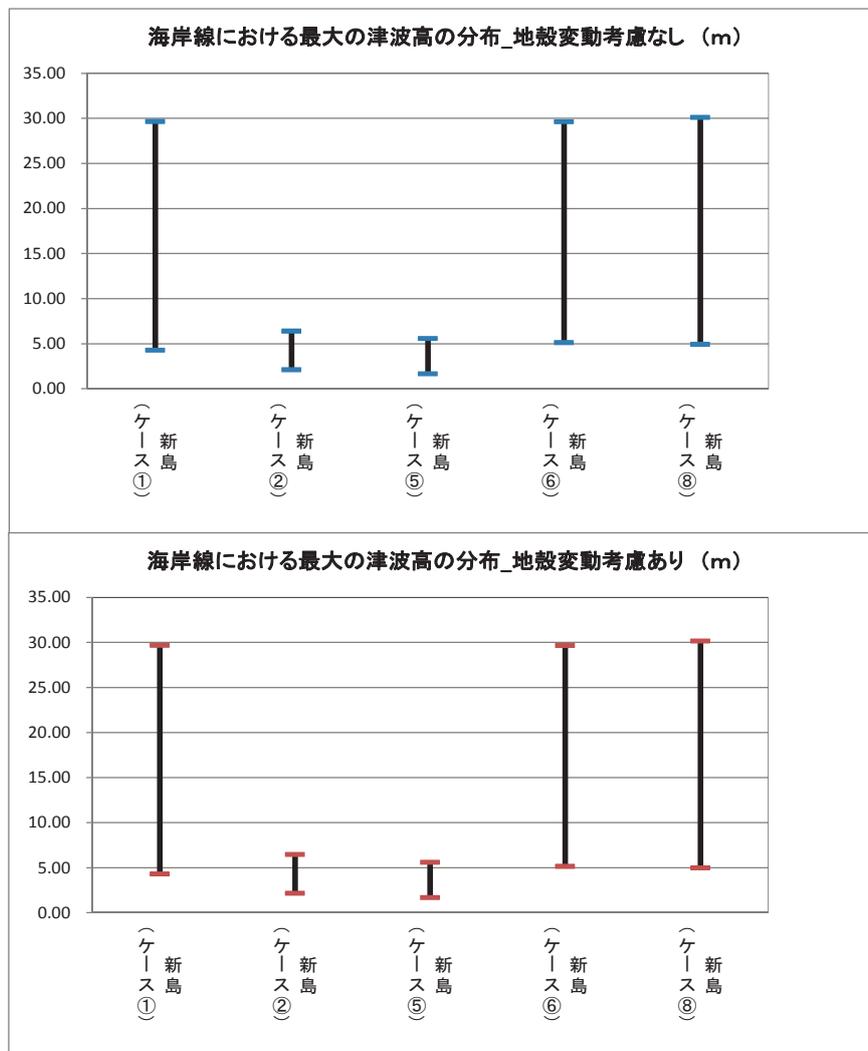
新島 西側海上 ケース8



### 3-4) 新島（全体）の海岸線における最大津波高（及びその範囲）・到達時間

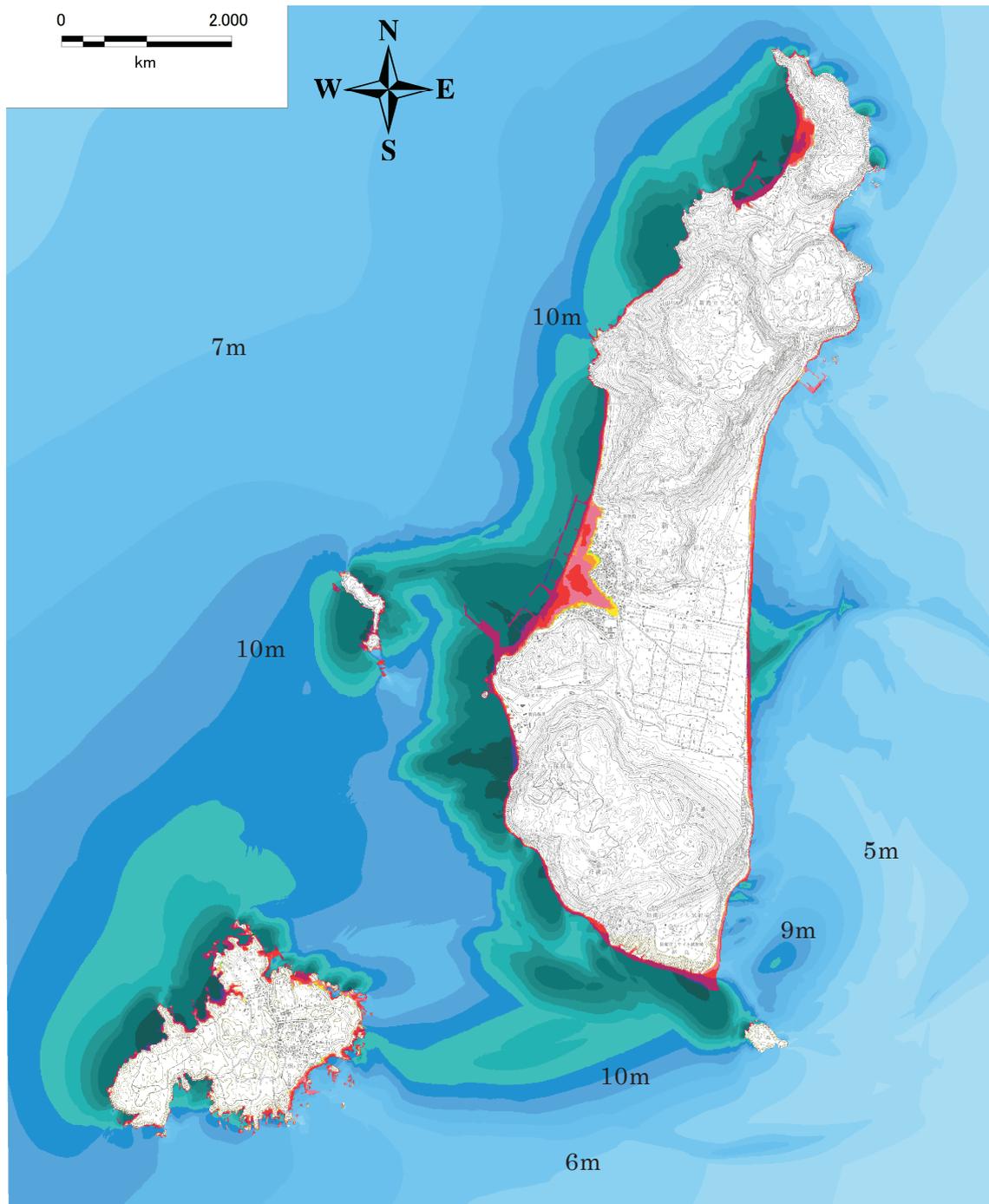


ケース別最大津波高と津波到達時間（1 m 及び最大波）



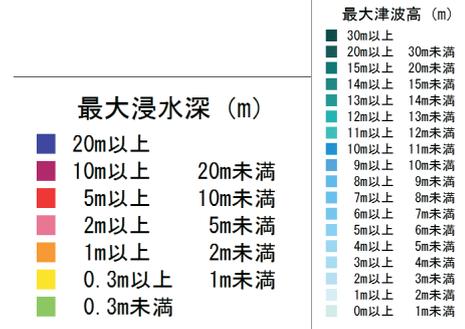
ケース別最大津波高の範囲

3-5) 新島(全体) 全体の最大津波高・最大浸水深分布図(ケース別)



新島全体での最大津波高地点

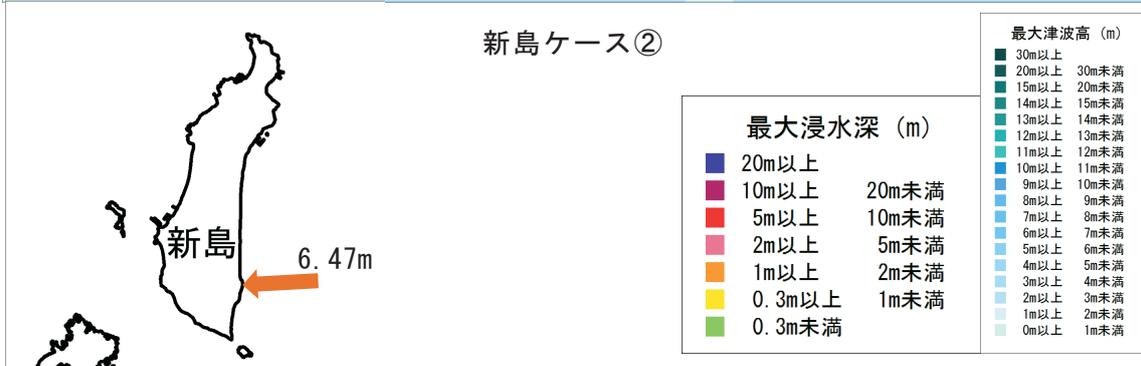
新島ケース①



この地図は、国土院院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平25情複、第27号)



新島ケース②



新島全体での最大津波高地点

最大浸水深 (m)

20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

最大津波高 (m)

30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情複、第 27 号)



新島ケース⑤

最大浸水深 (m)

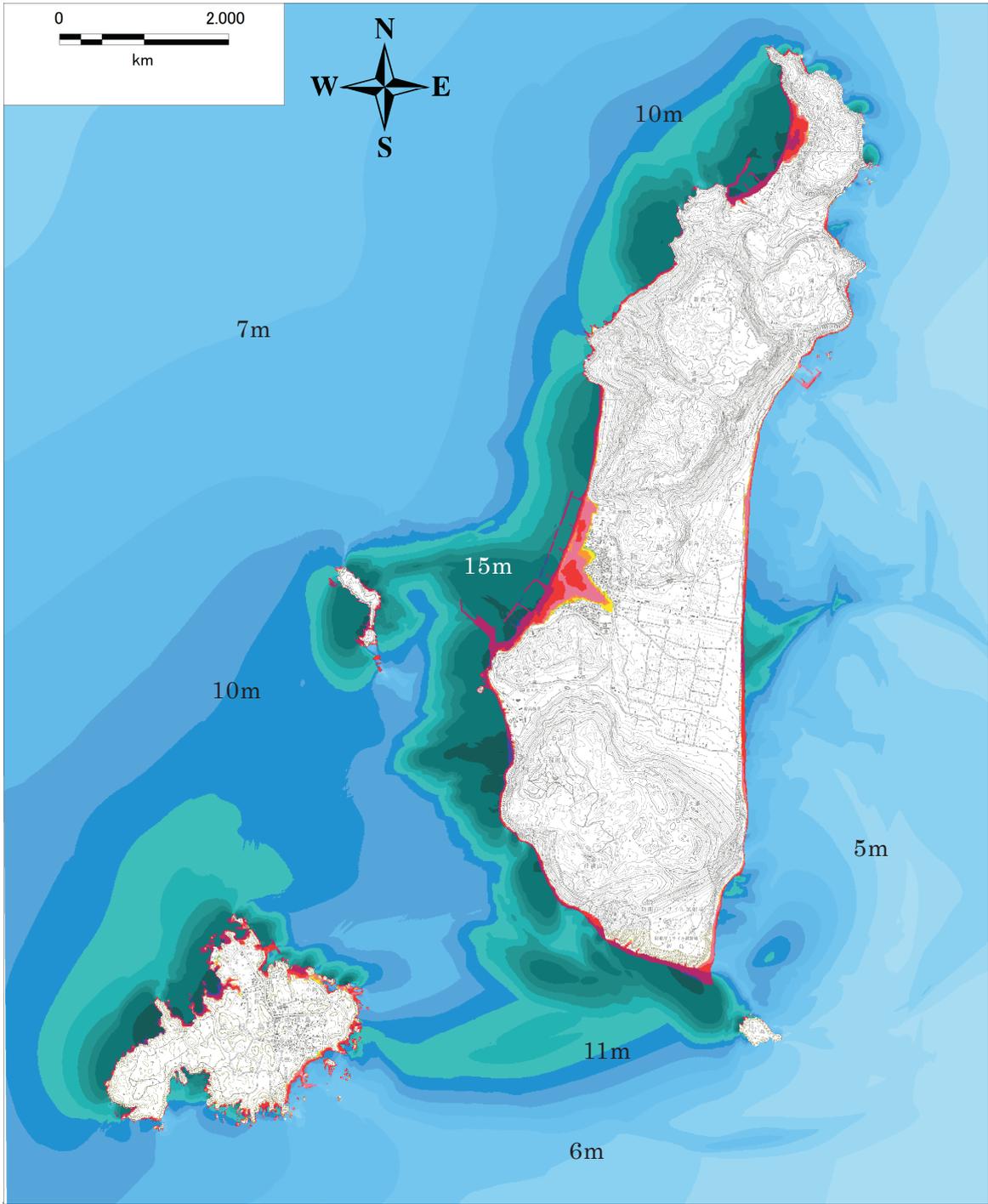
20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満

最大津波高 (m)

30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

新島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情複、第 27 号)



新島全体での最大津波高地点

新島ケース⑥

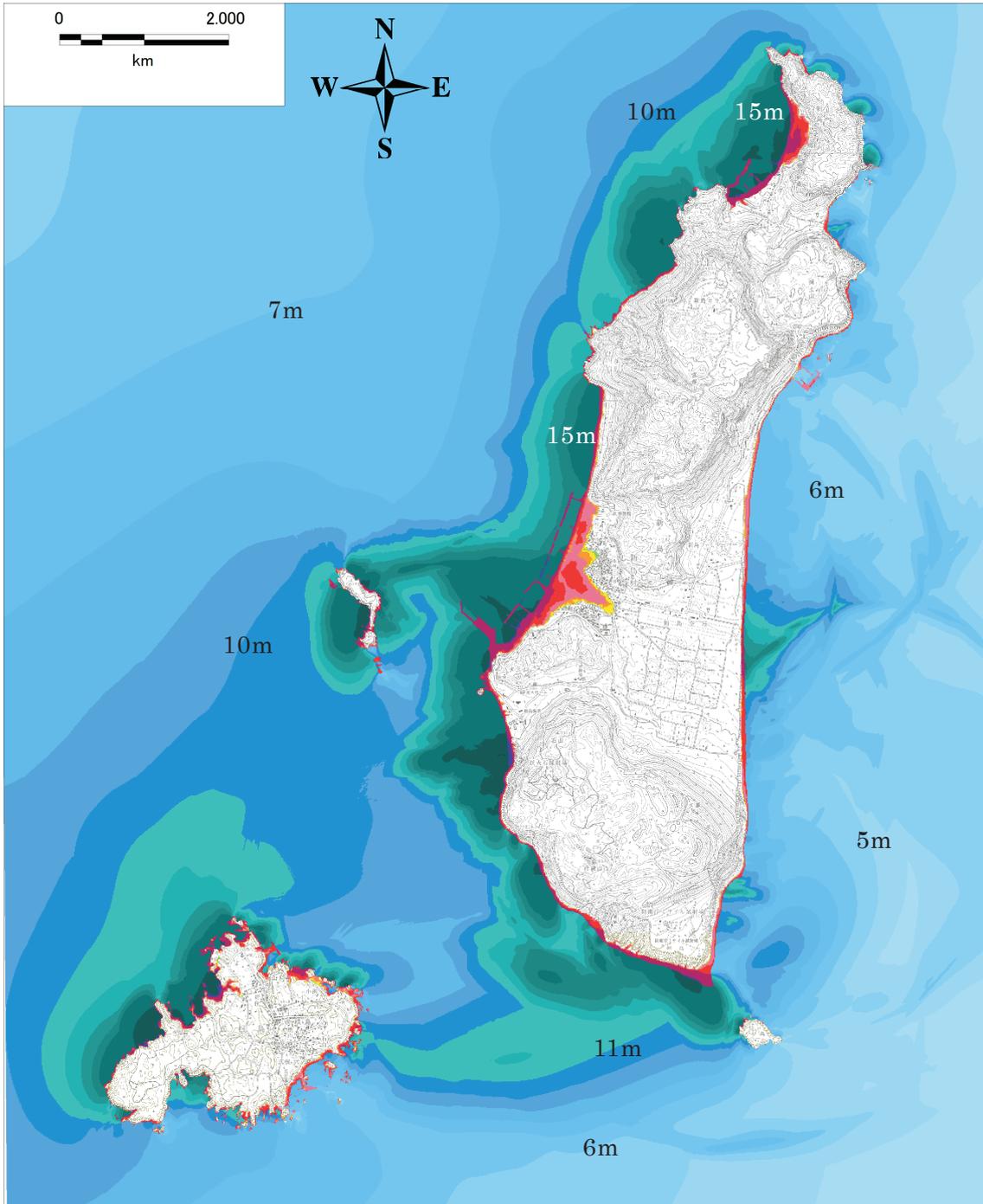
最大浸水深 (m)

20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

最大津波高 (m)

30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 措複、第 27 号)



新島ケース⑧

最大浸水深 (m)	
20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

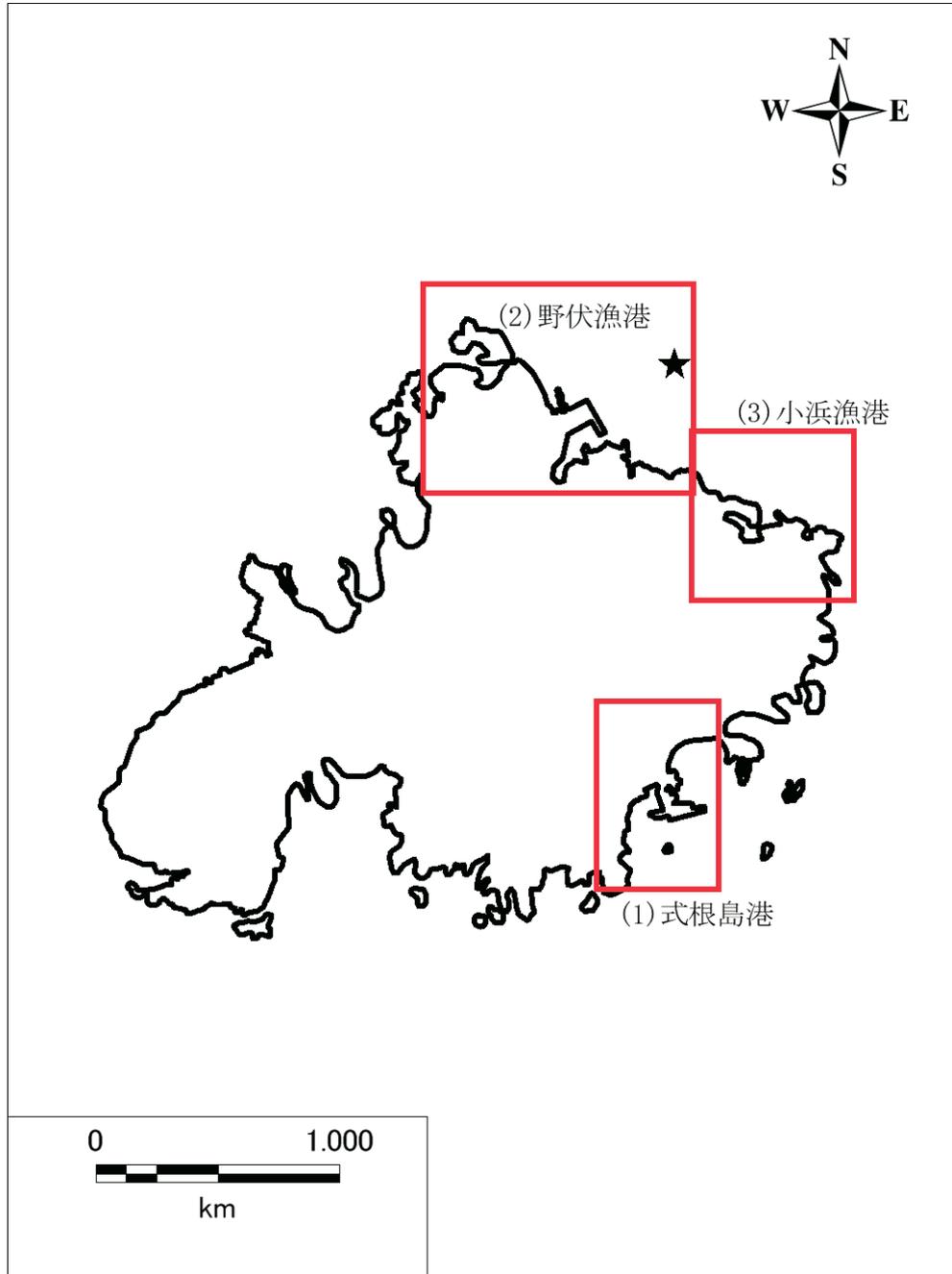
最大津波高 (m)	
30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

新島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)

(4) 式根島

4-1) 全体及び拡大範囲図



式根島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

4-2) 式根島の総括表

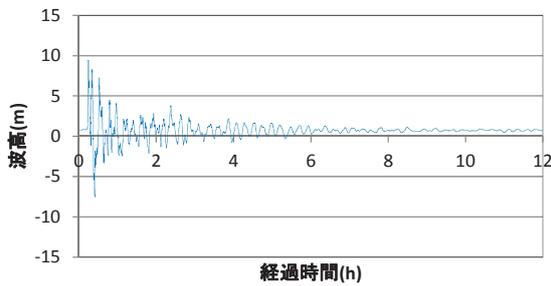
式根島の総括表

ケース	対象範囲	各地点の最大津波高(m) (地殻変動を考慮しない場合の値)	各地点の最大津波高の平均値(m) (地殻変動を考慮しない場合の値)	各地点の1m津波高の到達時間(分) 【当該範囲で最大津波高が来る地点での時間】	各地点の最大津波高の到達時間(分) 【当該範囲で最大津波高が来る地点での時間】
ケース①	(1) 式根島港	5.35～10.05 (5.34～10.03)	7.76 (7.74)	13.9～15.3 【13.9】	15.0～16.5 【15.2】
	(2) 野伏漁港	10.23～22.16 (10.21～22.14)	16.12 (16.10)	12.5～15.3 【13.2】	13.9～20.9 【14.6】
	(3) 小浜漁港	6.67～22.44 (6.66～22.42)	11.92 (11.90)	14.8～15.9 【15.3】	15.0～31.6 【15.4】
	島全体	5.10～28.15 (5.08～28.12)	13.58 (13.56)	11.9～16.0 【12.0】	13.5～31.6 【13.7】
ケース②	(1) 式根島港	2.39～3.91 (2.33～3.85)	2.84 (2.78)	19.7～21.2 【20.6】	22.0～139.3 【42.4】
	(2) 野伏漁港	2.61～4.76 (2.55～4.70)	3.42 (3.36)	15.9～20.6 【17.8】	20.8～144.1 【91.5】
	(3) 小浜漁港	3.05～4.44 (2.99～4.38)	3.56 (3.49)	18.3～21.4 【20.1】	22.8～142.6 【101.8】
	島全体	2.31～5.52 (2.25～5.46)	3.25 (3.19)	15.4～21.4 【17.5】	19.4～144.1 【109.2】
ケース⑤	(1) 式根島港	2.18～3.40 (2.15～3.37)	2.64 (2.61)	23.2～59.0 【38.6】	60.1～154.7 【148.5】
	(2) 野伏漁港	2.15～4.71 (2.11～4.68)	2.96 (2.93)	18.2～39.1 【20.0】	57.5～157 【155.5】
	(3) 小浜漁港	2.78～4.06 (2.75～4.03)	3.34 (3.31)	22.2～24.0 【22.5】	140.4～154.4 【140.6】
	島全体	1.88～4.71 (1.85～4.68)	2.69 (2.65)	17.7～59.0 【20.0】	57.0～158 【155.5】
ケース⑥	(1) 式根島港	5.36～10.06 (5.34～10.04)	7.77 (7.75)	13.9～15.3 【13.9】	15.0～16.5 【15.2】
	(2) 野伏漁港	10.30～22.17 (10.28～22.15)	16.12 (16.10)	12.4～15.3 【13.2】	13.9～20.9 【14.5】
	(3) 小浜漁港	6.63～22.44 (6.62～22.42)	11.91 (11.89)	14.8～15.9 【15.3】	15.0～31.0 【15.4】
	島全体	5.08～28.13 (5.06～28.11)	13.58 (13.57)	11.9～16.0 【12.0】	13.5～31.0 【13.7】
ケース⑧	(1) 式根島港	5.21～9.57 (5.17～9.52)	7.59 (7.54)	14.8～16.2 【14.9】	16.0～17.5 【16.2】
	(2) 野伏漁港	9.48～22.12 (9.43～22.07)	15.73 (15.68)	13.4～16.0 【14.2】	14.9～32.8 【15.5】
	(3) 小浜漁港	6.90～22.45 (6.85～22.41)	11.94 (11.89)	15.8～16.9 【16.3】	16.0～32.5 【16.4】
	島全体	5.21～26.70 (5.17～26.66)	13.28 (13.24)	12.8～17.0 【13.0】	14.5～39.2 【14.8】

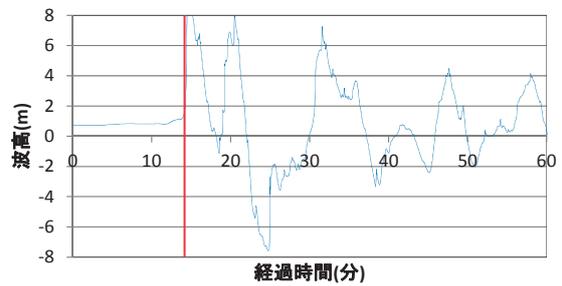
4-3) 式根島の代表点の津波波形 (12時間波形及び最初の1時間の波形)

(赤線: 1m津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))

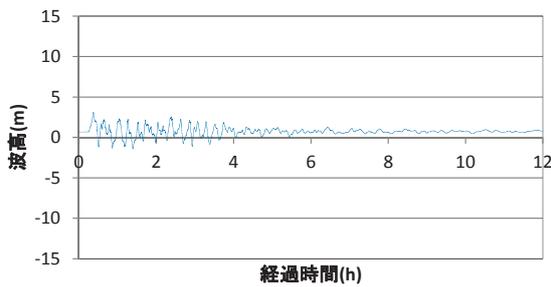
式根島 北東海上ケース1



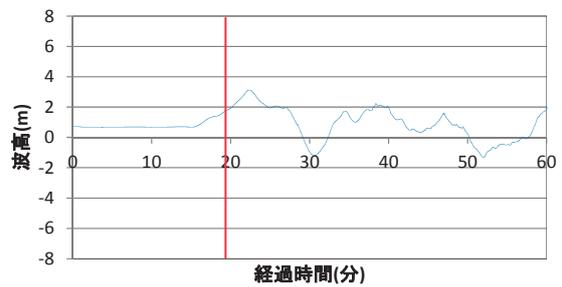
式根島 北東海上ケース1



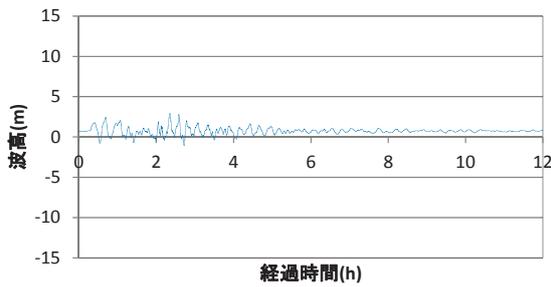
式根島 北東海上ケース2



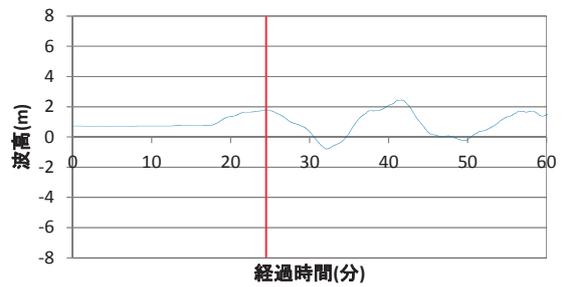
式根島 北東海上ケース2



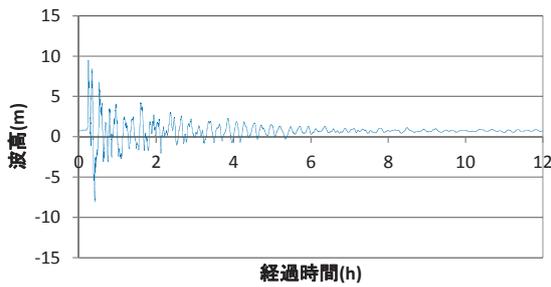
式根島 北東海上ケース5



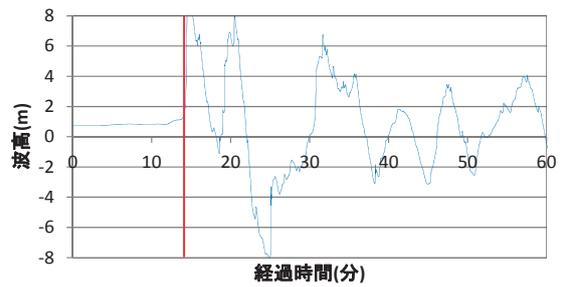
式根島 北東海上ケース5



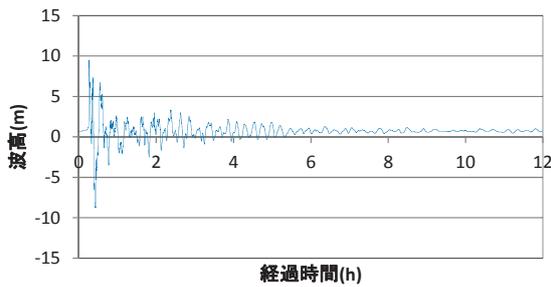
式根島 北東海上ケース6



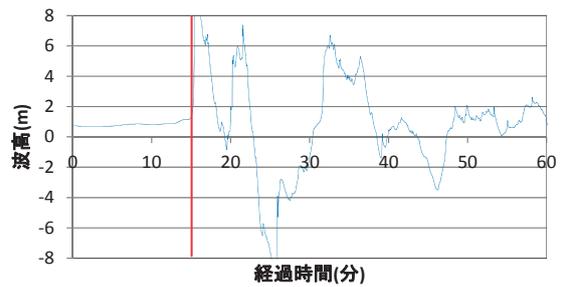
式根島 北東海上ケース6



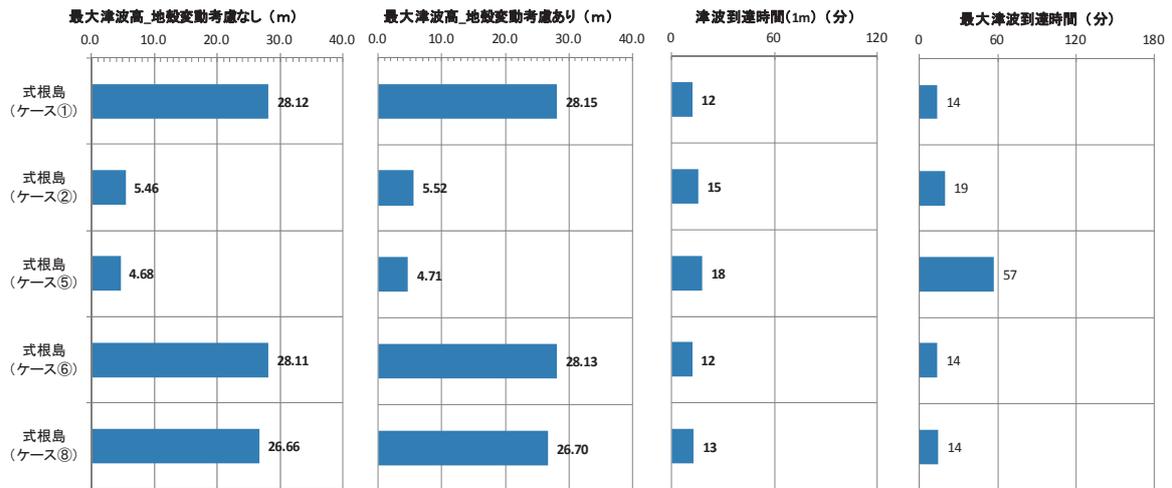
式根島 北東海上ケース8



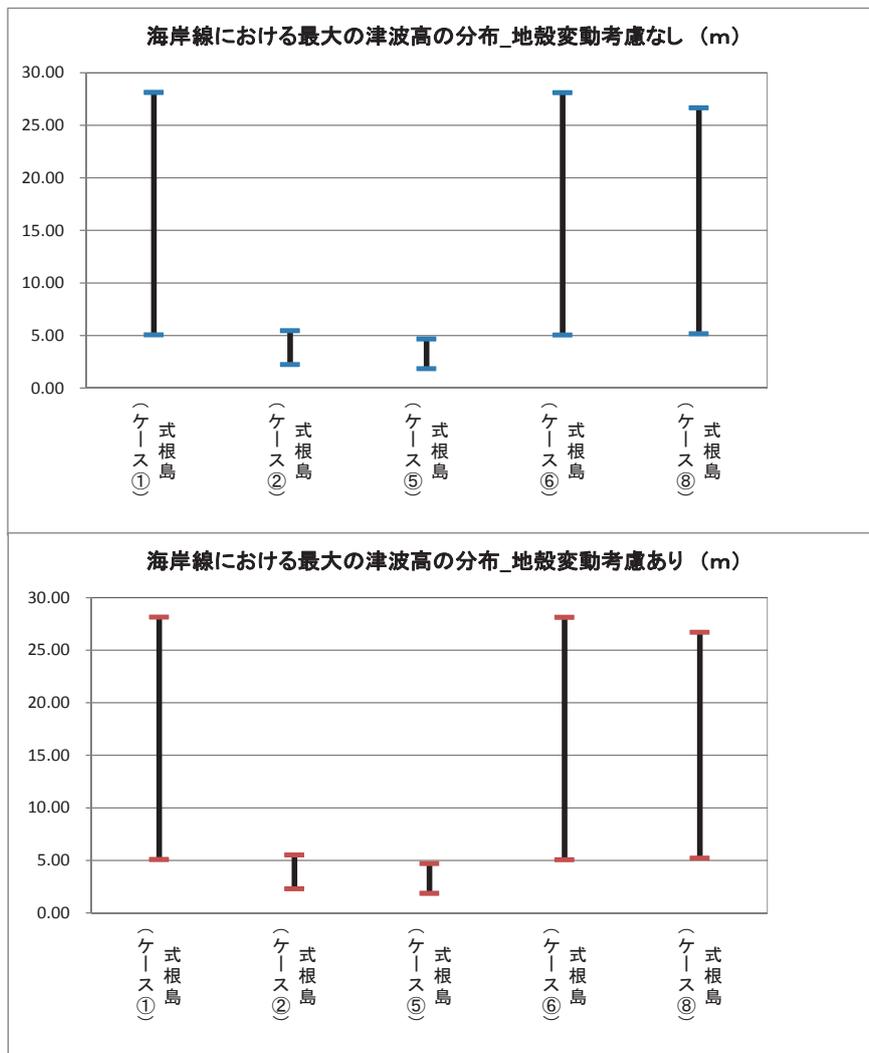
式根島 北東海上ケース8



4-4) 式根島（全体）の海岸線における最大津波高（及びその範囲）・到達時間

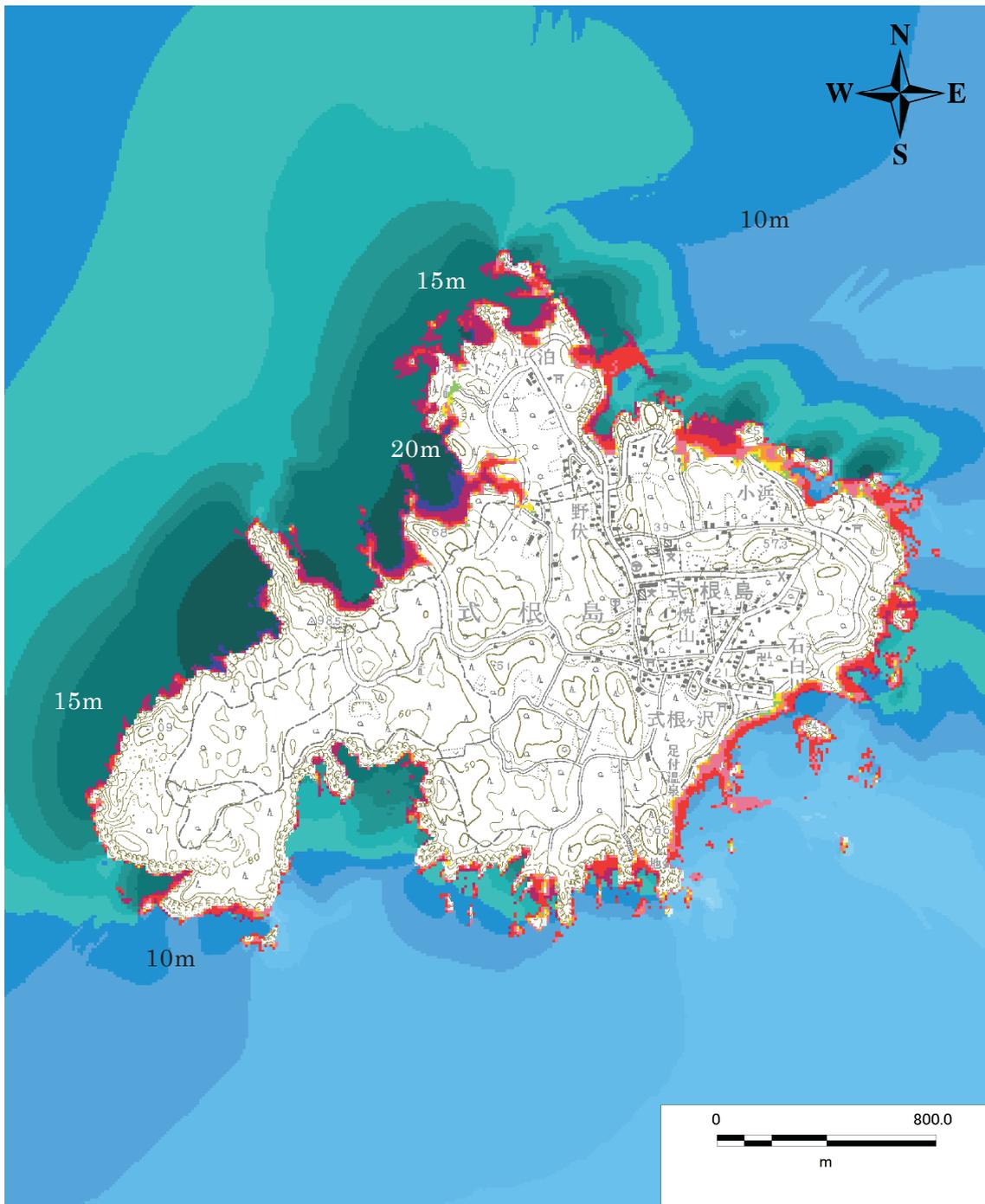


ケース別最大津波高と津波到達時間（1 m 及び最大波）



ケース別最大津波高の範囲

4-5) 式根島全体の最大津波高・最大浸水深分布図（ケース別）

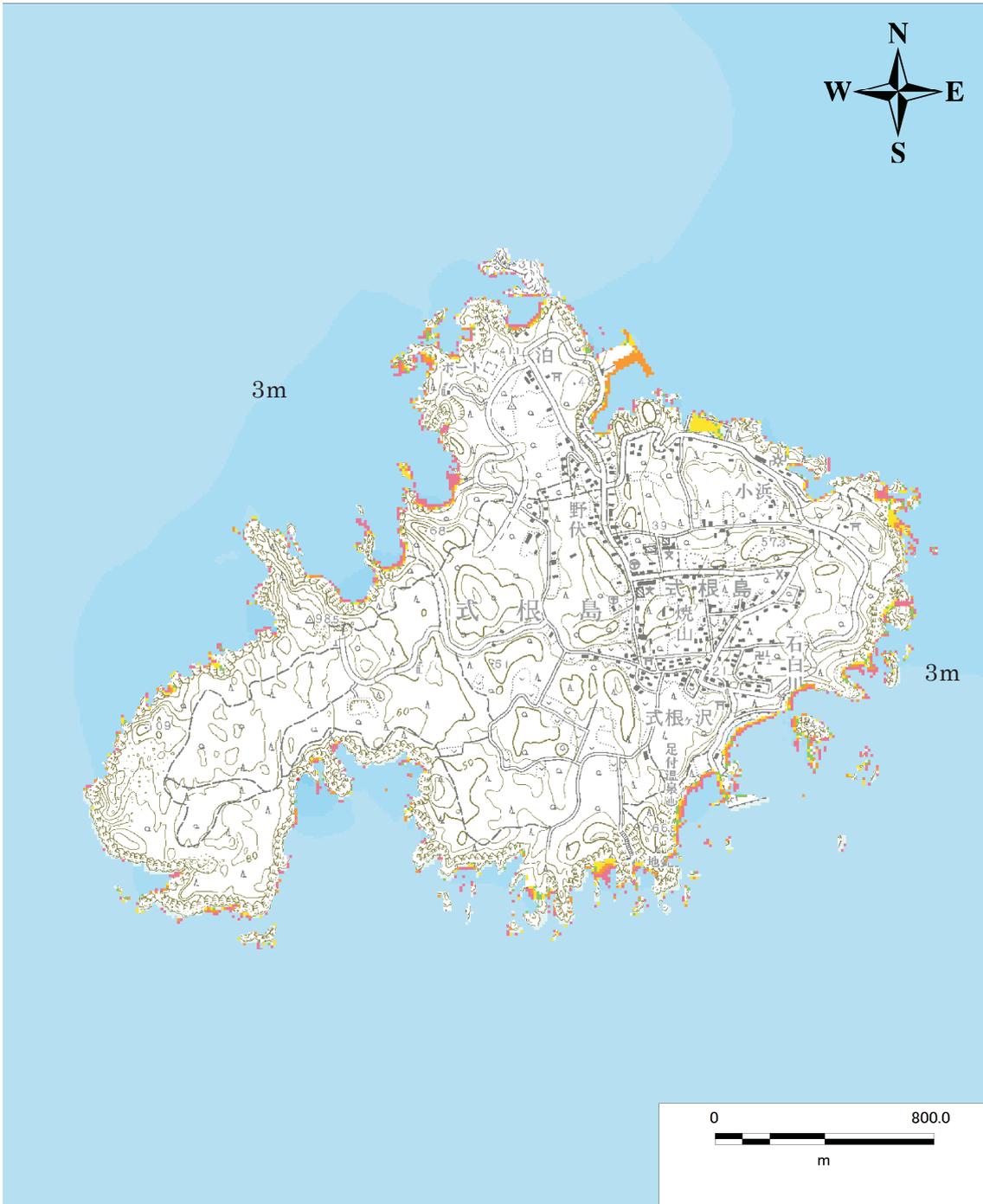


式根島ケース①

最大浸水深 (m)		最大津波高 (m)	
■ 20m以上	■ 20m未満	■ 30m以上	■ 30m未満
■ 10m以上	■ 10m未満	■ 20m以上	■ 20m未満
■ 5m以上	■ 5m未満	■ 15m以上	■ 15m未満
■ 2m以上	■ 2m未満	■ 14m以上	■ 14m未満
■ 1m以上	■ 1m未満	■ 13m以上	■ 13m未満
■ 0.3m以上	■ 0.3m未満	■ 12m以上	■ 12m未満
		■ 11m以上	■ 11m未満
		■ 10m以上	■ 10m未満
		■ 9m以上	■ 9m未満
		■ 8m以上	■ 8m未満
		■ 7m以上	■ 7m未満
		■ 6m以上	■ 6m未満
		■ 5m以上	■ 5m未満
		■ 4m以上	■ 4m未満
		■ 3m以上	■ 3m未満
		■ 2m以上	■ 2m未満
		■ 1m以上	■ 1m未満
		■ 0m以上	■ 0m未満

式根島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



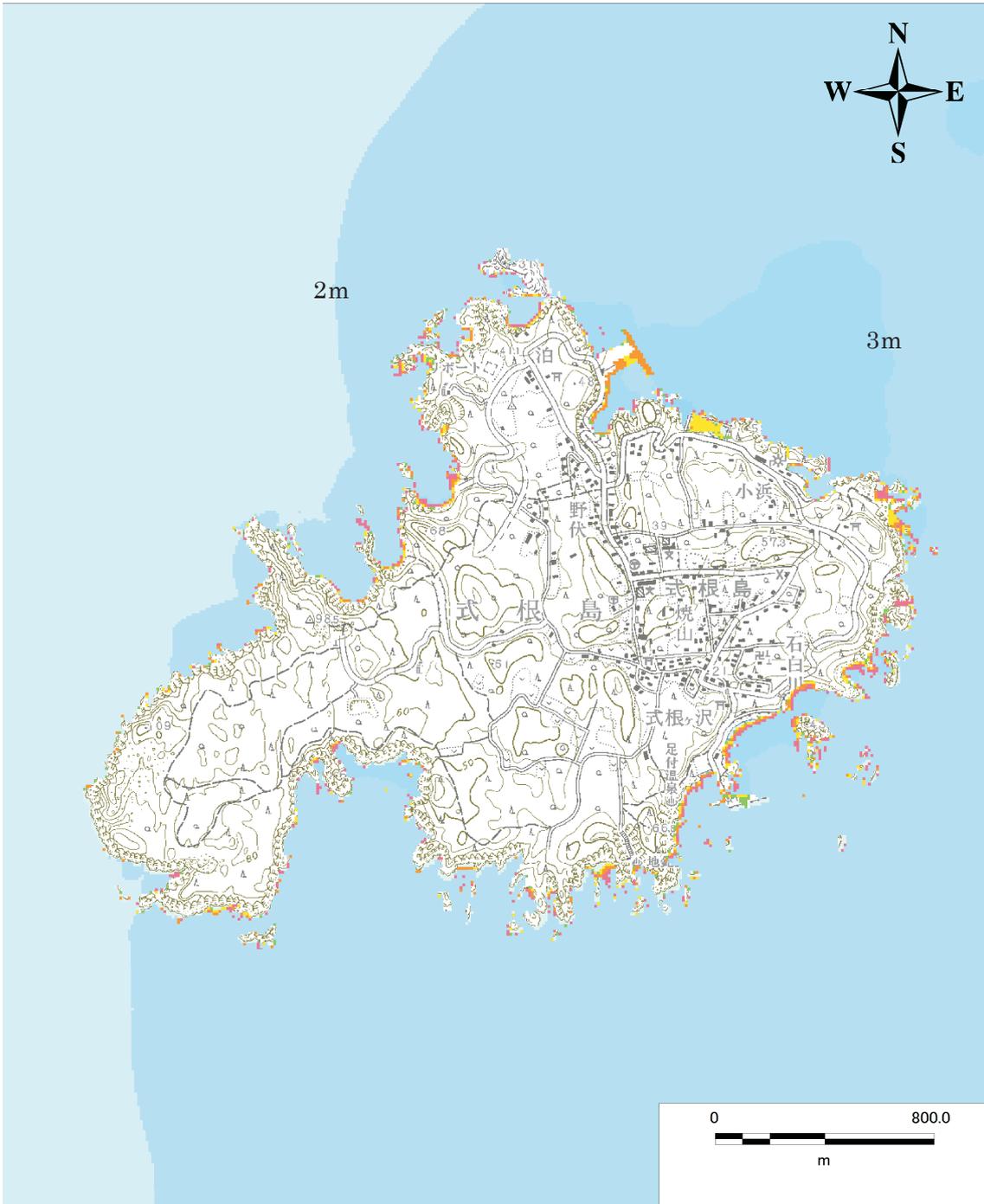
式根島ケース②

最大浸水深 (m)	
■ 20m以上	■ 20m未満
■ 10m以上	■ 10m未満
■ 5m以上	■ 5m未満
■ 2m以上	■ 2m未満
■ 1m以上	■ 1m未満
■ 0.3m以上	■ 0.3m未満
■ 0.3m未満	

最大津波高 (m)	
■ 30m以上	■ 30m未満
■ 20m以上	■ 20m未満
■ 15m以上	■ 15m未満
■ 14m以上	■ 14m未満
■ 13m以上	■ 13m未満
■ 12m以上	■ 12m未満
■ 11m以上	■ 11m未満
■ 10m以上	■ 10m未満
■ 9m以上	■ 9m未満
■ 8m以上	■ 8m未満
■ 7m以上	■ 7m未満
■ 6m以上	■ 6m未満
■ 5m以上	■ 5m未満
■ 4m以上	■ 4m未満
■ 3m以上	■ 3m未満
■ 2m以上	■ 2m未満
■ 1m以上	■ 1m未満
■ 0m以上	■ 0m未満

式根島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



式根島ケース⑤

最大浸水深 (m)

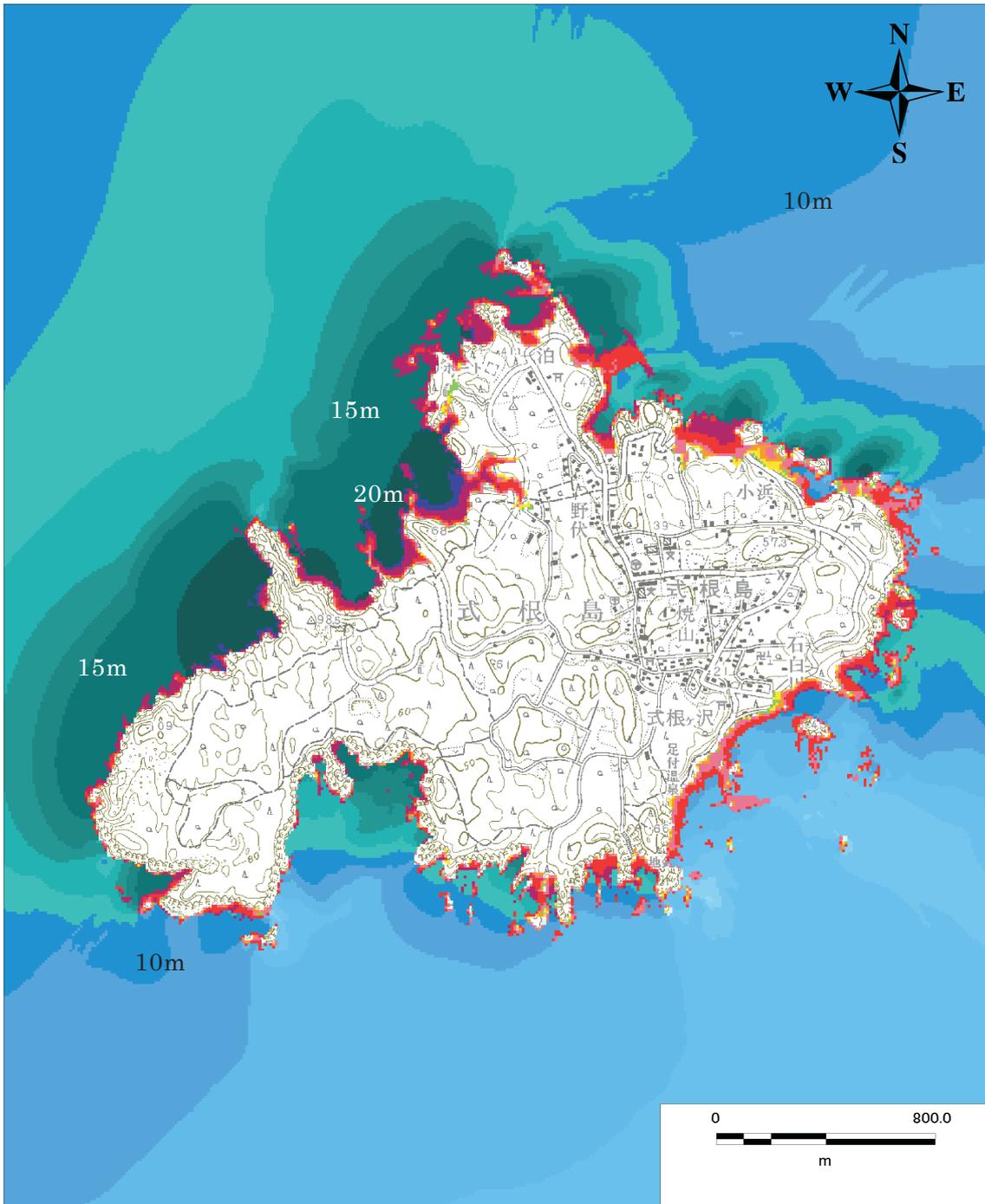
■ 20m以上	■ 20m未満
■ 10m以上	■ 10m未満
■ 5m以上	■ 5m未満
■ 2m以上	■ 2m未満
■ 1m以上	■ 1m未満
■ 0.3m以上	■ 0.3m未満
■ 0.3m未満	

最大津波高 (m)

■ 30m以上	■ 30m未満
■ 20m以上	■ 20m未満
■ 15m以上	■ 15m未満
■ 14m以上	■ 14m未満
■ 13m以上	■ 13m未満
■ 12m以上	■ 12m未満
■ 11m以上	■ 11m未満
■ 10m以上	■ 10m未満
■ 9m以上	■ 9m未満
■ 8m以上	■ 8m未満
■ 7m以上	■ 7m未満
■ 6m以上	■ 6m未満
■ 5m以上	■ 5m未満
■ 4m以上	■ 4m未満
■ 3m以上	■ 3m未満
■ 2m以上	■ 2m未満
■ 1m以上	■ 1m未満
■ 0m以上	■ 0m未満

式根島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)

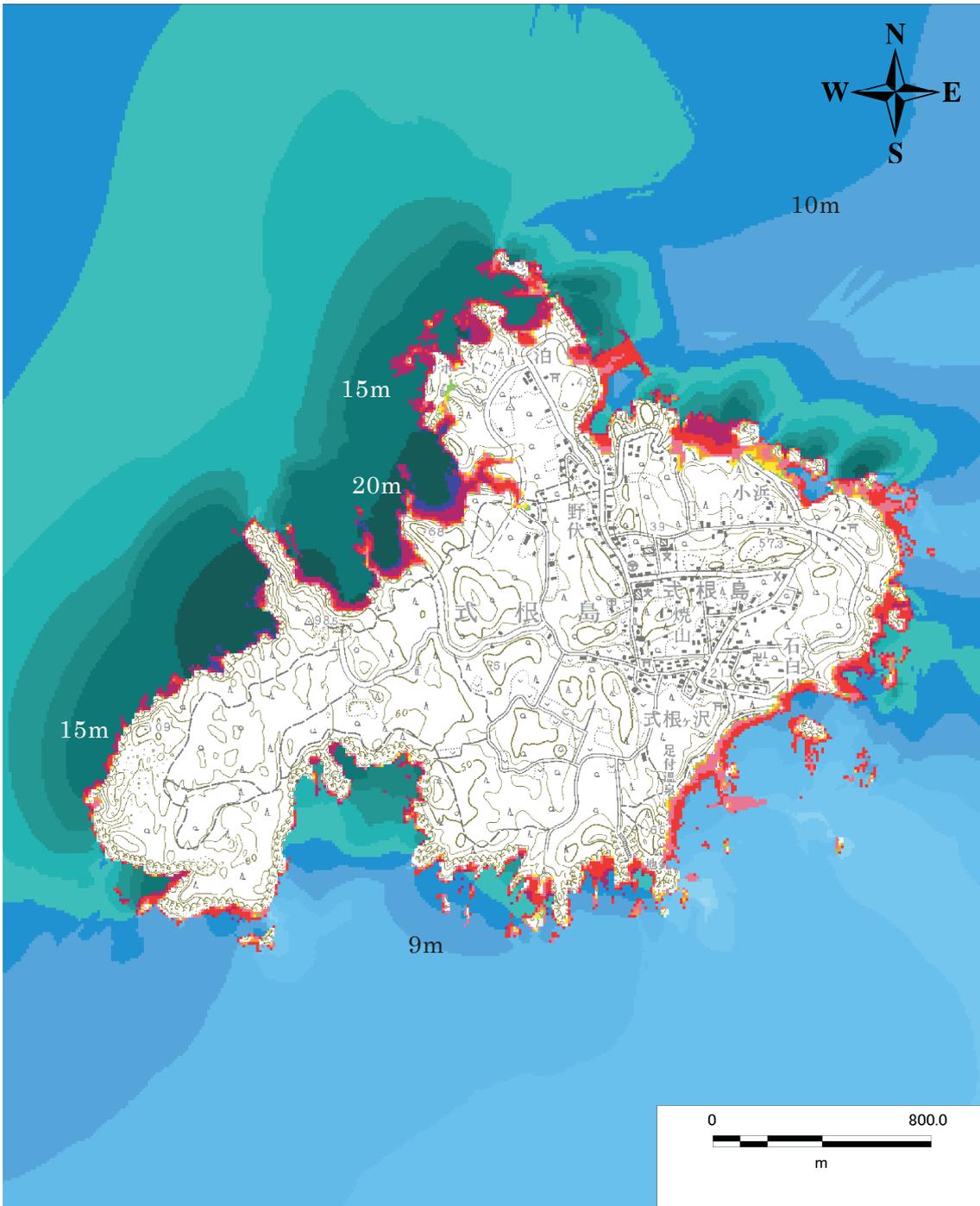


式根島ケース⑥

最大浸水深 (m)		最大津波高 (m)	
20m以上	20m未満	30m以上	30m未満
10m以上	10m未満	20m以上	20m未満
5m以上	5m未満	15m以上	15m未満
2m以上	2m未満	14m以上	14m未満
1m以上	1m未満	13m以上	13m未満
0.3m以上	0.3m未満	12m以上	12m未満
		11m以上	11m未満
		10m以上	10m未満
		9m以上	9m未満
		8m以上	8m未満
		7m以上	7m未満
		6m以上	6m未満
		5m以上	5m未満
		4m以上	4m未満
		3m以上	3m未満
		2m以上	2m未満
		1m以上	1m未満
		0m以上	1m未満

式根島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



式根島ケース⑧

最大浸水深 (m)

20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

最大津波高 (m)

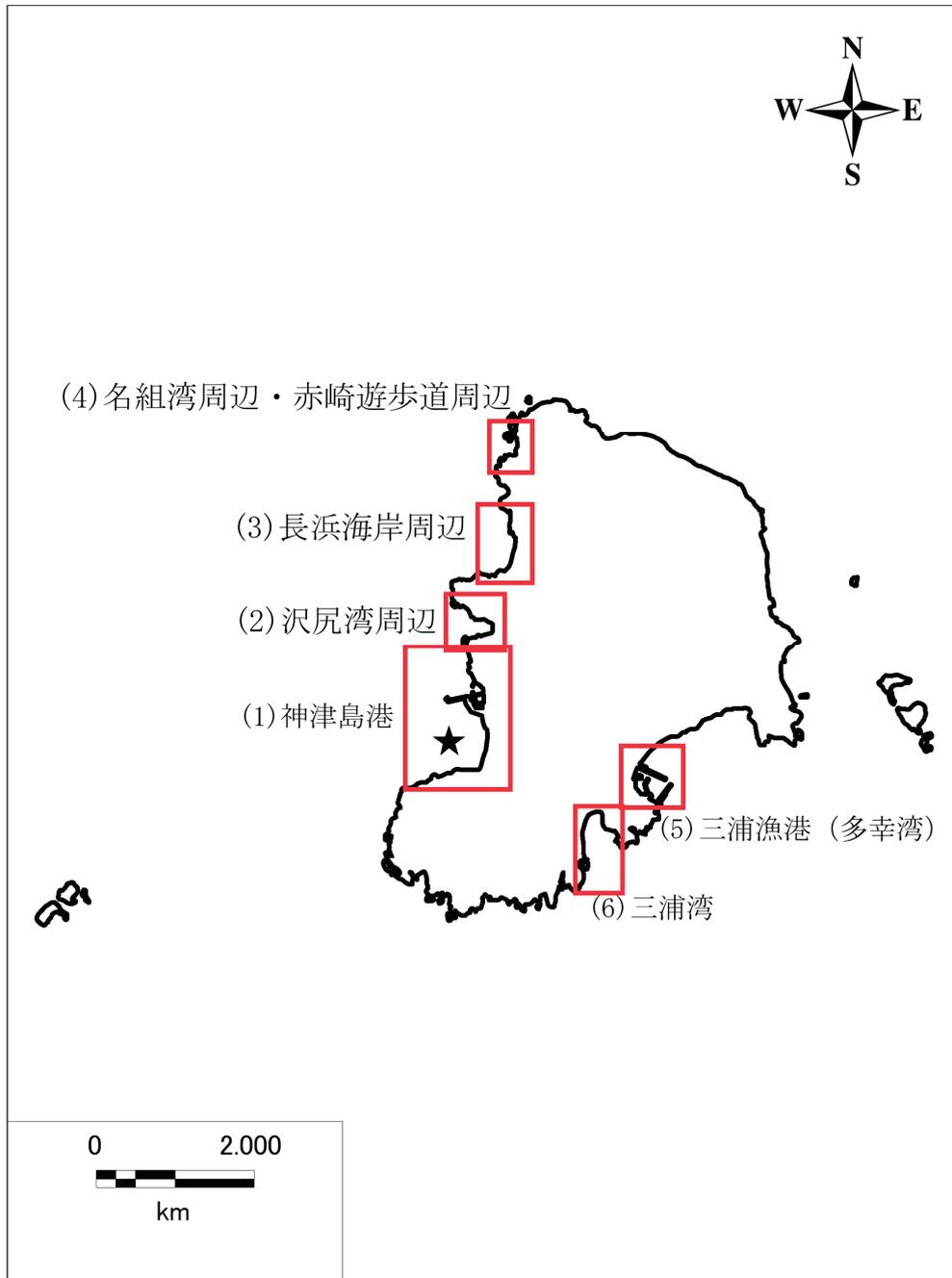
30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

式根島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)

(5) 神津島

5-1) 全体及び拡大範囲図



神津島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

5-2) 神津島の総括表

神津島の総括表（その1）

ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース①	(1) 神津島港	12.84~24.46 (12.82~24.43)	17.15 (17.13)	12.0~13.3 【13.2】	13.0~15.1 【13.9】
	(2) 沢尻湾周辺	10.86~18.83 (10.84~18.81)	14.65 (14.62)	11.6~12.6 【12.6】	13.2~33.4 【13.5】
	(3) 長浜海岸周辺	15.78~22.66 (15.76~22.64)	20.05 (20.03)	12.0~12.5 【12.5】	12.7~33.2 【13.2】
	(4) 名組湾周辺・ 赤崎遊歩道周辺	14.22~19.84 (14.20~19.82)	17.33 (17.31)	11.3~11.9 【11.9】	12.6~13.2 【12.6】
	(5) 三浦漁港(多幸湾)	7.31~13.11 (7.29~13.08)	11.19 (11.16)	15.8~17.8 【17.1】	16.7~23.8 【17.6】
	(6) 三浦湾	7.57~23.65 (7.55~23.63)	12.26 (12.23)	15.1~16.6 【16.6】	15.8~20.9 【16.9】
	島全体	6.01~26.36 (5.99~26.34)	14.89 (14.87)	11.3~17.8 【15.1】	12.5~49.3 【15.7】
ケース②	(1) 神津島港	5.11~9.03 (5.05~8.97)	6.61 (6.56)	15.7~16.4 【15.8】	36.3~49.6 【37.2】
	(2) 沢尻湾周辺	4.68~7.94 (4.63~7.88)	6.06 (6.01)	15.4~15.9 【15.5】	29.2~48.4 【37.2】
	(3) 長浜海岸周辺	5.92~8.26 (5.87~8.21)	7.09 (7.04)	15.3~15.7 【15.5】	37.2~39.0 【38.2】
	(4) 名組湾周辺・ 赤崎遊歩道周辺	3.89~5.63 (3.84~5.58)	4.92 (4.87)	15.0~16.0 【15.0】	19.4~38.5 【37.9】
	(5) 三浦漁港(多幸湾)	3.61~4.97 (3.55~4.91)	4.51 (4.45)	20.5~22.0 【21.3】	23.5~122.7 【25.9】
	(6) 三浦湾	3.47~5.49 (3.41~5.43)	4.19 (4.13)	19.6~21.0 【20.1】	22.9~25.1 【24.5】
	島全体	2.81~9.03 (2.75~8.97)	4.74 (4.69)	15.0~22.0 【15.8】	19.1~151.1 【37.2】
ケース⑤	(1) 神津島港	2.60~4.45 (2.56~4.42)	3.24 (3.20)	18.1~18.6 【18.1】	19.5~155.6 【154.3】
	(2) 沢尻湾周辺	2.46~3.99 (2.43~3.96)	3.13 (3.10)	17.7~18.3 【17.8】	65.6~180.4 【76.3】
	(3) 長浜海岸周辺	3.42~4.95 (3.40~4.92)	4.27 (4.24)	17.6~18.1 【17.9】	39.6~189.1 【151.8】
	(4) 名組湾周辺・ 赤崎遊歩道周辺	3.04~4.07 (3.01~4.04)	3.46 (3.43)	17.2~18.3 【17.2】	142.4~151.1 【142.7】
	(5) 三浦漁港(多幸湾)	2.26~4.32 (2.23~4.29)	3.05 (3.02)	23.2~38.3 【23.8】	38.9~184.1 【164.1】
	(6) 三浦湾	2.14~4.37 (2.11~4.34)	2.82 (2.79)	23.2~126.4 【23.8】	39.4~148.8 【139.3】
	島全体	1.97~7.34 (1.93~7.30)	3.28 (3.25)	17.2~148.0 【23.1】	19.5~189.1 【146.6】

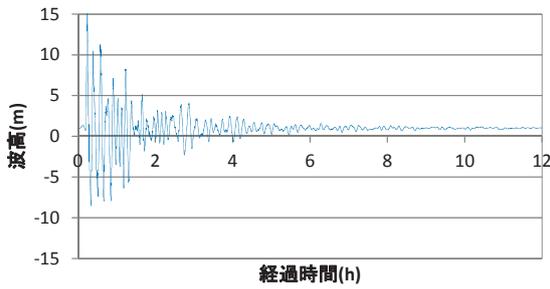
神津島の総括表（その2）

ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース⑥	(1) 神津島港	12.84～24.46 (12.82～24.44)	17.17 (17.15)	12.0～13.3 【13.2】	13.0～34.3 【13.9】
	(2) 沢尻湾周辺	11.38～18.83 (11.36～18.81)	14.86 (14.84)	11.6～12.6 【12.6】	13.2～34.0 【13.5】
	(3) 長浜海岸周辺	15.90～22.65 (15.88～22.63)	20.14 (20.12)	12.0～12.5 【12.5】	12.7～33.6 【13.3】
	(4) 名組湾周辺・ 赤崎遊歩道周辺	14.24～19.84 (14.22～19.82)	17.33 (17.31)	11.3～11.9 【11.9】	12.6～13.2 【12.6】
	(5) 三浦漁港(多幸湾)	8.33～13.10 (8.31～13.08)	11.18 (11.16)	15.8～17.8 【17.1】	16.6～31.4 【17.6】
	(6) 三浦湾	7.55～23.67 (7.53～23.65)	12.26 (12.24)	15.1～16.6 【16.5】	15.8～20.9 【16.9】
	島全体	5.37～26.36 (5.36～26.34)	14.95 (14.93)	11.2～17.8 【15.1】	12.5～42.7 【15.7】
ケース⑧	(1) 神津島港	12.71～24.33 (12.67～24.28)	16.97 (16.92)	12.9～14.2 【14.1】	13.9～16.0 【14.8】
	(2) 沢尻湾周辺	11.85～18.25 (11.81～18.20)	14.55 (14.50)	12.6～13.5 【13.5】	14.0～35.0 【14.4】
	(3) 長浜海岸周辺	16.15～21.98 (16.10～21.94)	19.64 (19.59)	13.0～13.5 【13.5】	13.6～34.8 【14.2】
	(4) 名組湾周辺・ 赤崎遊歩道周辺	13.72～20.27 (13.68～20.23)	17.08 (17.03)	12.3～12.9 【12.9】	13.5～14.1 【13.5】
	(5) 三浦漁港(多幸湾)	6.54～13.69 (6.50～13.64)	10.97 (10.93)	16.8～18.7 【16.9】	17.5～32.3 【17.6】
	(6) 三浦湾	7.00～23.68 (6.95～23.64)	12.34 (12.29)	16.1～17.5 【17.5】	16.7～18.8 【17.8】
	島全体	4.72～28.43 (4.68～28.38)	15.08 (15.04)	12.2～18.8 【16.1】	13.4～50.8 【16.6】

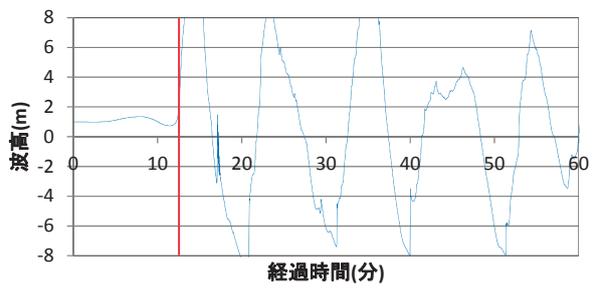
5-3) 神津島の代表点の津波波形 (12時間波形及び最初の1時間の波形)

(赤線: 1m津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))

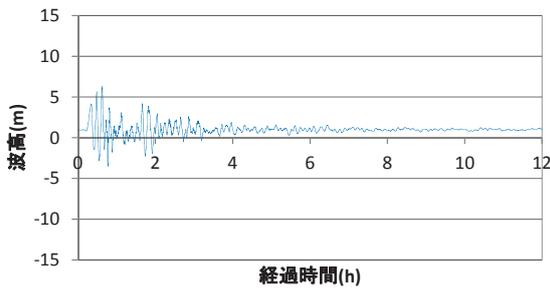
神津島 西側海上 ケース1



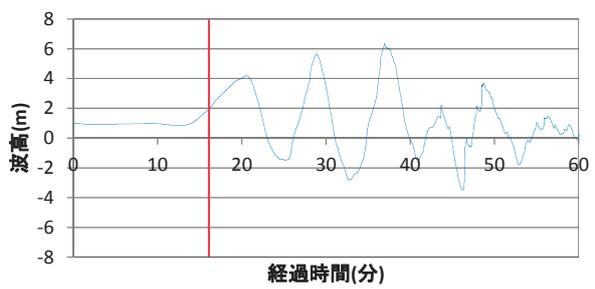
神津島 西側海上 ケース1



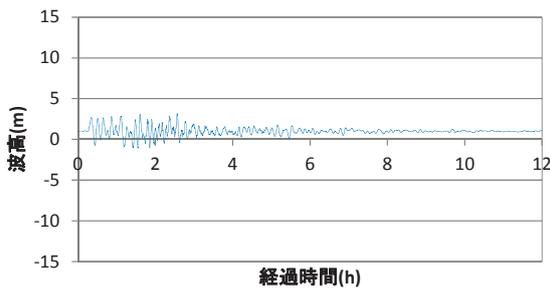
神津島 西側海上 ケース2



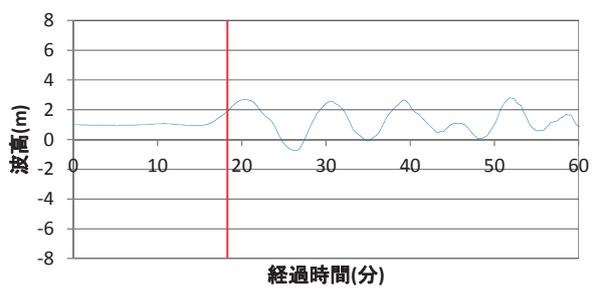
神津島 西側海上 ケース2



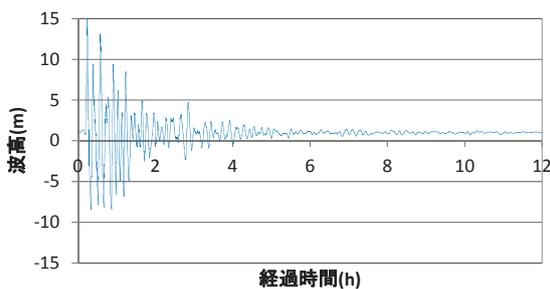
神津島 西側海上 ケース5



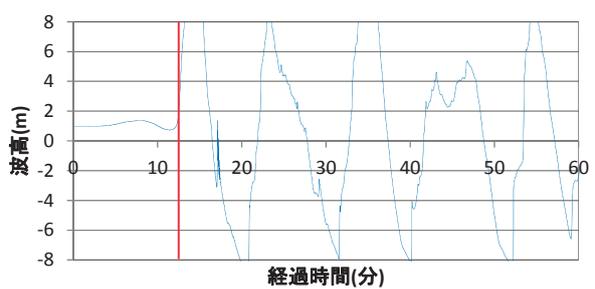
神津島 西側海上 ケース5



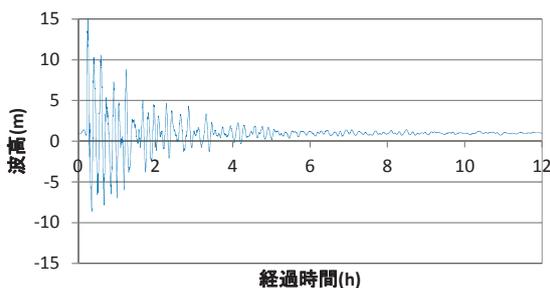
神津島 西側海上 ケース6



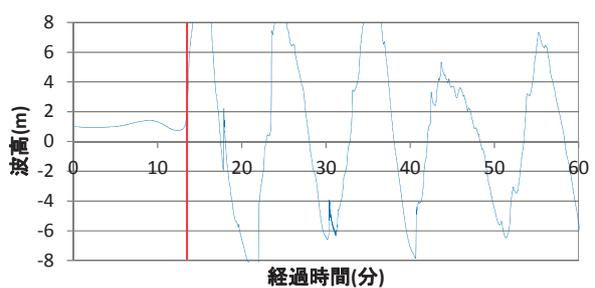
神津島 西側海上 ケース6



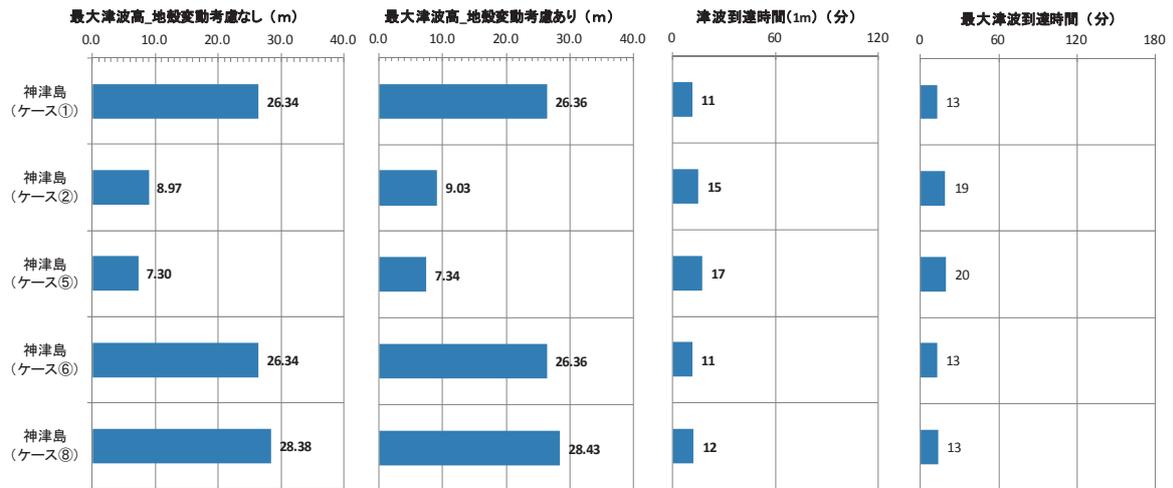
神津島 西側海上 ケース8



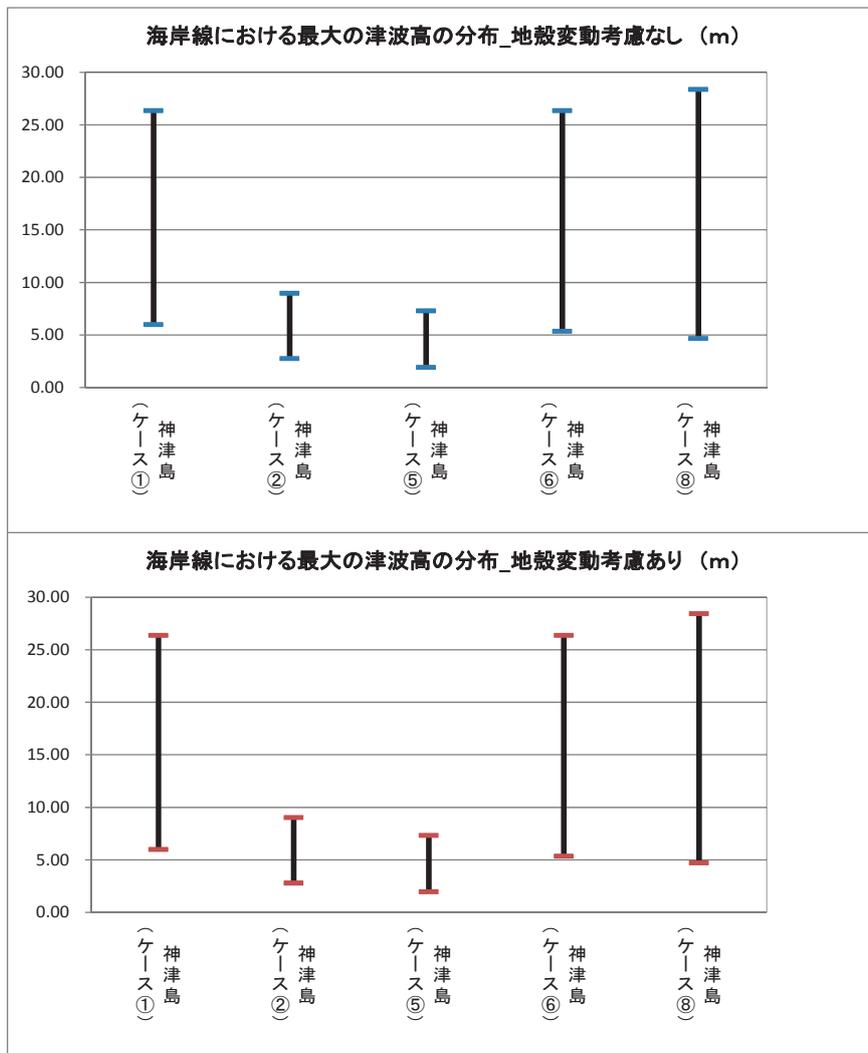
神津島 西側海上 ケース8



5-4) 神津島（全体）の海岸線における最大津波高（及びその範囲）・到達時間

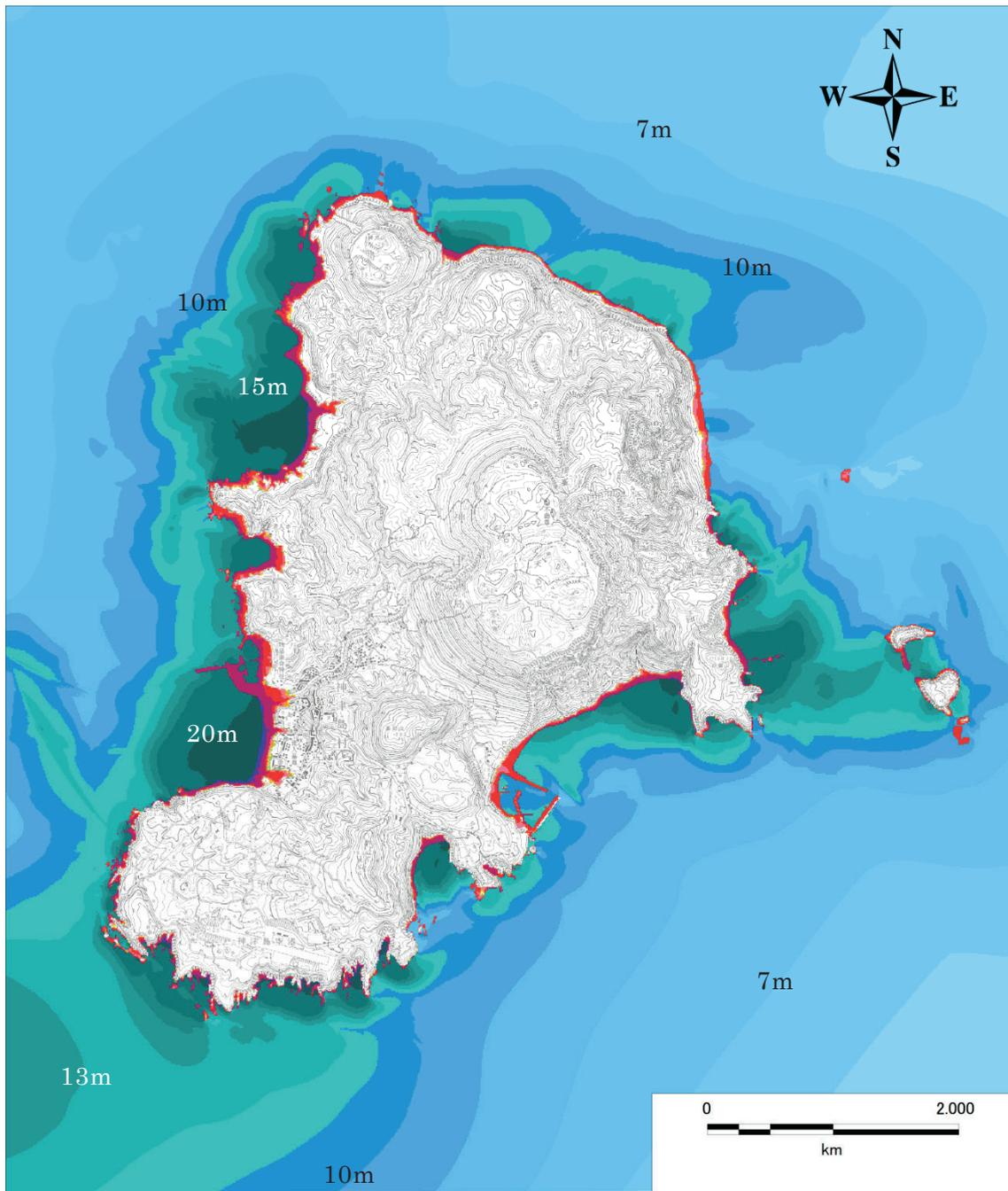


ケース別最大津波高と津波到達時間（1 m 及び最大波）



ケース別最大津波高の範囲

5-5) 神津島全体の最大津波高・最大浸水深分布図（ケース別）



神津島ケース①

最大浸水深 (m)

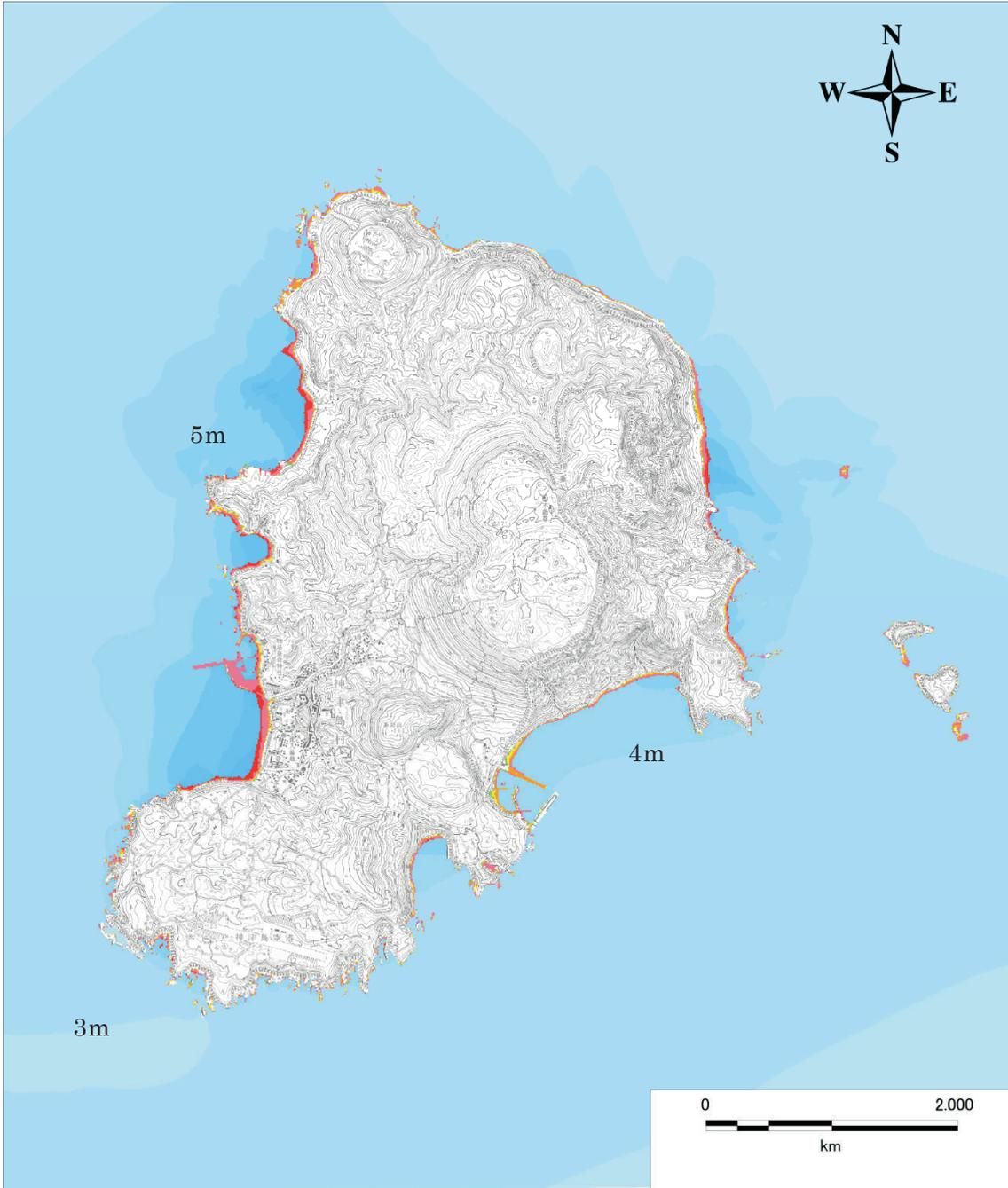
20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

最大津波高 (m)

30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

神津島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



神津島ケース②

最大浸水深 (m)

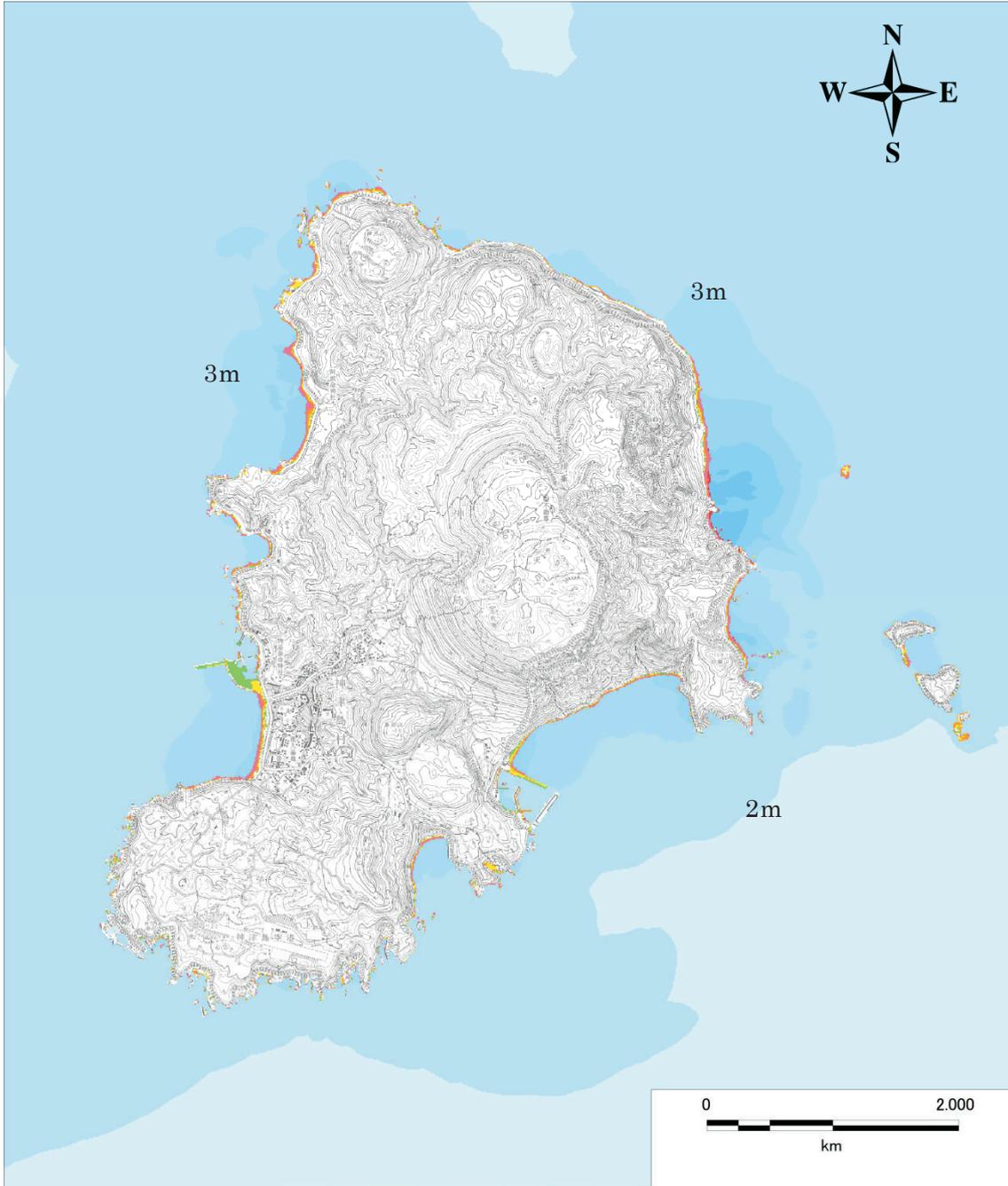
■ 20m以上	■ 20m未満
■ 10m以上	■ 10m未満
■ 5m以上	■ 5m未満
■ 2m以上	■ 2m未満
■ 1m以上	■ 1m未満
■ 0.3m以上	■ 0.3m未満

最大津波高 (m)

■ 30m以上	■ 30m未満
■ 20m以上	■ 20m未満
■ 15m以上	■ 15m未満
■ 14m以上	■ 14m未満
■ 13m以上	■ 13m未満
■ 12m以上	■ 12m未満
■ 11m以上	■ 11m未満
■ 10m以上	■ 10m未満
■ 9m以上	■ 9m未満
■ 8m以上	■ 8m未満
■ 7m以上	■ 7m未満
■ 6m以上	■ 6m未満
■ 5m以上	■ 5m未満
■ 4m以上	■ 4m未満
■ 3m以上	■ 3m未満
■ 2m以上	■ 2m未満
■ 1m以上	■ 1m未満
■ 0m以上	■ 0m未満

神津島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



神津島ケース⑤

最大浸水深 (m)

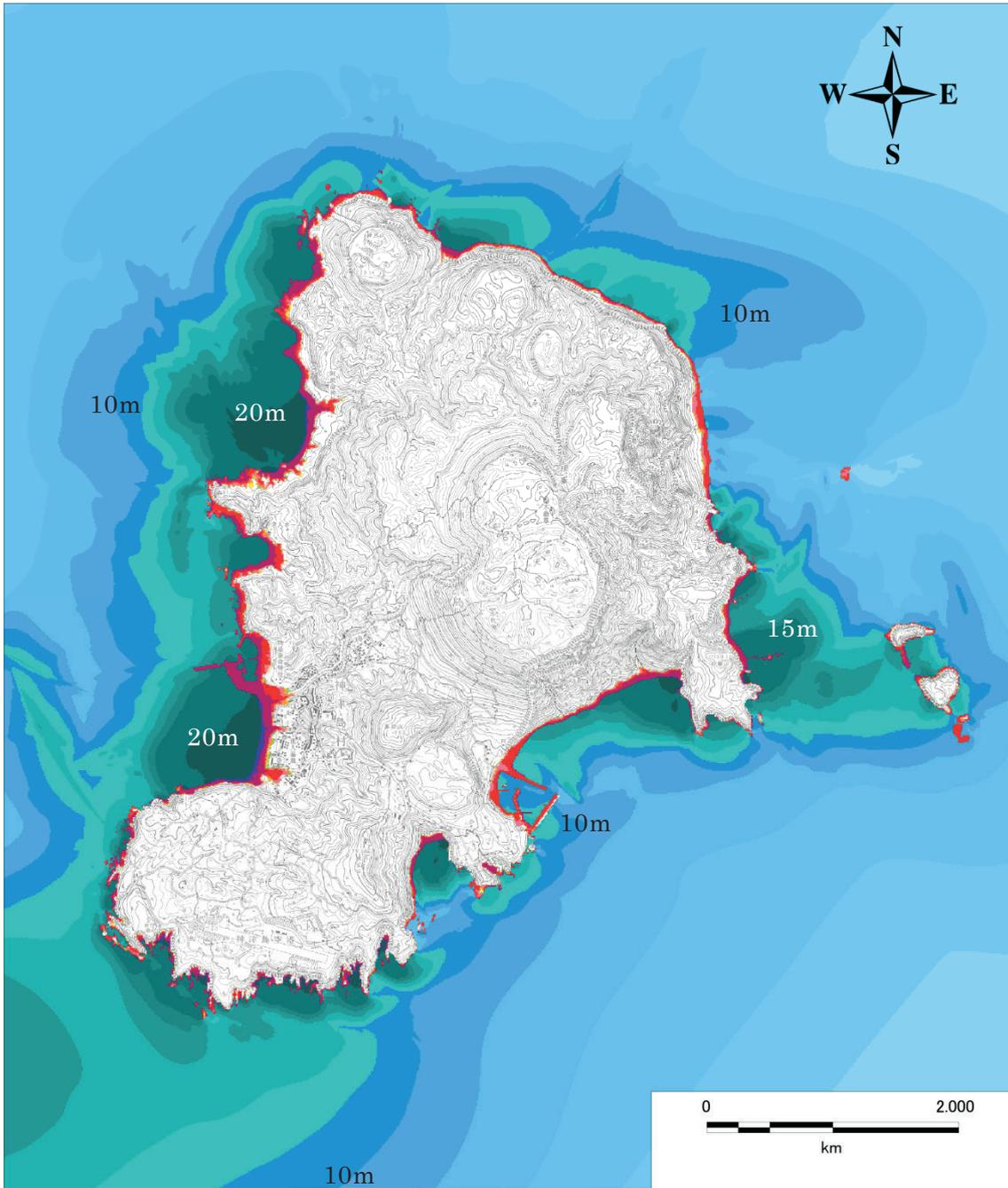
20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

最大津波高 (m)

30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

神津島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



神津島ケース⑥

最大浸水深 (m)

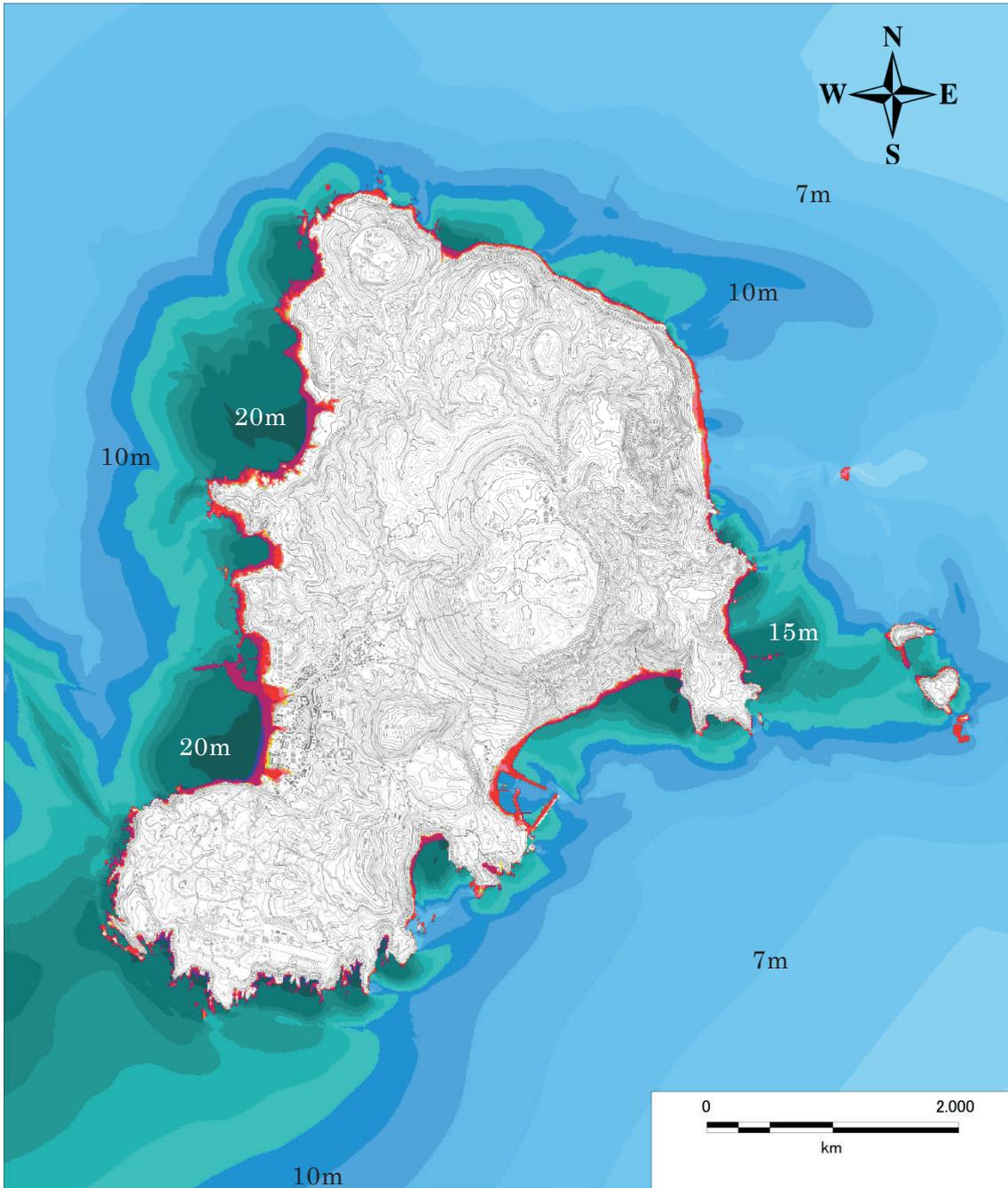
20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

最大津波高 (m)

30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

神津島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



神津島ケース⑧

最大浸水深 (m)

20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

最大津波高 (m)

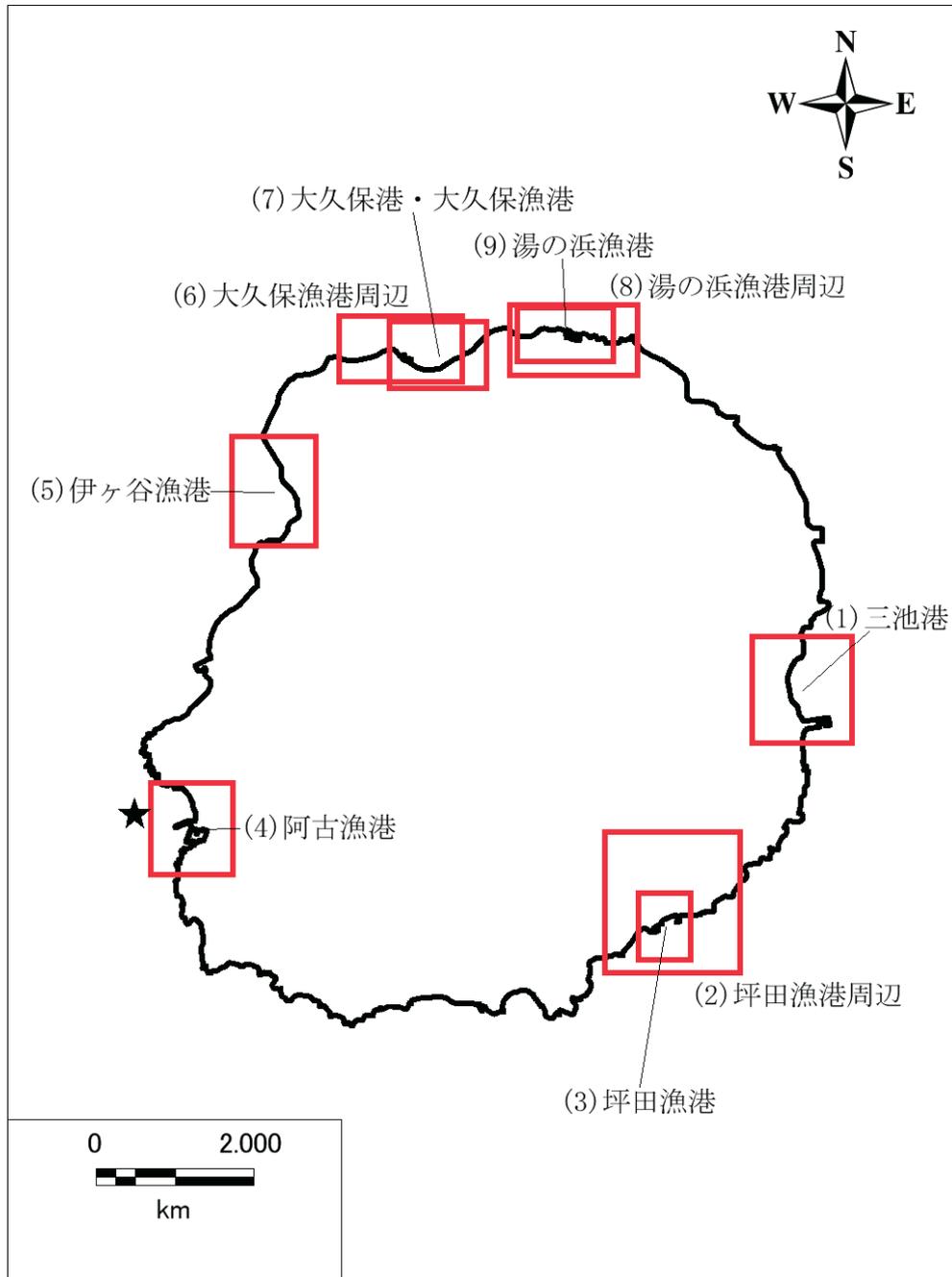
30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

神津島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)

(6) 三宅島

6-1) 全体及び拡大範囲図



三宅島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

## 6-2) 三宅島の総括表

三宅島の総括表(その1)

ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース①	(1)三池港	4.37~9.79 (4.35~9.77)	7.37 (7.35)	21.4~22.8 【22.7】	30.1~60.7 【36.5】
	(2)坪田漁港周辺	4.18~8.58 (4.16~8.56)	5.86 (5.84)	20.4~21.7 【20.9】	23.0~44.0 【26.2】
	(3)坪田漁港	4.18~8.58 (4.16~8.56)	5.62 (5.60)	20.4~21.7 【20.9】	23.0~43.9 【26.2】
	(4)阿古漁港	7.36~10.85 (7.34~10.83)	9.14 (9.13)	19.8~21.8 【21.6】	22.1~23.6 【23.0】
	(5)伊ヶ谷漁港	10.91~16.11 (10.89~16.10)	13.90 (13.89)	22.3~23.1 【22.9】	24.3~32.5 【24.6】
	(6)大久保漁港周辺	8.04~12.55 (8.03~12.54)	10.33 (10.32)	23.0~24.2 【24.1】	26.2~49.2 【26.7】
	(7)大久保港・ 大久保漁港	8.04~12.55 (8.03~12.54)	10.62 (10.61)	23.4~24.3 【24.1】	26.1~49.1 【26.7】
	(8)湯の浜漁港周辺	8.39~12.16 (8.38~12.15)	10.63 (10.61)	24.4~26.1 【25.4】	26.4~27.7 【27.0】
	(9)湯の浜漁港	9.50~12.16 (9.48~12.15)	10.76 (10.74)	24.3~26.1 【25.4】	26.4~27.3 【27.0】
	島全体	4.18~16.11 (4.16~16.10)	8.56 (8.54)	19.3~26.1 【22.9】	21.5~123.4 【24.6】
ケース②	(1)三池港	2.14~5.99 (2.09~5.95)	4.08 (4.04)	24.2~35.6 【25.4】	49.1~146.7 【87.7】
	(2)坪田漁港周辺	2.22~5.59 (2.18~5.54)	3.40 (3.35)	22.8~24.2 【23.1】	24.9~127.7 【41.3】
	(3)坪田漁港	2.22~5.59 (2.18~5.54)	3.25 (3.21)	23.1~24.2 【23.1】	24.9~127.7 【41.3】
	(4)阿古漁港	2.35~4.29 (2.32~4.26)	3.21 (3.18)	22.4~25.1 【23.1】	27.6~149.1 【51.7】
	(5)伊ヶ谷漁港	3.61~7.69 (3.58~7.66)	5.47 (5.44)	24.8~25.8 【25.6】	52.5~107.1 【52.6】
	(6)大久保漁港周辺	3.65~5.05 (3.62~5.02)	4.40 (4.37)	26.5~27.8 【26.6】	38.7~106.2 【105.3】
	(7)大久保港・ 大久保漁港	3.65~5.00 (3.62~4.97)	4.37 (4.34)	26.8~27.9 【27.5】	38.7~106.2 【106.1】
	(8)湯の浜漁港周辺	3.43~5.04 (3.40~5.01)	4.39 (4.36)	28.1~29.4 【28.8】	31.1~104.7 【39.9】
	(9)湯の浜漁港	3.65~5.04 (3.62~5.01)	4.44 (4.41)	28.0~29.4 【28.8】	31.1~104.8 【39.9】
	島全体	2.14~7.69 (2.09~7.66)	3.78 (3.74)	21.8~35.6 【25.6】	22.9~149.1 【52.6】

三宅島の総括表（その2）

ケース	対象範囲	各地点の最大津波高(m) (地殻変動を考慮しない場合の値)	各地点の最大津波高の平均値(m) (地殻変動を考慮しない場合の値)	各地点の1m津波高の到達時間(分) 【当該範囲で最大津波高が来る地点での時間】	各地点の最大津波高の到達時間(分) 【当該範囲で最大津波高が来る地点での時間】
ケース⑤	(1)三池港	3.01～6.61 (2.98～6.59)	4.77 (4.74)	43.5～105.2 【94.2】	104.7～133.8 【110.9】
	(2)坪田漁港周辺	1.75～4.58 (1.72～4.55)	2.79 (2.77)	27.9～104.7 【58.7】	93.3～140.7 【114.3】
	(3)坪田漁港	1.75～4.58 (1.72～4.55)	2.73 (2.70)	27.9～104.7 【58.7】	103.3～140.7 【114.3】
	(4)阿古漁港	1.56～3.68 (1.53～3.65)	2.65 (2.62)	27.0～143.4 【27.1】	105.3～144.0 【141.6】
	(5)伊ヶ谷漁港	3.04～5.35 (3.02～5.33)	4.31 (4.29)	28.6～29.2 【29.0】	105.5～146.1 【105.6】
	(6)大久保漁港周辺	2.33～5.72 (2.31～5.70)	3.28 (3.25)	30.5～31.2 【30.6】	108.3～147.2 【127.1】
	(7)大久保港・大久保漁港	2.33～3.69 (2.31～3.67)	2.90 (2.88)	30.8～31.5 【30.8】	108.2～169.2 【131.3】
	(8)湯の浜漁港周辺	2.21～3.81 (2.19～3.79)	2.88 (2.86)	31.8～42.8 【32.6】	105.9～173.0 【124.6】
	(9)湯の浜漁港	2.21～3.81 (2.19～3.79)	2.79 (2.77)	31.7～32.8 【32.6】	106.0～173.0 【124.6】
	島全体	1.56～6.85 (1.53～6.82)	3.22 (3.20)	26.4～160.7 【94.4】	56.1～173.0 【117.1】
ケース⑥	(1)三池港	4.50～10.21 (4.49～10.20)	7.48 (7.47)	21.4～22.8 【22.7】	30.4～50.8 【36.5】
	(2)坪田漁港周辺	4.16～8.24 (4.14～8.23)	5.81 (5.79)	20.4～21.7 【20.9】	23.0～50.0 【23.6】
	(3)坪田漁港	4.16～8.24 (4.14～8.23)	5.53 (5.51)	20.4～21.7 【20.9】	23.0～49.5 【23.6】
	(4)阿古漁港	7.35～10.83 (7.33～10.81)	9.12 (9.11)	19.8～21.8 【21.6】	22.1～23.6 【23.0】
	(5)伊ヶ谷漁港	10.90～16.10 (10.88～16.09)	13.90 (13.89)	22.3～23.1 【22.9】	24.3～32.4 【24.6】
	(6)大久保漁港周辺	8.05～12.55 (8.03～12.53)	10.46 (10.45)	23.0～24.2 【24.1】	26.2～49.3 【26.7】
	(7)大久保港・大久保漁港	8.05～12.55 (8.03～12.53)	10.65 (10.64)	23.4～24.3 【24.1】	26.1～49.3 【26.7】
	(8)湯の浜漁港周辺	8.37～12.17 (8.35～12.16)	10.62 (10.61)	24.4～26.1 【25.4】	26.4～27.7 【27.0】
	(9)湯の浜漁港	9.50～12.17 (9.49～12.16)	10.75 (10.74)	24.3～26.1 【25.4】	26.4～27.3 【27.0】
	島全体	4.16～16.10 (4.14～16.09)	8.57 (8.55)	19.3～26.1 【22.9】	21.5～50.8 【24.6】

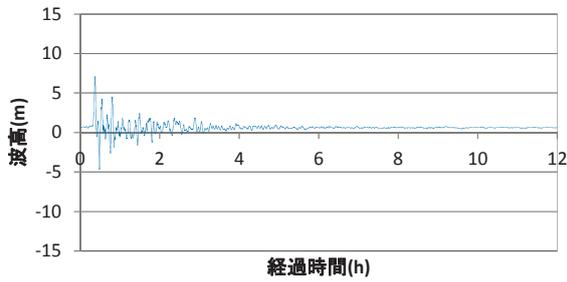
三宅島の総括表（その3）

ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース⑧	(1)三池港	4.29～10.79 (4.25～10.76)	7.37 (7.33)	22.2～24.3 【23.1】	25.4～57.3 【57.1】
	(2)坪田漁港周辺	3.22～9.89 (3.18～9.85)	5.72 (5.68)	21.1～22.5 【21.6】	23.8～39.8 【24.4】
	(3)坪田漁港	3.22～9.89 (3.18～9.85)	5.27 (5.23)	21.2～22.5 【21.6】	24.0～39.8 【24.4】
	(4)阿古漁港	6.52～10.05 (6.50～10.02)	8.14 (8.11)	20.6～22.8 【21.4】	23.0～49.1 【23.9】
	(5)伊ヶ谷漁港	9.95～16.98 (9.92～16.95)	12.95 (12.92)	23.1～23.9 【23.7】	25.2～50.8 【49.9】
	(6)大久保漁港周辺	7.96～12.57 (7.93～12.54)	10.21 (10.18)	24.0～25.2 【25.2】	26.9～51.1 【51.0】
	(7)大久保港・ 大久保漁港	7.96～12.94 (7.93～12.91)	10.22 (10.20)	24.3～25.2 【25.2】	26.9～51.1 【50.9】
	(8)湯の浜漁港周辺	7.47～11.29 (7.44～11.26)	9.77 (9.74)	25.3～27.0 【26.3】	27.3～28.7 【27.8】
	(9)湯の浜漁港	8.42～11.29 (8.40～11.26)	9.93 (9.90)	25.2～27.0 【26.3】	27.3～28.2 【27.8】
	島全体	3.22～16.98 (3.18～16.95)	8.25 (8.22)	20.1～27.0 【23.7】	22.3～63.2 【49.9】

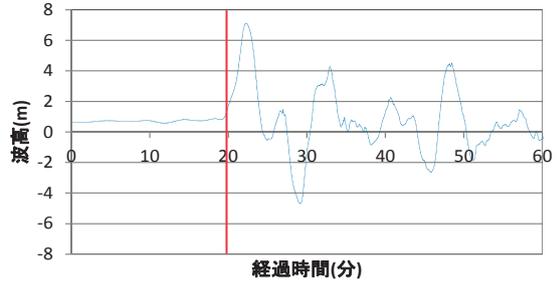
6-3) 三宅島の代表点の津波波形 (12時間波形及び最初の1時間の波形)

(赤線: 1m津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))

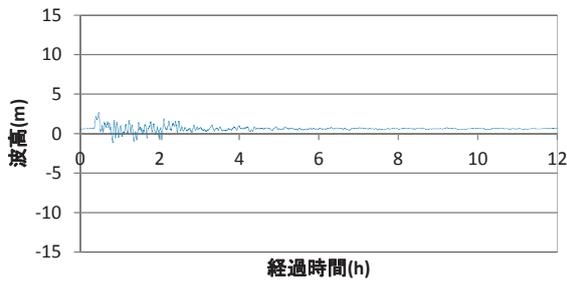
三宅島 西側海上 ケース1



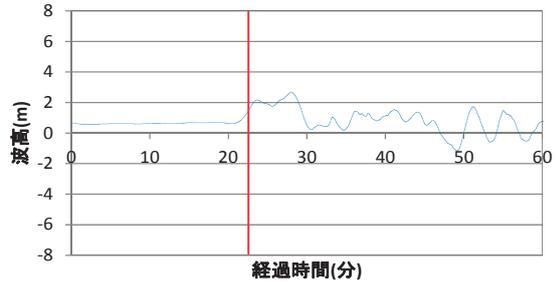
三宅島 西側海上 ケース1



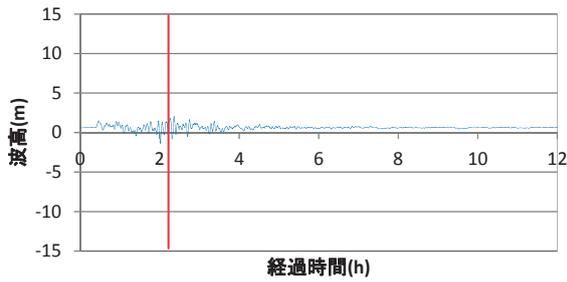
三宅島 西側海上 ケース2



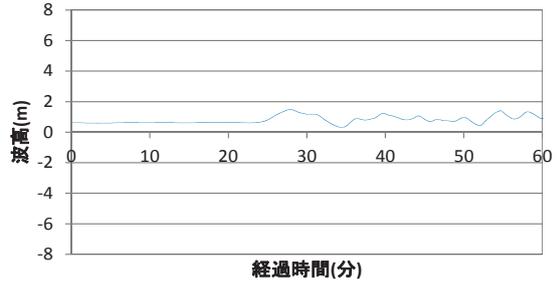
三宅島 西側海上 ケース2



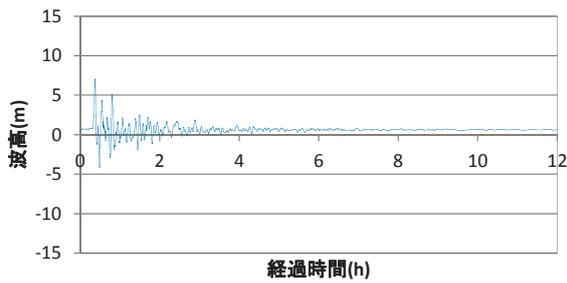
三宅島 西側海上 ケース5



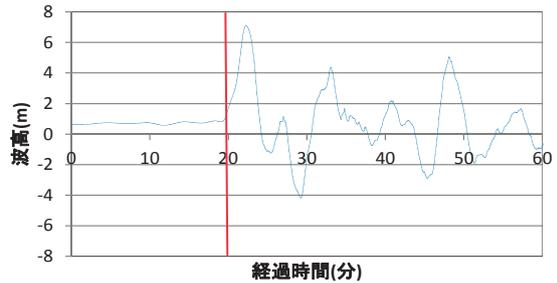
三宅島 西側海上 ケース5



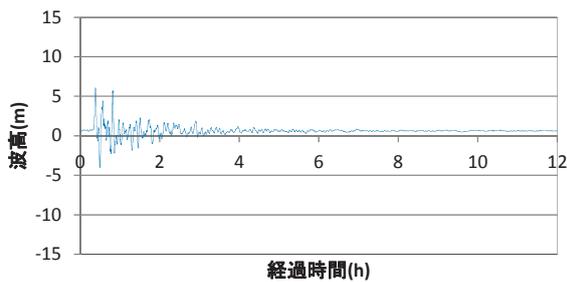
三宅島 西側海上 ケース6



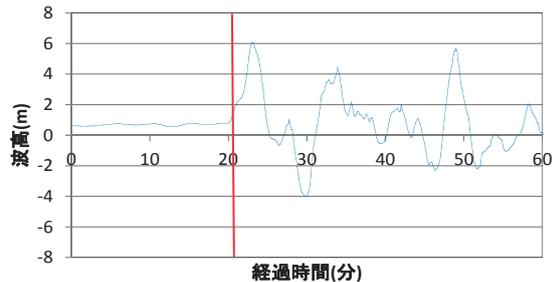
三宅島 西側海上 ケース6



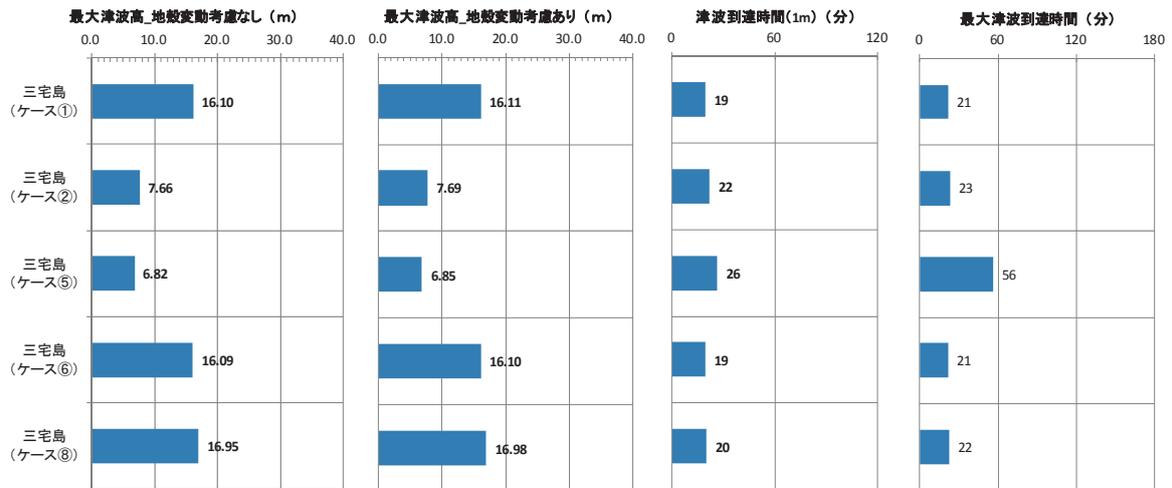
三宅島 西側海上 ケース8



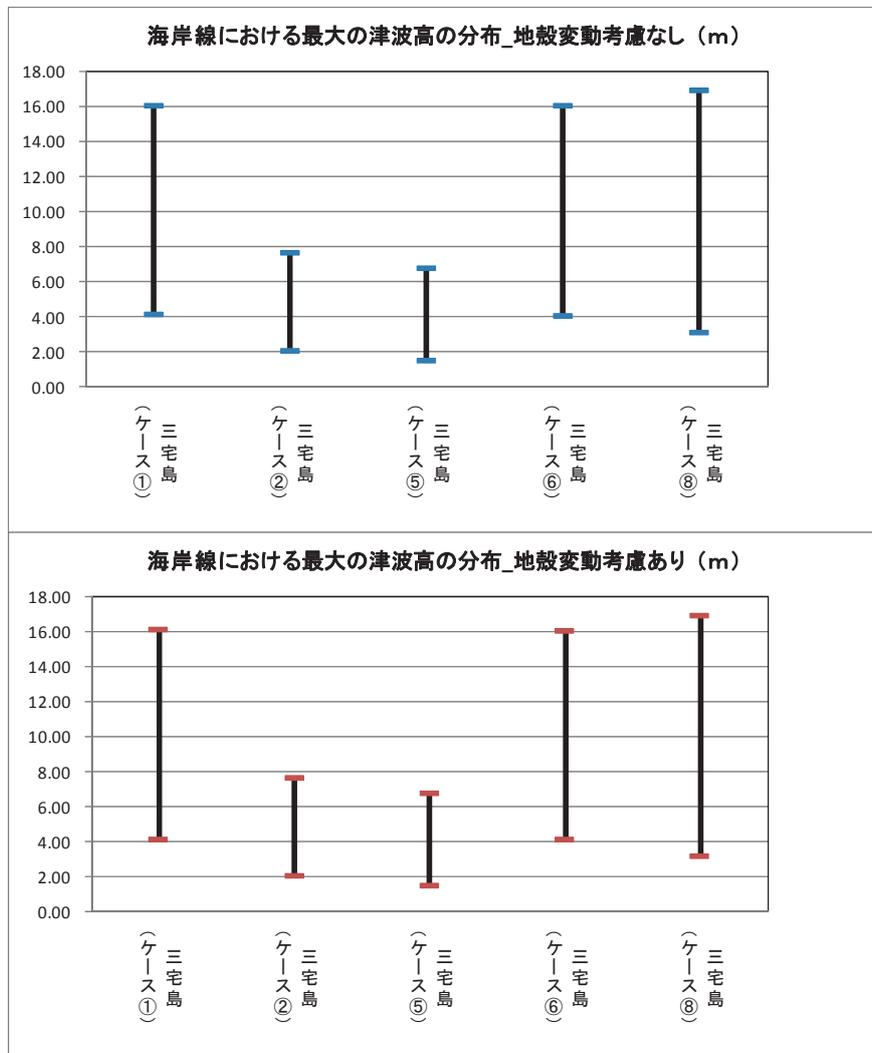
三宅島 西側海上 ケース8



6-4) 三宅島（全体）の海岸線における最大津波高（及びその範囲）・到達時間

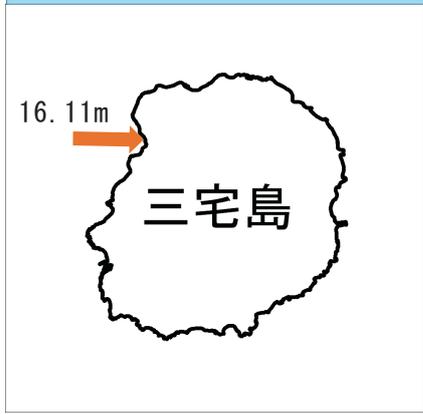
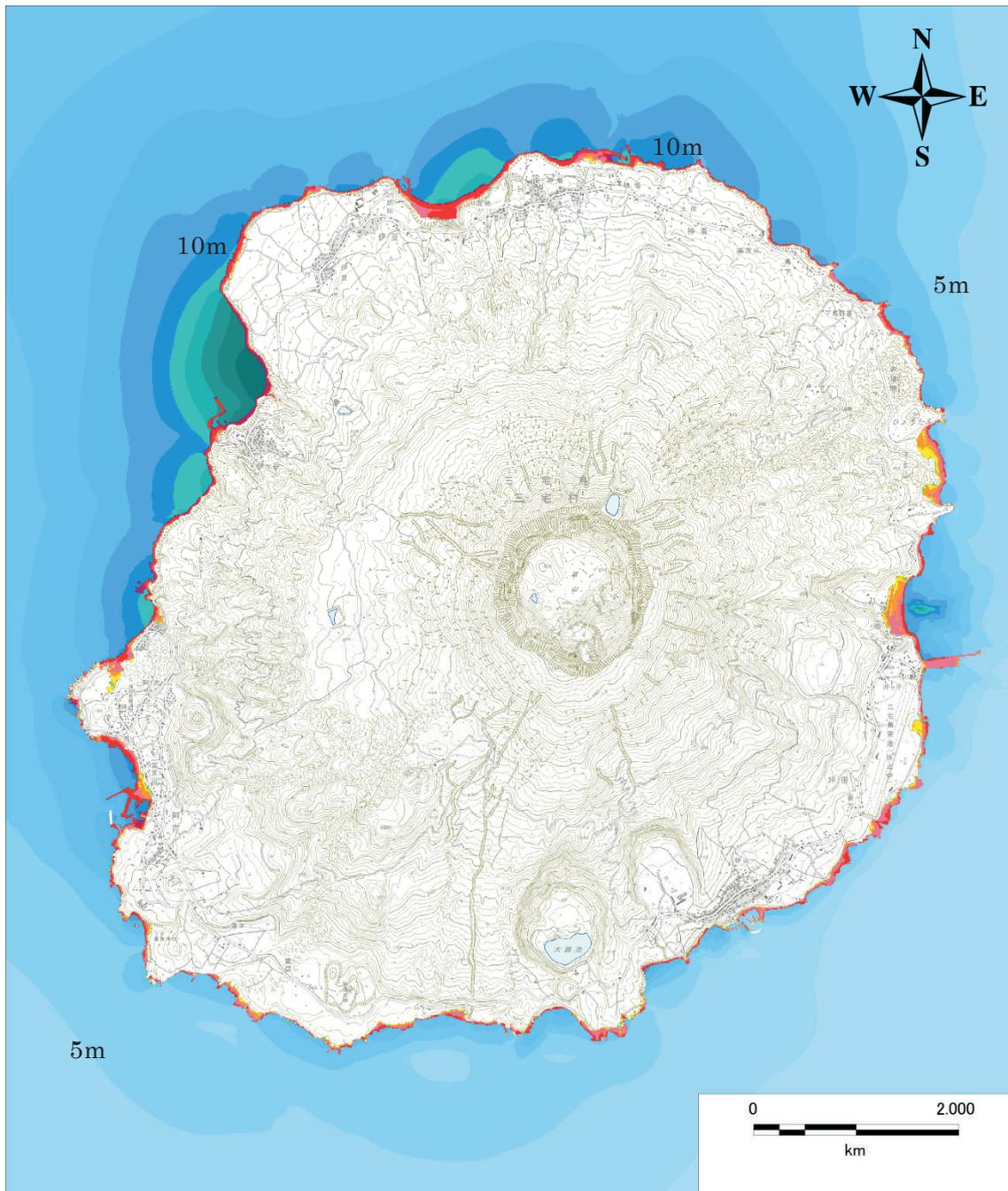


ケース別最大津波高と津波到達時間（1m及び最大波）



ケース別最大津波高の範囲

6-5) 三宅島全体の最大津波高・最大浸水深分布図 (ケース別)



三宅島ケース①

最大浸水深 (m)

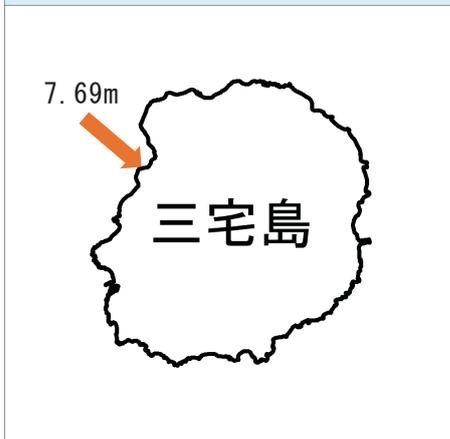
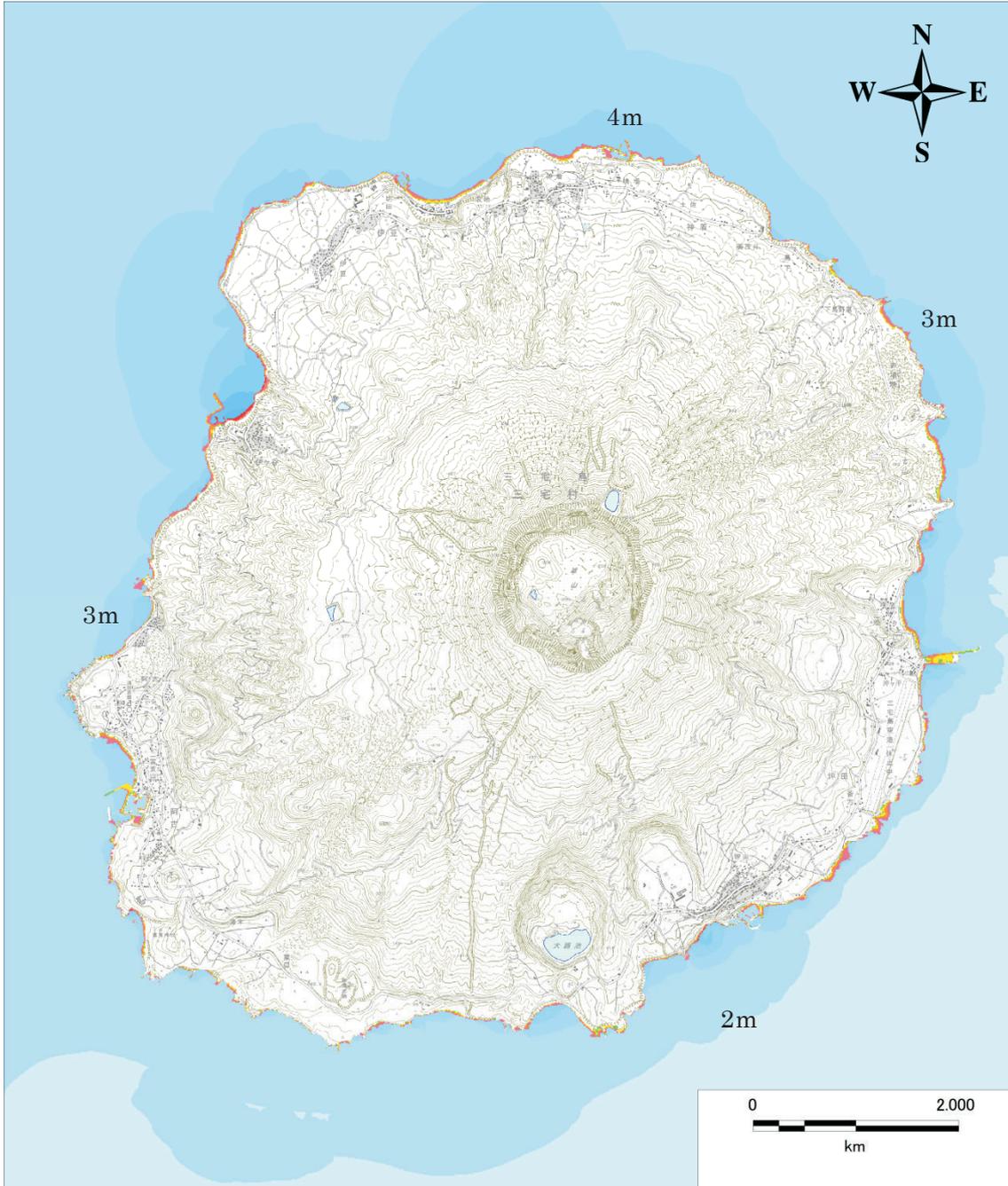
- 20m以上
- 10m以上
- 5m以上
- 2m以上
- 1m以上
- 0.3m以上
- 0.3m未満
- 20m未満
- 10m未満
- 5m未満
- 2m未満
- 1m未満

最大津波高 (m)

- 30m以上
- 20m以上
- 15m以上
- 14m以上
- 13m以上
- 12m以上
- 11m以上
- 10m以上
- 9m以上
- 8m以上
- 7m以上
- 6m以上
- 5m以上
- 4m以上
- 3m以上
- 2m以上
- 1m以上
- 0m以上
- 30m未満
- 20m未満
- 15m未満
- 14m未満
- 13m未満
- 12m未満
- 11m未満
- 10m未満
- 9m未満
- 8m未満
- 7m未満
- 6m未満
- 5m未満
- 4m未満
- 3m未満
- 2m未満
- 1m未満

三宅島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



三宅島ケース②

最大浸水深 (m)

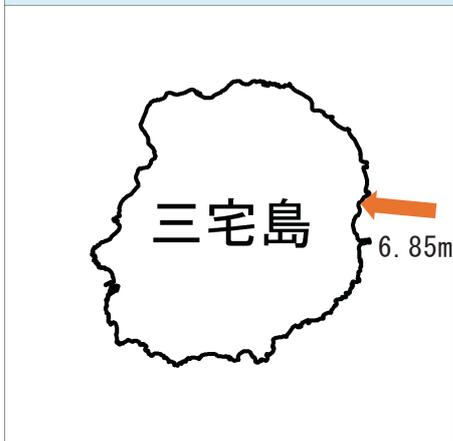
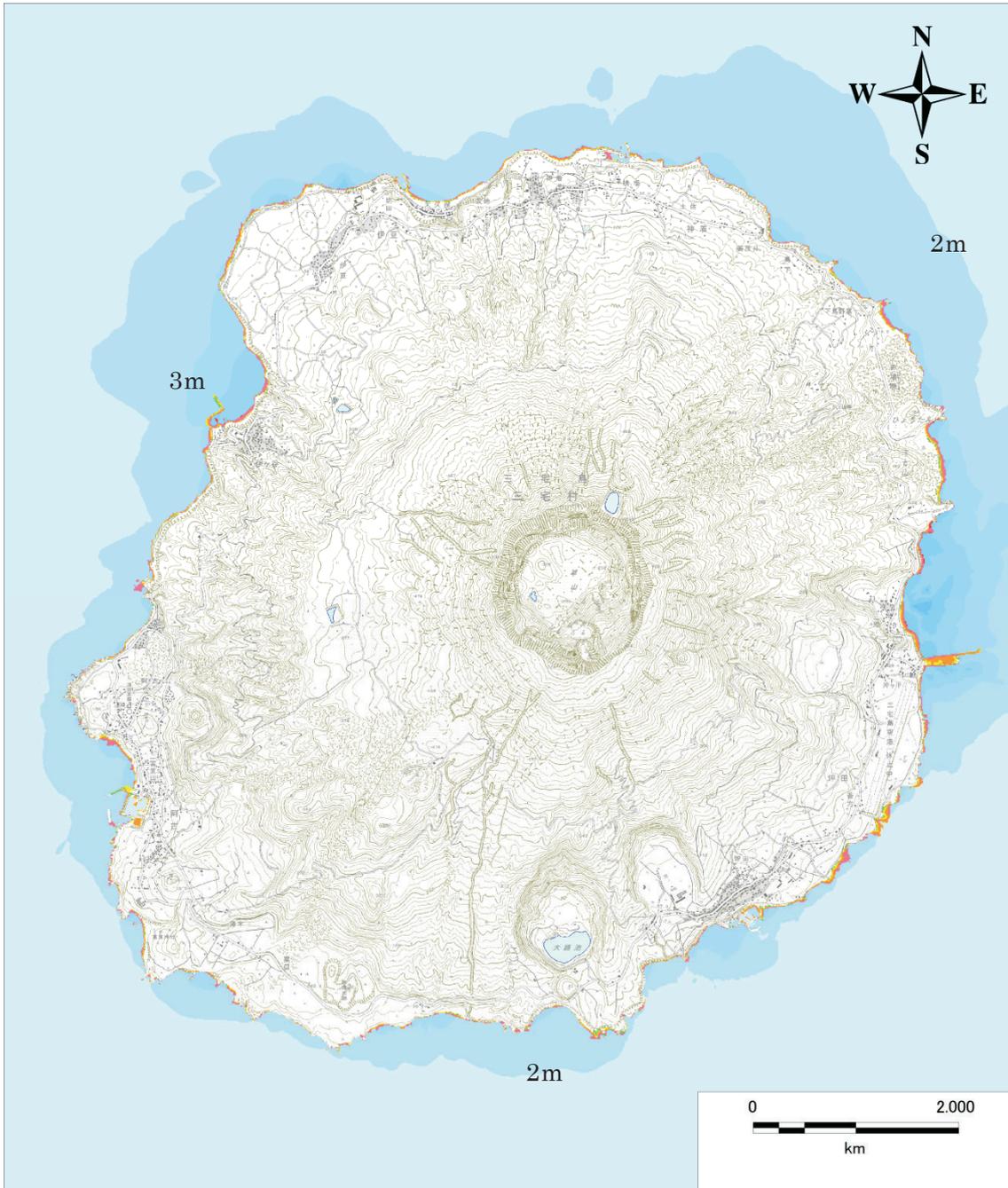
20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

最大津波高 (m)

30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

三宅島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



三宅島ケース⑤

最大浸水深 (m)

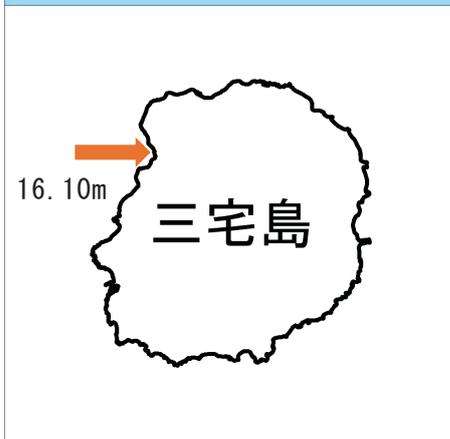
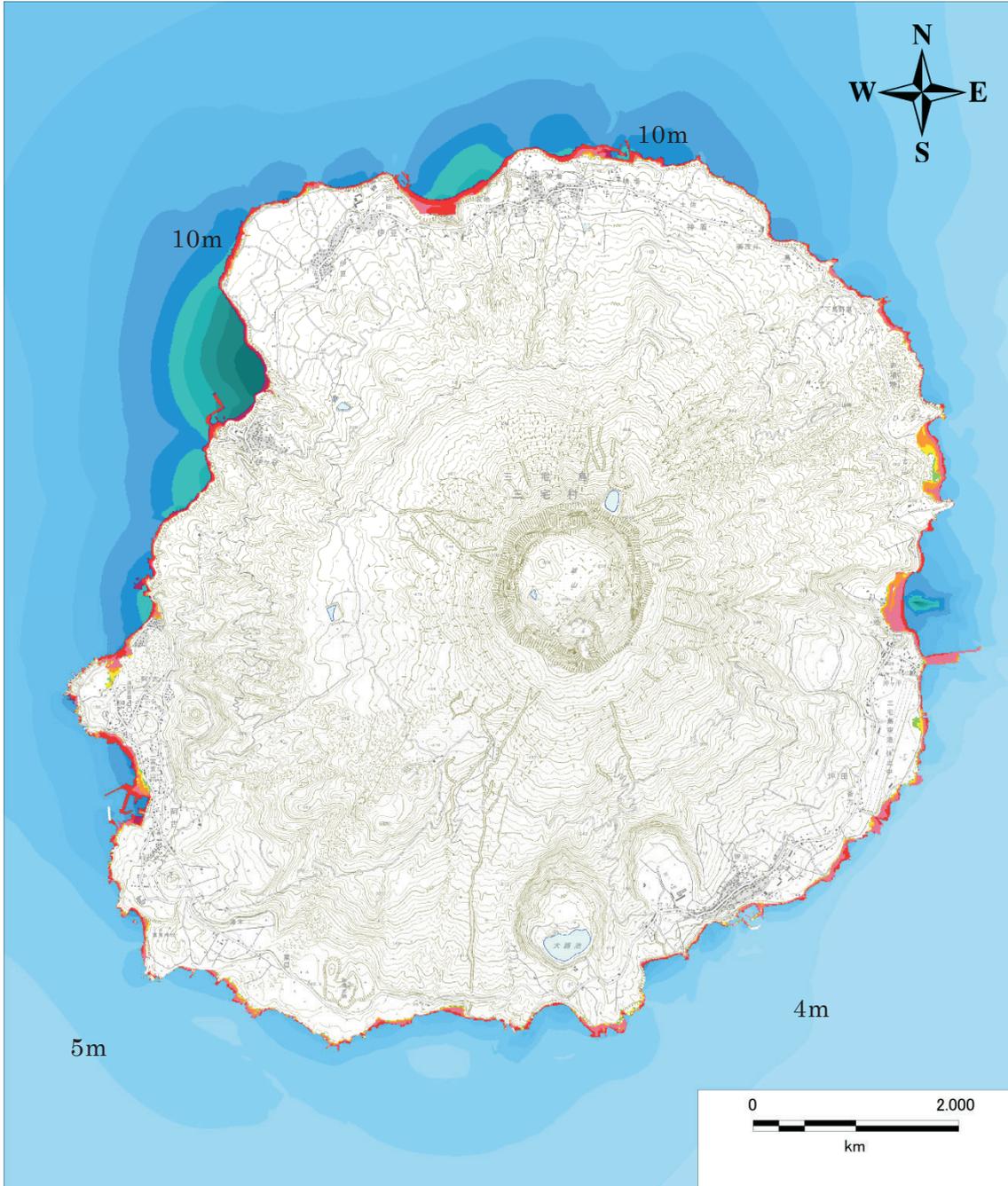
20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

最大津波高 (m)

30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

三宅島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



三宅島ケース⑥

最大浸水深 (m)

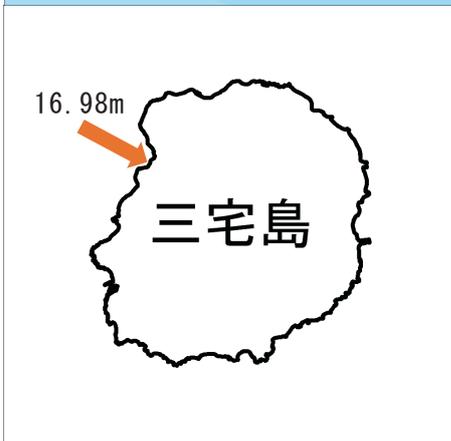
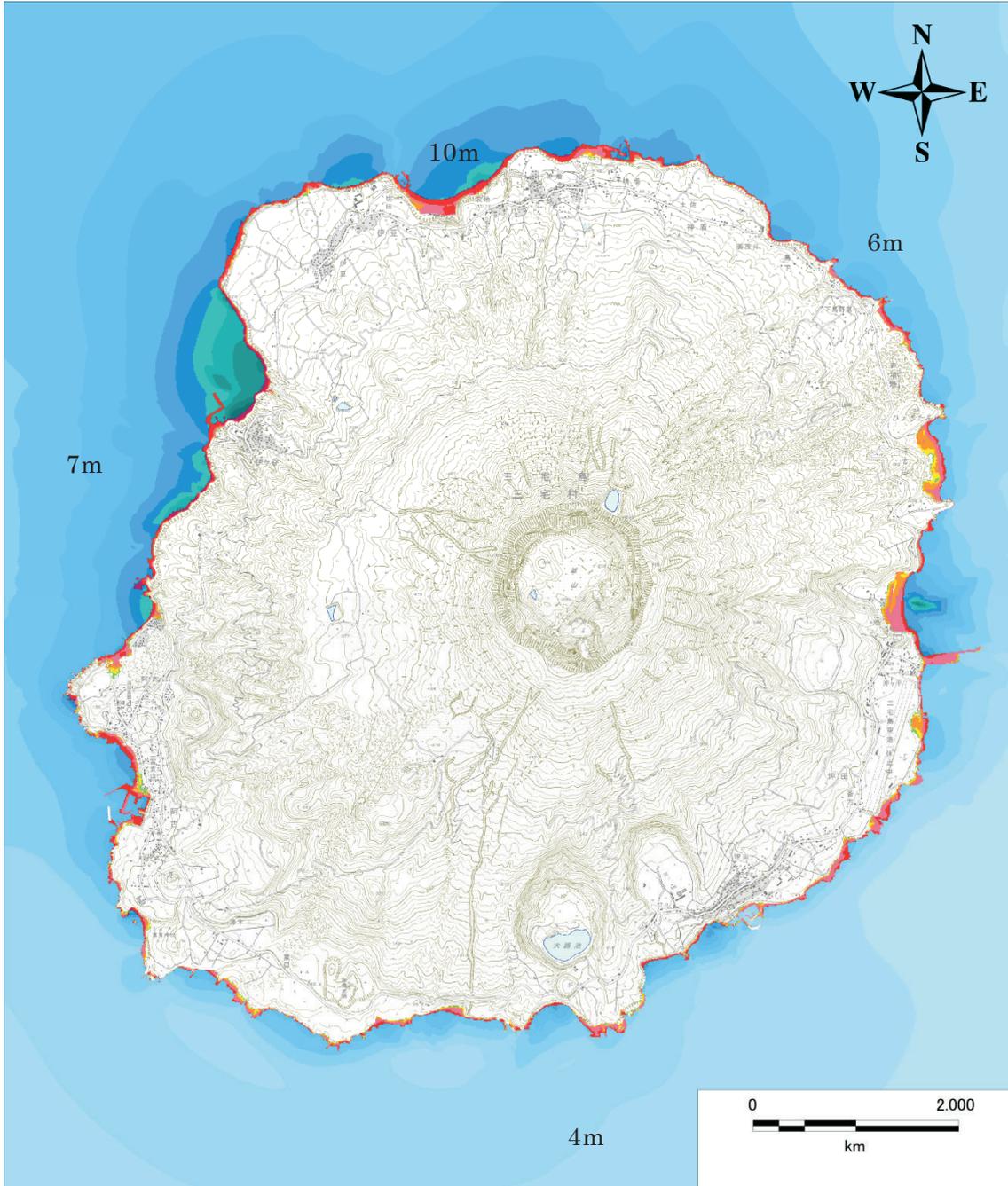
20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

最大津波高 (m)

30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

三宅島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



三宅島ケース⑧

最大浸水深 (m)

■ 20m以上	20m未満
■ 10m以上	10m未満
■ 5m以上	5m未満
■ 2m以上	2m未満
■ 1m以上	1m未満
■ 0.3m以上	0.3m未満
■ 0.3m未満	

最大津波高 (m)

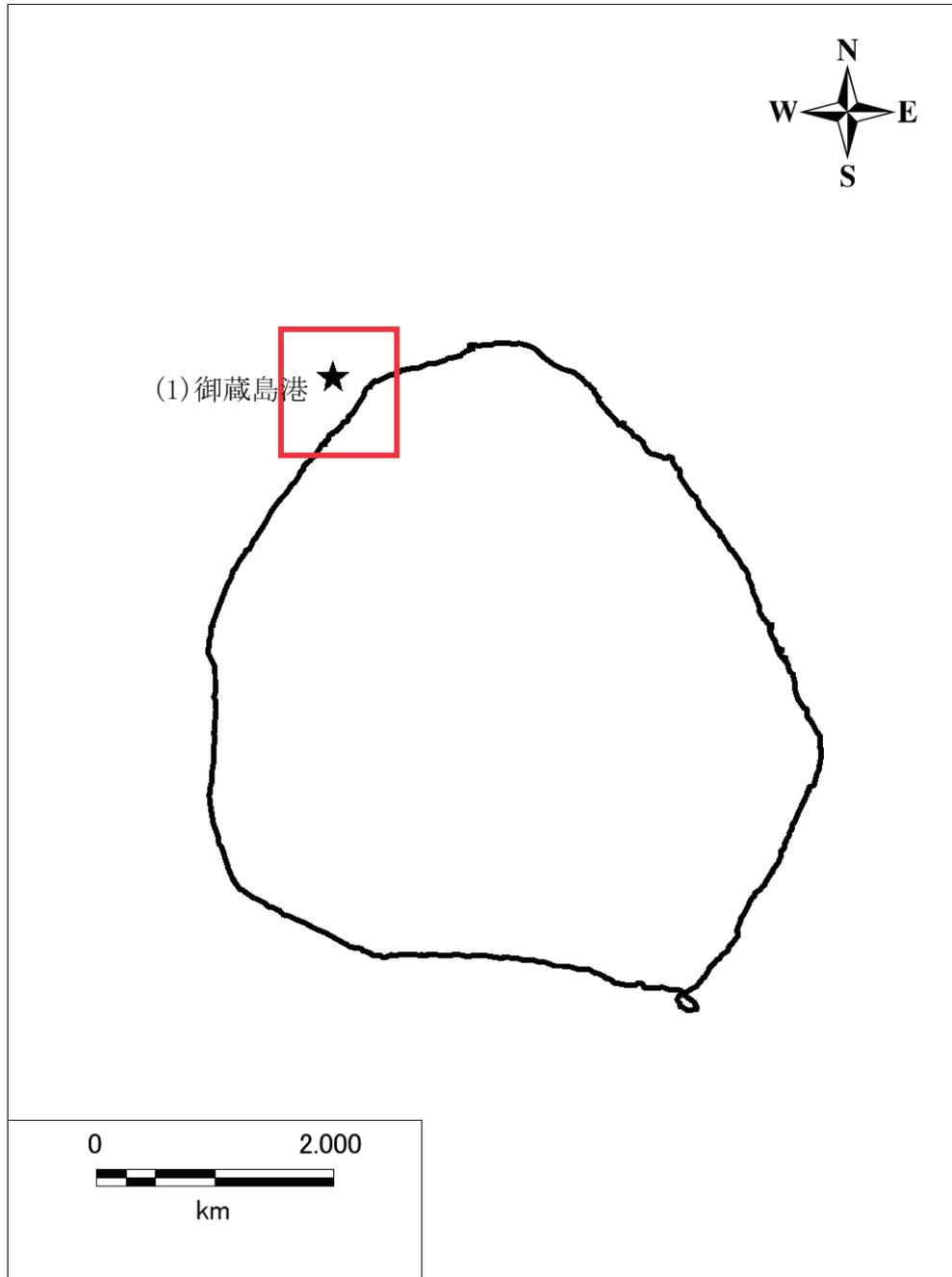
■ 30m以上	30m未満
■ 20m以上	20m未満
■ 15m以上	15m未満
■ 14m以上	14m未満
■ 13m以上	13m未満
■ 12m以上	12m未満
■ 11m以上	11m未満
■ 10m以上	10m未満
■ 9m以上	9m未満
■ 8m以上	8m未満
■ 7m以上	7m未満
■ 6m以上	6m未満
■ 5m以上	5m未満
■ 4m以上	4m未満
■ 3m以上	3m未満
■ 2m以上	2m未満
■ 1m以上	1m未満
■ 0m以上	0m未満

三宅島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)

(7) 御蔵島

7-1) 全体及び拡大範囲図



御蔵島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

7-2) 御蔵島の総括表

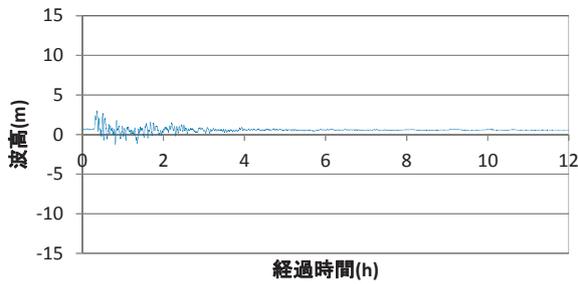
御蔵島の総括表

ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース①	(1)御蔵島港	3.00~5.80 (3.00~5.79)	4.25 (4.25)	18.3~18.9 【18.4】	21.4~33.0 【29.4】
	島全体	2.68~6.20 (2.66~6.19)	4.53 (4.52)	17.9~20.9 【18.8】	18.5~82.5 【43.5】
ケース②	(1)御蔵島港	2.07~4.01 (2.06~4.00)	2.84 (2.84)	21.0~21.5 【21.1】	25.0~45.5 【45.2】
	島全体	2.07~4.57 (2.06~4.54)	3.35 (3.33)	20.3~25.6 【21.3】	24.5~141.4 【39.4】
ケース⑤	(1)御蔵島港	1.25~2.87 (1.24~2.86)	1.78 (1.77)	38.6~145.7 【56.4】	56.6~170.1 【135.8】
	島全体	1.25~4.55 (1.24~4.53)	2.74 (2.72)	29.1~145.7 【39.8】	56.6~170.1 【130.0】
ケース⑥	(1)御蔵島港	2.92~5.64 (2.92~5.63)	4.15 (4.15)	18.3~18.9 【18.5】	21.4~33.2 【29.8】
	島全体	2.67~6.37 (2.65~6.36)	4.48 (4.46)	17.9~20.9 【18.1】	18.5~68.9 【29.5】
ケース⑧	(1)御蔵島港	2.93~5.45 (2.92~5.44)	4.11 (4.10)	19.0~19.6 【19.2】	22.5~43.0 【30.6】
	島全体	2.71~7.37 (2.68~7.35)	4.79 (4.77)	18.7~21.6 【21.0】	22.4~94.6 【35.3】

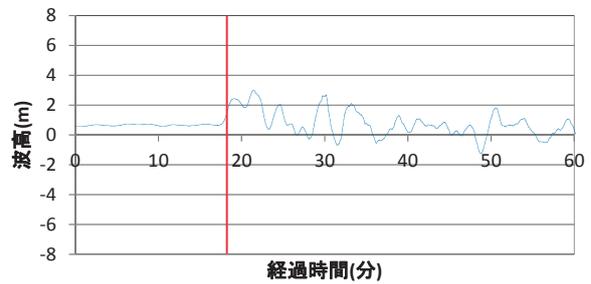
7-3) 御蔵島の代表点の津波波形 (12 時間波形及び最初の 1 時間の波形)

(赤線: 1 m津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))

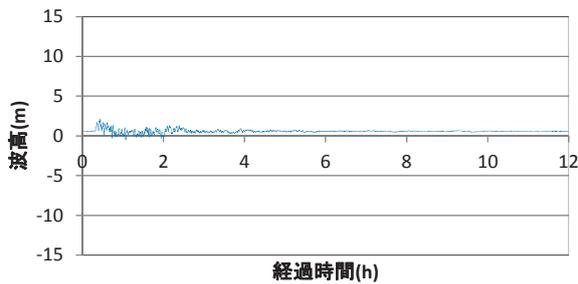
御蔵島北西海上 ケース1



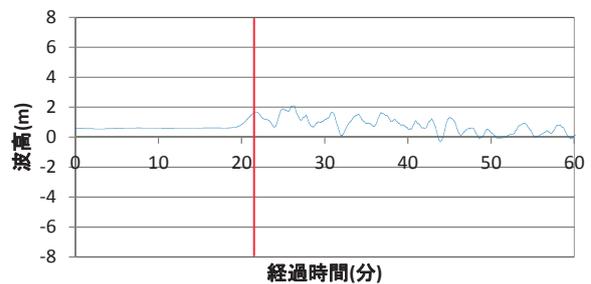
御蔵島北西海上 ケース1



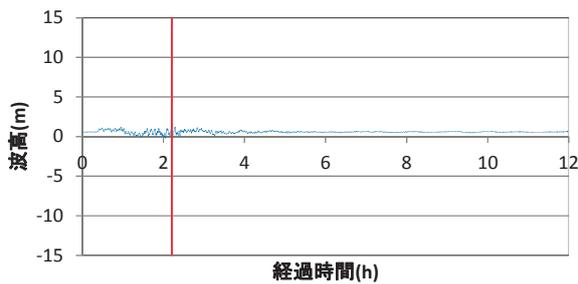
御蔵島北西海上 ケース2



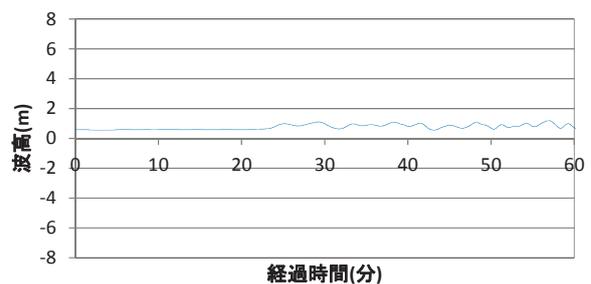
御蔵島北西海上 ケース2



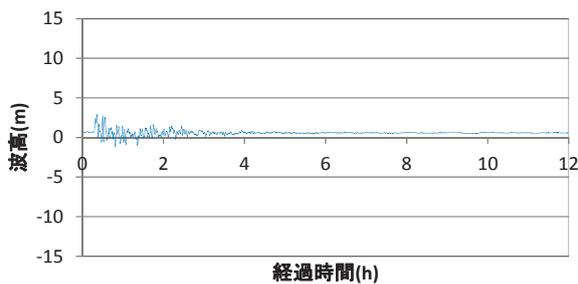
御蔵島北西海上 ケース5



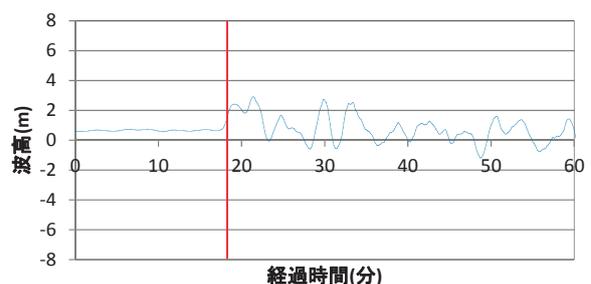
御蔵島北西海上 ケース5



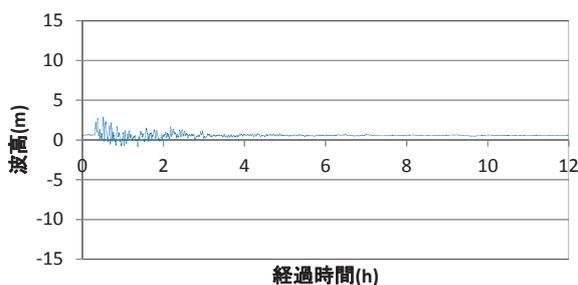
御蔵島北西海上 ケース6



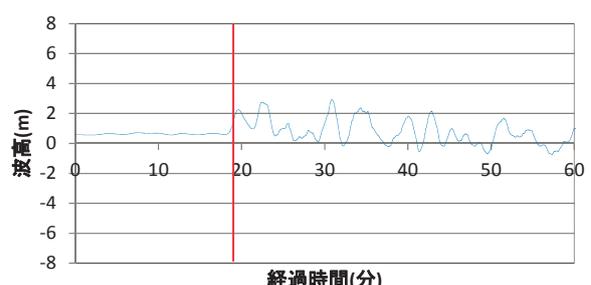
御蔵島北西海上 ケース6



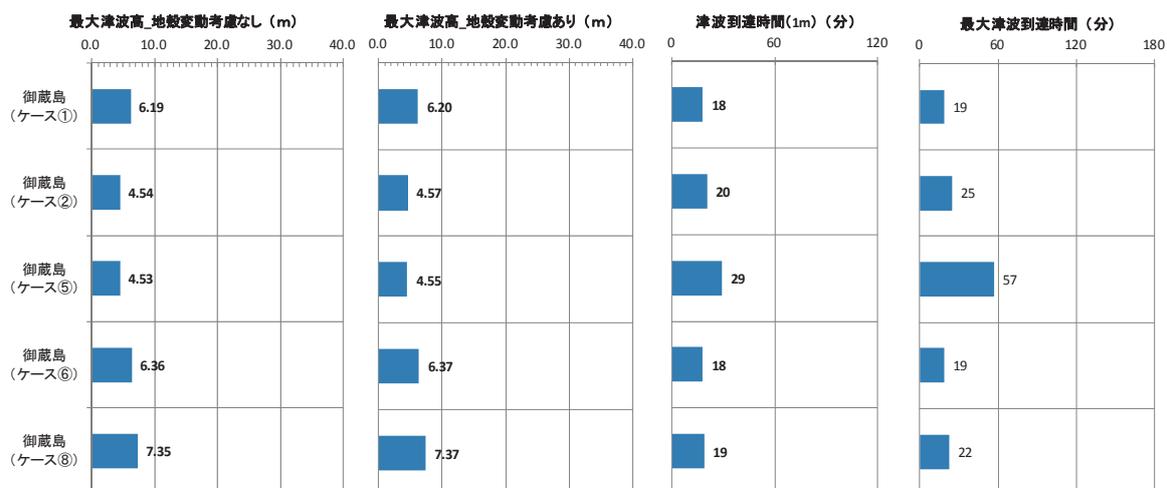
御蔵島北西海上 ケース8



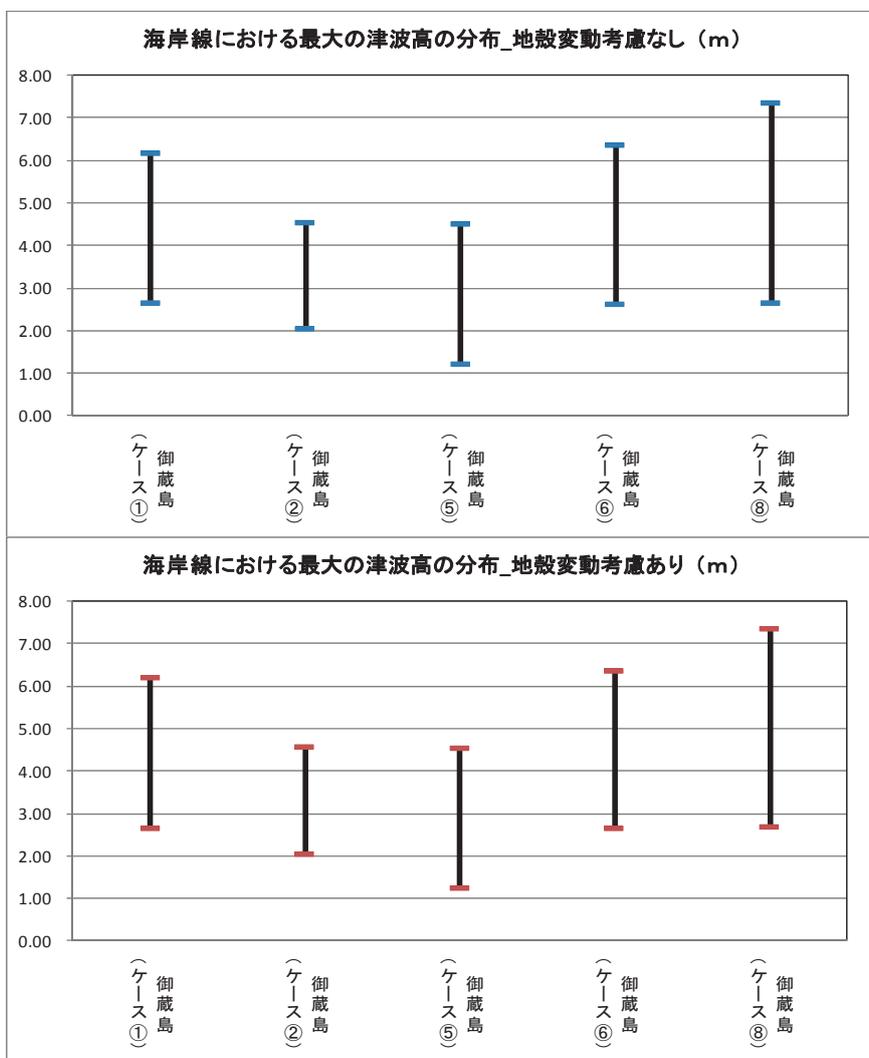
御蔵島北西海上 ケース8



7-4) 御蔵島（全体）の海岸線における最大津波高（及びその範囲）・到達時間

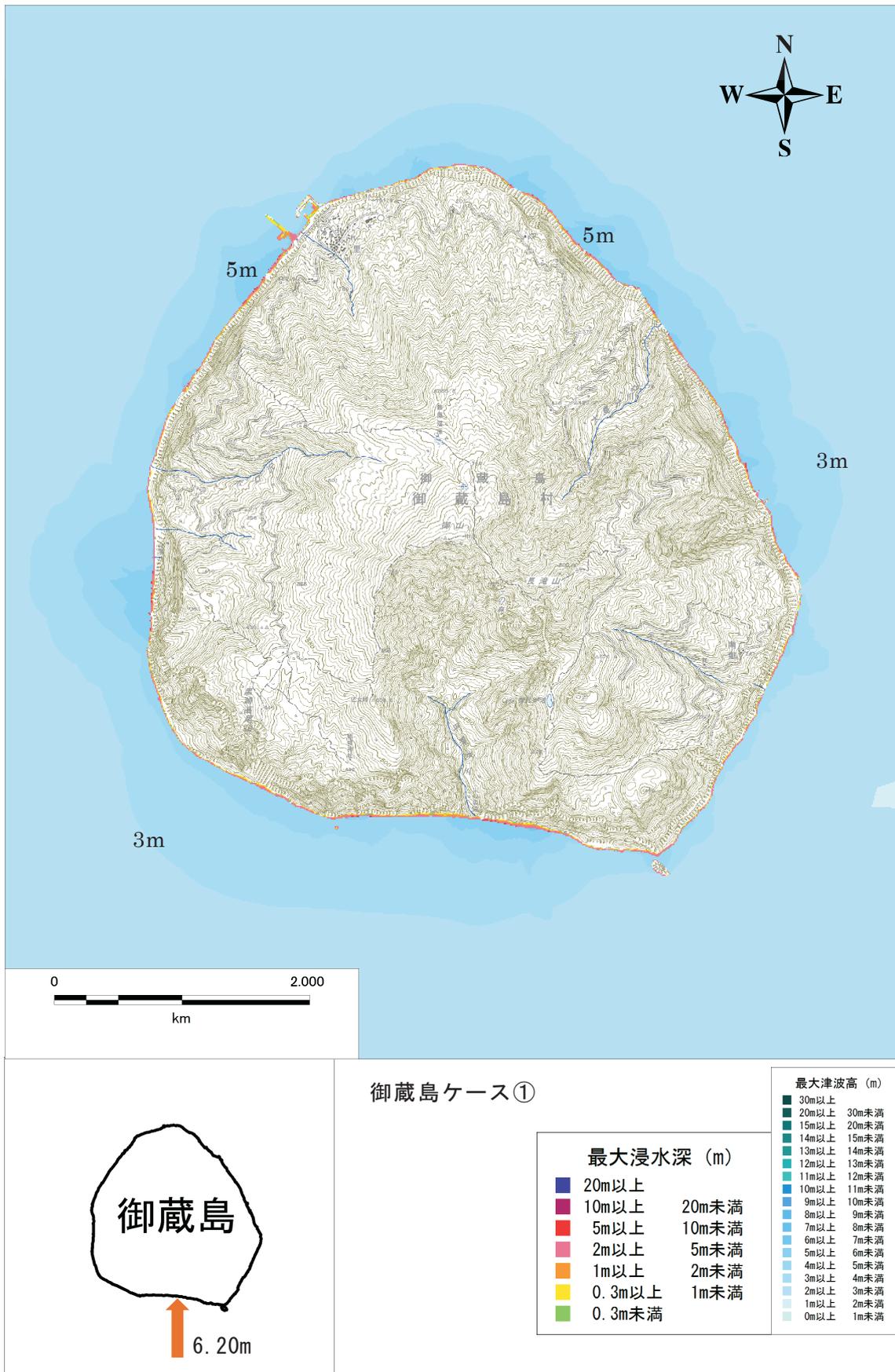


ケース別最大津波高と津波到達時間（1 m 及び最大波）



ケース別最大津波高の範囲

7-5) 御蔵島全体の最大津波高・最大浸水深分布図（ケース別）



御蔵島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平 25 情復、第 27 号）



御蔵島ケース②

最大浸水深 (m)

20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

最大津波高 (m)

30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	1m未満

御蔵島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



御蔵島ケース⑤

最大浸水深 (m)

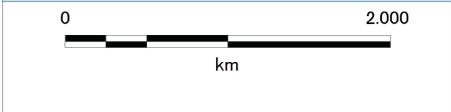
20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

最大津波高 (m)

30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

御蔵島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情複、第 27 号)



御蔵島ケース⑥

最大浸水深 (m)

■ 20m以上	■ 20m未満
■ 10m以上	■ 10m未満
■ 5m以上	■ 5m未満
■ 2m以上	■ 2m未満
■ 1m以上	■ 1m未満
■ 0.3m以上	■ 0.3m未満

最大津波高 (m)

■ 30m以上	■ 30m未満
■ 20m以上	■ 20m未満
■ 15m以上	■ 15m未満
■ 14m以上	■ 14m未満
■ 13m以上	■ 13m未満
■ 12m以上	■ 12m未満
■ 11m以上	■ 11m未満
■ 10m以上	■ 10m未満
■ 9m以上	■ 9m未満
■ 8m以上	■ 8m未満
■ 7m以上	■ 7m未満
■ 6m以上	■ 6m未満
■ 5m以上	■ 5m未満
■ 4m以上	■ 4m未満
■ 3m以上	■ 3m未満
■ 2m以上	■ 2m未満
■ 1m以上	■ 1m未満
■ 0m以上	■ 0m未満

御蔵島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



御蔵島ケース⑧

最大浸水深 (m)

■ 20m以上	■ 20m未満
■ 10m以上	■ 10m未満
■ 5m以上	■ 5m未満
■ 2m以上	■ 2m未満
■ 1m以上	■ 1m未満
■ 0.3m以上	■ 0.3m未満
■ 0.3m未満	

最大津波高 (m)

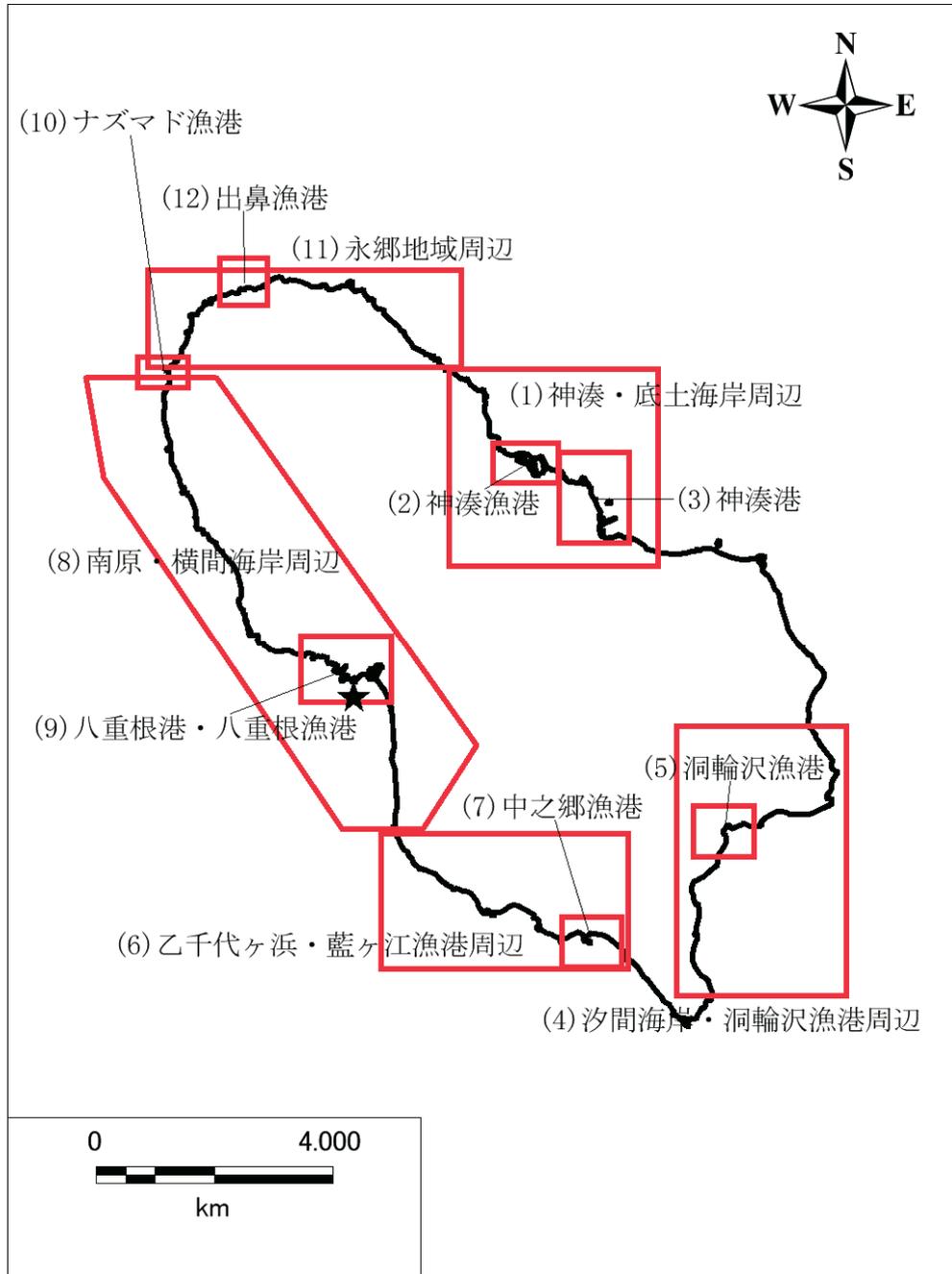
■ 30m以上	■ 30m未満
■ 20m以上	■ 20m未満
■ 15m以上	■ 15m未満
■ 14m以上	■ 14m未満
■ 13m以上	■ 13m未満
■ 12m以上	■ 12m未満
■ 11m以上	■ 11m未満
■ 10m以上	■ 10m未満
■ 9m以上	■ 9m未満
■ 8m以上	■ 8m未満
■ 7m以上	■ 7m未満
■ 6m以上	■ 6m未満
■ 5m以上	■ 5m未満
■ 4m以上	■ 4m未満
■ 3m以上	■ 3m未満
■ 2m以上	■ 2m未満
■ 1m以上	■ 1m未満
■ 0m以上	■ 0m未満

御蔵島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)

(8) 八丈島

8-1) 全体及び拡大範囲図



八丈島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

8-2) 八丈島の総括表

八丈島の総括表（その1）

ケース	対象範囲	各地点の最大津波高(m) (地殻変動を考慮しない場合の値)	各地点の最大津波高の平均値(m) (地殻変動を考慮しない場合の値)	各地点の1m津波高の到達時間(分) 【当該範囲で最大津波高が来る地点での時間】	各地点の最大津波高の到達時間(分) 【当該範囲で最大津波高が来る地点での時間】
ケース①	(1) 神湊・底土海岸周辺	3.32~10.90 (3.31~10.90)	6.59 (6.59)	24.5~28.4 【25.6】	25.5~73.6 【40.0】
	(2) 神湊漁港	3.84~10.90 (3.84~10.90)	6.50 (6.49)	25.3~28.4 【25.6】	27.8~43.1 【40.0】
	(3) 神湊港	4.50~10.08 (4.50~10.08)	7.03 (7.03)	26.0~27.2 【27.1】	27.6~73.6 【43.1】
	(4) 汐間海岸・洞輪沢漁港周辺	4.21~12.22 (4.20~12.21)	7.66 (7.66)	28.8~32.5 【31.6】	32.3~86.8 【41.9】
	(5) 洞輪沢漁港	6.81~9.56 (6.81~9.55)	8.01 (8.00)	31.3~32.5 【32.4】	32.4~78.9 【33.2】
	(6) 乙千代ヶ浜・藍ヶ江漁港周辺	6.96~11.86 (6.95~11.85)	9.73 (9.72)	26.0~27.6 【27.0】	26.7~56.8 【27.9】
	(7) 中之郷漁港	7.34~10.88 (7.33~10.87)	9.67 (9.67)	27.0~27.6 【27.3】	27.9~28.8 【28.6】
	(8) 南原・横間海岸周辺	4.33~16.13 (4.32~16.12)	10.36 (10.35)	22.7~27.6 【25.1】	23.5~35.5 【27.7】
	(9) 八重根港・八重根漁港	8.92~16.13 (8.92~16.12)	12.39 (12.38)	25.1~27.6 【25.1】	26.6~34.6 【27.7】
	(10) ナズマド漁港	4.66~5.09 (4.66~5.08)	4.83 (4.83)	22.5~22.7 【22.7】	23.4~23.8 【23.5】
	(11) 永郷地域周辺	3.61~6.99 (3.60~6.99)	4.55 (4.55)	22.5~24.5 【23.7】	23.3~53.3 【29.3】
	(12) 出鼻漁港	4.67~5.11 (4.66~5.11)	4.85 (4.85)	22.7~22.9 【22.9】	23.5~28.4 【28.4】
	島全体	3.32~16.13 (3.31~16.12)	7.90 (7.89)	22.5~32.5 【25.1】	23.3~88.9 【27.7】
ケース②	(1) 神湊・底土海岸周辺	2.44~6.34 (2.44~6.34)	4.13 (4.13)	26.3~30.1 【27.5】	34.1~89.4 【36.1】
	(2) 神湊漁港	2.65~6.34 (2.65~6.34)	3.83 (3.83)	27.2~30.1 【27.5】	35.8~43.7 【36.1】
	(3) 神湊港	3.21~6.31 (3.21~6.31)	4.55 (4.55)	27.7~29.1 【29.0】	36.1~89.4 【38.5】
	(4) 汐間海岸・洞輪沢漁港周辺	3.67~8.74 (3.67~8.74)	6.12 (6.12)	30.4~34.3 【33.5】	43.5~94.3 【44.8】
	(5) 洞輪沢漁港	5.15~8.74 (5.15~8.74)	6.85 (6.85)	32.9~34.3 【33.5】	44.8~47.0 【44.8】
	(6) 乙千代ヶ浜・藍ヶ江漁港周辺	3.60~7.66 (3.60~7.66)	5.45 (5.45)	27.3~29.1 【28.2】	28.1~39.6 【32.4】
	(7) 中之郷漁港	4.15~6.33 (4.15~6.33)	5.33 (5.33)	28.3~29.1 【28.9】	29.2~30.1 【30.0】
	(8) 南原・横間海岸周辺	3.47~10.68 (3.47~10.68)	6.62 (6.62)	24.4~29.4 【27.8】	26.9~43.6 【36.8】
	(9) 八重根港・八重根漁港	4.83~8.44 (4.83~8.44)	6.92 (6.92)	26.9~29.4 【27.7】	28.1~43.6 【37.5】
	(10) ナズマド漁港	2.89~4.35 (2.89~4.35)	3.55 (3.55)	24.3~24.4 【24.4】	27.6~33.9 【29.5】
	(11) 永郷地域周辺	2.65~6.10 (2.65~6.10)	3.67 (3.67)	24.2~26.3 【25.2】	24.9~38.9 【32.9】
	(12) 出鼻漁港	3.35~4.69 (3.35~4.69)	3.99 (3.99)	24.5~24.7 【24.7】	29.6~36.3 【36.1】
	島全体	2.44~10.68 (2.44~10.68)	5.23 (5.23)	24.2~34.3 【27.8】	24.9~111.6 【36.8】

八丈島の総括表（その2）

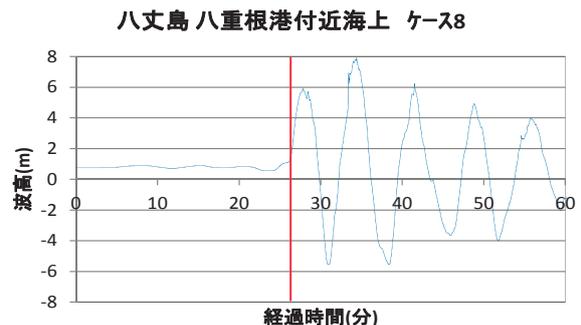
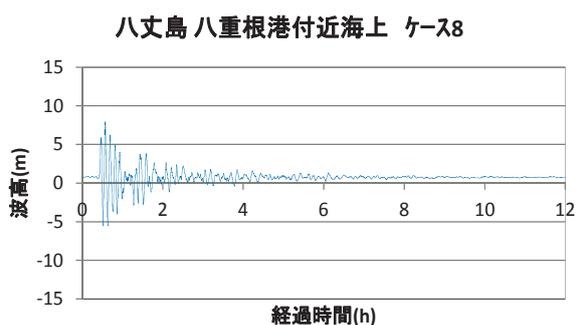
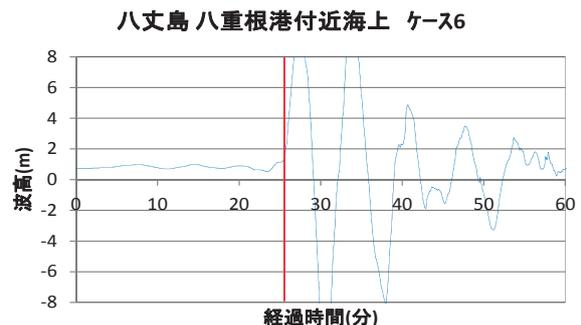
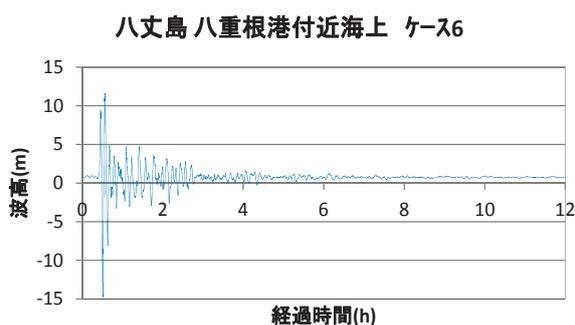
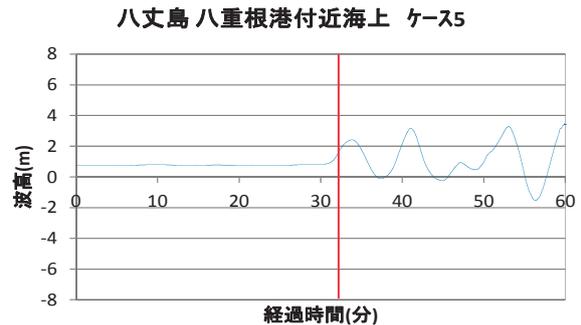
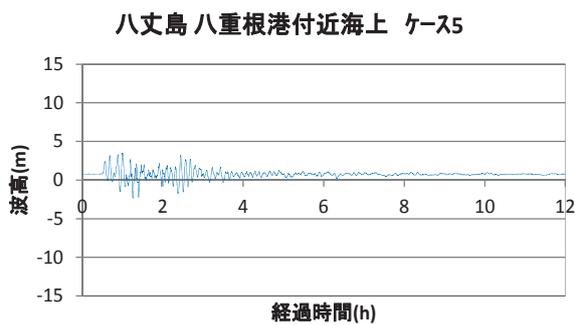
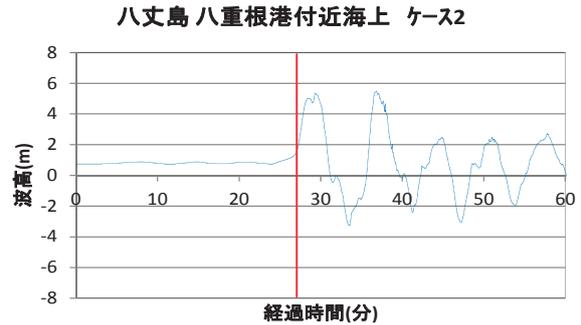
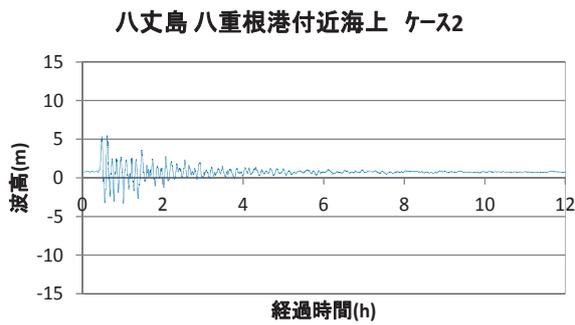
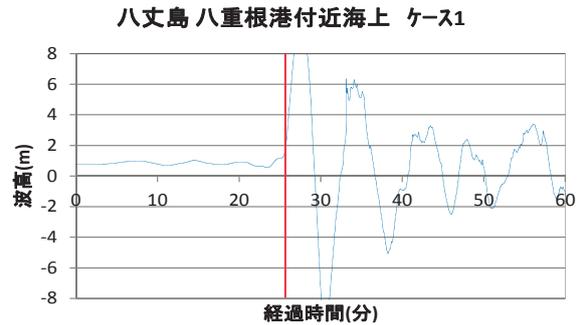
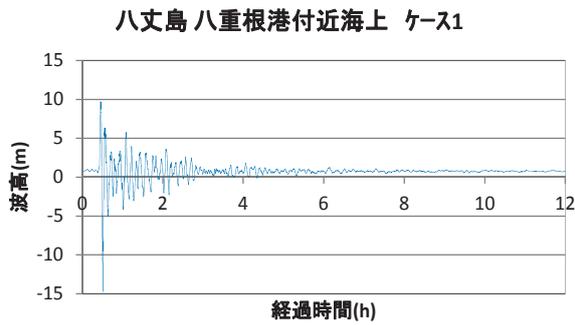
ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース⑤	(1) 神湊・底土海岸周辺	2.19～5.16 (2.19～5.15)	3.34 (3.34)	32.7～101.6 【34.4】	54.5～160.8 【99.4】
	(2) 神湊漁港	2.25～4.81 (2.24～4.80)	3.01 (3.00)	32.7～101.6 【32.7】	81.2～160.8 【81.2】
	(3) 神湊港	2.49～5.16 (2.49～5.15)	3.83 (3.82)	34.3～81.1 【34.4】	54.5～153.4 【99.4】
	(4) 汐間海岸・ 洞輪沢漁港周辺	3.10～8.68 (3.09～8.67)	5.51 (5.50)	38.6～65.1 【38.6】	67.2～114.0 【71.5】
	(5) 洞輪沢漁港	4.44～6.74 (4.43～6.73)	5.41 (5.40)	38.7～40.2 【39.0】	67.2～96.6 【77.9】
	(6) 乙千代ヶ浜・ 藍ヶ江漁港周辺	2.10～5.65 (2.09～5.64)	3.29 (3.28)	32.2～34.0 【33.6】	51.9～170.1 【71.5】
	(7) 中之郷漁港	2.78～5.65 (2.77～5.64)	3.96 (3.95)	33.6～34.0 【33.6】	71.4～91.4 【71.5】
	(8) 南原・横間海岸周辺	1.95～4.98 (1.94～4.98)	3.39 (3.38)	30.8～50.5 【32.6】	38.1～165.5 【161】
	(9) 八重根港・ 八重根漁港	2.91～4.87 (2.90～4.86)	3.93 (3.92)	31.9～35.0 【32.8】	41.9～161.0 【60.1】
	(10) ナズマド漁港	1.76～2.47 (1.75～2.46)	2.15 (2.14)	50.3～150.1 【50.8】	149.8～165.5 【149.8】
	(11) 永郷地域周辺	1.69～3.98 (1.68～3.98)	2.34 (2.33)	33.2～157.9 【33.2】	57.5～163.5 【110.2】
	(12) 出鼻漁港	2.19～2.82 (2.18～2.82)	2.44 (2.43)	52.8～57.6 【52.8】	57.8～157.9 【57.8】
	島全体	1.69～8.68 (1.68～8.67)	3.66 (3.65)	30.8～157.9 【38.6】	38.1～170.1 【71.5】
ケース⑥	(1) 神湊・底土海岸周辺	3.28～9.70 (3.28～9.69)	5.89 (5.89)	24.5～28.5 【27.1】	25.4～85.2 【78.3】
	(2) 神湊漁港	3.70～9.16 (3.70～9.16)	5.74 (5.74)	25.3～28.5 【25.6】	27.5～41.0 【40.2】
	(3) 神湊港	4.15～9.70 (4.15～9.69)	6.53 (6.53)	26.0～27.2 【27.1】	27.6～85.2 【78.3】
	(4) 汐間海岸・ 洞輪沢漁港周辺	4.22～13.94 (4.22～13.93)	7.36 (7.36)	28.8～32.6 【31.7】	32.3～79.6 【41.4】
	(5) 洞輪沢漁港	5.93～9.28 (5.92～9.28)	7.76 (7.75)	31.3～32.6 【32.4】	32.3～41.7 【33.2】
	(6) 乙千代ヶ浜・ 藍ヶ江漁港周辺	6.50～11.72 (6.50～11.71)	9.53 (9.53)	26.0～27.6 【27.0】	26.7～35.7 【27.9】
	(7) 中之郷漁港	7.22～10.67 (7.21～10.67)	9.48 (9.48)	27.0～27.6 【27.3】	27.9～28.8 【28.6】
	(8) 南原・横間海岸周辺	4.84～18.07 (4.84～18.07)	10.98 (10.97)	22.7～27.6 【25.1】	23.5～35.4 【32.6】
	(9) 八重根港・ 八重根漁港	10.70～18.07 (10.69～18.07)	13.15 (13.15)	25.1～27.6 【25.1】	26.8～35.0 【32.6】
	(10) ナズマド漁港	4.63～5.31 (4.63～5.31)	4.81 (4.81)	22.5～22.7 【22.7】	23.4～30.5 【30.4】
	(11) 永郷地域周辺	3.67～8.65 (3.66～8.65)	4.60 (4.60)	22.5～24.5 【23.7】	23.3～34.4 【29.4】
	(12) 出鼻漁港	4.64～5.34 (4.63～5.34)	4.85 (4.85)	22.7～22.9 【22.9】	23.5～28.7 【28.5】
	島全体	3.28～18.07 (3.28～18.07)	7.78 (7.78)	22.5～32.6 【25.1】	23.3～91.0 【32.6】

八丈島の総括表（その3）

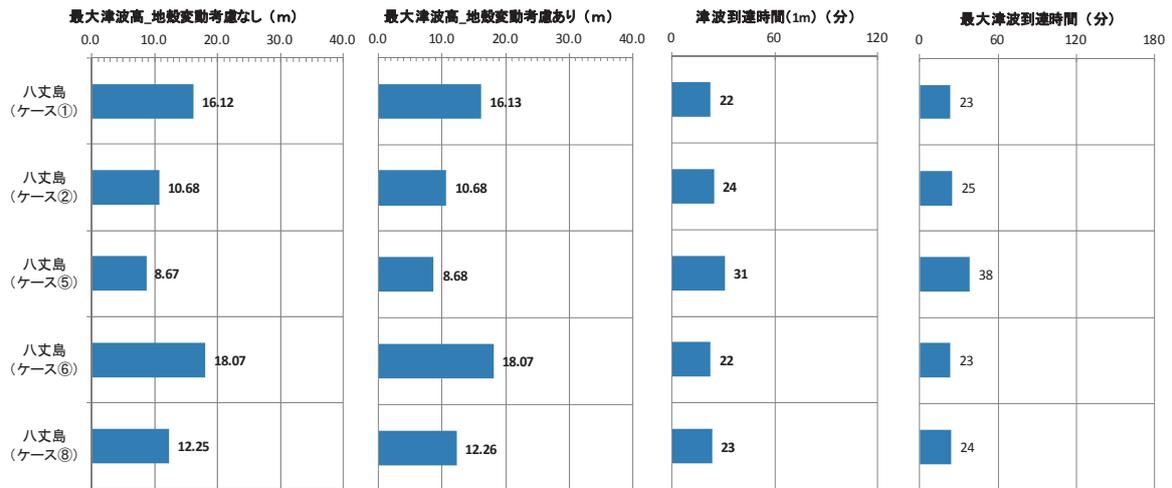
ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m)  (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m)  (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分)  【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分)  【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース⑧	(1) 神湊・底土海岸周辺	3.13～9.69 (3.13～9.69)	5.70 (5.70)	25.2～29.0 【27.9】	35.2～74.4 【73.2】
	(2) 神湊漁港	3.26～7.70 (3.26～7.70)	5.11 (5.11)	26.1～29.0 【26.7】	37.1～44.0 【41.3】
	(3) 神湊港	4.29～9.69 (4.29～9.69)	6.72 (6.72)	26.7～28.0 【27.9】	36.7～74.4 【73.2】
	(4) 汐間海岸・ 洞輪沢漁港周辺	3.16～12.26 (3.15～12.25)	6.96 (6.96)	29.8～33.6 【32.6】	39.6～90.3 【77.3】
	(5) 洞輪沢漁港	6.50～8.89 (6.50～8.89)	7.26 (7.26)	32.2～33.6 【33.3】	41.5～79.7 【78.4】
	(6) 乙千代ヶ浜・ 藍ヶ江漁港周辺	4.48～8.00 (4.48～8.00)	6.33 (6.33)	26.7～28.4 【27.8】	27.2～35.5 【28.5】
	(7) 中之郷漁港	4.70～7.20 (4.69～7.19)	6.30 (6.30)	27.8～28.4 【28.0】	28.7～33.3 【33.2】
	(8) 南原・横間海岸周辺	3.82～12.04 (3.82～12.04)	7.82 (7.82)	23.4～28.5 【27.2】	24.2～40.8 【32.5】
	(9) 八重根港・ 八重根漁港	7.38～12.04 (7.38～12.04)	8.99 (8.99)	26.1～28.5 【27.2】	27.5～35.6 【32.5】
	(10) ナズマド漁港	3.54～4.41 (3.54～4.41)	3.95 (3.95)	23.3～23.4 【23.4】	24.1～30.0 【29.8】
	(11) 永郷地域周辺	2.96～6.78 (2.96～6.78)	3.91 (3.91)	23.2～25.3 【24.3】	24.0～46.5 【30.1】
	(12) 出鼻漁港	3.82～4.25 (3.82～4.25)	4.01 (4.01)	23.5～23.7 【23.6】	24.2～30.0 【24.3】
	島全体	2.96～12.26 (2.96～12.25)	6.24 (6.24)	23.2～33.6 【32.6】	24.0～111.5 【77.3】

8-3) 八丈島の代表点の津波波形 (12時間波形及び最初の1時間の波形)

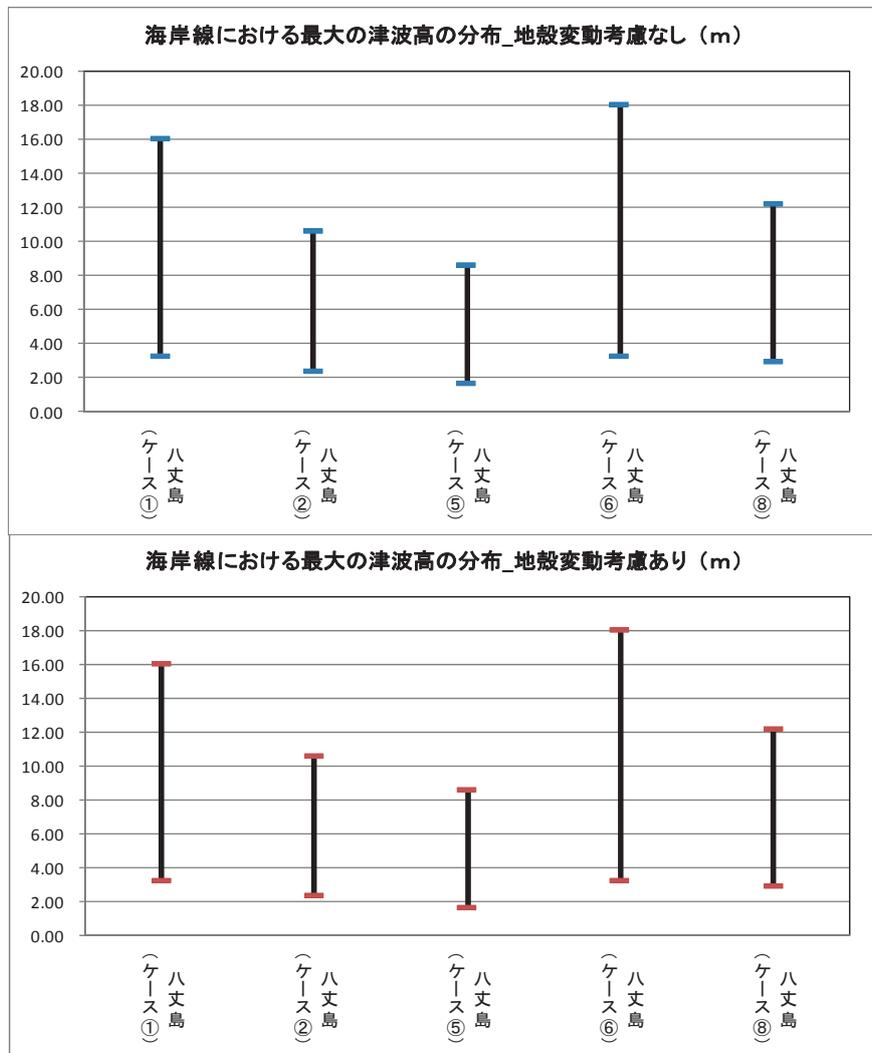
(赤線: 1m津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))



8-4) 八丈島（全体）の海岸線における最大津波高（及びその範囲）・到達時間



ケース別最大津波高と津波到達時間（1 m 及び最大波）



ケース別最大津波高の範囲

8-5) 八丈島全体の最大津波高・最大浸水深分布図 (ケース別)



八丈島ケース①

最大浸水深 (m)

■ 20m以上	20m未満
■ 10m以上	10m未満
■ 5m以上	5m未満
■ 2m以上	2m未満
■ 1m以上	1m未満
■ 0.3m以上	0.3m未満
■ 0.3m未満	

最大津波高 (m)

■ 30m以上	30m未満
■ 20m以上	20m未満
■ 15m以上	15m未満
■ 14m以上	14m未満
■ 13m以上	13m未満
■ 12m以上	12m未満
■ 11m以上	11m未満
■ 10m以上	10m未満
■ 9m以上	9m未満
■ 8m以上	8m未満
■ 7m以上	7m未満
■ 6m以上	6m未満
■ 5m以上	5m未満
■ 4m以上	4m未満
■ 3m以上	3m未満
■ 2m以上	2m未満
■ 1m以上	1m未満
■ 0m以上	0m未満

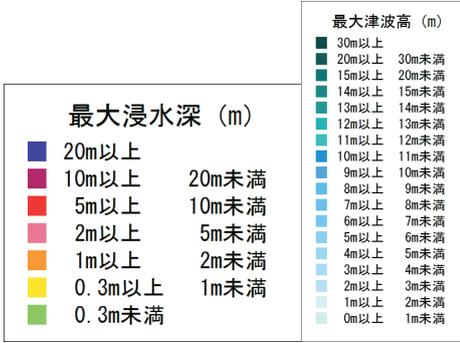
八丈島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



八丈島全体での最大津波高地点

八丈島ケース②



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



八丈島ケース⑤

最大浸水深 (m)

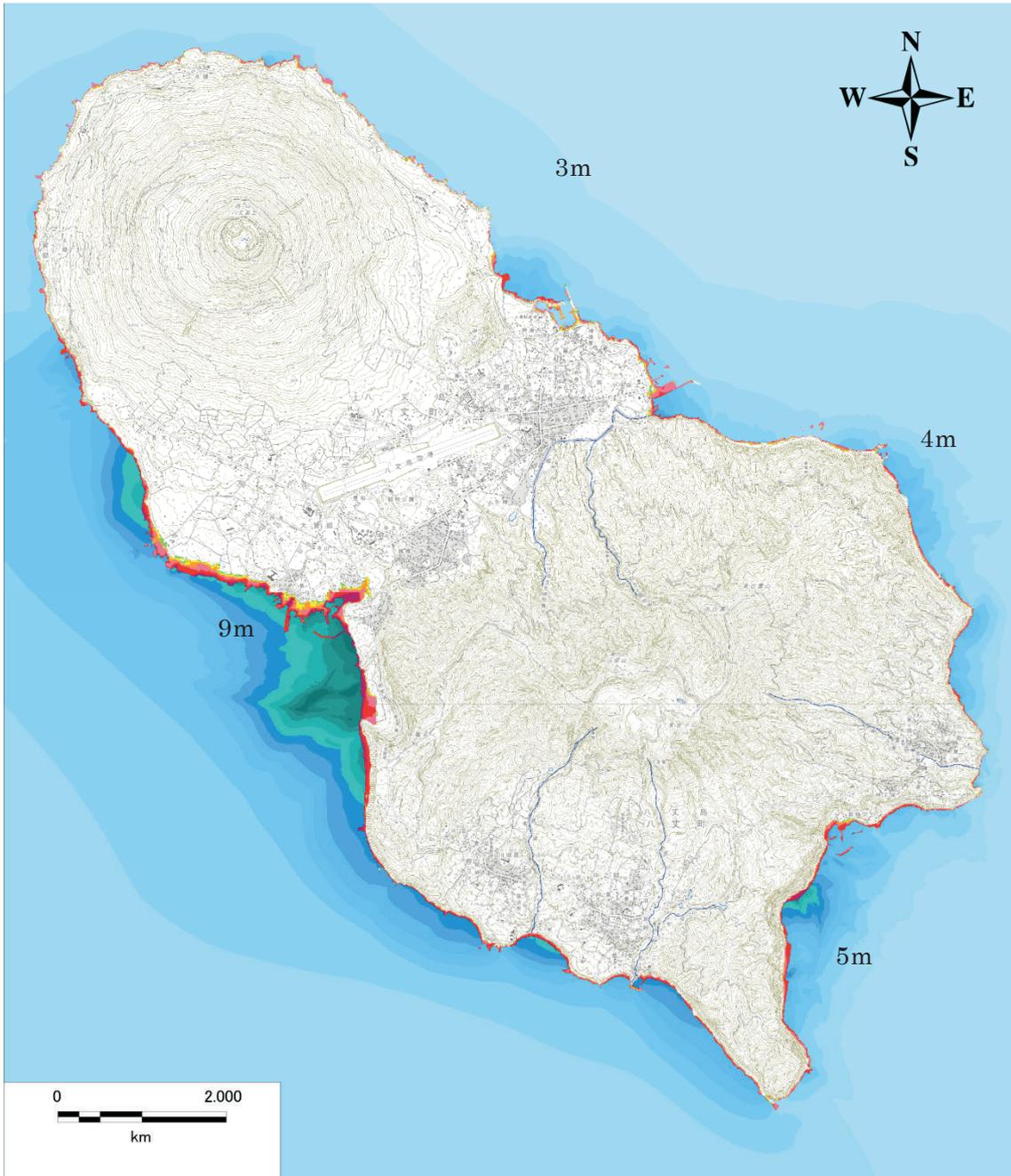
20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

最大津波高 (m)

30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

八丈島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平25情復、第27号)



八丈島全体での最大津波高地点

八丈島ケース⑥

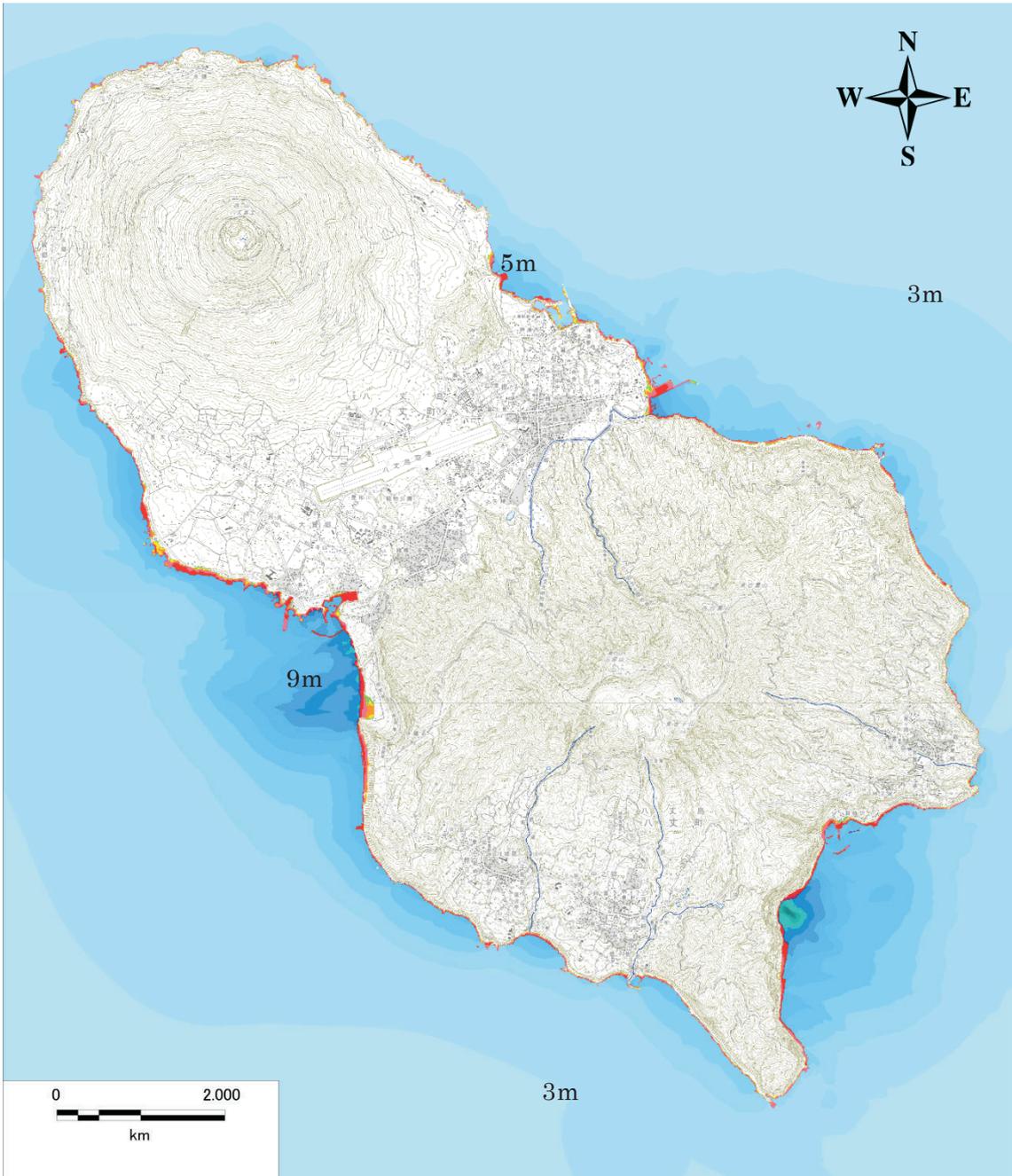
最大浸水深 (m)

20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

最大津波高 (m)

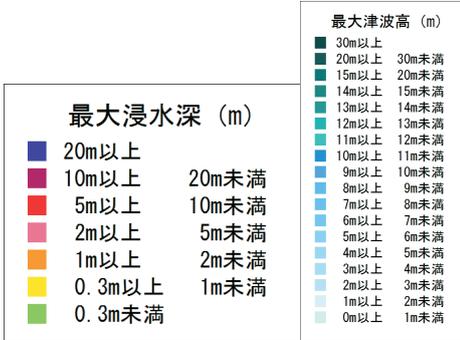
30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



八丈島全体での最大津波高地点

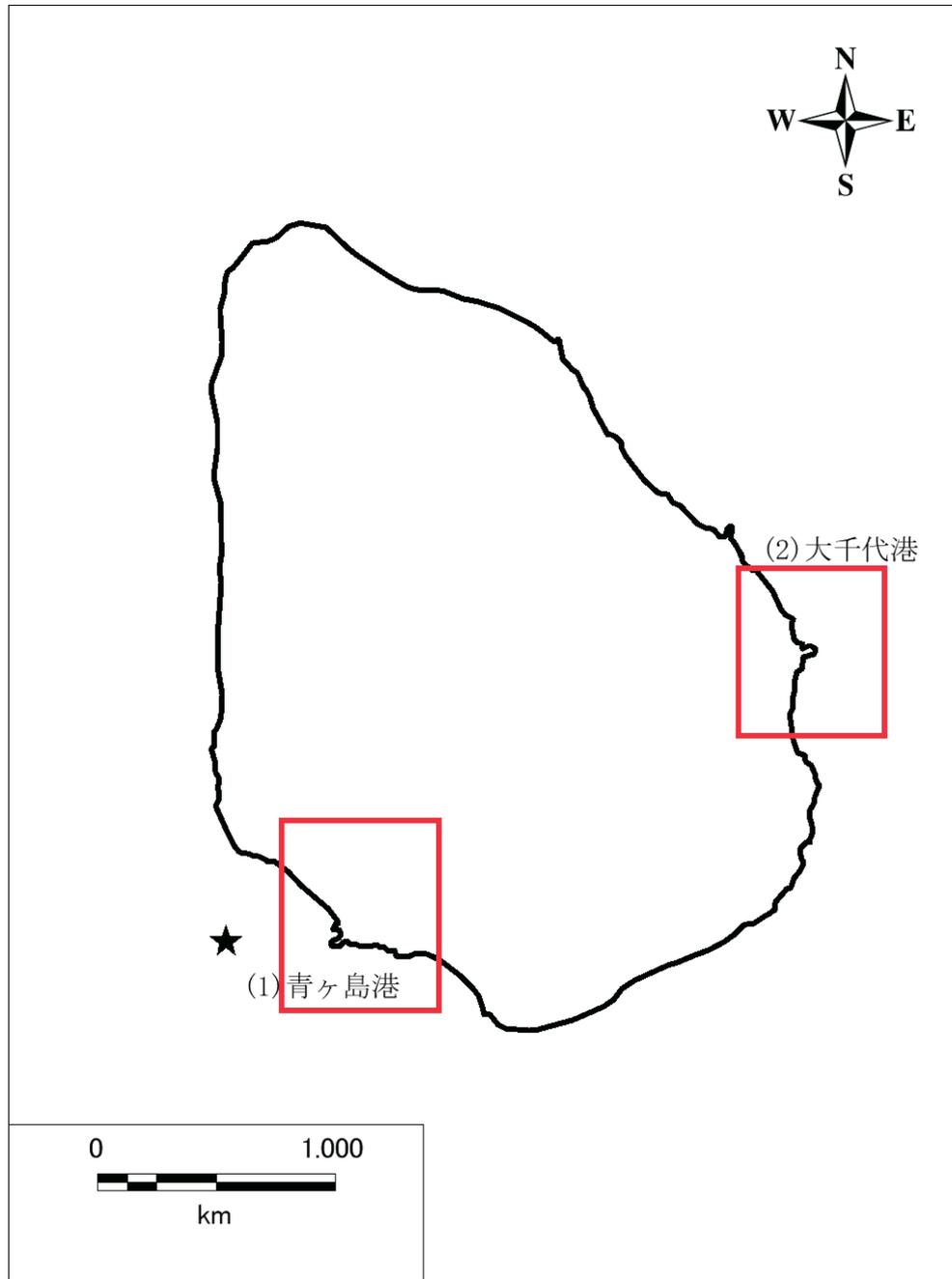
八丈島ケース⑧



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)

(9) 青ヶ島

9-1) 全体及び拡大範囲図



青ヶ島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

9-2) 青ヶ島の総括表

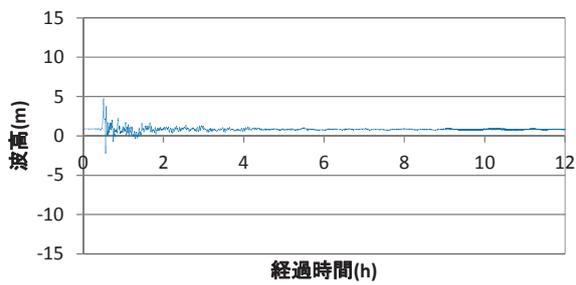
青ヶ島の総括表

ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース①	(1) 青ヶ島港	4.75~7.88 (4.75~7.88)	6.22 (6.21)	29.4~29.6 【29.4】	30.4~39.5 【34.8】
	(2) 大千代港	7.13~8.74 (7.13~8.74)	7.78 (7.78)	31.0~31.2 【31.0】	32.1~41.8 【34.6】
	島全体	4.59~16.65 (4.58~16.65)	8.40 (8.40)	29.3~31.2 【30.9】	30.4~42.9 【34.4】
ケース②	(1) 青ヶ島港	4.20~5.64 (4.20~5.64)	4.70 (4.70)	29.8~29.9 【29.8】	30.6~39.0 【38.9】
	(2) 大千代港	4.87~5.77 (4.87~5.77)	5.14 (5.14)	31.5~31.5 【31.5】	32.3~39.9 【37.0】
	島全体	3.54~9.46 (3.54~9.46)	5.60 (5.60)	29.7~31.5 【31.3】	30.6~46.9 【32.0】
ケース⑤	(1) 青ヶ島港	3.03~5.05 (3.03~5.05)	4.03 (4.03)	36.6~36.8 【36.7】	50.1~59.2 【59.0】
	(2) 大千代港	3.04~4.35 (3.04~4.35)	3.58 (3.58)	38.0~38.0 【38.0】	56.3~63.3 【62.9】
	島全体	2.77~6.68 (2.77~6.68)	4.14 (4.14)	36.5~38.1 【37.5】	49.9~63.3 【58.3】
ケース⑥	(1) 青ヶ島港	3.48~7.39 (3.48~7.39)	5.80 (5.80)	29.5~29.7 【29.5】	33.0~39.5 【34.6】
	(2) 大千代港	6.47~8.12 (6.47~8.12)	7.08 (7.08)	31.0~31.2 【31.1】	34.6~35.1 【34.8】
	島全体	3.48~17.68 (3.48~17.68)	8.23 (8.23)	29.4~31.2 【31.0】	32.1~41.1 【34.6】
ケース⑧	(1) 青ヶ島港	3.85~5.95 (3.85~5.95)	4.72 (4.72)	30.7~30.9 【30.8】	32.0~37.6 【37.4】
	(2) 大千代港	3.86~4.63 (3.86~4.63)	4.13 (4.13)	32.1~32.3 【32.3】	33.0~44.3 【44.2】
	島全体	3.63~11.98 (3.63~11.98)	5.88 (5.88)	30.7~32.3 【31.6】	31.9~44.6 【35.6】

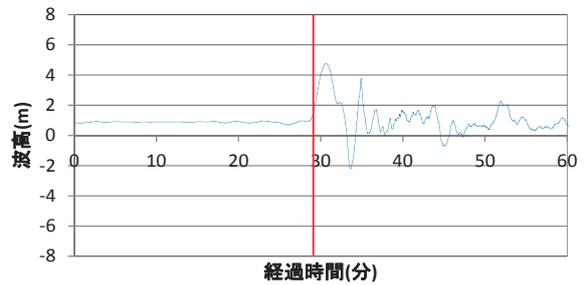
9-3) 青ヶ島の代表点の津波波形 (12時間波形及び最初の1時間の波形)

(赤線: 1m津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))

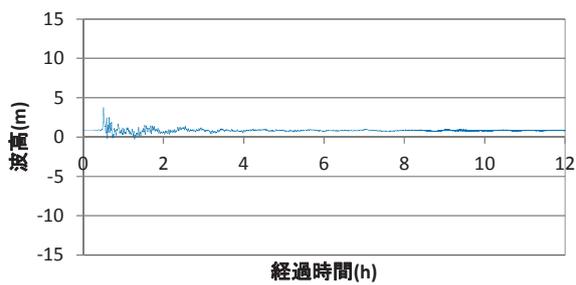
青ヶ島 南西海上 ケース1



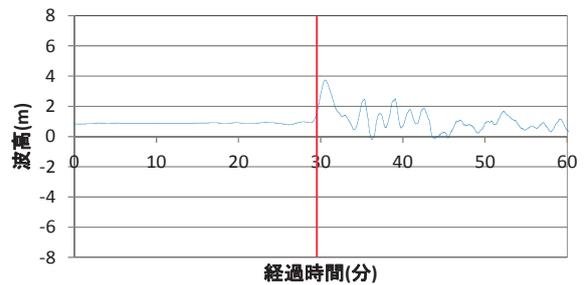
青ヶ島 南西海上 ケース1



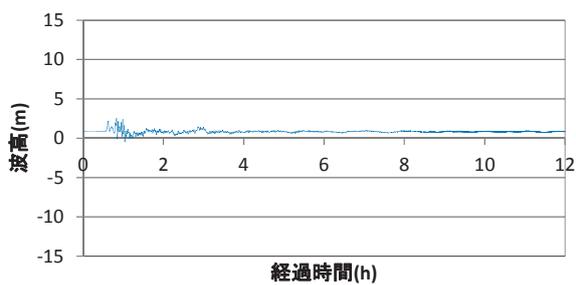
青ヶ島 南西海上 ケース2



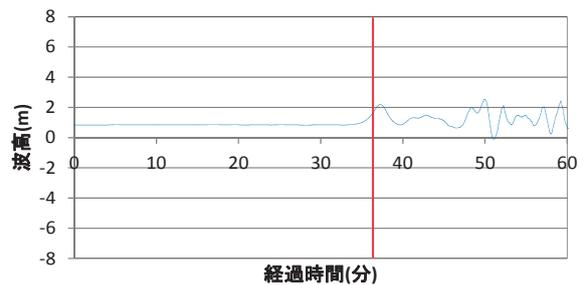
青ヶ島 南西海上 ケース2



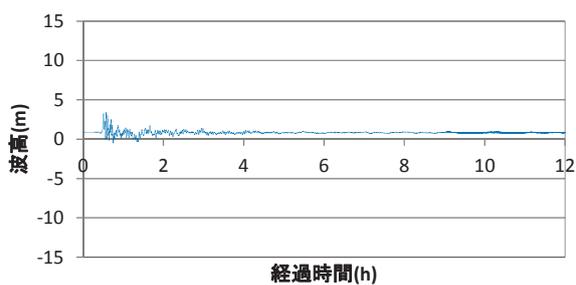
青ヶ島 南西海上 ケース5



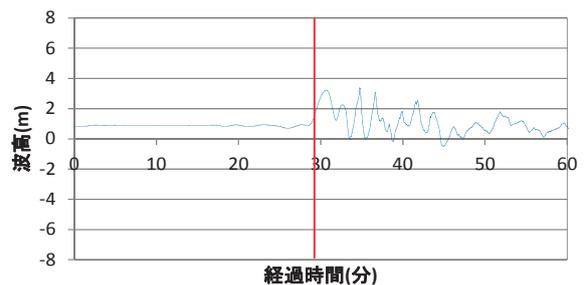
青ヶ島 南西海上 ケース5



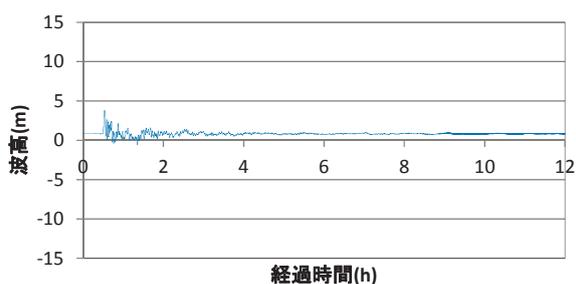
青ヶ島 南西海上 ケース6



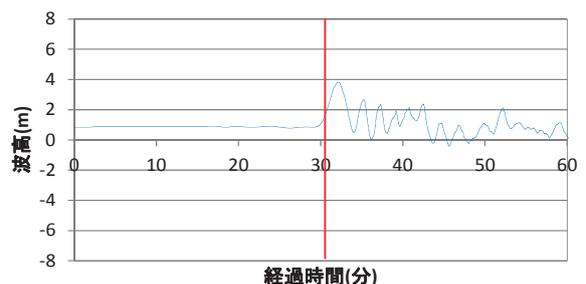
青ヶ島 南西海上 ケース6



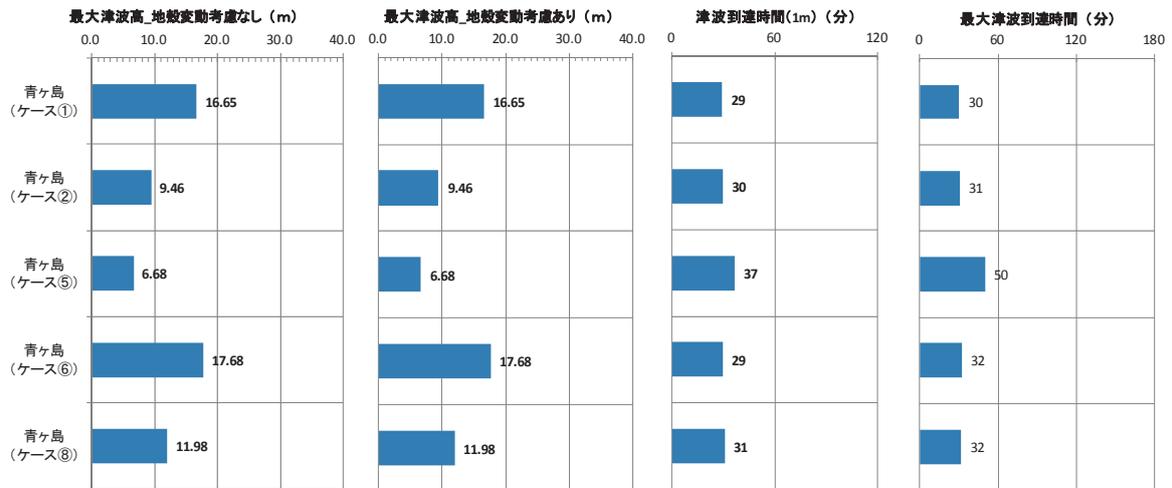
青ヶ島 南西海上 ケース8



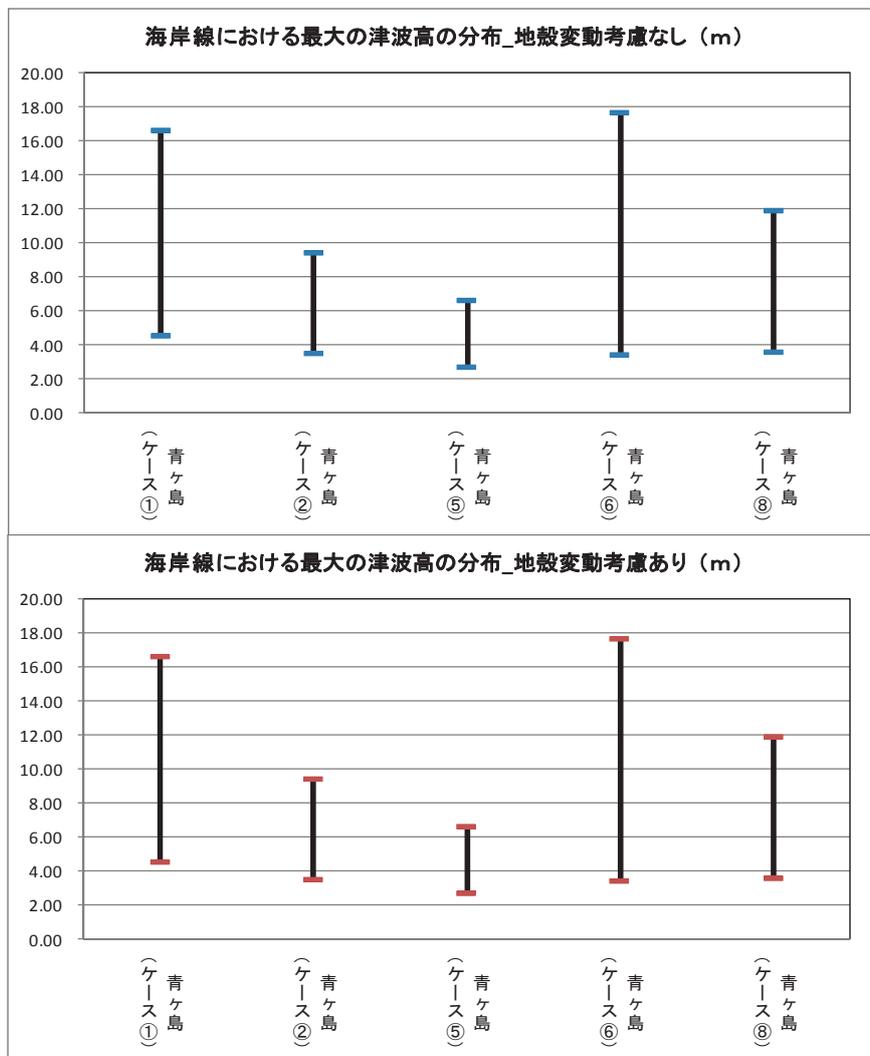
青ヶ島 南西海上 ケース8



9-4) 青ヶ島（全体）の海岸線における最大津波高（及びその範囲）・到達時間

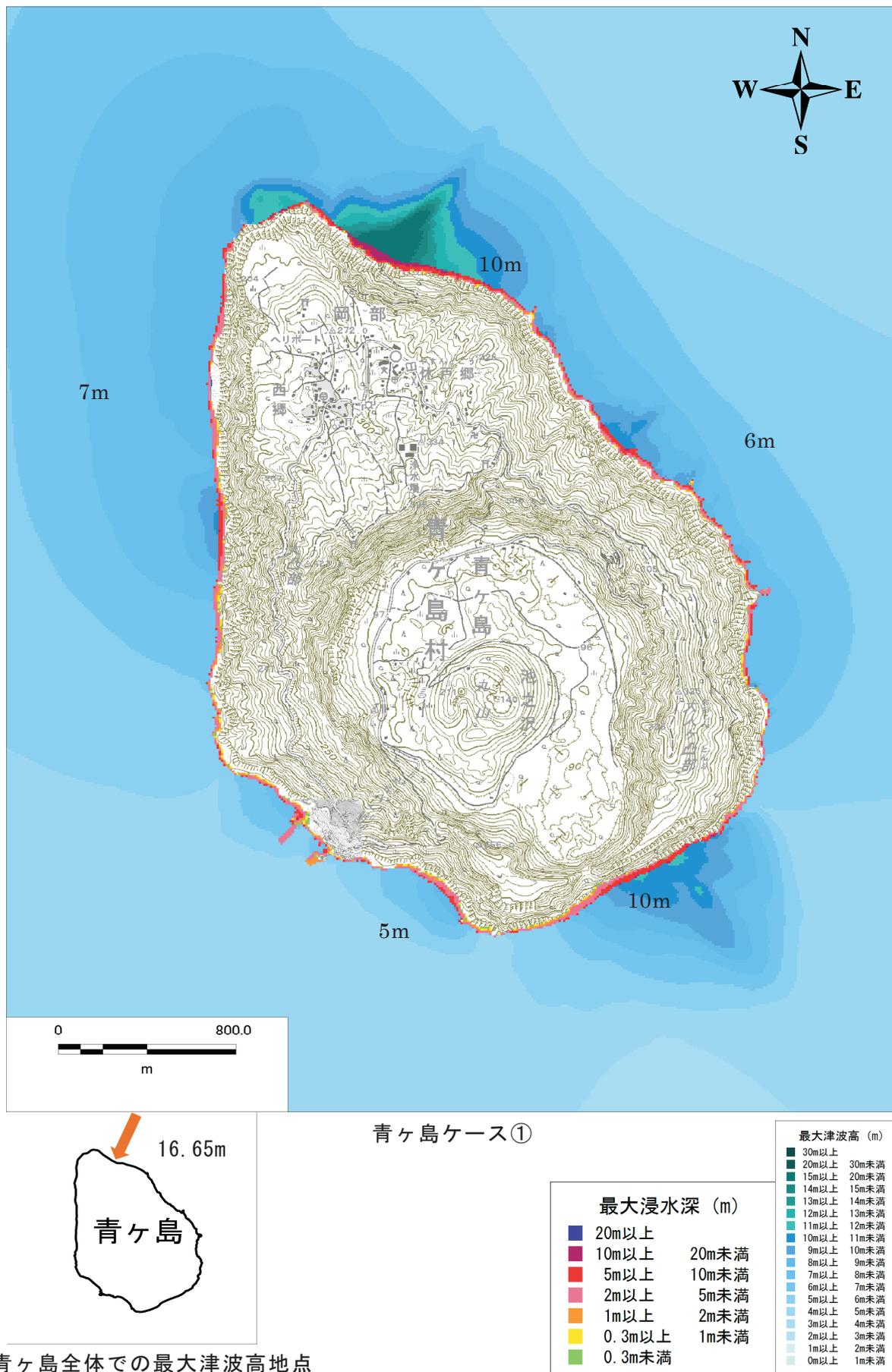


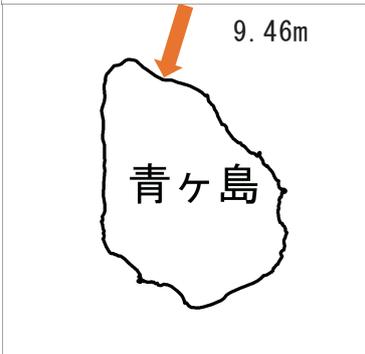
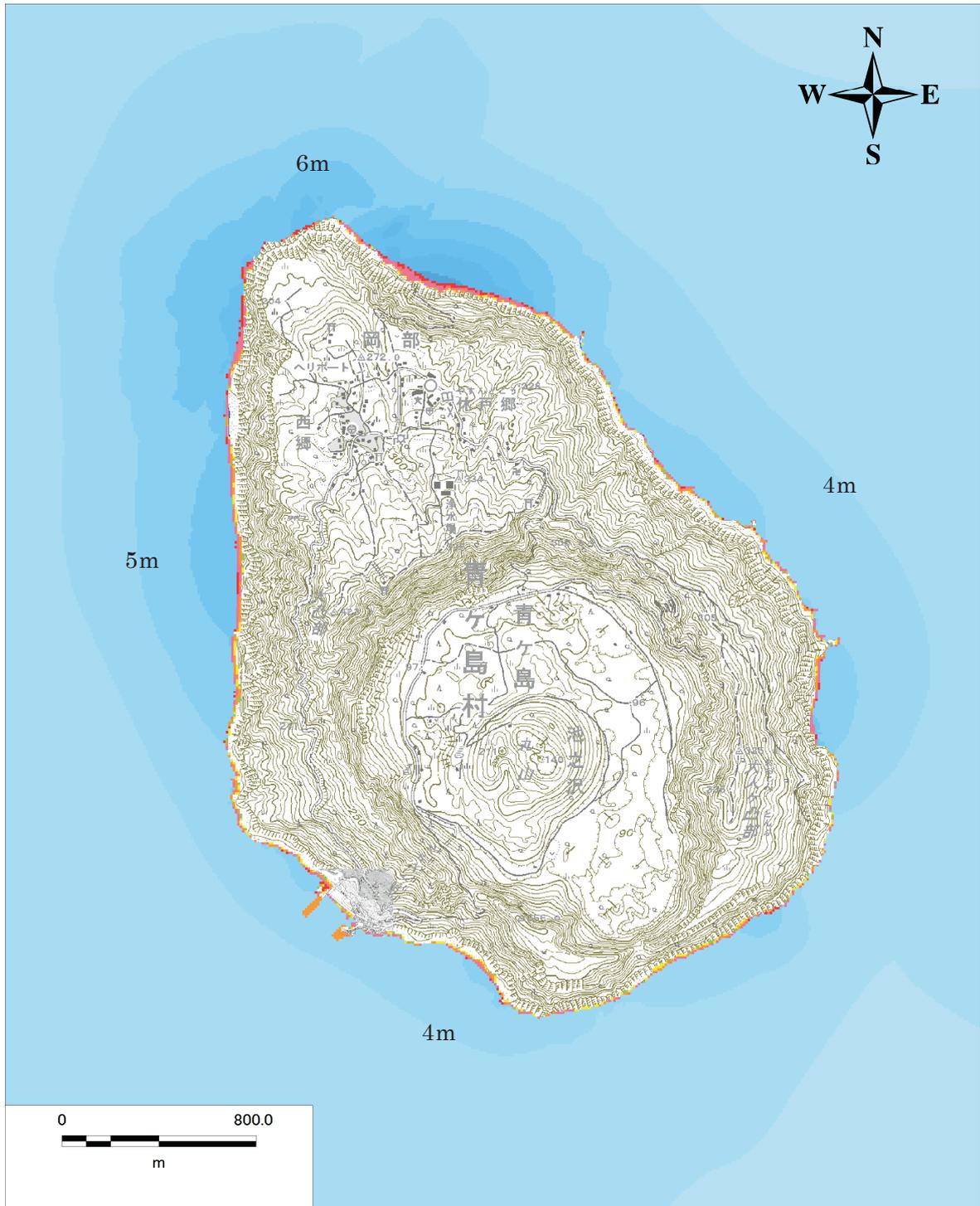
ケース別最大津波高と津波到達時間（1 m 及び最大波）



ケース別最大津波高の範囲

9-5) 青ヶ島全体の最大津波高・最大浸水深分布図（ケース別）





青ヶ島ケース②

**最大浸水深 (m)**

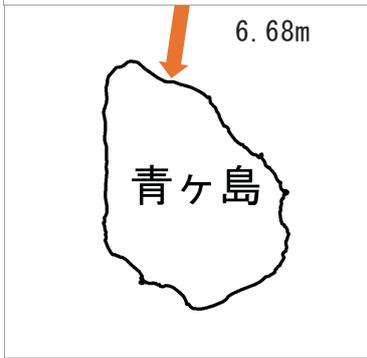
20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

**最大津波高 (m)**

30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

青ヶ島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



青ヶ島ケース⑤

**最大浸水深 (m)**

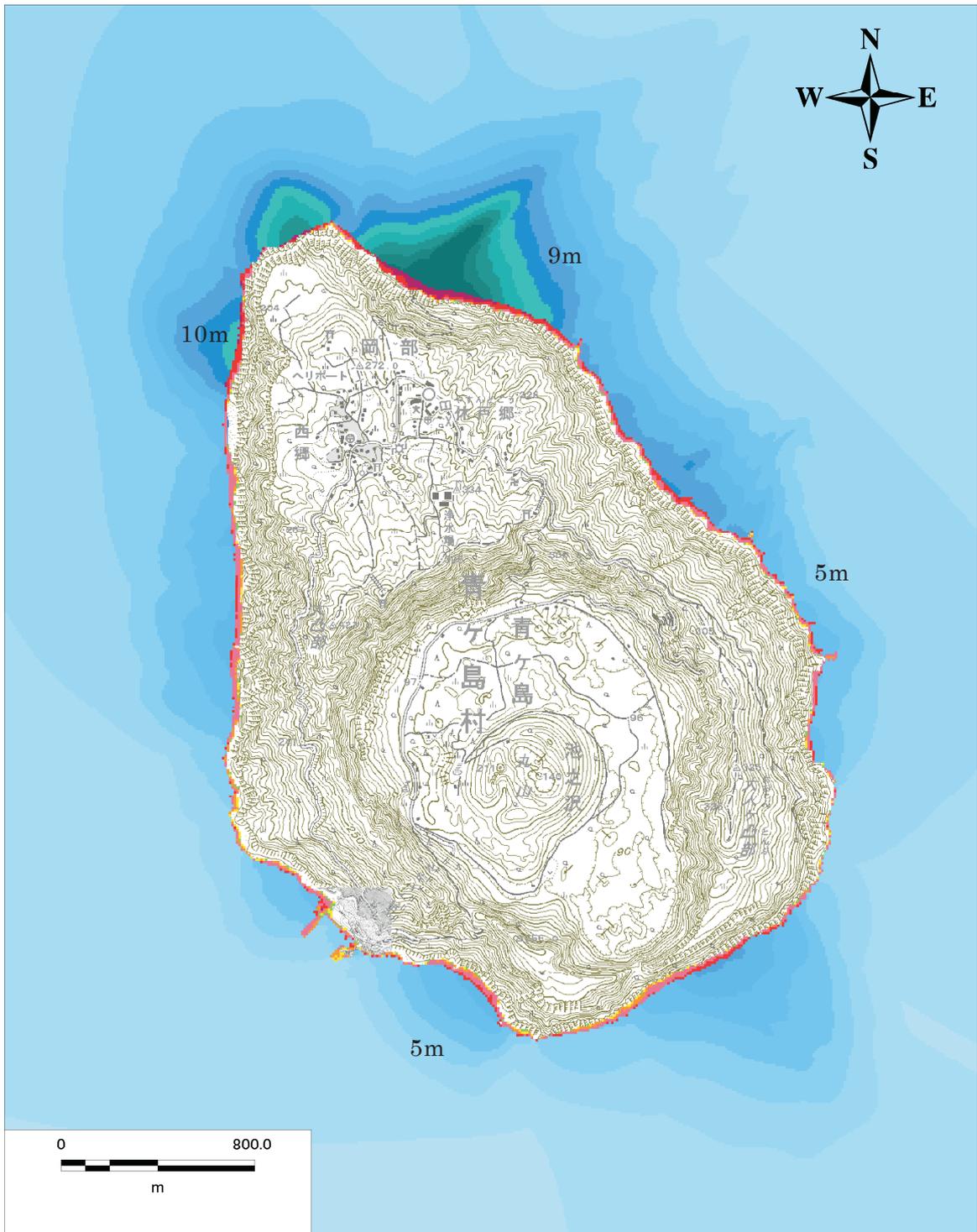
■ 20m以上	20m未満
■ 10m以上	10m未満
■ 5m以上	5m未満
■ 2m以上	2m未満
■ 1m以上	1m未満
■ 0.3m以上	0.3m未満
■ 0.3m未満	

**最大津波高 (m)**

■ 30m以上	30m未満
■ 20m以上	20m未満
■ 15m以上	15m未満
■ 14m以上	14m未満
■ 13m以上	13m未満
■ 12m以上	12m未満
■ 11m以上	11m未満
■ 10m以上	10m未満
■ 9m以上	9m未満
■ 8m以上	8m未満
■ 7m以上	7m未満
■ 6m以上	6m未満
■ 5m以上	5m未満
■ 4m以上	4m未満
■ 3m以上	3m未満
■ 2m以上	2m未満
■ 1m以上	1m未満
■ 0m以上	0m未満

青ヶ島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情複、第 27 号)

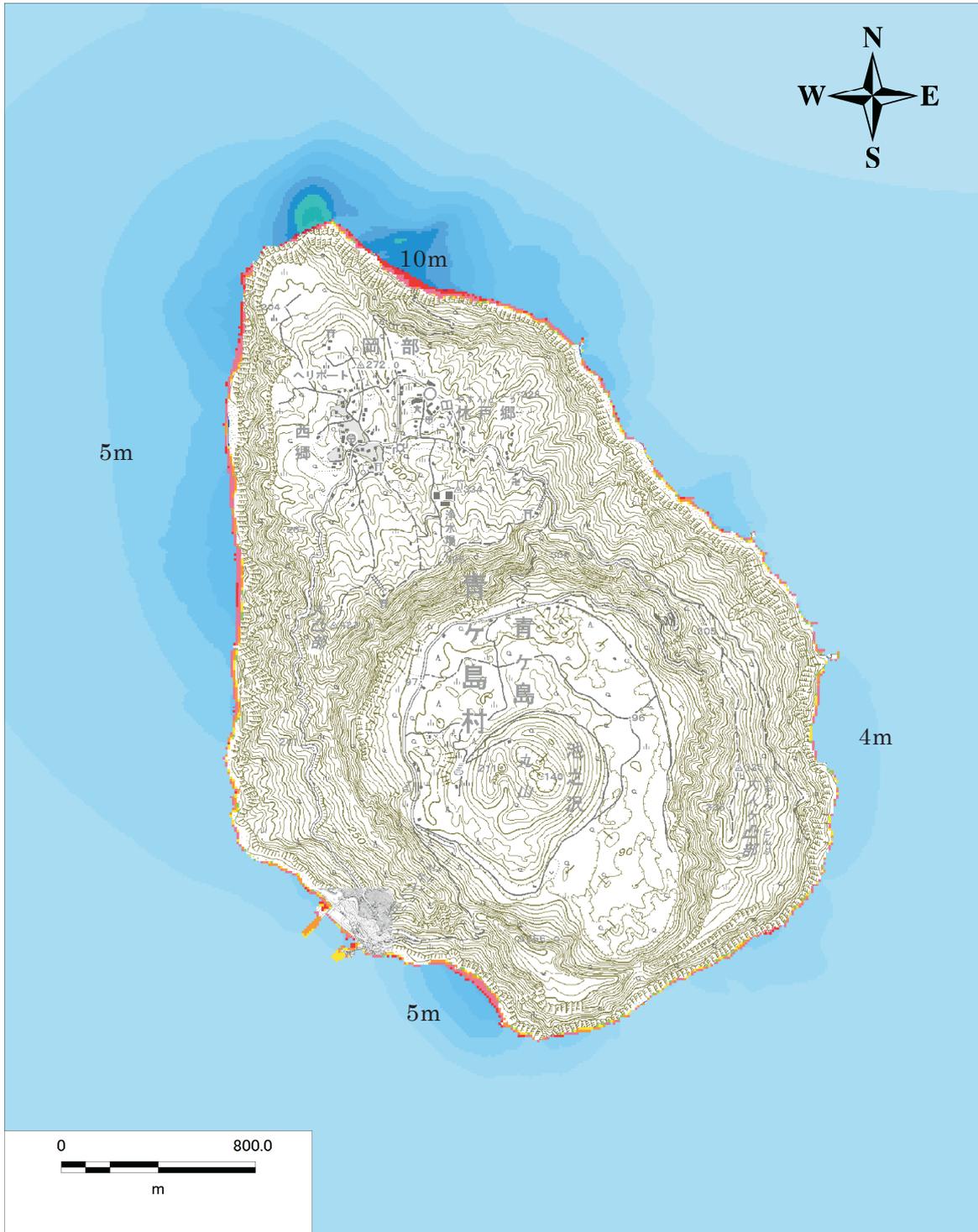


青ヶ島ケース⑥

最大浸水深 (m)		最大津波高 (m)	
■ 20m以上	■ 20m未満	■ 30m以上	■ 30m未満
■ 10m以上	■ 10m未満	■ 20m以上	■ 20m未満
■ 5m以上	■ 5m未満	■ 15m以上	■ 15m未満
■ 2m以上	■ 2m未満	■ 14m以上	■ 14m未満
■ 1m以上	■ 1m未満	■ 13m以上	■ 13m未満
■ 0.3m以上	■ 0.3m未満	■ 12m以上	■ 12m未満
		■ 11m以上	■ 11m未満
		■ 10m以上	■ 10m未満
		■ 9m以上	■ 9m未満
		■ 8m以上	■ 8m未満
		■ 7m以上	■ 7m未満
		■ 6m以上	■ 6m未満
		■ 5m以上	■ 5m未満
		■ 4m以上	■ 4m未満
		■ 3m以上	■ 3m未満
		■ 2m以上	■ 2m未満
		■ 1m以上	■ 1m未満
		■ 0m以上	■ 0m未満

青ヶ島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



青ヶ島ケース⑧

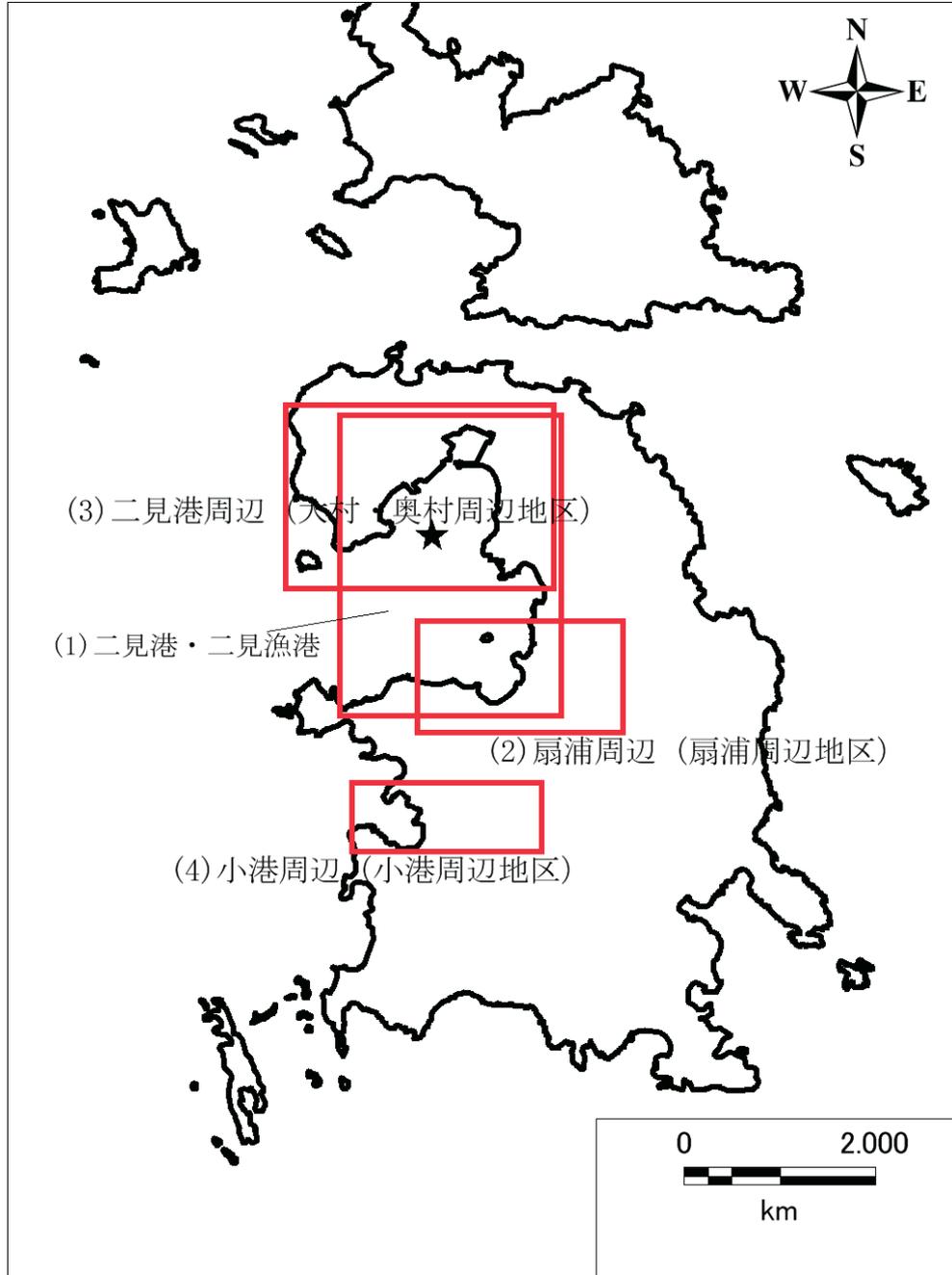


青ヶ島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情複、第 27 号)

(10) 父島

10-1) 全体及び拡大範囲図



父島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

10-2) 父島の総括表

父島の総括表（その1）

ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース①	(1)二見港・二見漁港	3.24～6.00 (3.24～6.00)	4.58 (4.58)	86.0～89.5 【88.5】	114.8～189.0 【163.8】
	(2)扇浦周辺 (扇浦周辺地区)	3.69～6.00 (3.69～6.00)	4.94 (4.94)	87.5～88.9 【88.5】	162.6～189.0 【163.8】
	(3)二見港周辺 (大村・奥村周辺地区)	2.88～6.83 (2.88～6.83)	4.59 (4.59)	85.6～89.5 【85.6】	113.9～165.8 【120.8】
	(4)小港周辺 (小港周辺地区)	4.09～7.47 (4.09～7.47)	6.08 (6.08)	87.0～88.5 【88.2】	110.9～185.5 【111.8】
	島全体	2.08～11.03 (2.08～11.03)	4.92 (4.92)	84.0～96.8 【92.7】	95.8～210.3 【124.6】
ケース②	(1)二見港・二見漁港	3.62～7.47 (3.62～7.47)	5.82 (5.82)	84.9～88.2 【88.0】	121.8～161.9 【124.8】
	(2)扇浦周辺 (扇浦周辺地区)	5.01～6.41 (5.01～6.41)	5.71 (5.71)	86.1～87.7 【86.2】	121.8～159.4 【123.3】
	(3)二見港周辺 (大村・奥村周辺地区)	3.06～7.47 (3.06～7.47)	5.78 (5.78)	84.3～88.2 【88.0】	119.9～162.0 【124.8】
	(4)小港周辺 (小港周辺地区)	3.50～6.64 (3.50～6.64)	5.52 (5.52)	85.8～87.5 【86.7】	88.5～158.7 【111.7】
	島全体	1.96～11.72 (1.96～11.72)	5.29 (5.29)	82.7～97.1 【91.1】	87.2～199.0 【122.6】
ケース⑤	(1)二見港・二見漁港	4.02～9.76 (4.02～9.76)	7.72 (7.72)	89.1～92.6 【92.4】	91.0～166.9 【112.3】
	(2)扇浦周辺 (扇浦周辺地区)	6.90～8.37 (6.90～8.37)	7.76 (7.76)	90.4～92.1 【91.6】	93.7～130.6 【93.8】
	(3)二見港周辺 (大村・奥村周辺地区)	3.58～9.76 (3.58～9.76)	7.45 (7.45)	88.6～92.6 【92.4】	90.7～166.9 【112.3】
	(4)小港周辺 (小港周辺地区)	8.05～12.18 (8.05～12.18)	10.58 (10.58)	90.0～91.8 【91.3】	93.7～127.8 【127.5】
	島全体	1.91～18.52 (1.91～18.52)	6.87 (6.87)	87.0～102.9 【95.4】	88.8～185.2 【128.7】

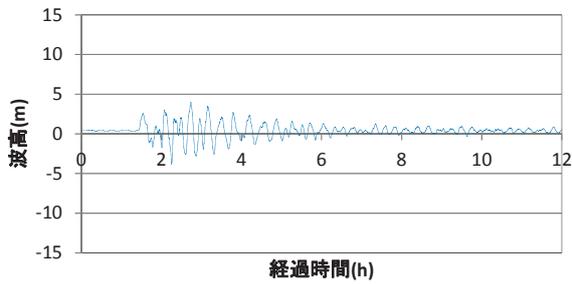
父島の総括表（その2）

ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m)  (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m)  (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分)  【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分)  【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース⑥	(1)二見港・二見漁港	3.76～9.12 (3.76～9.12)	6.16 (6.16)	88.4～92.3 【88.5】	94.0～163.2 【147.3】
	(2)扇浦周辺 (扇浦周辺地区)	4.99～7.59 (4.99～7.59)	6.36 (6.36)	89.8～91.6 【91.0】	126.4～129.5 【128.5】
	(3)二見港周辺 (大村・奥村周辺地区)	3.56～9.12 (3.56～9.12)	5.93 (5.93)	88.0～92.3 【88.5】	94.0～163.4 【147.3】
	(4)小港周辺 (小港周辺地区)	3.73～6.87 (3.73～6.87)	5.81 (5.81)	89.4～91.5 【90.3】	91.2～186.4 【160.9】
	島全体	2.14～12.62 (2.14～12.62)	5.29 (5.29)	86.4～98.1 【94.9】	89.3～215.2 【115.0】
ケース⑧	(1)二見港・二見漁港	2.92～5.25 (2.92～5.25)	3.79 (3.79)	84.9～88.2 【84.9】	88.3～194.3 【127.2】
	(2)扇浦周辺 (扇浦周辺地区)	2.96～4.89 (2.96～4.89)	3.80 (3.80)	86.1～87.8 【87.2】	88.3～194.3 【164.7】
	(3)二見港周辺 (大村・奥村周辺地区)	2.95～5.25 (2.95～5.25)	3.84 (3.84)	84.4～88.2 【84.9】	89.4～193.2 【127.2】
	(4)小港周辺 (小港周辺地区)	3.81～6.63 (3.81～6.63)	5.58 (5.58)	85.8～87.5 【86.8】	95.6～212.2 【96.1】
	島全体	2.00～11.08 (2.00～11.08)	4.82 (4.82)	82.8～100.4 【91.1】	88.3～214.5 【122.6】

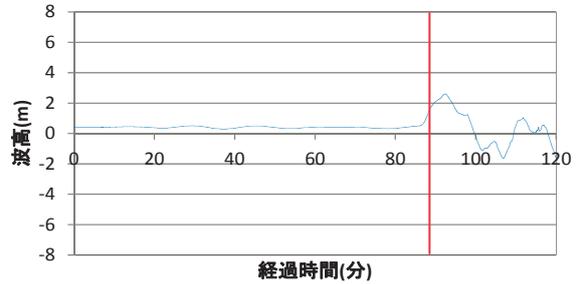
10-3) 父島の代表点の津波波形 (12時間波形及び最初の2時間の波形)

(赤線: 1m津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))

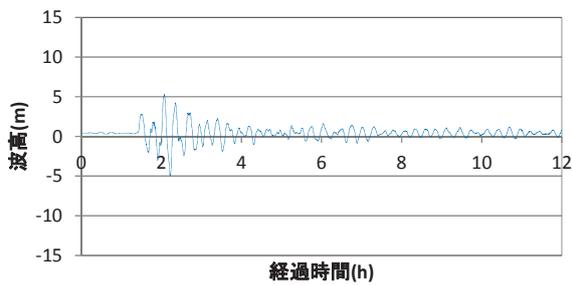
父島二見港内 ケース1



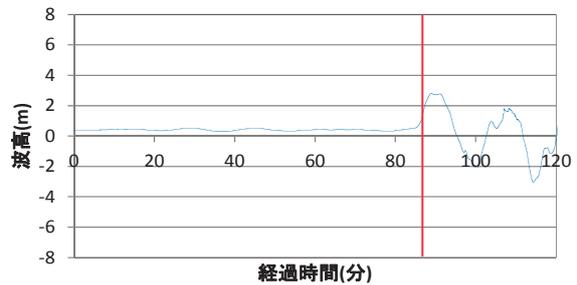
父島二見港内 ケース1



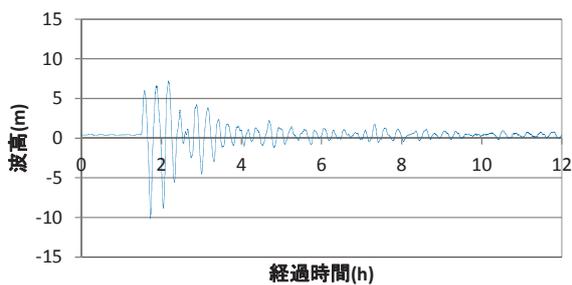
父島二見港内 ケース2



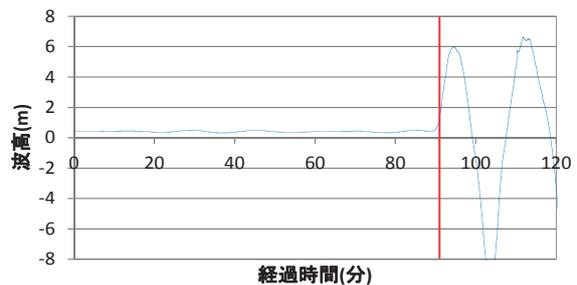
父島二見港内 ケース2



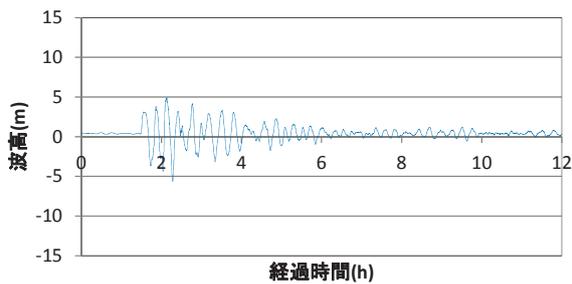
父島二見港内 ケース5



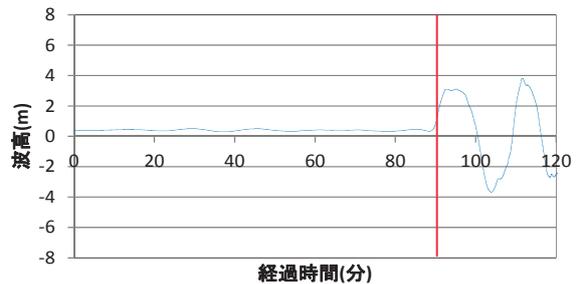
父島二見港内 ケース5



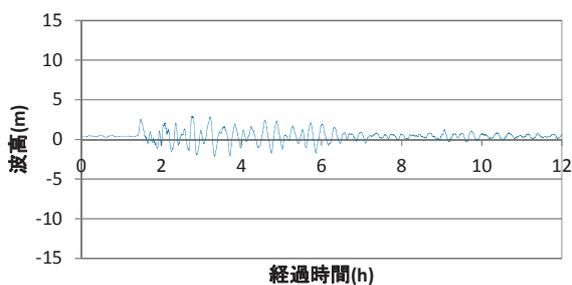
父島二見港内 ケース6



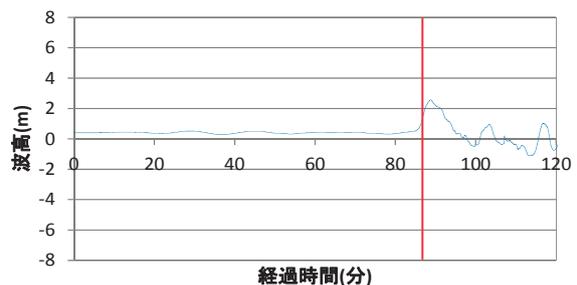
父島二見港内 ケース6



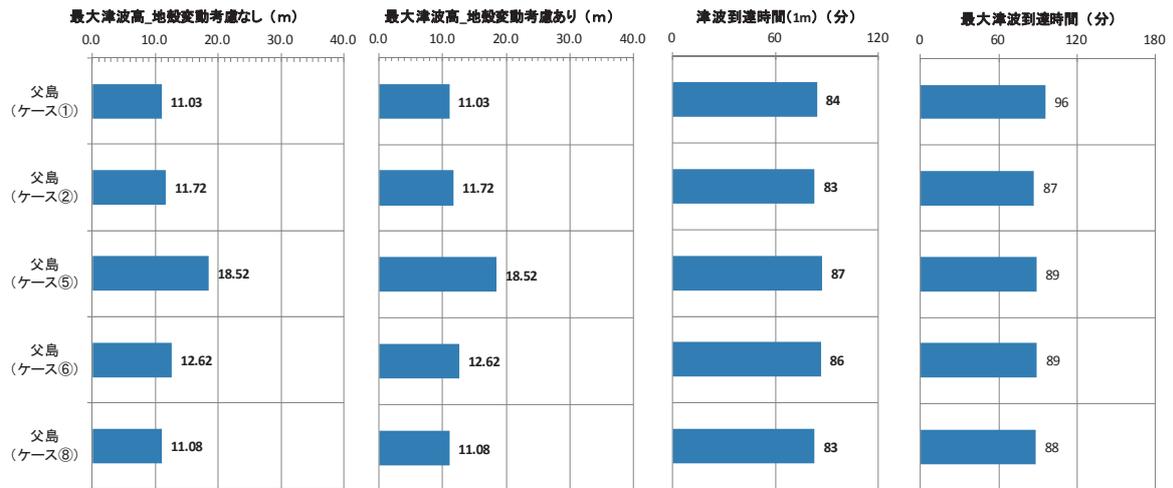
父島二見港内 ケース8



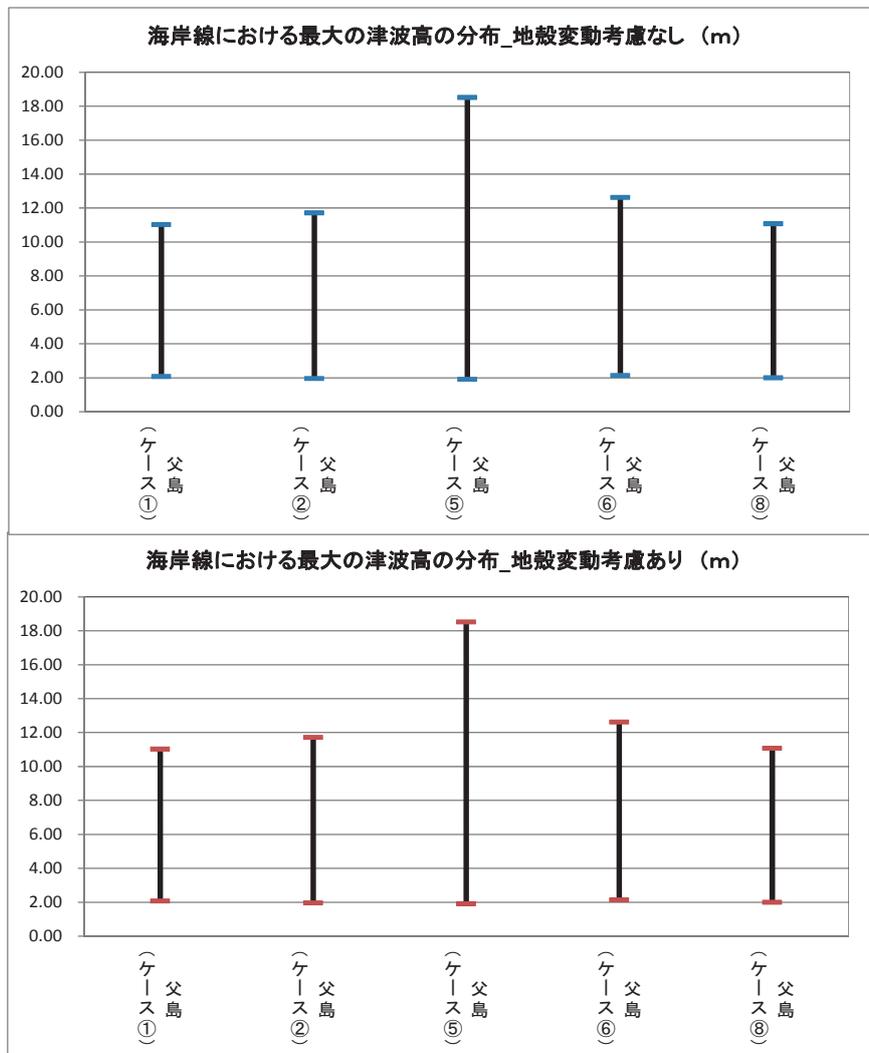
父島二見港内 ケース8



10-4) 父島（全体）の海岸線における最大津波高（及びその範囲）・到達時間

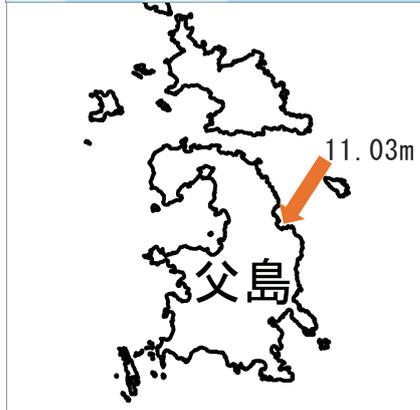
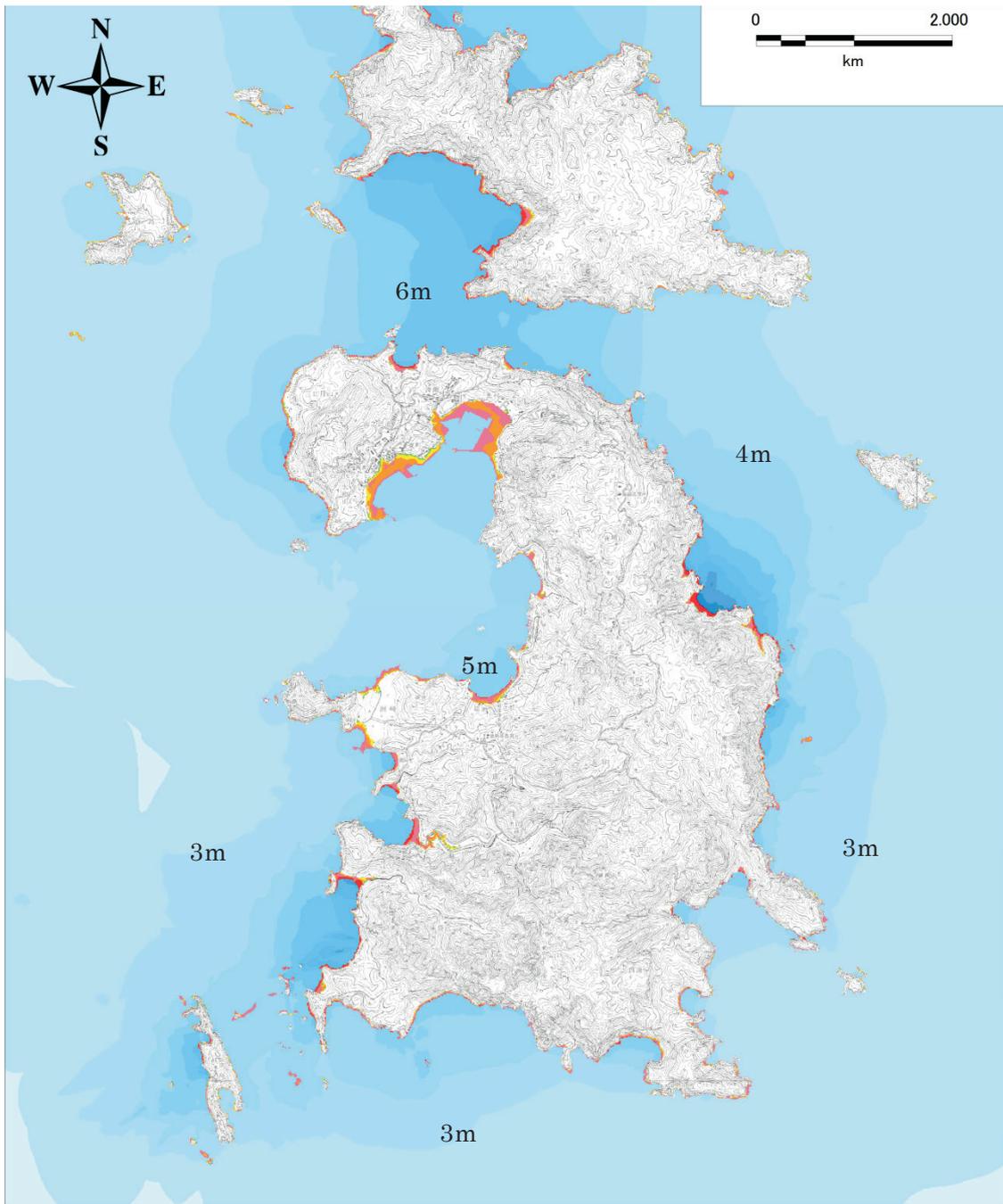


ケース別最大津波高と津波到達時間（1 m 及び最大波）



ケース別最大津波高の範囲

10-5) 父島全体の最大津波高・最大浸水深分布図（ケース別）



父島ケース①

最大浸水深 (m)

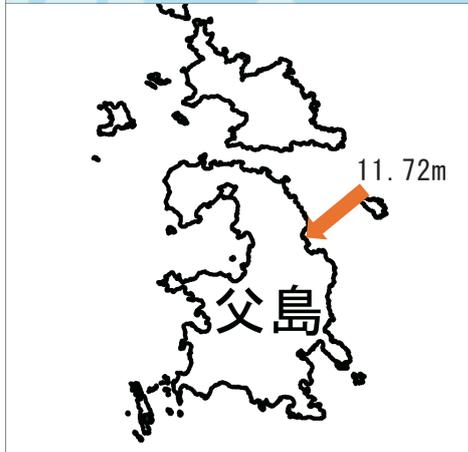
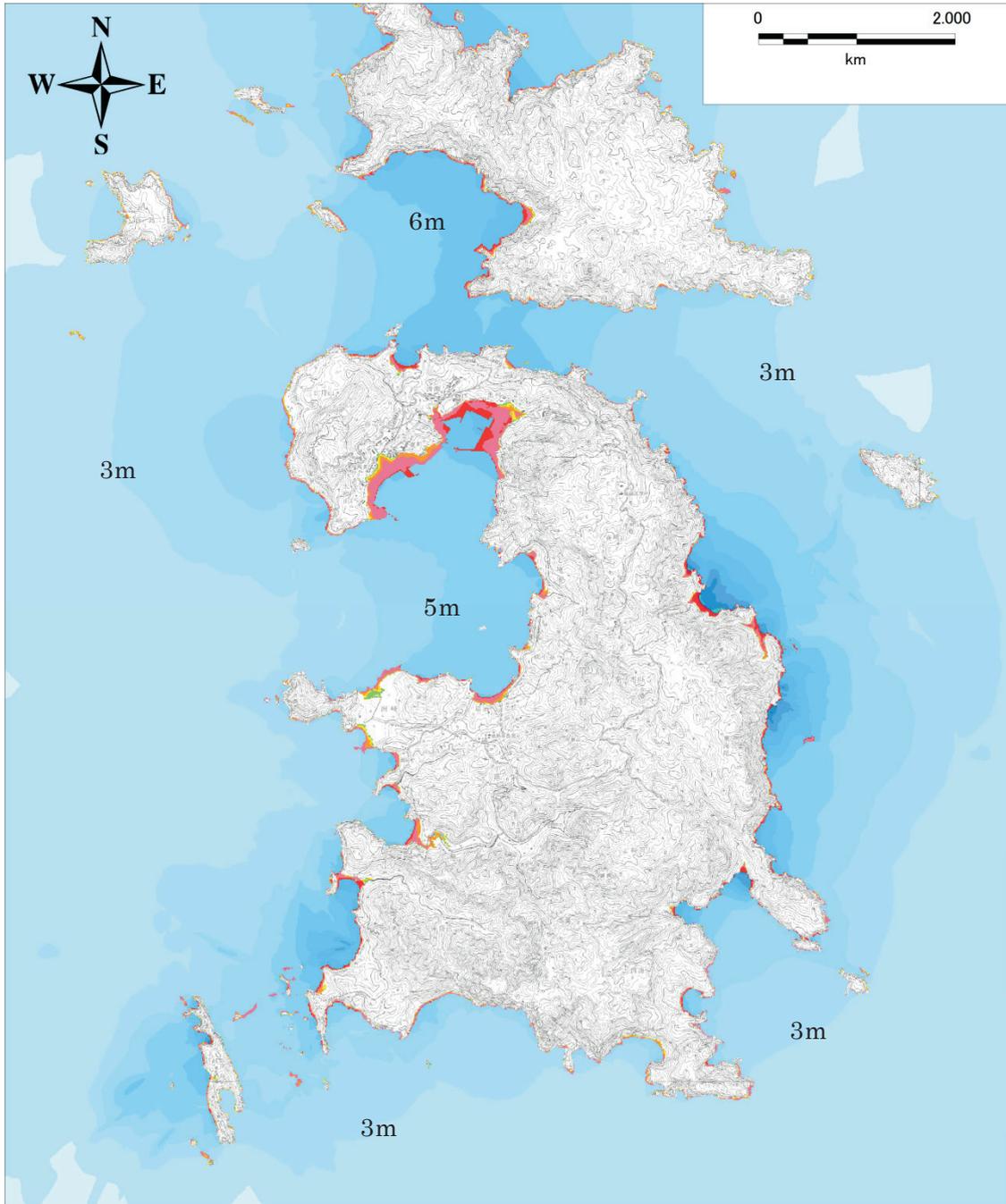
20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

最大津波高 (m)

30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

父島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平 25 情復、第 27 号）



父島ケース②

**最大浸水深 (m)**

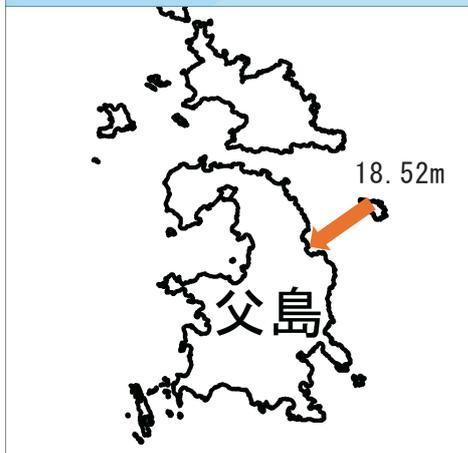
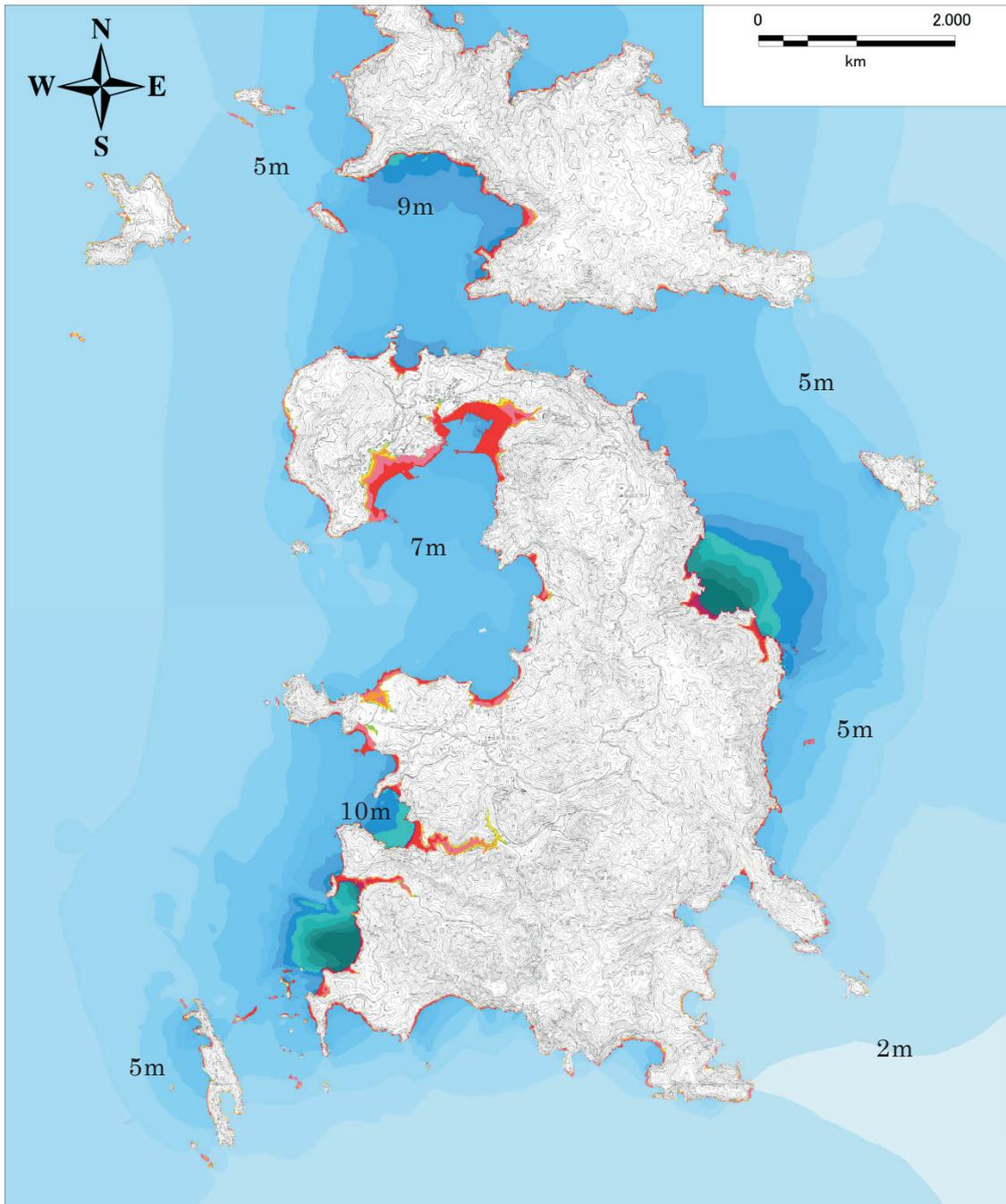
20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

**最大津波高 (m)**

30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

父島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



父島ケース⑤

**最大浸水深 (m)**

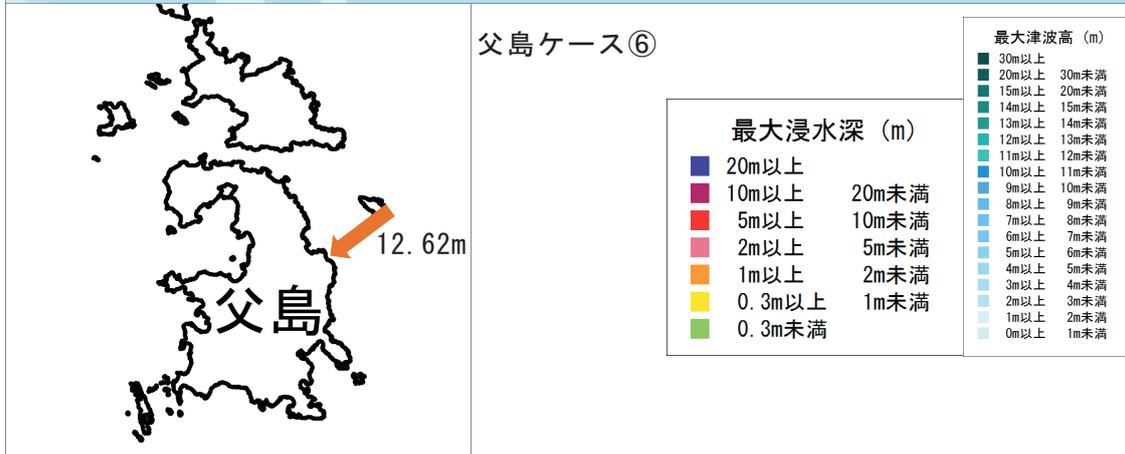
20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

**最大津波高 (m)**

30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

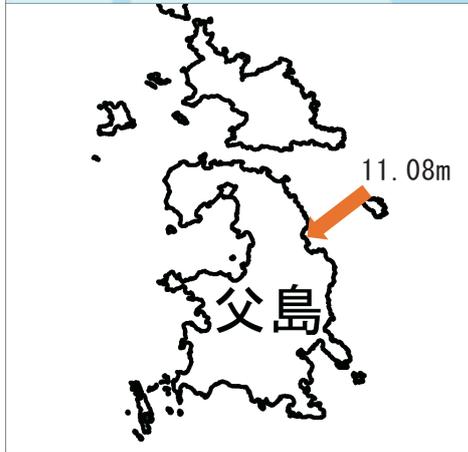
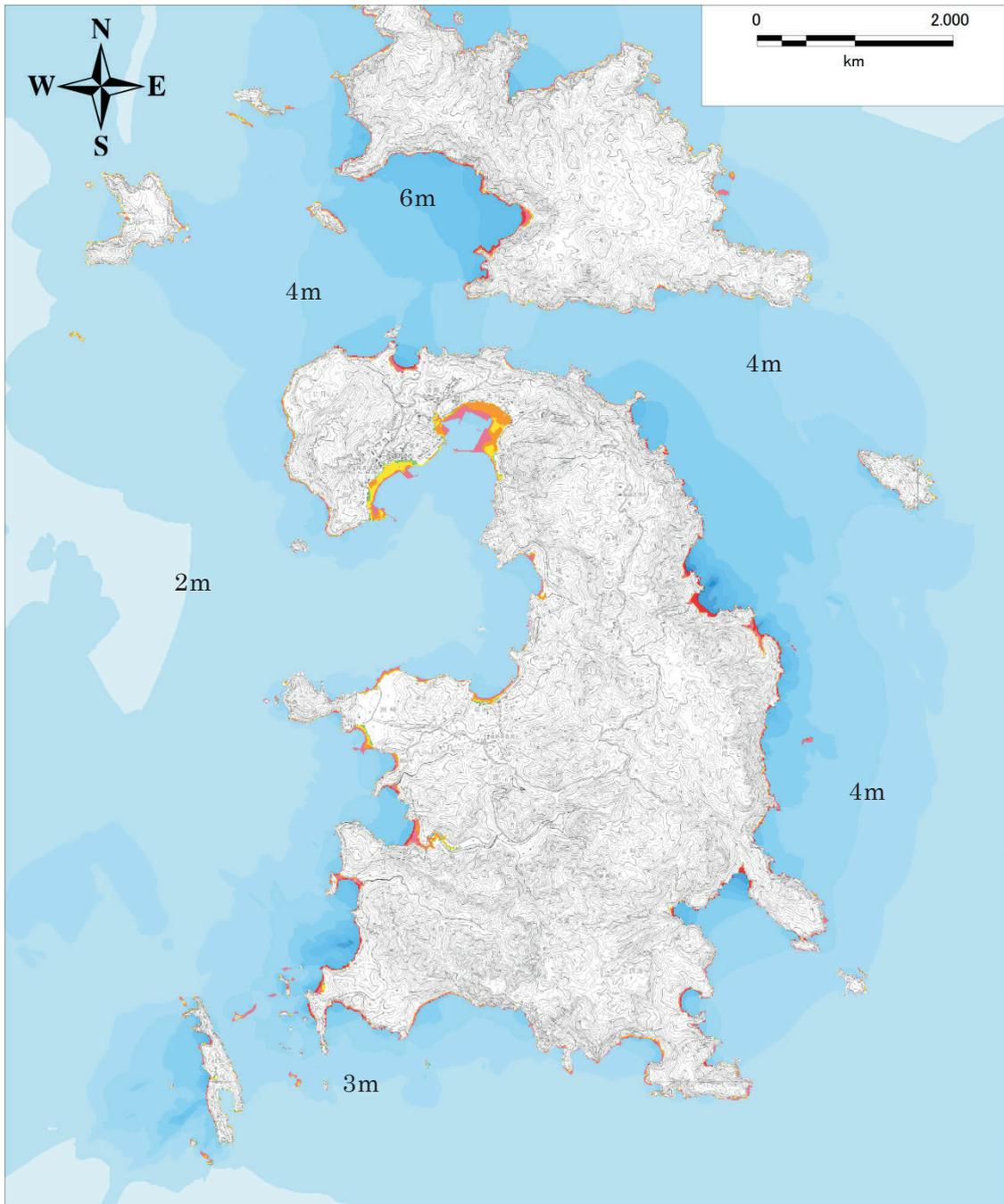
父島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



父島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



父島ケース⑧

**最大浸水深 (m)**

20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

**最大津波高 (m)**

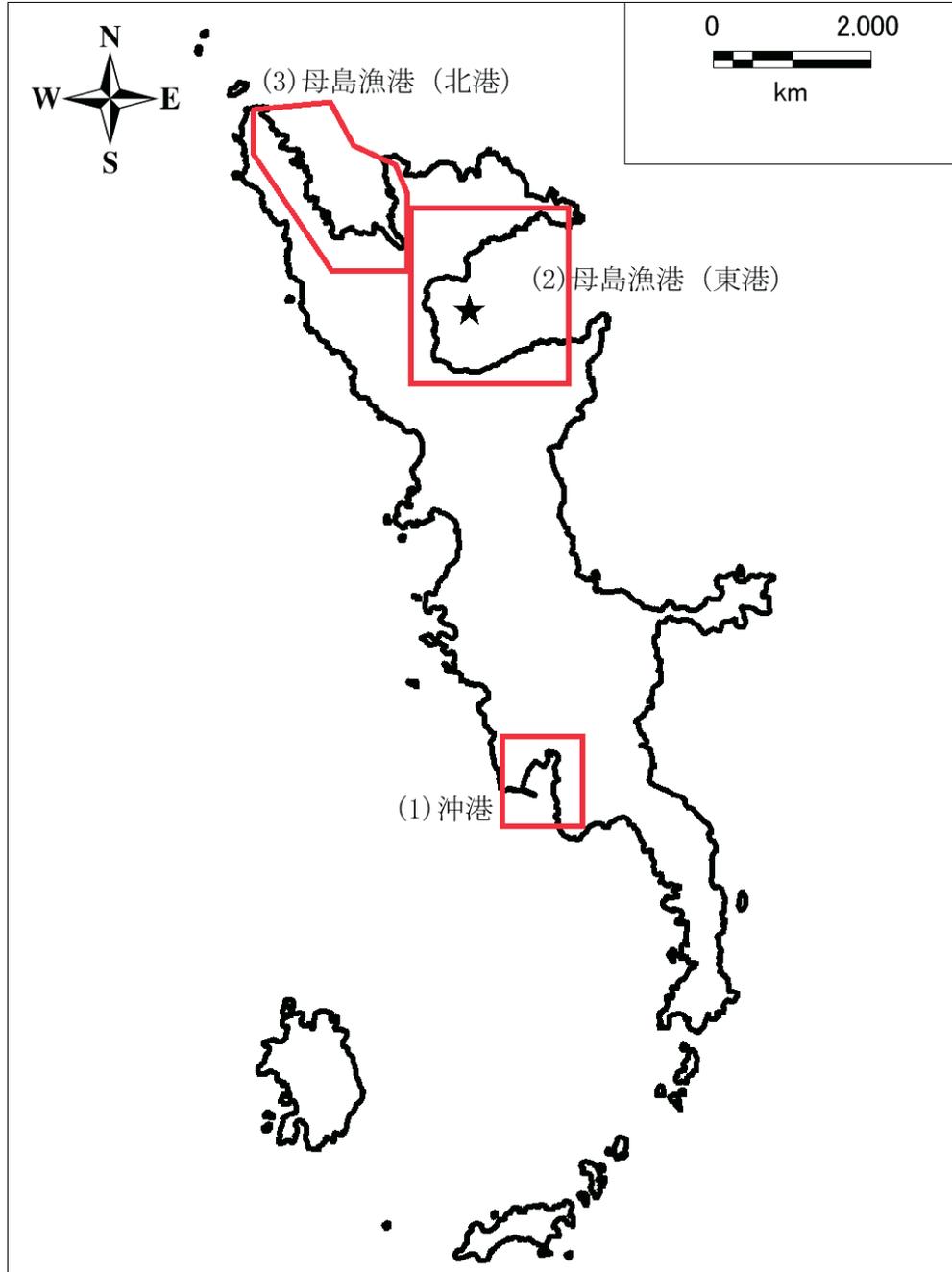
30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

父島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)

(11) 母島

11-1) 全体及び拡大範囲図



母島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

## 11-2) 母島の総括表

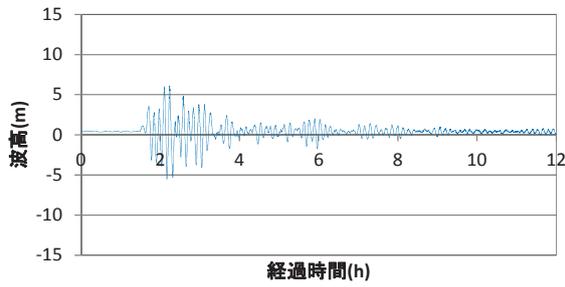
母島の総括表

ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース①	(1) 沖港	2.40~6.78 (2.40~6.78)	3.66 (3.66)	87.8~91.7 【90.0】	107.8~256.9 【154.5】
	(2) 母島漁港(東港)	2.37~8.83 (2.37~8.83)	5.84 (5.84)	92.6~100.0 【99.7】	101.3~165.9 【125.8】
	(3) 母島漁港(北港)	2.41~8.72 (2.41~8.72)	5.31 (5.31)	88.8~101.5 【89.6】	121.1~197.2 【135.1】
	島全体	1.80~8.83 (1.80~8.83)	4.01 (4.01)	86.5~101.9 【99.7】	93.7~256.9 【125.8】
ケース②	(1) 沖港	2.52~5.70 (2.52~5.70)	3.60 (3.60)	86.3~88.9 【88.7】	87.7~169.5 【154.5】
	(2) 母島漁港(東港)	2.67~9.23 (2.67~9.23)	5.68 (5.68)	90.7~99.4 【90.8】	100.8~165.8 【124.5】
	(3) 母島漁港(北港)	2.37~6.46 (2.37~6.46)	4.17 (4.17)	86.5~100.5 【88.4】	109.4~168.3 【110.5】
	島全体	1.78~9.99 (1.78~9.99)	3.94 (3.94)	85.0~102.3 【91.7】	85.8~205.8 【137.3】
ケース⑤	(1) 沖港	5.02~10.35 (5.02~10.35)	7.22 (7.22)	90.2~92.8 【92.5】	92.5~129.8 【110.4】
	(2) 母島漁港(東港)	3.06~9.40 (3.06~9.40)	6.04 (6.04)	92.5~94.9 【94.6】	105.2~152.9 【110.8】
	(3) 母島漁港(北港)	3.68~8.76 (3.68~8.76)	6.10 (6.10)	90.2~92.9 【91.6】	106.6~149.7 【107.5】
	島全体	2.90~15.91 (2.90~15.91)	6.96 (6.96)	88.7~105.8 【97.0】	90.4~183.3 【107.8】
ケース⑥	(1) 沖港	2.61~6.35 (2.61~6.35)	3.97 (3.97)	90.0~92.7 【92.1】	95.4~169.3 【156.0】
	(2) 母島漁港(東港)	2.23~11.20 (2.23~11.20)	6.41 (6.41)	94.4~102.4 【94.5】	104.3~170.1 【134.5】
	(3) 母島漁港(北港)	2.72~8.60 (2.72~8.60)	5.03 (5.03)	90.1~92.5 【92.1】	105.5~147.0 【139.4】
	島全体	2.16~11.20 (2.16~11.20)	4.32 (4.32)	88.7~103.4 【94.5】	90.6~220.5 【134.5】
ケース⑧	(1) 沖港	2.30~5.74 (2.30~5.74)	3.29 (3.29)	86.3~89.0 【88.3】	87.7~195.0 【99.4】
	(2) 母島漁港(東港)	2.72~6.89 (2.72~6.89)	4.70 (4.70)	90.7~99.1 【90.8】	100.8~199.7 【117.5】
	(3) 母島漁港(北港)	2.24~7.17 (2.24~7.17)	4.50 (4.50)	86.5~95.3 【88.4】	108.8~152.1 【128.3】
	島全体	1.51~9.07 (1.51~9.07)	3.88 (3.89)	85.0~113.7 【91.7】	86.4~286.4 【137.0】

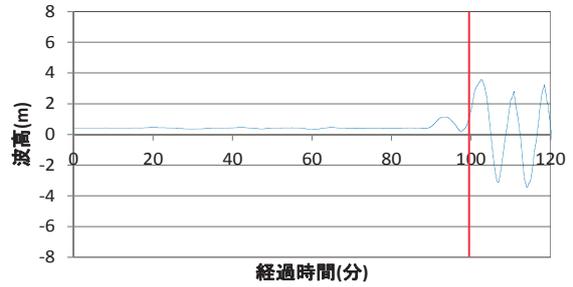
11-3) 母島の代表点の津波波形 (12時間波形及び最初の2時間の波形)

(赤線: 1m津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))

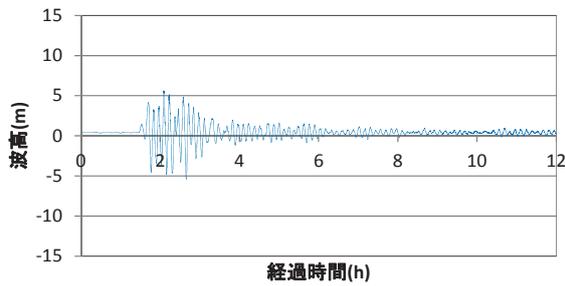
母島 東港付近海上 ケース1



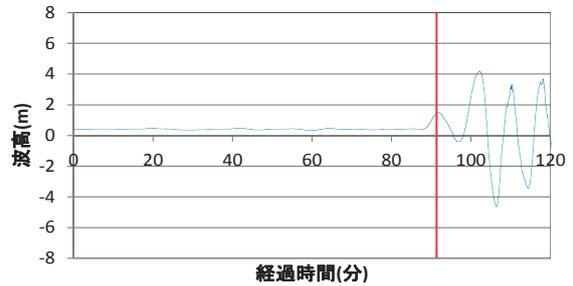
母島 東港付近海上 ケース1



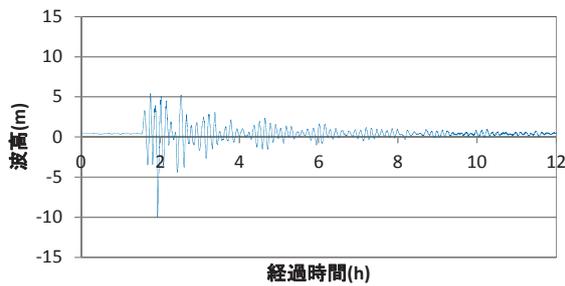
母島 東港付近海上 ケース2



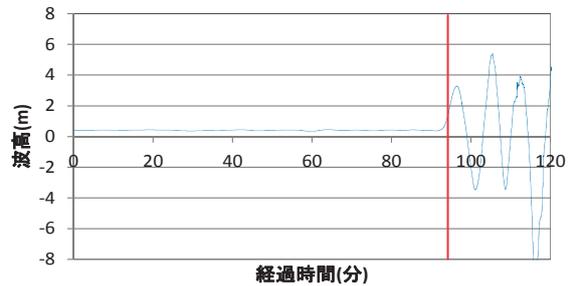
母島 東港付近海上 ケース2



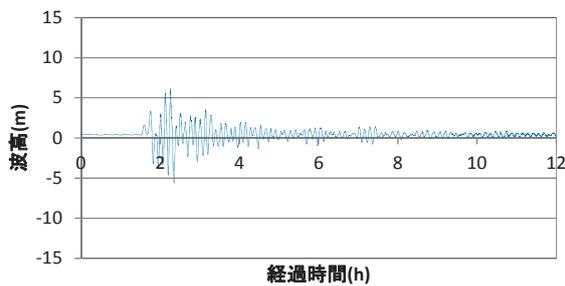
母島 東港付近海上 ケース5



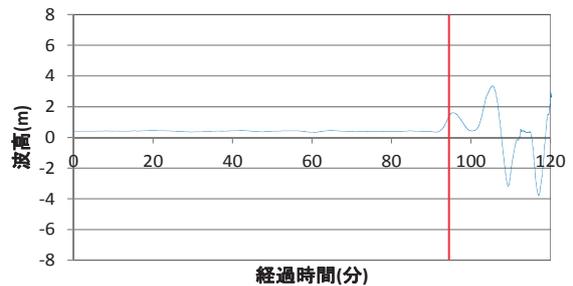
母島 東港付近海上 ケース5



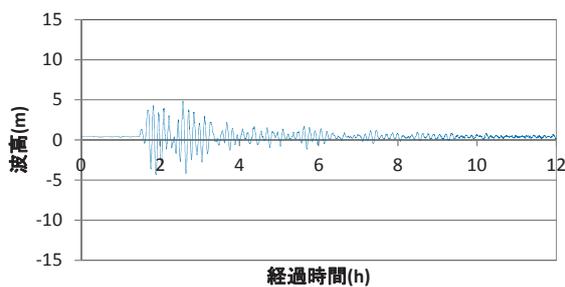
母島 東港付近海上 ケース6



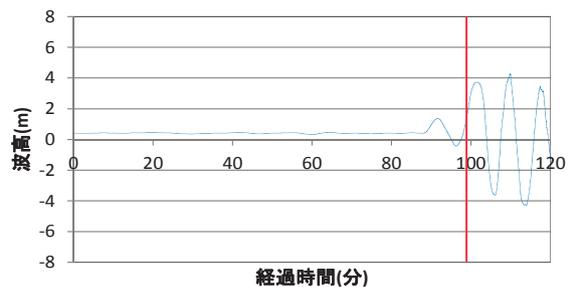
母島 東港付近海上 ケース6



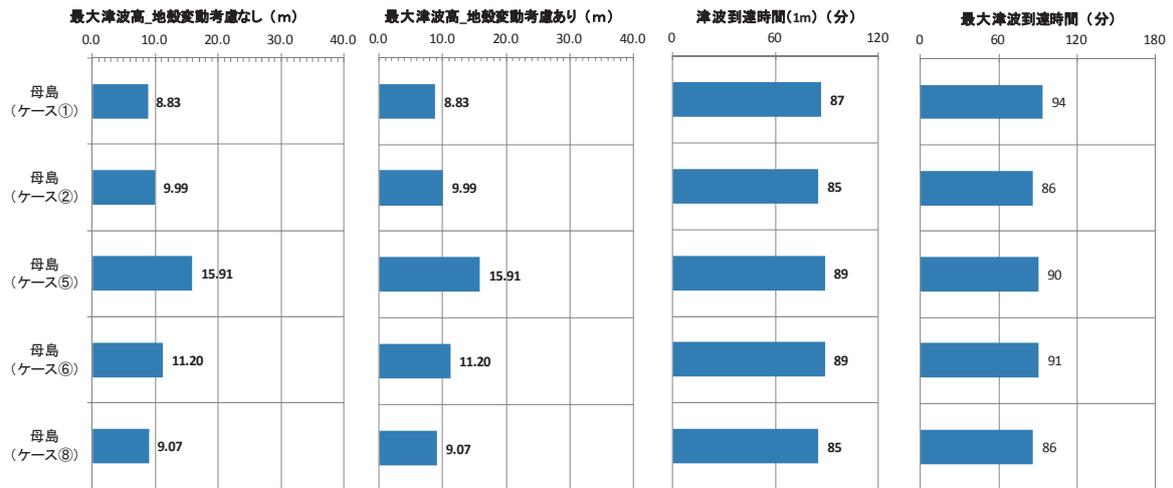
母島 東港付近海上 ケース8



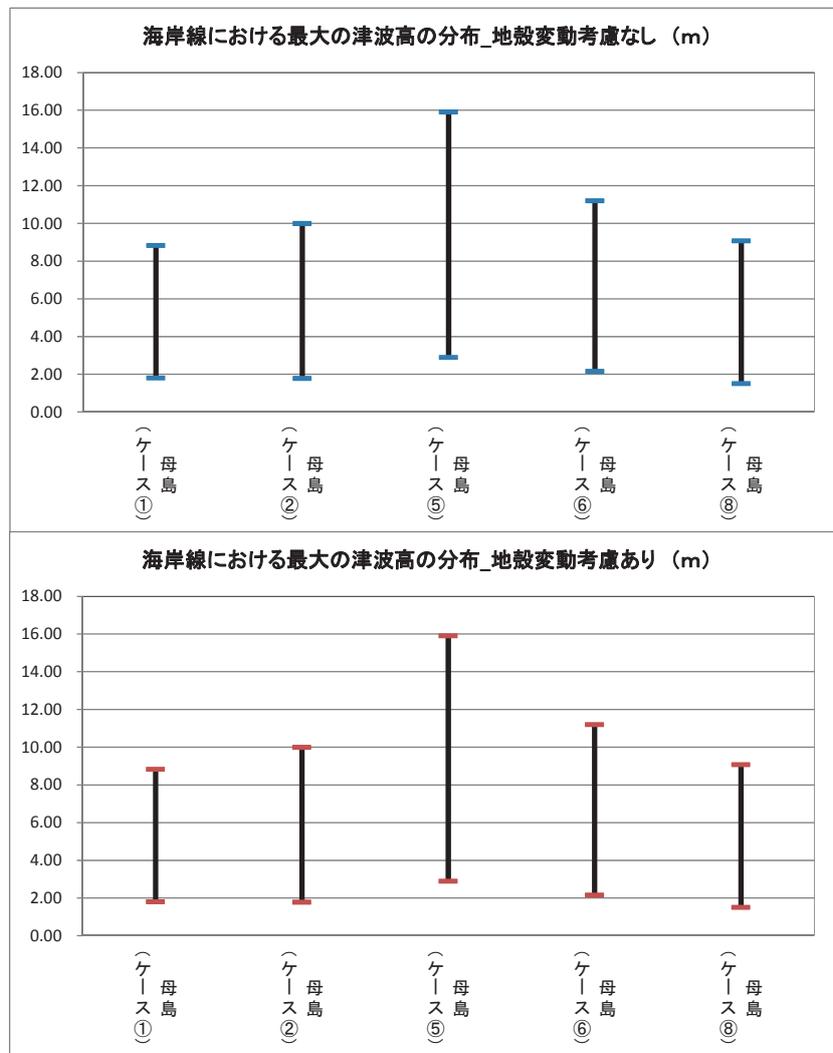
母島 東港付近海上 ケース8



11-4) 母島 (全体) の海岸線における最大津波高 (及びその範囲)・到達時間

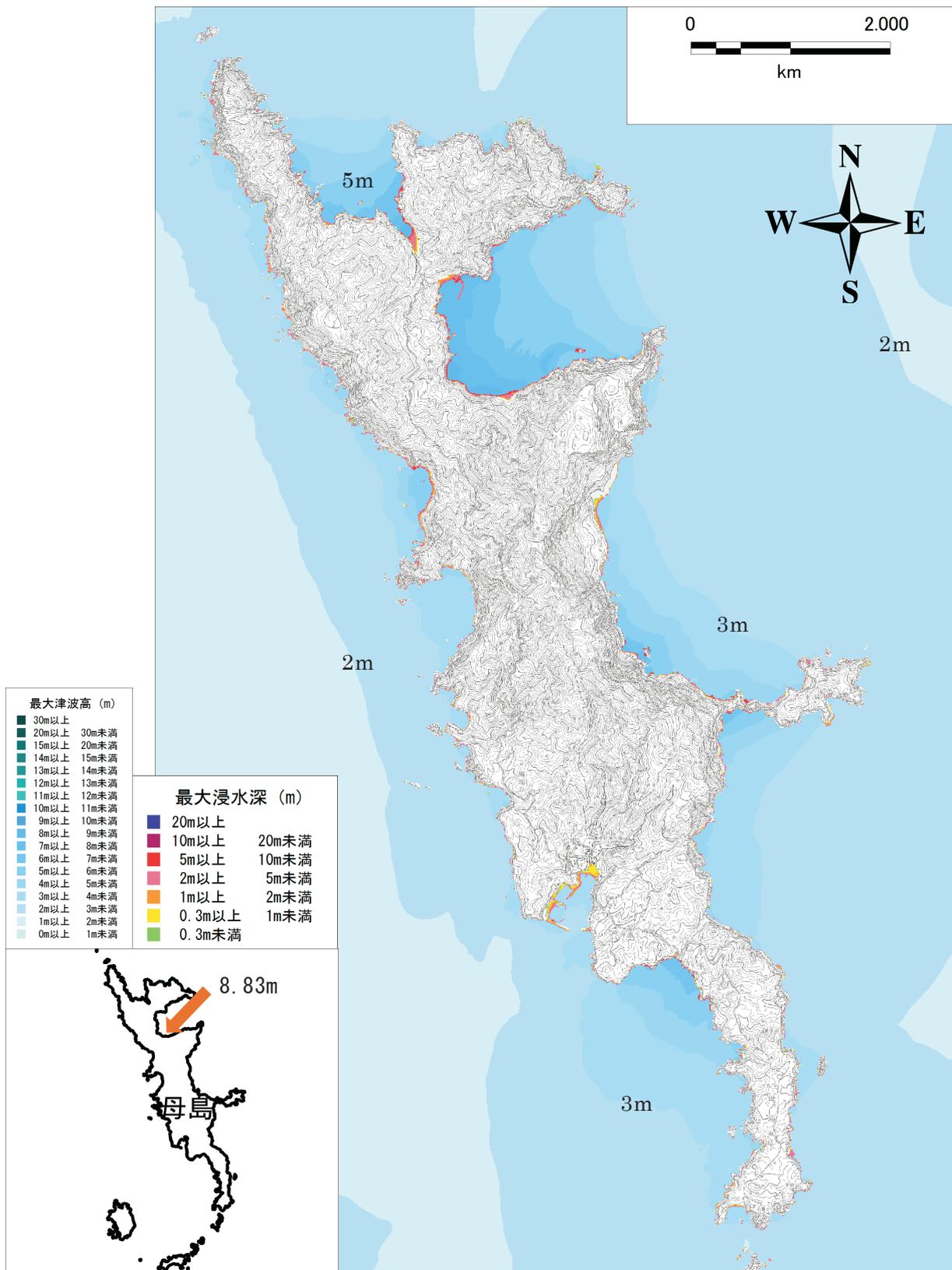


ケース別最大津波高と津波到達時間 (1 m 及び最大波)



ケース別最大津波高の範囲

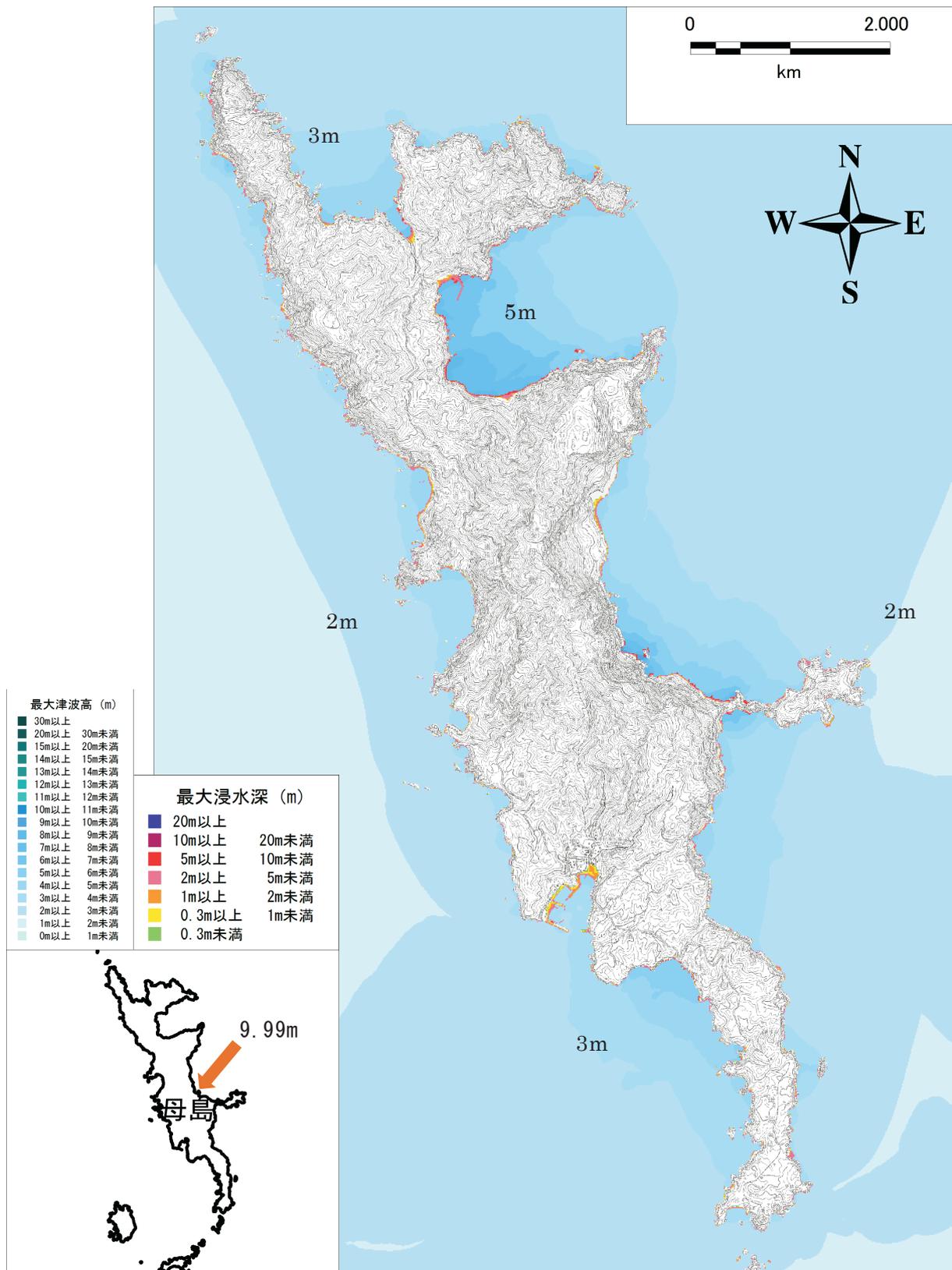
11-5) 母島全体の最大津波高・最大浸水深分布図 (ケース別)



母島全体での最大津波高地点

母島ケース①

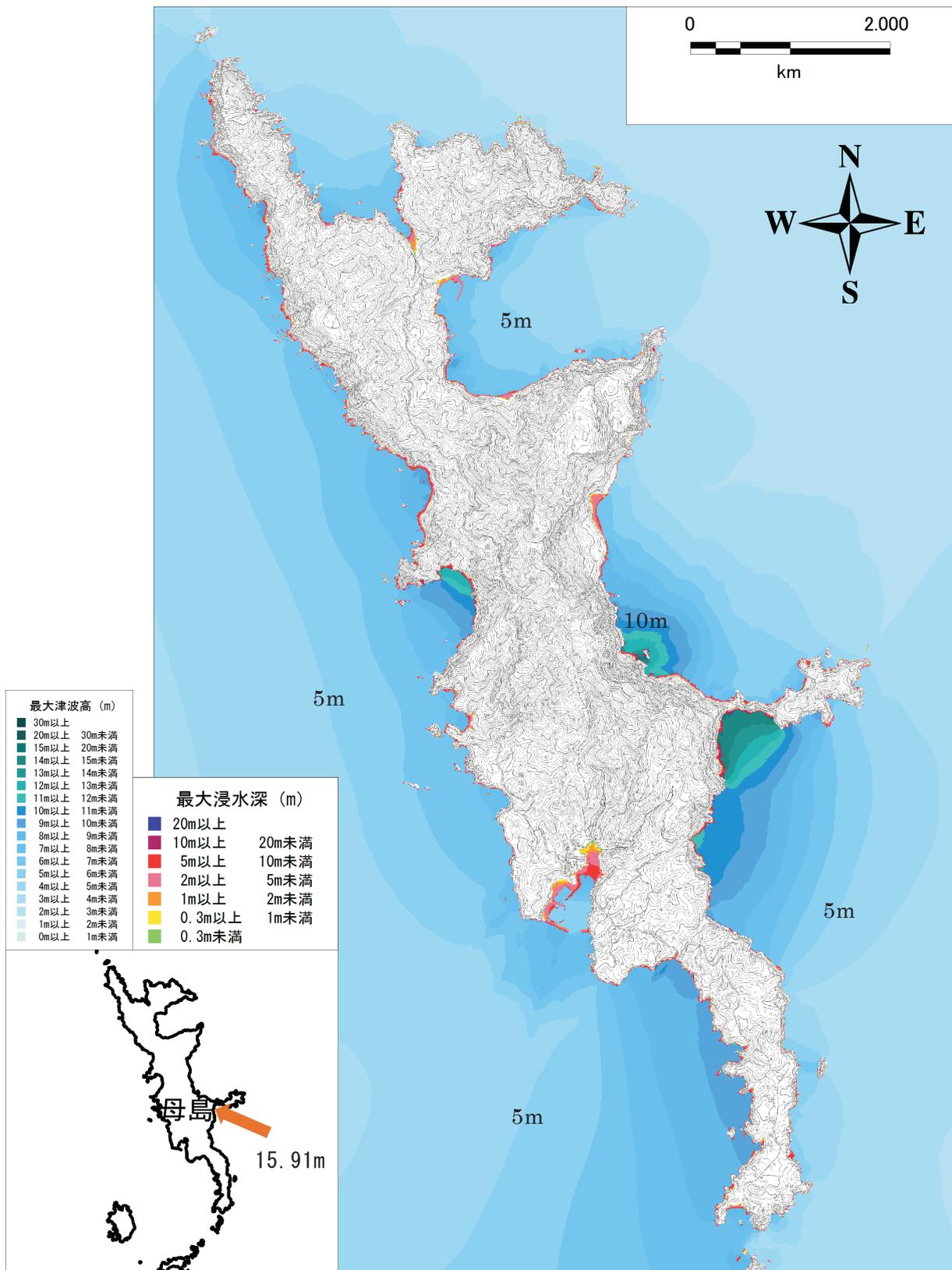
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平25情復、第27号)



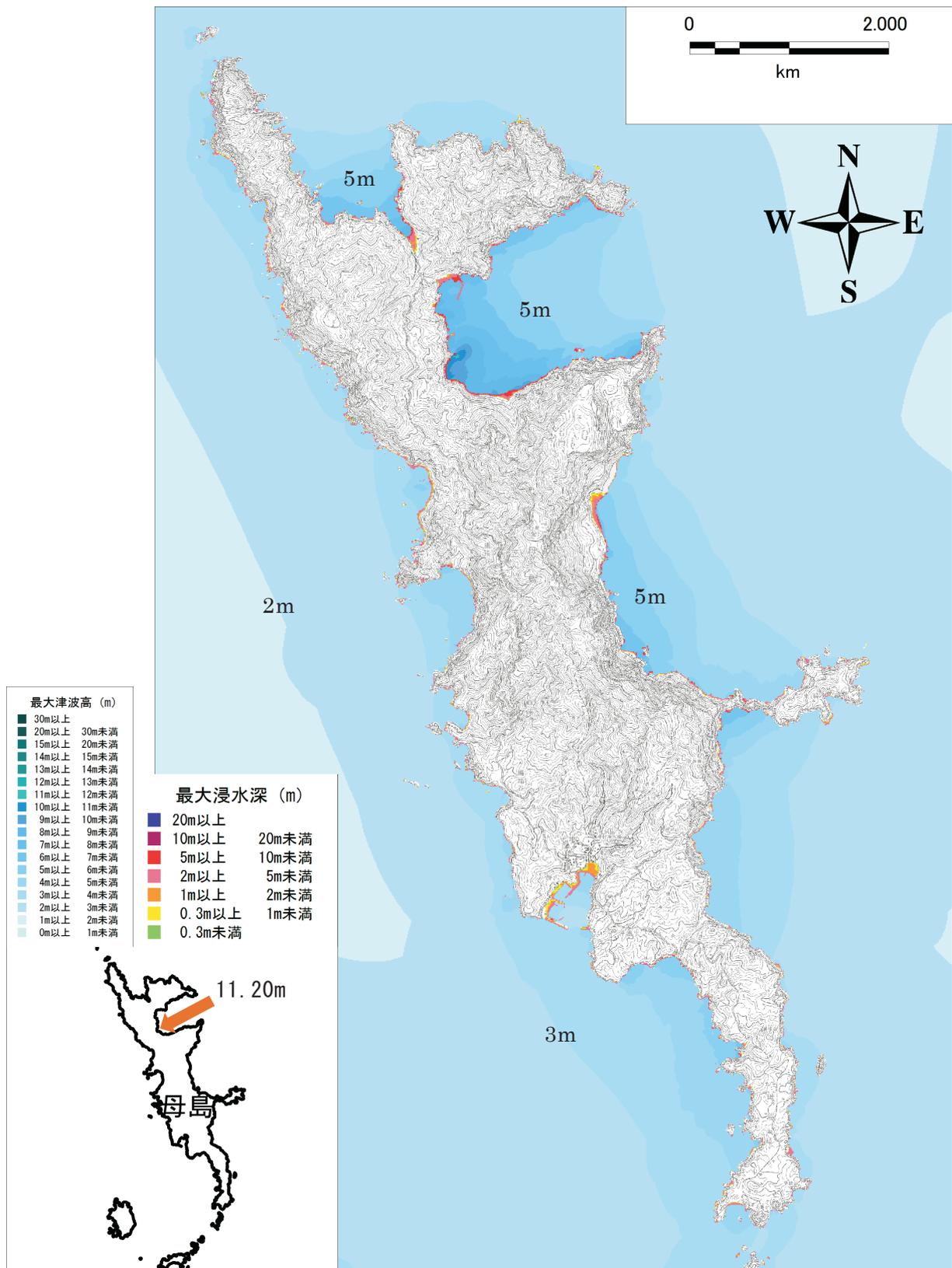
母島全体での最大津波高地点

母島ケース②

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



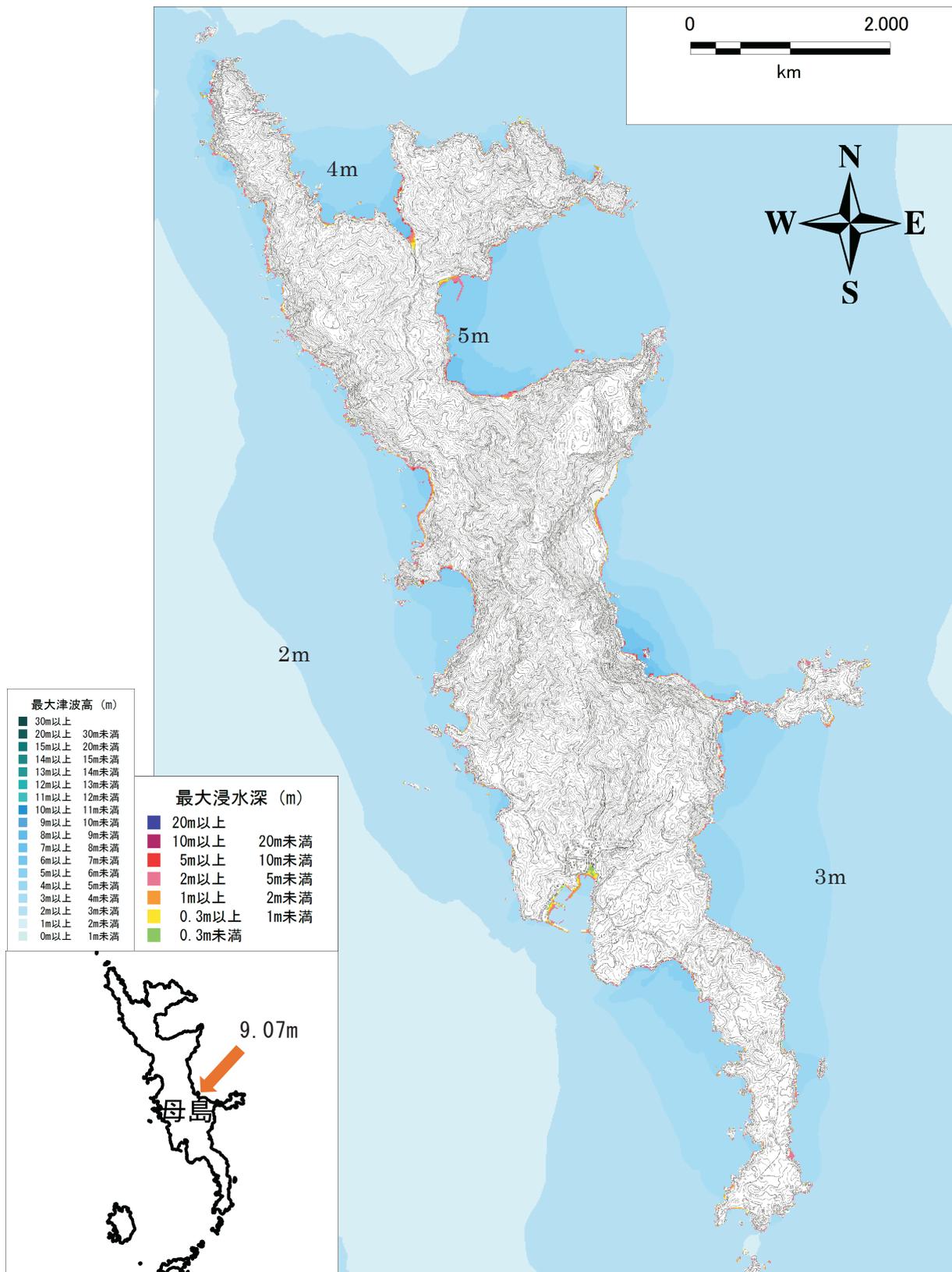
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



母島全体での最大津波高地点

母島ケース⑥

この地図は、国土地理院院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)

## 2. 4 津波シミュレーションの結果について（東京湾）

### （1）表示内容

区部の東京湾岸の津波シミュレーション結果について、以下の最大津波高・最大浸水深分布図を示す。

#### 南海トラフ巨大地震（M9.1）

- ケース①・水門閉鎖：広域図及び拡大図
- ケース①・水門開放：広域図及び拡大図
- ケース②・水門閉鎖：広域図及び拡大図
- ケース②・水門開放：広域図及び拡大図
- ケース⑤・水門閉鎖：広域図及び拡大図
- ケース⑤・水門開放：広域図及び拡大図
- ケース⑥・水門閉鎖：広域図及び拡大図
- ケース⑥・水門開放：広域図及び拡大図
- ケース⑧・水門閉鎖：広域図及び拡大図
- ケース⑧・水門開放：広域図及び拡大図

区部の総括表及び拡大図に付随する表の表示内容は以下のとおりである。

区部の総括表

ケース	区市町村名	各地点の最大津波高(m) (地殻変動を考慮しない場合の値)	各地点の最大津波高の平均値(m) (地殻変動を考慮しない場合の値)	各地点の50cm津波高の到達時間(分) 【当該範囲で最大津波高が来る地点での時間】	各地点の最大津波高の到達時間(分) 【当該範囲で最大津波高が来る地点での時間】
ケース〇 水門閉鎖 または開放	●●	A~B  (a~b)	C  (c)	D~E  【H】	F~G  【I】

拡大図に付随する表

ケース	区市町村名	最大津波高(m) 地殻変動考慮せず	最大津波高(m) 地殻変動考慮	最大津波高到達時間 (最短)(分)
ケース〇 水門閉鎖 または開放	●●	b	B	F

上記のA~Iについては、当該対象範囲に含まれる海岸線の各地点での、次の値を示す。

- A：最大津波高のうち、一番小さい値（a：地殻変動量を考慮しない場合の値）
- B：最大津波高のうち、一番大きい値（b：地殻変動量を考慮しない場合の値）
- C：最大津波高（A~B）の平均値（c：地殻変動量を考慮しない場合のa~bの平均値）
- D：津波高がいずれかの地点で最初に50cmに達する時間
- E：津波高がすべての地点で50cmに達する時間（50cm津波高に達しない地点は除く。）
- F：最大津波高が到来する一番早い時間
- G：最大津波高が到来する一番遅い時間
- H：最大津波高のうち一番大きい値（B）の地点で津波高が50cmに達する時間（複数あれば最短）
- I：最大津波高のうち一番大きい値（B）の地点で最大津波高が到来する時間（複数あれば最短）

## (2) 区部の総括表

区部の総括表 (その1)

ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の50cm津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース① 水門閉鎖	東京湾埋立地	1.55~1.91 (1.45~1.81)	1.76 (1.66)	92.6~135.6 【92.7】	101.1~184.2 【110.6】
	中央区	1.98~2.37 (1.88~2.27)	2.22 (2.12)	101.7~120.2 【103.6】	130.8~207.3 【194.2】
	港区	1.93~2.31 (1.83~2.20)	2.24 (2.13)	100.6~104.0 【102.3】	113.3~195.7 【192.9】
	江東区	1.64~2.45 (1.54~2.35)	2.01 (1.91)	94.5~112.6 【108.0】	103.0~206.5 【200.4】
	品川区	1.47~2.34 (1.36~2.24)	2.04 (1.94)	98.6~127.4 【101.9】	127.5~200.9 【195.8】
	大田区	1.40~2.25 (1.30~2.15)	1.80 (1.70)	76.1~207.9 【102.7】	88.4~215.5 【192.3】
	江戸川区	1.49~2.08 (1.39~1.98)	1.75 (1.65)	95.7~176.5 【118.5】	100.5~255.9 【131.7】
ケース① 水門開放	東京湾埋立地	1.52~1.86 (1.42~1.76)	1.73 (1.63)	92.9~136.9 【92.9】	101.2~184.6 【109.6】
	中央区	1.87~2.19 (1.77~2.09)	2.05 (1.95)	103.1~124.8 【105.1】	130.8~209.7 【195.0】
	港区	1.86~2.19 (1.75~2.08)	2.10 (2.00)	102.7~105.9 【103.5】	188.3~195.0 【194.7】
	江東区	1.46~2.15 (1.36~2.05)	1.88 (1.76)	95.5~116.5 【103.9】	102.2~205.7 【194.1】
	品川区	1.45~2.24 (1.35~2.13)	1.96 (1.85)	102.4~127.3 【102.6】	114.2~201.3 【195.9】
	大田区	1.39~2.17 (1.29~2.07)	1.78 (1.68)	76.1~207.8 【103.6】	89.7~228.9 【191.9】
	江戸川区	1.31~1.82 (1.21~1.72)	1.55 (1.45)	96.0~175.1 【96.9】	100.0~674.6 【100.8】
ケース② 水門閉鎖	東京湾埋立地	1.58~1.88 (1.50~1.80)	1.73 (1.65)	106.3~112.7 【108.4】	112.0~193.5 【191.8】
	中央区	1.97~2.46 (1.89~2.38)	2.29 (2.21)	111.9~129.0 【113.1】	139.5~218.0 【203.3】
	港区	2.01~2.40 (1.93~2.32)	2.27 (2.19)	110.9~113.3 【112.0】	198.9~206.4 【201.4】
	江東区	1.65~2.48 (1.57~2.40)	1.98 (1.90)	106.4~126.0 【114.9】	115.7~214.9 【204.5】
	品川区	1.48~2.44 (1.39~2.36)	2.04 (1.96)	109.5~137.6 【111.2】	120.8~213.9 【203.5】
	大田区	1.40~2.37 (1.32~2.29)	1.83 (1.75)	89.7~141.4 【111.9】	101.5~226.0 【202.4】
	江戸川区	1.56~2.07 (1.48~1.99)	1.75 (1.67)	106.8~189.4 【127.0】	118.9~220.0 【143.6】

区部の総括表（その2）

ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の50cm津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース② 水門開放	東京湾埋立地	1.55～1.85 (1.47～1.77)	1.71 (1.63)	106.4～114.4 【108.6】	112.5～195.0 【191.4】
	中央区	1.89～2.28 (1.81～2.20)	2.11 (2.03)	113.2～134.0 【115.0】	139.4～219.9 【203.8】
	港区	1.93～2.26 (1.85～2.18)	2.14 (2.06)	112.9～115.0 【113.7】	198.5～206.3 【202.1】
	江東区	1.59～2.26 (1.51～2.18)	1.86 (1.79)	107.3～129.2 【114.1】	116.1～216.2 【201.5】
	品川区	1.45～2.34 (1.37～2.25)	1.97 (1.88)	112.2～137.4 【112.3】	121.4～214.5 【203.3】
	大田区	1.38～2.30 (1.30～2.22)	1.81 (1.73)	90.1～204.1 【112.7】	101.5～225.9 【202.7】
	江戸川区	1.35～1.77 (1.27～1.69)	1.55 (1.47)	107.9～187.1 【109.5】	118.8～551.0 【121.8】
ケース⑤ 水門閉鎖	東京湾埋立地	1.36～1.74 (1.31～1.69)	1.49 (1.44)	116.4～321.2 【116.4】	120.7～229.5 【120.7】
	中央区	1.70～1.93 (1.65～1.88)	1.83 (1.78)	129.0～283.3 【129.1】	231.5～251.6 【234.3】
	港区	1.71～1.87 (1.66～1.81)	1.80 (1.75)	126.1～222.5 【126.1】	229.4～234.4 【233.3】
	江東区	1.42～2.00 (1.37～1.95)	1.66 (1.62)	128.8～316.9 【128.8】	217.3～241.5 【238.4】
	品川区	1.31～1.86 (1.26～1.81)	1.68 (1.63)	127.0～239.4 【127.0】	149.2～246.4 【236.8】
	大田区	1.22～1.85 (1.18～1.80)	1.57 (1.52)	193.9～332.8 【139.4】	125.2～250.2 【234.0】
	江戸川区	1.37～1.75 (1.32～1.70)	1.53 (1.48)	139.3～319.8 【139.4】	150.9～254.1 【247.5】
ケース⑤ 水門開放	東京湾埋立地	1.36～1.74 (1.32～1.70)	1.49 (1.44)	116.4～322.3 【116.4】	121.5～229.6 【121.5】
	中央区	1.68～1.92 (1.63～1.87)	1.77 (1.72)	126.7～240.8 【220.8】	224.1～252.0 【224.1】
	港区	1.68～1.83 (1.63～1.78)	1.77 (1.72)	220.8～223.5 【220.9】	229.7～234.8 【233.6】
	江東区	1.42～1.83 (1.37～1.78)	1.62 (1.57)	131.0～315.0 【131.0】	217.3～247.2 【233.2】
	品川区	1.30～1.83 (1.25～1.78)	1.67 (1.62)	126.9～240.2 【126.9】	151.6～248.2 【236.6】
	大田区	1.23～1.83 (1.19～1.78)	1.57 (1.52)	193.7～332.4 【220.1】	197.3～583.7 【234.1】
	江戸川区	1.25～1.65 (1.20～1.61)	1.44 (1.40)	215.8～311.6 【218.4】	216.0～720.0 【259.9】

区部の総括表（その3）

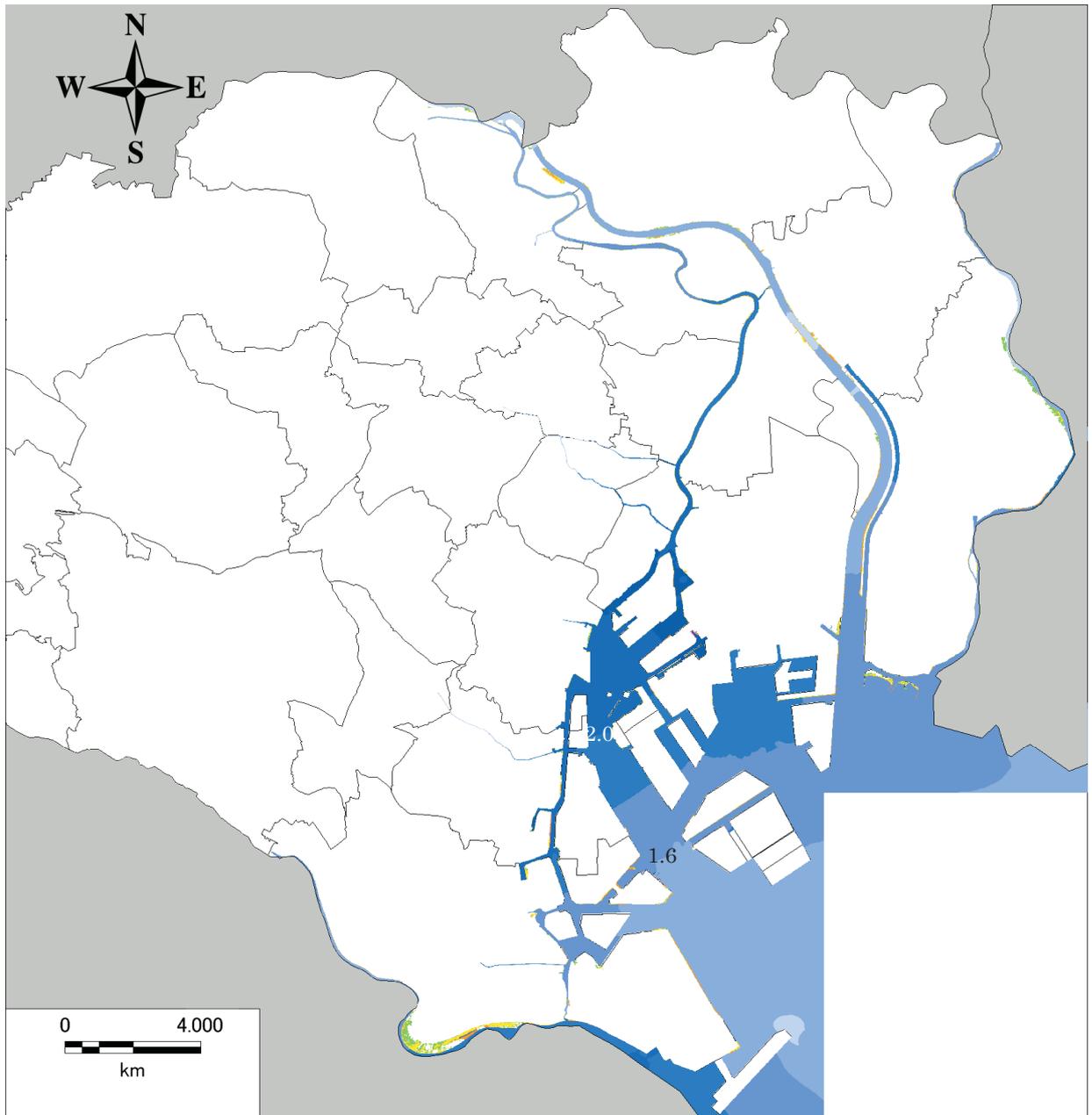
ケース	対象範囲	各地点の最大津波高(m) (地殻変動を考慮しない場合の値)	各地点の最大津波高の平均値(m) (地殻変動を考慮しない場合の値)	各地点の50cm津波高の到達時間(分) 【当該範囲で最大津波高が来る地点での時間】	各地点の最大津波高の到達時間(分) 【当該範囲で最大津波高が来る地点での時間】
ケース⑥ 水門閉鎖	東京湾埋立地	1.50~1.85 (1.40~1.75)	1.71 (1.61)	92.6~136.8 【92.8】	91.5~184.3 【106.5】
	中央区	1.92~2.27 (1.82~2.17)	2.14 (2.04)	101.7~120.3 【103.7】	130.1~206.4 【192.3】
	港区	1.87~2.21 (1.77~2.11)	2.16 (2.06)	100.7~104.3 【101.7】	185.7~194.3 【189.4】
	江東区	1.61~2.37 (1.51~2.27)	1.95 (1.85)	94.8~112.9 【108.0】	102.3~202.5 【199.1】
	品川区	1.45~2.26 (1.34~2.16)	1.99 (1.88)	99.4~199.4 【102.0】	127.4~200.7 【195.4】
	大田区	1.37~2.17 (1.28~2.07)	1.77 (1.67)	76.1~212.0 【102.7】	86.2~215.3 【190.8】
	江戸川区	1.48~2.02 (1.38~1.93)	1.71 (1.62)	95.7~176.6 【118.8】	100.2~257.2 【129.4】
ケース⑥ 水門開放	東京湾埋立地	1.48~1.80 (1.38~1.70)	1.67 (1.58)	92.9~137.3 【93.1】	92.0~184.1 【110.7】
	中央区	1.83~2.11 (1.73~2.01)	1.99 (1.89)	103.2~125.3 【105.1】	131.9~209.7 【194.7】
	港区	1.81~2.10 (1.71~2.00)	2.04 (1.94)	103.1~106.4 【103.5】	185.9~194.7 【192.2】
	江東区	1.42~2.08 (1.32~1.98)	1.83 (1.73)	95.9~160.9 【104.0】	102.6~253.5 【194.7】
	品川区	1.43~2.15 (1.33~2.05)	1.91 (1.80)	102.4~200.8 【102.5】	127.4~201.0 【195.1】
	大田区	1.37~2.10 (1.28~2.00)	1.74 (1.65)	76.1~212.1 【79.6】	87.1~229.1 【190.9】
	江戸川区	1.30~1.80 (1.20~1.71)	1.53 (1.44)	96.0~239.2 【96.8】	99.7~673.8 【100.7】
ケース⑧ 水門閉鎖	東京湾埋立地	1.48~1.83 (1.39~1.74)	1.67 (1.58)	93.5~113.1 【93.7】	103.9~115.1 【111.9】
	中央区	1.88~2.21 (1.79~2.11)	2.09 (1.99)	103.0~121.7 【104.9】	131.7~211.0 【197.6】
	港区	1.81~2.18 (1.72~2.08)	2.05 (1.95)	102.5~106.2 【103.3】	192.0~196.4 【195.8】
	江東区	1.54~2.25 (1.45~2.16)	1.86 (1.77)	97.4~166.4 【109.3】	102.1~208.7 【203.6】
	品川区	1.44~2.28 (1.34~2.18)	1.90 (1.80)	102.7~127.4 【103.1】	115.4~200.0 【196.7】
	大田区	1.33~2.10 (1.24~2.00)	1.70 (1.61)	77.5~209.8 【104.1】	86.0~221.5 【195.1】
	江戸川区	1.44~1.93 (1.35~1.84)	1.66 (1.57)	96.9~181.7 【119.9】	100.5~266.5 【129.5】

区部の総括表（その4）

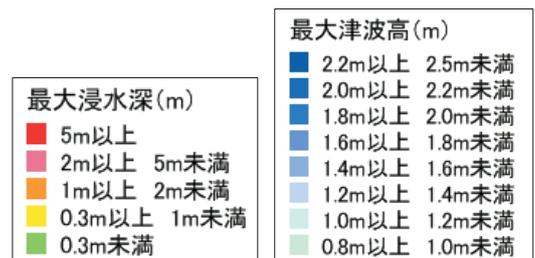
ケース	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の50cm津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
ケース⑧ 水門開放	東京湾埋立地	1.46～1.79 (1.37～1.69)	1.64 (1.55)	94.0～113.6 【94.3】	103.9～181.9 【111.5】
	中央区	1.76～2.06 (1.66～1.96)	1.94 (1.84)	104.7～128.2 【106.6】	131.5～213.2 【198.1】
	港区	1.73～2.06 (1.64～1.96)	1.94 (1.84)	104.8～108.8 【104.8】	192.1～197.1 【196】
	江東区	1.44～2.04 (1.35～1.95)	1.75 (1.66)	98.3～164.8 【105.4】	102.9～255.6 【196.3】
	品川区	1.42～2.17 (1.32～2.07)	1.83 (1.73)	103.6～127.1 【103.7】	115.5～197.3 【196.8】
	大田区	1.33～2.03 (1.24～1.93)	1.68 (1.58)	77.5～290.2 【104.8】	85.6～229.9 【194.6】
	江戸川区	1.32～1.75 (1.23～1.66)	1.49 (1.40)	97.2～275.0 【98.0】	100.2～676.1 【101.5】

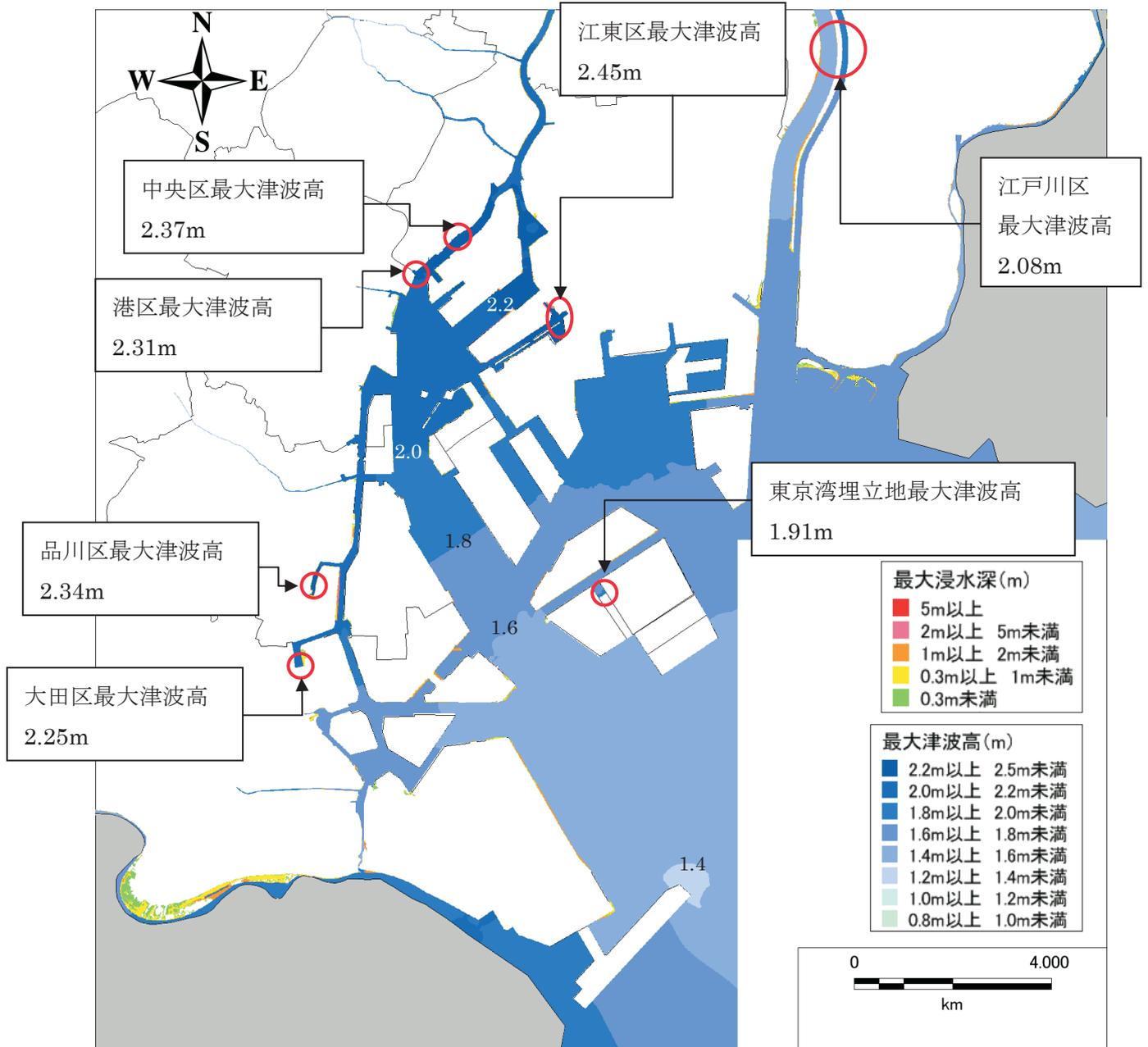
(3) 最大津波高・最大浸水深分布図（広域図及び拡大図）

図 東京湾（ケース①・水門閉鎖）



ケース①・水門閉鎖（広域図）

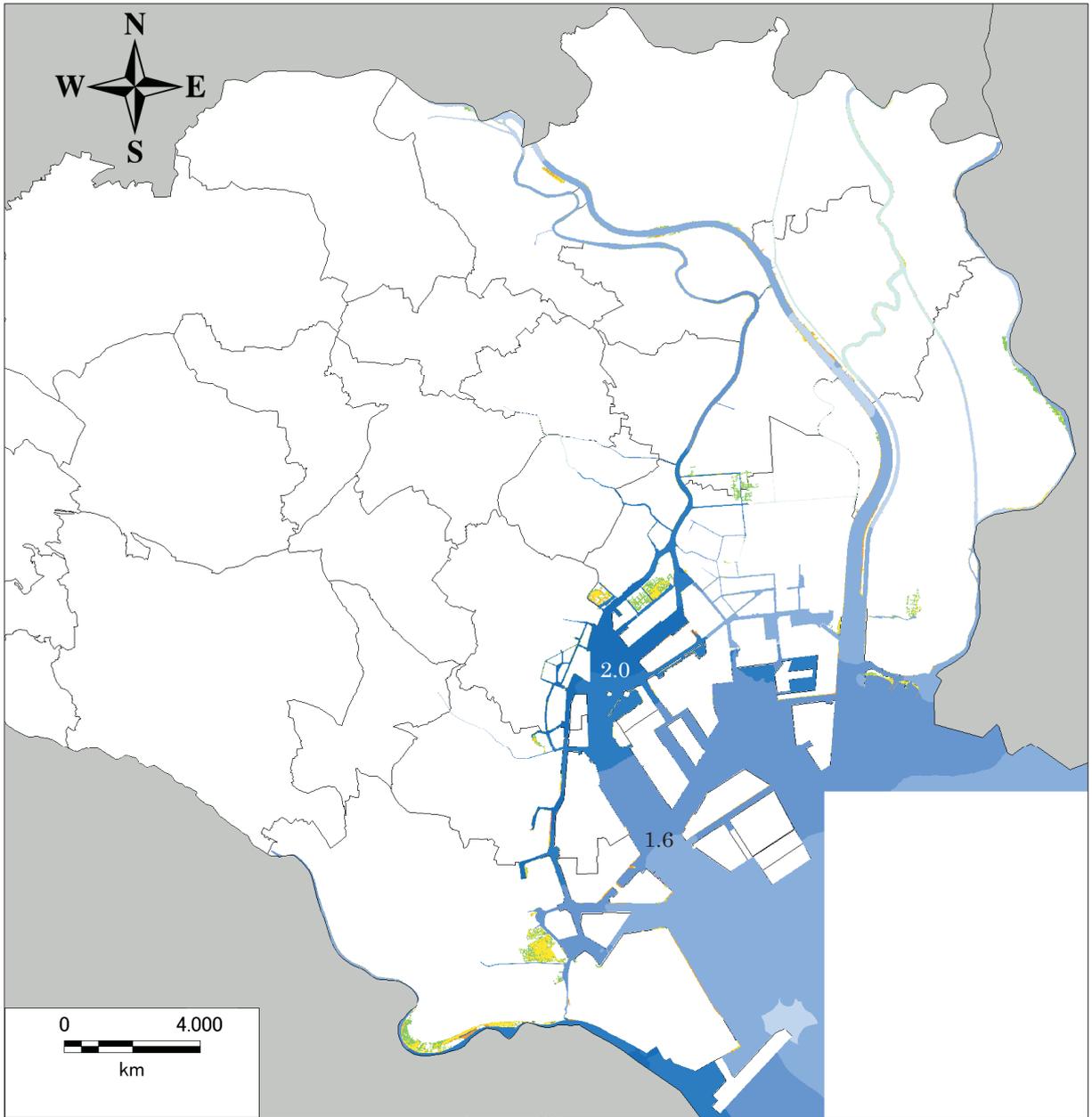




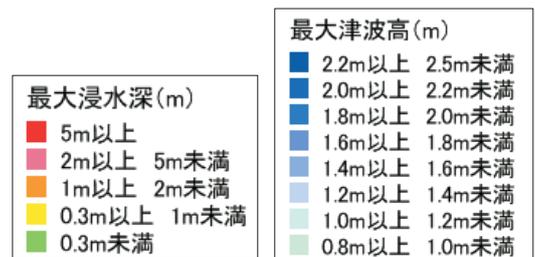
ケース①・水門閉鎖（拡大図）

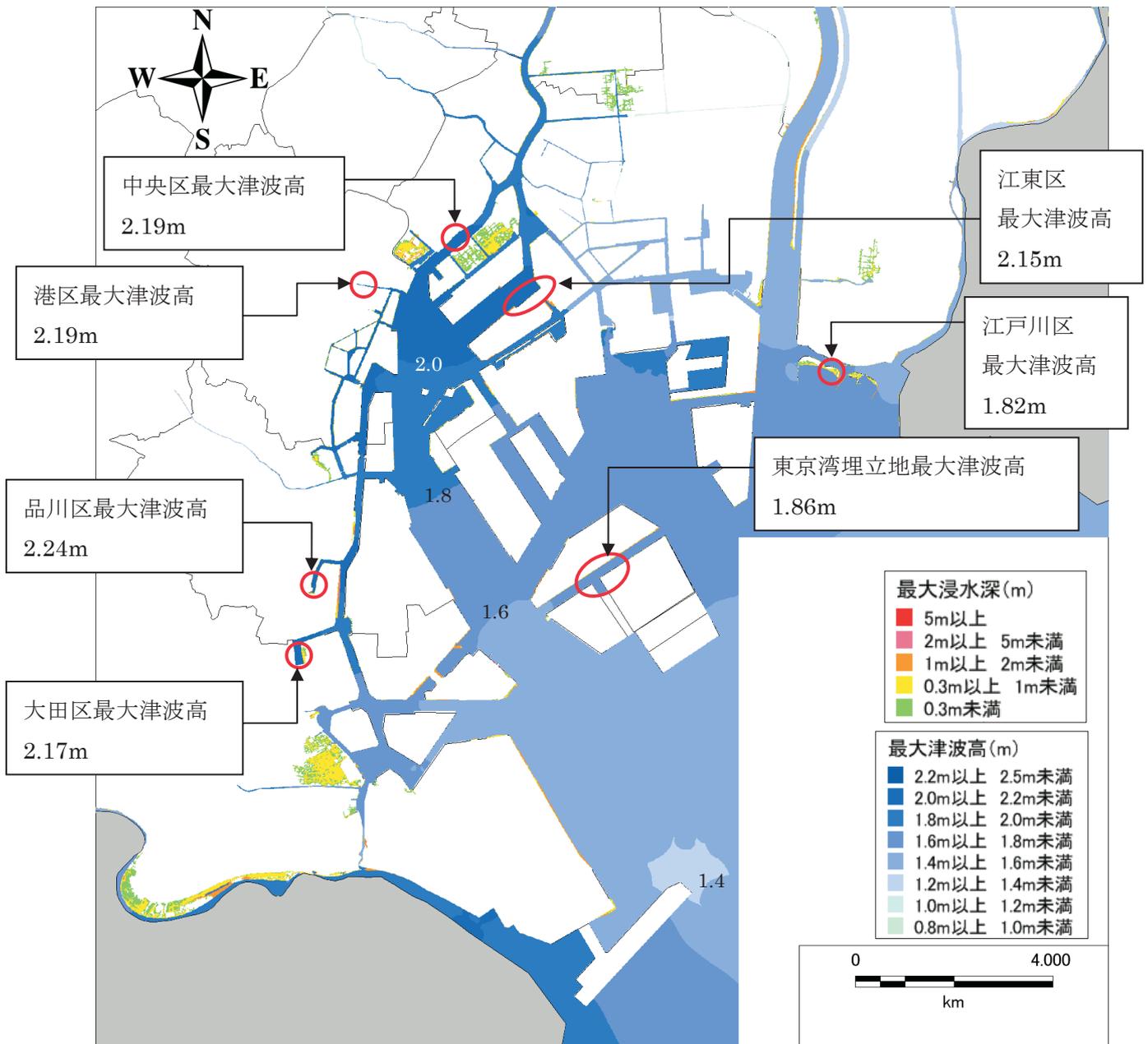
ケース	区市町村名	最大津波高(m) 地殻変動考慮せず	最大津波高(m) 地殻変動考慮	最大津波高到達時間 (最短)(分)
ケース① 水門閉鎖	東京湾埋立地	1.81	1.91	101.1
	中央区	2.27	2.37	130.8
	港区	2.20	2.31	113.3
	江東区	2.35	2.45	103.0
	品川区	2.24	2.34	127.5
	大田区	2.15	2.25	88.4
	江戸川区	1.98	2.08	100.5

図 東京湾（ケース①・水門開放）



ケース①・水門開放（広域図）

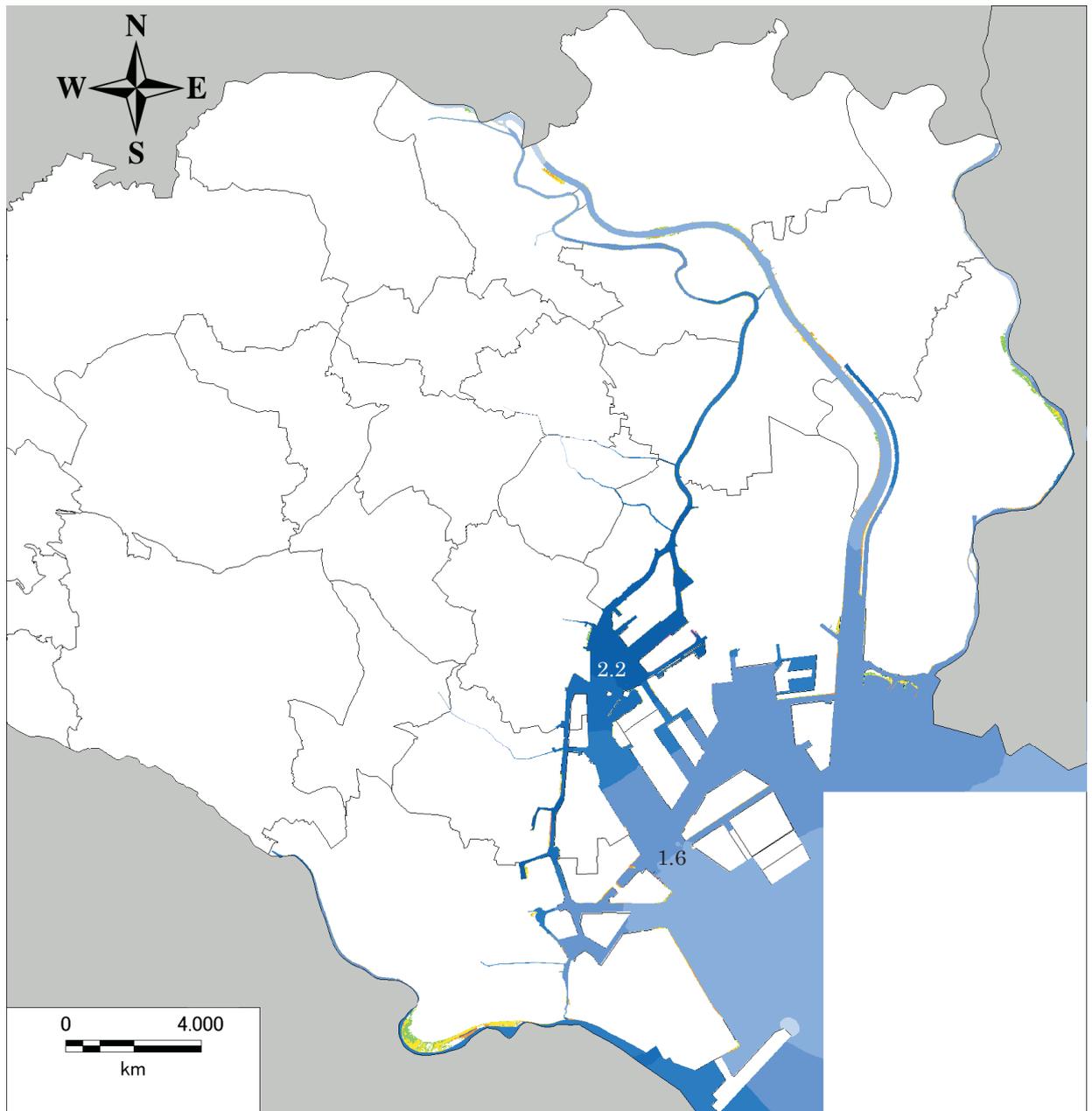




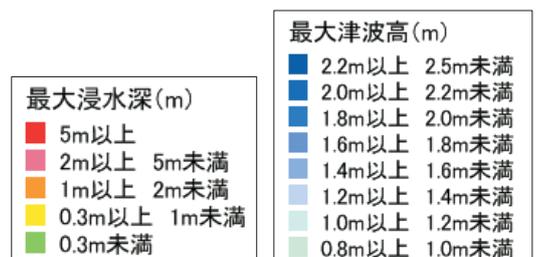
ケース①・水門開放（拡大図）

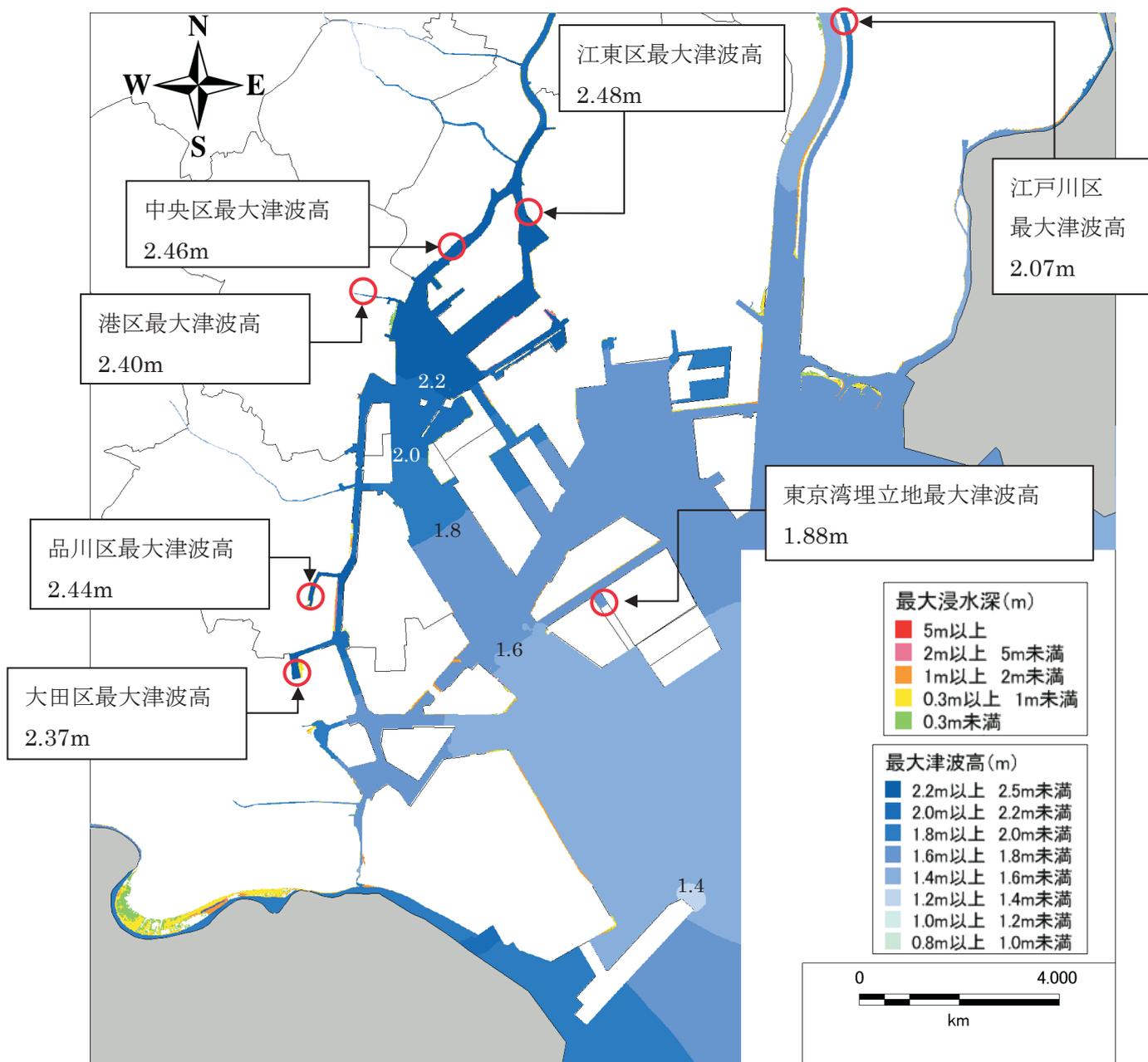
ケース	区市町村名	最大津波高(m) 地殻変動考慮せず	最大津波高(m) 地殻変動考慮	最大津波高到達時間 (最短)(分)
ケース① 水門開放	東京湾埋立地	1.76	1.86	101.2
	中央区	2.09	2.19	130.8
	港区	2.08	2.19	188.3
	江東区	2.05	2.15	102.2
	品川区	2.13	2.24	114.2
	大田区	2.07	2.17	89.7
	江戸川区	1.72	1.82	100.0

図 東京湾（ケース②・水門閉鎖）



ケース②・水門閉鎖（広域図）

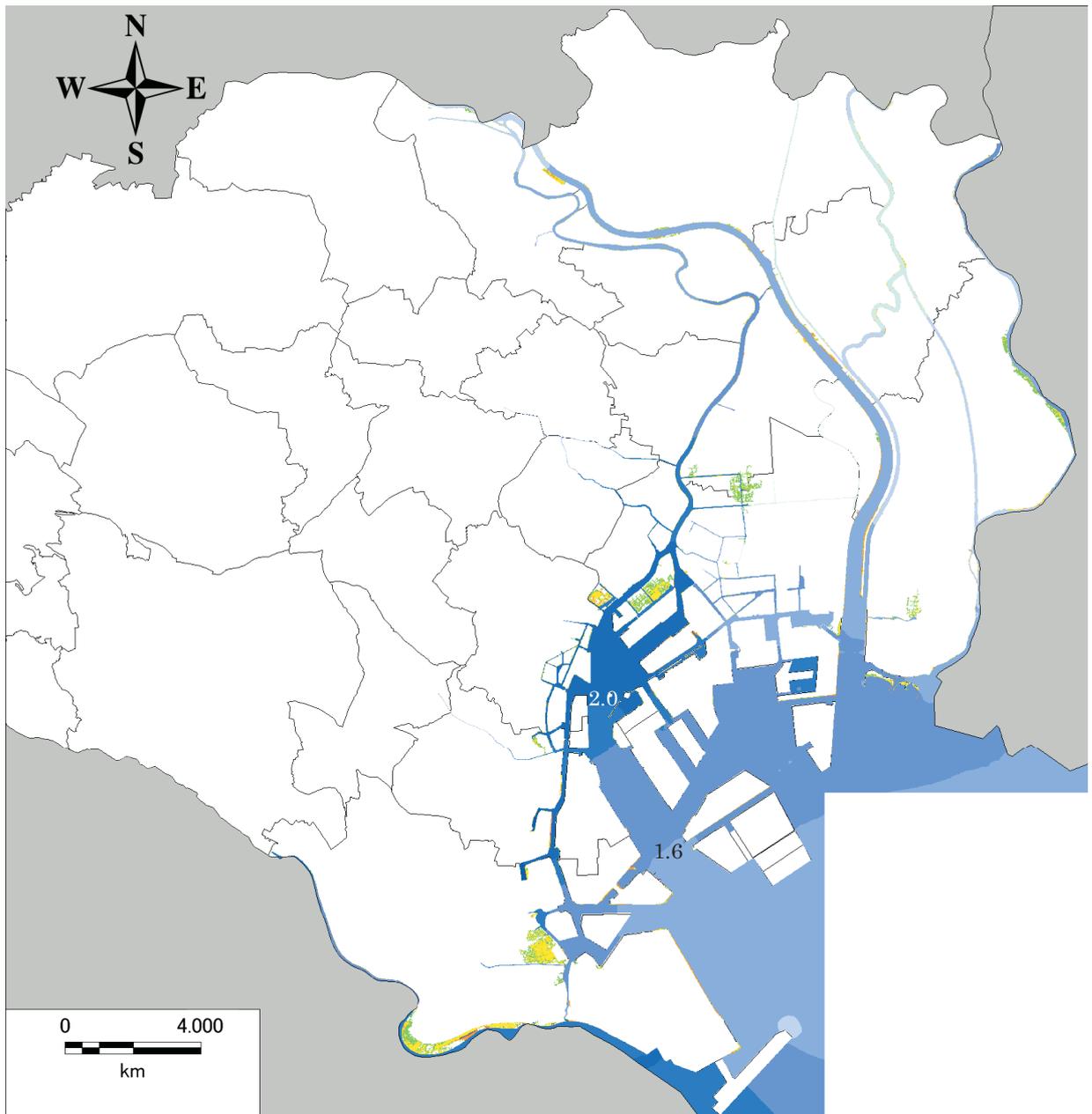




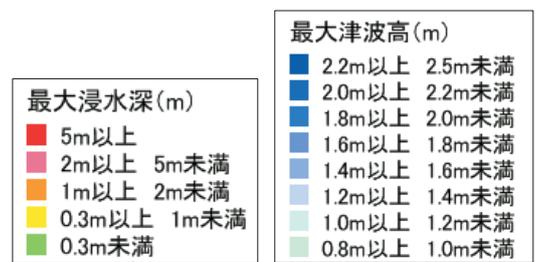
ケース②・水門閉鎖（拡大図）

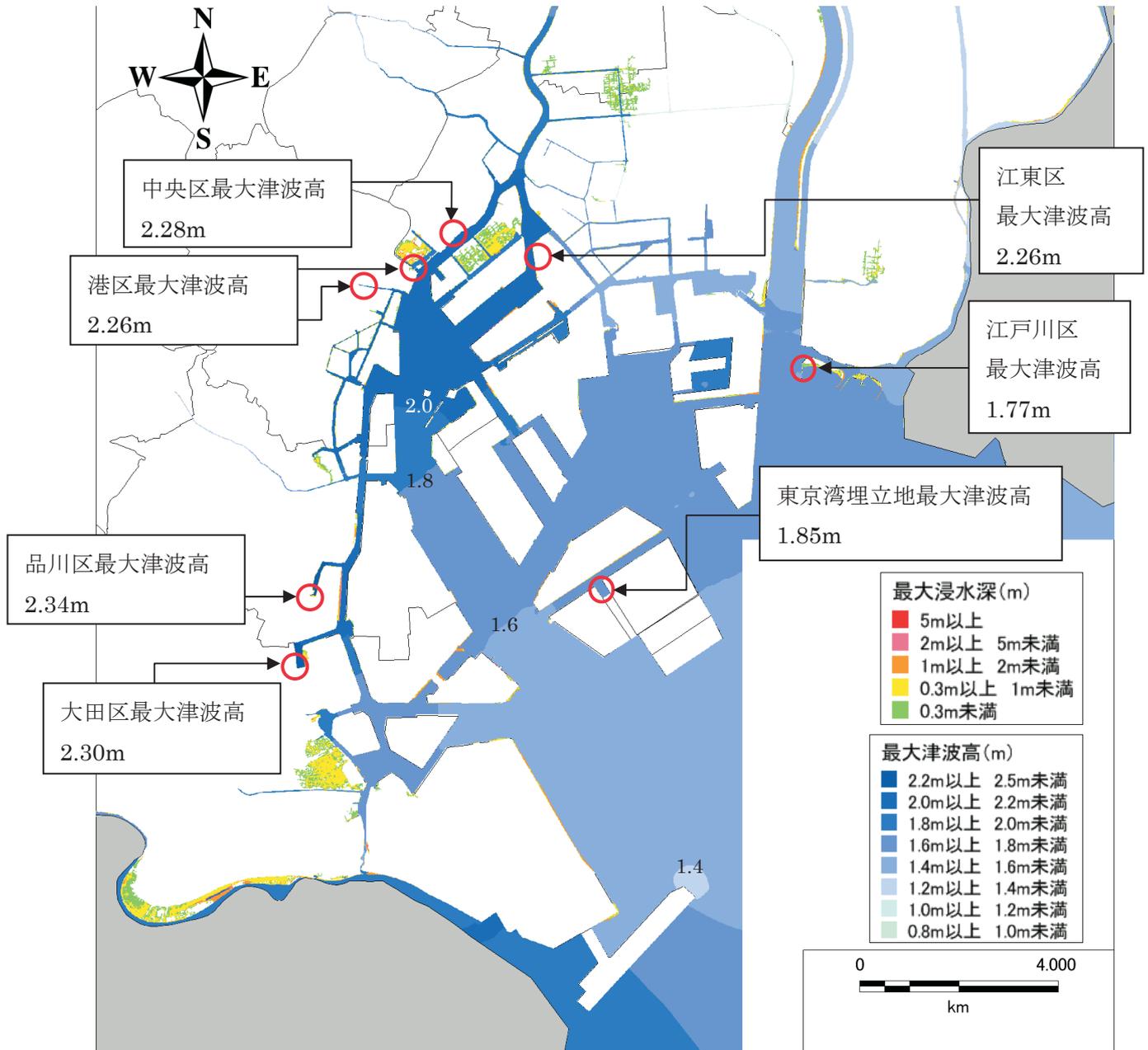
ケース	区市町村名	最大津波高(m) 地殻変動考慮せず	最大津波高(m) 地殻変動考慮	最大津波高到達時間 (最短)(分)
ケース② 水門閉鎖	東京湾埋立地	1.80	1.88	112.0
	中央区	2.38	2.46	139.5
	港区	2.32	2.40	198.9
	江東区	2.40	2.48	115.7
	品川区	2.36	2.44	120.8
	大田区	2.29	2.37	101.5
	江戸川区	1.99	2.07	118.9

図 東京湾（ケース②・水門開放）



ケース②・水門開放（広域図）

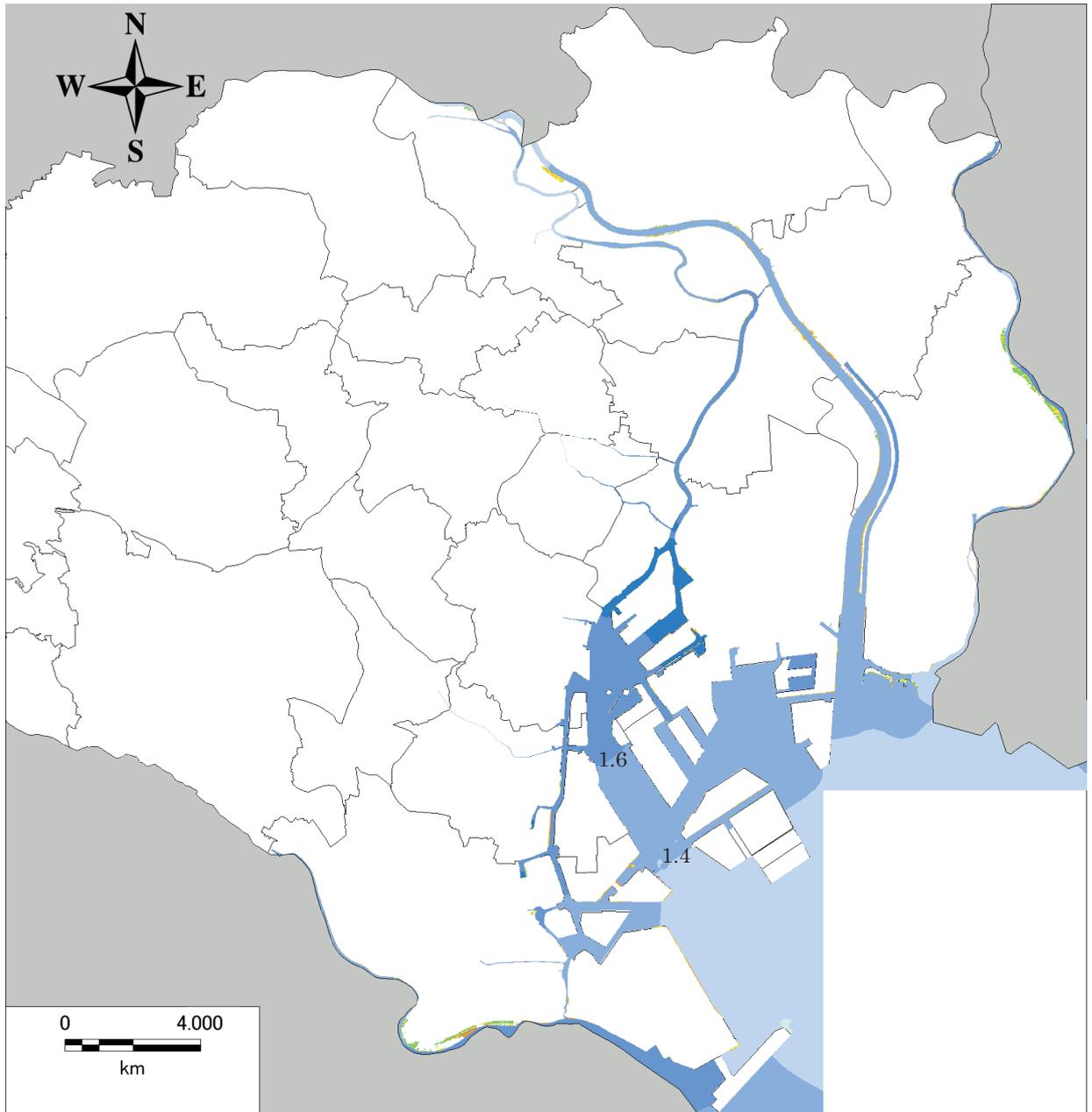




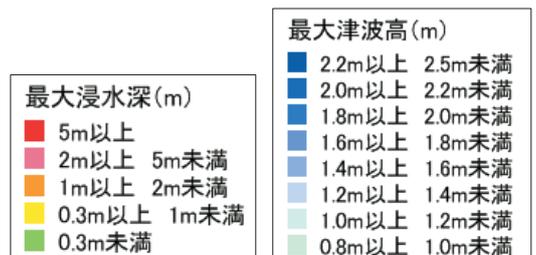
ケース②・水門開放（拡大図）

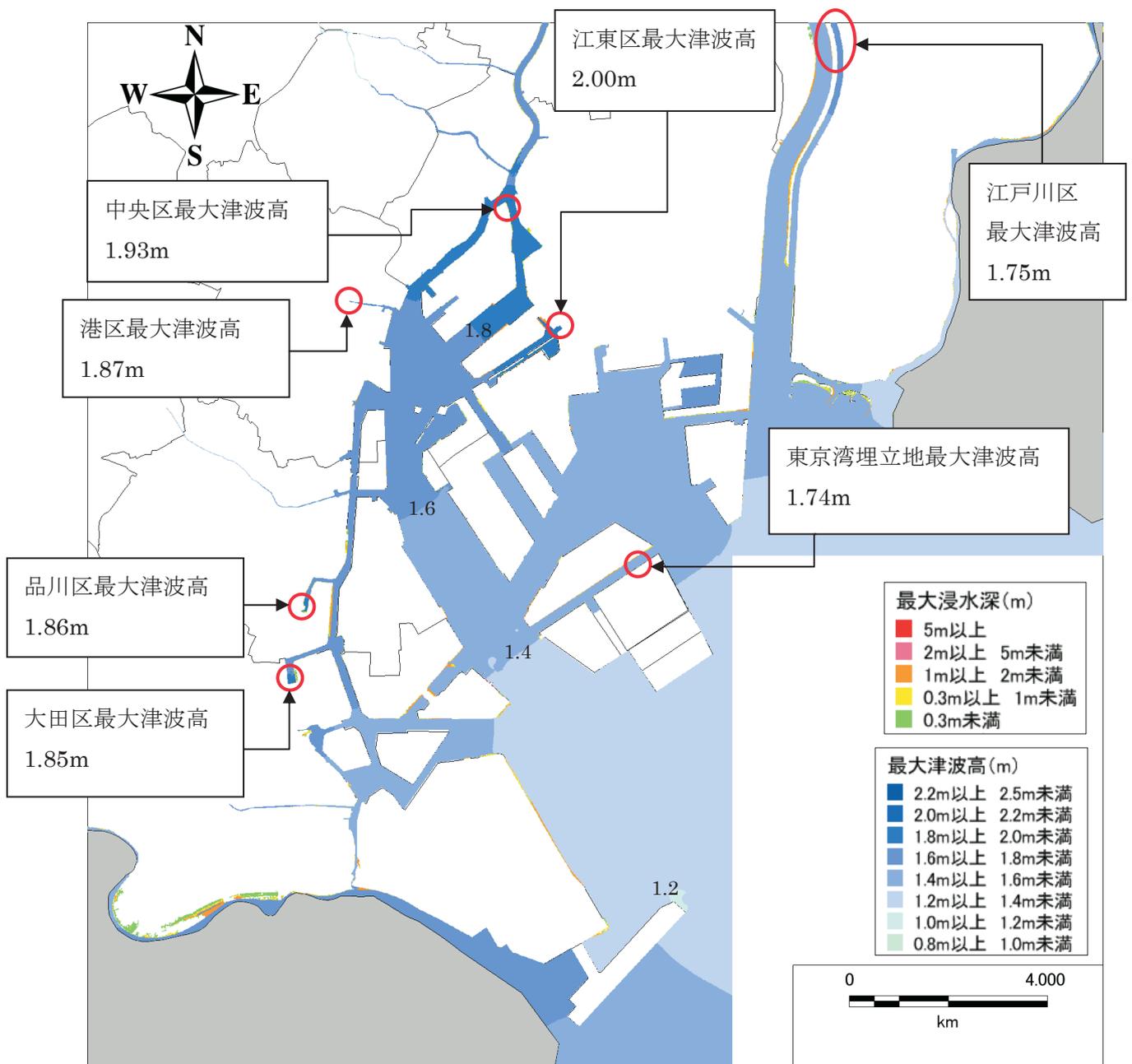
ケース	区市町村名	最大津波高(m) 地殻変動考慮せず	最大津波高(m) 地殻変動考慮	最大津波高到達時間 (最短)(分)
ケース② 水門開放	東京湾埋立地	1.77	1.85	112.5
	中央区	2.20	2.28	139.4
	港区	2.18	2.26	198.5
	江東区	2.18	2.26	116.1
	品川区	2.25	2.34	121.4
	大田区	2.22	2.30	101.5
	江戸川区	1.69	1.77	118.8

図 東京湾（ケース⑤・水門閉鎖）



ケース⑤・水門閉鎖（広域図）

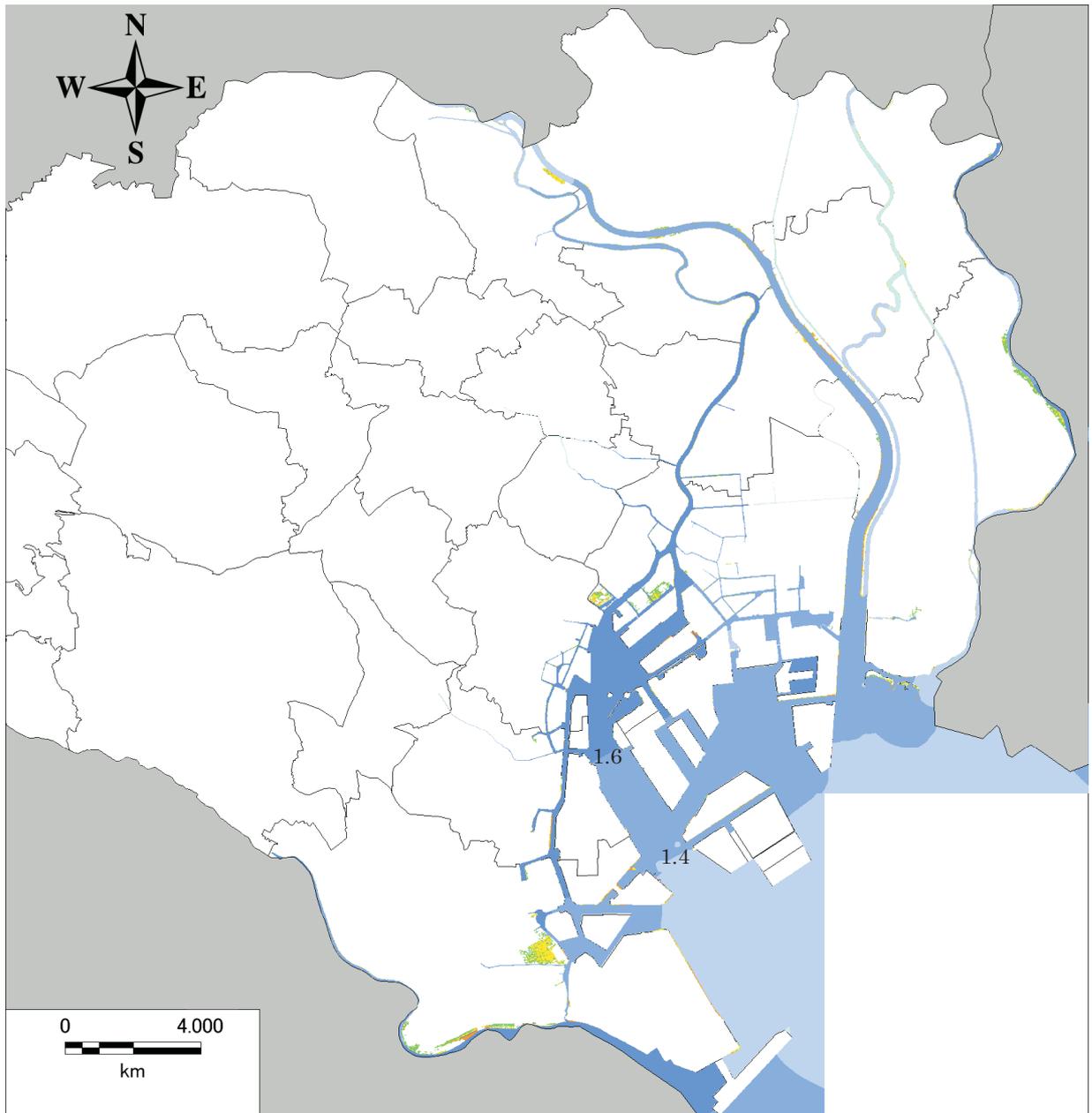




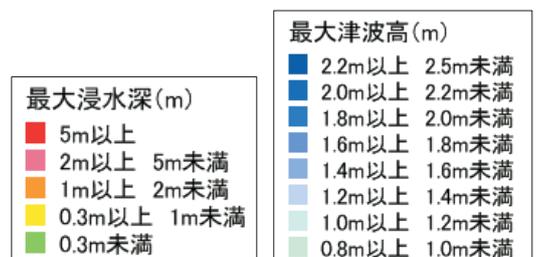
ケース⑤・水門閉鎖（拡大図）

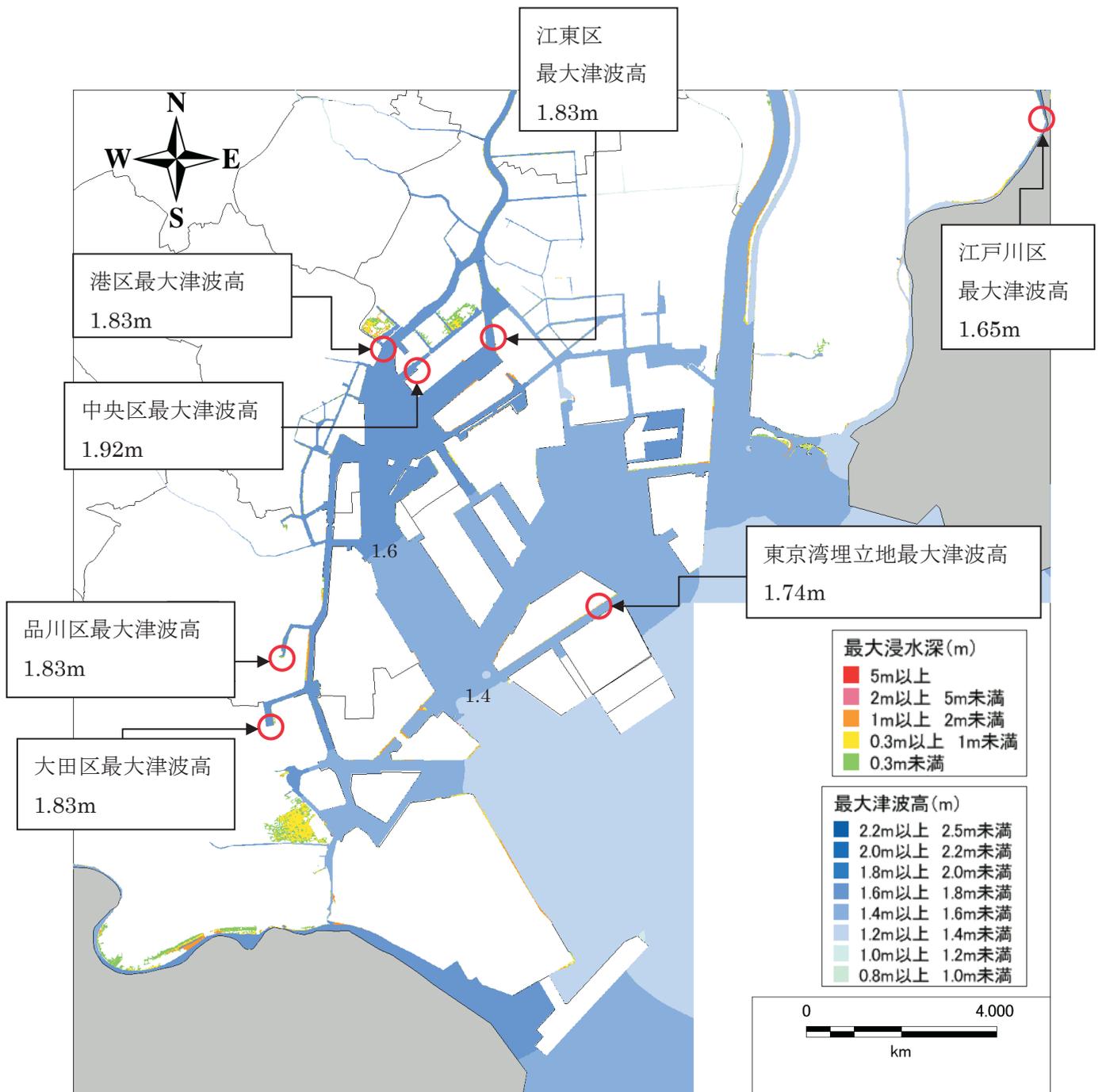
ケース	区市町村名	最大津波高(m) 地殻変動考慮せず	最大津波高(m) 地殻変動考慮	最大津波高到達時間 (最短)(分)
ケース⑤ 水門閉鎖	東京湾埋立地	1.69	1.74	120.7
	中央区	1.88	1.93	231.5
	港区	1.81	1.87	229.4
	江東区	1.95	2.00	217.3
	品川区	1.81	1.86	149.2
	大田区	1.80	1.85	125.2
	江戸川区	1.70	1.75	150.9

図 東京湾（ケース⑤・水門開放）



ケース⑤・水門開放（広域図）

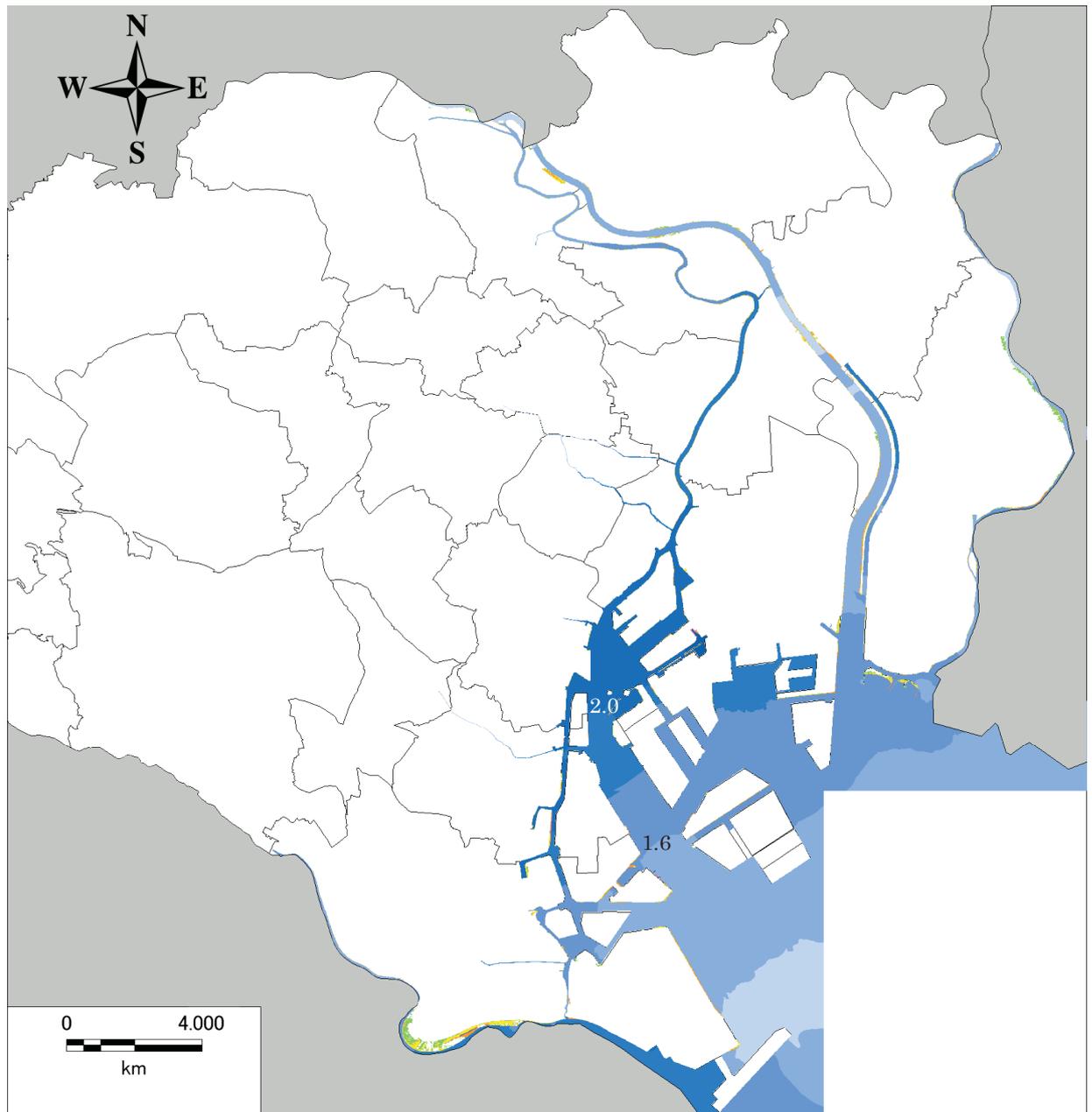




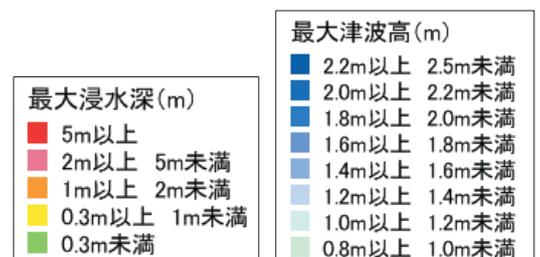
ケース⑤・水門開放（拡大図）

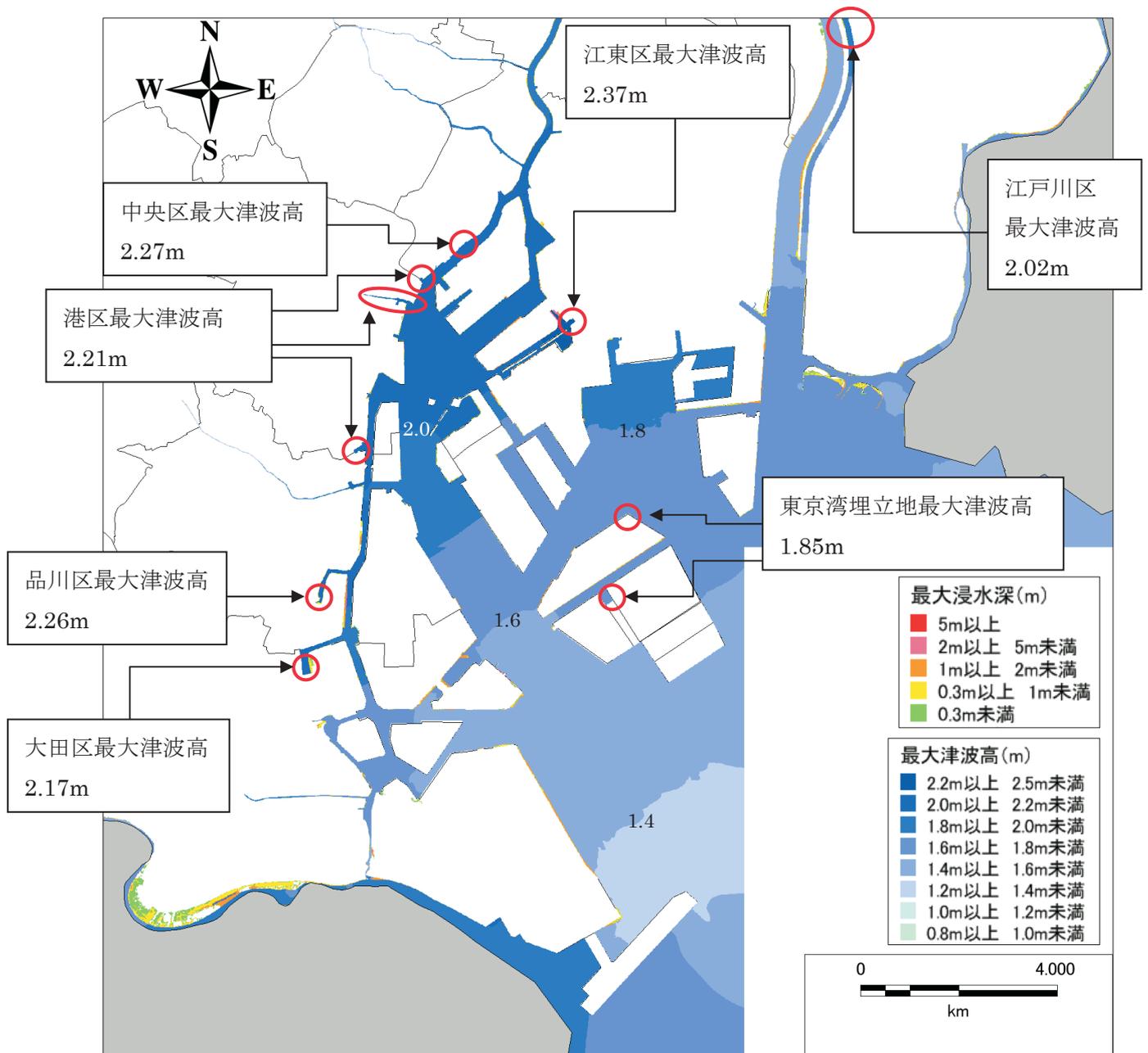
ケース	区市町村名	最大津波高(m) 地殻変動考慮せず	最大津波高(m) 地殻変動考慮	最大津波高到達時間 (最短)(分)
ケース⑤ 水門開放	東京湾埋立地	1.70	1.74	121.5
	中央区	1.87	1.92	224.1
	港区	1.78	1.83	229.7
	江東区	1.78	1.83	217.3
	品川区	1.78	1.83	151.6
	大田区	1.78	1.83	197.3
	江戸川区	1.61	1.65	216.0

図 東京湾（ケース⑥・水門閉鎖）



ケース⑥・水門閉鎖（広域図）

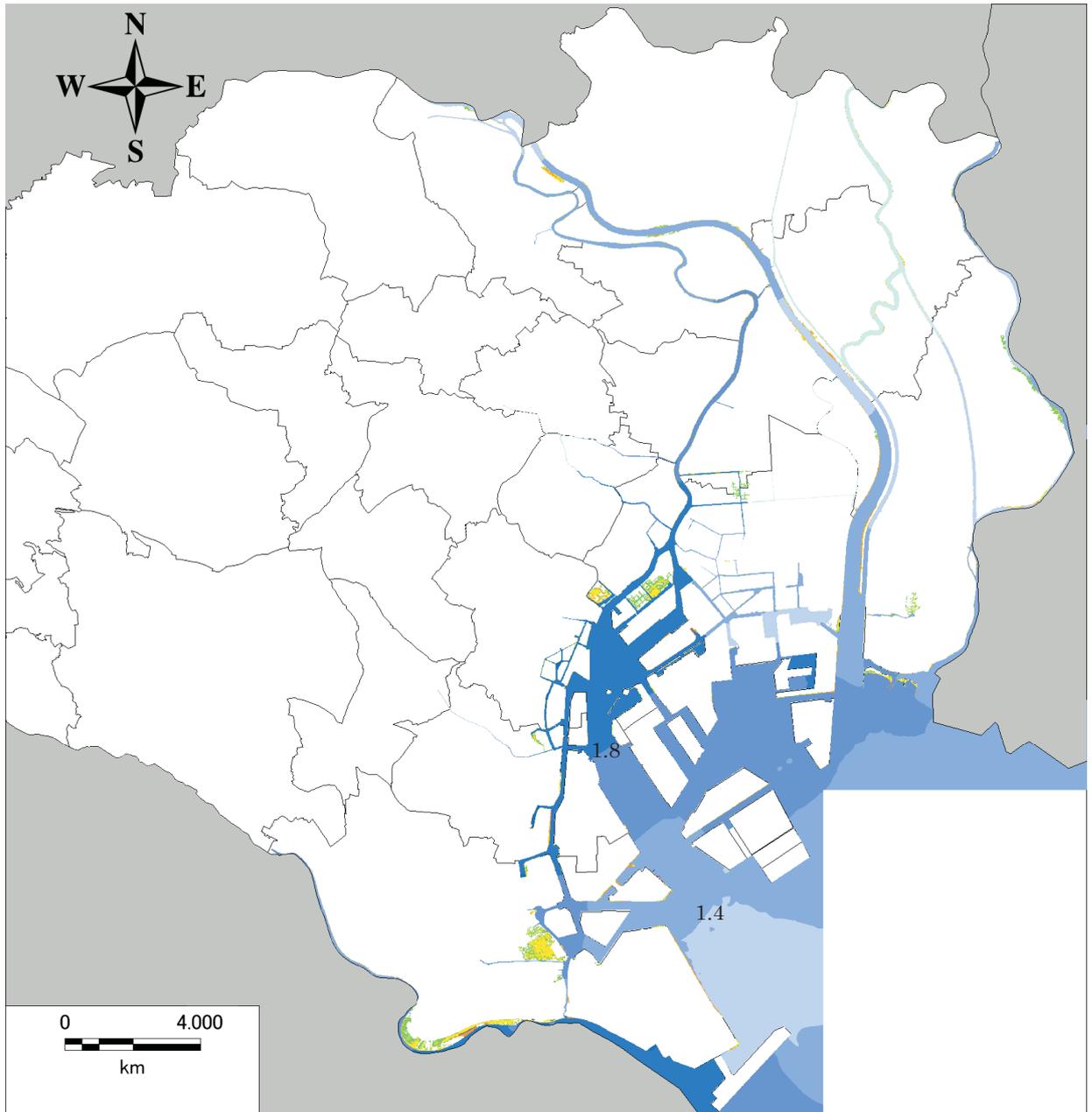




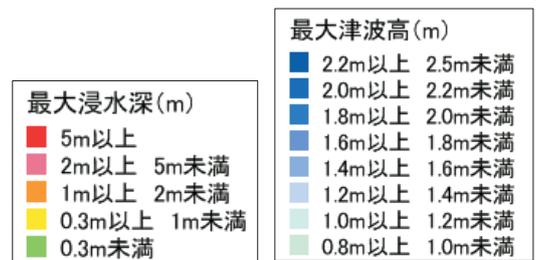
ケース⑥・水門閉鎖（拡大図）

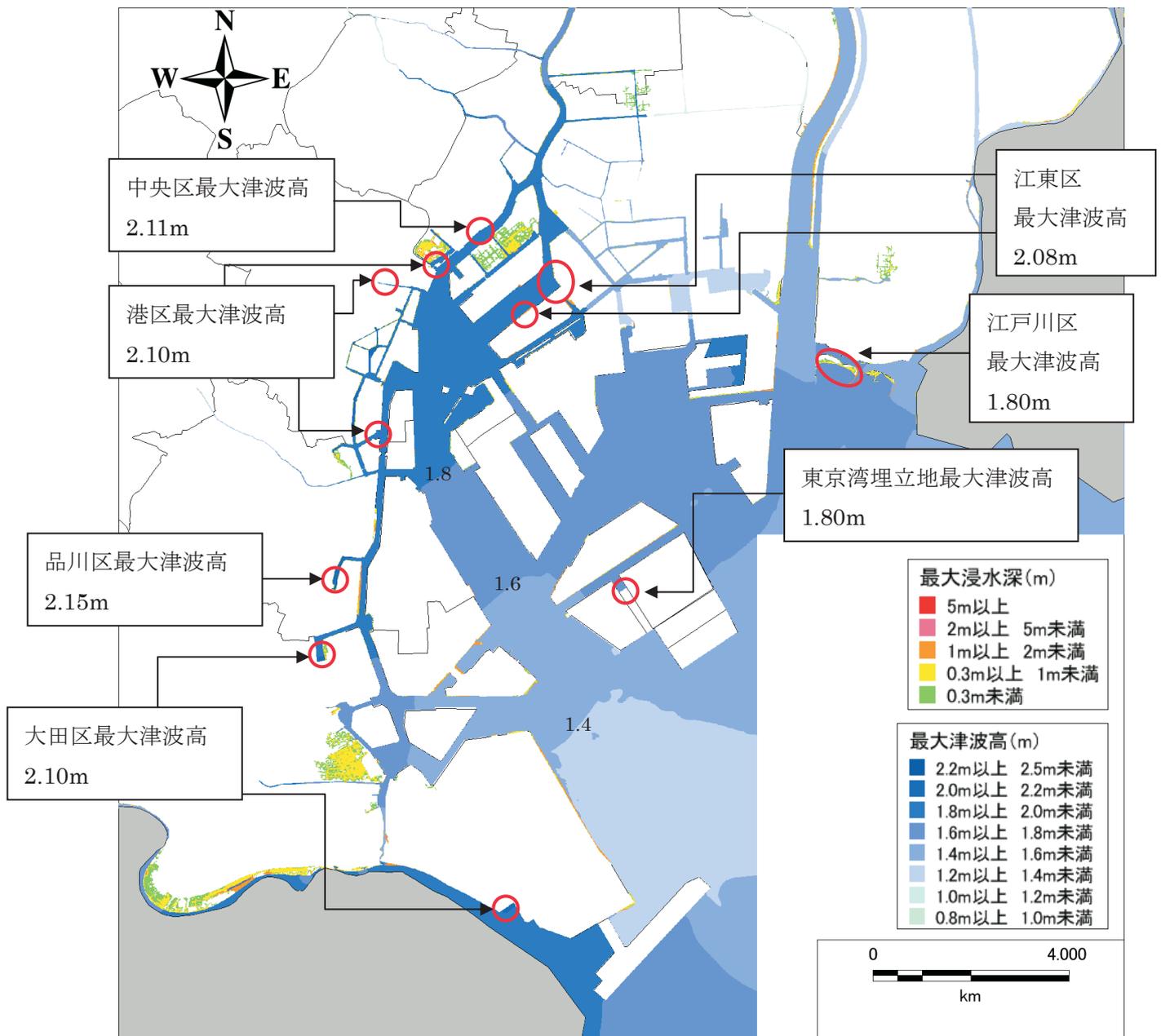
ケース	区市町村名	最大津波高(m) 地殻変動考慮せず	最大津波高(m) 地殻変動考慮	最大津波高到達時間 (最短)(分)
ケース⑥ 水門閉鎖	東京湾埋立地	1.75	1.85	91.5
	中央区	2.17	2.27	130.1
	港区	2.11	2.21	185.7
	江東区	2.27	2.37	102.3
	品川区	2.16	2.26	127.4
	大田区	2.07	2.17	86.2
	江戸川区	1.93	2.02	100.2

図 東京湾（ケース⑥・水門開放）



ケース⑥・水門開放（広域図）

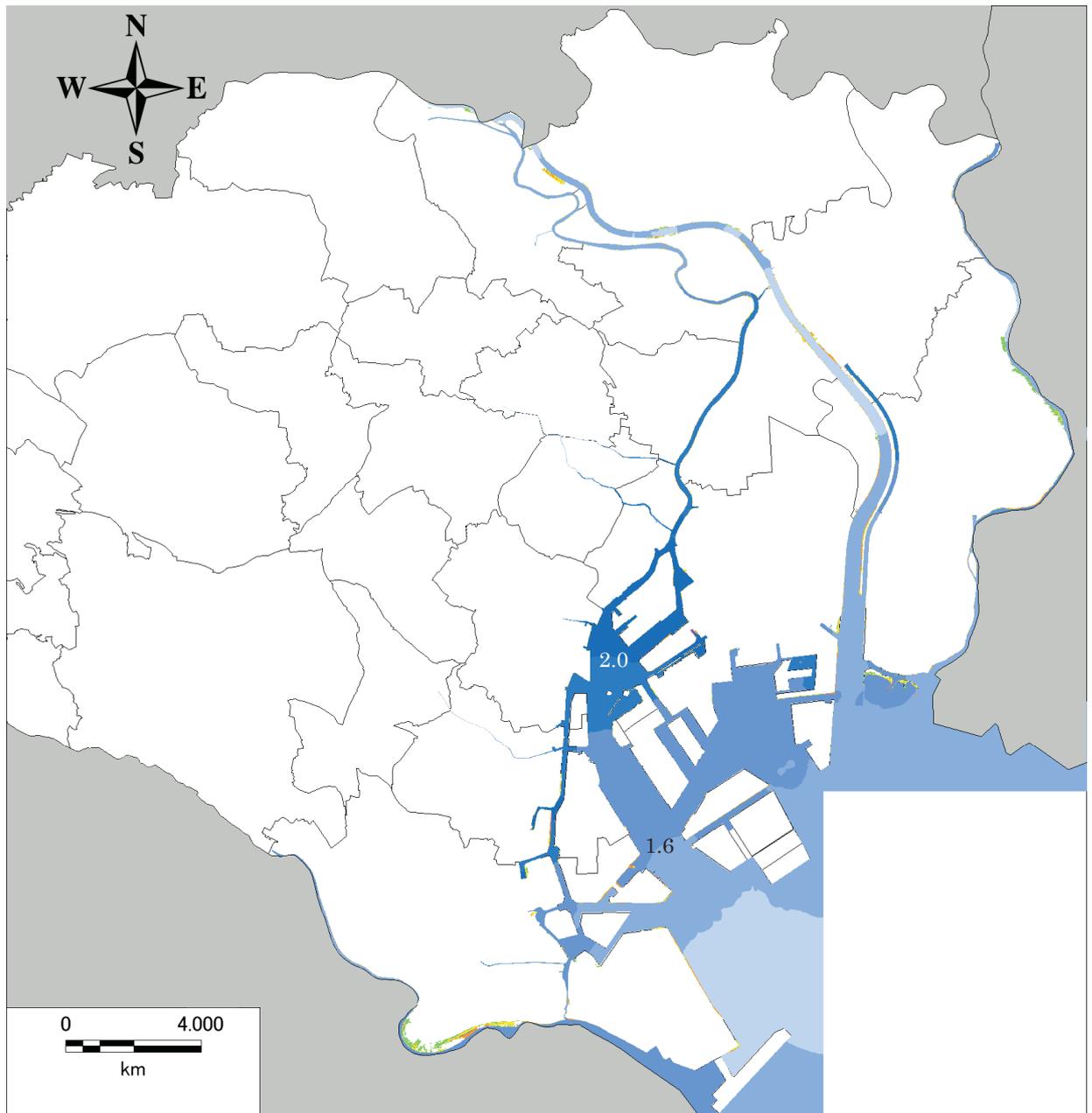




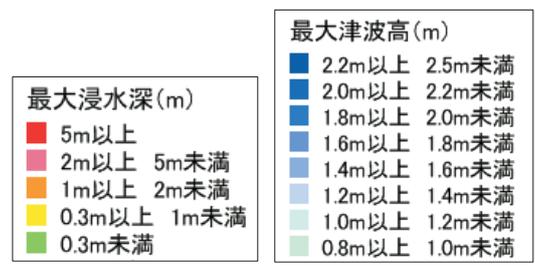
ケース⑥・水門開放（拡大図）

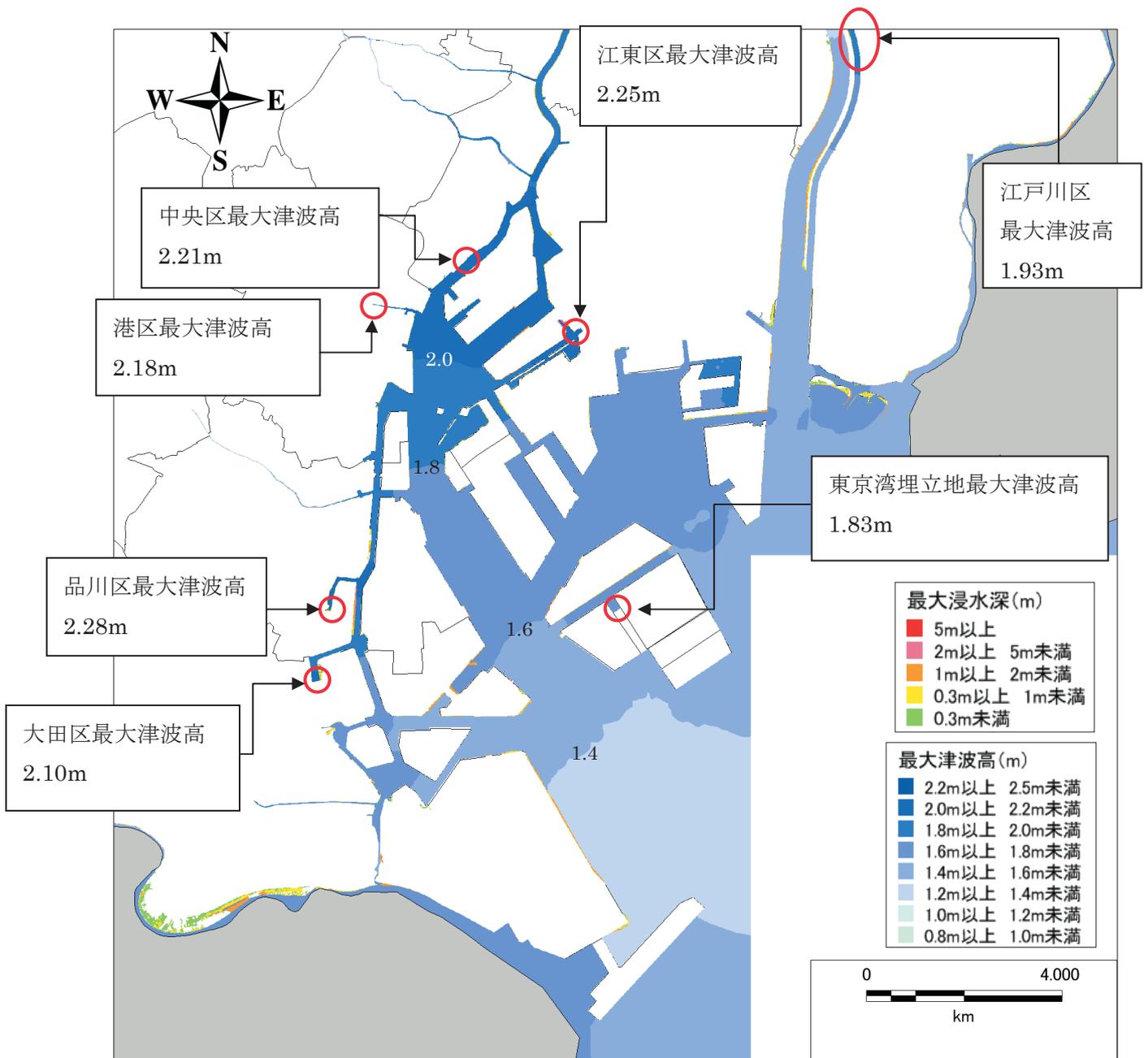
ケース	区市町村名	最大津波高(m) 地殻変動考慮せず	最大津波高(m) 地殻変動考慮	最大津波高到達時間 (最短)(分)
ケース⑥ 水門開放	東京湾埋立地	1.70	1.80	92.0
	中央区	2.01	2.11	131.9
	港区	2.00	2.10	185.9
	江東区	1.98	2.08	102.6
	品川区	2.05	2.15	127.4
	大田区	2.00	2.10	87.1
	江戸川区	1.71	1.80	99.7

図 東京湾（ケース⑧・水門閉鎖）



ケース⑧・水門閉鎖（広域図）

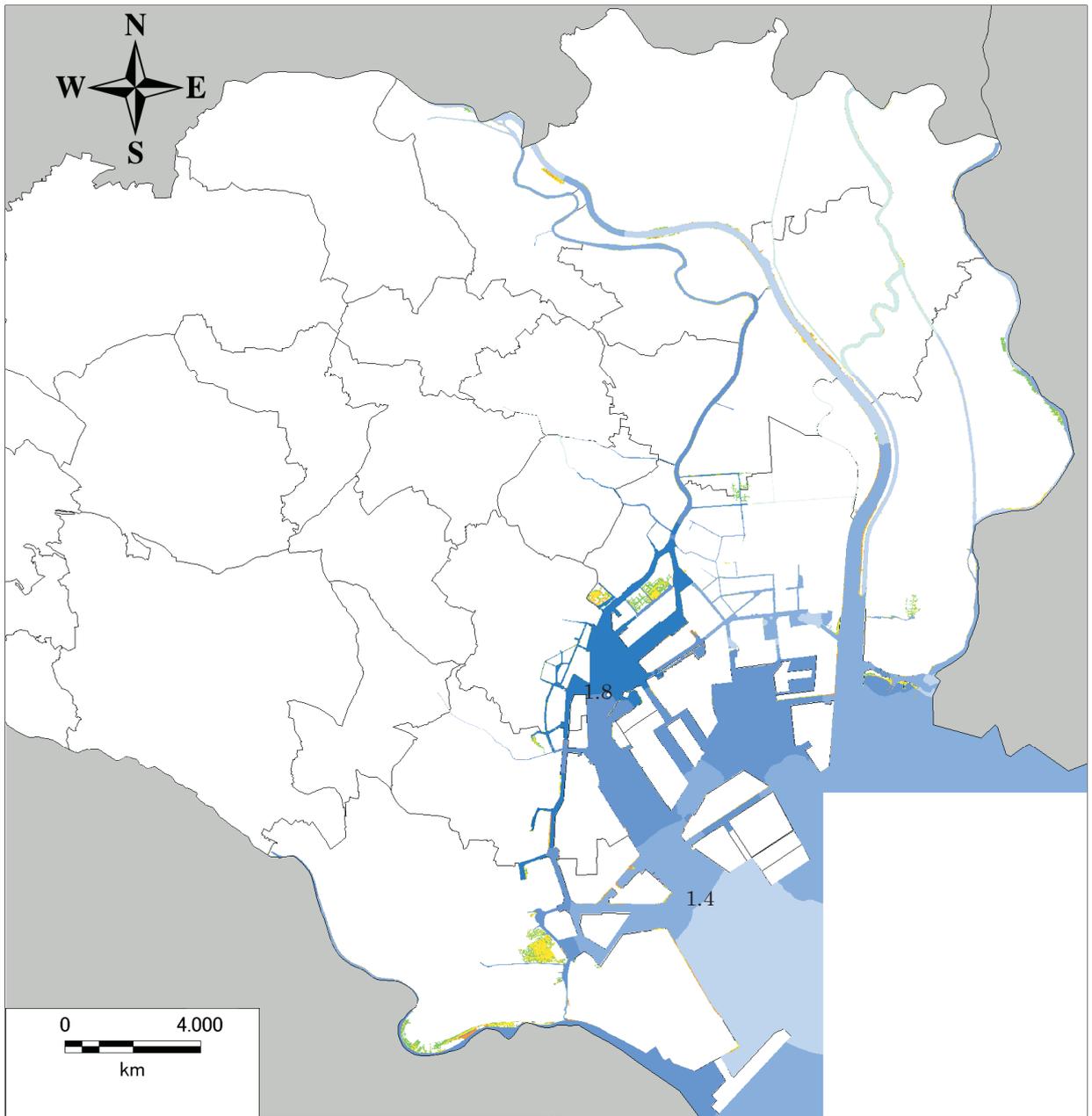




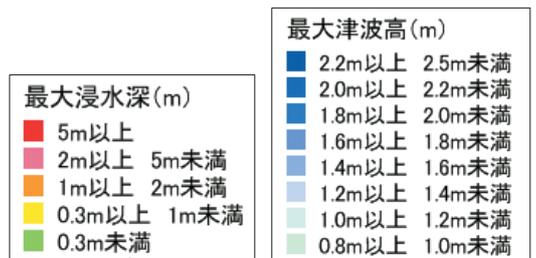
ケース⑧・水門閉鎖（拡大図）

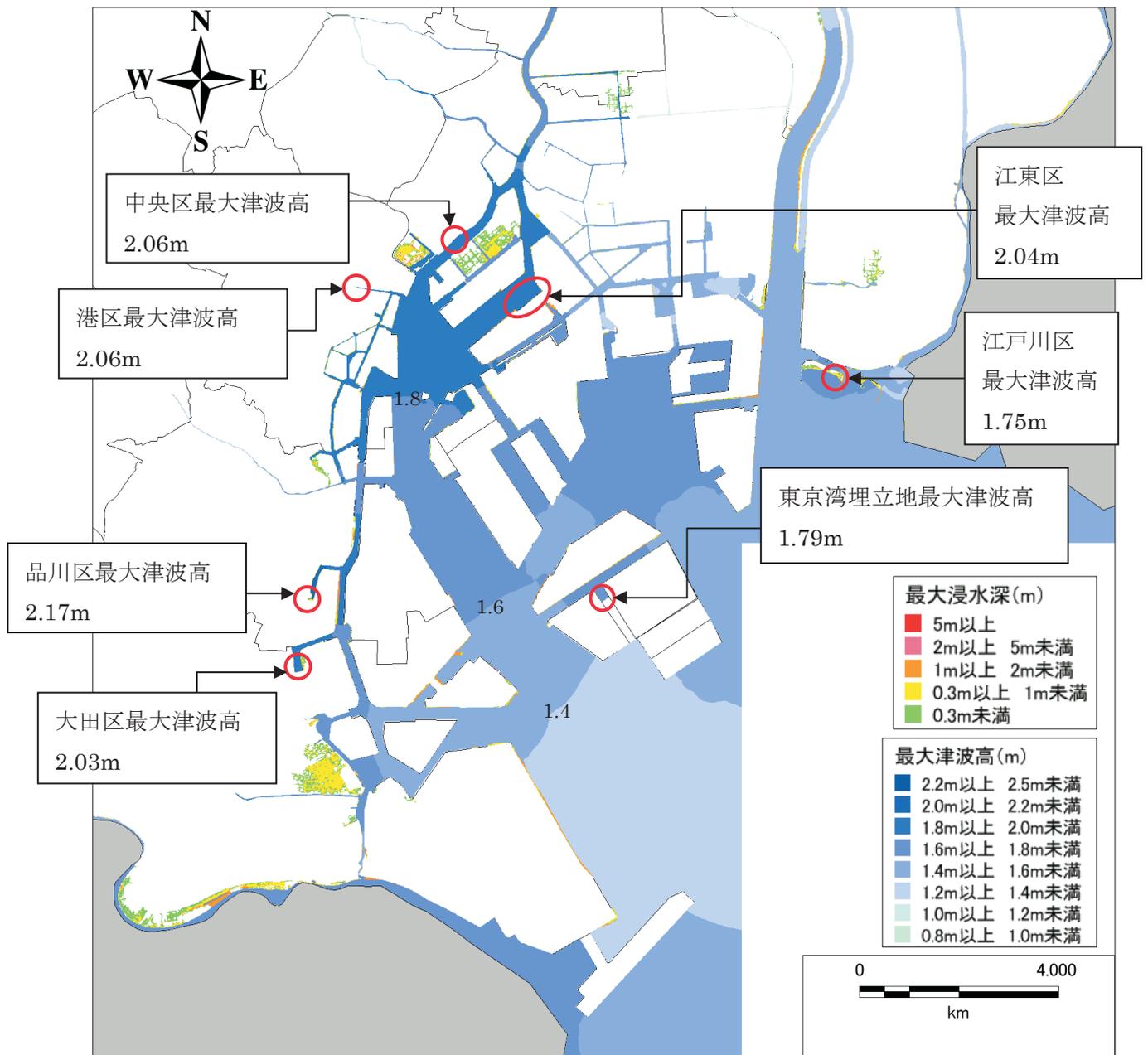
ケース	区市町村名	最大津波高(m) 地殻変動考慮せず	最大津波高(m) 地殻変動考慮	最大津波高到達時間 (最短)(分)
ケース⑧ 水門閉鎖	東京湾埋立地	1.74	1.83	103.9
	中央区	2.11	2.21	131.7
	港区	2.08	2.18	192.0
	江東区	2.16	2.25	102.1
	品川区	2.18	2.28	115.4
	大田区	2.00	2.10	86.0
	江戸川区	1.84	1.93	100.5

図 東京湾（ケース⑧・水門開放）



ケース⑧・水門開放（広域図）





ケース⑧・水門開放（拡大図）

ケース	区市町村名	最大津波高(m) 地殻変動考慮せず	最大津波高(m) 地殻変動考慮	最大津波高到達時間 (最短)(分)
ケース⑧ 水門開放	東京湾埋立地	1.69	1.79	103.9
	中央区	1.96	2.06	131.5
	港区	1.96	2.06	192.1
	江東区	1.95	2.04	102.9
	品川区	2.07	2.17	115.5
	大田区	1.93	2.03	85.6
	江戸川区	1.66	1.75	100.2

## 2. 5 津波シミュレーションの結果について（まとめ）

南海トラフ巨大地震における島しょ部及び区部の東京湾岸での最大津波高の値とその到達時間（地震発生からの経過時間）、その最大津波高をもたらすケースについてまとめる。

**表 南海トラフ巨大地震における津波高(まとめ)**

島名	対象範囲	最大津波高 (m)	最大津波高(左欄) の到達時間(分)	最大津波高を もたらすケース	浸水図 掲載頁
大島	島全体	15.76	22.4	ケース⑧	2-75
利島	島全体	16.18	19.1	ケース⑧	2-84
新島	島全体	30.16	17.1	ケース⑧	2-94
式根島	島全体	28.15	13.7	ケース①	2-99
神津島	島全体	28.43	16.6	ケース⑧	2-113
三宅島	島全体	16.98	49.9	ケース⑧	2-124
御蔵島	島全体	7.37	35.3	ケース⑧	2-133
八丈島	島全体	18.07	32.6	ケース⑥	2-143
青ヶ島	島全体	17.68	34.6	ケース⑥	2-152
父島	島全体	18.52	128.7	ケース⑤	2-161
母島	島全体	15.91	107.8	ケース⑤	2-170
区部	(江東区)	2.48	204.5	ケース②・水門閉鎖	2-182~ 2-183

注) 到達時間は、地震発生からの経過時間を示す。

最大津波高の値は地殻変動量を考慮した場合の値を示す。

### 3 元禄型関東地震の津波数値シミュレーション(島しょ部)

#### 3.1 津波シミュレーションの計算条件について

元禄型関東地震 (M8.2) について、以下の計算条件で津波数値シミュレーションを実施した。なお、津波高の計算結果は T.P.表示とする。

使用した津波断層モデル (波源モデル)

- ・元禄型関東地震 行谷ほか (2011) モデル 一様すべりモデル+房総沖小断層 11

計算条件

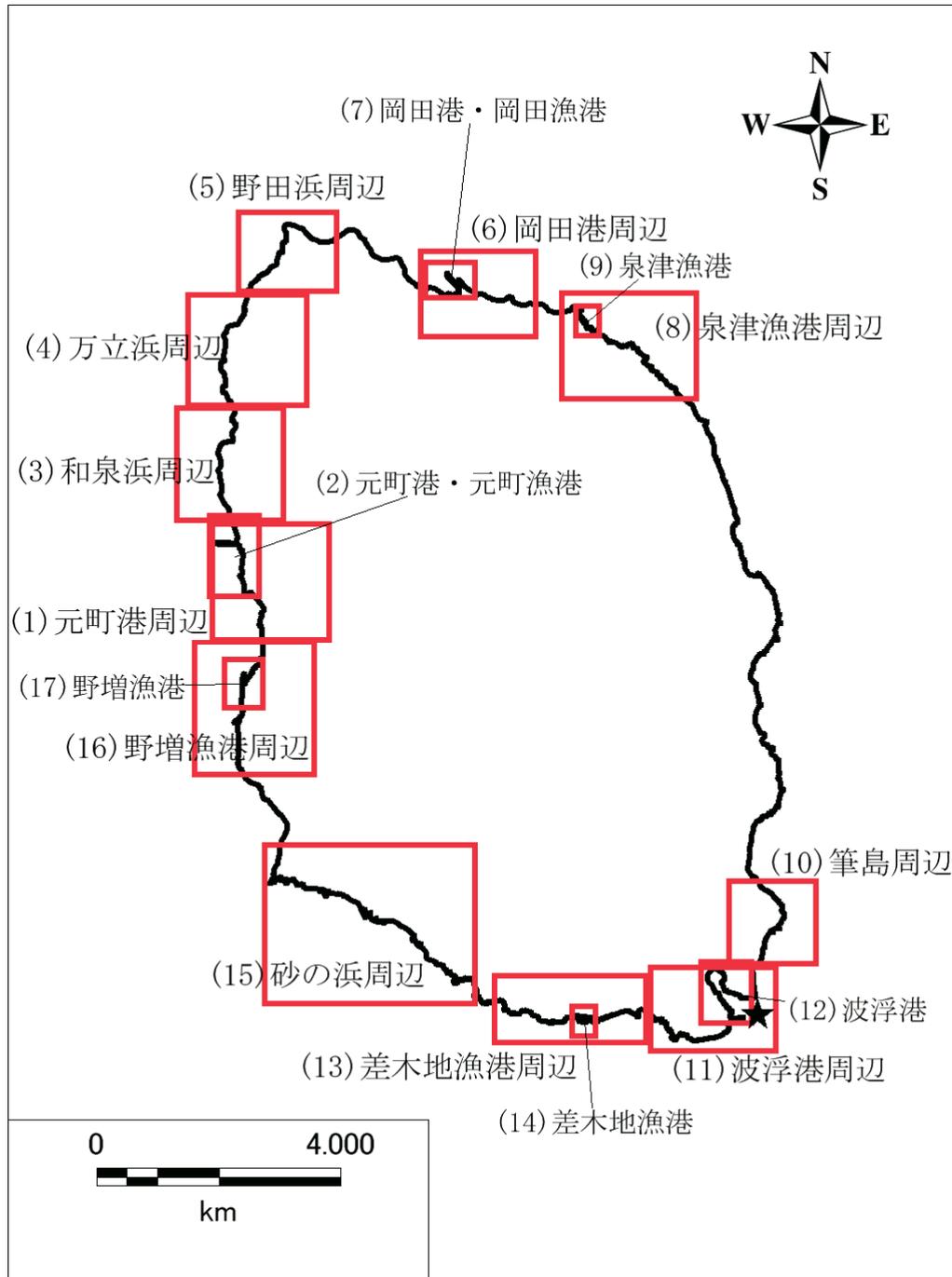
- ・メッシュサイズ : 10m (主要な島の沿岸) ~30m~90m~270m~810m (外洋)
- ・運動方程式 : 非線形長波式 (浅水理論式)
- ・再現時間 : 12 時間
- ・初期水位分布 : 断層モデルから鉛直地殻変動量分布を計算し、時間差無しで前メッシュに鉛直地殻変動量を初期水位として付与。
- ・破堤条件 : 越流した際に破堤する。
- ・潮位 : 各島の朔望平均満潮位 (High Water Level : H.W.L.) を初期潮位とする。各島の初期潮位 (DL 基準) を T.P.に換算した値は以下のとおり。

大島	DL+1.5m (T.P.+0.6m)
利島	DL+1.6m (T.P.+0.63m)
新島、式根島	DL+1.7m (T.P.+0.73m)
神津島	DL+1.96m (T.P.+0.99m)
三宅島	DL+1.7m (T.P.+0.62m)
御蔵島	DL+1.5m (T.P.+0.58m)
八丈島	DL+1.7m (T.P.+0.75m)
青ヶ島	DL+1.7m (T.P.+0.83m)
父島、母島	DL+1.1m (T.P.+0.4m)

### 3. 2 津波シミュレーションの結果について（島別）

#### (1) 大島

##### 1-1) 全体及び拡大範囲図



大島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

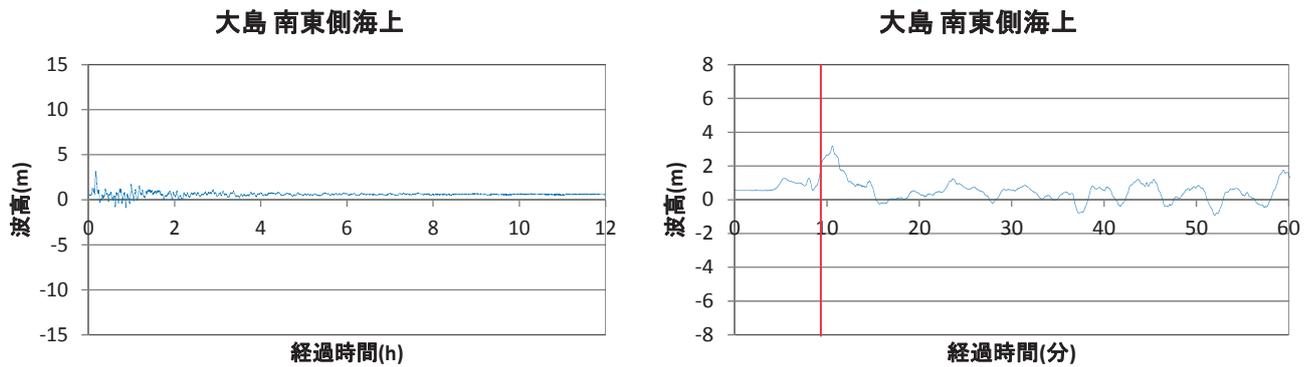
1-2) 大島の総括表

大島の総括表

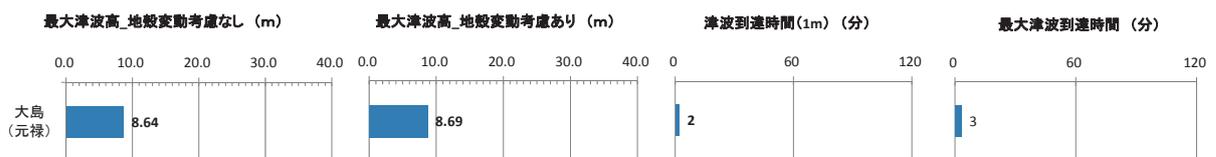
対象地震	対象範囲	各地点の最大津波高(m) (地殻変動を考慮しない場合の値)	各地点の最大津波高の平均値(m) (地殻変動を考慮しない場合の値)	各地点の1m津波高の到達時間(分) 【当該範囲で最大津波高が来る地点での時間】	各地点の最大津波高の到達時間(分) 【当該範囲で最大津波高が来る地点での時間】
元禄型 関東地震	(1)元町港周辺	2.16~3.71 (2.13~3.68)	2.94 (2.91)	5.7~15.4 【7.0】	10.2~90.9 【17.7】
	(2)元町港・元町漁港	2.16~3.50 (2.13~3.47)	2.86 (2.83)	5.7~15.4 【6.3】	9.8~90.9 【18.6】
	(3)和泉浜周辺	1.92~3.46 (1.89~3.43)	2.65 (2.62)	4.8~9.8 【5.0】	8.2~17.6 【9.0】
	(4)万立浜周辺	1.84~3.04 (1.82~3.02)	2.33 (2.31)	3.7~4.7 【4.0】	4.1~65.1 【15.9】
	(5)野田浜周辺	2.19~4.84 (2.17~4.83)	3.08 (3.07)	2.7~3.7 【3.1】	3.1~15.6 【7.3】
	(6)岡田港周辺	2.23~5.31 (2.23~5.30)	3.66 (3.65)	2.1~3.8 【3.8】	5.6~13.7 【8.6】
	(7)岡田港・岡田漁港	2.23~5.31 (2.23~5.30)	4.01 (4.00)	2.4~3.8 【3.8】	3.6~13.7 【8.6】
	(8)泉津漁港周辺	2.19~4.21 (2.18~4.21)	2.64 (2.63)	2.0~2.2 【2.0】	8.8~10.0 【9.1】
	(9)泉津漁港	2.39~3.32 (2.39~3.31)	2.70 (2.69)	2.0~2.2 【2.0】	9.2~10.0 【9.5】
	(10)筆島周辺	3.53~6.09 (3.48~6.04)	4.61 (4.56)	4.6~5.2 【5.1】	9.4~12.2 【10.6】
	(11)波浮港周辺	2.94~5.69 (2.89~5.64)	3.86 (3.81)	5.2~10.7 【5.2】	9.9~12.9 【10.3】
	(12)波浮港	3.15~5.79 (3.10~5.75)	3.97 (3.92)	5.2~10.7 【5.2】	9.9~12.9 【10.0】
	(13)差木地漁港周辺	2.53~4.81 (2.48~4.76)	3.35 (3.30)	7.0~11.1 【9.2】	10.8~12.1 【11.6】
	(14)差木地漁港	2.74~3.70 (2.69~3.65)	3.17 (3.12)	9.1~11.1 【9.8】	11.1~12.0 【11.9】
	(15)砂の浜周辺	2.12~4.49 (2.08~4.45)	3.16 (3.12)	9.2~13.1 【9.4】	12.5~72.6 【14.2】
	(16)野増漁港周辺	2.07~2.92 (2.03~2.88)	2.45 (2.41)	6.7~15.2 【7.4】	12.6~91.4 【13.3】
	(17)野増漁港	2.10~2.92 (2.06~2.88)	2.50 (2.46)	6.8~12.9 【7.4】	12.6~58.2 【13.3】
	島全体	1.84~8.69 (1.82~8.64)	3.28 (3.25)	2.0~15.4 【5.0】	3.1~91.4 【11.1】

1-3) 大島の代表点の津波波形 (12時間波形及び最初の1時間の波形)

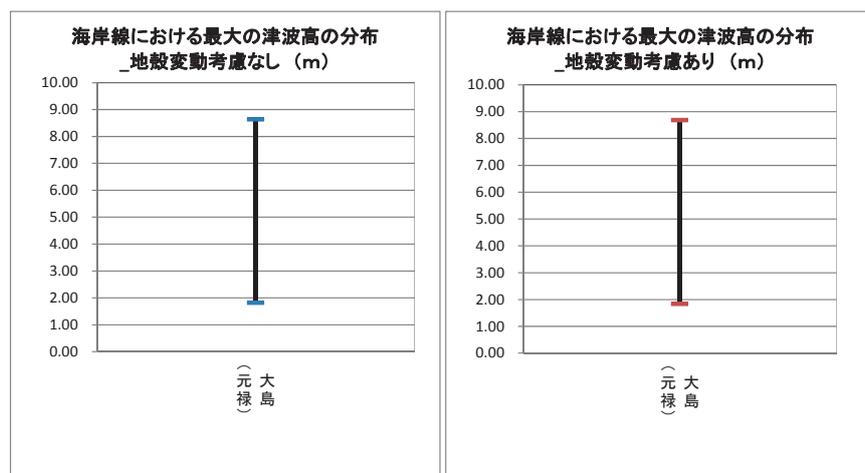
(赤線: 1m津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))



1-4) 大島 (全体) の海岸線における最大津波高 (及びその範囲)・到達時間

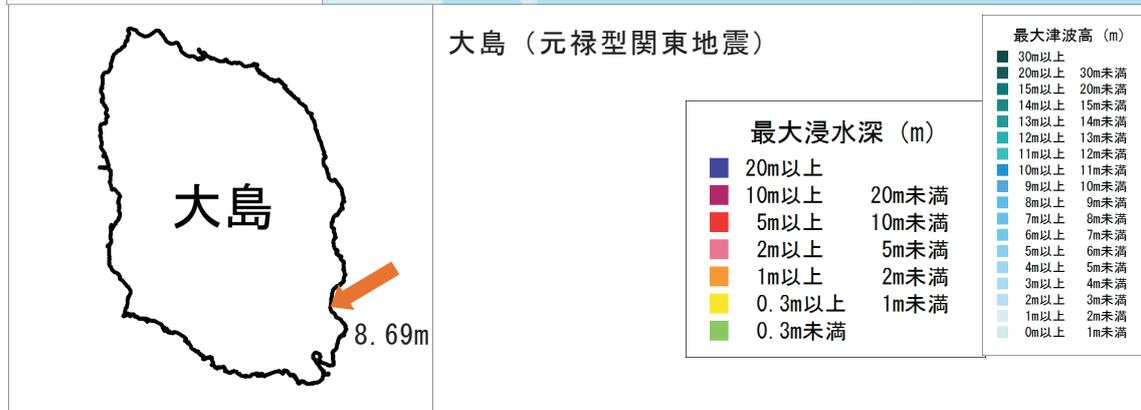
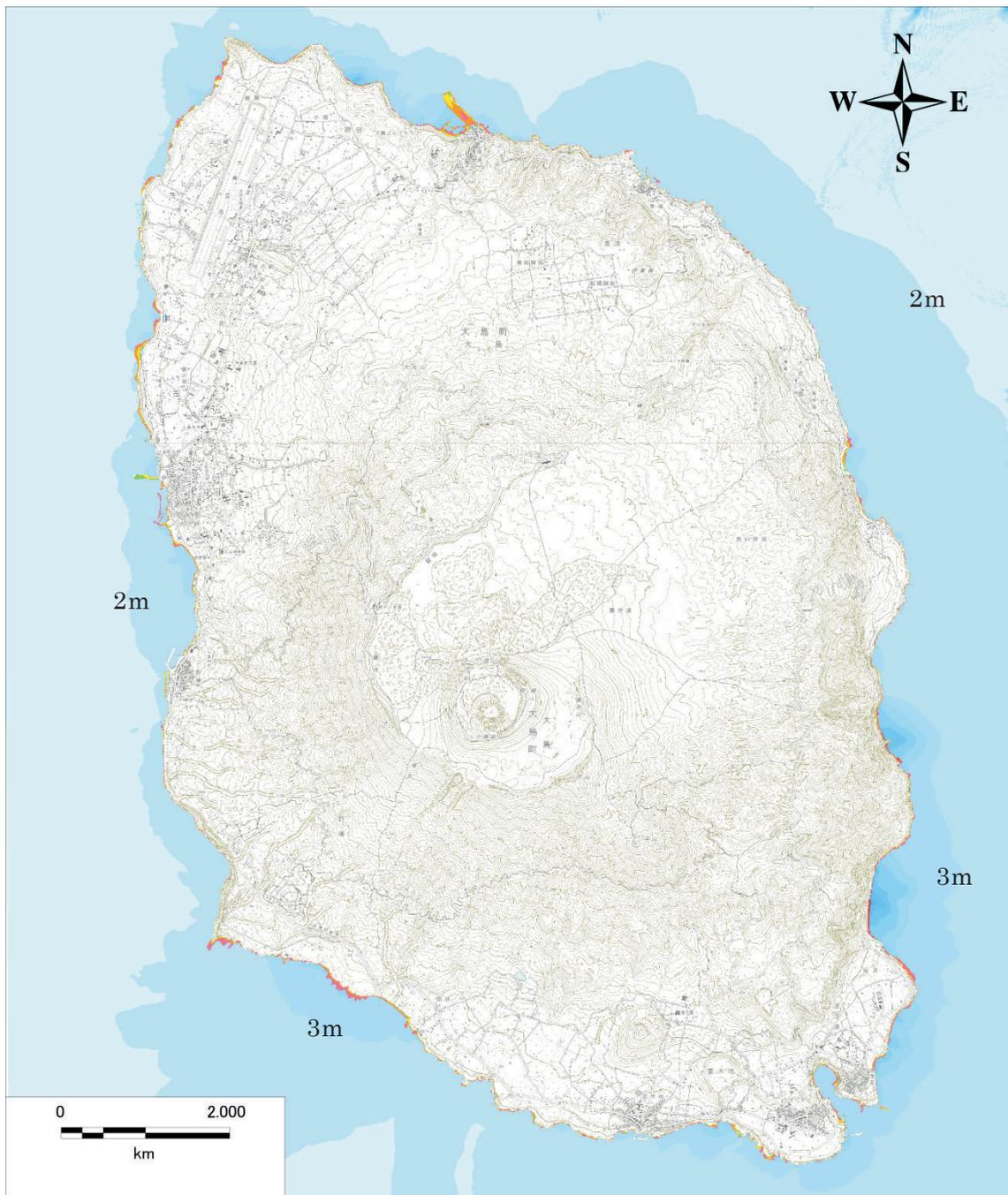


最大津波高と津波到達時間 (1m及び最大波)



最大津波高の範囲

1-5) 大島全体の最大津波高・最大浸水深分布図（元禄型関東地震）

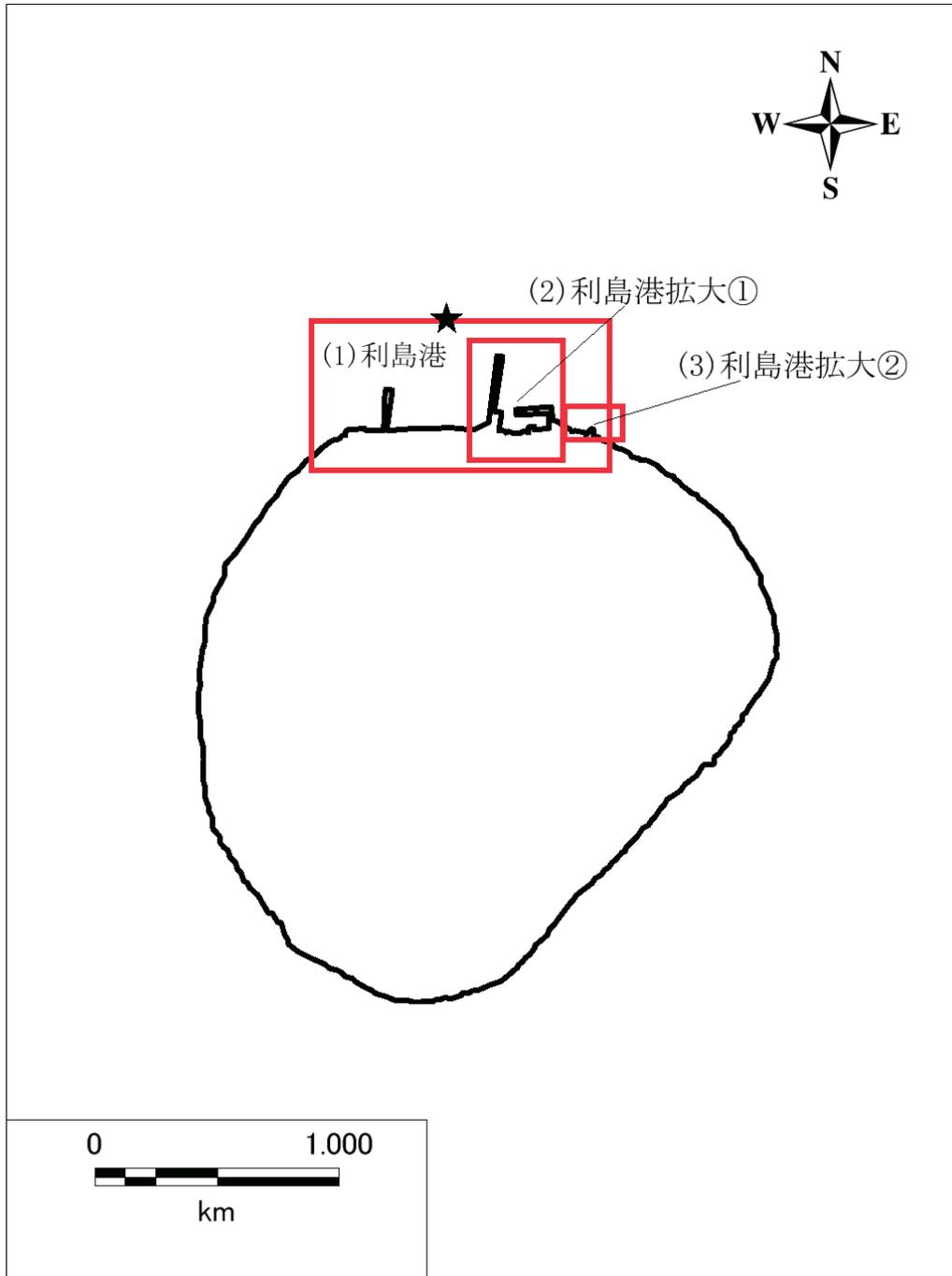


大島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平 25 情複、第 27 号）

(2) 利島

2-1) 全体及び拡大範囲図



利島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

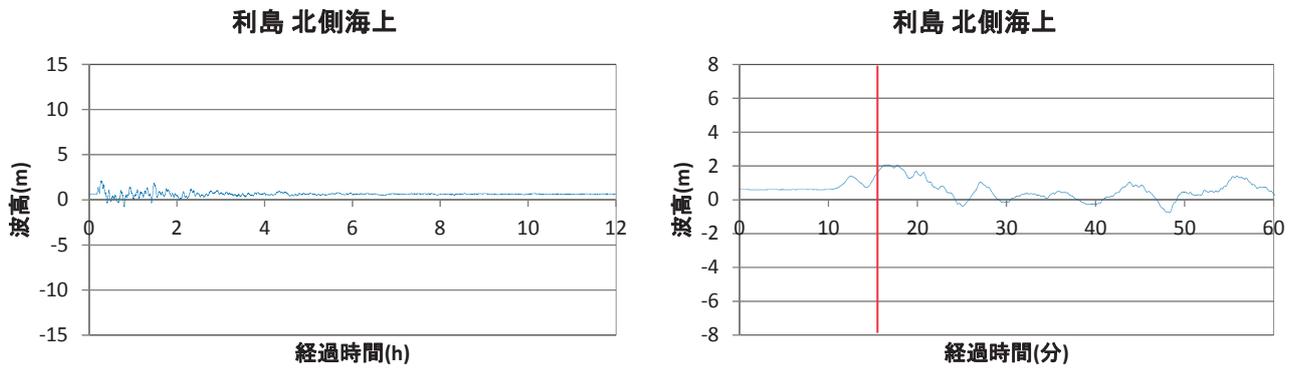
2-2) 利島の総括表

利島の総括表

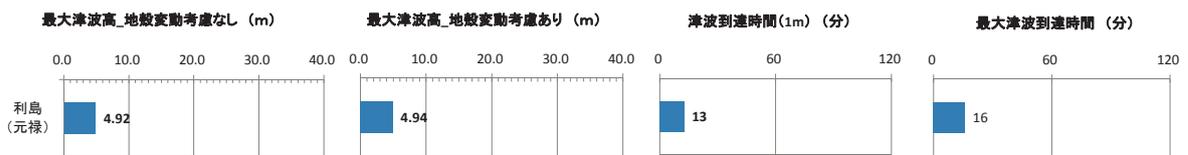
対象地震	対象範囲	各地点の 最大津波高(m)  (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m)  (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分)  【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分)  【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
元禄型 関東地震	(1) 利島港	1.88~3.73 (1.86~3.71)	2.67 (2.65)	12.6~15.9 【12.8】	15.9~21.1 【19.7】
	(2) 利島港拡大①	2.17~3.50 (2.15~3.48)	2.70 (2.68)	12.6~15.4 【12.7】	15.9~20.1 【19.8】
	(3) 利島港拡大②	3.53~3.60 (3.51~3.58)	3.57 (3.55)	12.7~12.7 【12.7】	19.8~19.9 【19.9】
	島全体	1.88~4.94 (1.86~4.92)	3.20 (3.18)	12.6~17.6 【16.4】	15.9~21.9 【19.6】

2-3) 利島の代表点の津波波形 (12時間波形及び最初の1時間の波形)

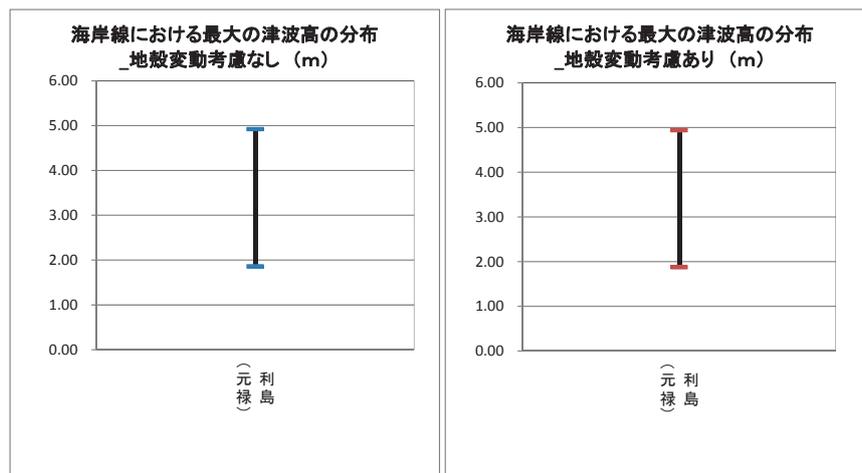
(赤線: 1m津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))



2-4) 利島 (全体) の海岸線における最大津波高 (及びその範囲)・到達時間

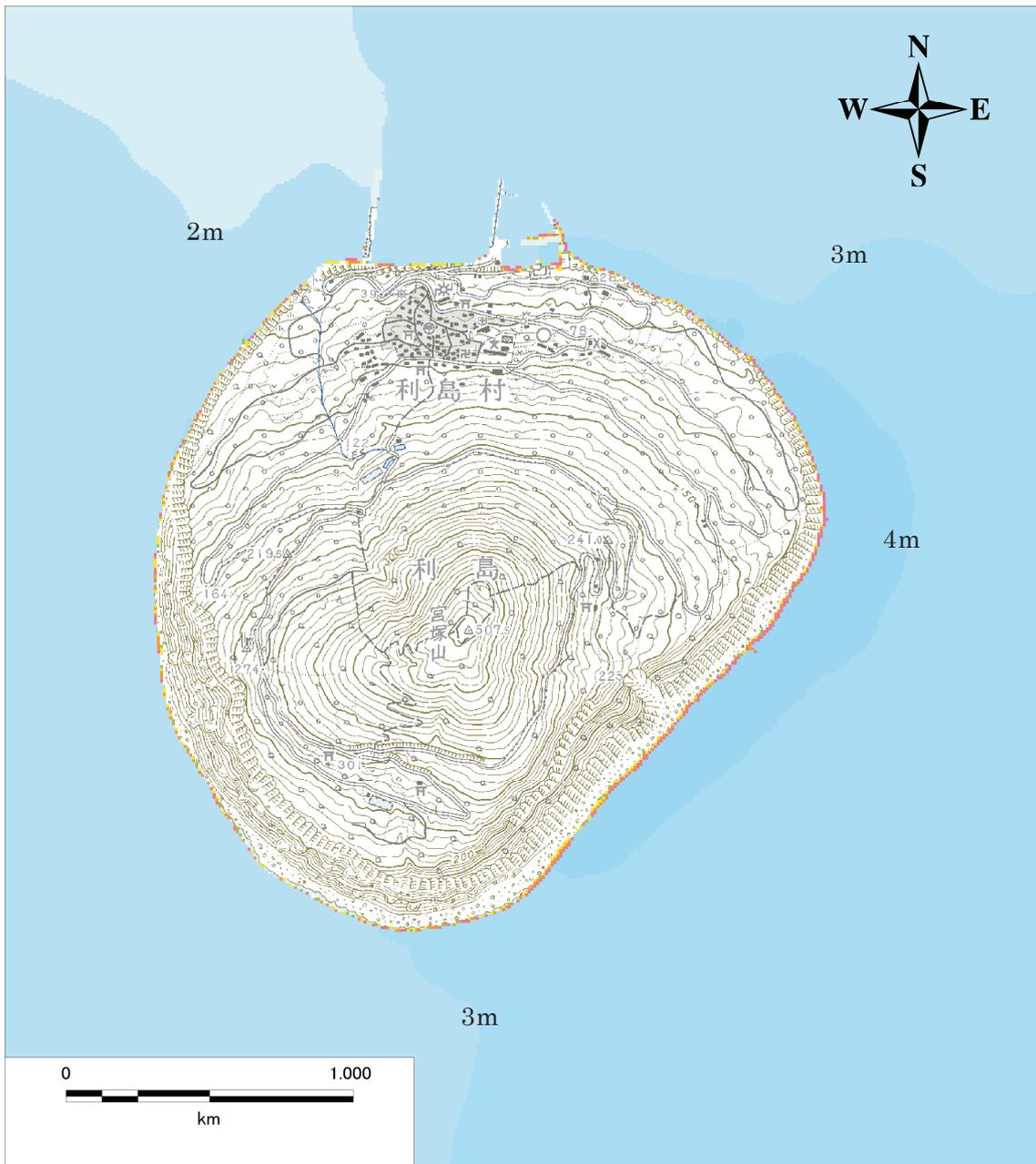


最大津波高と津波到達時間 (1m及び最大波)



最大津波高の範囲

2-5) 利島全体の最大津波高・最大浸水深分布図（元禄型関東地震）



利島（元禄型関東地震）



利島全体での最大津波高地点

最大浸水深 (m)

20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

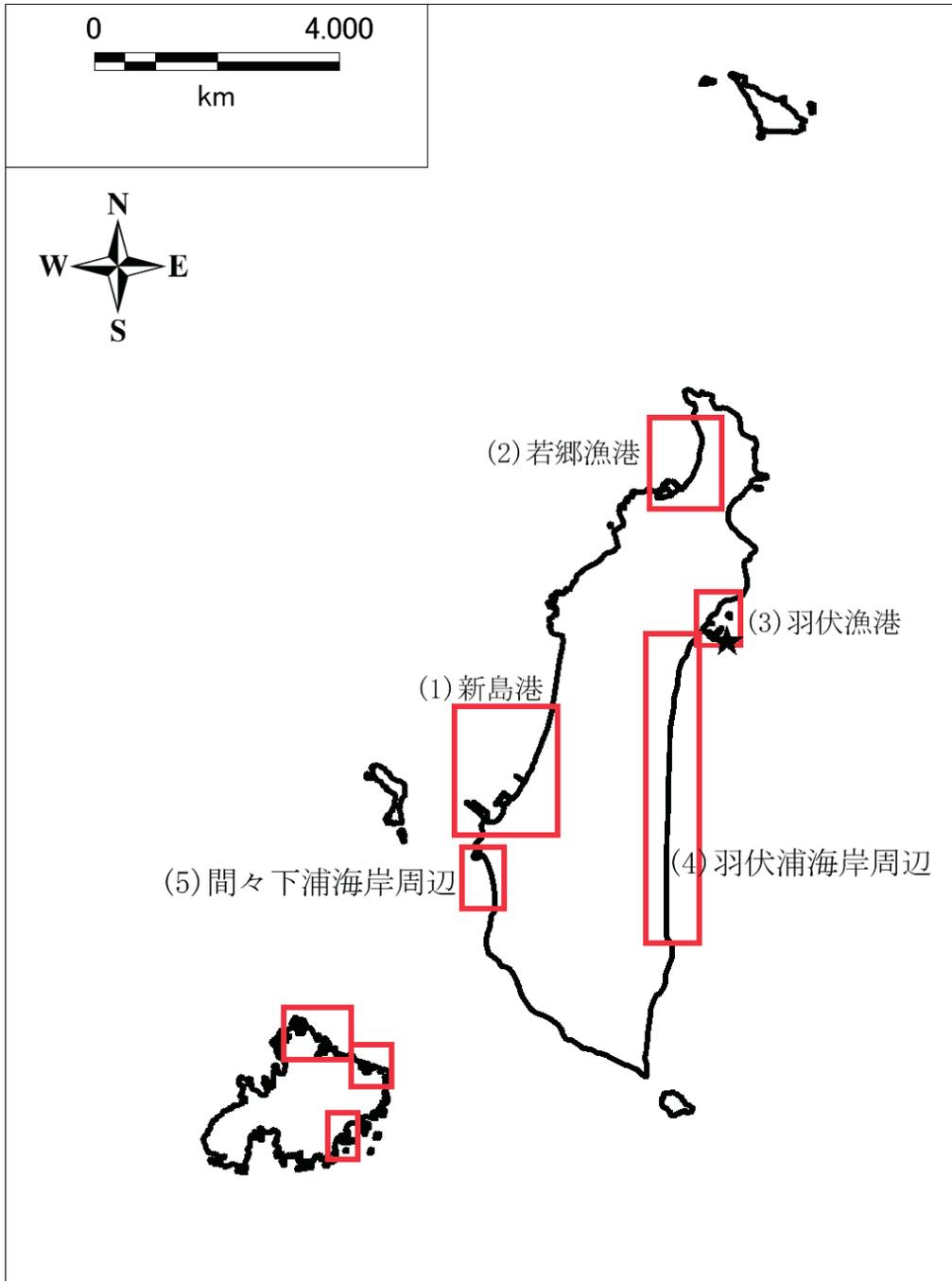
最大津波高 (m)

30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平25情復、第27号）

(3) 新島

3-1) 全体及び拡大範囲図



新島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

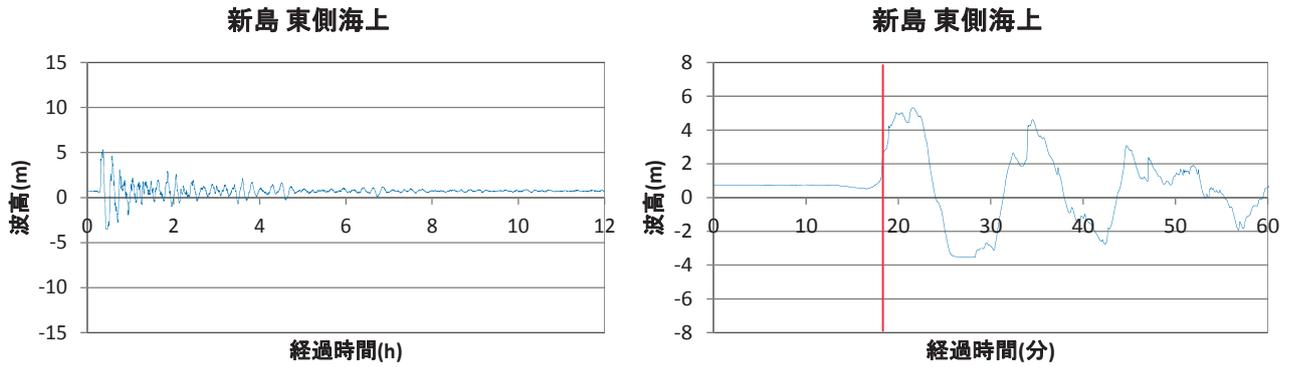
3-2) 新島の総括表

新島の総括表

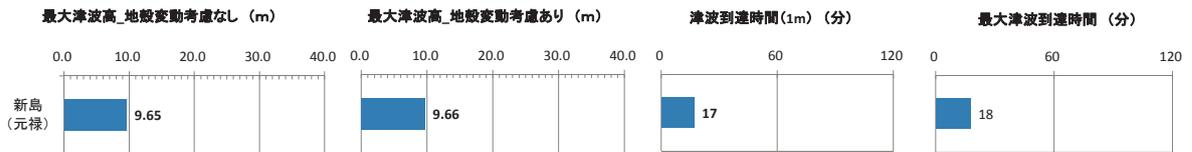
対象地震	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
元禄型 関東地震	(1)新島港	2.87~5.62 (2.86~5.61)	4.25 (4.24)	21.0~25.5 【24.1】	24.1~62.1 【27.0】
	(2)若郷漁港	2.68~6.06 (2.67~6.05)	4.25 (4.24)	17.3~22.6 【17.4】	18.5~52.7 【18.6】
	(3)羽伏漁港	5.39~7.87 (5.38~7.86)	6.54 (6.53)	18.0~20.7 【19.9】	19.1~21.4 【21.1】
	(4)羽伏浦海岸周辺	5.69~8.79 (5.68~8.78)	7.19 (7.18)	18.8~19.4 【19.2】	20.2~32.8 【32.2】
	(5)間々下浦海岸周辺	4.92~6.40 (4.91~6.39)	5.46 (5.45)	23.3~25.5 【24.1】	26.7~44.6 【44.6】
	島全体	2.12~9.66 (2.11~9.65)	5.16 (5.15)	17.1~25.5 【21.8】	17.7~71.7 【41.0】

3-3) 新島の代表点の津波波形 (12時間波形及び最初の1時間の波形)

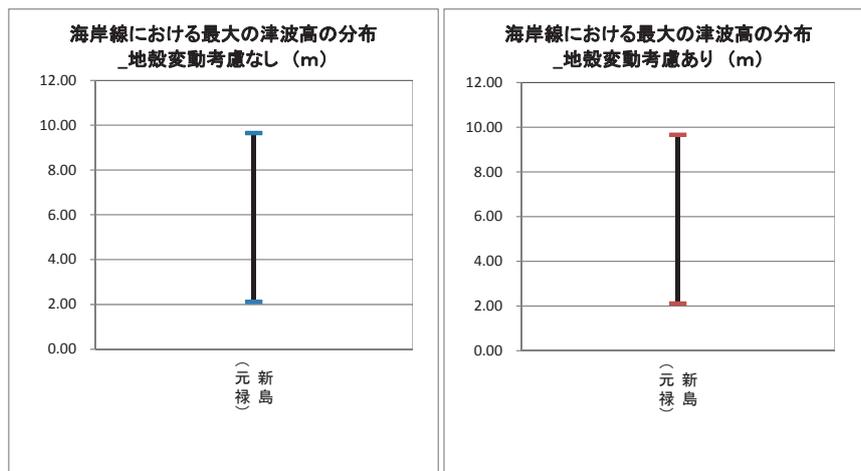
(赤線: 1m津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))



3-4) 新島 (全体) の海岸線における最大津波高 (及びその範囲)・到達時間



最大津波高と津波到達時間 (1m及び最大波)



最大津波高の範囲

3-5) 新島全体の最大津波高・最大浸水深分布図（元禄型関東地震）



新島（元禄型関東地震）

最大浸水深 (m)

■ 20m以上	20m未満
■ 10m以上	10m未満
■ 5m以上	5m未満
■ 2m以上	2m未満
■ 1m以上	1m未満
■ 0.3m以上	0.3m未満
■ 0.3m未満	

最大津波高 (m)

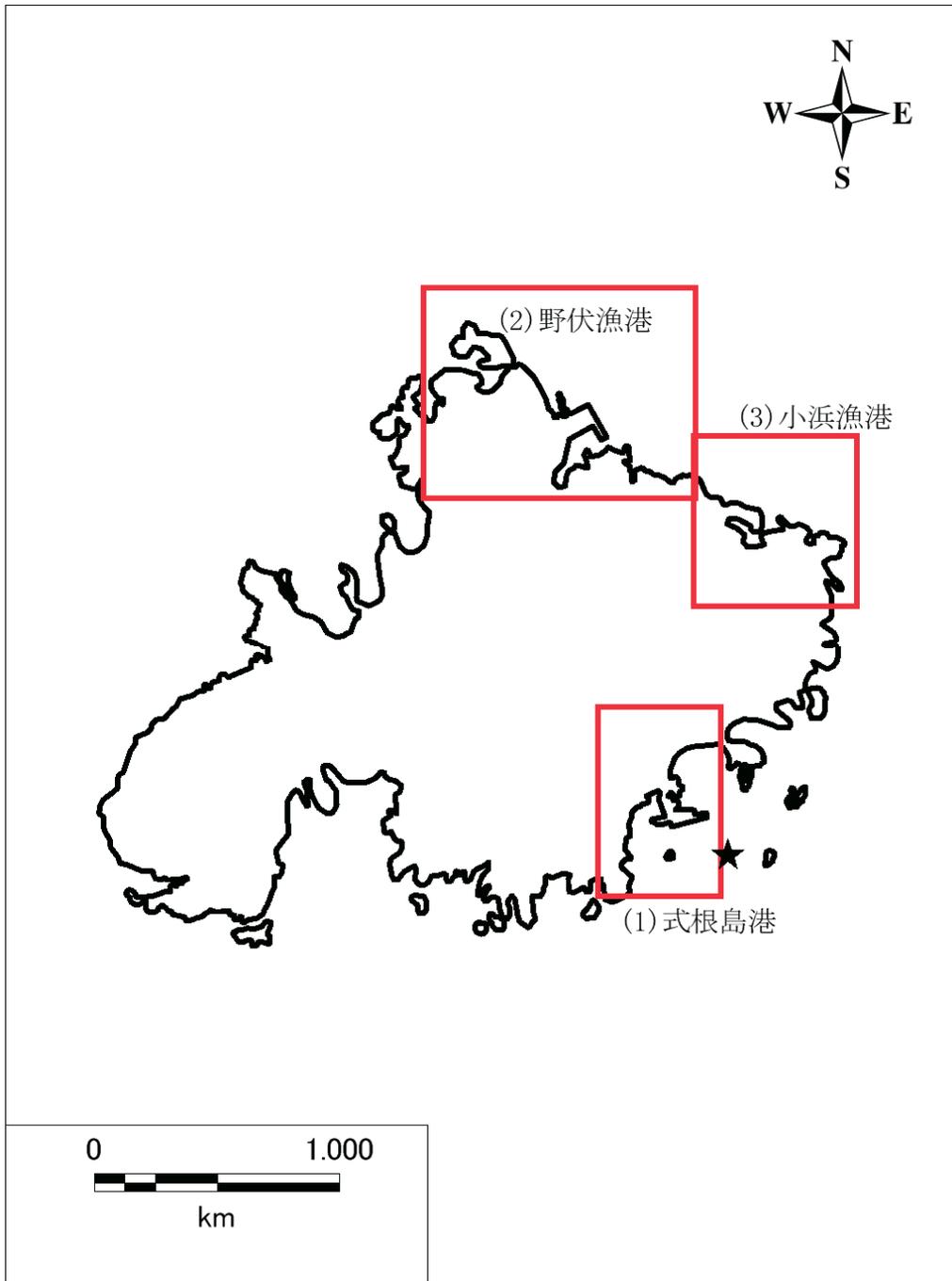
■ 30m以上	30m未満
■ 20m以上	20m未満
■ 15m以上	15m未満
■ 14m以上	14m未満
■ 13m以上	13m未満
■ 12m以上	12m未満
■ 11m以上	11m未満
■ 10m以上	10m未満
■ 9m以上	9m未満
■ 8m以上	8m未満
■ 7m以上	7m未満
■ 6m以上	6m未満
■ 5m以上	5m未満
■ 4m以上	4m未満
■ 3m以上	3m未満
■ 2m以上	2m未満
■ 1m以上	1m未満
■ 0m以上	1m未満

新島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平 25 情復、第 27 号）

(4) 式根島

4-1) 全体及び拡大範囲図



式根島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

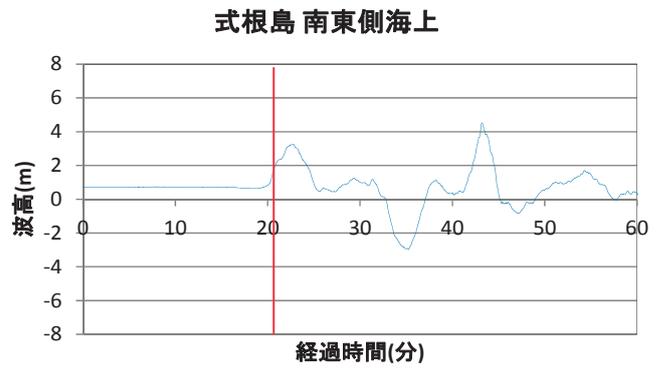
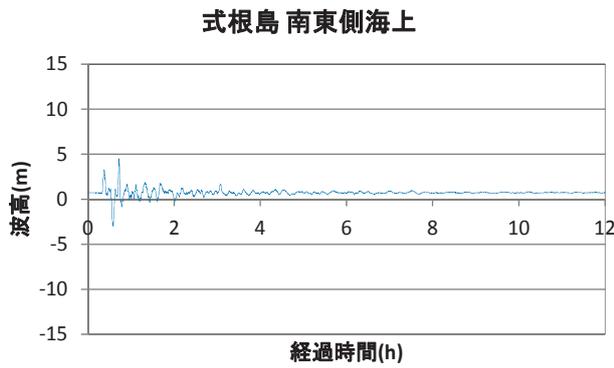
4 - 2) 式根島の総括表

式根島の総括表

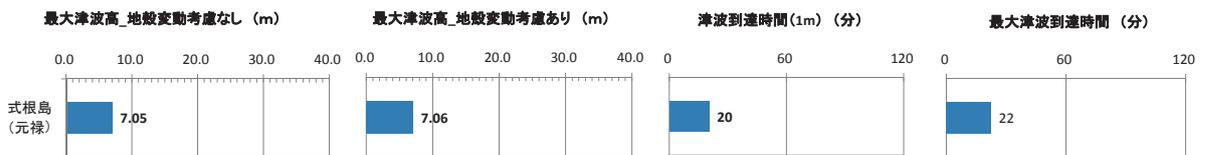
対象地震	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
元禄型 関東地震	(1)式根島港	4.10~6.96 (4.09~6.95)	5.14 (5.13)	20.5~21.8 【21.5】	43.3~44.0 【44.0】
	(2)野伏漁港	2.75~4.82 (2.74~4.81)	3.44 (3.43)	22.2~25.8 【23.4】	24.8~59.4 【56.4】
	(3)小浜漁港	2.89~4.36 (2.88~4.35)	3.51 (3.50)	21.5~24.3 【22.7】	26.2~44.5 【39.4】
	島全体	1.95~7.06 (1.94~7.05)	3.78 (3.77)	20.5~25.8 【21.4】	22.4~60.3 【43.9】

4-3) 式根島の代表点の津波波形 (12 時間波形及び最初の 1 時間の波形)

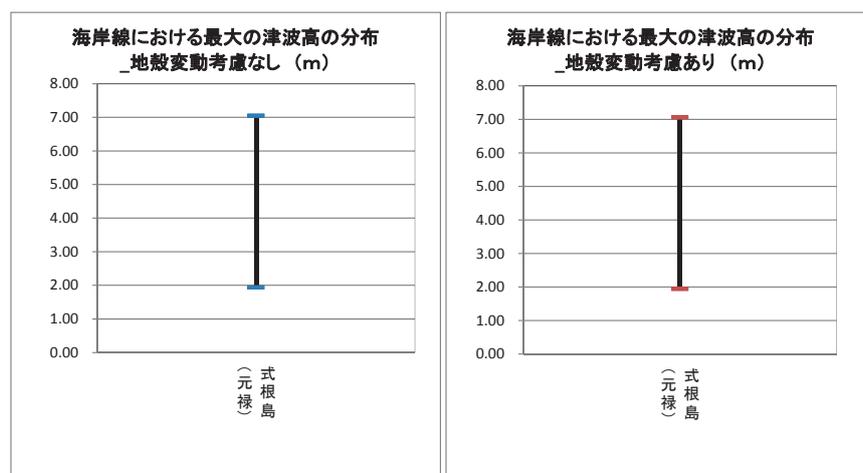
(赤線: 1 m 津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))



4-4) 式根島 (全体) の海岸線における最大津波高 (及びその範囲)・到達時間

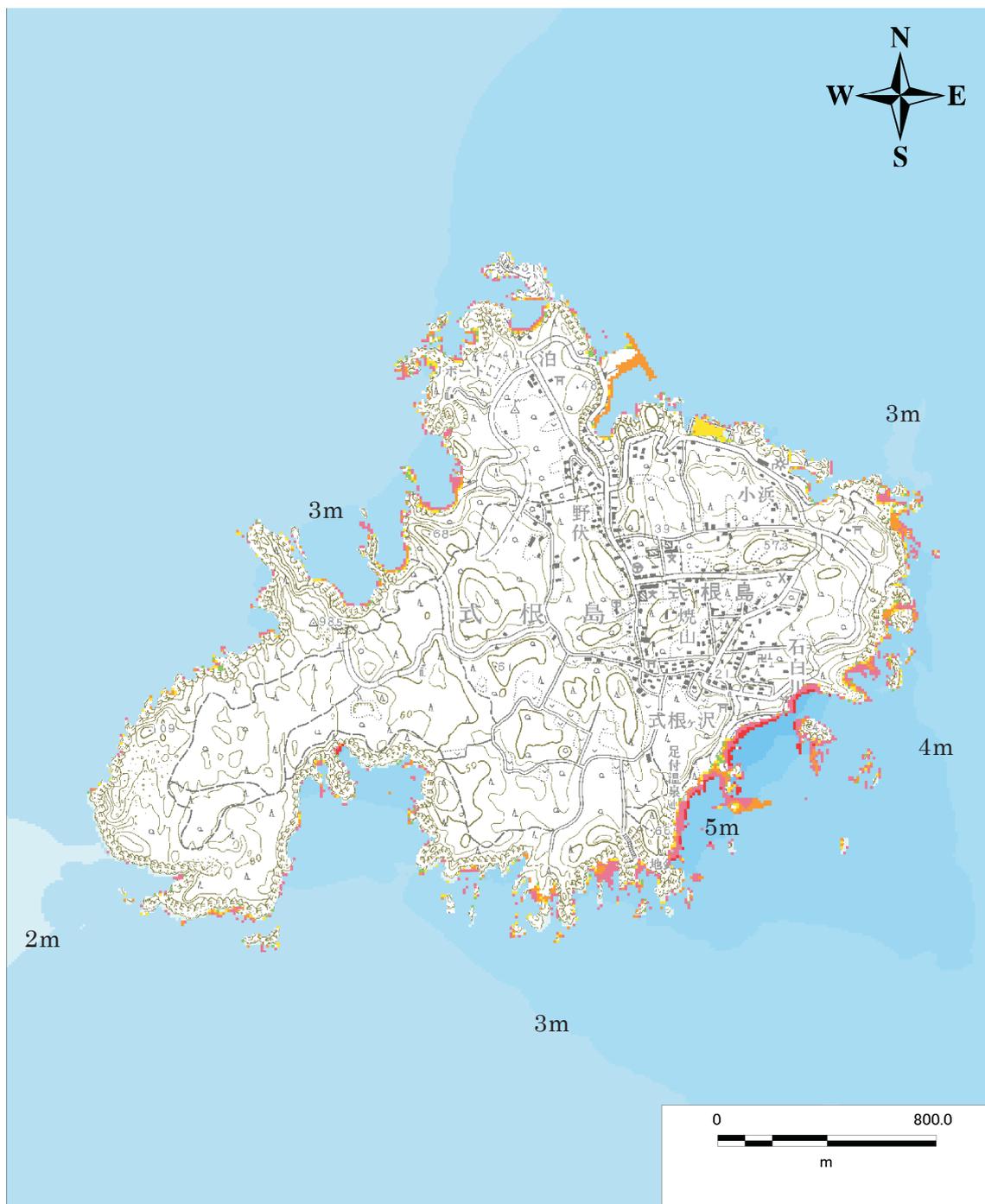


最大津波高と津波到達時間 (1 m 及び最大波)



最大津波高の範囲

4-5) 式根島全体の最大津波高・最大浸水深分布図（元禄型関東地震）



式根島（元禄型関東地震）

最大浸水深 (m)

20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満

最大津波高 (m)

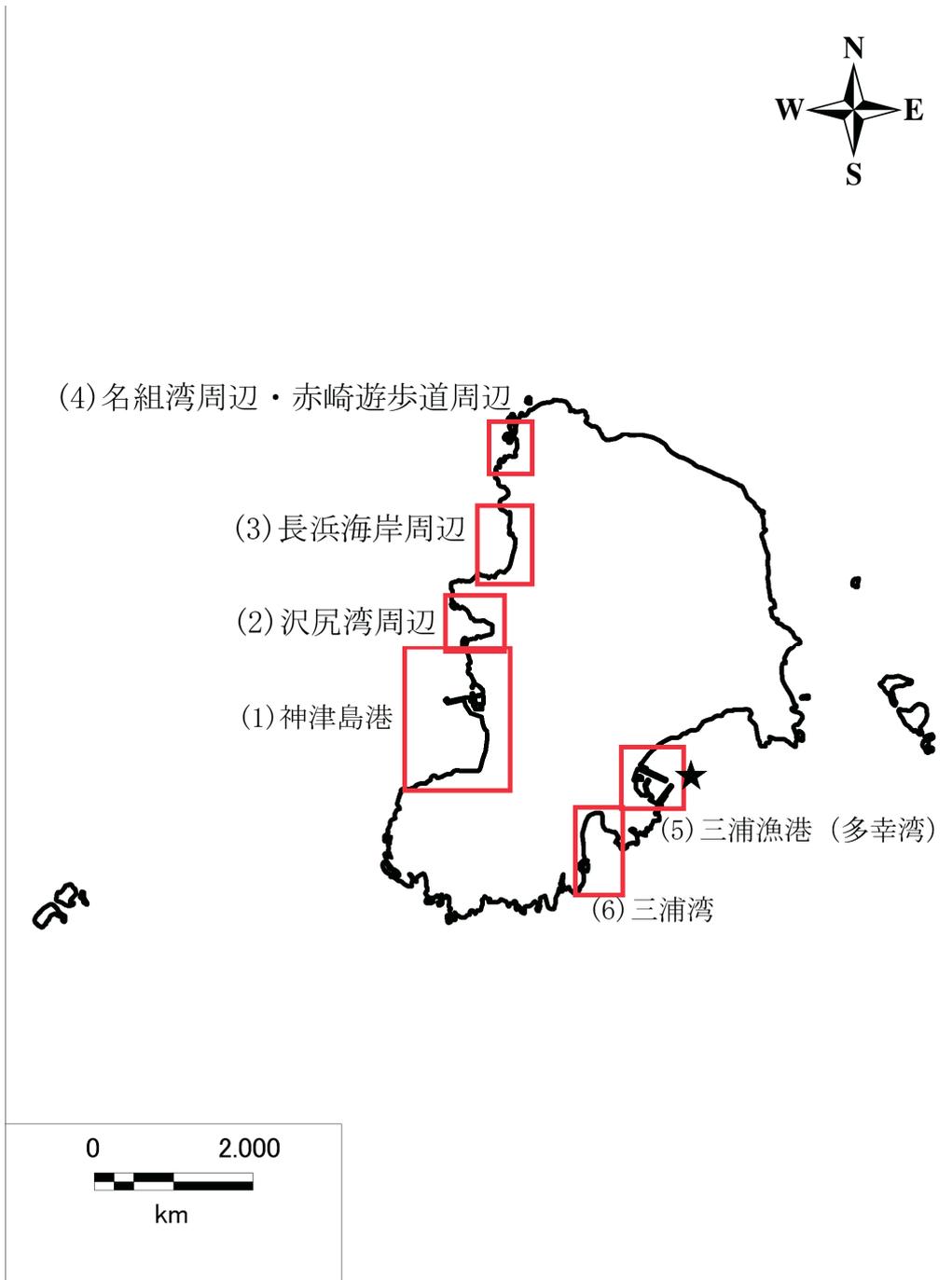
30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	1m未満

式根島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平 25 情復、第 27 号）

(5) 神津島

5-1) 全体及び拡大範囲図



神津島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

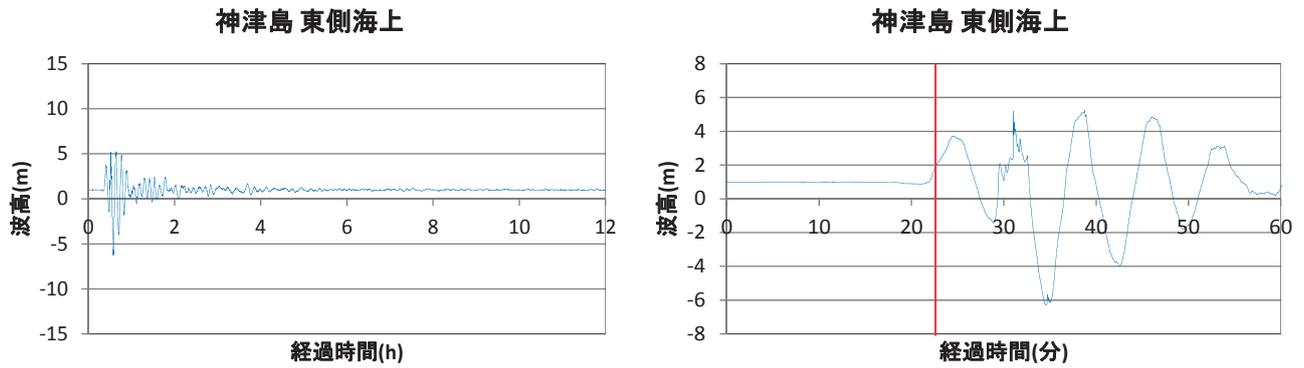
5 - 2) 神津島の総括表

神津島の総括表

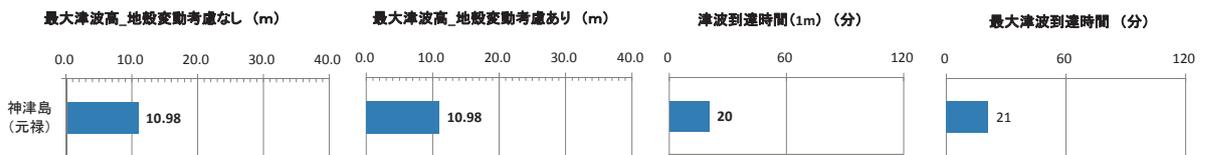
対象地震	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
元禄型 関東地震	(1) 神津島港	3.03~5.45 (3.03~5.45)	3.90 (3.90)	27.1~28.5 【27.4】	29.3~61.5 【41.8】
	(2) 沢尻湾周辺	3.43~5.91 (3.43~5.91)	4.46 (4.46)	27.2~28.0 【28.0】	29.6~44.5 【44.2】
	(3) 長浜海岸周辺	4.16~6.29 (4.16~6.29)	5.39 (5.39)	26.7~27.6 【27.6】	43.1~44.7 【43.2】
	(4) 名組湾周辺・ 赤崎遊歩道周辺	2.74~4.06 (2.74~4.06)	3.38 (3.38)	24.9~25.9 【25.7】	25.5~46.7 【44.2】
	(5) 三浦漁港(多幸湾)	4.92~8.98 (4.92~8.98)	6.44 (6.44)	22.4~25.0 【23.2】	29.5~39.9 【37.8】
	(6) 三浦湾	2.86~6.34 (2.86~6.34)	4.48 (4.48)	22.5~25.2 【24.6】	25.1~47.9 【31.5】
	島全体	2.48~10.98 (2.48~10.98)	4.92 (4.92)	20.5~30.9 【23.1】	21.0~61.5 【37.4】

5-3) 神津島の代表点の津波波形 (12 時間波形及び最初の 1 時間の波形)

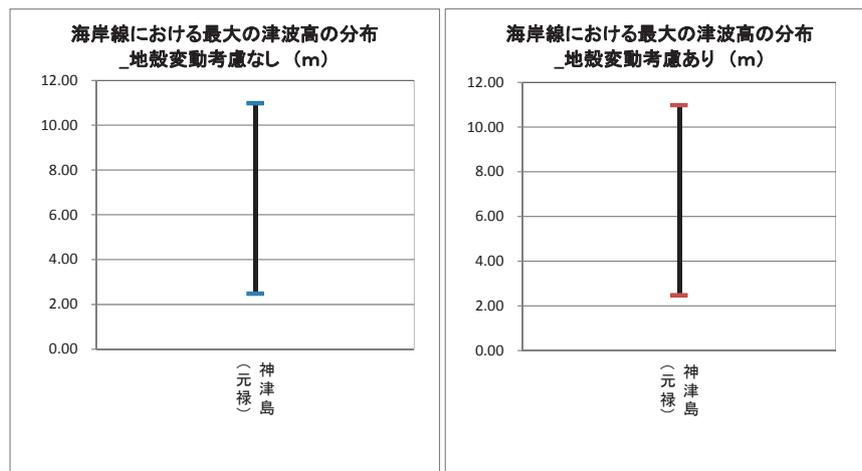
(赤線: 1 m 津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))



5-4) 神津島 (全体) の海岸線における最大津波高 (及びその範囲)・到達時間

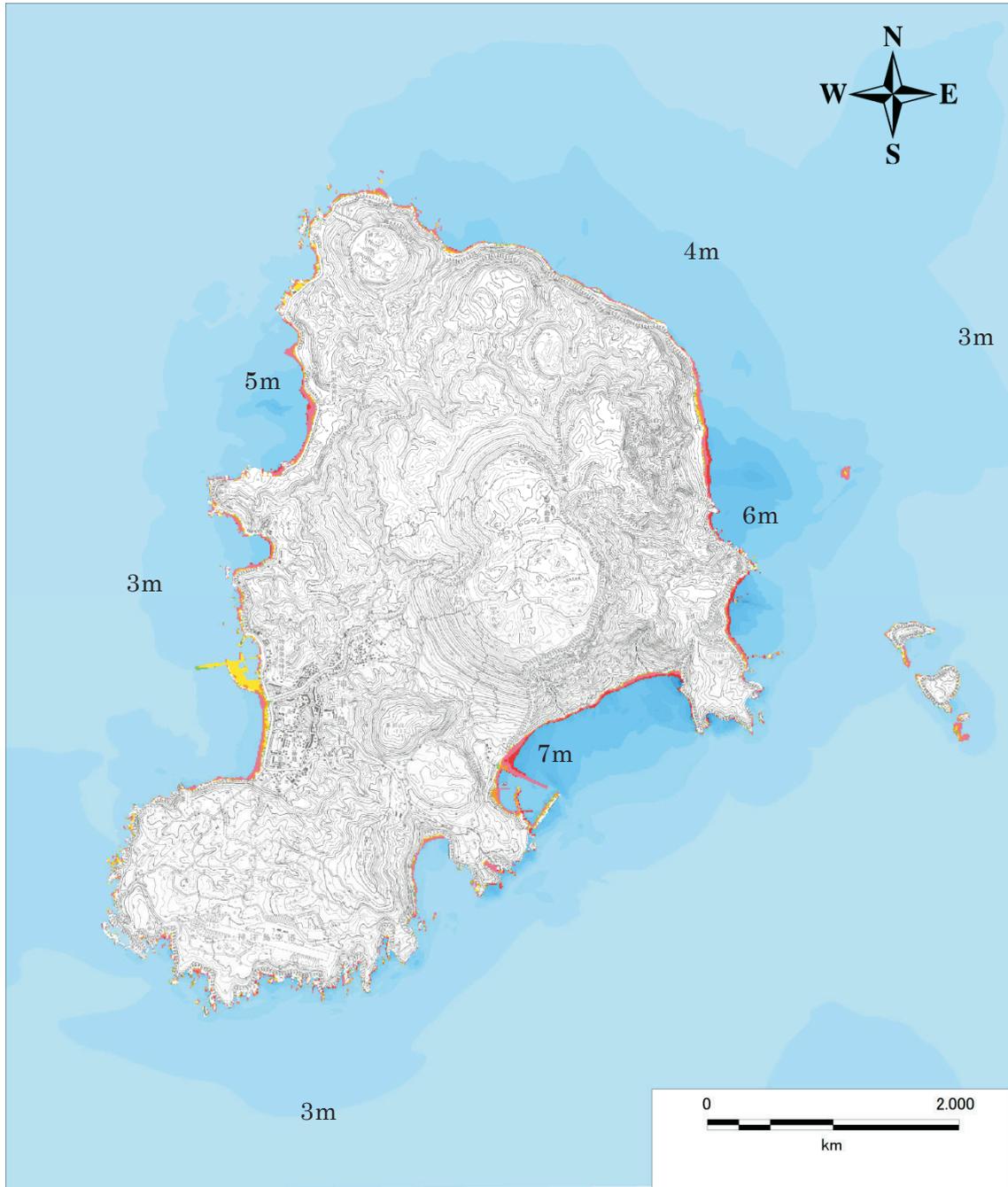


最大津波高と津波到達時間 (1 m 及び最大波)



最大津波高の範囲

5-5) 神津島全体の最大津波高・最大浸水深分布図（元禄型関東地震）



神津島（元禄型関東地震）

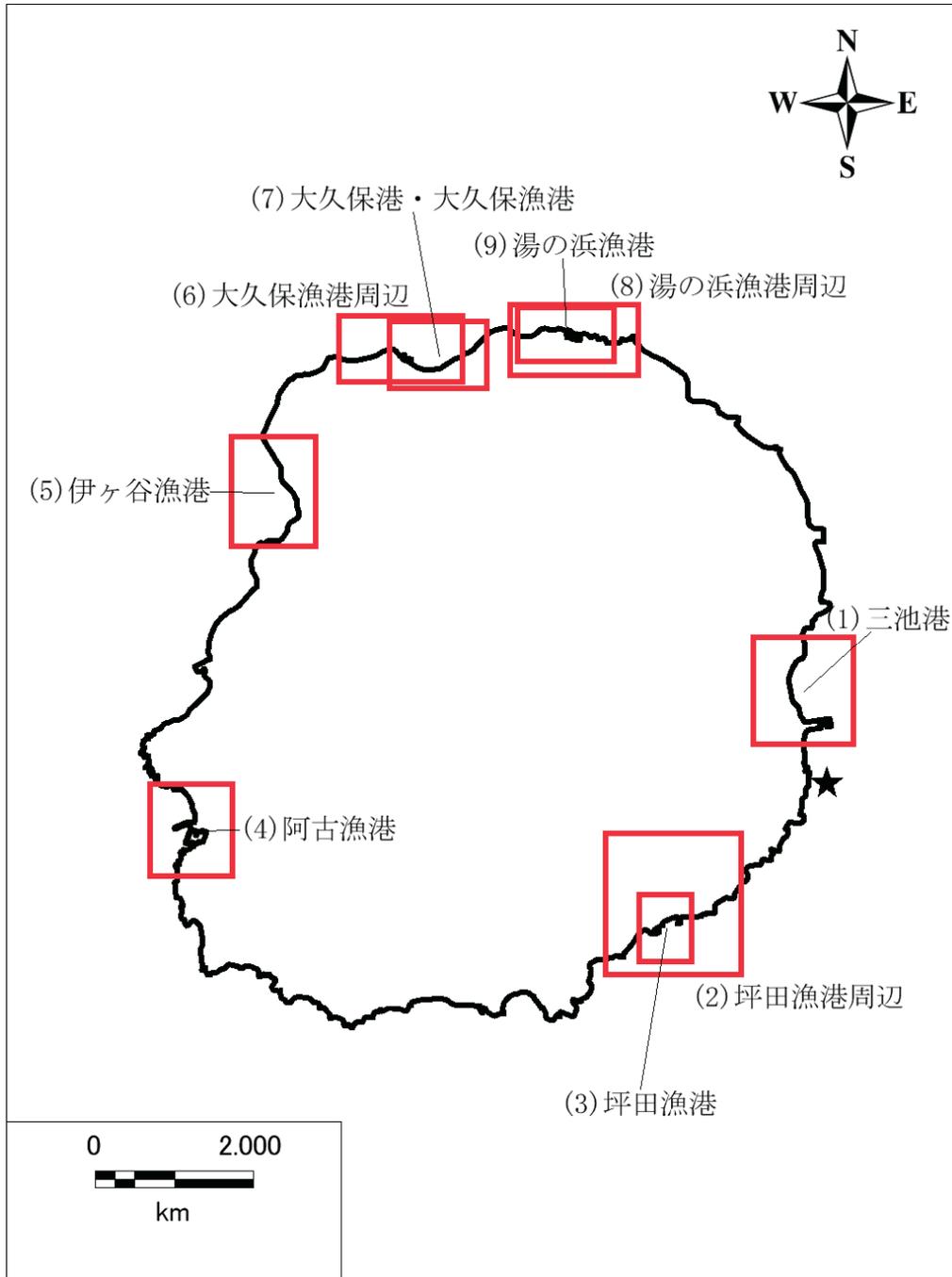
最大浸水深 (m)		最大津波高 (m)	
■ 20m以上	■ 20m未満	■ 30m以上	■ 30m未満
■ 10m以上	■ 10m未満	■ 25m以上	■ 25m未満
■ 5m以上	■ 5m未満	■ 20m以上	■ 20m未満
■ 2m以上	■ 2m未満	■ 15m以上	■ 15m未満
■ 1m以上	■ 1m未満	■ 14m以上	■ 14m未満
■ 0.3m以上	■ 0.3m未満	■ 13m以上	■ 13m未満
		■ 12m以上	■ 12m未満
		■ 11m以上	■ 11m未満
		■ 10m以上	■ 10m未満
		■ 9m以上	■ 9m未満
		■ 8m以上	■ 8m未満
		■ 7m以上	■ 7m未満
		■ 6m以上	■ 6m未満
		■ 5m以上	■ 5m未満
		■ 4m以上	■ 4m未満
		■ 3m以上	■ 3m未満
		■ 2m以上	■ 2m未満
		■ 1m以上	■ 1m未満
		■ 0m以上	■ 1m未満

神津島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平25情復、第27号）

(6) 三宅島

6-1) 全体及び拡大範囲図



三宅島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

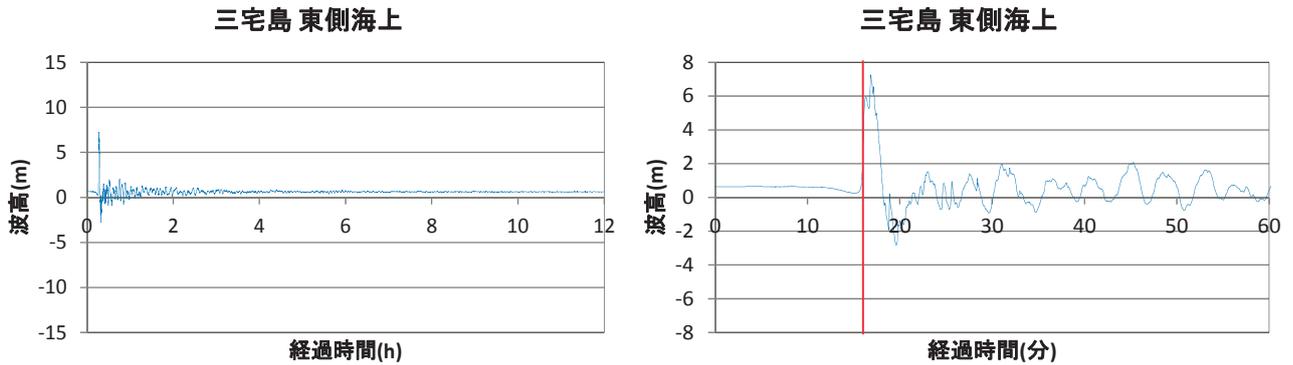
## 6-2) 三宅島の総括表

三宅島の総括表

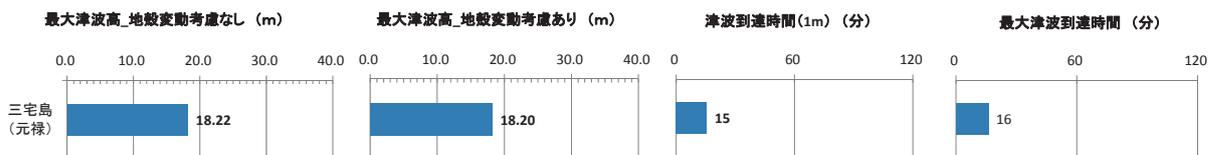
対象地震	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
元禄型 関東地震	(1)三池港	8.04~18.20 (8.06~18.22)	12.22 (12.24)	15.8~16.8 【16.5】	16.3~17.9 【16.7】
	(2)坪田漁港周辺	5.89~15.59 (5.91~15.61)	9.65 (9.67)	16.4~17.4 【17.4】	16.8~18.3 【17.5】
	(3)坪田漁港	5.89~14.90 (5.91~14.92)	8.82 (8.84)	16.7~17.4 【17.4】	17.0~18.3 【17.5】
	(4)阿古漁港	4.28~8.58 (4.30~8.60)	6.44 (6.46)	19.8~21.5 【20.7】	20.2~22.8 【21.3】
	(5)伊ヶ谷漁港	4.42~10.68 (4.43~10.69)	7.75 (7.76)	18.6~19.9 【19.8】	18.8~21.4 【20.7】
	(6)大久保漁港周辺	8.93~14.16 (8.94~14.17)	12.00 (12.01)	17.5~17.9 【17.9】	17.9~19.1 【18.9】
	(7)大久保港・ 大久保漁港	7.43~14.16 (7.44~14.17)	12.00 (12.01)	17.3~17.9 【17.9】	17.6~19.1 【18.9】
	(8)湯の浜漁港周辺	6.95~14.68 (6.97~14.69)	9.53 (9.54)	15.8~17.2 【17.1】	16.7~18.0 【17.5】
	(9)湯の浜漁港	7.91~14.68 (7.92~14.69)	9.92 (9.93)	16.1~17.2 【17.1】	16.7~18.0 【17.5】
	島全体	4.08~18.20 (4.09~18.22)	8.92 (8.94)	15.5~21.5 【16.5】	15.9~22.8 【16.7】

6-3) 三宅島の代表点の津波波形 (12時間波形及び最初の1時間の波形)

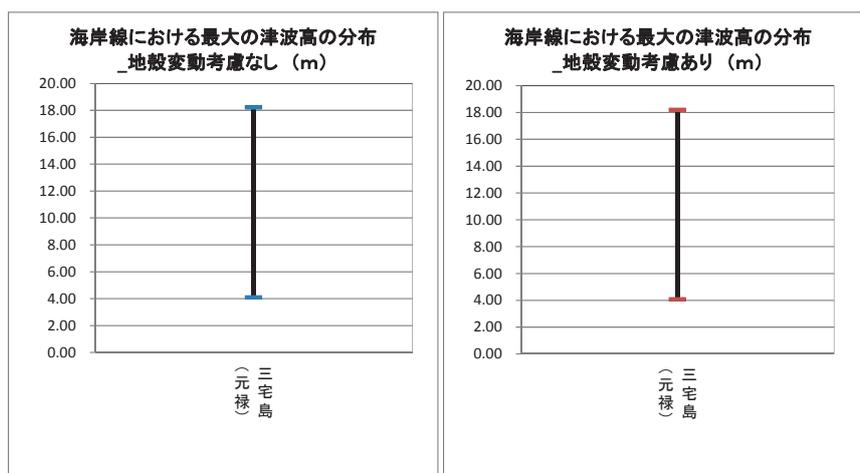
(赤線: 1m津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))



6-4) 三宅島 (全体) の海岸線における最大津波高 (及びその範囲)・到達時間

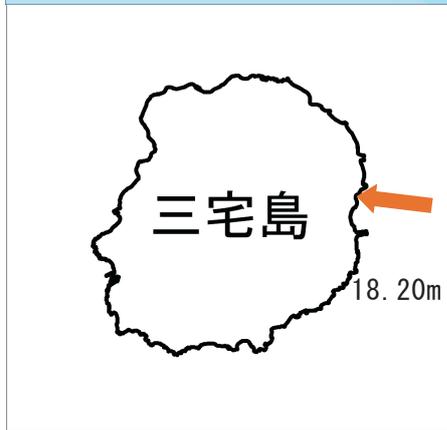
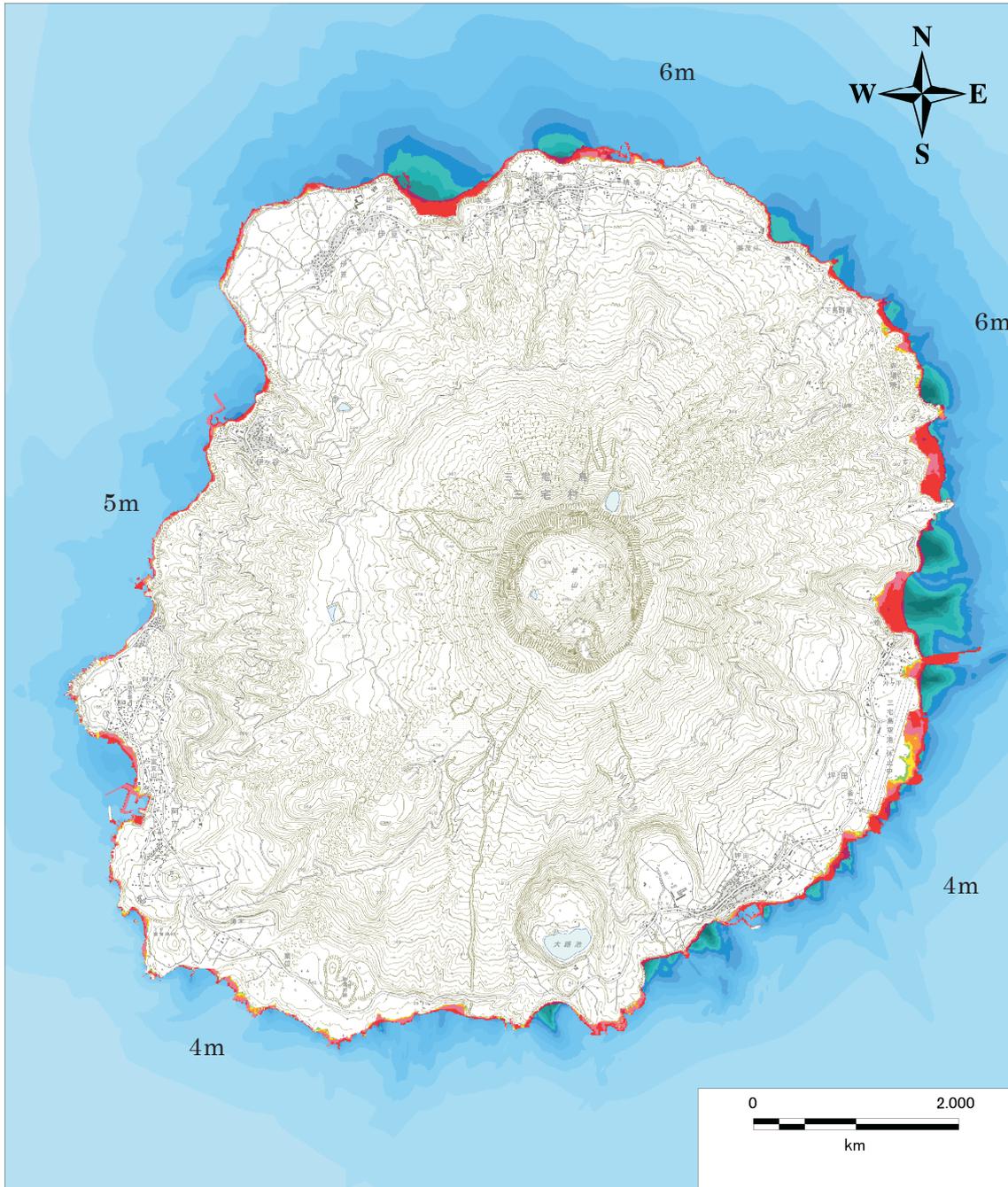


最大津波高と津波到達時間 (1m及び最大波)

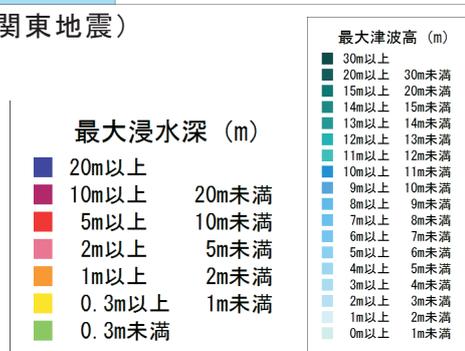


最大津波高の範囲

6-5) 三宅島全体の最大津波高・最大浸水深分布図 (元禄型関東地震)



三宅島 (元禄型関東地震)

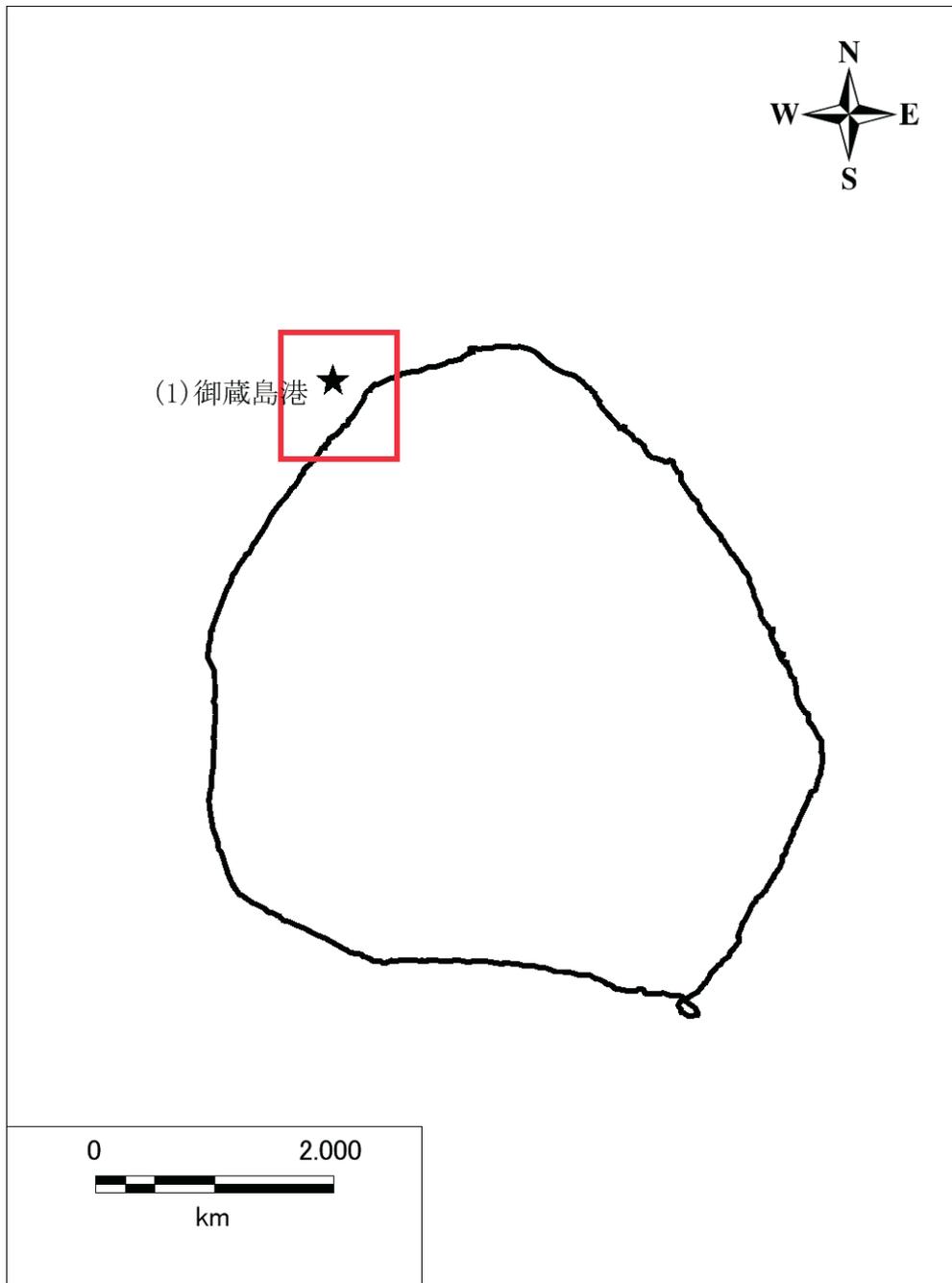


三宅島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平 25 情復、第 27 号)

(7) 御蔵島

7-1) 全体及び拡大範囲図



御蔵島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

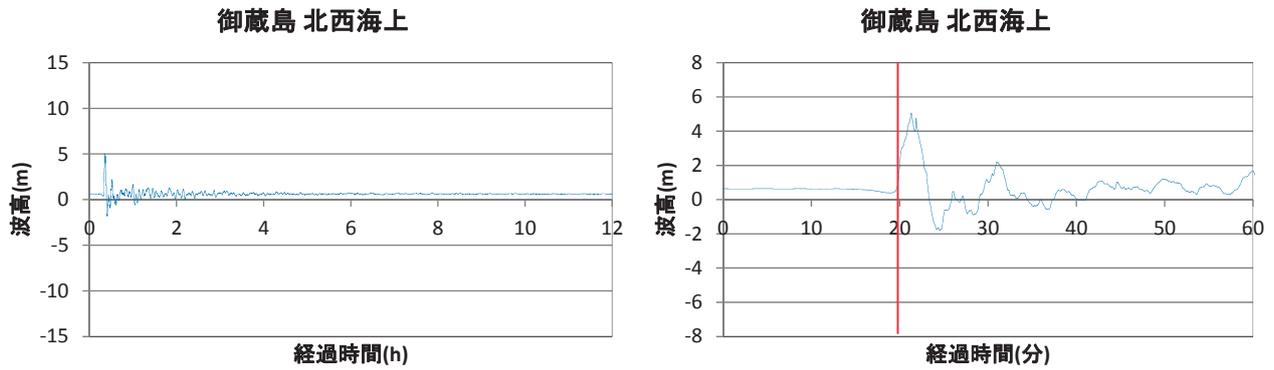
7-2) 御蔵島の総括表

御蔵島の総括表

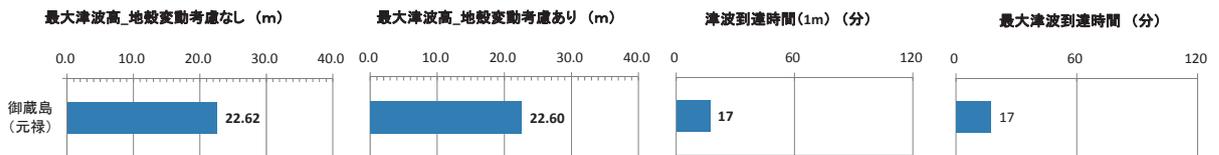
対象地震	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
元禄型 関東地震	(1)御蔵島港	5.30～14.81 (5.32～14.83)	9.41 (9.43)	17.3～17.9 【17.5】	17.6～18.2 【17.8】
	島全体	4.84～22.60 (4.86～22.62)	11.56 (11.58)	17.2～19.7 【17.5】	17.4～23.9 【17.6】

7-3) 御蔵島の代表点の津波波形 (12 時間波形及び最初の 1 時間の波形)

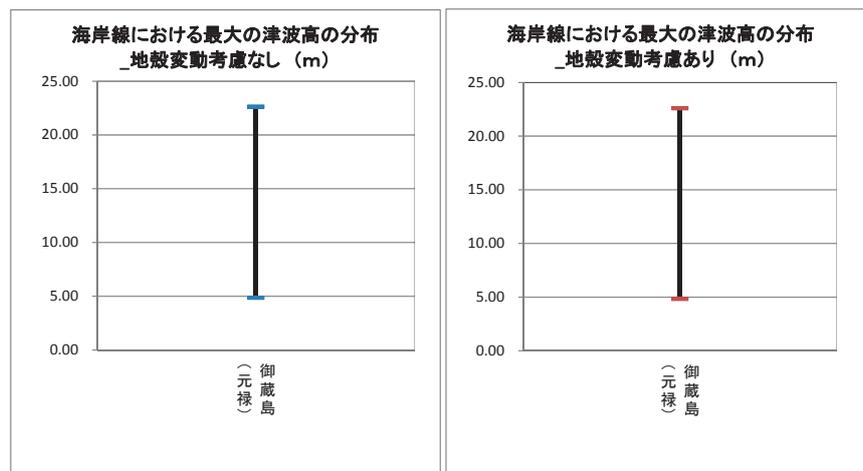
(赤線: 1 m 津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))



7-4) 御蔵島 (全体) の海岸線における最大津波高 (及びその範囲)・到達時間

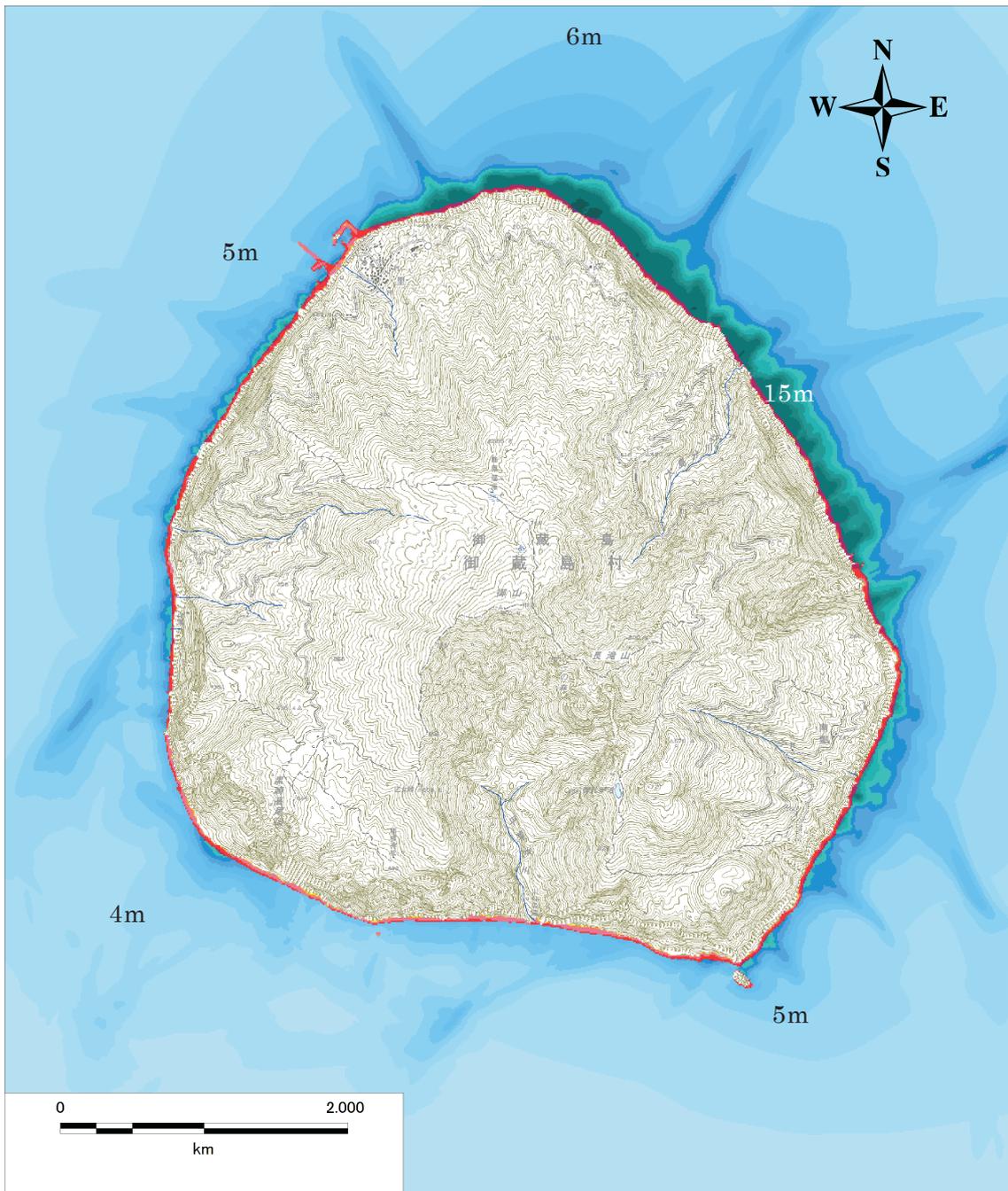


最大津波高と津波到達時間 (1 m 及び最大波)



最大津波高の範囲

7-5) 御蔵島全体の最大津波高・最大浸水深分布図（元禄型関東地震）



御蔵島（元禄型関東地震）

最大浸水深 (m)

20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0.3m以上	0.3m未満
0.3m未満	

最大津波高 (m)

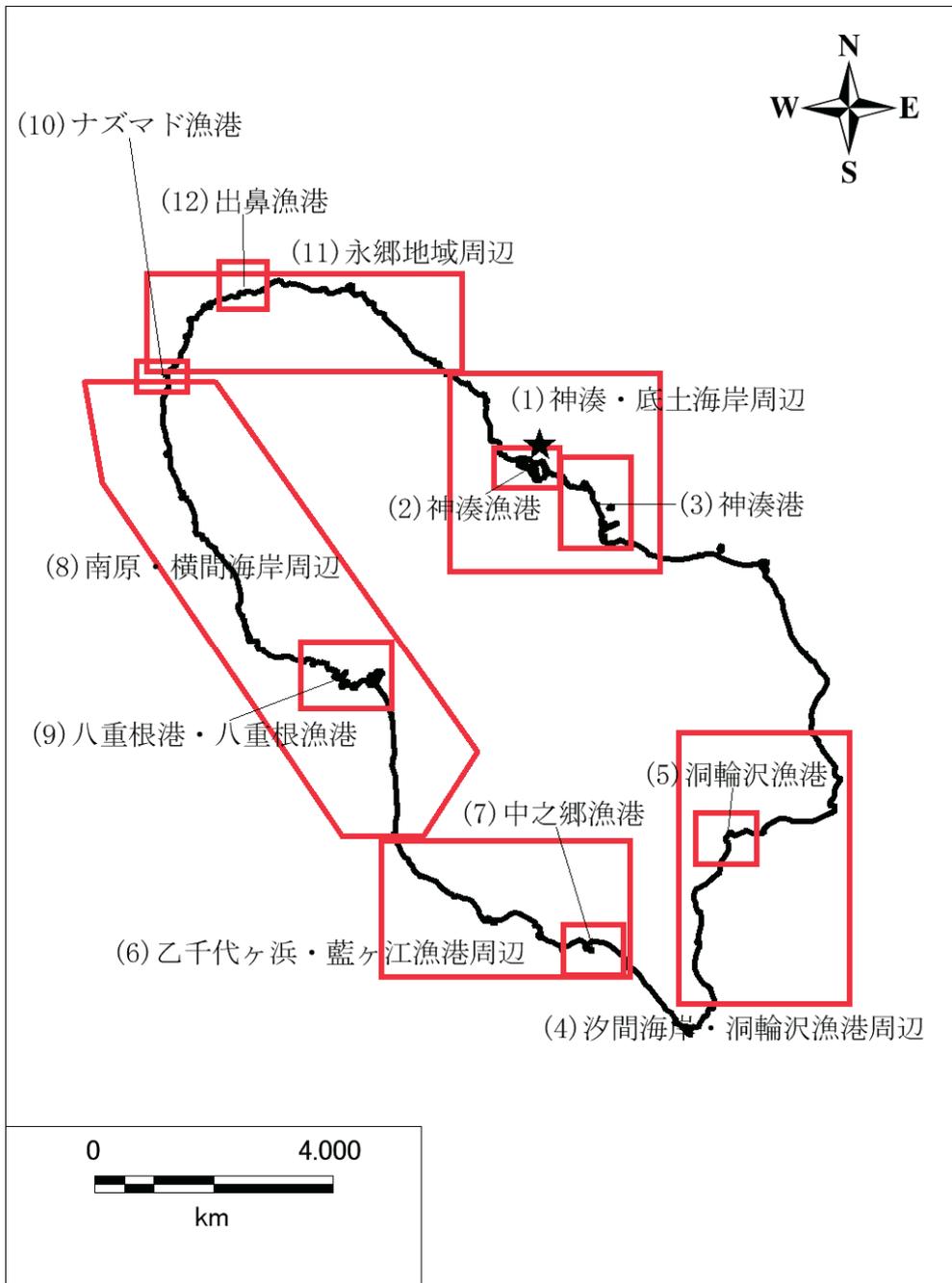
30m以上	30m未満
20m以上	20m未満
15m以上	15m未満
14m以上	14m未満
13m以上	13m未満
12m以上	12m未満
11m以上	11m未満
10m以上	10m未満
9m以上	9m未満
8m以上	8m未満
7m以上	7m未満
6m以上	6m未満
5m以上	5m未満
4m以上	4m未満
3m以上	3m未満
2m以上	2m未満
1m以上	1m未満
0m以上	0m未満

御蔵島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平 25 情復、第 27 号）

(8) 八丈島

8-1) 全体及び拡大範囲図



八丈島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

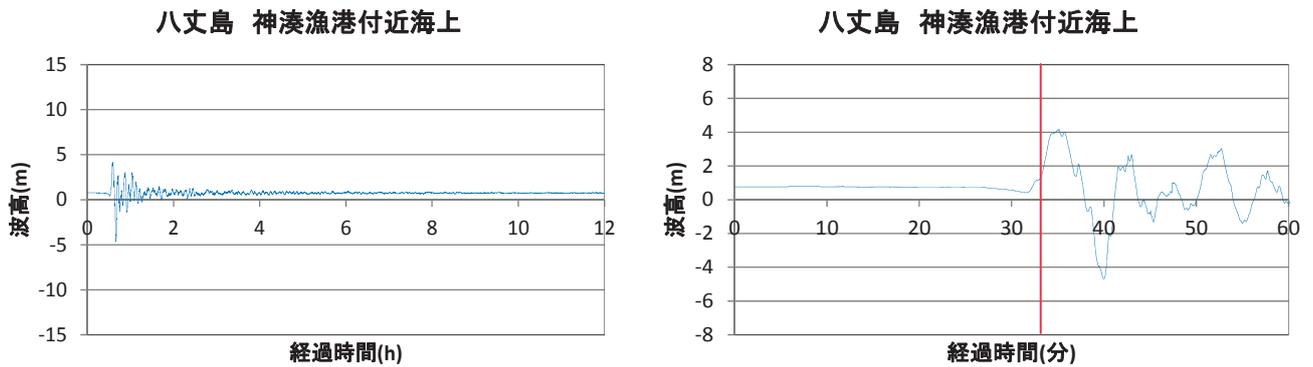
8-2) 八丈島の総括表

八丈島の総括表

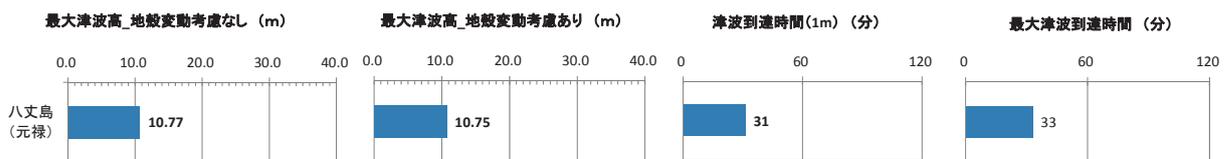
対象地震	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
元禄型 関東地震	(1) 神湊・底土海岸周辺	3.75～10.75 (3.77～10.77)	6.03 (6.05)	32.1～36.6 【34.5】	33.9～44.9 【44.0】
	(2) 神湊漁港	3.77～7.51 (3.79～7.53)	4.96 (4.98)	33.0～36.6 【33.5】	34.6～42.1 【35.0】
	(3) 神湊港	5.26～10.75 (5.28～10.77)	7.58 (7.60)	33.3～34.7 【34.5】	34.7～44.9 【44.0】
	(4) 夕間海岸・ 洞輪沢漁港周辺	2.83～7.46 (2.85～7.48)	4.61 (4.63)	33.8～37.7 【36.8】	36.6～79.0 【48.8】
	(5) 洞輪沢漁港	3.53～6.13 (3.55～6.15)	4.67 (4.69)	35.5～37.7 【36.2】	39.5～61.2 【51.1】
	(6) 乙千代ヶ浜・ 藍ヶ江漁港周辺	2.73～5.47 (2.75～5.49)	3.68 (3.70)	37.1～39.0 【38.9】	39.0～94.5 【39.9】
	(7) 中之郷漁港	3.60～4.61 (3.62～4.63)	4.02 (4.04)	38.2～38.7 【38.6】	39.0～39.9 【39.8】
	(8) 南原・横間海岸周辺	2.09～5.86 (2.11～5.88)	3.79 (3.81)	32.2～39.0 【33.5】	33.3～70.9 【38.9】
	(9) 八重根港・ 八重根漁港	2.37～5.58 (2.39～5.59)	4.02 (4.04)	35.5～39.0 【36.6】	42.9～58.0 【55.7】
	(10) ナズマド漁港	2.70～5.34 (2.72～5.36)	3.63 (3.65)	32.0～32.7 【32.0】	33.2～43.2 【34.7】
	(11) 永郷地域周辺	2.74～7.87 (2.76～7.89)	5.01 (5.02)	31.3～33.0 【31.4】	33.0～43.2 【34.7】
	(12) 出鼻漁港	5.37～7.87 (5.39～7.89)	6.19 (6.21)	31.3～31.4 【31.4】	34.6～36.8 【34.7】
	島全体	2.09～10.75 (2.11～10.77)	4.65 (4.67)	31.3～39.0 【34.5】	33.0～94.5 【44.0】

8-3) 八丈島の代表点の津波波形 (12時間波形及び最初の1時間の波形)

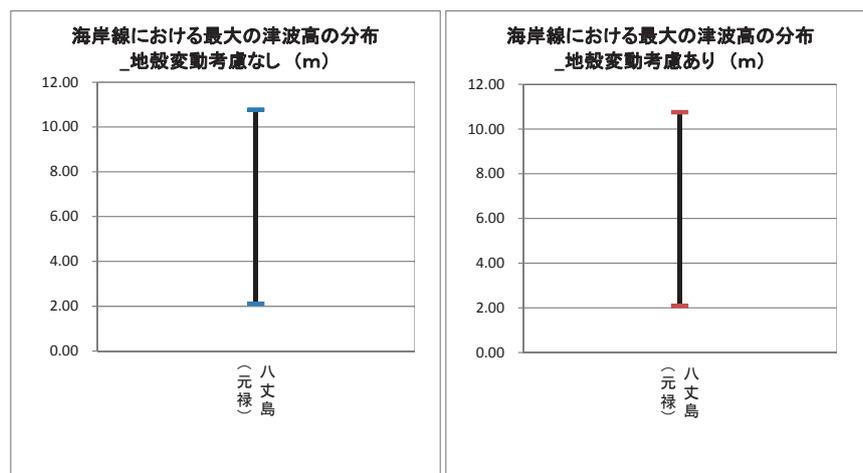
(赤線: 1m津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))



8-4) 八丈島 (全体) の海岸線における最大津波高 (及びその範囲)・到達時間



最大津波高と津波到達時間 (1m及び最大波)



最大津波高の範囲

8-5) 八丈島全体の最大津波高・最大浸水深分布図（元禄型関東地震）



八丈島（元禄型関東地震）

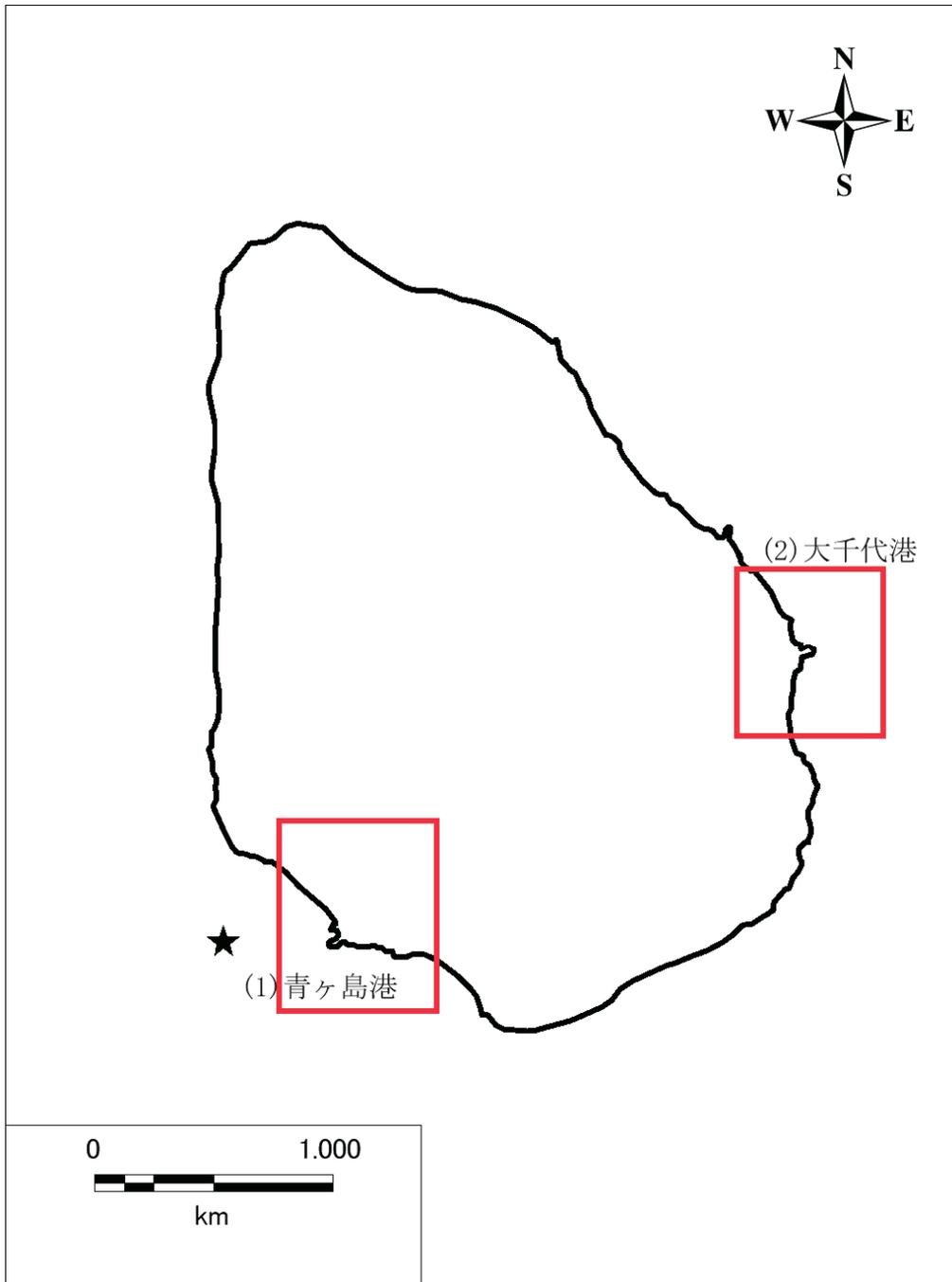
最大浸水深 (m)		最大津波高 (m)	
■ 20m以上	■ 20m未満	■ 30m以上	■ 30m未満
■ 10m以上	■ 10m未満	■ 15m以上	■ 20m未満
■ 5m以上	■ 5m未満	■ 14m以上	■ 15m未満
■ 2m以上	■ 2m未満	■ 13m以上	■ 14m未満
■ 1m以上	■ 1m未満	■ 12m以上	■ 13m未満
■ 0.3m以上	■ 0.3m未満	■ 11m以上	■ 12m未満
		■ 10m以上	■ 11m未満
		■ 9m以上	■ 10m未満
		■ 8m以上	■ 9m未満
		■ 7m以上	■ 8m未満
		■ 6m以上	■ 7m未満
		■ 5m以上	■ 6m未満
		■ 4m以上	■ 5m未満
		■ 3m以上	■ 4m未満
		■ 2m以上	■ 3m未満
		■ 1m以上	■ 2m未満
		■ 0m以上	■ 1m未満

八丈島全体での最大津波高地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平 25 情復、第 27 号）

(9) 青ヶ島

9-1) 全体及び拡大範囲図



青ヶ島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

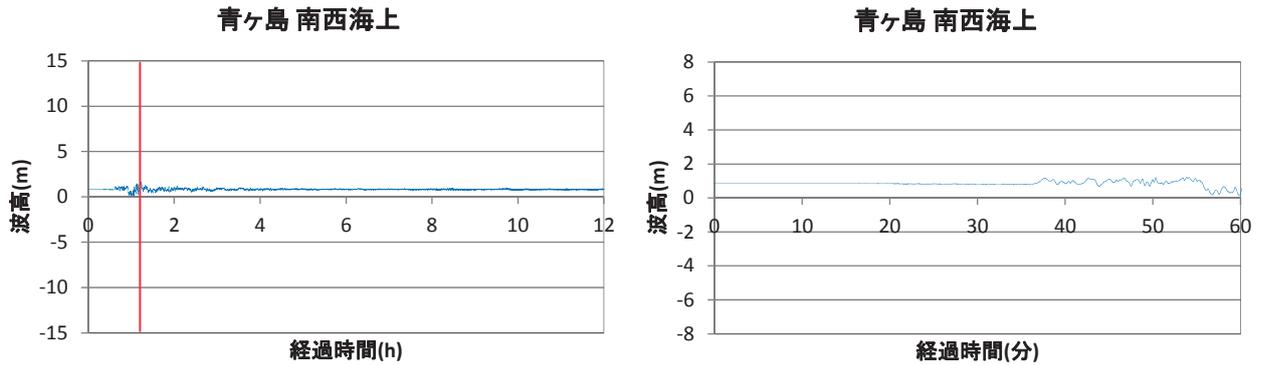
9-2) 青ヶ島の総括表

青ヶ島の総括表

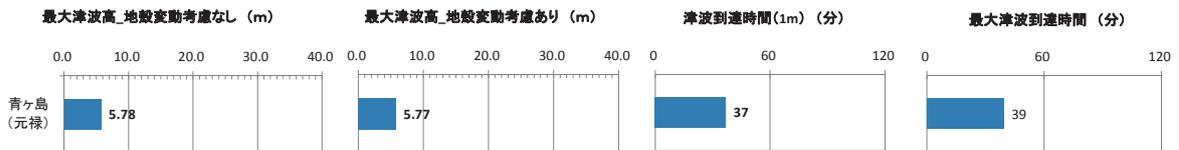
対象地震	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
元禄型 関東地震	(1) 青ヶ島港	1.97~3.90 (1.98~3.91)	2.75 (2.76)	40.3~74.0 【41.4】	59.7~74.2 【68.2】
	(2) 大千代港	1.89~3.18 (1.90~3.19)	2.50 (2.51)	36.8~73.7 【36.9】	61.2~84.0 【63.7】
	島全体	1.89~5.77 (1.90~5.78)	3.00 (3.01)	36.8~74.0 【37.9】	39.3~85.6 【56.3】

9-3) 青ヶ島の代表点の津波波形 (12 時間波形及び最初の 1 時間の波形)

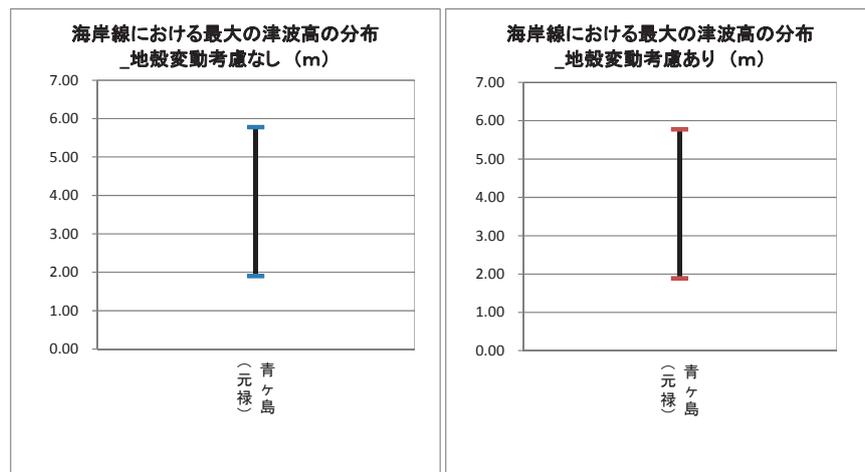
(赤線: 1 m 津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))



9-4) 青ヶ島 (全体) の海岸線における最大津波高 (及びその範囲)・到達時間

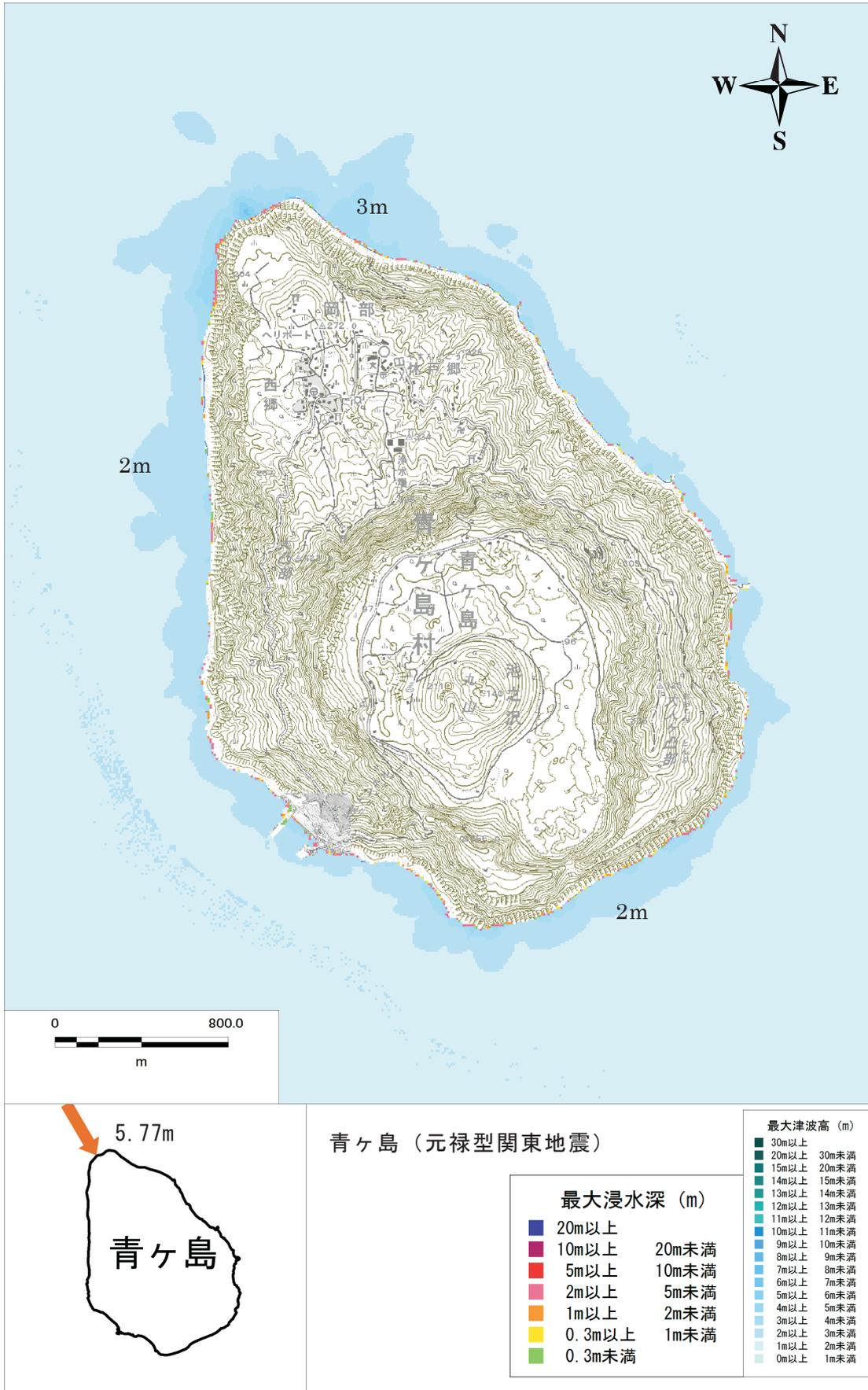


最大津波高と津波到達時間 (1 m 及び最大波)



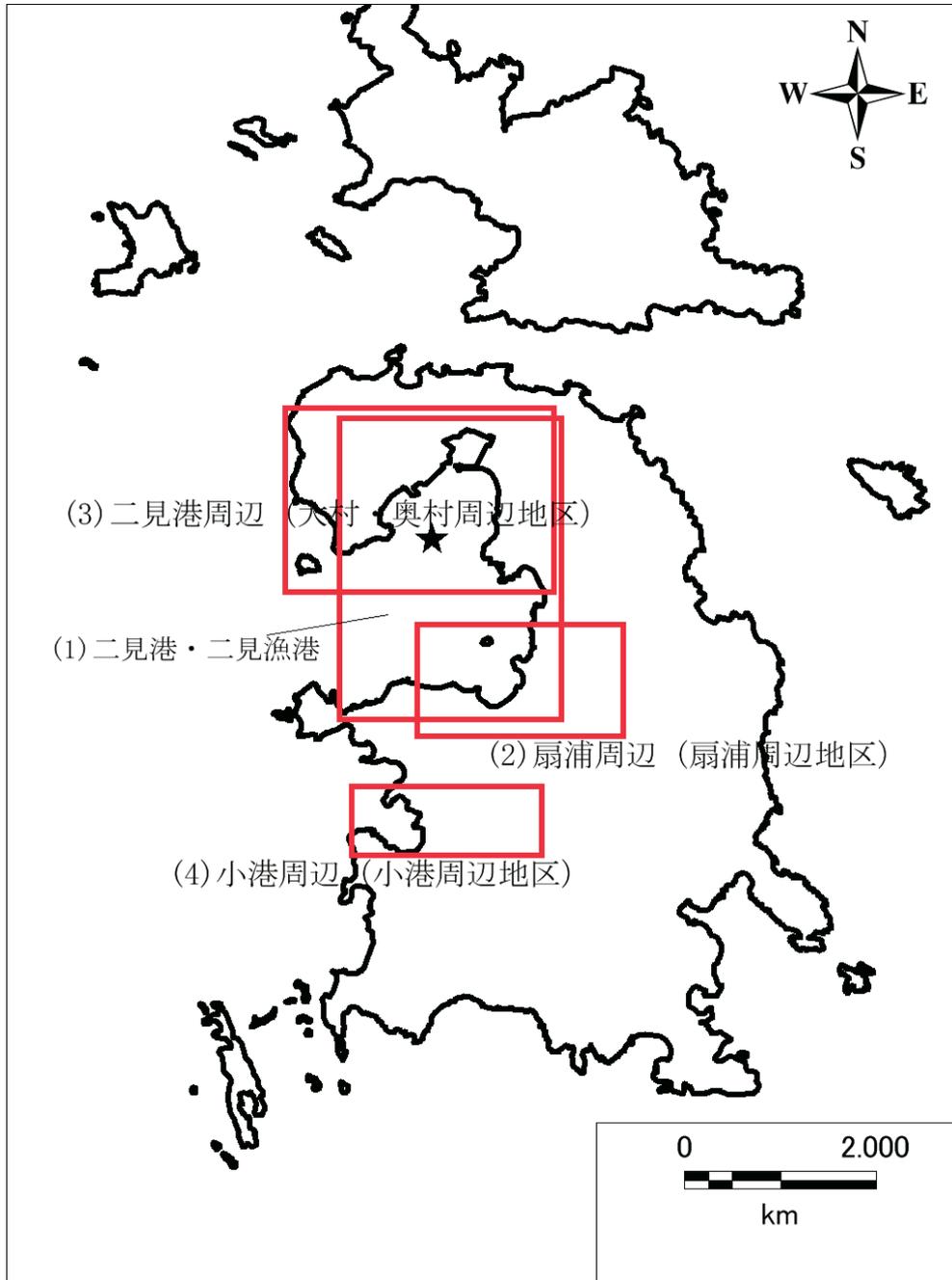
最大津波高の範囲

9-5) 青ヶ島全体の最大津波高・最大浸水深分布図 (元禄型関東地震)



(10) 父島

10-1) 全体及び拡大範囲図



父島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

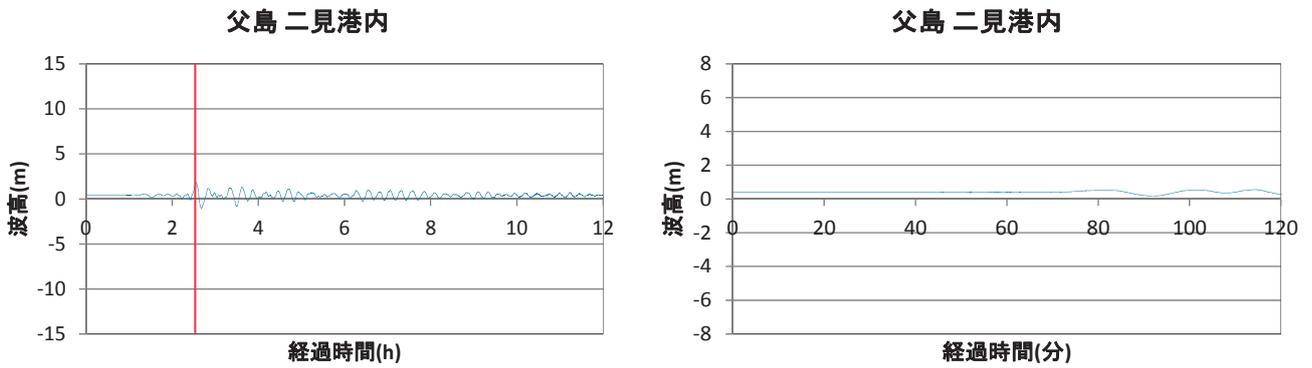
10-2) 父島の総括表

父島の総括表

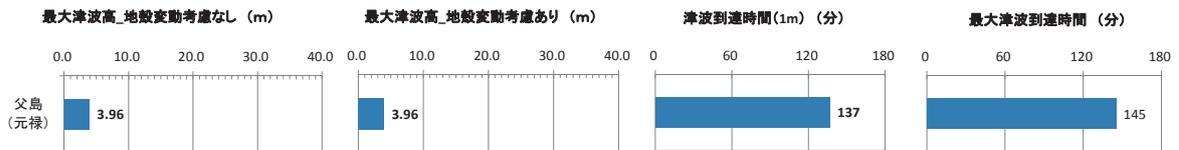
対象地震	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
元禄型 関東地震	(1)二見港・二見漁港	1.46~2.99 (1.46~2.99)	2.12 (2.12)	144.6~152.5 【147.9】	150.8~281.2 【153.6】
	(2)扇浦周辺 (扇浦周辺地区)	1.73~2.99 (1.73~2.99)	2.36 (2.36)	147.7~152.5 【147.9】	151.9~154.1 【153.6】
	(3)二見港周辺 (大村・奥村周辺地区)	1.4~2.61 (1.4~2.61)	2.02 (2.02)	144.6~152.2 【152.2】	149.8~281.2 【154.5】
	(4)小港周辺 (小港周辺地区)	1.45~2.94 (1.45~2.94)	2.31 (2.31)	143.3~200.0 【144.0】	147.1~200.9 【149.3】
	島全体	0.76~3.96 (0.76~3.96)	1.64 (1.64)	136.7~380.6 【149.1】	145.1~719.4 【199.3】

10-3) 父島の代表点の津波波形 (12時間波形及び最初の2時間の波形)

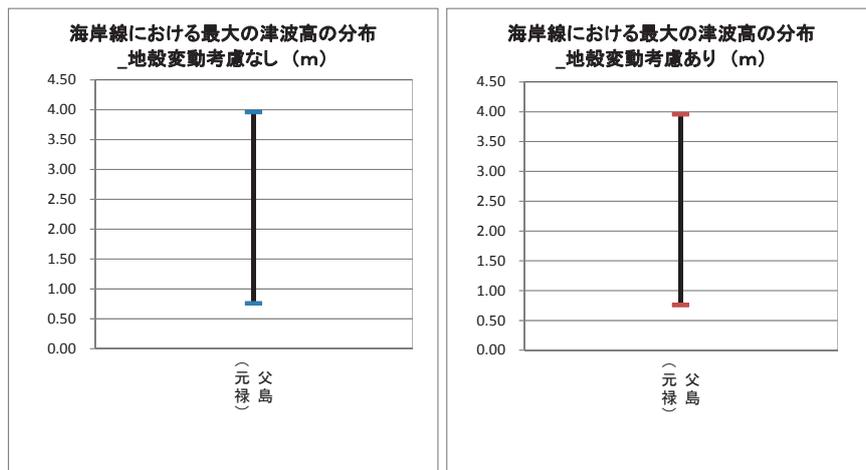
(赤線: 1m津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))



10-4) 父島 (全体) の海岸線における最大津波高 (及びその範囲)・到達時間

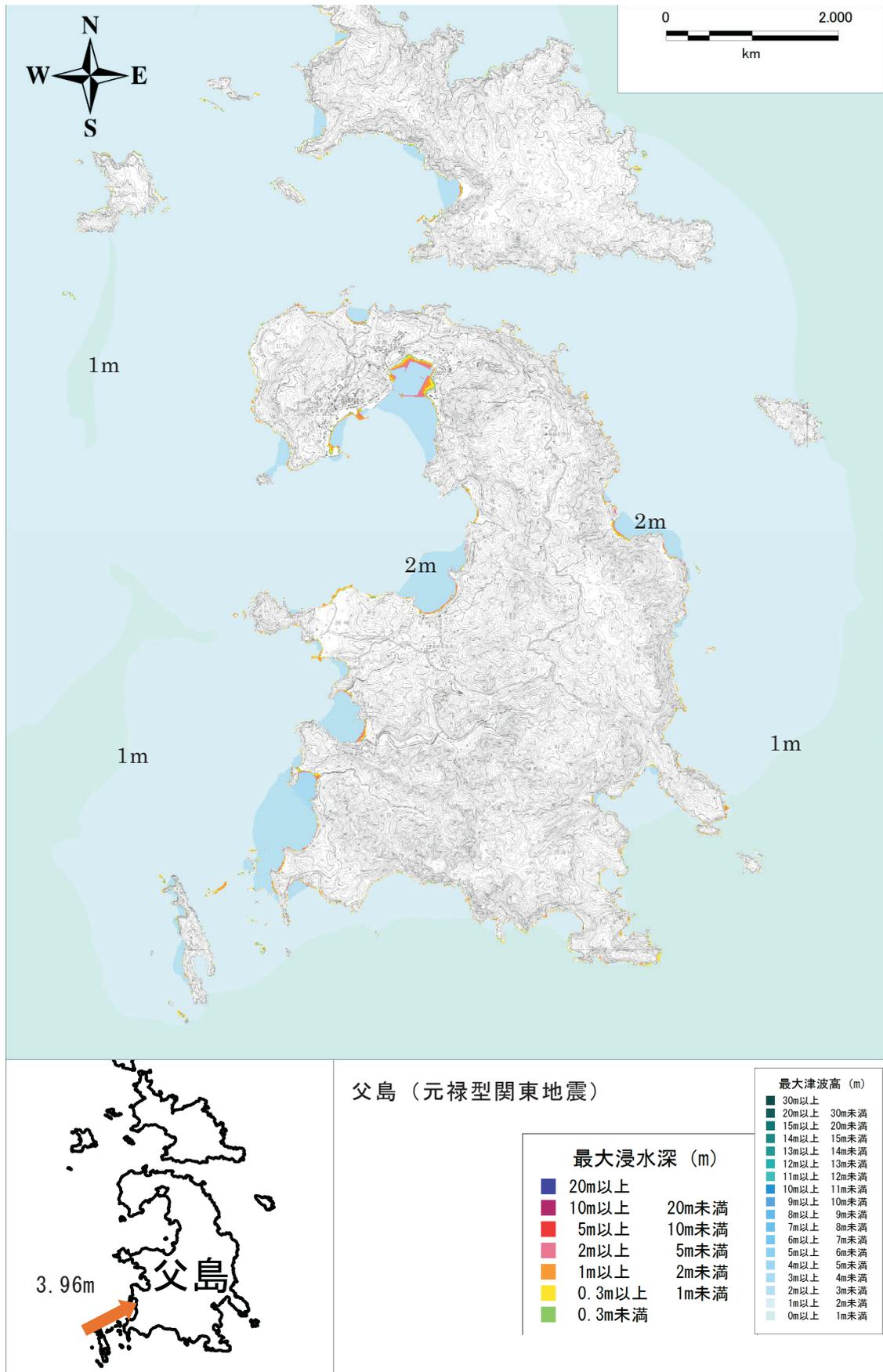


最大津波高と津波到達時間 (1m及び最大波)



最大津波高の範囲

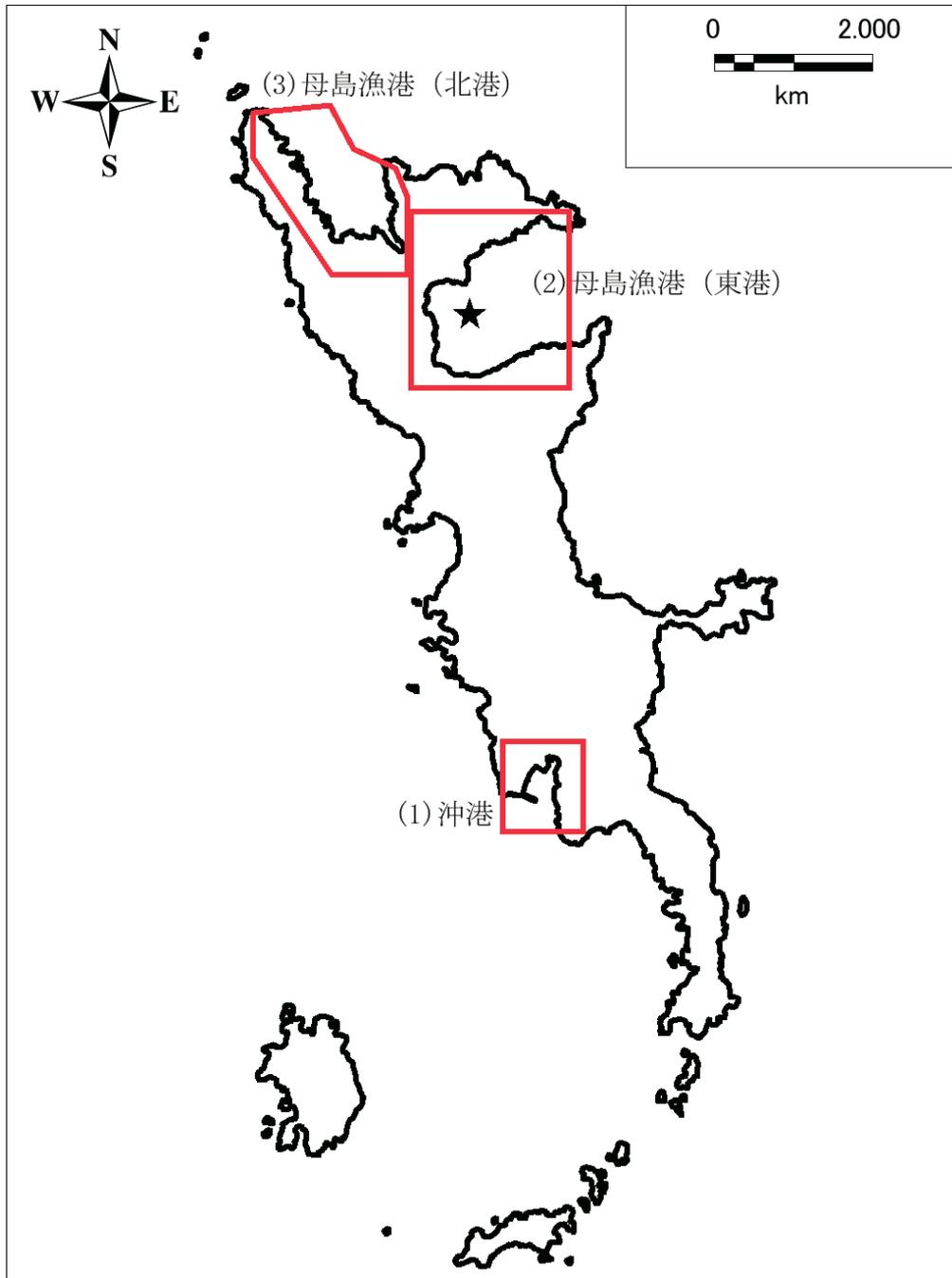
10-5) 父島全体の最大津波高・最大浸水深分布図（元禄型関東地震）



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平25情復、第27号）

(11) 母島

11-1) 全体及び拡大範囲図



母島の全体図及び浸水図の拡大範囲図

赤枠：拡大範囲

★印：津波波形出力位置（島全体の代表）

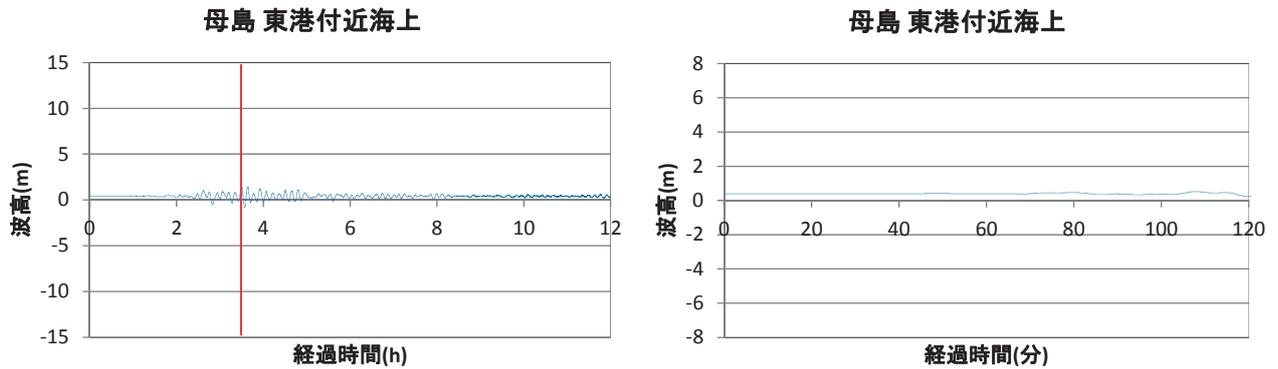
11-2) 母島の総括表

母島の総括表

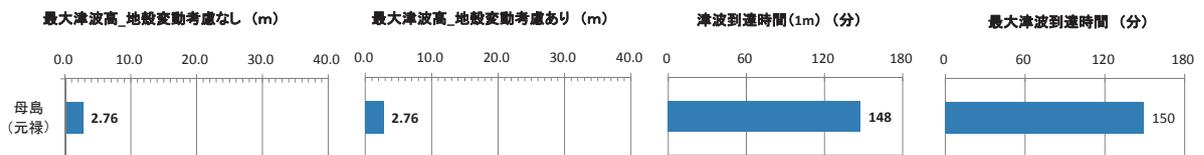
対象地震	対象範囲	各地点の 最大津波高(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の最大津波 高の平均値(m) (地殻変動を考慮 しない場合の値)	各地点の1m津波高 の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】	各地点の最大津波 高の到達時間(分) 【当該範囲で最大 津波高が来る地点 での時間】
元禄型 関東地震	(1) 沖港	0.96~1.77 (0.96~1.77)	1.27 (1.27)	153.0~259.2 【153.0】	151.0~320.4 【261.0】
	(2) 母島漁港(東港)	0.86~2.26 (0.86~2.26)	1.51 (1.51)	155.7~269.6 【209.3】	155.7~681.3 【217.8】
	(3) 母島漁港(北港)	0.86~2.76 (0.86~2.76)	1.65 (1.65)	147.7~198.3 【147.7】	158.9~640.5 【199.4】
	島全体	0.77~2.76 (0.77~2.76)	1.32 (1.32)	147.7~616.5 【147.7】	149.6~716.9 【199.4】

11-3) 母島の代表点の津波波形 (12時間波形及び最初の2時間の波形)

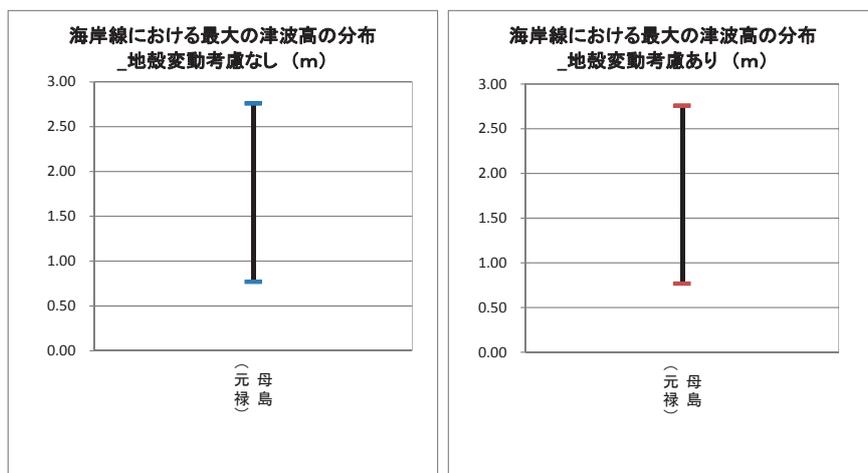
(赤線: 1m津波高到達時間 (海上の波形であるため海岸線での到達時間と異なる。))



11-4) 母島 (全体) の海岸線における最大津波高 (及びその範囲)・到達時間

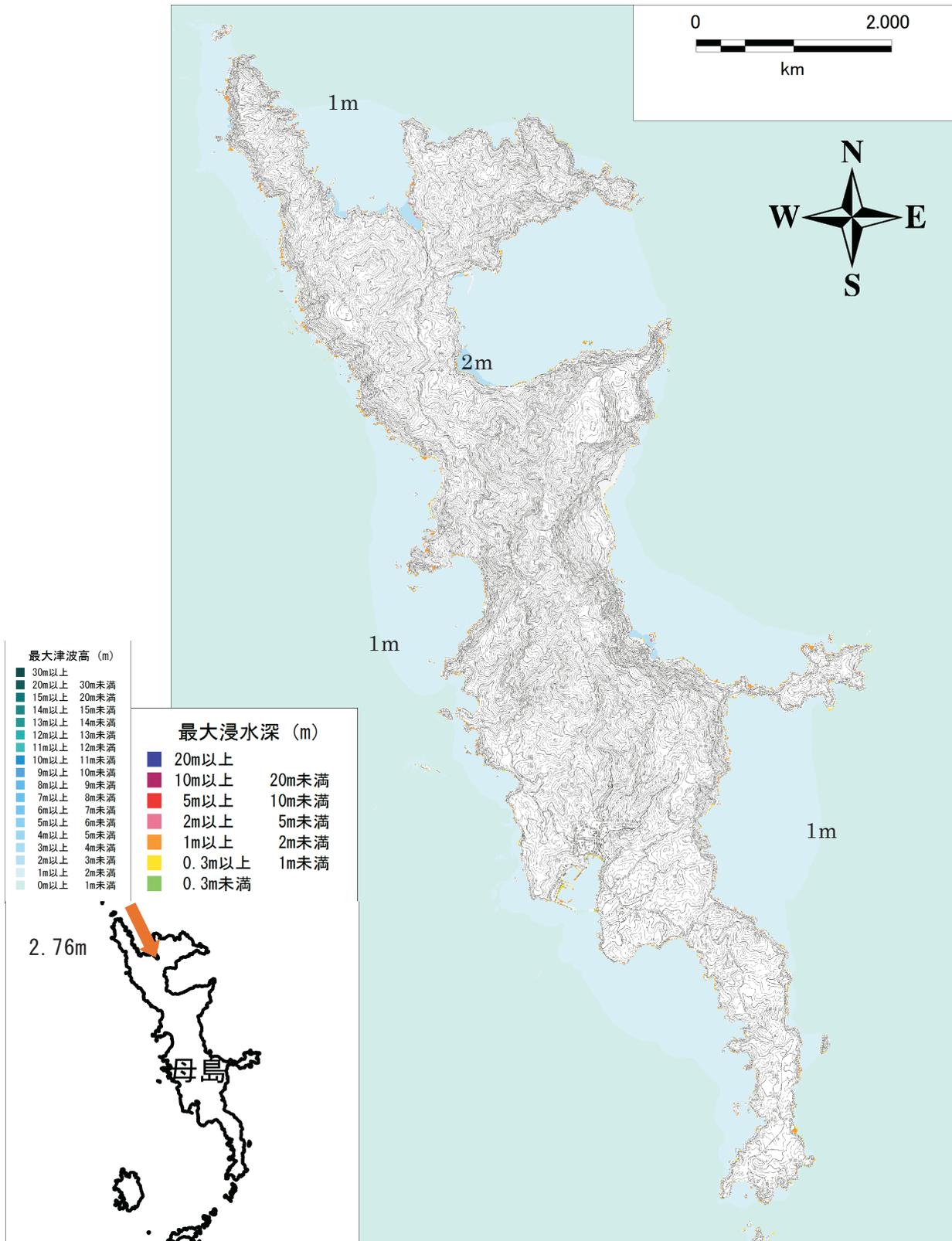


最大津波高と津波到達時間 (1m及び最大波)



最大津波高の範囲

11-5) 母島全体の最大津波高・最大浸水深分布図（元禄型関東地震）



母島全体での最大津波高地点

母島（元禄型関東地震）

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平25情複、第27号）

### 3. 3 津波シミュレーションの結果について（まとめ）

各島で、岩場を含む島全体における最大津波高の値とその到達時間（地震発生からの経過時間）についてまとめる。

**表 元禄型関東地震における津波高(まとめ)**

島名	対象範囲	最大津波高 (m)	最大津波高(左欄) の到達時間(分)	浸水図 掲載頁
大島	島全体	8.69	11.1	2-203
利島	島全体	4.94	19.6	2-207
新島	島全体	9.66	41.0	2-211
式根島	島全体	7.06	43.9	2-215
神津島	島全体	10.98	37.4	2-219
三宅島	島全体	18.20	16.7	2-223
御蔵島	島全体	22.60	17.6	2-227
八丈島	島全体	10.75	44.0	2-231
青ヶ島	島全体	5.77	56.3	2-235
父島	島全体	3.96	199.3	2-239
母島	島全体	2.76	199.4	2-243

注) 到達時間は、地震発生からの経過時間を示す。

最大津波高の値は地殻変動量を考慮した場合の値を示す。